

平成 2 2 年度障害者総合福祉推進事業

訪問系サービス利用者のサービス利用状況等の
実態把握に関する調査

報告書

平成 23(2011)年 3 月

株式会社ピュアスピリッツ

目次

第一章 事業の概要

第一節 事業の趣旨・目的	3
第二節 事業の概要	3
第三節 委員一覧	4

第二章 訪問系サービス利用者のサービス利用状況等の実態把握に関する調査概要

第一節 調査の概要	7
第二節 調査結果ダイジェスト版	8

第三章 訪問系サービス利用者のサービス利用状況等の実態把握に関する調査

第一節 調査の概要	43
第二節 調査結果	44

第四章 患者数推計

第一節 患者数推計	249
-----------	-----

第五章 実態調査結果まとめ

第一節 調査結果のまとめ	257
第二節 検討結果	262

資料

訪問系サービス利用者のサービス利用状況等の実態把握に関する調査票	271
----------------------------------	-----

第一章 事業の概要

第一節 事業の趣旨・目的

障害者福祉施策において医療機関や入所施設から地域生活への移行の推進が図られている。そのような流れに伴い、居宅介護、重度訪問介護等の訪問系サービスの利用が増加傾向にあり、今後の訪問系サービスが利用者のニーズに添ったかたちで提供される必要性は高く、そのための実態の把握は欠かせない。また、地域生活への移行の推進に伴い、痰の吸引等の医療的ケアを必要とする方や社会参加を求めている方の利用割合も増加していると想定される。

このような中、特に長時間の介護が必要となる障害の重い方を中心に、訪問系サービス利用者のサービスの利用実態等を把握するため、介護保険等の他制度を含めたサービスの利用状況や痰の吸引等の医療的ケアの実施状況について調査を行うことにより、現状及び本来必要とされるサービスの組み合わせや、量についてのあり方を明らかにすることができる。

第二節 事業の概要

1. 実施計画

訪問系サービス利用者のサービスの利用状況等を明らかにし、今後の訪問系サービスのあり方等の議論の参考とするために、訪問系サービスの利用者について有識者等による委員会を組織して調査を実行し、以下の状況を明らかにする。

- ① 他制度(介護保険等)のサービス利用状況
- ② 医療が必要な者等のサービスの利用状況
- ③ ヘルパー等が痰の吸引を実施している障害者等の状況

2. 事業内容

(1) 委員会の開催

委員構成:7名、開催回数3回予定

- ・調査内容の検討・決定
- ・調査結果分析・報告書とりまとめ
- ・事業全体の報告・報告書の承認

(2) 「訪問系サービス利用者におけるサービス利用状況等に関する実態調査」の実施

- ・訪問系サービス利用者のサービス利用状況等の実態について、障害、病名、年齢別等に、そのサービスの組み合わせ利用の状況を把握し、訪問系サービスの利用実態を把握する。
- ・以下の各疾病・疾患の全国における患者を対象者として、郵送調査を行う。

- ① 神経難病として、筋萎縮性側索硬化症(ALS)
- ② 外傷等によって引き起こされる病態として、脊髄損傷、遷延性意識障害
- ③ 重症心身障害児・者

- ・対象の抽出については、筋萎縮性側索硬化症(ALS)、遷延性意識障害、脊髄損傷等の各患者団体の

協力を得て行う。

(3)各疾病・疾患ごとの全国における訪問系サービスの利用者数についての推計

各病名ごとの全国における患者数について、これまでの文献・調査等の学問的見地からの推計を行い、調査結果と照らし合わせることで、最終的に各疾病・疾患ごとの全国における訪問系サービスの利用者数についても推計する

(4)報告書の作成・配布

本調査研究により、以下について明らかにするとともに、それらの分析から考えられる課題の抽出を行い、地方自治体、協力関係団体等へ報告書を配布する。

- ・各疾病・疾患ごとの患者数及び訪問系サービスの利用者数の推計
- ・障害、病名、年齢、医療的ニーズの状況と当該ニーズへの対応状況
- ・痰の吸引等の医療的ニーズの状況と当該ニーズへの対応状況

3. スケジュール

- 10月 第1回委員会開催
・調査内容・調査票案の検討、確定
- 11月 調査票送付
- 12月 調査票入力・分析
- 1月 第2回委員会開催
・調査結果分析・報告書とりまとめ
- 3月 第3回委員会開催
・最終報告書案の承認、事業全体の報告

第三節 委員一覧（※敬称略、五十音順、◎は委員長）

- ◎ 伊藤 利之 横浜市総合リハビリテーションセンター 顧問
- 岩城 節子 社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会
- 大橋 正洋 神奈川県総合リハビリテーションセンター 顧問
- 大濱 眞 社団法人 全国脊髄損傷者連合会 副理事長
- 上 良夫 社団法人日本筋ジストロフィー協会 副理事長
- 桑山 雄次 全国遷延性意識障害者・家族の会 代表
- 林 秀明 東京都立神経病院 元院長
- 平岡久仁子 日本 ALS 協会 幹事

第二章 訪問系サービス利用者におけるサービス
利用状況等に関する実態調査結果
【ダイジェスト版】

第一節 調査概要

1. 調査票の発送・回収・返送の概要

・調査対象

障害者ご本人、もしくは代理の方

・発送数

発送全数 3,592

社団法人全国脊髄損傷者連合 ----- 325

全国遷延性意識障害者・家族の会 ----- 360

日本 ALS 協会 -----1,907

重症心身障害児(者)を守る会 -----1,000

・返送方法

郵送

・回収期日

返送締切り 平成 22 年 12 月 17 日(金)必着

2. 調査票の回収状況

・回収数

回収数 1,482 件(以下、問6病名の回答より)

社団法人全国脊髄損傷者連合 ----- 145

全国遷延性意識障害者・家族の会 ----- 192

日本 ALS 協会 ----- 733

重症心身障害児(者)を守る会 ----- 430

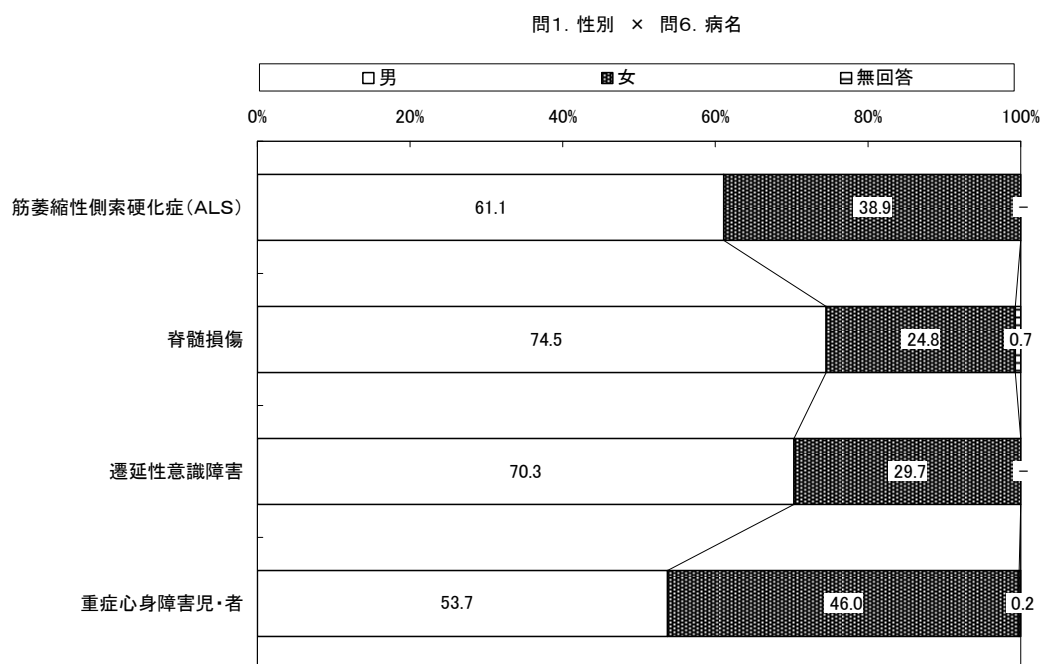
その他 ----- 11

・回収率 41.2%

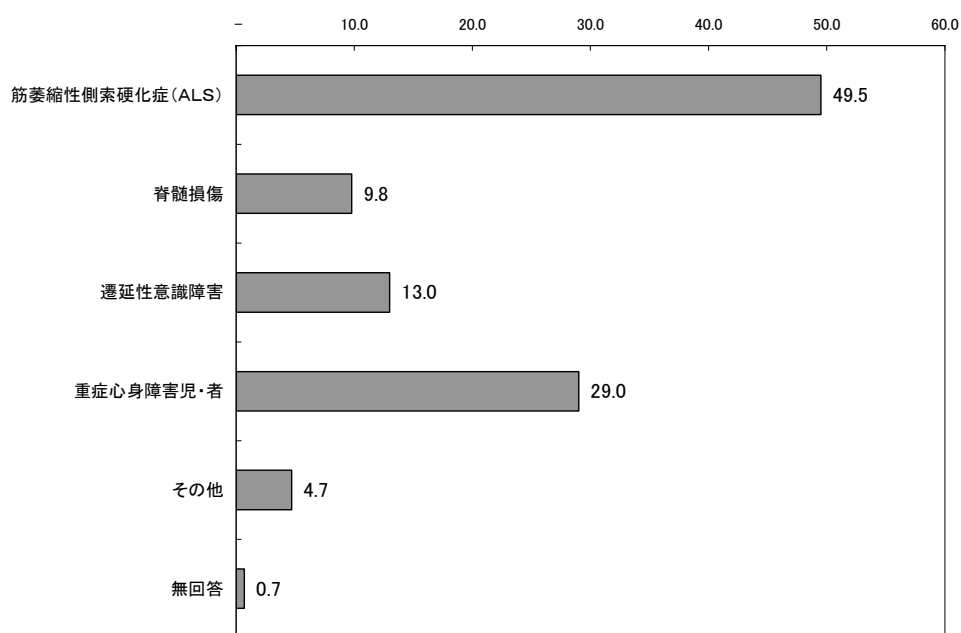
第二節 調査結果

1. 回答者属性

男性 61.2%、女性 38.4%と男性の多い結果となった。筋萎縮性側索硬化症 (ALS) は男性 61.1% : 女性 38.9%、脊髄損傷は男性 74.5% : 女性 24.8%、遷延性意識障害は男性 70.3% : 女性 29.7%、重症心身障害児・者は男性 53.7% : 女性 46.0%と、脊髄損傷・遷延性意識障害は男性の割合が多い回答者となっている。

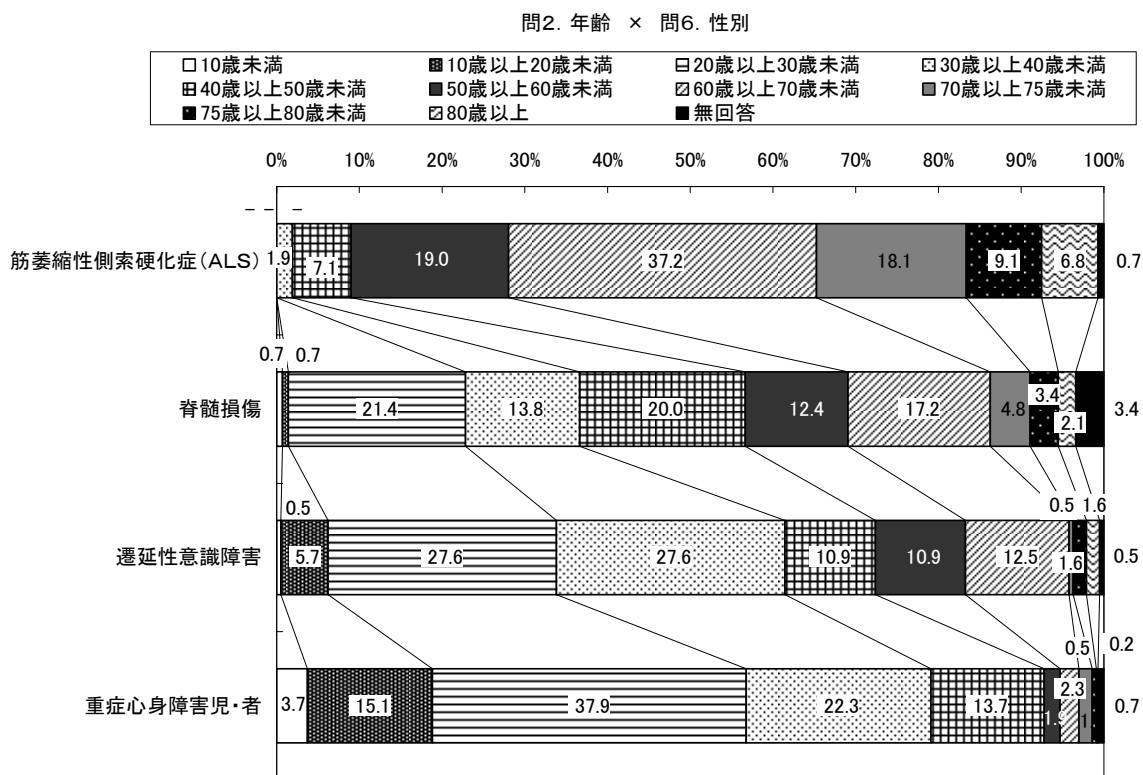


病名別にみると、筋萎縮性側索硬化症 (ALS) は 49.5%、脊髄損傷は 9.8%、遷延性意識障害は 13.0%、重症心身障害児・者は 29.0%となっている。

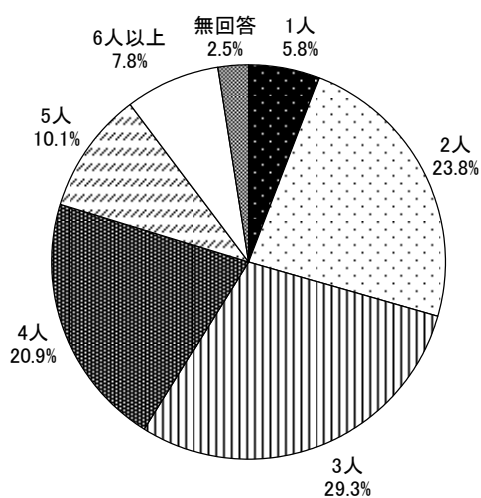


全体でみると最も多かった年齢層は、「60歳以上70歳未満」の22.1%で、次いで「20歳以上30歳未満」の15.8%となっている。

病名別にみると、最も多い年齢層は筋萎縮性側索硬化症(ALS)は60歳以上70歳未満が37.2%、脊髄損傷は40歳以上50歳未満が20.0%、遷延性意識障害は20歳以上30歳未満・30歳以上40歳未満が27.6%、重症心身障害児・者は20歳以上30歳未満が37.9%となっている。

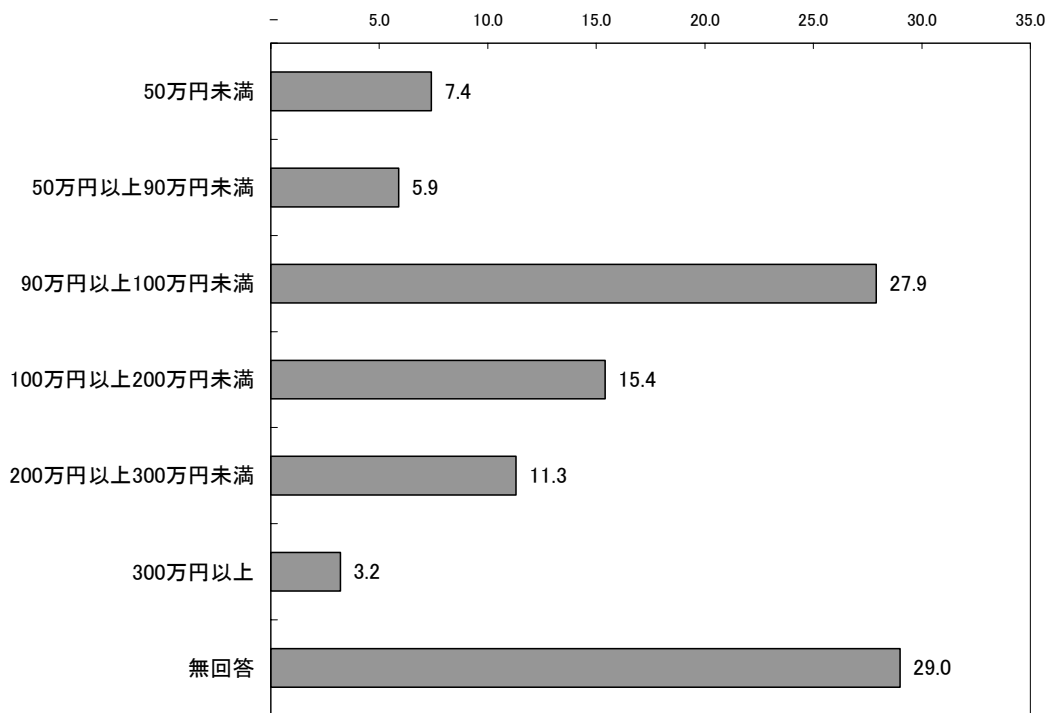


現在同居されている家族の人数で最も多かったのは「3人」が29.3%。次いで「2人」の23.8%、「4人」の20.9%となっている。

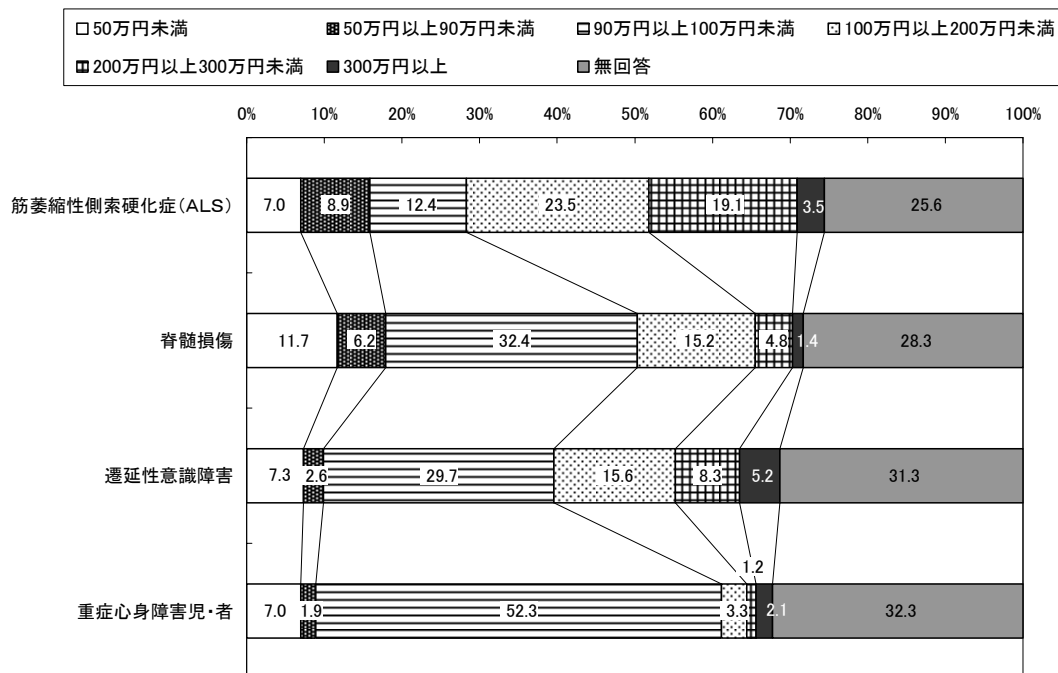


お持ちの障害者手帳では、身体障害者手帳で最も多かったのは「1種1級」が全体の7割を占め、療育手帳では、Aのみで全体の2割程度、精神障害者保健福祉手帳の保持者は極めて少ない結果となっている。

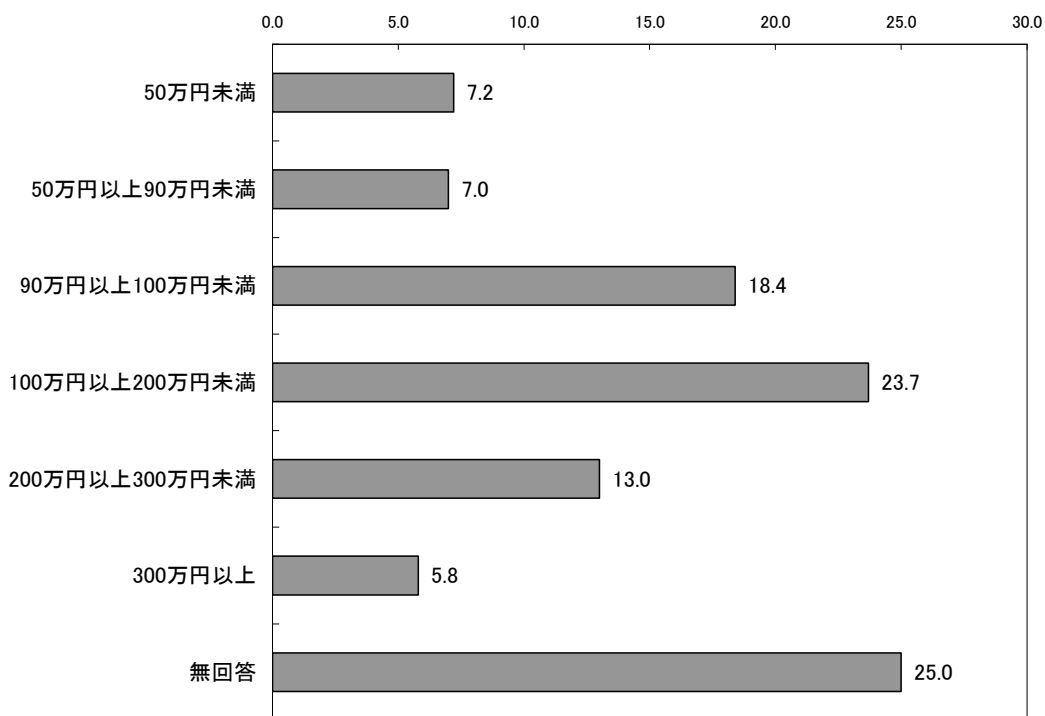
公的年金の1年間の受給額で最も多かったのは、「90万円以上100万円未満」の27.9%、次いで「100万円以上200万円未満」の15.4%となっている。



病名別にみると、筋萎縮性側索硬化症（ALS）は100万円以上200万円未満や200万円以上300万円未満が多く、脊髄損傷、遷延性意識障害、重症心身障害児・者は90万円未満100万円未満が多い割合となっている。

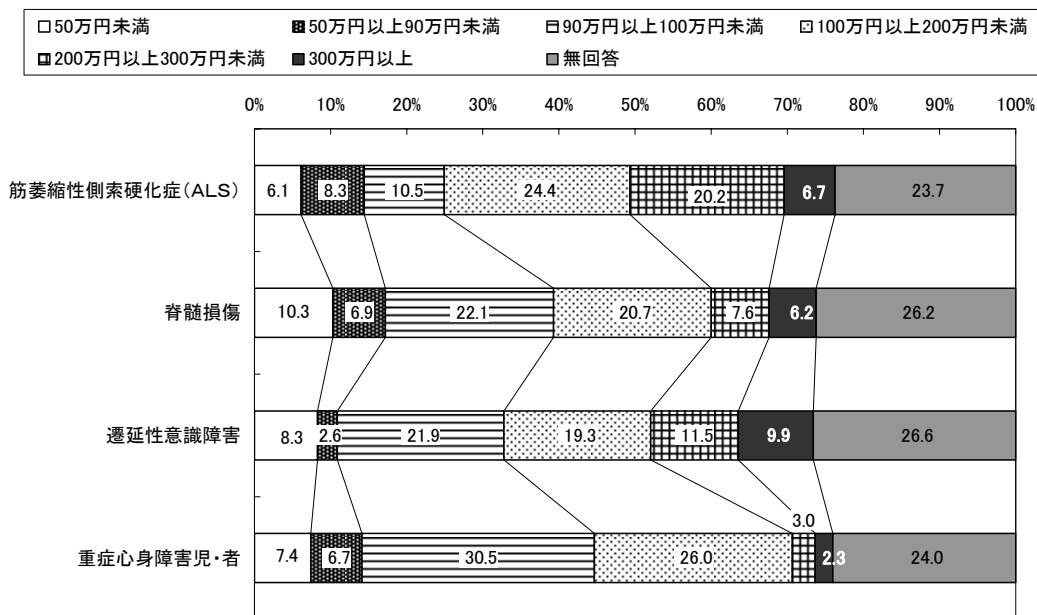


公的年金と公的年金以外をあわせた年間の受給額を算出したところ、最も多かったのは「100万円以上200万円未満」の23.7%、次いで「90万円以上100万円未満」の18.4%となっている。

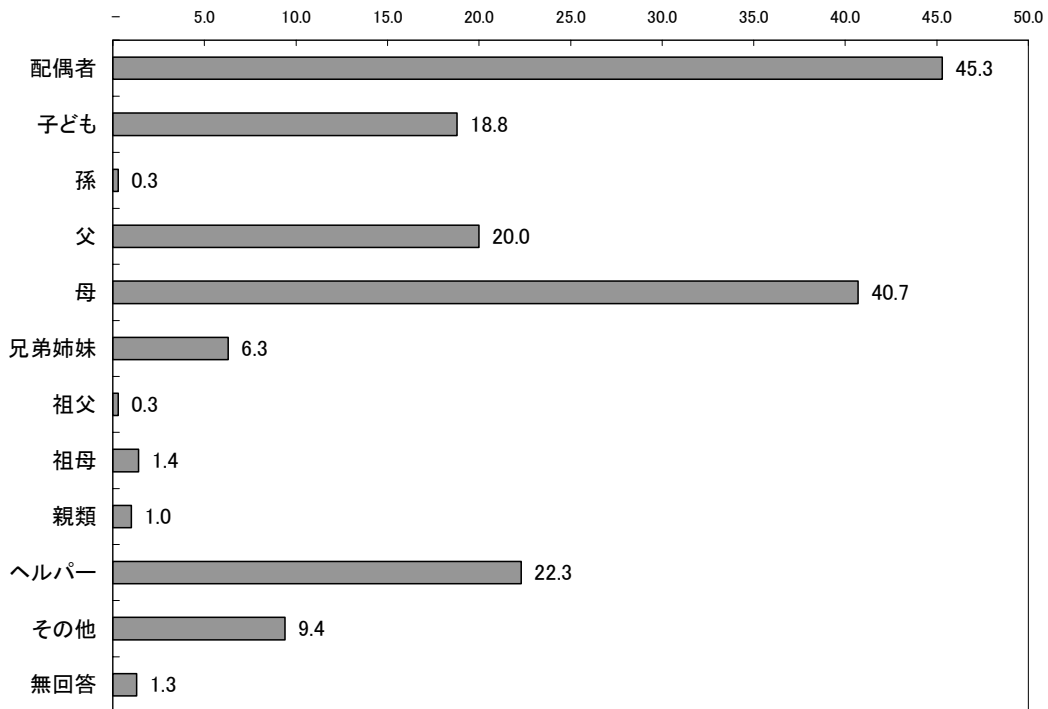


病名別にみると、筋萎縮性側索硬化症 (ALS) は公的年金受給額と同様となっている。脊髄損傷、遷延性意識障害、重症心身障害児・者は公的年金のみの受給額から増えている傾向がみられた。

問9. 公的年金と公的年金以外の年間受給額 × 問6. 病名

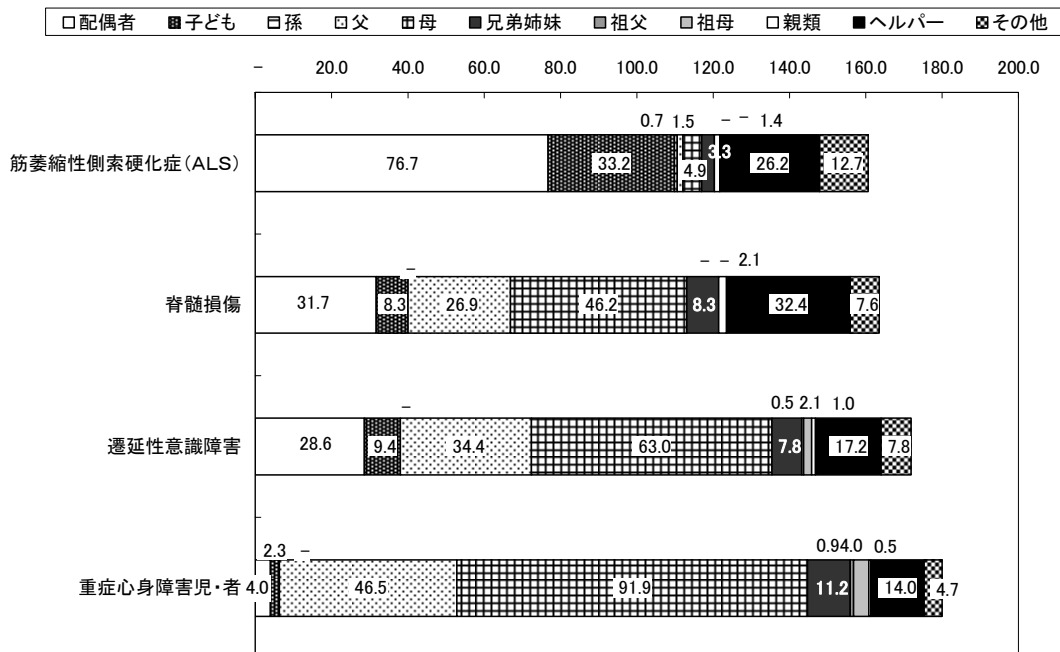


主たる介護者では、「配偶者 (45.3%)」が最も多く、次いで「母 (40.7%)」、「ヘルパー (22.3%)」となっている。



病名別にみると、筋萎縮性側索硬化症 (ALS) で最も多かったのは配偶者が多く、脊髄損傷、遷延性意識障害、重症心身障害児・者は母が多い。

問11. 主たる介護者 × 問6. 病名

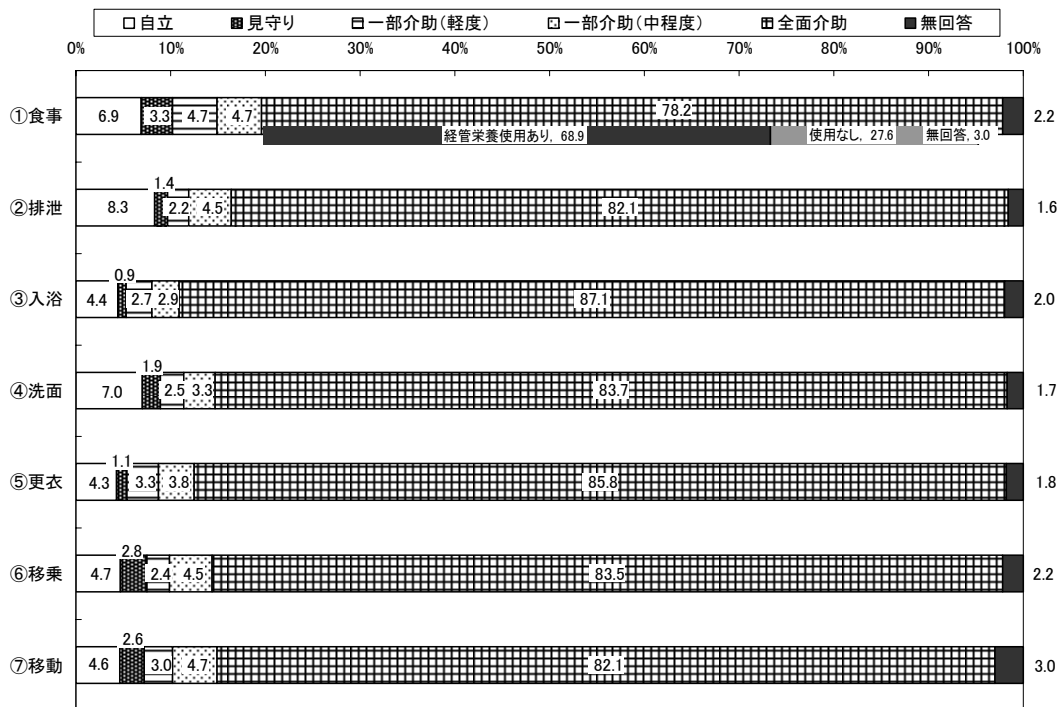


2. 障害者ご本人の現在の状態について

(1) 介助程度 (問 13)

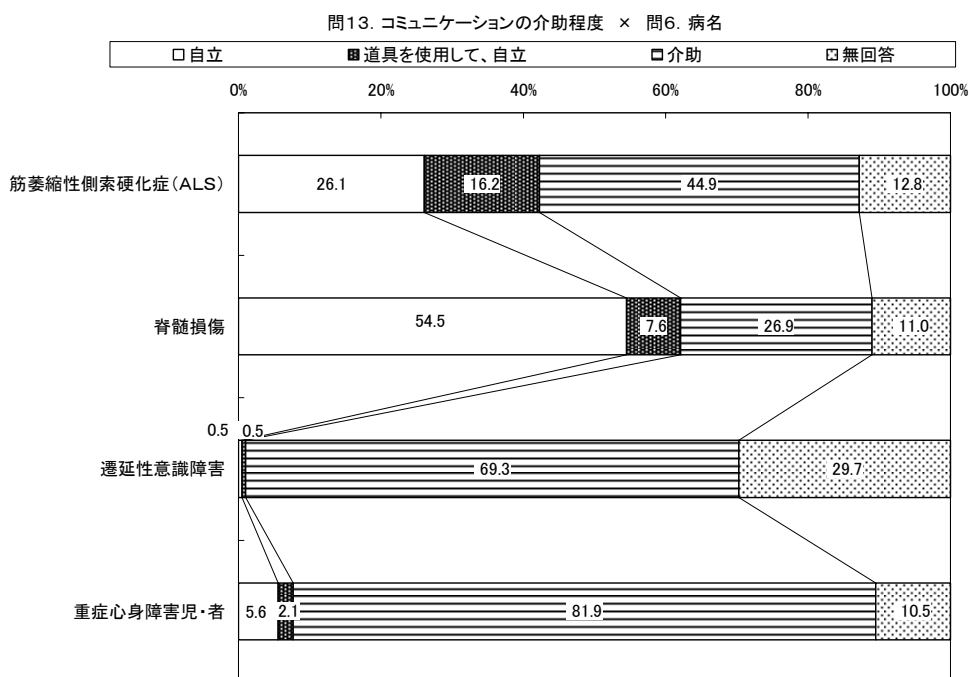
① 食事、排泄、入浴、洗面、更衣、移乗、移動について

介助程度をみると、約8割が「全面介助」となっており、病名別においても大きな差はみられない。



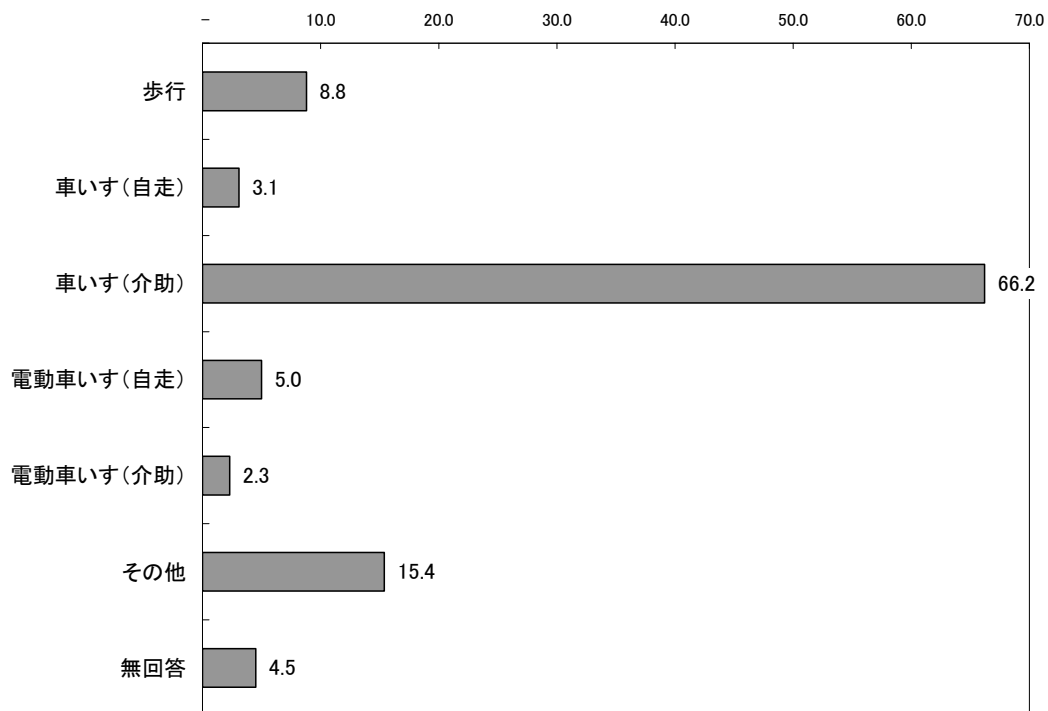
② コミュニケーションについての介助程度 (問 13)

筋萎縮性側索硬化症 (ALS)、脊髄損傷の自立の割合が多く、遷延性意識障害、重症心身障害児・者は介助の割合が多くなっている。

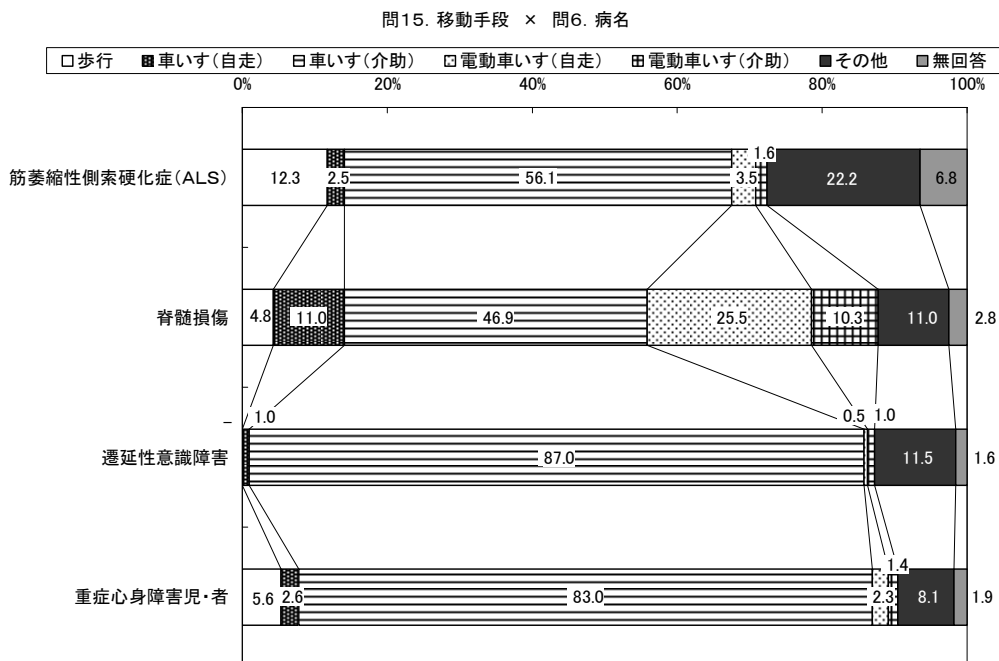


(3) 移動における手段について（問 15）

移動手段で最も多かったのは、「車いす（介助）」で 66.2% となっている。次いで多かった「その他」には、ストレッチャーなどがあげられた。



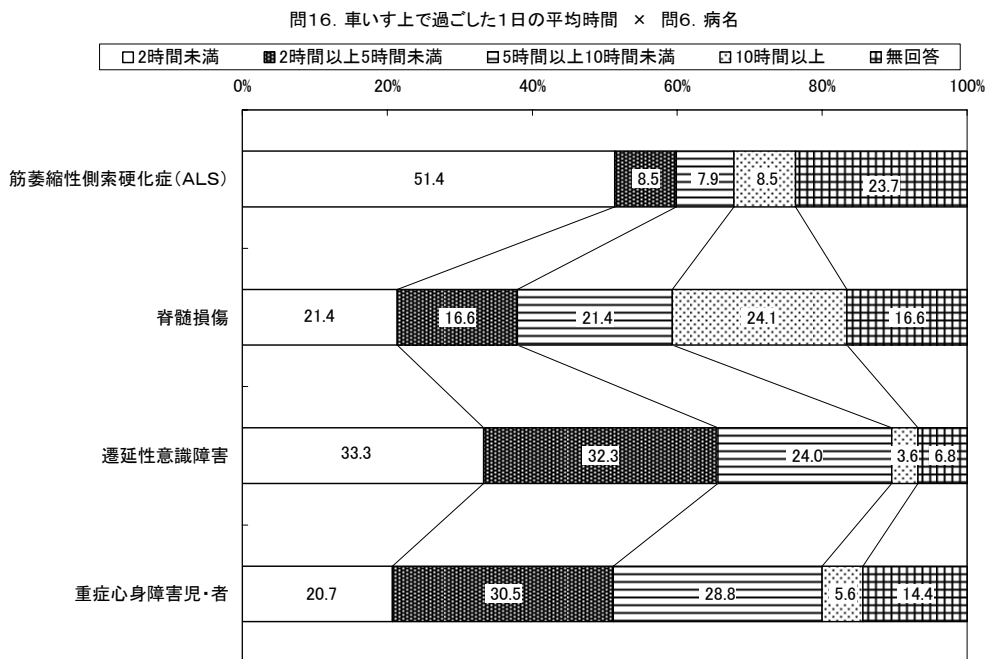
病名別にみると、遷延性意識障害、重症心身障害児・者が車いす（介助）の割合が高くなっている。



(4) 車いす上で過ごした1日の平均時間 (問16)

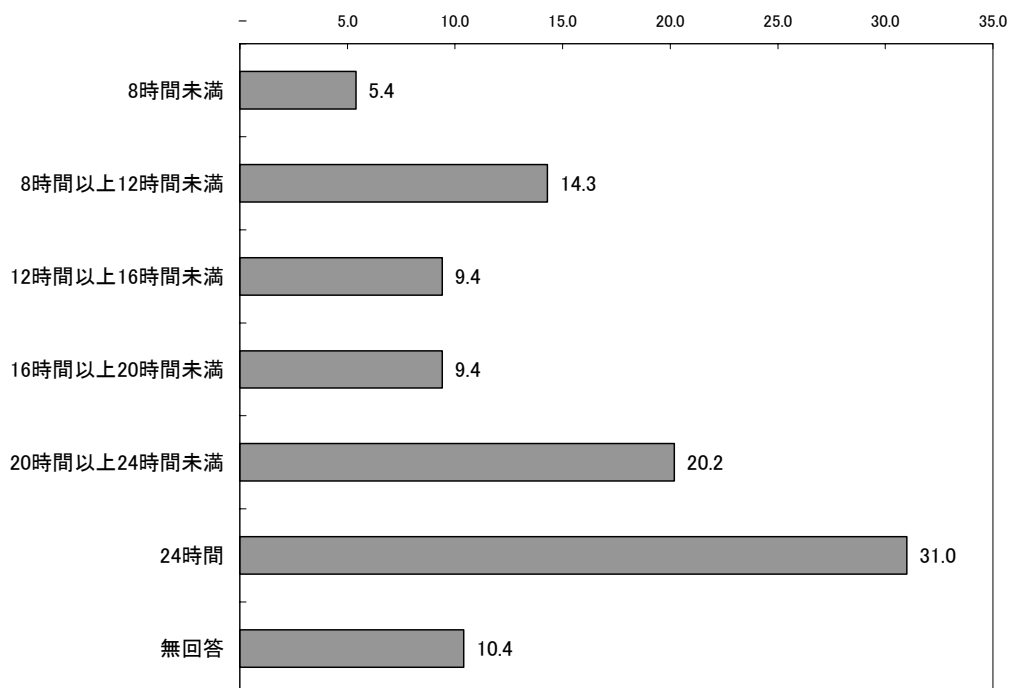
全体では、車いす上で過ごした1日の平均時間で最も多かったのは「2時間未満」の37.5%で、次いで「2時間以上5時間未満」が18.4%、「5時間以上10時間未満」が16.9%となっている。

病名別にみると、筋萎縮性側索硬化症(ALS)は2時間未満が半数を占め、脊髄損傷は10時間以上が最も多く長時間車いすを使用している傾向がみられた。



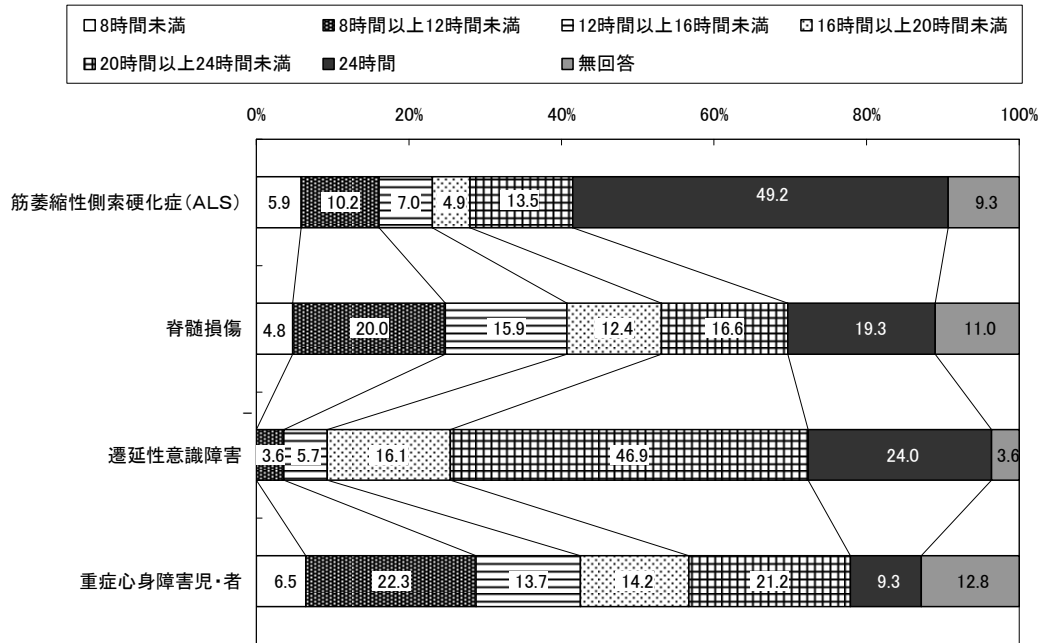
(5) ベッド上で過ごした1日の平均時間 (問17)

ベッド上で過ごした1日の平均時間で最も多かったのは「24時間」で31.0%。次いで「20時間以上24時間未満」が20.2%、「8時間以上12時間未満」が14.3%となっている。



病名別にみると、筋萎縮性側索硬化症（ALS）と遷延性意識障害はベッドでの時間が長い傾向がみられた。

問17. ベッド上で過ごした1日の平均時間 × 問6. 病名

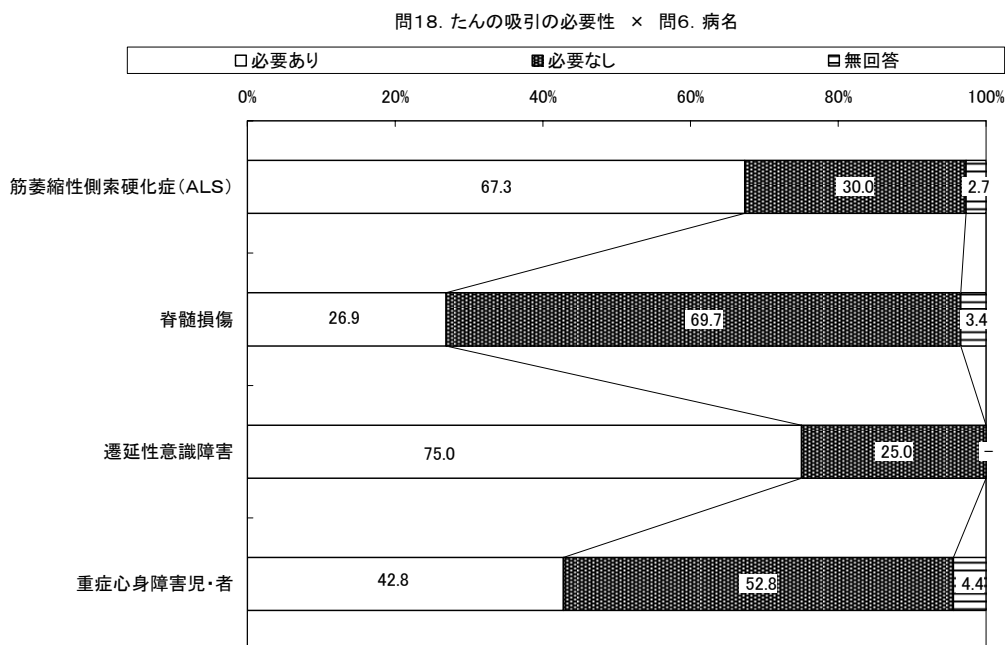


(6) 医療的ケアにおけるたんの吸引について（問 18）

① たんの吸引の必要性

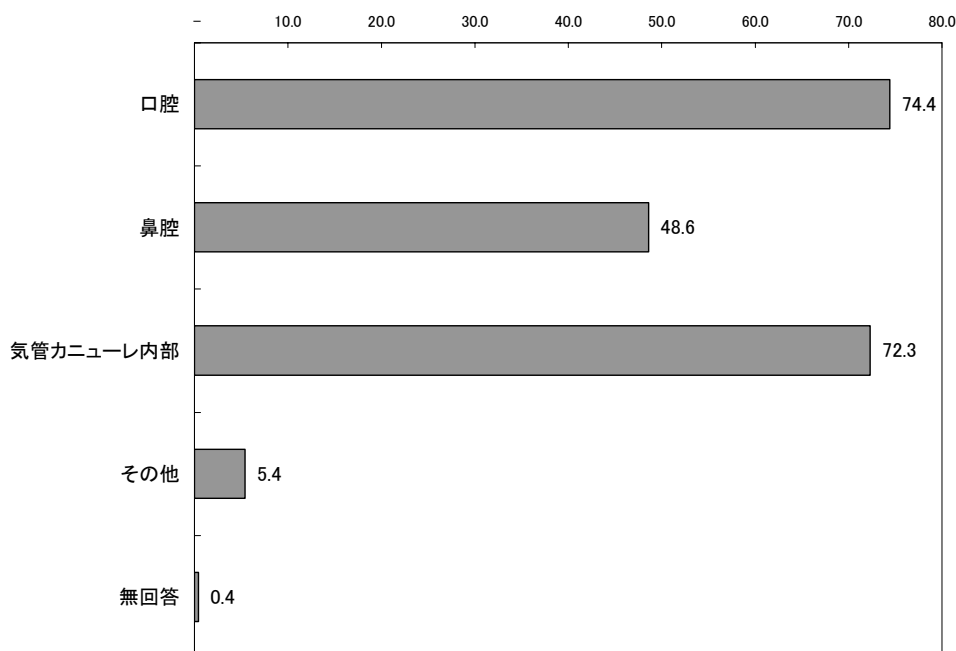
全体をみると、たんの吸引が必要だと回答した割合は、56.3%と約半数を占め、40.2%は必要ないという結果となった。

病名別にみると、筋萎縮性側索硬化症（ALS）は必要ありが約7割をしめている。脊髄損傷は必要ありが約3割程度で最も低い割合となっている。遷延性意識障害は必要ありが7割を超え、最も高い割合となっている。重症心身障害児・者は必要ありが約4割となっている。



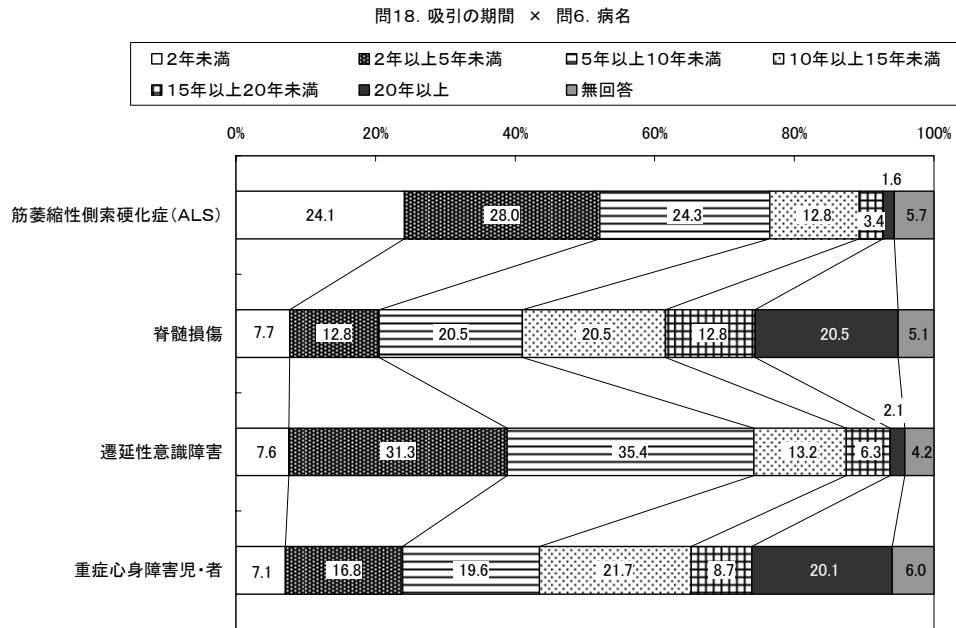
② 吸引の種類（問 18）

「口腔」が74.4%、「鼻腔」が48.6%、「気管カニューレ内部」が72.3%、「その他」が5.4%の結果となった。その他には、サイドチューブなどがあげられた。



③吸引の期間（問18）

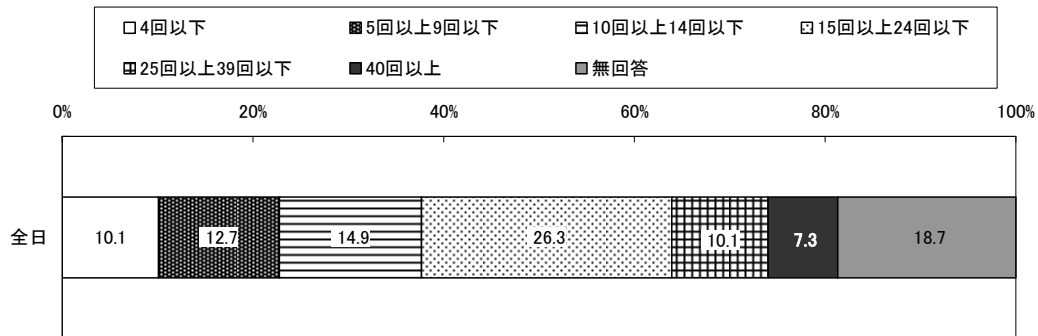
脊髄損傷と重症心身障害児・者では20年以上が多く、他と比べると長期間にわたっている傾向がみられた。



④吸引の状況（問18）

a. 1日の吸引回数

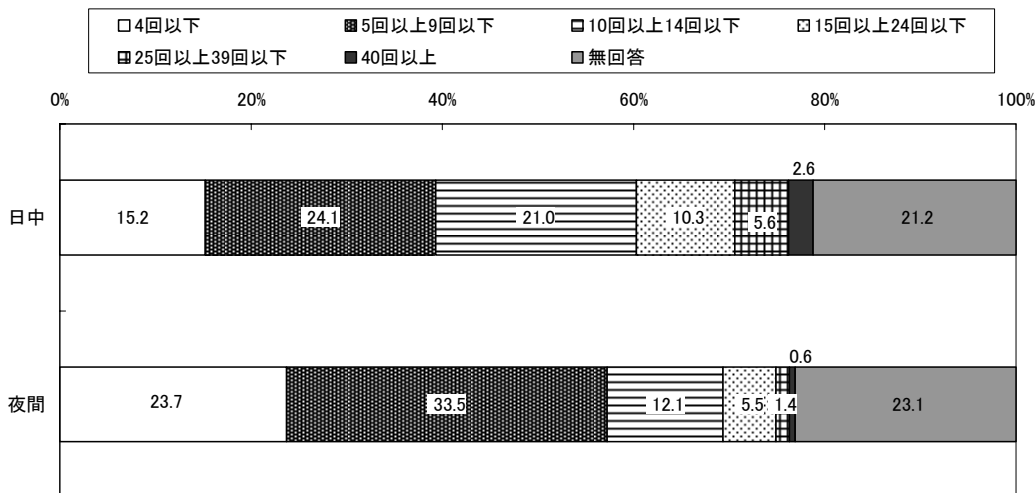
1日の吸引必要回数をでは、「15回以上24回以下」が最も多く26.3%、次いで「10回以上14回以上」が14.9%となった。



b. 日中・夜間別の吸引回数

吸引の回数を、日中＝8～12時、12～16時、16～20時とし、夜間＝4～8時、20～24時、0～4時とした。

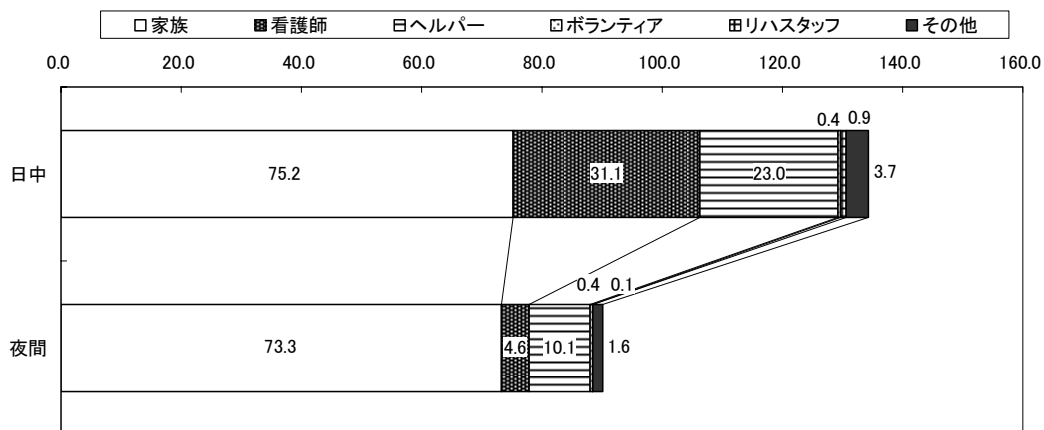
それぞれ、日中・夜間別の吸引回数をみると、日中・夜間とも「5～9回以下」が最も多い結果となり、都市種別でもかわらない傾向であった。



⑤吸引を行っている者（問18）

a. 日中・夜間における吸引者

日中・夜間を比較すると、家族は日中・夜間ともほぼ同程度だが、看護師・ヘルパーともに夜間の割合が低くなっている。



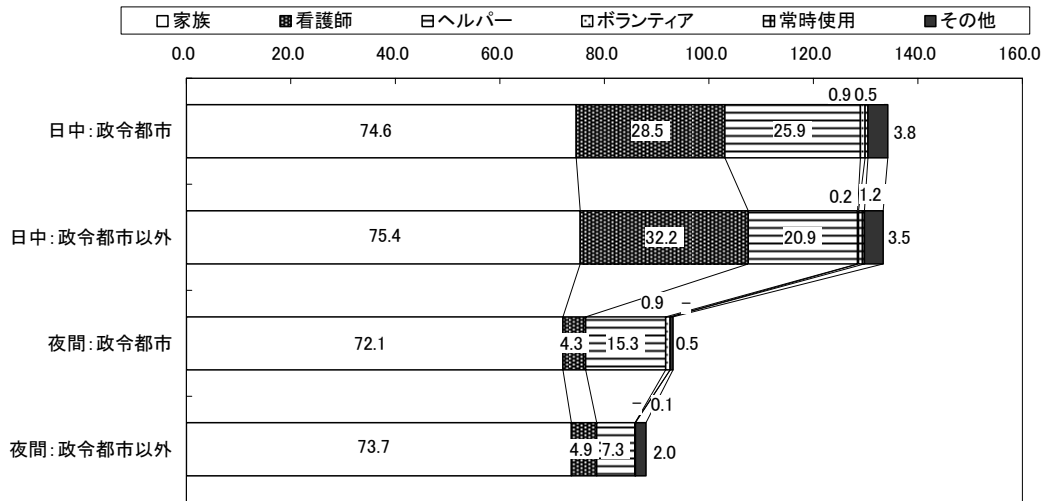
b. 都市種別における吸引者

政令都市・政令都市以外のクロス集計を行った結果が以下のとおりである。

家族の割合は政令市・政令市以外の日中・夜間とも同程度である。

日中での政令都市と政令都市以外を比較すると政令都市のほうが、看護師の占める割合が低く、ヘルパーの占める割合が高い。夜間では、看護師は同程度だが、ヘルパーの占める割合が政令都市以外が低くなっている。

問19. 人工呼吸器等の装着者 × 都市種別



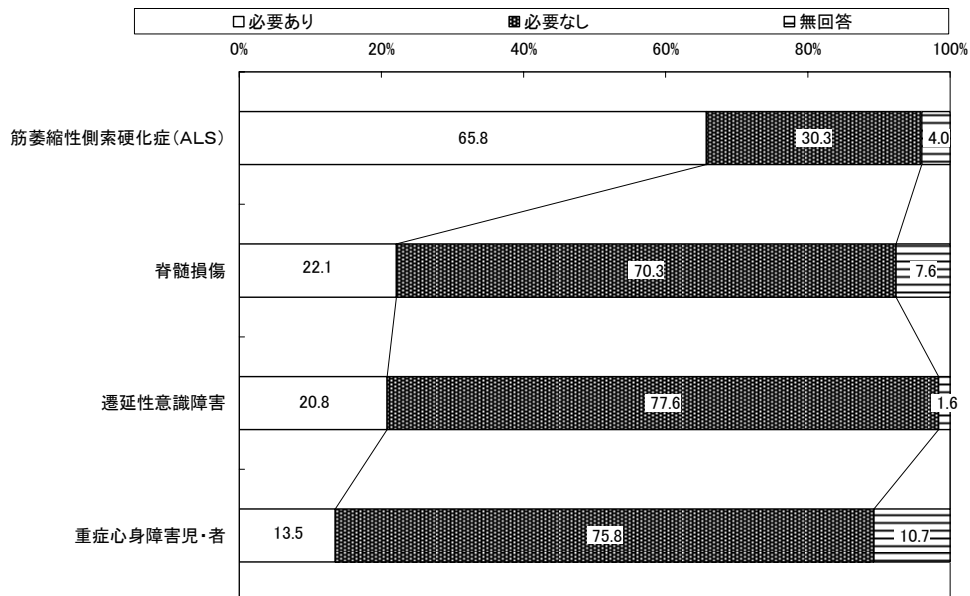
(7) 医療的ケアにおける呼吸器等の使用について (問 19)

①呼吸器等の必要性

全体では呼吸器等が必要だと回答した割合は40.3%で、53.3%は必要ない結果となった。

筋萎縮性側索硬化症 (ALS) は必要ありの割合が最も高い。

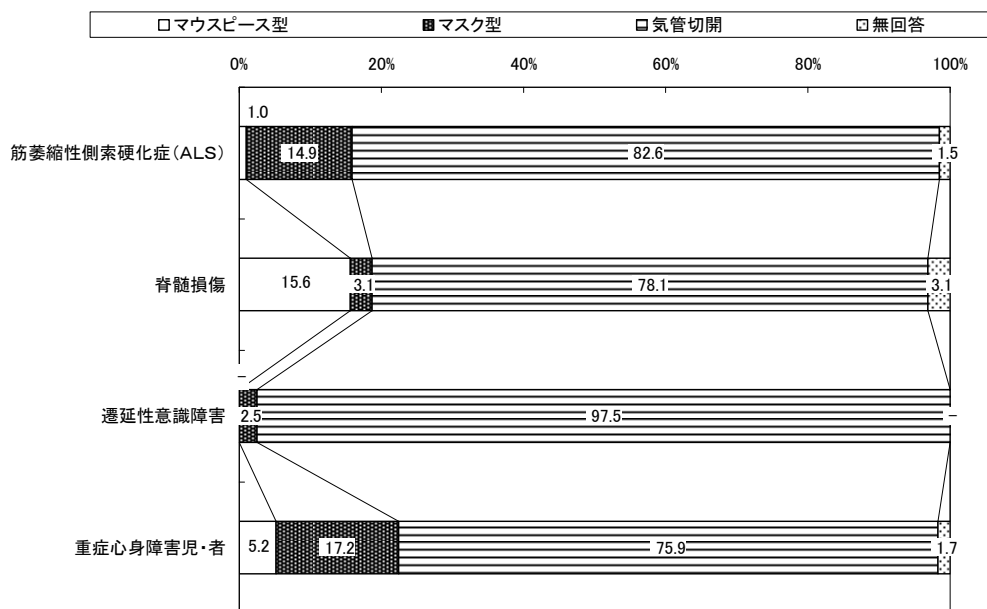
問19. 人工呼吸の必要性 × 問6. 病名



②呼吸器等の使用（問 19）

いずれも気管切開が最も多い割合を占めている。脊髄損傷は他と比べてマウスピース型の使用が最も多い割合となっている。筋萎縮性側索硬化症（ALS）と重症心身障害児・者はマスク型を使用している割合が多くっている。

問19. 呼吸器の種類 × 問6. 病名



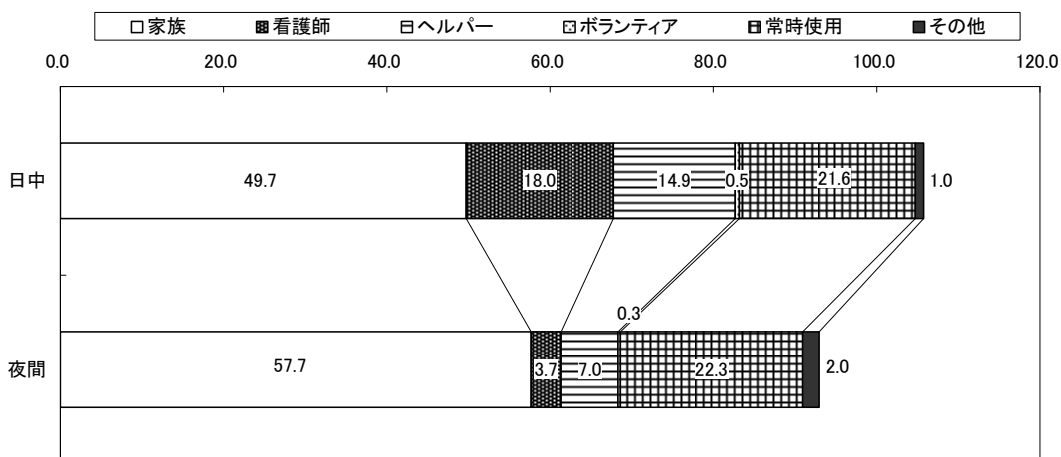
③呼吸器等の使用状況（問 19）

時間帯別の呼吸器等の使用状況をみると、20～8時台（夜間～深夜～早朝）は、マスク型の使用が多くなる傾向がみられた。

④呼吸器等の装着を行っている者（問 19）

a. 日中・夜間別人工呼吸器等の装着者

日中・夜間を比較すると、日中より夜間のほうが家族の割合が増え、看護師・ヘルパーの割合は大きく減っている。

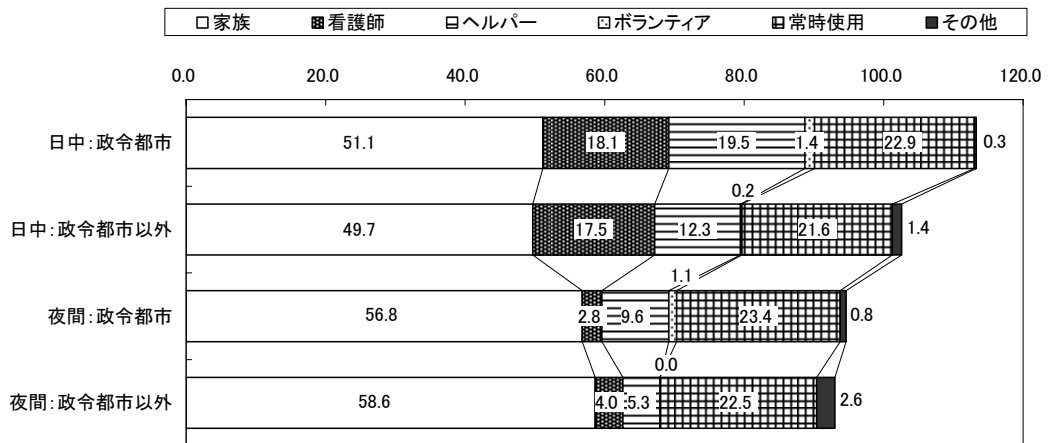


c. 日中・夜間別人工呼吸器等の装着者（都市種別）

政令都市・政令都市以外のクロス集計を行った結果が以下のとおりである。

日中をみると、家族、看護師の割合は同程度だが、政令都市より政令都市以外のほうがヘルパーの割合が低くなっている。夜間をみると、家族の割合が政令都市以外のほうが若干低くなっており、看護師の割合は政令都市のほうが低くなっている反面、ヘルパーの割合は政令都市のほうが高くなっている。

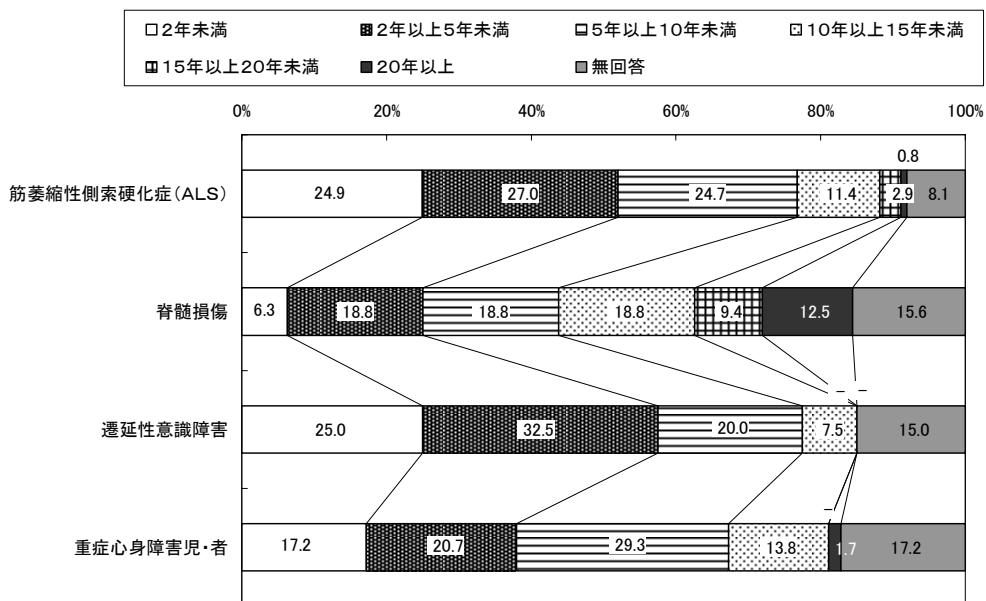
問19. 呼吸器等装着者 × 都市種別



⑤呼吸器等の使用期間（問19）

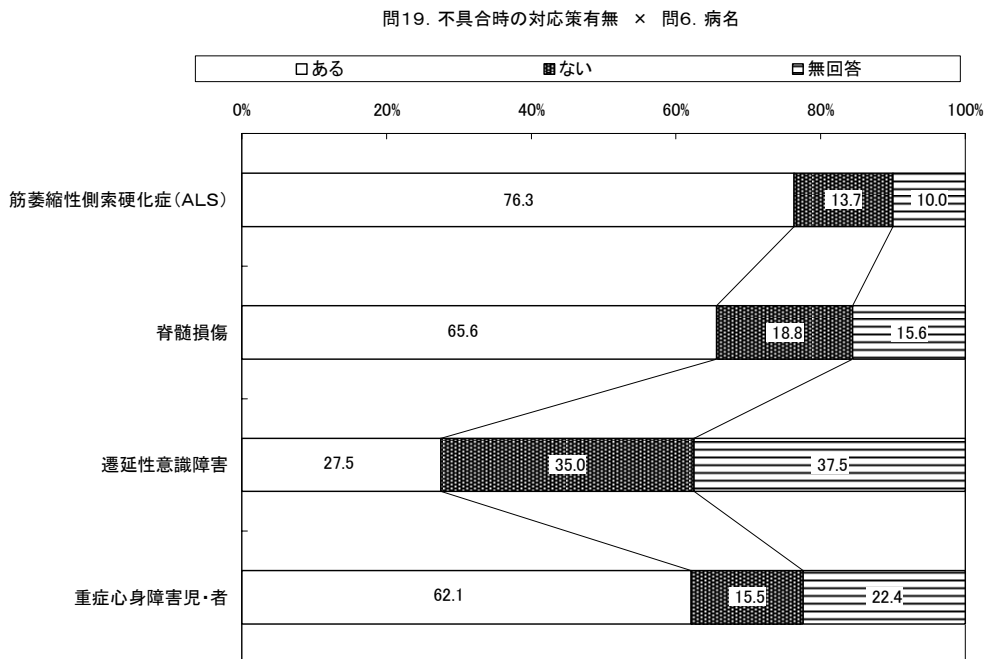
筋萎縮性側索硬化症（ALS）は2年未満の割合が高く、脊髄損傷、重症心身障害児・者は長期間にわたっている傾向がみられる。

問19. 呼吸器等の使用期間 × 問6. 病名



⑥人工呼吸器等の不具合時のマニュアル・対応策等の有無（問19）

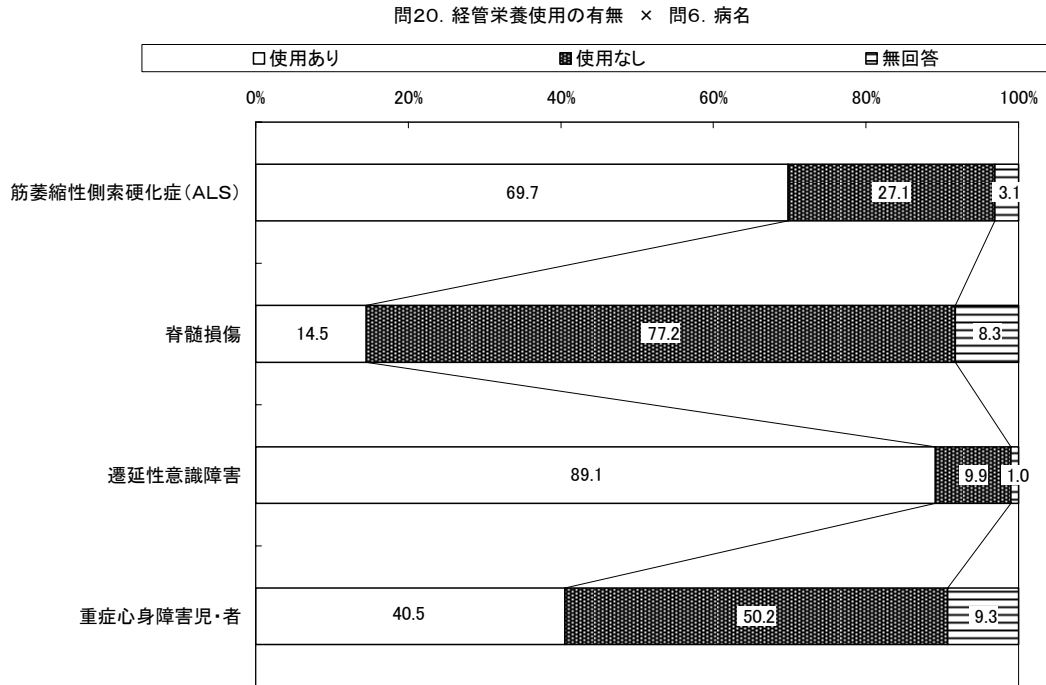
人工呼吸器等の不具合時のマニュアル・対応策が「ある」割合は、筋萎縮性側索硬化症（ALS）は約8割、脊髄損傷、重症心身障害児・者は6割を超える割合を結果となっている。遷延性意識障害は27.5%と低い割合を示している。



(8) 医療的ケアにおける経管栄養について（問20）

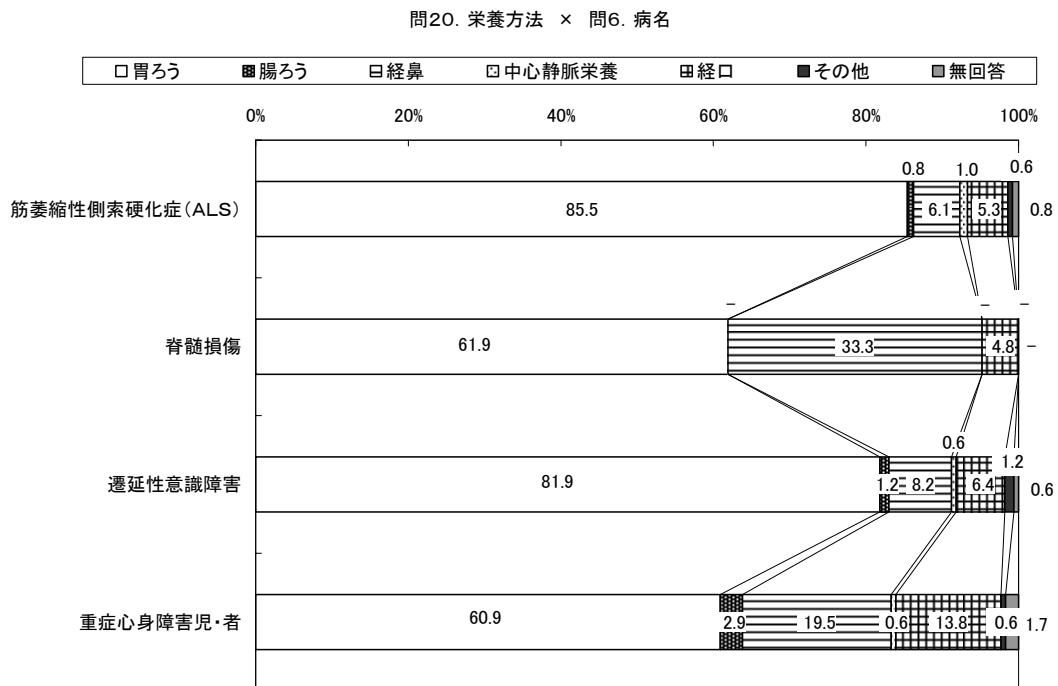
① 経管栄養の使用

筋萎縮性側索硬化症（ALS）と遷延性意識障害が経管栄養を使用している割合が高い傾向となっている。



② 栄養方法

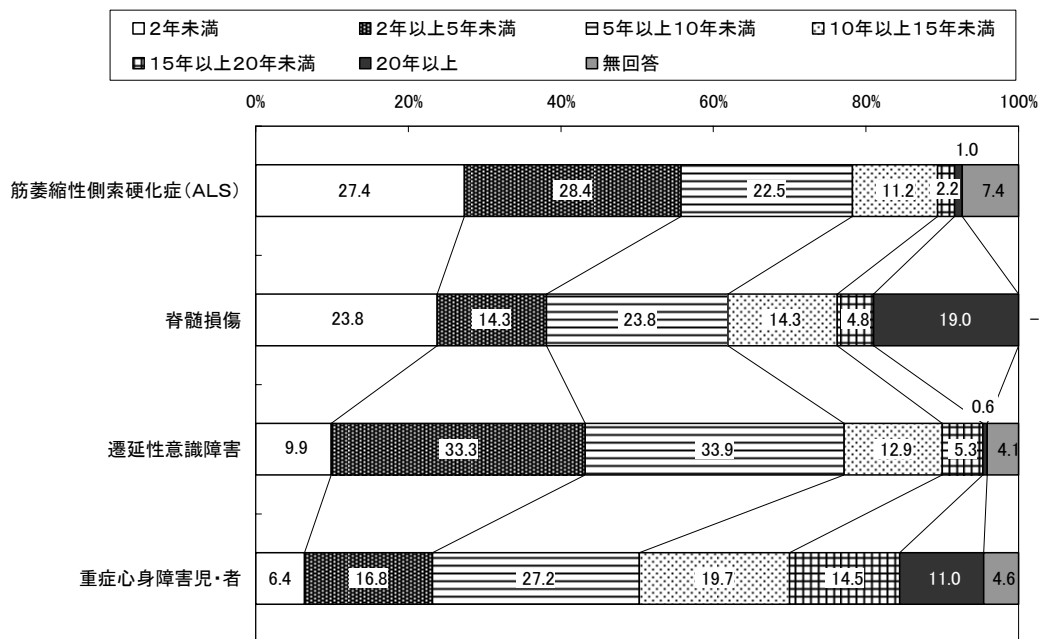
いずれの病名でも胃ろうが最も多い割合を占めている。



③経管栄養の期間

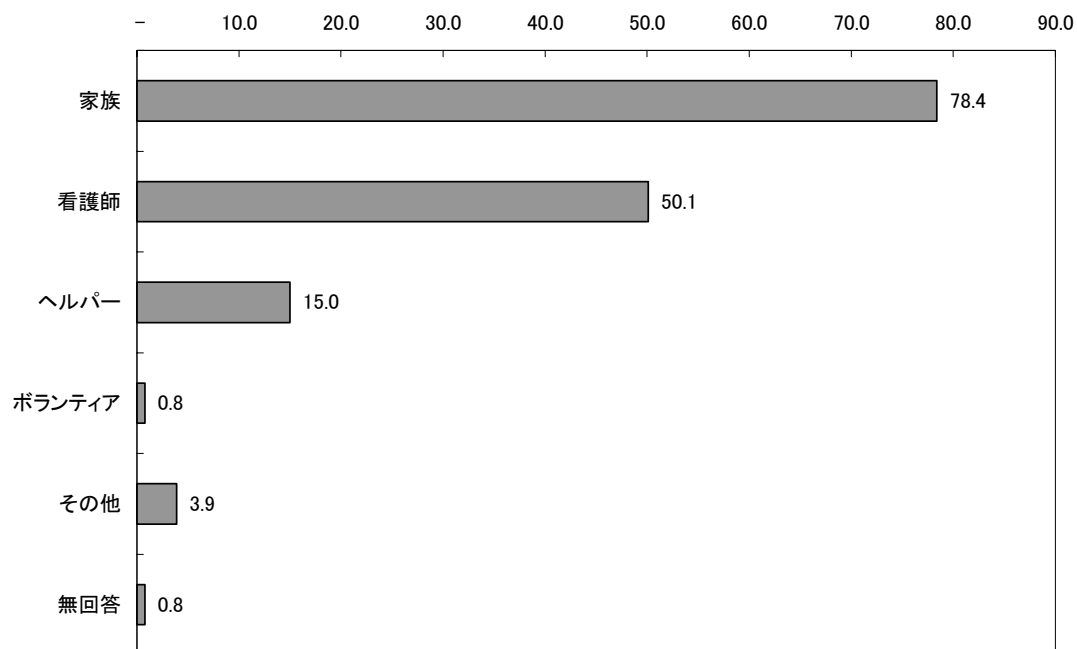
重症心身障害児・者は長期間にわたっている傾向がみられる。

問20. 経管栄養の期間 × 問6. 病名



④経管栄養注入を行っている者

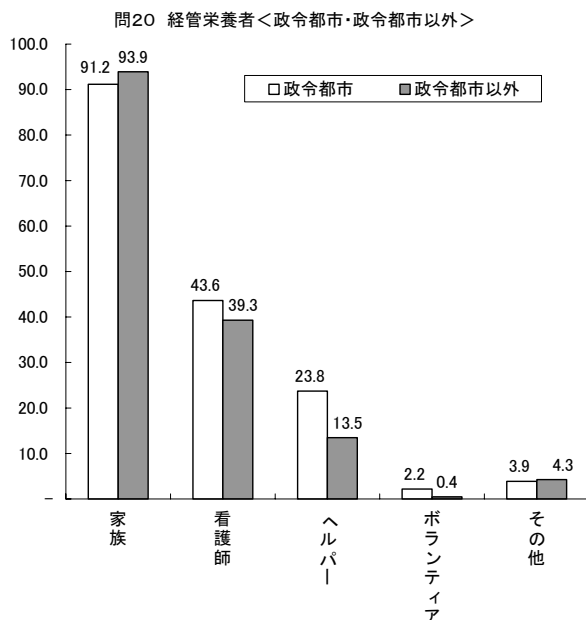
経管栄養注入を行っている者で最も多かったのは「家族」で78.4%、次いで「看護師」が50.1%となっている。病名別も同様の傾向がみられた。



a. 都市種別

政令都市・政令都市以外のクロス集計を行った結果が以下のとおりである。

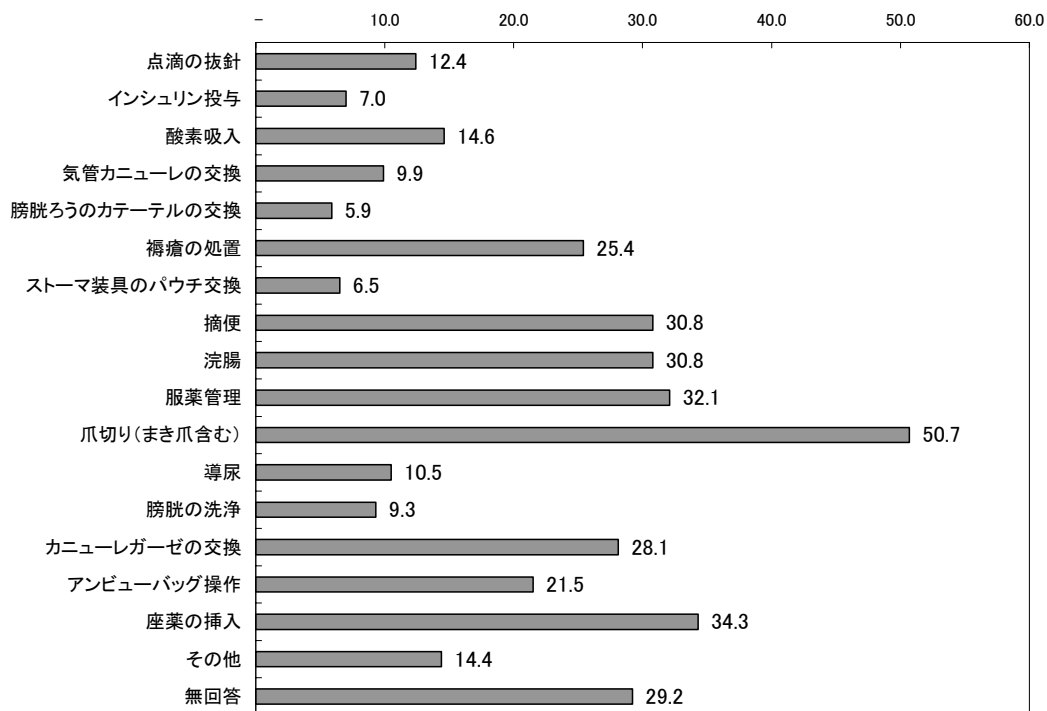
家族は政令都市以外のほうが、若干高い。看護師・ヘルパーは政令都市のほうが高く、ヘルパーでは、政令都市と政令都市以外の差が大きく開く結果となった。



(9) 希望するヘルパーの医療的ケアについて (問 21)

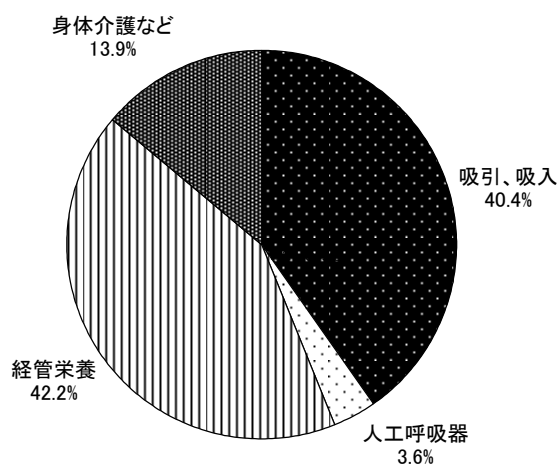
最も多かったのは「爪切り (まき爪含む)」で、次いで「座薬の挿入」、「服薬管理」、「排便」、「浣腸」となっている。

その他では、痰の吸引や経管栄養について多くあげられた。



<希望する医療的ケア：その他回答>

その他に回答された中で、経管栄養についてが42.2%、吸引、吸入についてが40.4%、人工呼吸器についてが3.6%となった。



問21. ヘルパーに望む医療的ケア行為のその他

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	吸引、吸入	90	40.4
2	人工呼吸器	8	3.6
3	経管栄養	94	42.2
4	身体介護など	31	13.9
	N (%ベース)	223	100

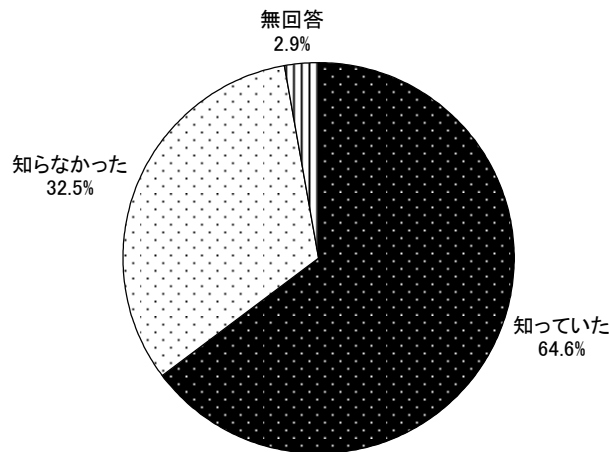
3. 障害者ご本人の福祉サービスの利用状況

(1) 介護保険と障害者自立支援法によるサービスの併用（問 22）

① 介護保険と障害者自立支援法によるサービスの併用の認知

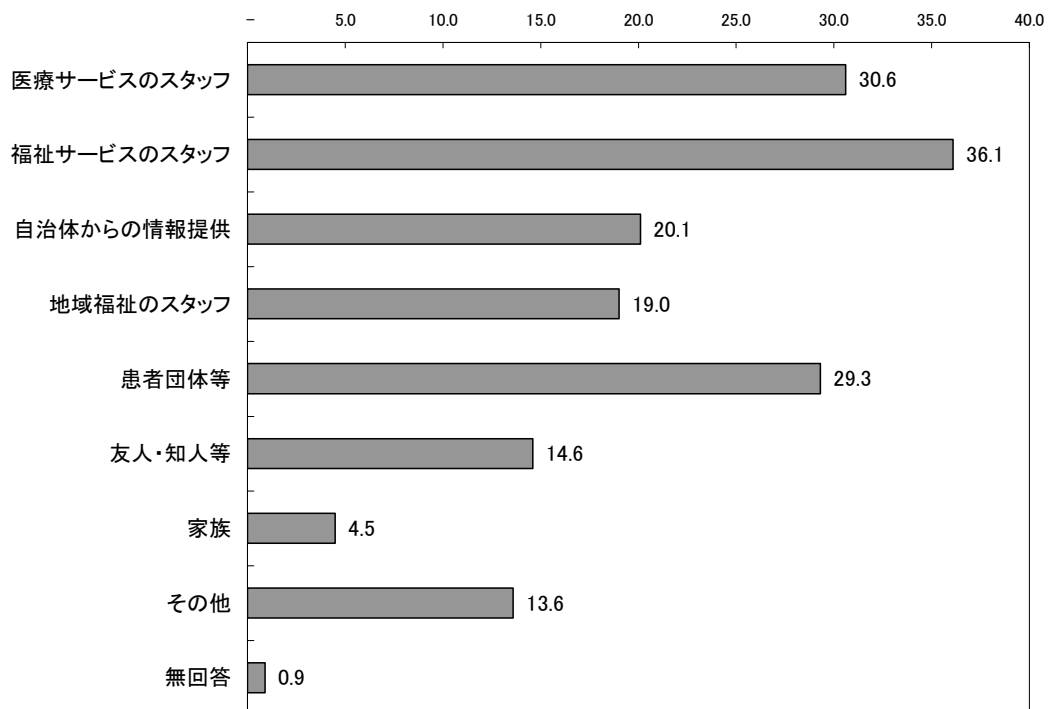
65 歳以上、病名が筋萎縮性側索硬化症の場合は 40 歳以上を対象に、なおかつ在宅者であり、身体障害者手帳保持者で集計した結果が以下のとおりである。

「知っていた」が「知らなかった」をうわまわり、64.6%の結果となった。



② 併用を認知した情報源

最も多かったのは「福祉サービスのスタッフ」、次いで「医療サービスのスタッフ」、「患者団体等」となっている。「その他」では、インターネットが多くあげられている。

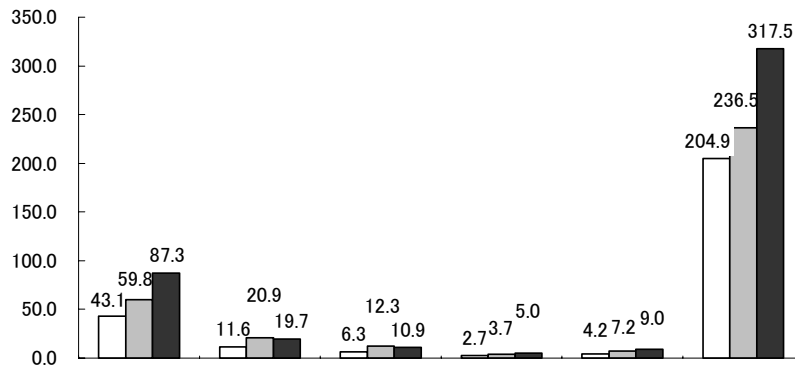


(4) 利用しているサービスの利用量、支給決定量、給付を希望する量（問 25）

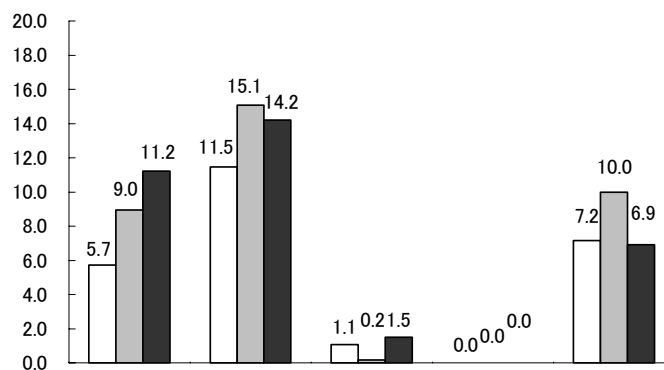
① 障害者自立支援法の個別給付によるサービス

障害者自立支援法による個別給付のサービスの利用量・支給決定量・希望する量、それぞれの平均値が下表である。

自立訓練サービス以外は、いずれも利用量が支給決定量を下回っており、居宅介護(身体介護)、居宅介護(通院等乗降介助)、行動援護、重度訪問介護は支給決定量も希望量を下回っている。



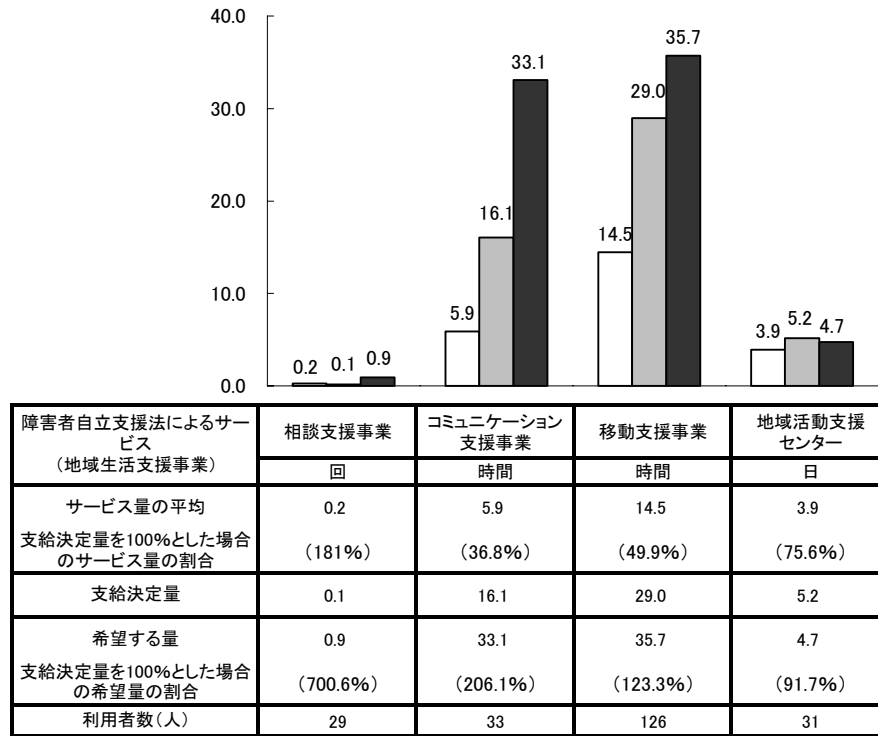
	居宅介護 (身体介護) 時間	居宅介護 (家事援助) 時間	居宅介護 (通院等介助) 時間	居宅介護 (通院等乗降介助) 回	行動援護 時間	重度訪問介護 時間
サービスの平均値	43.1	11.6	6.3	2.7	4.2	204.9
支給決定量を100%とした場合のサービスの割合	(72.1%)	(55.5%)	(51.2%)	(71.7%)	(57.6%)	(86.6%)
支給決定量の平均値	59.8	20.9	12.3	3.7	7.2	236.5
希望する量の平均値	87.3	19.7	10.9	5.0	9.0	317.5
支給決定量を100%とした場合の希望量の割合	(146%)	(94.3%)	(88.4%)	(135.9%)	(125.1%)	(134.2%)
利用者数(人)	354	98	90	52	50	202



	重度障害者等 包括支援 時間	生活介護 時間	自立訓練 時間	就労移行支援 時間	旧法施設支援 時間
サービスの平均値	5.7	11.5	1.1	0.0	7.2
支給決定量を100%とした場合のサービスの割合	(63.9%)	(76%)	(675.5%)	-	(71.5%)
支給決定量の平均値	9.0	15.1	0.2	0.0	10.0
希望する量の平均値	11.2	14.2	1.5	0.0	6.9
支給決定量を100%とした場合の希望量の割合	(125.4%)	(94.1%)	(950%)	-	(69.1%)
利用者数(人)	134	188	31	27	53

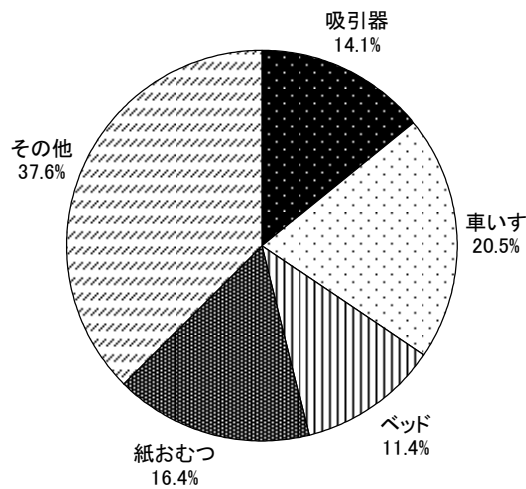
②障害者自立支援法の地域生活支援事業によるサービス

障害者自立支援法による地域生活支援事業のサービスの利用状況をみると、コミュニケーション支援事業の利用量が支給決定量を下回っており、支給決定量の2倍の希望量となっている。また、移動支援事業も同様に利用量が支給決定量を下回っており、支給決定量も希望する量には達していない。



日常生活用具等給付事業の品目

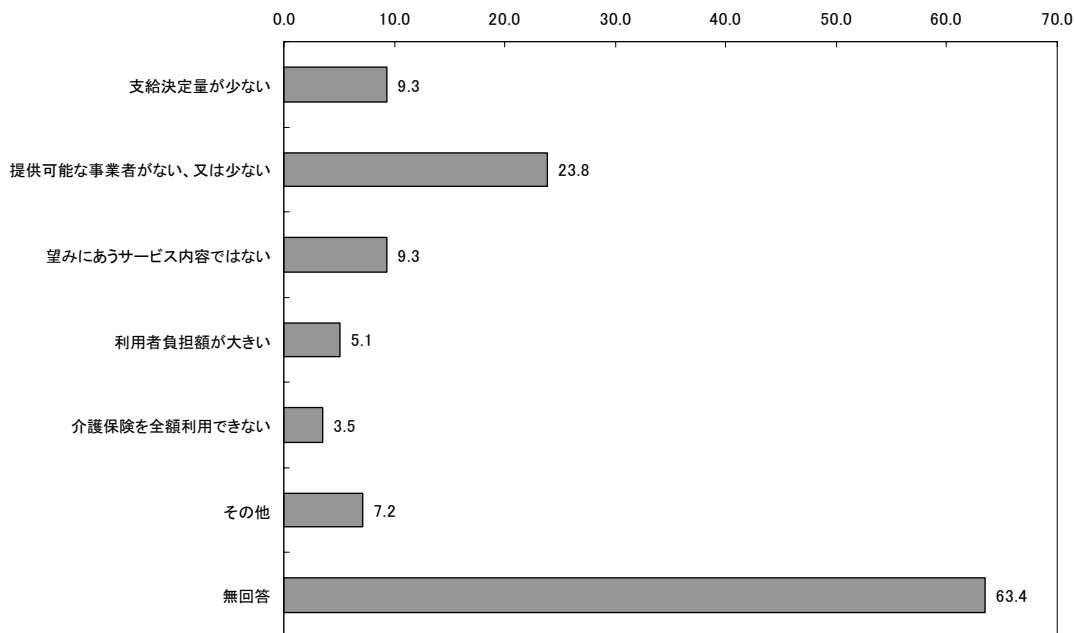
日常生活用具等給付品目では、吸引器や車いす、紙おむつなどが多くあげられた。



③障害者自立支援法によるサービスの阻害要因

a. 阻害要因

障害者自立支援法によるサービスの使いたいが使えない理由では、「提供可能な事業者がない又は少ない」が最も多く 23.8%となった。次いで、「支給決定量が少ない」が 9.3%となっている。



問25. 障害者自立支援法サービスの利用阻害要因その他

No.	カテゴリ	件数
1	制度、サービス内容がわからない	20
2	現状で十分である	8
3	現在検討中、申請中である	4
4	本人が希望しないため	3
5	入院中のため	9
6	その他	10

c. 提供可能な事業者がない又は少ないの詳細理由

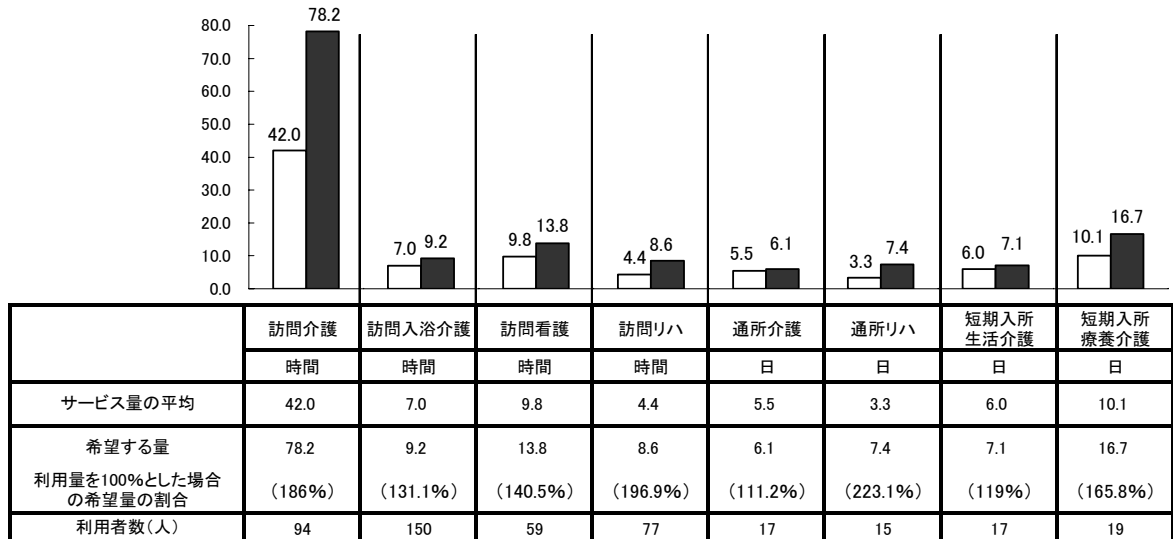
最も多かった「提供可能な事業者がない又は少ない」をみると、医療的ケア・長時間・夜間とも同程度の傾向がみられた。その他の理由として、短期入所施設が不足していることや事業者の人手不足などが多くあげられた。

問25. 阻害要因<2.提供可能な事業者がない、又は少ない>その他

No.	カテゴリ	件数
1	土日利用ができない、又は少ない	5
2	緊急時対応できない	6
3	送迎、移動ができない	5
4	短期入所施設がない、又は少ない	14
5	事業者の人手不足、技術不足	9
6	予約が必要など、希望する時に利用できない	5
7	指定を受けていない	1
8	単価が安く対応してくれない	4
9	その他	14

④介護保険によるサービス

介護保険によるサービスの利用量・支給決定量・希望する量、それぞれの平均値が下表である。いずれのサービスも利用量が希望する量を下回っており、訪問介護、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション、短期入所療養介護はその差が大きく開く結果となった。



	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハ	通所介護	通所リハ	短期入所生活介護	短期入所療養介護
	時間	時間	時間	時間	日	日	日	日
サービス量の平均	42.0	7.0	9.8	4.4	5.5	3.3	6.0	10.1
希望する量	78.2	9.2	13.8	8.6	6.1	7.4	7.1	16.7
利用量を100%とした場合の希望量の割合	(186%)	(131.1%)	(140.5%)	(196.9%)	(111.2%)	(223.1%)	(119%)	(165.8%)
利用者数(人)	94	150	59	77	17	15	17	19

⑤介護保険によるサービスの阻害要因

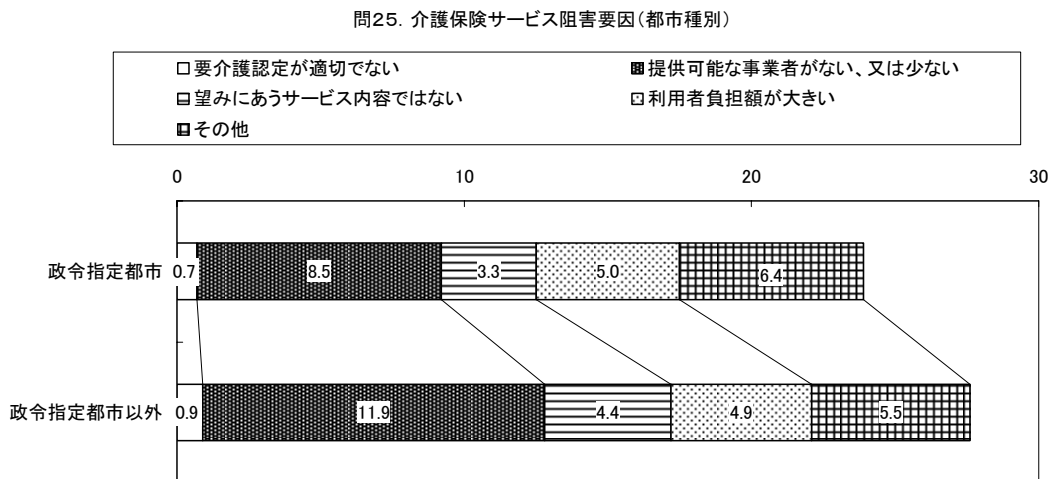
介護保険によるサービスのうち、使いたいが使えない理由では、「提供可能な事業者がない又は少ない」が最も多く10.9%となった。その他の理由として、年齢や特定疾病などの利用要件に達していないことや入院中のための他、利用限度を超えてしまっているためなどがあげられた。

問25-30-1-1. 介護保険サービスの利用阻害要因その他

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	利用要件に達していない	8	12.7
2	わからないから	2	3.2
3	入院中のため	11	17.5
4	疾病に対する認知・理解がない	3	4.8
5	限度を超えてしまっているため	6	9.5
6	利用できる量が少ない	4	6.3
7	連続した時間で利用できない	4	6.3
8	入所・通所施設が少ない	7	11.1
9	訪問入浴事業者がない	1	1.6
10	訪問看護事業者がない	1	1.6
11	ヘルパーの質に問題があるため	2	3.2
12	その他	14	22.2

a. 介護保険によるサービスの阻害要因（都市種別）

都市種別でみると、「提供可能な事業者がない、又は少ない」が最も多く、政令都市以外のほうが、その割合は高くなっている。



b. 提供可能な事業者がない又は少ない詳細理由

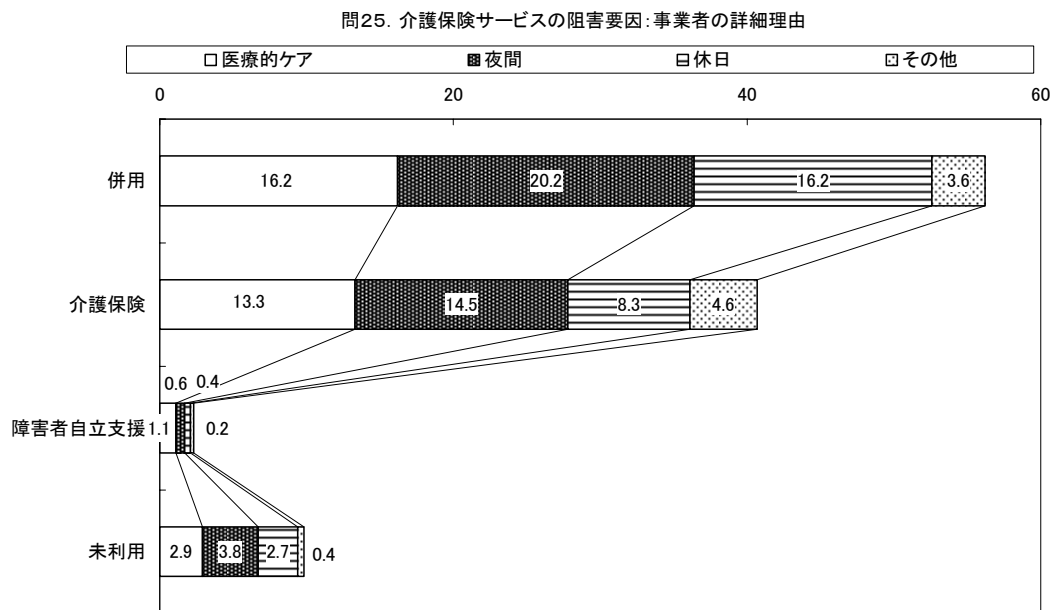
最も多かった「提供可能な事業者がない又は少ない」をみると、医療的ケア・夜間・休日とも同程度の傾向がみられた。その他の理由として、医療的ケア以外には、緊急時に利用できない、早朝や朝に利用できないなどがあげられた。

問25-30-2-1. 阻害要因<2.提供可能な事業者がない、又は少ない>その他

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	吸引ができない	5	25.0
2	人工呼吸器に対応できない	2	10.0
3	早朝、朝に利用できない	2	10.0
4	緊急時に利用できない	5	25.0
5	特定疾病に対応できていない	1	5.0
6	小児に対応できない	1	5.0
7	短期入所施設がない	1	5.0
8	年末年始に利用できない	1	5.0
9	その他	2	10.0

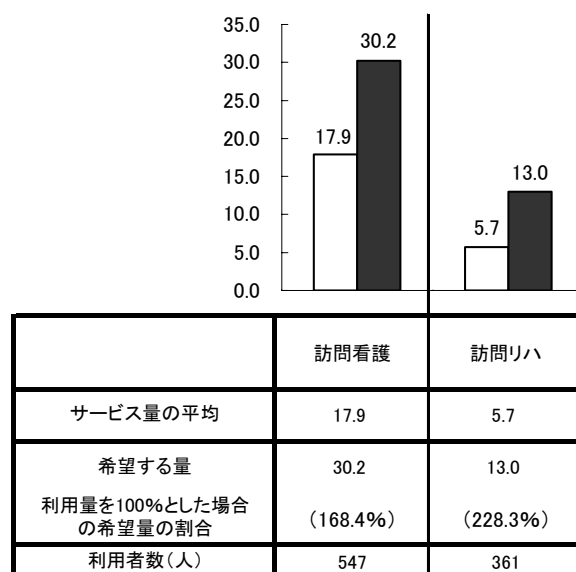
b. 提供可能な事業者がない又は少ない詳細理由（利用種別）

介護保険サービスで医療的ケアや夜間サービスが提供可能な事業者が少ない結果となっている。



⑥医療保険によるサービス

医療保険によるサービスの利用量・支給決定量・希望する量、それぞれの平均値が下表である。「訪問看護」「訪問リハ」とともに実際の利用量と希望する量の差が大きい傾向がみられた。



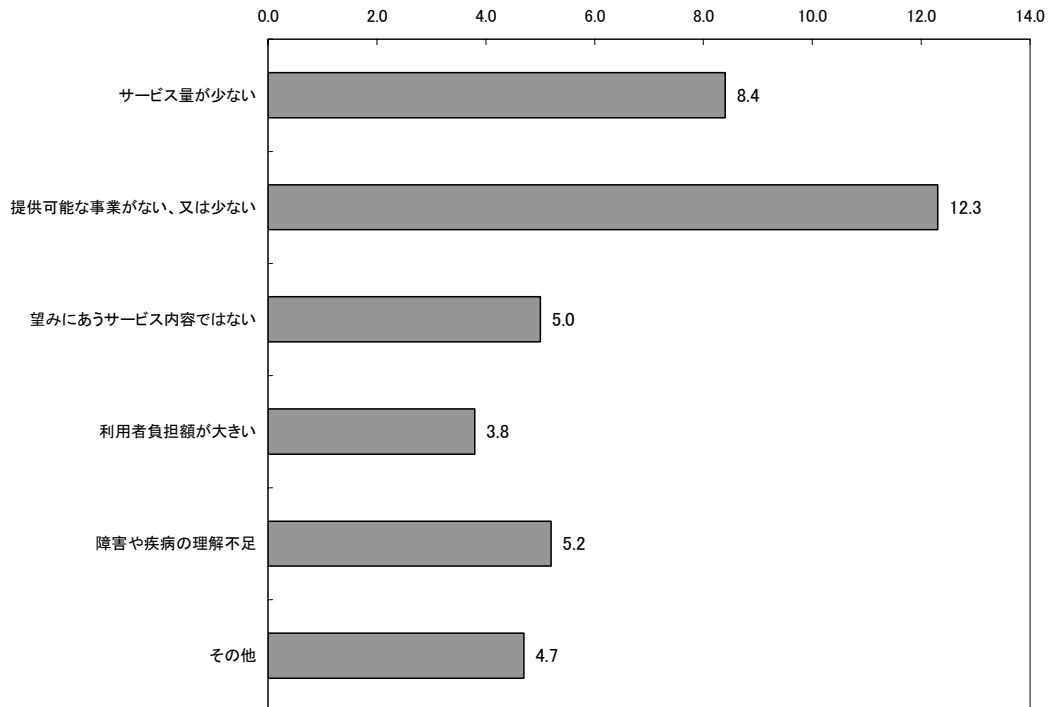
問25.【医療】■その他の医療保険サービス

(MA)

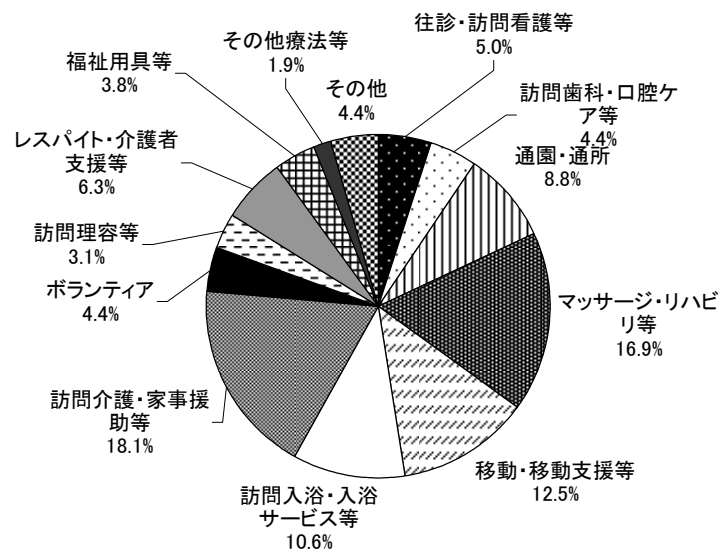
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	訪問診療	48	32.2
2	訪問歯科(口腔ケア)	16	10.7
3	訪問リハビリマッサージ、鍼灸	63	42.3
4	通院リハビリ	9	6.0
5	デイサービス	2	1.3
6	レスパイト入院	6	4.0
7	居宅療養管理	2	1.3
8	その他	3	2.0

⑦医療保険によるサービスの阻害要因

医療保険によるサービスの使いたいが使えない理由では、「提供可能な事業者がない又は少ない」が最も多く12.3%となった。



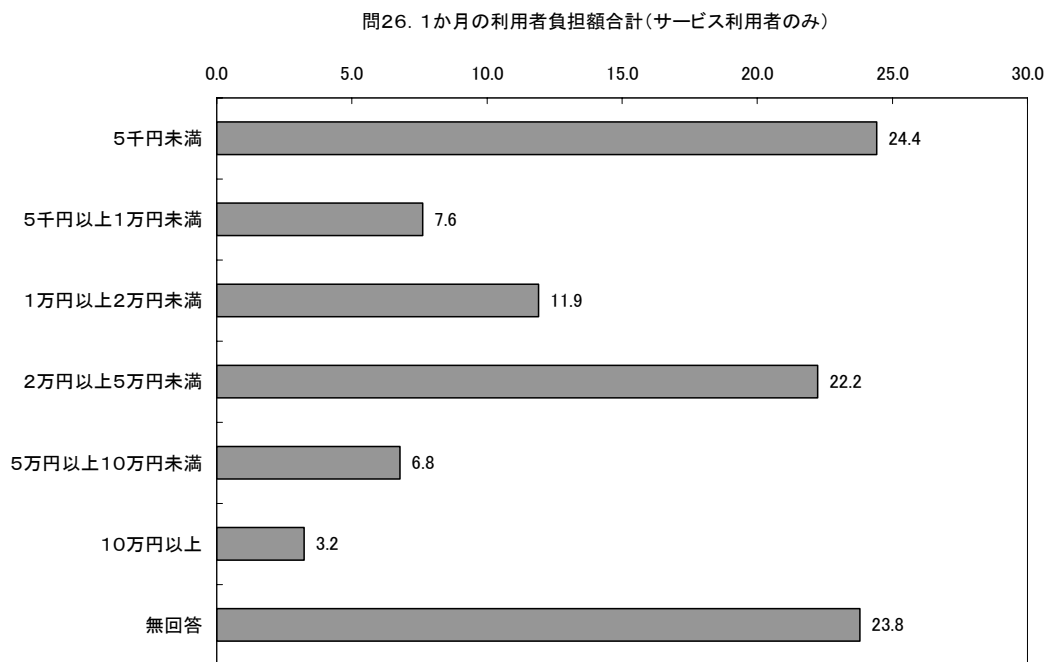
⑧その他のサービス（公的なサービスも含む）



(5) サービス種別ごとの利用者負担額（問 26）

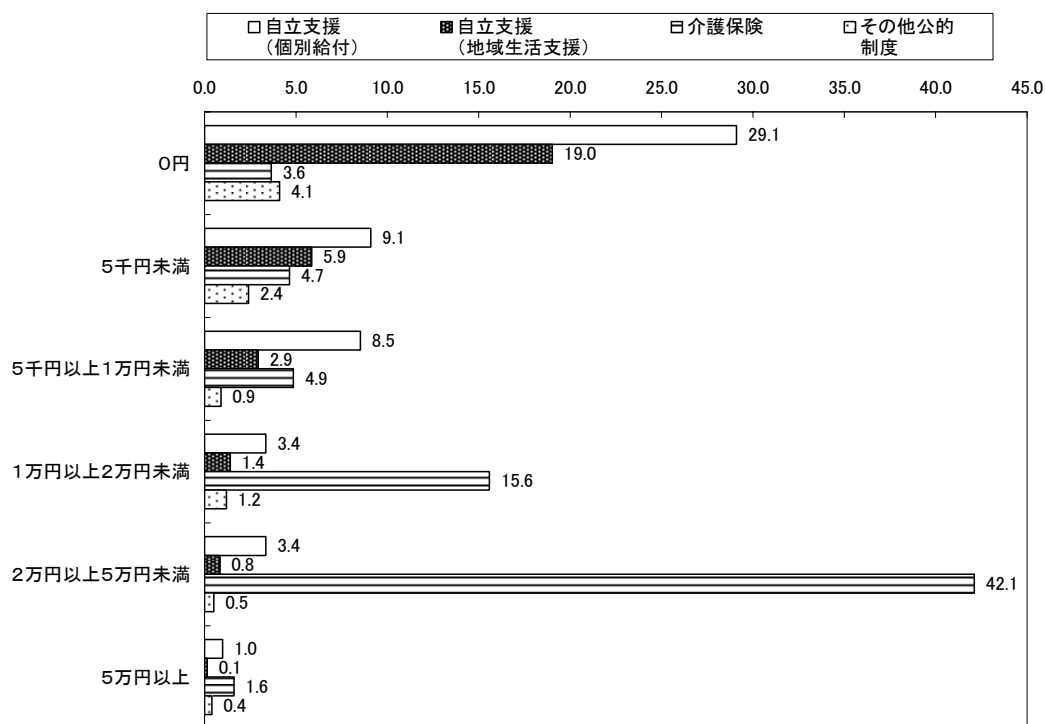
① 1か月の利用者負担額

全体では、1か月の利用者負担額の合計で最も多かったのは「5千円未満」17.9%、次いで「2万円～5万円未満」が16.1%となっている。問25で何れかのサービス利用量に回答があった958件を対象に絞り込んだ結果が以下である。



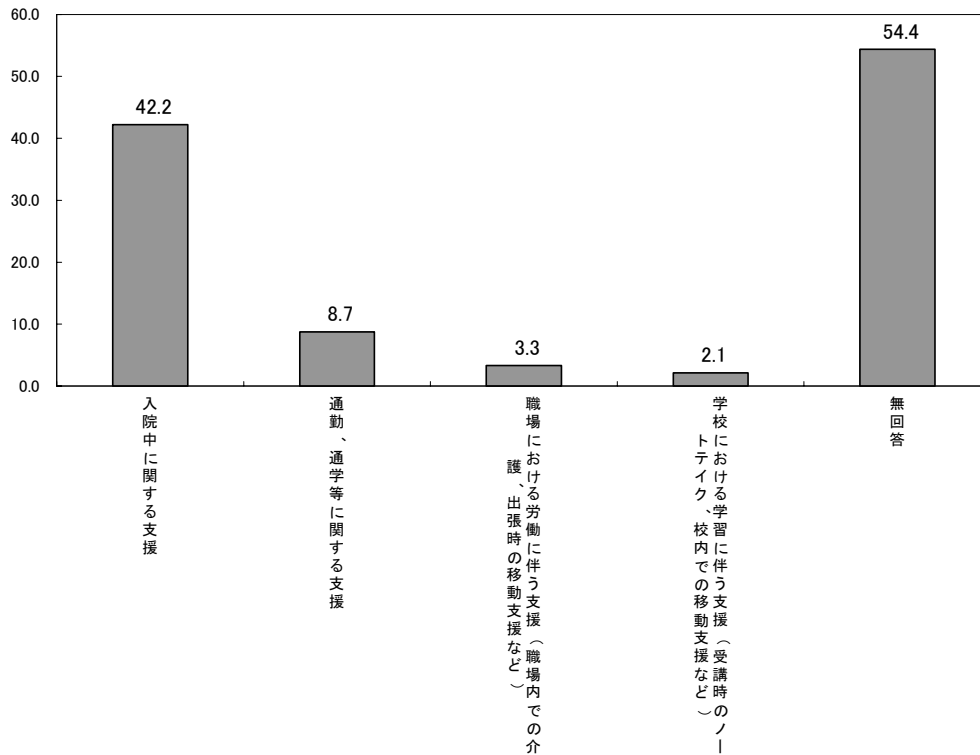
② サービス種別ごとの1か月の利用者負担額

サービス種別ごとにみると、障害者自立支援法サービスよりも介護保険サービスのほうが自己負担額が高額になっている。



(6) 介護保険法や障害者自立支援法の制度外サービスで希望するサービス（問 27）

希望するサービスで最も多かったのは、「入院中に関する支援」42.2%、次いで「通勤、通学に関する支援」が8.7%となった。



上記以外の支援、希望するサービスにおけるその他には、ストレッチャー使用時の介護タクシー費用が高額になることや遠方までの通院等にかかるガソリン代の補助などの通院・通所時の支援、また、入院中も在宅と同様のヘルパー利用が必要、入院中の日用生活用具の給付など、入院中・入所中支援などが多くあげられている。

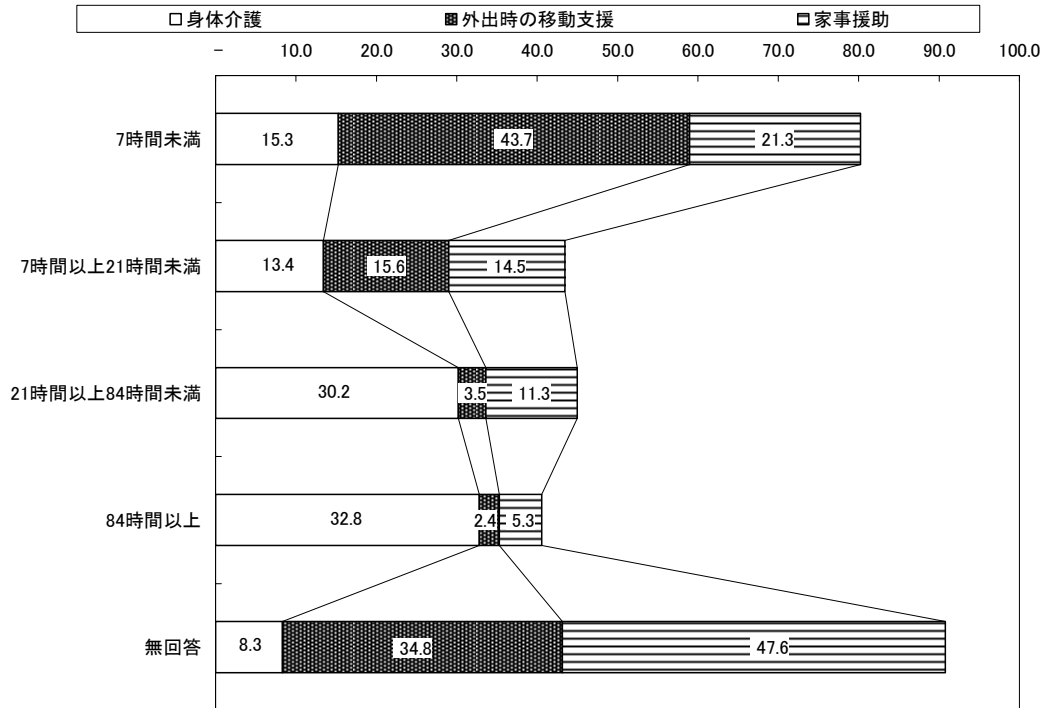
入所・入院施設、サービス事業所やヘルパー・介護職等の資源不足や、緊急時・夜間などのサービス利用、またレスパイト入院に対する希望などがあげられた。

4. 障害者ご本人の家族介護の実態

(1) 家族介護の時間（問 28）

1 週間の家族介護時間の回答の内、身体介護、外出時の移動支援、家事援助の全て未記入の回答を除外した結果が以下のとおりである。

外出時の移動支援や家事援助は短時間が多い傾向がみられ、身体介護は長時間が多い傾向がみられる。

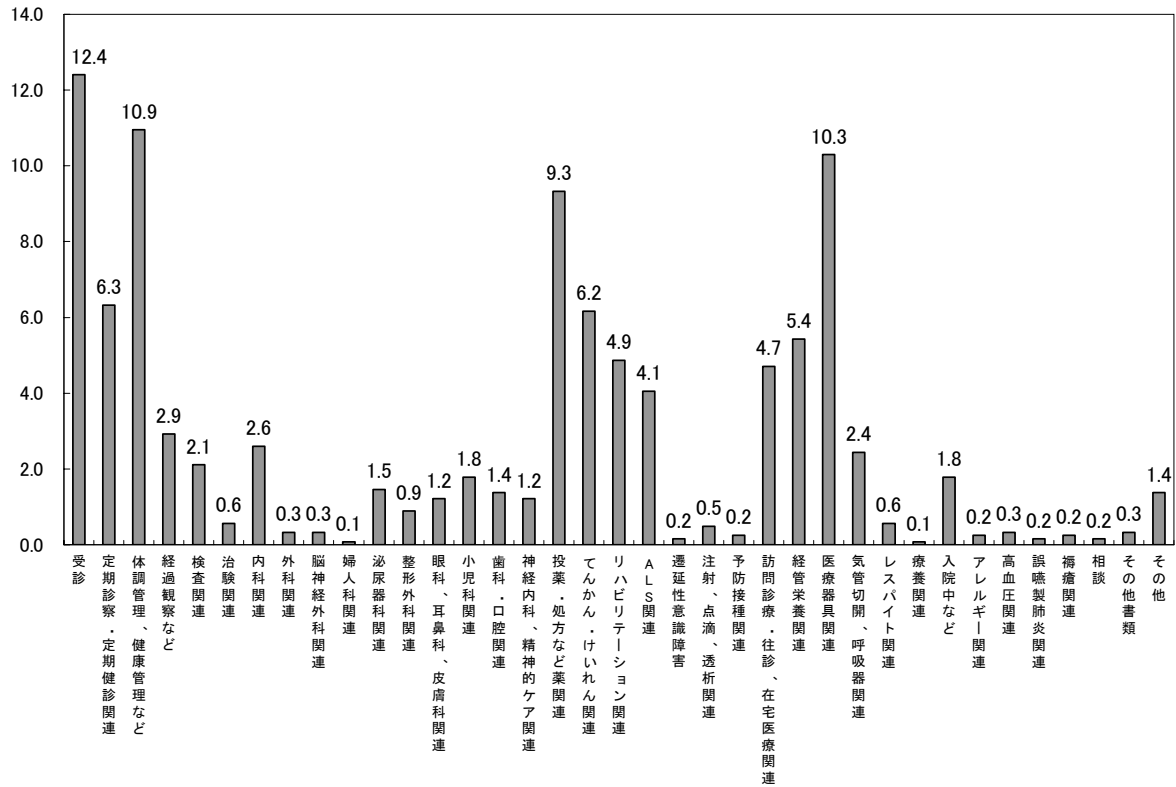


5. 障害者ご本人の医療費

(1) かかりつけ病院・診療所について (問 29)

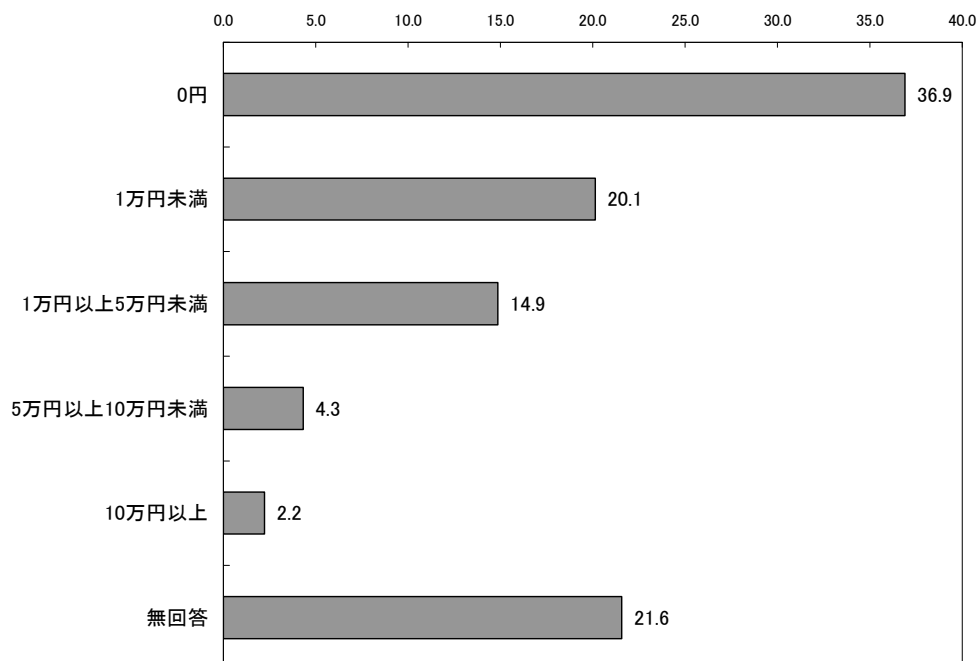
① 主な受診目的 (問 30)

主な受診目的では、風邪などの治療をはじめとする受診が 12.4%と最も多く、次いで体調管理等の 10.9%、気管カニューレ交換などの医療器具関連が 10.3%などが多くあげられた。



② 1か月の医療費負担額 (問 31)

医療保険サービス利用者の医療費負担額は、0円が最も多く 36.9%を占めている。



第三章 訪問系サービス利用者におけるサービス 利用状況等に関する実態調査結果

第一節 調査概要（再掲）

1. 調査票の発送・回収・返送の概要

・調査対象

障害者ご本人、もしくは代理の方

・発送数

発送全数 3,592

社団法人全国脊髄損傷者連合 ----- 325

全国遷延性意識障害者・家族の会 ----- 360

日本 ALS 協会 -----1,907

重症心身障害児(者)を守る会 -----1,000

・返送方法

郵送

・回収期日

返送締切り 平成 22 年 12 月 17 日(金)必着

2. 調査票の回収状況

・回収数

回収数 1,482 件(以下、問6病名の回答より)

社団法人全国脊髄損傷者連合 ----- 145

全国遷延性意識障害者・家族の会 ----- 192

日本 ALS 協会 ----- 733

重症心身障害児(者)を守る会 ----- 430

その他 ----- 11

・回収率 41.2%

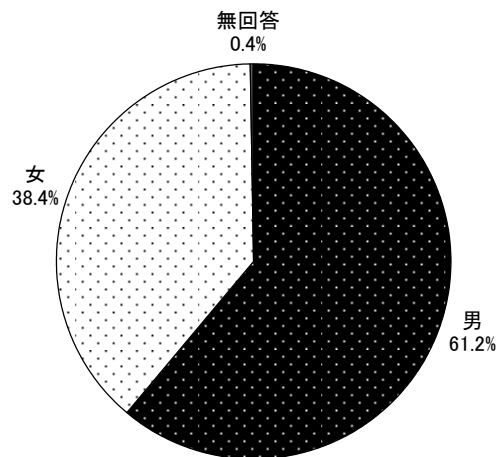
第二節 調査結果

1. 回答者属性

(1) 基本属性

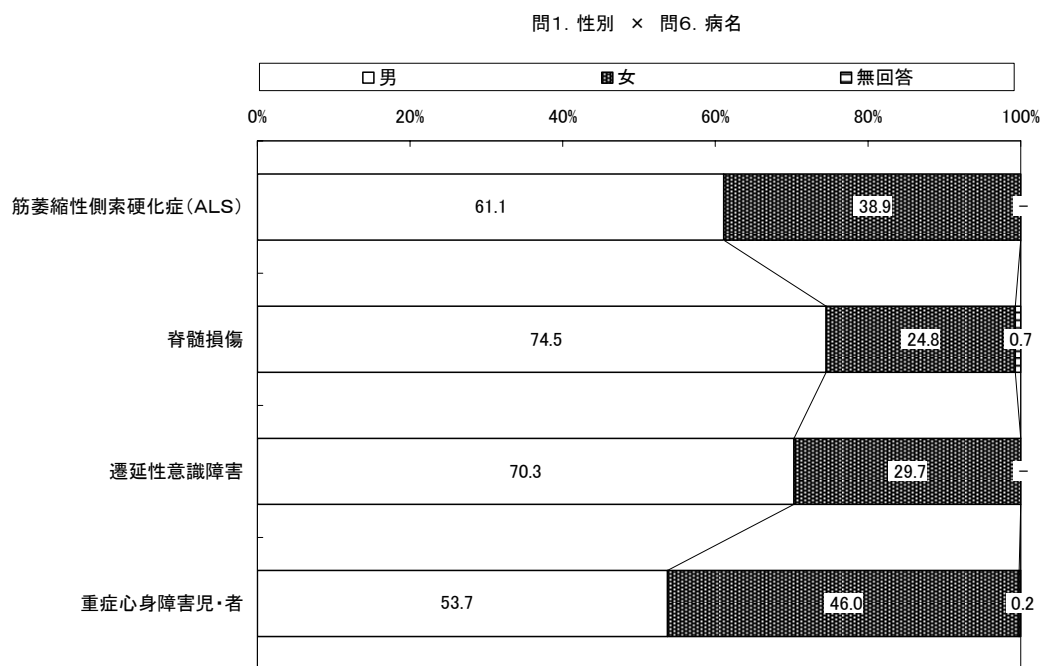
① 男女比（問1）

男性 61.2%、女性 38.4%と男性の多い結果となった。



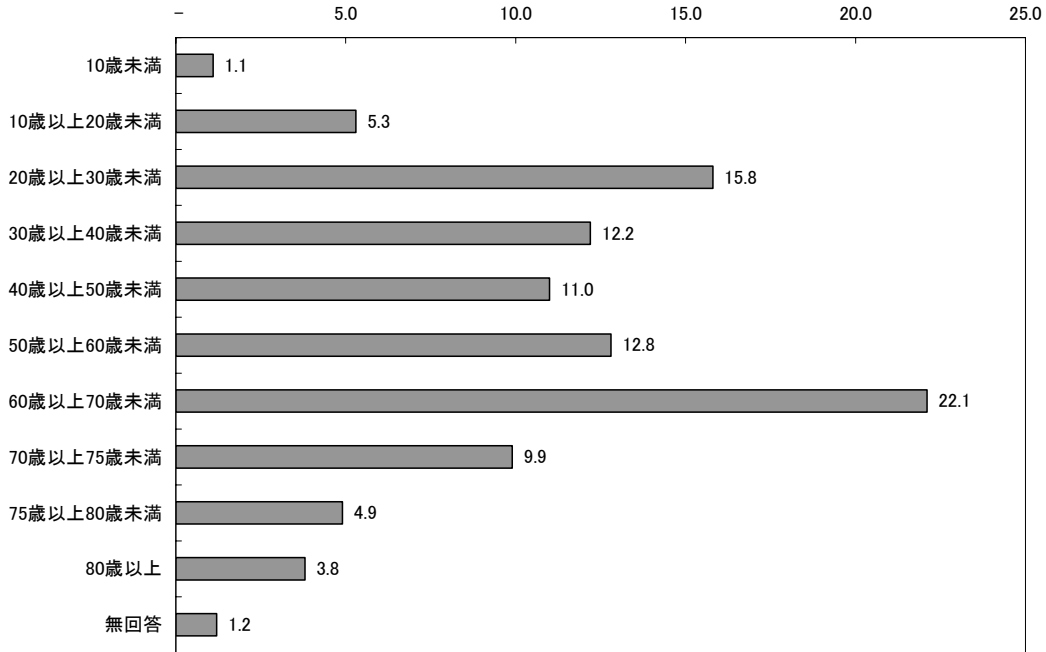
No.	カテゴリ	問1. 性別			
		合計	男	女	無回答
全体		1482	907	569	6
		100.0	61.2	38.4	0.4
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733	448	285	-
		100.0	61.1	38.9	-
	脊髄損傷	145	108	36	1
		100.0	74.5	24.8	0.7
	遷延性意識障害	192	135	57	-
		100.0	70.3	29.7	-
重症心身障害児・者	430	231	198	1	
	100.0	53.7	46.0	0.2	
その他	70	44	25	1	
	100.0	62.9	35.7	1.4	

第三章 訪問系サービス利用者におけるサービス利用状況等に関する実態調査結果



②年齢（問2）

最も多かった年齢層は、「60歳以上70歳未満」の22.1%で、次いで「20歳以上30歳未満」の15.8%となっている。

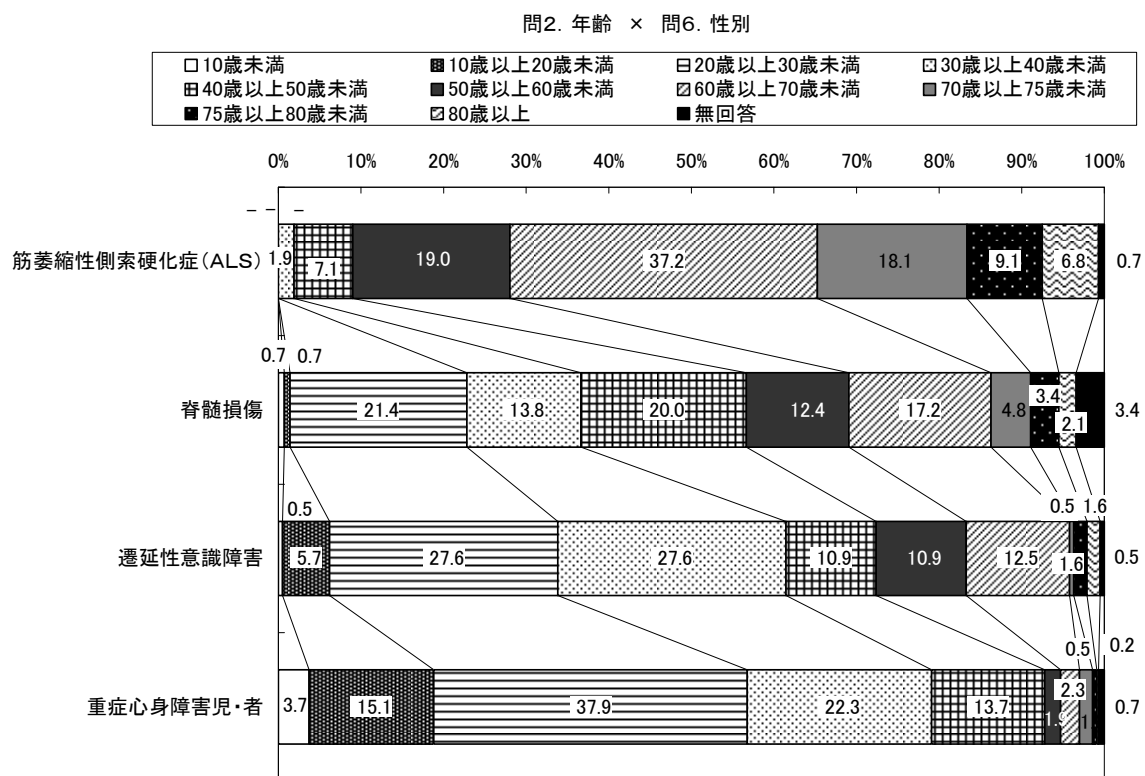


問2. 年齢 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	10歳未満	16	1.1
2	10歳以上20歳未満	78	5.3
3	20歳以上30歳未満	234	15.8
4	30歳以上40歳未満	181	12.2
5	40歳以上50歳未満	163	11.0
6	50歳以上60歳未満	189	12.8
7	60歳以上70歳未満	327	22.1
8	70歳以上75歳未満	147	9.9
9	75歳以上80歳未満	73	4.9
10	80歳以上	56	3.8
	無回答	18	1.2
	N (%へ入)	1482	100

問2. 年齢 × 問6. 病名

上段:度数	下段:%	問2. 年齢											
		合計	10歳未満	10歳以上20歳未満	20歳以上30歳未満	30歳以上40歳未満	40歳以上50歳未満	50歳以上60歳未満	60歳以上70歳未満	70歳以上75歳未満	75歳以上80歳未満	80歳以上	無回答
全体		1482	16	78	234	181	163	189	327	147	73	56	18
		100.0	1.1	5.3	15.8	12.2	11.0	12.8	22.1	9.9	4.9	3.8	1.2
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733	-	-	-	14	52	139	273	133	67	50	5
		100.0	-	-	-	1.9	7.1	19.0	37.2	18.1	9.1	6.8	0.7
	脊髄損傷	145	1	1	31	20	29	18	25	7	5	3	5
		100.0	0.7	0.7	21.4	13.8	20.0	12.4	17.2	4.8	3.4	2.1	3.4
	遷延性意識障害	192	1	11	53	53	21	21	24	1	3	3	1
		100.0	0.5	5.7	27.6	27.6	10.9	10.9	12.5	0.5	1.6	1.6	0.5
	重症心身障害児・者	430	16	65	163	96	59	8	10	7	2	1	3
	100.0	3.7	15.1	37.9	22.3	13.7	1.9	2.3	1.6	0.5	0.2	0.7	
その他	70	1	11	15	9	9	9	10	4	-	1	1	
	100.0	1.4	15.7	21.4	12.9	12.9	12.9	14.3	5.7	-	1.4	1.4	



③居住地（問3）

a. 都道府県別

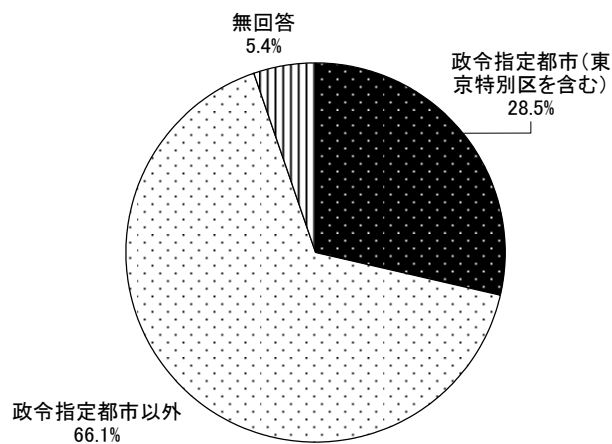
最も多かったのは「東京都」の13.1%、次いで「神奈川県」の5.3%となっている。

問3. 居住地(都道府県)		(SA)	
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	北海道	66	4.5
2	青森県	23	1.6
3	岩手県	19	1.3
4	宮城県	37	2.5
5	秋田県	21	1.4
6	山形県	42	2.8
7	福島県	18	1.2
8	茨城県	41	2.8
9	栃木県	20	1.3
10	群馬県	24	1.6
11	埼玉県	48	3.2
12	千葉県	106	7.2
13	東京都	194	13.1
14	神奈川県	79	5.3
15	新潟県	47	3.2
16	富山県	12	0.8
17	石川県	11	0.7
18	福井県	11	0.7
19	山梨県	16	1.1
20	長野県	26	1.8
21	岐阜県	34	2.3
22	静岡県	70	4.7
23	愛知県	92	6.2
24	三重県	11	0.7
25	滋賀県	13	0.9
26	京都府	18	1.2
27	大阪府	43	2.9
28	兵庫県	39	2.6
29	奈良県	18	1.2
30	和歌山県	6	0.4
31	鳥取県	6	0.4
32	島根県	10	0.7
33	岡山県	20	1.3
34	広島県	30	2.0
35	山口県	17	1.1
36	徳島県	14	0.9
37	香川県	8	0.5
38	愛媛県	9	0.6
39	高知県	9	0.6
40	福岡県	29	2.0
41	佐賀県	2	0.1
42	長崎県	8	0.5
43	熊本県	24	1.6
44	大分県	21	1.4
45	宮崎県	12	0.8
46	鹿児島県	20	1.3
47	沖縄県	16	1.1
	無回答	22	1.5
	N (％へ入)	1482	100

b. 都市種別

また、東京23区を含む政令指定都市とそれ以外に集計した結果が以下である。

「政令指定都市」が28.5%、「政令指定都市以外」が66.1%となった。

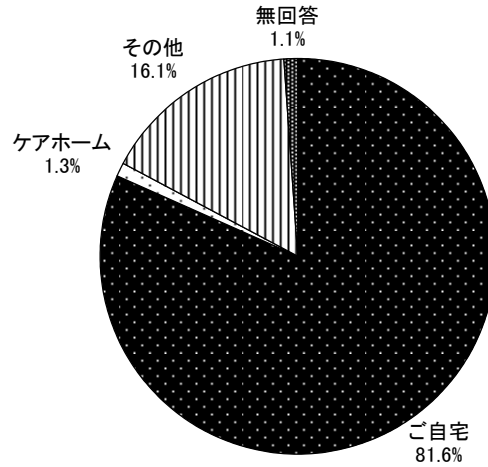


都市分類

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	政令指定都市(東京特別区を含む)	422	28.5
2	政令指定都市以外	980	66.1
	無回答	80	5.4
	N (%への入)	1482	100

④現在お住まいの場所（問4）

「自宅」が最も多く、約8割を占めている。「その他（16.1%）」をみると、病院・入院中が多くあげられている。



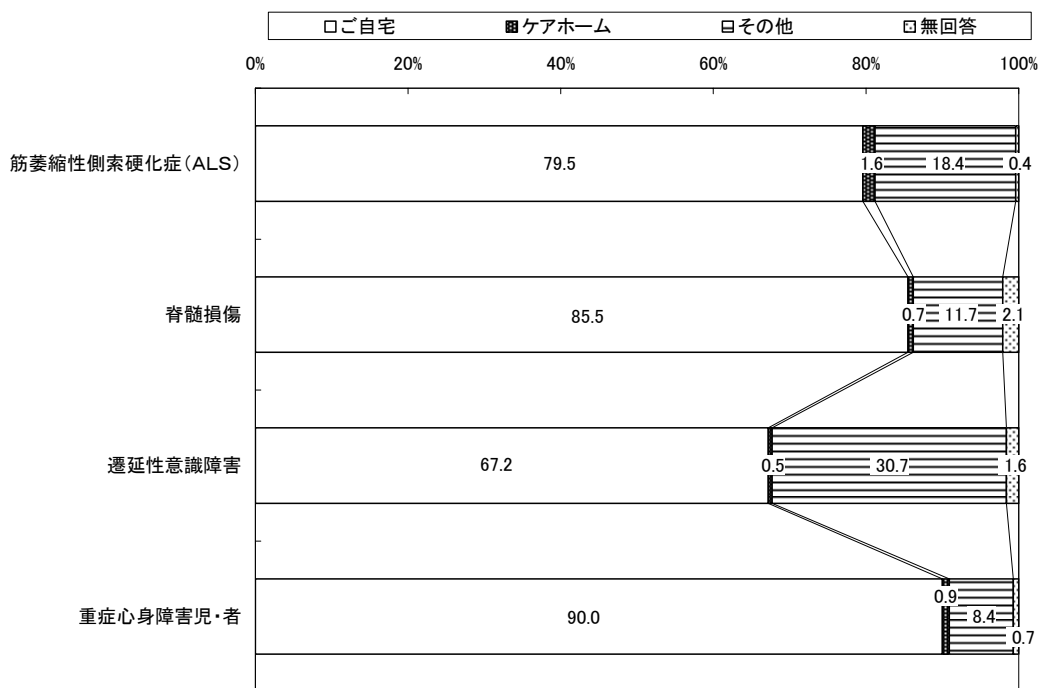
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ご自宅	1209	81.6
2	ケアホーム	19	1.3
3	その他	238	16.1
	無回答	16	1.1
	N (%ベース)	1482	100

<その他回答>

お住まいの場所	件数	お住まいの場所	件数
療養型の病院	5	重度障害者センター	1
療護センター	3	重症心身入所	1
介護病棟	1	重症心身障害者・児施設	2
特別養護老人ホーム	2	重度心身障害者 共同住宅	1
医療センター	1	重症児(者)施設	3
病院入院リハビリテーション	2	有料老人ホーム	1
病院に入院中	13	在宅型グループホーム	1
病院	115	下宿	1
入所	1	NPO法人寮	1
施設入居	1	子ども・親戚の家	4
施設	2	都住宅供給公社	1
身体障害者療護施設	1	団地	2
障害者療養施設	1	借家	4
障害者入所施設	1	集合住宅(共同住宅)	1
障害者施設	1	UR	1
障害者支援施設	2	借アパート	1
指定障害者施設	1	アパート	5
重度心身障害者施設	1	公団(県営・区営・市営)住宅	15

第三章 訪問系サービス利用者におけるサービス利用状況等に関する実態調査結果

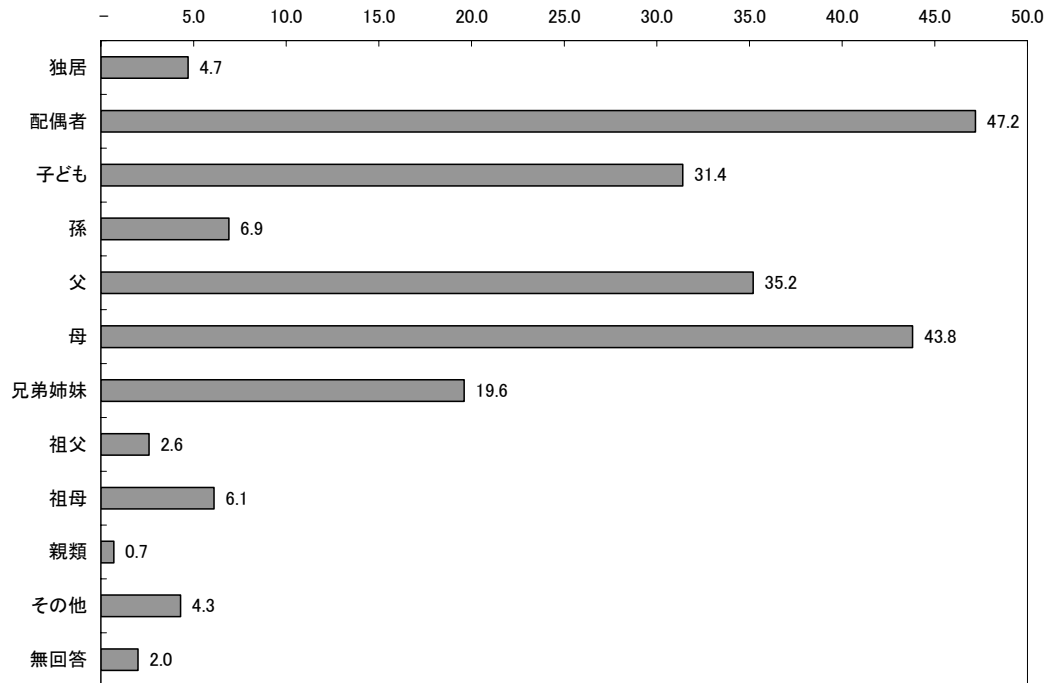
上段:度数 下段:%		問4. 住まい				
		合計	ご自宅	ケアホーム	その他	無回答
全体		1482 100.0	1209 81.6	19 1.3	238 16.1	16 1.1
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	422 100.0	346 82.0	5 1.2	68 16.1	3 0.7
	政令指定都市以外	980 100.0	806 82.2	13 1.3	155 15.8	6 0.6
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733 100.0	583 79.5	12 1.6	135 18.4	3 0.4
	脊髄損傷	145 100.0	124 85.5	1 0.7	17 11.7	3 2.1
	遷延性意識障害	192 100.0	129 67.2	1 0.5	59 30.7	3 1.6
	重症心身障害児・者	430 100.0	387 90.0	4 0.9	36 8.4	3 0.7
	その他	70 100.0	58 82.9	1 1.4	8 11.4	3 4.3



⑤現在同居されているご家族の構成と人数（問5）

a. 家族構成

家族構成をみると、最も多かったのは「配偶者」が47.2%。次いで「母」の43.8%、「父」の35.2%、「子ども」の31.4%となっている。



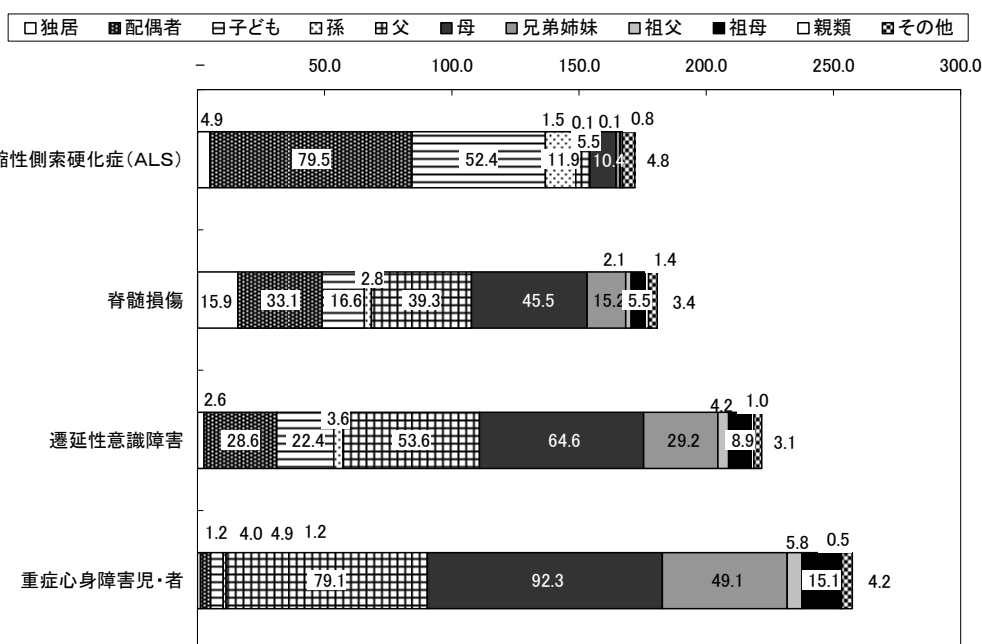
問5. 家族構成

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	独居	70	4.7
2	配偶者	699	47.2
3	子ども	466	31.4
4	孫	102	6.9
5	父	522	35.2
6	母	649	43.8
7	兄弟姉妹	290	19.6
8	祖父	38	2.6
9	祖母	90	6.1
10	親類	11	0.7
11	その他	64	4.3
	無回答	30	2.0
	N (%へ入)	1482	100

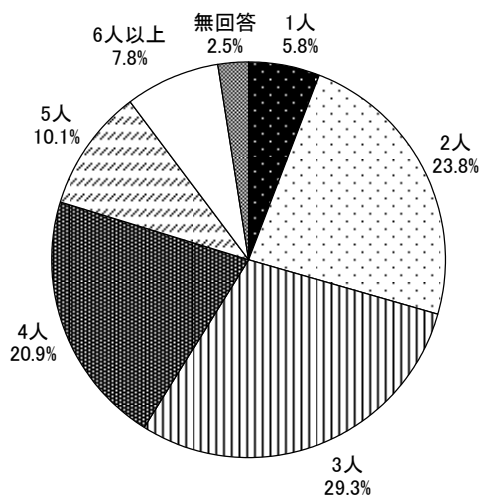
上段:度数 下段:%		問5. 家族構成													
		合計	独居	配偶者	子ども	孫	父	母	兄弟姉妹	祖父	祖母	親類	その他	無回答	
全体	1482 100.0	70 4.7	699 47.2	466 31.4	102 6.9	522 35.2	649 43.8	290 19.6	38 2.6	90 6.1	11 0.7	64 4.3	30 2.0		
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	422 100.0	27 6.4	167 39.6	108 25.6	19 4.5	165 39.1	201 47.6	95 22.5	9 2.1	19 4.5	3 0.7	12 2.8	9 2.1	
	政令指定都市以外	980 100.0	36 3.7	502 51.2	335 34.2	78 8.0	333 34.0	420 42.9	179 18.3	26 2.7	65 6.6	8 0.8	45 4.6	14 1.4	
問4. 住まい	在宅	1228 100.0	43 3.5	577 47.0	392 31.9	85 6.9	486 39.6	595 48.5	268 21.8	33 2.7	86 7.0	8 0.7	39 3.2	5 0.4	
	在宅以外	238 100.0	26 10.9	118 49.6	72 30.3	17 7.1	35 14.7	51 21.4	21 8.8	4 1.7	3 1.3	3 1.3	25 10.5	17 7.1	
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733 100.0	36 4.9	583 79.5	384 52.4	87 11.9	40 5.5	76 10.4	11 1.5	1 0.1	1 0.1	6 0.8	35 4.8	13 1.8	
	脊髄損傷	145 100.0	23 15.9	48 33.1	24 16.6	4 2.8	57 39.3	66 45.5	22 15.2	3 2.1	8 5.5	2 1.4	5 3.4	3 2.1	
	遷延性意識障害	192 100.0	5 2.6	55 28.6	43 22.4	7 3.6	103 53.6	124 64.6	56 29.2	8 4.2	17 8.9	2 1.0	6 3.1	6 3.1	
	重症心身障害児・者	430 100.0	12 2.8	40 9.3	49 11.4	12 2.8	79 18.4	340 79.1	397 92.3	211 49.1	25 5.8	65 15.1	2 0.5	18 4.2	5 1.2
	その他	70 100.0	3 4.3	18 25.7	11 15.7	-	36 51.4	48 68.6	24 34.3	5 7.1	6 8.6	-	3 4.3	1 1.4	

問5. 家族構成 × 問6. 病名



b. 家族人数

家族人数で最も多かったのは「3人」が29.3%。次いで「2人」の23.8%、「4人」の20.9%となっている。



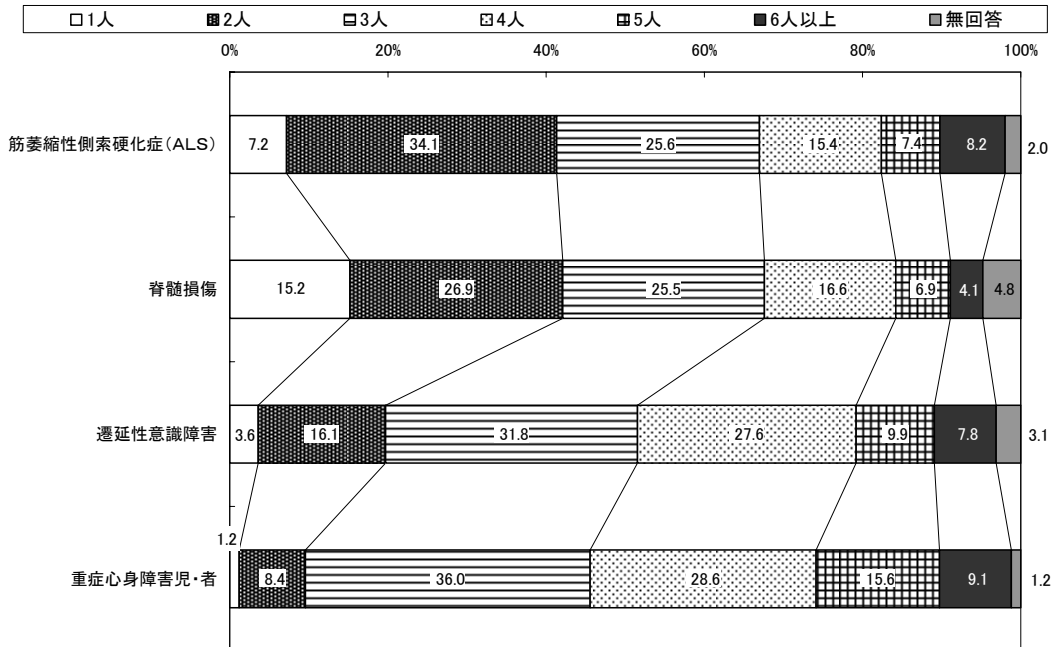
問5. 家族の人数

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	86	5.8
2	2人	352	23.8
3	3人	434	29.3
4	4人	309	20.9
5	5人	149	10.1
6	6人以上	115	7.8
	無回答	37	2.5
	N (%ベース)	1482	100

上段:度数 下段:%		問5. 家族の人数							
		合計	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
全体		1482	86	352	434	309	149	115	37
		100.0	5.8	23.8	29.3	20.9	10.1	7.8	2.5
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	422	27	104	128	92	40	19	12
		100.0	6.4	24.6	30.3	21.8	9.5	4.5	2.8
都市分類	政令指定都市以外	980	54	235	290	200	98	90	13
		100.0	5.5	24.0	29.6	20.4	10.0	9.2	1.3
問4. 住まい	在宅	1228	53	282	378	274	132	99	10
		100.0	4.3	23.0	30.8	22.3	10.7	8.1	0.8
問4. 住まい	在宅以外	238	29	69	55	34	17	15	19
		100.0	12.2	29.0	23.1	14.3	7.1	6.3	8.0
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733	53	250	188	113	54	60	15
		100.0	7.2	34.1	25.6	15.4	7.4	8.2	2.0
	脊髄損傷	145	22	39	37	24	10	6	7
		100.0	15.2	26.9	25.5	16.6	6.9	4.1	4.8
	遷延性意識障害	192	7	31	61	53	19	15	6
		100.0	3.6	16.1	31.8	27.6	9.9	7.8	3.1
重症心身障害児・者	430	5	36	155	123	67	39	5	
	100.0	1.2	8.4	36.0	28.6	15.6	9.1	1.2	
その他	70	5	11	20	20	10	2	2	
	100.0	7.1	15.7	28.6	28.6	14.3	2.9	2.9	

問5. 家族人数 × 問6. 病名

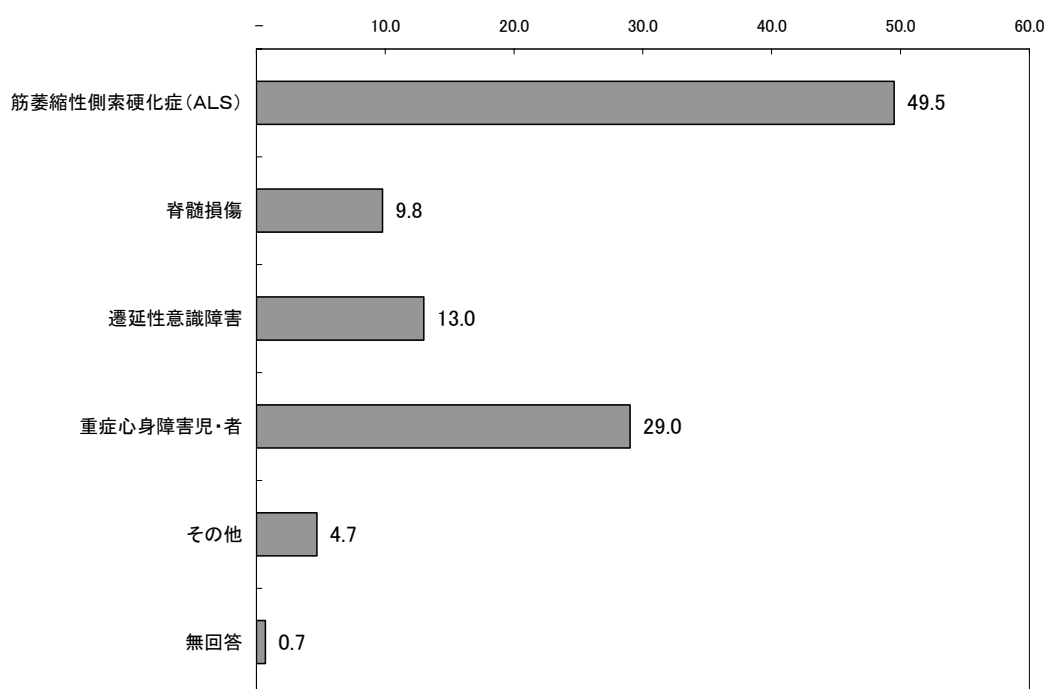


⑥病名（問6）

「筋萎縮性側索硬化症（ALS）」は49.5%、「脊髄損傷」は9.8%、「遷延性意識障害」は13.0%、「重症心身障害児・者」は29.0%となっている。

脊髄損傷では、麻痺型のうち、「完全麻痺」が51.8%、「不完全麻痺」が29.1%、麻痺部位については、「頸椎損傷による麻痺」が80.0%となっている。

重症心身障害児・者とは、医学的な診断名ではなく行政上の措置を行うための定義。重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態であり、医学的管理下に置かなければ、呼吸をすることも栄養を摂ることも困難な障害状態である超重症児・者など、その障害状態像はさまざまである。本調査の回答者は、重度・重複状態の回答者が多いが、一部、軽度状態の回答者も含まれている。



問6. 病名 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	筋萎縮性側索硬化症 (ALS)	733	49.5
2	脊髄損傷	145	9.8
3	遷延性意識障害	192	13.0
4	重症心身障害児・者	430	29.0
5	その他	70	4.7
	無回答	11	0.7
	N (%ベース)	1482	100

問6-2. <2.脊髄損傷>-麻痺型 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	完全麻痺	57	51.8
2	不完全麻痺	32	29.1
	無回答	21	19.1
	N (%へ-ス)	110	100

問6-3. <2.脊髄損傷>-麻痺部位 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	頸髄損傷による麻痺	88	80.0
2	対麻痺	1	0.9
	無回答	21	19.1
	N (%へ-ス)	110	100

脊髄損傷-頸髄損傷による麻痺部位

部位	件数	部位	件数
3、4	3	四肢麻痺	14
3、4、5、6、7	1	脊髄障害による四肢麻痺	1
4、5	1	四肢、体幹	2
C1	2	四肢・体幹・直腸・膀胱	1
C1-2	1	四肢全廃	1
C2	2	四肢体幹機能	1
C2・3損傷、四肢体幹、自発呼吸なし。	1	四肢麻痺全廃	1
C3	1	肢体不自由体幹機能障害	1
C3~C4	1	手、足	1
C3とC4の間	1	首	1
C4	11	首から下	
C-4、5	6	首、背中、腰、ひざ、両足くび	
C4、5、6	1	上、下身共(左右)	1
C5	1	上下肢、体幹	1
C5・6	2	上肢、下肢	1
C6以下	1	脊髄4	1
Th5.6	1	全身麻痺	4
左C6、右C7	1	第4、5	1
右上肢、左下肢	1	第4頸髄完全、神経因性膀胱	1
下半身	2	頭頸部外傷による、両上肢不完全、両下肢完全麻痺	1
胸部より下	1	両下肢、両腕	1
頸髄1番・2番により、呼吸マヒ・四肢・体幹マヒ	1	両上下肢	2
頸椎の2番目	1	両上肢、起坐不能体幹機能障害	1
肩より下の部分全て	1	両上肢、両下肢、体幹。	1
肩四肢、指、下肢、腰	1	両脇から下完全、両手首から下完全	1
左足・左手	1	視覚障害、視力障害、両下肢機能の全廃、両上肢機能の全廃、体幹機能の全廃2級。	1
左半身	1		

脊髄損傷-対麻痺部位

部位	件数
右手足	1
右半身	1
左側	1
四肢	1
全身	1
足	1
両下肢	1

⑦お持ちの障害手帳（問7）

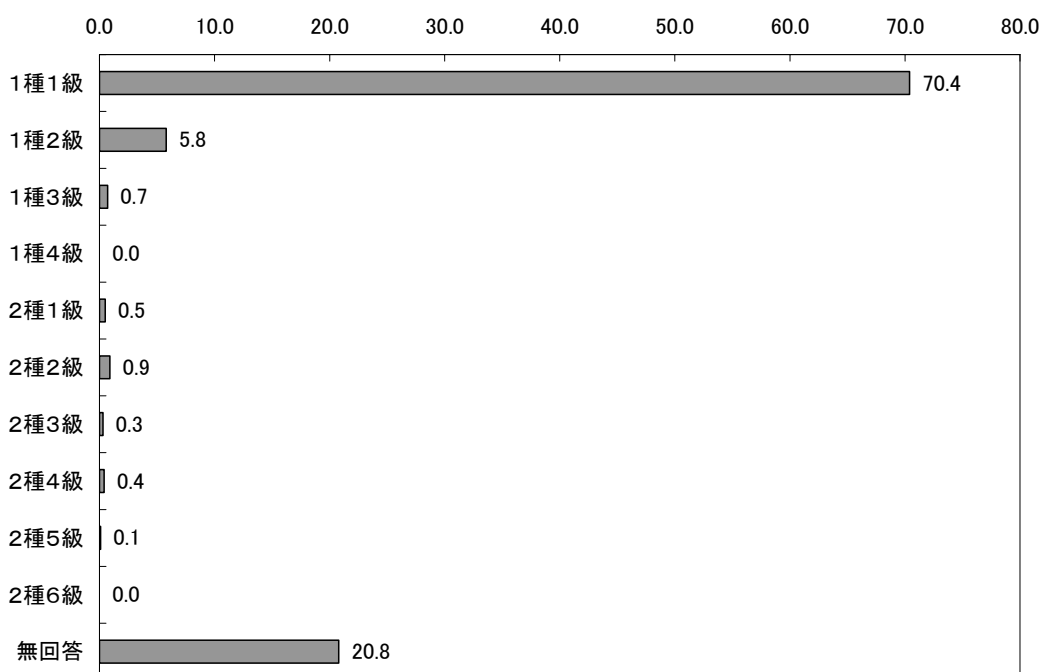
身体障害者手帳では、最も多かったのは「1種1級」の70.4%、次いで「1種・2級」が5.8%となっている。

療育手帳では、Aのみで18.8%となっている。

精神障害者保健福祉手帳では、「1級」が0.3%、「2級」が0.1%となっていた。

また、「無回答」は当該手帳を所持していない回答者数と考えられる。

<身体障害者手帳>

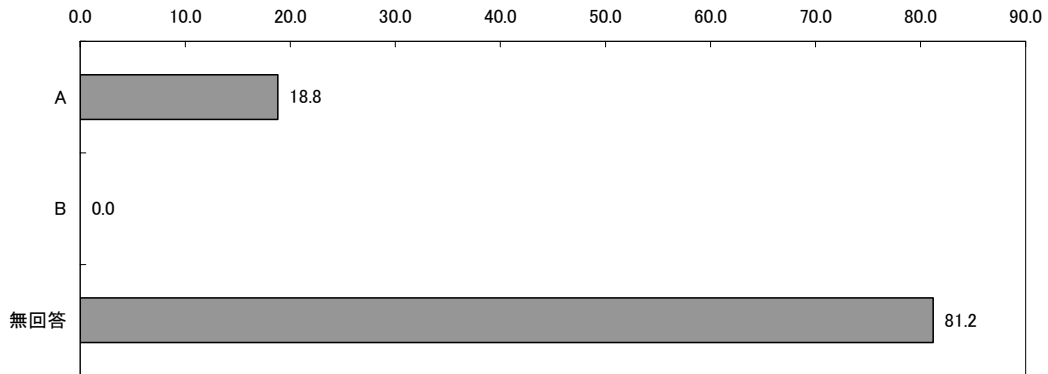


問7. 障害者手帳<身体>

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1種1級	1044	70.4
2	1種2級	86	5.8
3	1種3級	10	0.7
4	1種4級	0	0.0
5	2種1級	8	0.5
6	2種2級	13	0.9
7	2種3級	5	0.3
8	2種4級	6	0.4
9	2種5級	2	0.1
10	2種6級	0	0.0
	無回答	308	20.8
	N (%ベース)	1482	100

<療育手帳>



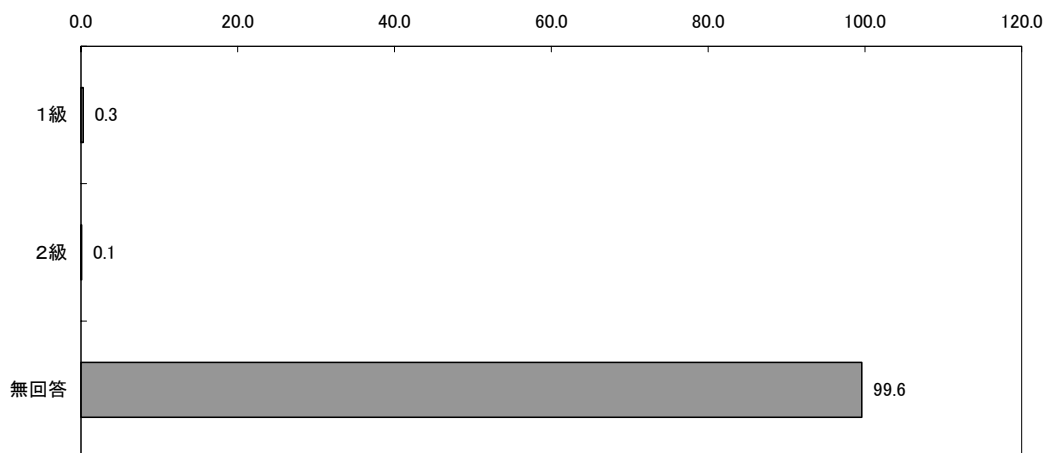
問7. 障害者手帳<療育>

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	A	278	18.8
2	B	0	0.0
	無回答	1204	81.2
	N (%へ-ス)	1482	100

療育手帳(その他)	件数
1	19
2	5
3	1
4	2
1級	1
1種、第1種	4
1度	12
2度	9
みどりの手帳	1
愛の手帳 2度	1

<精神障害者保健福祉手帳>



問7. 障害者手帳<精神保健福祉>

(SA)

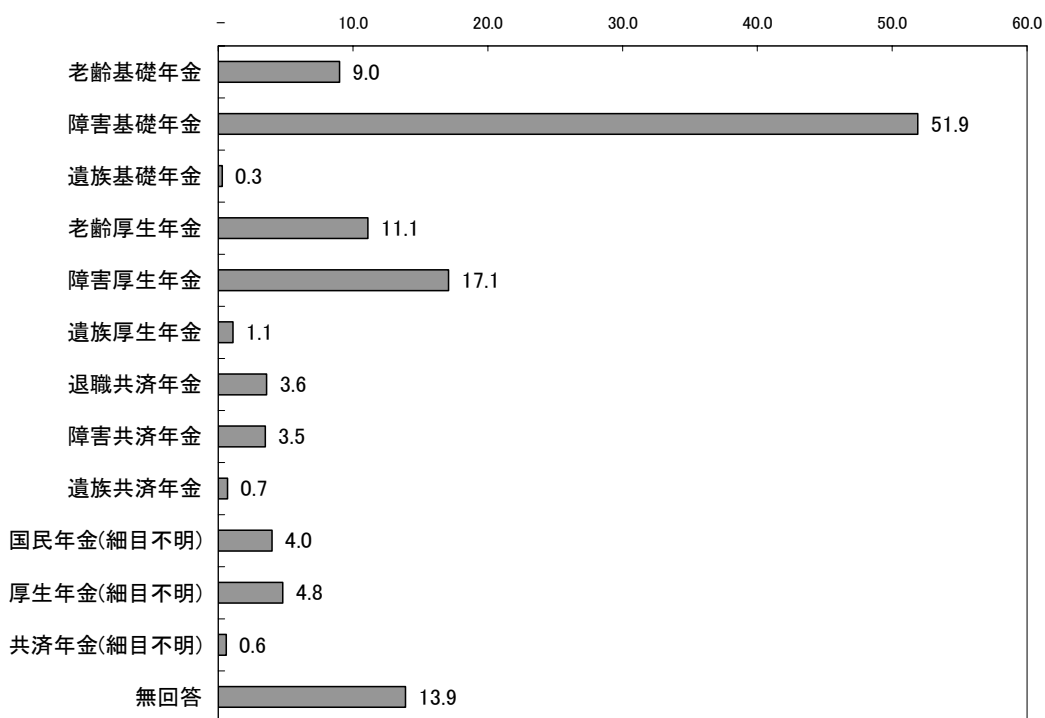
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1級	5	0.3
2	2級	1	0.1
	無回答	1476	99.6
	N (%へ-ス)	1482	100

⑧公的年金の受給（問8）

a. 公的年金種別

最も多かった公的年金は、「障害基礎年金」の 51.9%、次いで「障害厚生年金」17.1%となった。

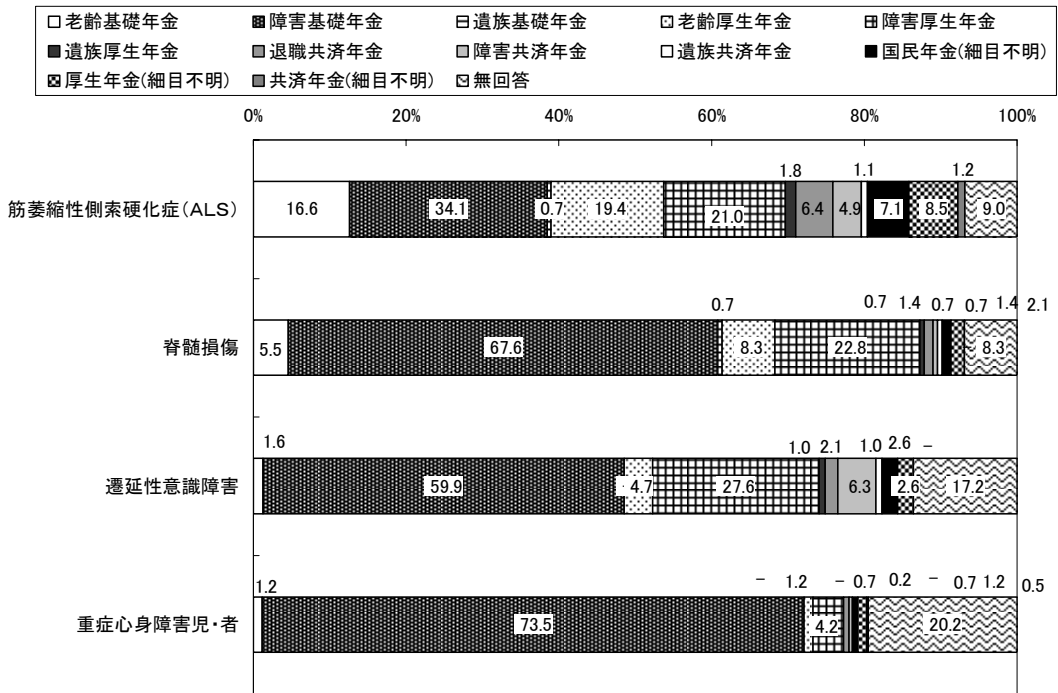
下表の“細目不明”とは、公的年金で、老齢基礎年金・障害基礎年金・遺族基礎年金等の細目回答がなかったものとした。



問8-1. 公的年金-3.共済年金 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	老齢基礎年金	134	9.0
2	障害基礎年金	769	51.9
3	遺族基礎年金	5	0.3
4	老齢厚生年金	165	11.1
5	障害厚生年金	254	17.1
6	遺族厚生年金	16	1.1
7	退職共済年金	53	3.6
8	障害共済年金	52	3.5
9	遺族共済年金	11	0.7
10	国民年金(細目不明)	59	4.0
11	厚生年金(細目不明)	71	4.8
12	共済年金(細目不明)	9	0.6
	無回答	206	13.9
	N (%へ入)	1482	100

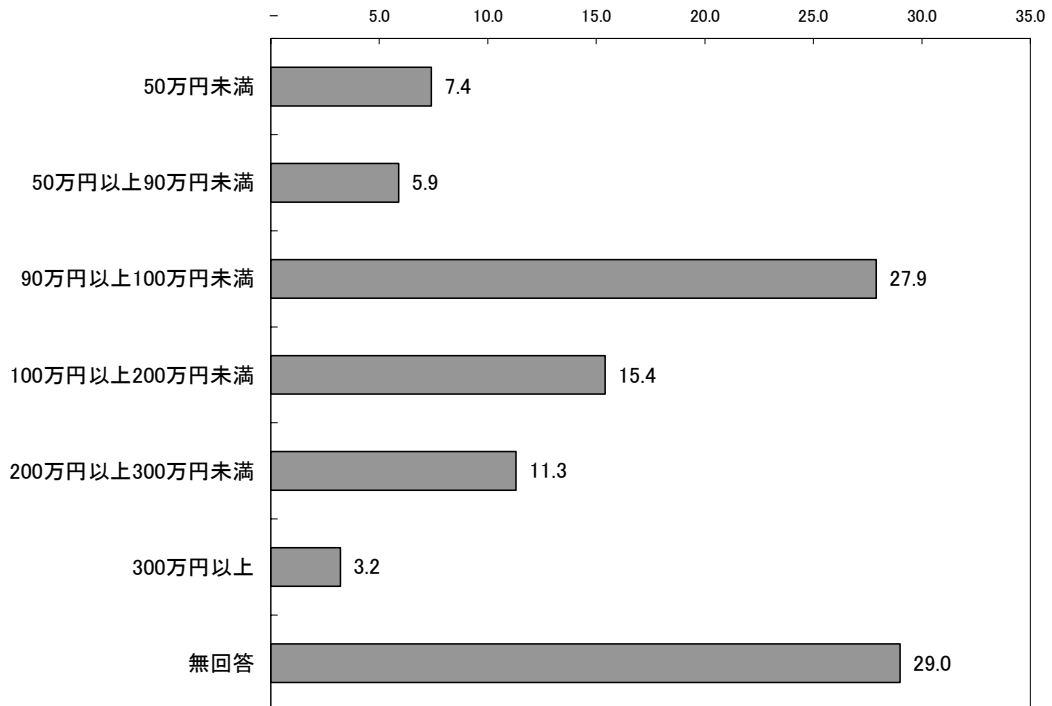
上段:度数 下段:%	問8-1. 公的年金-3.共済年金													無回答	
	合計	老齢基礎年金	障害基礎年金	遺族基礎年金	老齢厚生年金	障害厚生年金	遺族厚生年金	退職共済年金	障害共済年金	遺族共済年金	国民年金(細目不明)	厚生年金(細目不明)	共済年金(細目不明)		
全体	1482	134	769	5	165	254	16	53	52	11	59	71	9	206	
	100.0	9.0	51.9	0.3	11.1	17.1	1.1	3.6	3.5	0.7	4.0	4.8	0.6	13.9	
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733	122	250	5	142	154	13	47	36	8	52	62	9	66
		100.0	16.6	34.1	0.7	19.4	21.0	1.8	6.4	4.9	1.1	7.1	8.5	1.2	9.0
	脊髄損傷	145	8	98	1	12	33	1	2	1	1	2	3	-	12
		100.0	5.5	67.6	0.7	8.3	22.8	0.7	1.4	0.7	0.7	1.4	2.1	-	8.3
	遅延性意識障害	192	3	115	-	9	53	2	4	12	2	5	5	-	33
		100.0	1.6	59.9	-	4.7	27.6	1.0	2.1	6.3	1.0	2.6	2.6	-	17.2
重症心身障害児・者	430	5	316	-	5	18	-	3	2	-	3	5	1	87	
	100.0	1.2	73.5	-	1.2	4.2	-	0.7	0.5	-	0.7	1.2	0.2	20.2	
その他	70	4	49	-	1	6	1	-	3	1	-	1	-	16	
	100.0	5.7	70.0	-	1.4	8.6	1.4	-	4.3	1.4	-	1.4	-	22.9	



b. 公的年金の年間受給額

下表は公的年金額の回答を1年間の受給額に換算したものである。

最も多かったのは、「90万円以上100万円未満」の27.9%、次いで「100万円以上200万円未満」の15.4%となっている。

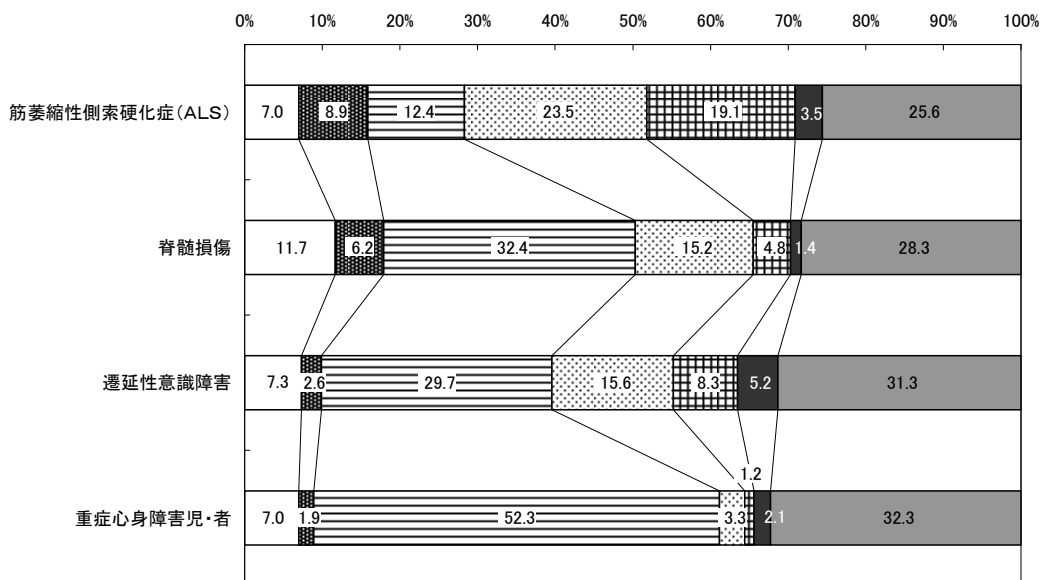


問8-2. 公的年金受給額/年 (数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	50万円未満	110	7.4
2	50万円以上90万円未満	87	5.9
3	90万円以上100万円未満	413	27.9
4	100万円以上200万円未満	228	15.4
5	200万円以上300万円未満	167	11.3
6	300万円以上	47	3.2
	無回答	430	29.0
	N (%へ入)	1482	100

上段:度数	下段:%	問8-2. 公的年金受給額/年							
		合計	50万円未満	50万円以上90万円未満	90万円以上100万円未満	100万円以上200万円未満	200万円以上300万円未満	300万円以上	無回答
全体		1482	110	87	413	228	167	47	430
		100.0	7.4	5.9	27.9	15.4	11.3	3.2	29.0
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733	51	65	91	172	140	26	188
		100.0	7.0	8.9	12.4	23.5	19.1	3.5	25.6
	脊髄損傷	145	17	9	47	22	7	2	41
		100.0	11.7	6.2	32.4	15.2	4.8	1.4	28.3
	遷延性意識障害	192	14	5	57	30	16	10	60
		100.0	7.3	2.6	29.7	15.6	8.3	5.2	31.3
重症心身障害児・者	430	30	8	225	14	5	9	139	
	100.0	7.0	1.9	52.3	3.3	1.2	2.1	32.3	
その他	70	7	2	31	2	5	1	22	
	100.0	10.0	2.9	44.3	2.9	7.1	1.4	31.4	

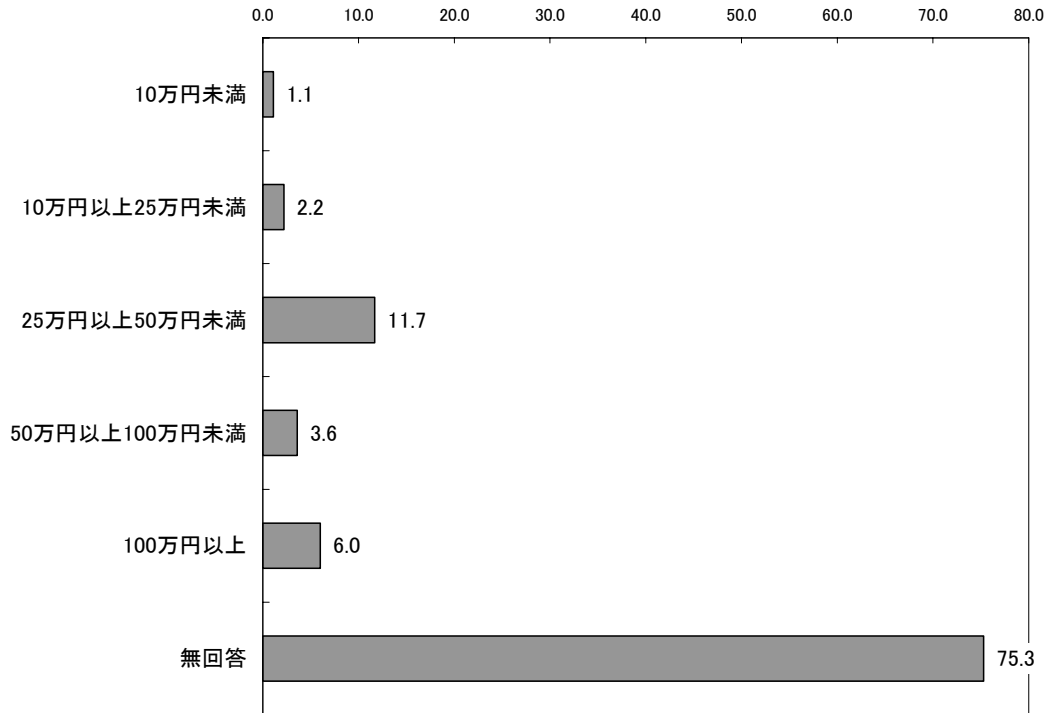
50万円未満
 50万円以上90万円未満
 90万円以上100万円未満
 100万円以上200万円未満
 200万円以上300万円未満
 300万円以上
 無回答



⑨公的年金以外の受給（問9）

a. 公的年金以外の受給額

公的年金以外の受給額で最も多かったのは「25万円以上50万円未満」の11.7%、次いで「100万円以上」の6.0%となっている。

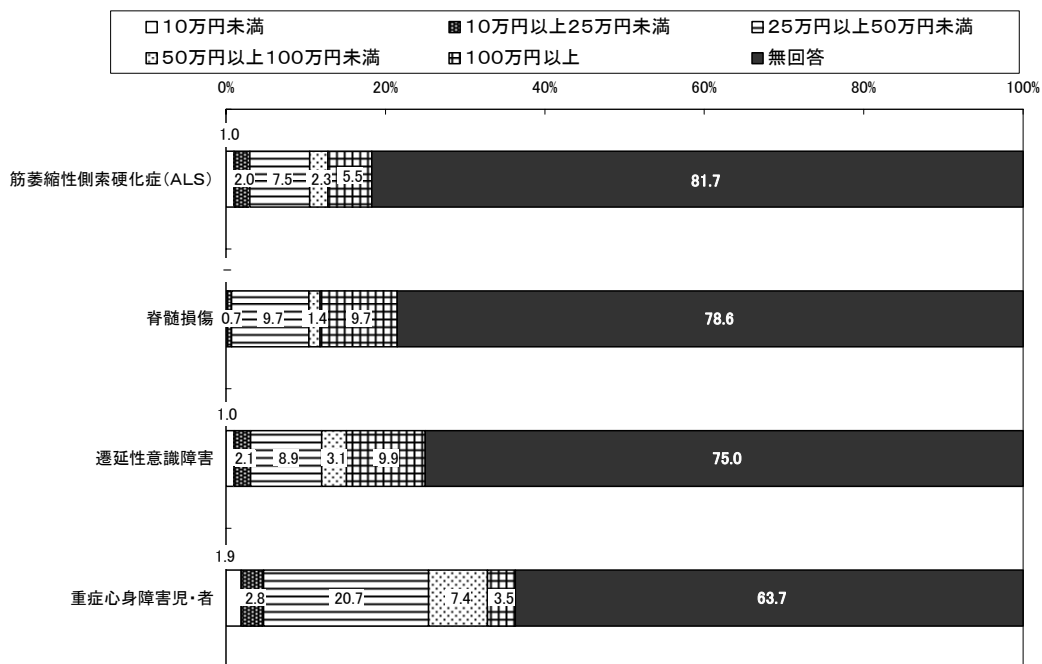


問9-7. 年金等合計額

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	10万円未満	17	1.1
2	10万円以上25万円未満	32	2.2
3	25万円以上50万円未満	174	11.7
4	50万円以上100万円未満	54	3.6
5	100万円以上	89	6.0
	無回答	1116	75.3
	N (%ベース)	1482	100

上段:度数 下段:%		問9-7. 年金等合計額						
		合計	10万円未満	10万円以上25万円未満	25万円以上50万円未満	50万円以上100万円未満	100万円以上	無回答
全体		1482	17	32	174	54	89	1116
		100.0	1.1	2.2	11.7	3.6	6.0	75.3
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症 (ALS)	733	7	15	55	17	40	599
		100.0	1.0	2.0	7.5	2.3	5.5	81.7
	脊髄損傷	145	-	1	14	2	14	114
		100.0	-	0.7	9.7	1.4	9.7	78.6
	遷延性意識障害	192	2	4	17	6	19	144
		100.0	1.0	2.1	8.9	3.1	9.9	75.0
	重症心身障害児・者	430	8	12	89	32	15	274
		100.0	1.9	2.8	20.7	7.4	3.5	63.7
	その他	70	1	3	7	4	5	50
		100.0	1.4	4.3	10.0	5.7	7.1	71.4

問9. 公的年金以外の年間受給額 × 問6. 病名

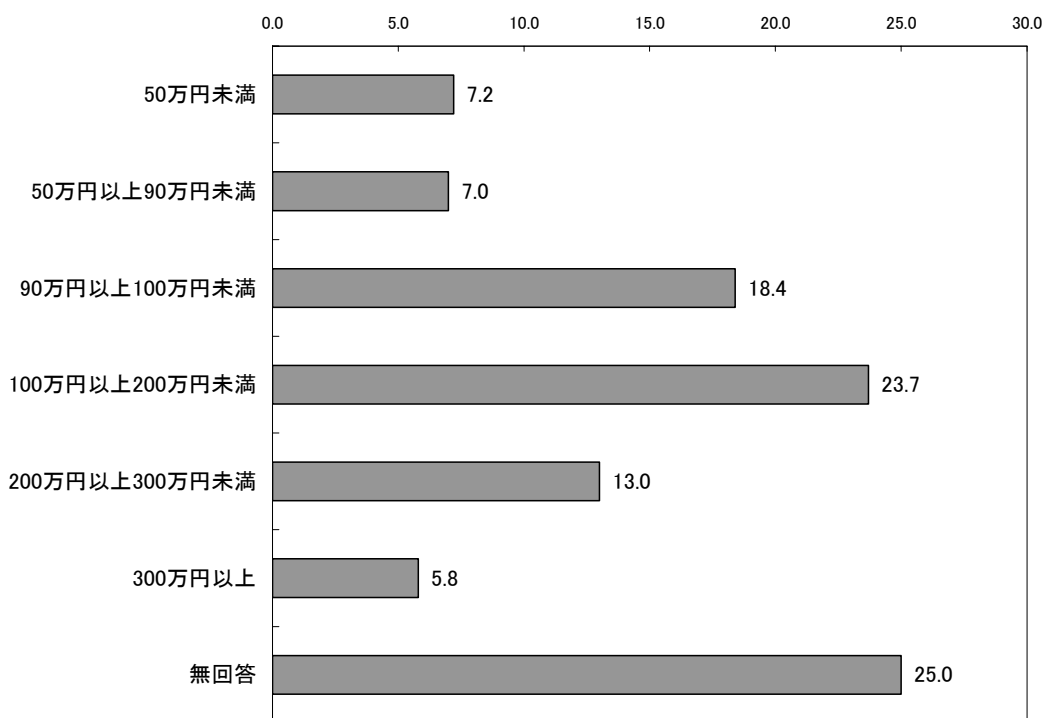


b. 公的年金と公的年金以外の年間受給額

問8の公的年金と公的年金以外をあわせた年間の受給額を算出した。

最も多かったのは「100万円以上200万円未満」の23.7%、次いで「90万円以上100万円未満」の18.4%となっている。

公的年金以外としては、労災年金などの他、自治体による手当などがあげられている。

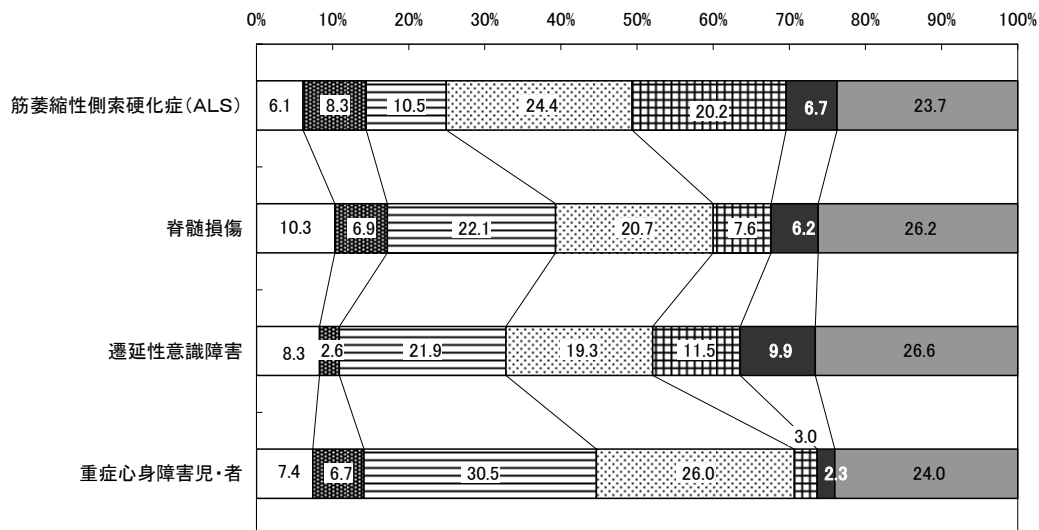
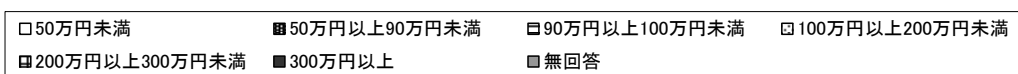


問8. 問9. 年金等合計額

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	50万円未満	106	7.2
2	50万円以上90万円未満	103	7.0
3	90万円以上100万円未満	273	18.4
4	100万円以上200万円未満	351	23.7
5	200万円以上300万円未満	193	13.0
6	300万円以上	86	5.8
	無回答	370	25.0
	N (%へ-ス)	1482	100

上段:度数		問8. 問9. 年金等合計額							
下段:%		合計	50万円未満	50万円以上 90万円未満	90万円以上 100万円未満	100万円以上 200万円未満	200万円以上 300万円未満	300万円以上	無回答
全体		1482	106	103	273	351	193	86	370
		100.0	7.2	7.0	18.4	23.7	13.0	5.8	25.0
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症 (ALS)	733	45	61	77	179	148	49	174
		100.0	6.1	8.3	10.5	24.4	20.2	6.7	23.7
	脊髄損傷	145	15	10	32	30	11	9	38
		100.0	10.3	6.9	22.1	20.7	7.6	6.2	26.2
	遷延性意識障害	192	16	5	42	37	22	19	51
	100.0	8.3	2.6	21.9	19.3	11.5	9.9	26.6	
重症心身障害児・者	430	32	29	131	112	13	10	103	
	100.0	7.4	6.7	30.5	26.0	3.0	2.3	24.0	
その他	70	6	6	21	9	9	1	18	
	100.0	8.6	8.6	30.0	12.9	12.9	1.4	25.7	

問9. 公的年金と公的年金以外の年間受給額 × 問6. 病名

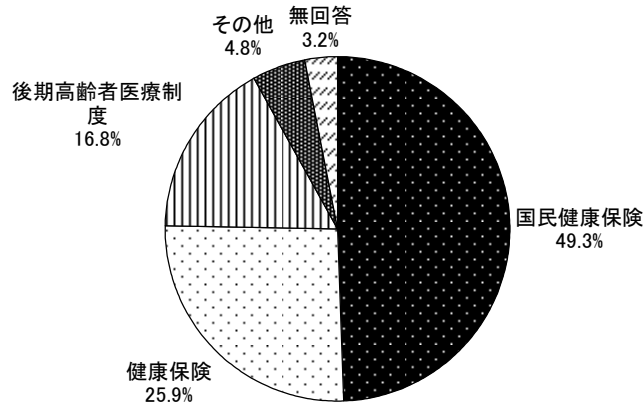


受給している公的年金以外の年金等

年金等名	件数	年金等名	件数	年金等名	件数
国民年金	3	心身障害者扶養年金	1	市心身障害者手当	1
国民年金障害基礎	14	心身障害者扶養共済年金	1	市障害者手当	1
厚生年金	5	心身障害者手当	1	市障害者義援金	1
老齢厚生年金	1	在宅心身障害者福祉手当	2	市障害給付金	1
障害厚生年金	3	在宅重度要介護者介護手当	2	市の重度障害者手当	1
公立学校共済	1	在宅重度障害者手当	1	札幌市	1
生涯共済年金	1	東京都重度心身障害者手当	4	坂出市福祉年金	1
退職共済年金	1	東京都介護重度手当	1	高岡市障害者年金	1
労災年金介護給付金	1	東京都重度身体障害者手当	1	高岡市在宅介護給付	1
労災年金	23	都福祉障害者手当	5	茨木市身体障害者福祉金	1
労災障害年金	1	心身障害者手当(東京都)	1	茨城県福祉手当	1
労災傷病年金	2	都の補助金	1	蟹江福祉児童療養手当	1
労災・傷病補償年金	1	大田区福祉手当	1	沖縄市障害者手当	1
傷病補償年金	1	大田区特別障害者	1	下野社会福祉課(障害手当)	3
健康保険傷病手当	1	大田区心身障害者	1	茅ヶ崎福祉	1
福祉年金	1	杉並区福祉手当	1	愛媛県心身障害者扶養共済制度年金	1
福祉手当	47	杉並区特別手当	1	愛知在住手当	1
難病手当	1	練馬区心身障害福祉手当	1	見舞金	1
障害者手当	1	渋谷区障害者手当	1	県福祉金	1
福祉高額介護	1	心身障害者福祉手当(区)	2	県在宅	1
廃疾年金(旧勤務先より60才まで支給)	1	大阪府重度障害者介護手当	1	共済互助	1
農業者年金	3	川崎特別障害手当	1	拋出型企業年金	1
国の重度障害者手当	1	川崎市身障者手当金	3	休職手当	2
特別障害者手当	118	川崎市心身障害者手当	1	財形年金	1
特別障害扶養手当	1	横浜市福祉手当	1	企業年金連合会老齢年金	1
特別障害年金	2	横浜市特別障害者手当	1	企業年金連合会	1
特別障害者給付金	1	岐阜市障害福祉手当	1	企業年金日本生命保険相互会社	1
特別障害者	2	さいたま市心身障害者手当	1	企業年金基金	2
特定障害者福祉手当	1	倉敷市特別障害者手当	1	企業年金	14
特障	1	豊明市福祉手当	1	介護手当	1
障害者手当	4	米沢市特別障害者手当	1	恩給扶助料	1
障害児福祉手当	18	福山市年金	1	援護給付金	1
障害者福祉手当	11	富士見町社会福祉	1	医師年金	1
障害者年金	5	柏市福祉手当	1	安田の生涯年金21世紀	1
障害者特別福祉手当	1	入間市福祉手当	1	コウチニシ福祉保険証	1
難病疾患見舞金	1	特別障害者手当(甲府市)	1	厚生年金基金	6
毒年金	1	吹田市福祉手当	1	東京税理士厚生基金	1
特別児童福祉手当	3	諏訪保険福祉事務所	1	第一種退職年金	1
特別児童扶養手当	20	神奈川県在宅重度障害者等手当	1	全労済個人年金	1
特別福祉手当	1	新潟市特別障害者手当	1	年金基金(企業年金)	1
特児童扶養手当	1	障害者手当魚沼市	1	トヨタ自動車企業年金	1
特定疾患患者福祉手当	1	豊橋市福祉手当	1	NTT基金年金	1
重度心身障害者福祉年金	1	立川市福祉手当	1	東洋インキ企業年金基金	1
重度心身障害者福祉手当	2	立川市身障手当	1	年金基金	1
重度心身障害者手当	13	枚方市障害者手当	1	年金	1
重度心身障害者介護者手当	2	所沢市重度心身障害福祉手当	1	日本生命保険相互年金	1
重度障害者手当	5	自動車事故対策機構介護料	1	中央三井アセットシン	1
重度障害児福祉手当	1	児童福祉手当	1	個人年金(明治安田生命)	1
重度手当	2	私立共済年金	1	個人年金	1
重度心身障害者手当	3	市福祉手当	1	かんぽ	1
心身障害者福祉手当	17	市福祉金	2	生活保護	1
心身障害者扶養料	1	市特別障害者手当	2		

⑩利用している医療保険（問10）

「国民健康保険」が最も多く、約5割を占めている。次いで「健康保険」が25.9%、「後期高齢者医療制度」が16.8%となった。

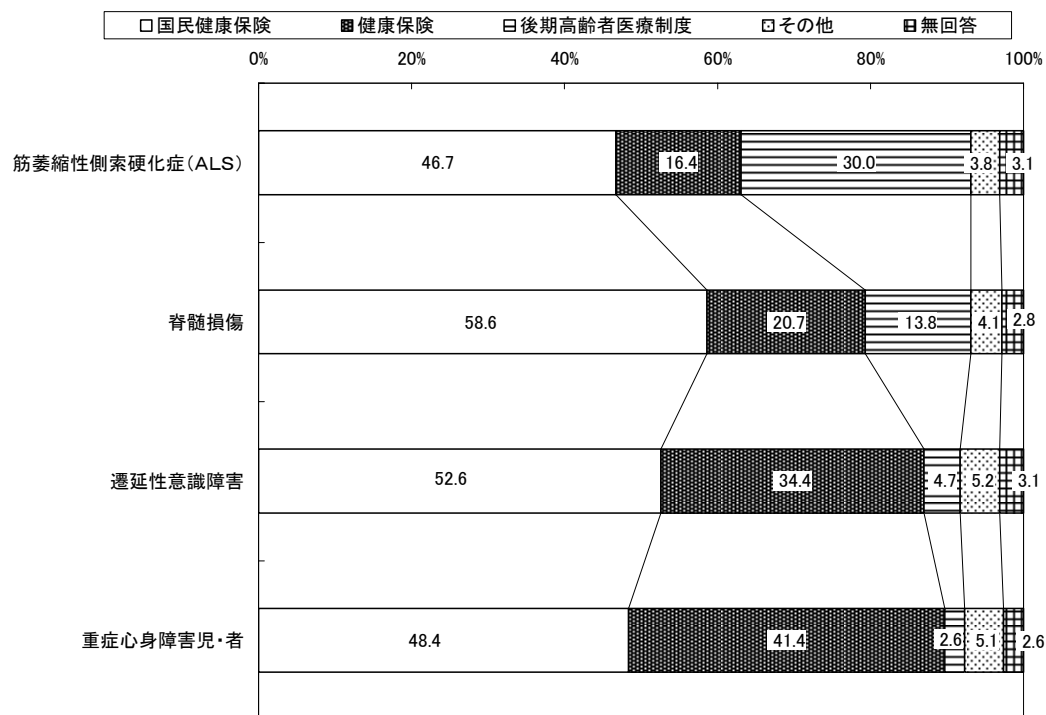


問10. 医療保険 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	国民健康保険	731	49.3
2	健康保険	384	25.9
3	後期高齢者医療制度	249	16.8
4	その他	71	4.8
	無回答	47	3.2
	N (%への入)	1482	100

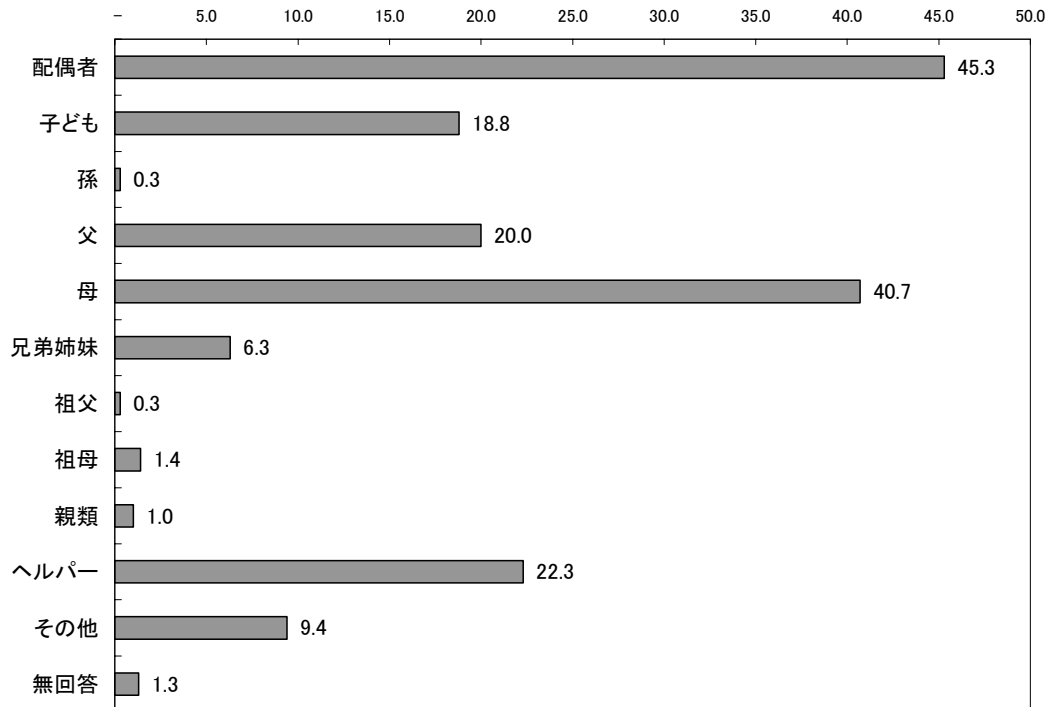
上段:度数 下段:%		問10. 医療保険					
		合計	国民健康保険	健康保険	後期高齢者医療制度	その他	無回答
全体		1482	731	384	249	71	47
		100.0	49.3	25.9	16.8	4.8	3.2
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	422	205	125	61	19	12
		100.0	48.6	29.6	14.5	4.5	2.8
	政令指定都市以外	980	485	240	181	49	25
		100.0	49.5	24.5	18.5	5.0	2.6
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733	342	120	220	28	23
		100.0	46.7	16.4	30.0	3.8	3.1
	脊髄損傷	145	85	30	20	6	4
		100.0	58.6	20.7	13.8	4.1	2.8
	遷延性意識障害	192	101	66	9	10	6
		100.0	52.6	34.4	4.7	5.2	3.1
	重症心身障害児・者	430	208	178	11	22	11
		100.0	48.4	41.4	2.6	5.1	2.6
	その他	70	37	21	3	8	1
		100.0	52.9	30.0	4.3	11.4	1.4

第三章 訪問系サービス利用者におけるサービス利用状況等に関する実態調査結果



⑪主たる介護者（問11）

主たる介護者では、「配偶者（45.3%）」が最も多く、次いで「母（40.7%）」、「ヘルパー（22.3%）」となっている。

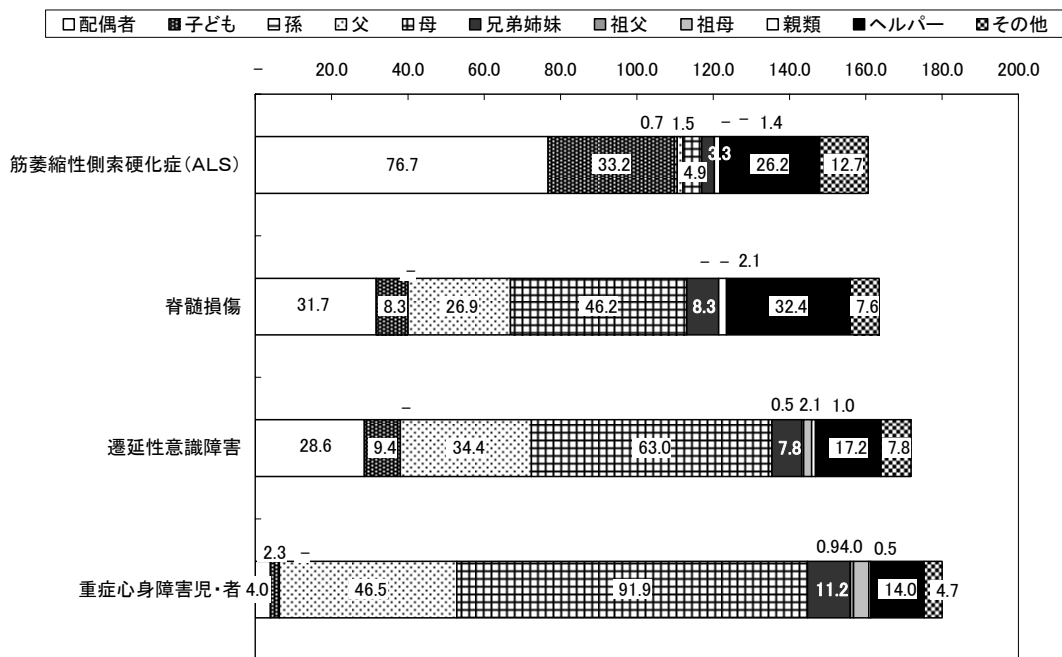


問11. 主たる介護者 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	配偶者	672	45.3
2	子ども	278	18.8
3	孫	5	0.3
4	父	297	20.0
5	母	603	40.7
6	兄弟姉妹	93	6.3
7	祖父	5	0.3
8	祖母	21	1.4
9	親類	15	1.0
10	ヘルパー	331	22.3
11	その他	139	9.4
	無回答	20	1.3
	N (%ベース)	1482	100

上段:度数 下段:%		問11. 主たる介護者													
		合計	配偶者	子ども	孫	父	母	兄弟姉妹	祖父	祖母	親類	ヘルパー	その他	無回答	
全体		1482	672	278	5	297	603	93	5	21	15	331	139	20	
		100.0	45.3	18.8	0.3	20.0	40.7	6.3	0.3	1.4	1.0	22.3	9.4	1.3	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	422	161	66	1	95	195	30	1	4	6	116	39	5	
		100.0	38.2	15.6	0.2	22.5	46.2	7.1	0.2	0.9	1.4	27.5	9.2	1.2	
	政令指定都市以外	980	481	202	4	188	380	59	4	17	9	196	93	9	
		100.0	49.1	20.6	0.4	19.2	38.8	6.0	0.4	1.7	0.9	20.0	9.5	0.9	
問4. 住まい	在宅	1228	563	227	5	267	546	74	4	19	13	299	70	8	
		100.0	45.8	18.5	0.4	21.7	44.5	6.0	0.3	1.5	1.1	24.3	5.7	0.7	
	在宅以外	238	105	51	-	27	53	19	1	2	2	29	67	6	
		100.0	44.1	21.4	-	11.3	22.3	8.0	0.4	0.8	0.8	12.2	28.2	2.5	
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733	562	243	5	11	36	24	-	-	10	192	93	8	
		100.0	76.7	33.2	0.7	1.5	4.9	3.3	-	-	1.4	26.2	12.7	1.1	
	脊髄損傷	145	46	12	-	39	67	12	-	-	3	47	11	2	
		100.0	31.7	8.3	-	26.9	46.2	8.3	-	-	2.1	32.4	7.6	1.4	
	遷延性意識障害	192	55	18	-	66	121	15	1	4	2	33	15	1	
		100.0	28.6	9.4	-	34.4	63.0	7.8	0.5	2.1	1.0	17.2	7.8	0.5	
	重症心身障害児・者	430	17	10	-	200	395	48	4	17	2	60	20	2	
	100.0	4.0	2.3	-	46.5	91.9	11.2	0.9	4.0	0.5	14.0	4.7	0.5		
その他	70	17	9	-	19	46	10	-	5	-	17	7	1		
	100.0	24.3	12.9	-	27.1	65.7	14.3	-	7.1	-	24.3	10.0	1.4		

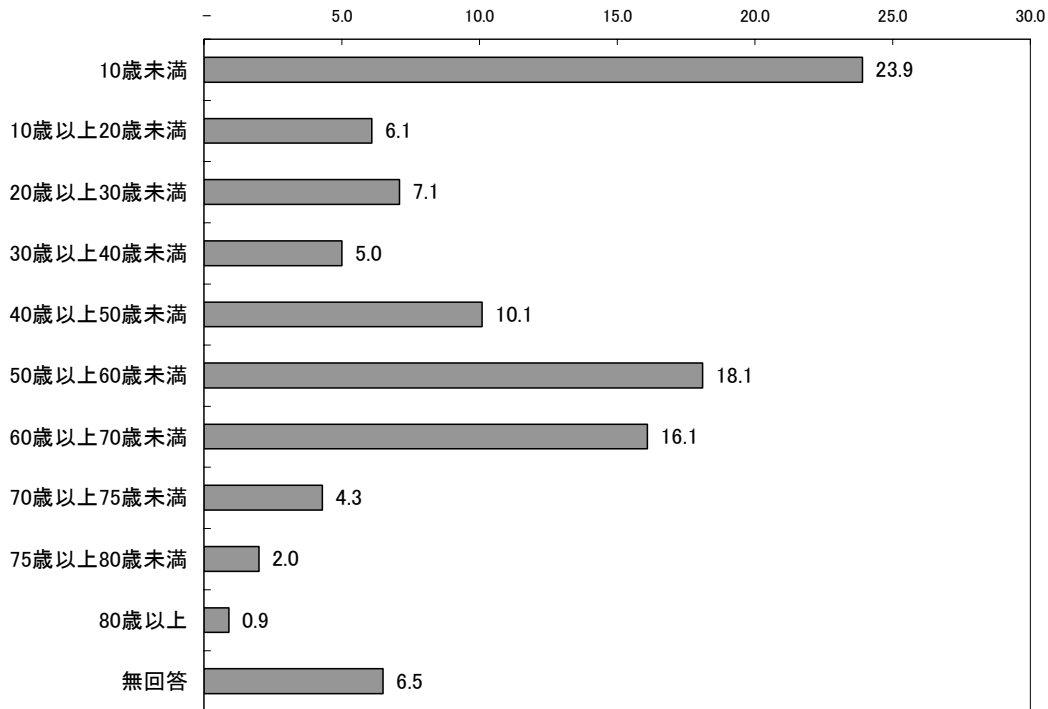
問11. 主たる介護者 × 問6. 病名



2. 障害者ご本人の現在の状態について

(1) 発症した年齢（問 12）

主たる障害疾患が発生した年齢で最も多かったのは、「10歳未満」が23.9%、次いで「50歳以上60歳未満」が18.1%、「60歳以上70歳未満」が16.1%となっている。



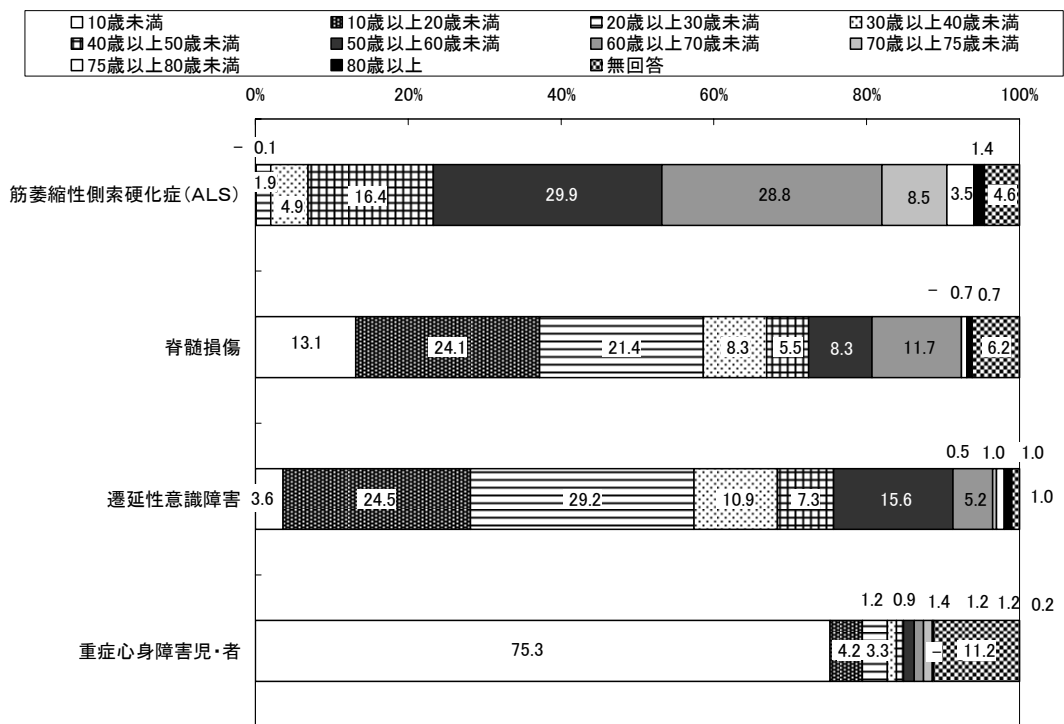
問12. 発症年齢(年数)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	10歳未満	354	23.9
2	10歳以上20歳未満	91	6.1
3	20歳以上30歳未満	105	7.1
4	30歳以上40歳未満	74	5.0
5	40歳以上50歳未満	149	10.1
6	50歳以上60歳未満	268	18.1
7	60歳以上70歳未満	238	16.1
8	70歳以上75歳未満	64	4.3
9	75歳以上80歳未満	29	2.0
10	80歳以上	13	0.9
	無回答	97	6.5
	N (%へ入)	1482	100

問12. 発症年齢(年数) × 問6. 病名

上段:度数 下段:%		問12. 発症年齢(年数)											
		合計	10歳未満	10歳以上20歳未満	20歳以上30歳未満	30歳以上40歳未満	40歳以上50歳未満	50歳以上60歳未満	60歳以上70歳未満	70歳以上75歳未満	75歳以上80歳未満	80歳以上	無回答
全体		1482	354	91	105	74	149	268	238	64	29	13	97
		100.0	23.9	6.1	7.1	5.0	10.1	18.1	16.1	4.3	2.0	0.9	6.5
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症 (ALS)	733	-	1	14	36	120	219	211	62	26	10	34
		100.0	-	0.1	1.9	4.9	16.4	29.9	28.8	8.5	3.5	1.4	4.6
	脊髄損傷	145	19	35	31	12	8	12	17	-	1	1	9
		100.0	13.1	24.1	21.4	8.3	5.5	8.3	11.7	-	0.7	0.7	6.2
	遷延性意識障害	192	7	47	56	21	14	30	10	1	2	2	2
		100.0	3.6	24.5	29.2	10.9	7.3	15.6	5.2	0.5	1.0	1.0	1.0
重症心身障害児・者	430	324	18	14	5	4	6	5	5	1	-	48	
	100.0	75.3	4.2	3.3	1.2	0.9	1.4	1.2	1.2	0.2	-	11.2	
その他	70	35	6	1	2	6	11	4	-	-	1	4	
	100.0	50.0	8.6	1.4	2.9	8.6	15.7	5.7	-	-	1.4	5.7	

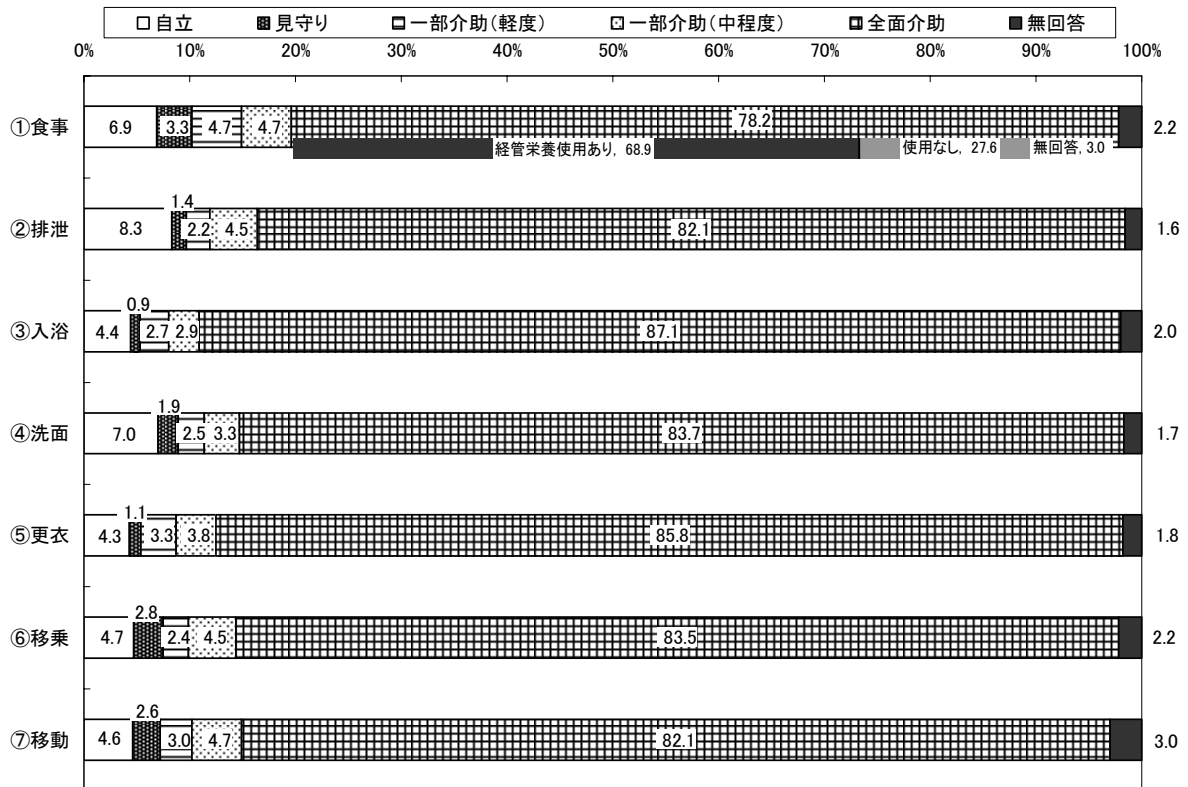
第三章 訪問系サービス利用者におけるサービス利用状況等に関する実態調査結果



(2) 介助程度（問 13）

① 食事、排泄、入浴、洗面、更衣、移乗、移動について

介助程度をみると、約 8 割が「全面介助」となっている。



問13. 介助項目と程度<食事>

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	自立	102	6.9
2	見守り	49	3.3
3	一部介助(軽度)	70	4.7
4	一部介助(中程度)	70	4.7
5	全面介助	1159	78.2
	無回答	32	2.2
	N (%へ-入)	1482	100

問13. 介助項目と程度<排泄>

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	自立	123	8.3
2	見守り	21	1.4
3	一部介助(軽度)	32	2.2
4	一部介助(中程度)	66	4.5
5	全面介助	1217	82.1
	無回答	23	1.6
	N (%へ-入)	1482	100

問13. 介助項目と程度<入浴>

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	自立	65	4.4
2	見守り	13	0.9
3	一部介助(軽度)	40	2.7
4	一部介助(中程度)	43	2.9
5	全面介助	1291	87.1
	無回答	30	2.0
	N (%へ-入)	1482	100

問13. 介助項目と程度<洗面> (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	自立	103	7.0
2	見守り	28	1.9
3	一部介助(軽度)	37	2.5
4	一部介助(中程度)	49	3.3
5	全面介助	1240	83.7
	無回答	25	1.7
	N (%^ー入)	1482	100

問13. 介助項目と程度<更衣> (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	自立	63	4.3
2	見守り	17	1.1
3	一部介助(軽度)	49	3.3
4	一部介助(中程度)	56	3.8
5	全面介助	1271	85.8
	無回答	26	1.8
	N (%^ー入)	1482	100

問13. 介助項目と程度<移乗> (SA)

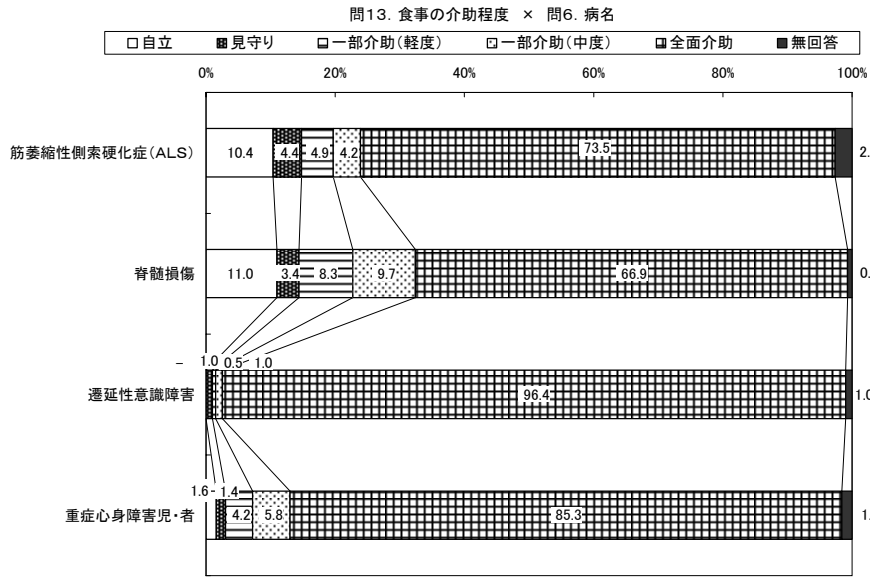
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	自立	69	4.7
2	見守り	41	2.8
3	一部介助(軽度)	36	2.4
4	一部介助(中程度)	66	4.5
5	全面介助	1237	83.5
	無回答	33	2.2
	N (%^ー入)	1482	100

問13. 介助項目と程度<移動(状態)> (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	自立	68	4.6
2	見守り	39	2.6
3	一部介助(軽度)	44	3.0
4	一部介助(中程度)	69	4.7
5	全面介助	1217	82.1
	無回答	45	3.0
	N (%^ー入)	1482	100

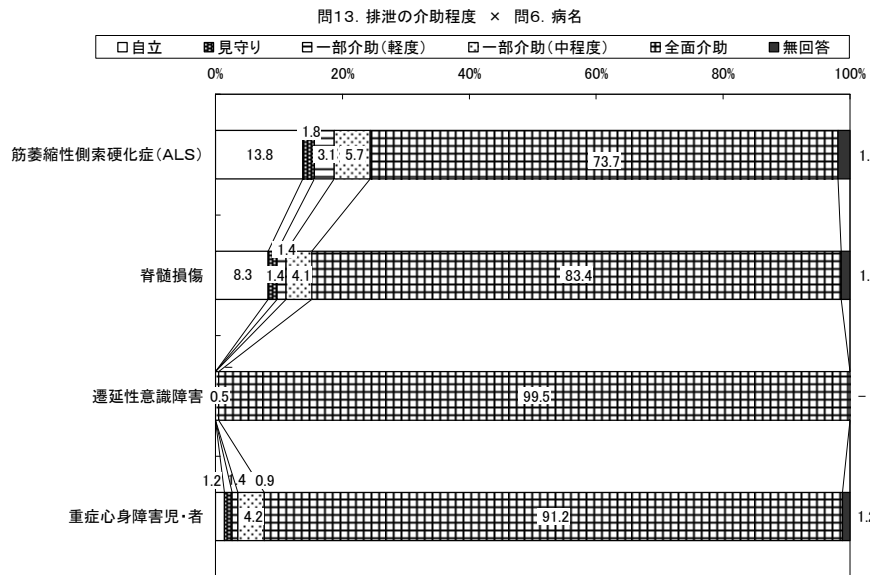
a. 食事

上段:度数 下段:%		問13. 介助項目と程度<食事>						
		合計	自立	見守り	一部介助 (軽度)	一部介助 (中度)	全面介助	無回答
全体		1482	102	49	70	70	1159	32
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	422	26	15	21	20	331	9
		100.0	6.2	3.6	5.0	4.7	78.4	2.1
	政令指定都市以外	980	69	33	48	49	766	15
		100.0	7.0	3.4	4.9	5.0	78.2	1.5
問4. 住まい	在宅	1228	94	46	64	60	948	16
		100.0	7.7	3.7	5.2	4.9	77.2	1.3
	在宅以外	238	6	2	6	9	205	10
		100.0	2.5	0.8	2.5	3.8	86.1	4.2
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733	76	32	36	31	539	19
		100.0	10.4	4.4	4.9	4.2	73.5	2.6
	脊髄損傷	145	16	5	12	14	97	1
		100.0	11.0	3.4	8.3	9.7	66.9	0.7
	遷延性意識障害	192	-	2	1	2	185	2
		100.0	-	1.0	0.5	1.0	96.4	1.0
	重症心身障害児・者	430	7	6	18	25	367	7
	100.0	1.6	1.4	4.2	5.8	85.3	1.6	
	その他	70	6	8	6	5	45	-
		100.0	8.6	11.4	8.6	7.1	64.3	-



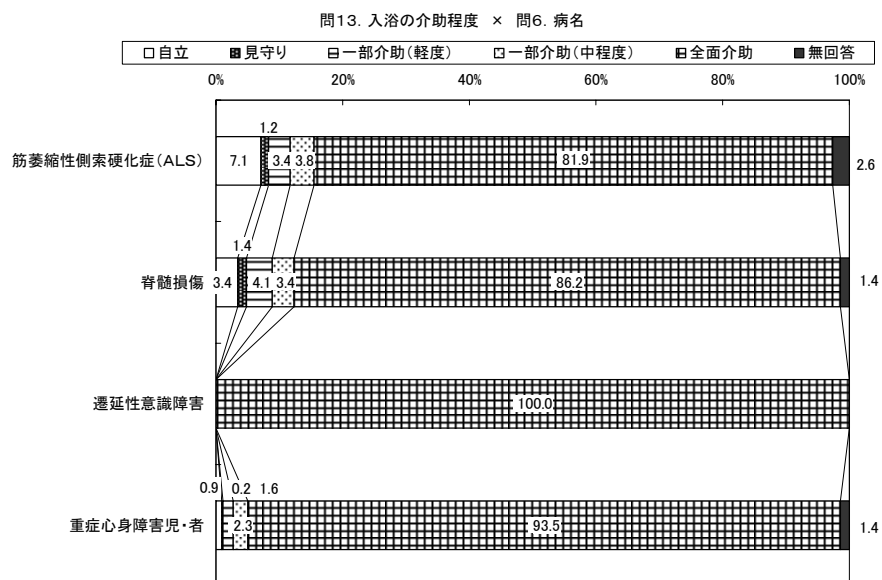
b. 排泄

上段:度数		問13. 介助項目と程度<排泄>						
下段:%		合計	自立	見守り	一部介助(軽度)	一部介助(中程度)	全面介助	無回答
全体		1482	123	21	32	66	1217	23
		100.0	8.3	1.4	2.2	4.5	82.1	1.6
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	422	29	6	8	15	359	5
		100.0	6.9	1.4	1.9	3.6	85.1	1.2
	政令指定都市以外	980	86	15	24	50	795	10
		100.0	8.8	1.5	2.4	5.1	81.1	1.0
問4. 住まい	在宅	1228	117	20	31	60	991	9
		100.0	9.5	1.6	2.5	4.9	80.7	0.7
	在宅以外	238	5	1	1	6	217	8
		100.0	2.1	0.4	0.4	2.5	91.2	3.4
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733	101	13	23	42	540	14
		100.0	13.8	1.8	3.1	5.7	73.7	1.9
	脊髄損傷	145	12	2	2	6	121	2
		100.0	8.3	1.4	1.4	4.1	83.4	1.4
	遷延性意識障害	192	-	-	-	1	191	-
		100.0	-	-	-	0.5	99.5	-
重症心身障害児・者	430	6	5	4	18	392	5	
	100.0	1.4	1.2	0.9	4.2	91.2	1.2	
その他	70	7	2	4	4	53	-	
	100.0	10.0	2.9	5.7	5.7	75.7	-	



c. 入浴

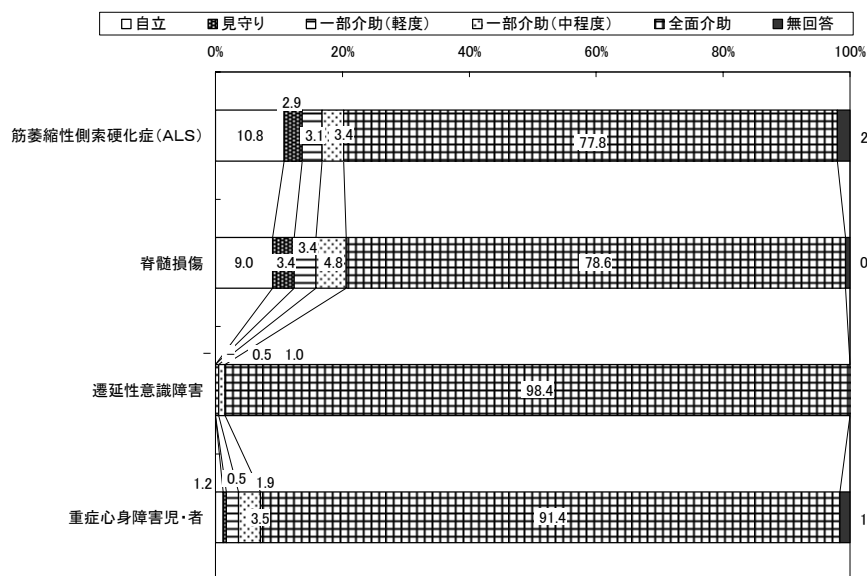
上段:度数 下段:%		問13. 介助項目と程度<入浴>						
		合計	自立	見守り	一部介助 (軽度)	一部介助 (中程度)	全面介助	無回答
全体		1482 100.0	65 4.4	13 0.9	40 2.7	43 2.9	1291 87.1	30 2.0
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	422 100.0	13 3.1	5 1.2	12 2.8	9 2.1	378 89.6	5 1.2
	政令指定都市以外	980 100.0	47 4.8	8 0.8	26 2.7	33 3.4	850 86.7	16 1.6
問4. 住まい	在宅	1228 100.0	63 5.1	12 1.0	38 3.1	41 3.3	1061 86.4	13 1.1
	在宅以外	238 100.0	2 0.8	1 0.4	1 0.4	1 0.8	221 92.9	11 4.6
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733 100.0	52 7.1	9 1.2	25 3.4	28 3.8	600 81.9	19 2.6
	脊髄損傷	145 100.0	5 3.4	2 1.4	6 4.1	5 3.4	125 86.2	2 1.4
	遷延性意識障害	192 100.0	-	-	-	-	192 100.0	-
	重症心身障害児・者	430 100.0	4 0.9	1 0.2	7 1.6	10 2.3	402 93.5	6 1.4
	その他	70 100.0	4 5.7	1 1.4	4 5.7	4 5.7	55 78.6	2 2.9



d. 洗面

上段:度数 下段:%		問13. 介助項目と程度<洗面>						
		合計	自立	見守り	一部介助 (軽度)	一部介助 (中程度)	全面介助	無回答
全体		1482 100.0	103 7.0	28 1.9	37 2.5	49 3.3	1240 83.7	25 1.7
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	422 100.0	23 5.5	9 2.1	10 2.4	10 2.4	365 86.5	5 1.2
	政令指定都市以外	980 100.0	73 7.4	18 1.8	27 2.8	39 4.0	811 82.8	12 1.2
問4. 住まい	在宅	1228 100.0	98 8.0	27 2.2	31 2.5	45 3.7	1016 82.7	11 0.9
	在宅以外	238 100.0	4 1.7	1 0.4	5 2.1	2 0.8	218 91.6	8 3.4
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733 100.0	79 10.8	21 2.9	23 3.1	25 3.4	570 77.8	15 2.0
	脊髄損傷	145 100.0	13 9.0	5 3.4	5 3.4	7 4.8	114 78.6	1 0.7
	遷延性意識障害	192 100.0	-	-	1 0.5	2 1.0	189 98.4	-
	重症心身障害児・者	430 100.0	5 1.2	2 0.5	8 1.9	15 3.5	393 91.4	7 1.6
	その他	70 100.0	7 10.0	2 2.9	4 5.7	4 5.7	52 74.3	1 1.4

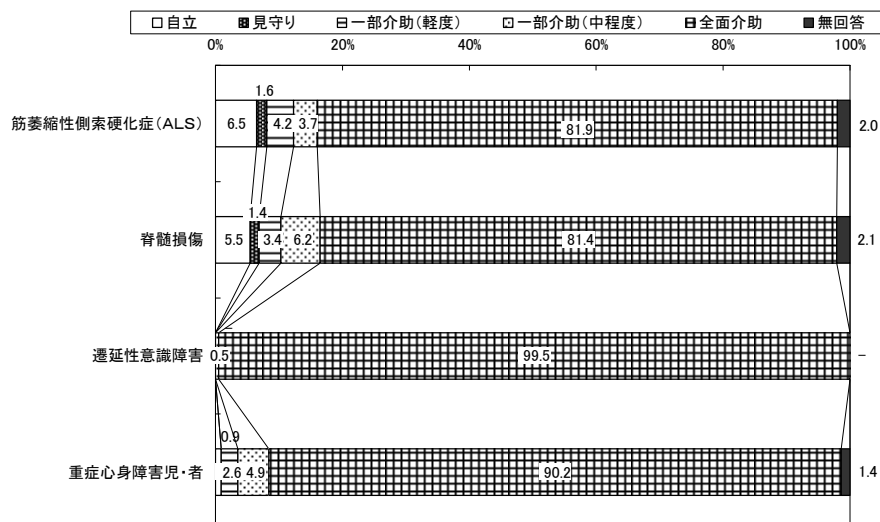
問13. 洗面の介助程度 × 問6. 病名



e. 更衣

上段:度数 下段:%		問13. 介助項目と程度<更衣>						
		合計	自立	見守り	一部介助(軽度)	一部介助(中程度)	全面介助	無回答
全体		1482	63	17	49	56	1271	26
		100.0	4.3	1.1	3.3	3.8	85.8	1.8
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	422	14	2	16	14	371	5
		100.0	3.3	0.5	3.8	3.3	87.9	1.2
問4. 住まい	在宅	980	43	15	32	40	837	13
		100.0	4.4	1.5	3.3	4.1	85.4	1.3
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	1228	60	17	47	49	1043	12
		100.0	4.9	1.4	3.8	4.0	84.9	1.0
問6. 病名	脊髄損傷	238	2	-	2	6	220	8
		100.0	0.8	-	0.8	2.5	92.4	3.4
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733	48	12	31	27	600	15
		100.0	6.5	1.6	4.2	3.7	81.9	2.0
問6. 病名	脊髄損傷	145	8	2	5	9	118	3
		100.0	5.5	1.4	3.4	6.2	81.4	2.1
問6. 病名	遷延性意識障害	192	-	-	-	1	191	-
		100.0	-	-	-	0.5	99.5	-
問6. 病名	重症心身障害児・者	430	4	-	11	21	388	6
		100.0	0.9	-	2.6	4.9	90.2	1.4
問6. 病名	その他	70	3	3	5	5	54	-
		100.0	4.3	4.3	7.1	7.1	77.1	-

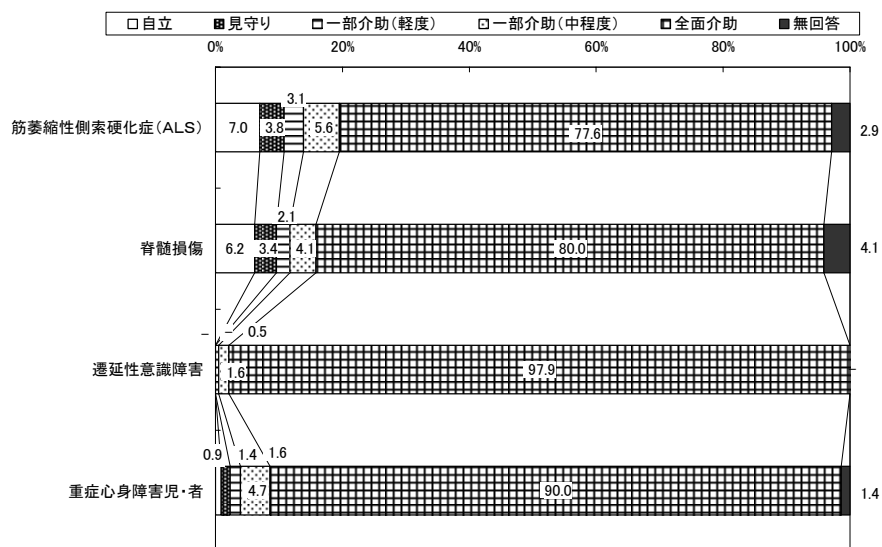
問13. 更衣の介助程度 × 問6. 病名



f. 移乗

上段:度数		問13. 介助項目と程度<移乗>						
下段:%		合計	自立	見守り	一部介助 (軽度)	一部介助 (中程度)	全面介助	無回答
全体		1482	69	41	36	66	1237	33
		100.0	4.7	2.8	2.4	4.5	83.5	2.2
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	422	14	7	14	20	359	8
	政令指定都市以外	100.0	3.3	1.7	3.3	4.7	85.1	1.9
問4. 住まい	在宅	980	50	33	21	45	816	15
	在宅以外	100.0	5.1	3.4	2.1	4.6	83.3	1.5
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	1228	67	40	32	60	1016	13
		100.0	5.5	3.3	2.6	4.9	82.7	1.1
	在宅以外	238	2	1	3	5	213	14
		100.0	0.8	0.4	1.3	2.1	89.5	5.9
	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733	51	28	23	41	569	21
		100.0	7.0	3.8	3.1	5.6	77.6	2.9
脊髄損傷	145	9	5	3	6	116	6	
	100.0	6.2	3.4	2.1	4.1	80.0	4.1	
遷延性意識障害	192	-	-	1	3	188	-	
	100.0	-	-	0.5	1.6	97.9	-	
重症心身障害児・者	430	4	6	7	20	387	6	
	100.0	0.9	1.4	1.6	4.7	90.0	1.4	
その他	70	4	5	3	5	53	-	
	100.0	5.7	7.1	4.3	7.1	75.7	-	

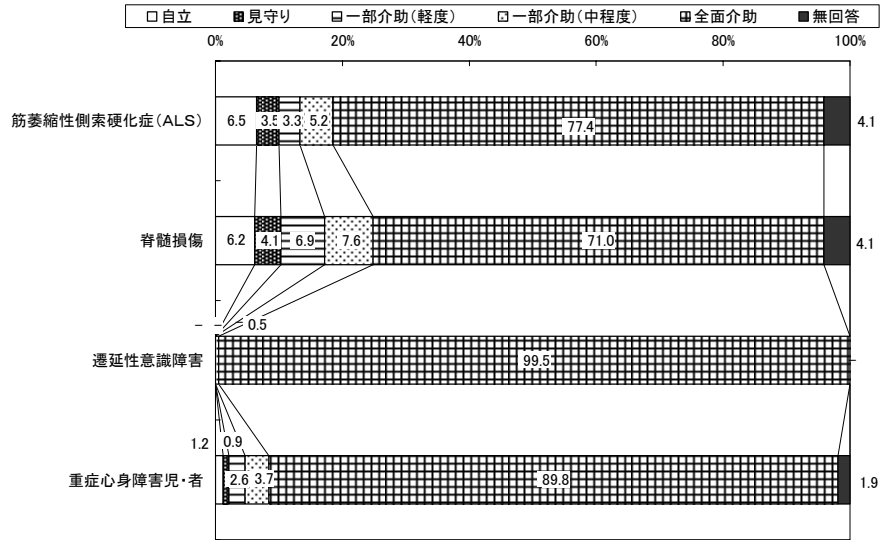
問13. 移乗の介助程度 × 問6. 病名



g. 移動(状態)

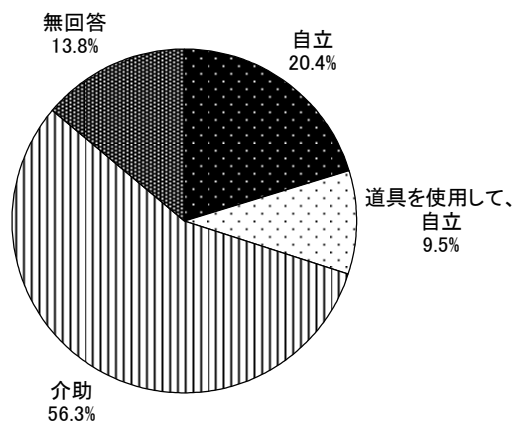
上段:度数		問13. 介助項目と程度<移動(状態)>						
下段:%		合計	自立	見守り	一部介助 (軽度)	一部介助 (中程度)	全面介助	無回答
全体		1482	68	39	44	69	1217	45
		100.0	4.6	2.6	3.0	4.7	82.1	3.0
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	422	11	14	14	17	357	9
	政令指定都市以外	100.0	2.6	3.3	3.3	4.0	84.6	2.1
問4. 住まい	在宅	980	51	24	29	52	799	25
	在宅以外	100.0	5.2	2.4	3.0	5.3	81.5	2.6
問6. 病名	在宅	1228	65	38	37	63	1001	24
		100.0	5.3	3.1	3.0	5.1	81.5	2.0
	在宅以外	238	3	1	7	4	208	15
		100.0	1.3	0.4	2.9	1.7	87.4	6.3
	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733	48	26	24	38	567	30
		100.0	6.5	3.5	3.3	5.2	77.4	4.1
脊髄損傷	145	9	6	10	11	103	6	
	100.0	6.2	4.1	6.9	7.6	71.0	4.1	
遷延性意識障害	192	-	-	-	1	191	-	
	100.0	-	-	-	0.5	99.5	-	
重症心身障害児・者	430	5	4	11	16	386	8	
	100.0	1.2	0.9	2.6	3.7	89.8	1.9	
その他	70	5	5	1	9	50	-	
	100.0	7.1	7.1	1.4	12.9	71.4	-	

問13. 移動(状態)の介助程度 × 問6. 病名



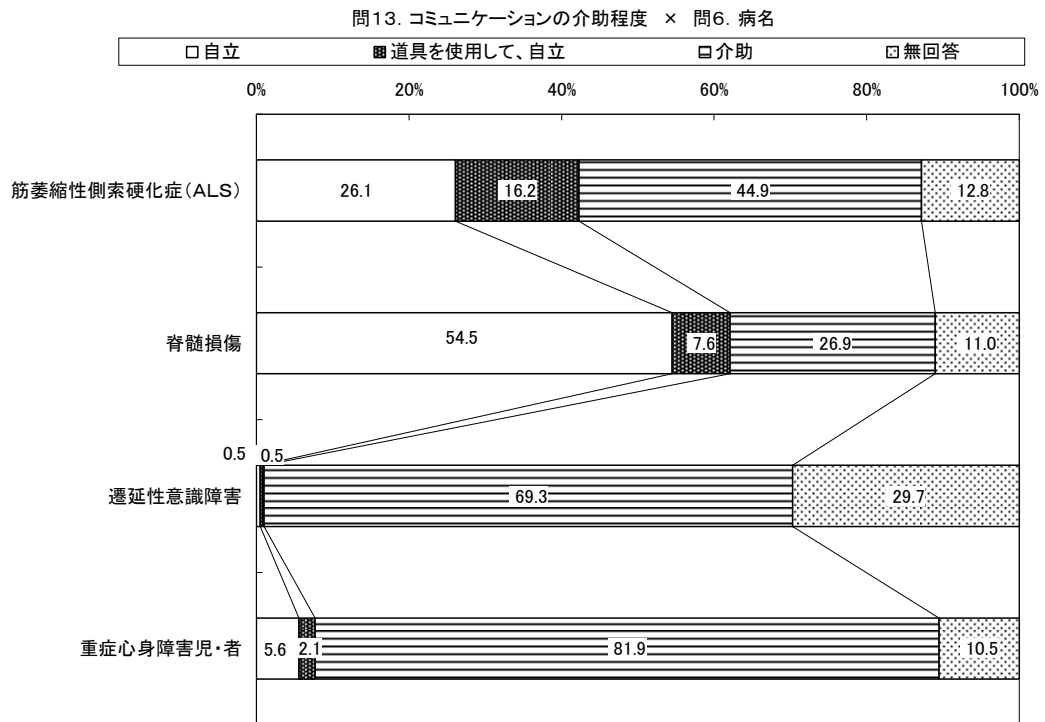
②コミュニケーションについての介助程度（問13）

最も多かったのは「介助」の56.3%、次いで「自立」が20.4%、「道具を使用して、自立」が9.5%となっている。「無回答」の13.8%の中には、介助してもコミュニケーションがとれない最重度の回答者が含まれていると想定される。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	自立	302	20.4
2	道具を使用して、自立	141	9.5
3	介助	834	56.3
	無回答	205	13.8
	N (%ベース)	1482	100

上段:度数 下段:%		問13. 介助項目と程度<コミュニケーション手段>				
		合計	自立	道具を使用して、自立	介助	無回答
全体		1482	302	141	834	205
		100.0	20.4	9.5	56.3	13.8
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	422	88	29	248	57
		100.0	20.9	6.9	58.8	13.5
政令指定都市以外		980	199	105	548	128
		100.0	20.3	10.7	55.9	13.1
問4. 住まい	在宅	1228	280	113	689	146
		100.0	22.8	9.2	56.1	11.9
在宅以外		238	19	27	141	51
		100.0	8.0	11.3	59.2	21.4
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733	191	119	329	94
		100.0	26.1	16.2	44.9	12.8
	脊髄損傷	145	79	11	39	16
		100.0	54.5	7.6	26.9	11.0
	遷延性意識障害	192	1	1	133	57
		100.0	0.5	0.5	69.3	29.7
	重症心身障害児・者	430	24	9	352	45
	100.0	5.6	2.1	81.9	10.5	
その他	70	14	5	43	8	
	100.0	20.0	7.1	61.4	11.4	



③その他に日常的に介助を受けている項目・介助程度 (問14)

<医療的ケア>

●全面介助

- たんの吸引関連(全面介助)……………114件
- 体位の変更(全面介助)……………70件
- 服薬、投薬管理、薬塗布など(全面介助)……………49件
- 経管栄養関連……………24件
- 口腔ケア(全面介助)……………18件
- 人工呼吸器関連(全面介助)……………17件
- 爪切り(全面介助)……………14件
- 摘便・浣腸など(全面介助)……………8件
- 訪問看護(全面介助)……………4件
- 膀胱洗浄、カテーテル交換など(全面介助)……………4件
- 医療的ケア(全面介助)……………4件
- バイタルチェック(全面介助)……………2件
- よだれを拭き取る。(全面介助)……………2件
- 医療機器の操作、管理(全面介助)……………2件
- 自傷行為による傷の手当て(全面介助)……………2件
- バルーン交換等(全面介助)……………1件
- 皮膚疾患の管理(全面介助)……………1件
- 身体の痛いときの手当(全面介助)……………1件

●一部介助(中程度)

- たんの吸引(一部介助(中程度))……………3件
- 経管栄養関連(一部介助(中程度))……………1件
- 服薬、投薬管理、薬塗布など
(一部介助(中程度))……………2件
- 自傷行為(一部介助(中程度))……………1件

●一部介助(軽度)

- 人工呼吸器関連(一部介助(軽度))……………1件
- 経管栄養関連(一部介助(軽度))……………1件

●見守り

- てんかん発作(見守り)……………1件

<食事>

●全面介助

- 食事(全面介助)……………29件
- 食事の準備と調理、後片付けなど(全面介助)……………8件
- 水分補給(全面介助)……………7件
- 食事の補助(全面介助)……………2件
- 流動食(全面介助)
- やわらかい果物、お粥を食べさせる。(全面介助)

●一部介助(中程度)

食事(一部介助(中程度))2件
 食事の準備と調理、後片付けなど
 (一部介助(中程度))4件

●一部介助(軽度)

食事(一部介助(軽度))2件
 食事の準備と調理、後片付けなど
 (一部介助(軽度))1件

●見守り

食事(見守り)2件
 刻み食・とろみ(見守り)1件

<排泄>

●全面介助

排泄(全面介助)39件
 トイレ移乗等の排泄補助(全面介助)4件
 オムツ交換(全面介助)4件

●一部介助(中程度)

排泄(一部介助(中程度))
 トイレ移乗等の排泄補助(一部介助(中程度)) ...1件

●一部介助(軽度)

排泄(一部介助(軽度))1件

●見守り

排泄(見守り)1件

<入浴>

●全面介助

入浴(全面介助)46件
 入浴介助(全面介助)2件
 風呂デイサービス(全面介助)1件
 清拭(全面介助)20件
 耳の中の掃除(全面介助)1件

●一部介助(中程度)

入浴(一部介助(中程度))2件
 清拭(一部介助(中程度))

●一部介助(軽度)

入浴(一部介助(軽度))1件

●見守り

入浴(見守り)1件

<洗面>

●全面介助

歯磨き(全面介助)21件
 洗面(全面介助)19件
 ひげ剃り(全面介助)11件
 洗髪(全面介助)4件
 散髪(全面介助)5件
 整容(全面介助)

●一部介助(中程度)

洗面(一部介助(中程度))2件
 整髪(一部介助(中程度))1件
 散髪(一部介助(中程度))1件
 化粧(一部介助(中程度))1件

●一部介助(軽度)

洗面(一部介助(軽度))1件

●見守り

洗面(見守り)1件

<更衣>

●全面介助

更衣(全面介助)31件

●一部介助(中程度)

更衣(一部介助(中程度))1件

●一部介助(軽度)

更衣(一部介助(軽度))3件

<移乗>

●全面介助

移乗(全面介助)12件
 立ち座り(全面介助)
 座位(全面介助)
 座位訓練(全面介助)

●一部介助(中程度)

立位保持(一部介助(中程度))1件

●一部介助(軽度)

移乗(一部介助(軽度))1件
 立位保持(一部介助(中程度))1件

<移動>

●全面介助

- 車イスの上の見守り(全面介助)
- 車椅子での散歩(全面介助)
- 車椅子移動(全面介助)……………4件
- 歩行(全面介助)……………2件
- ドア・エレベータを開ける(全面介助)
- 公共の乗り物(全面介助)
- 移動(全面介助)……………14件
- 移動支援で送り迎え(全面介助)
- 自宅内移動(全面介助)……………2件
- 介護リフト使用(全面介助)
- 階段(全面介助)
- 外出(全面介助)……………10件
- 病院への送迎(全面介助)……………2件
- 通院(全面介助)……………16件
- 通学、通勤(全面介助)……………4件
- 通所施設等に通う(全面介助)……………3件
- 買い物(全面介助)……………4件
- 靴を脱ぐ、履く(全面介助)

●一部介助(中程度)

- 車椅子移乗(一部介助(中程度))
- 座椅子乗降(全面介助)
- 車椅子移送練習(一部介助(中程度))
- 歩行(一部介助(中程度))
- 歩行、車椅子(一部介助(中程度))
- 室内歩行(一部介助(中程度))
- 屋外移動(一部介助(中程度))
- 外出時(一部介助(中程度))
- 通院(一部介助(中程度))……………2件
- 買い物(一部介助(中程度))……………4件

●一部介助(軽度)

- 歩行(一部介助(軽度))……………2件
- 平行棒の手摺りがあれば OK。それ以外はダメ。
(一部介助(軽度))

- 買い物(一部介助(軽度))
- 送迎介助(一部介助(軽度))

●見守り

- 歩行杖歩行(見守り)
- 歩行訓練(見守り)
- 外出(見守り)……………2件
- 通院(見守り)

<コミュニケーション>

●全面介助

- コミュニケーション(全面介助)
- コミュニケーションマクトスの設置・設定・調整
(全面介助)
- コミュニケーション手段のメンテナンス。
(全面介助)
- コミュニケーション用機器の取り外し及び調節
(全面介助)
- 意志伝達のセンサー。ナースコール。
(全面介助)

- 意志伝達装置(全面介助)
- 意思伝達コミュニケーション(全面介助)

- 伝の心の設定(全面介助)

- 文字を書く(全面介助)
- 文章の代筆(全面介助)
- 書字(全面介助)
- 書類等筆記(全面介助)
- パイプ、タッピング(全面介助)

●一部介助(中程度)

- コミュニケーション表出(一部介助(中程度))
- 代筆(一部介助(中程度))

●見守り

- コミュニケーション(見守り)……………2件

<パソコン等の操作>

●全面介助

- パソコン(全面介助)
- パソコン(伝の心)設定、設置、電源(全面介助) 9件
- パソコンのトラブル解消(全面介助)
- ピエゾスイッチの調整(全面介助)
- パソコン操作(入力等)(全面介助)
- パソコン操作補助(全面介助)

●一部介助(中程度)

- パソコン(一部介助(中程度))……………3件
- パソコン設定、介助(一部介助(中程度))
- パソコン操作(一部介助(中程度))

●一部介助(軽度)

- パソコン(一部介助(軽度))……………2件

<生活全般>

●全面介助

日常生活、全て(全面介助)……………41件
 日中活動の保証(全面介助)
 スケジュール調整、対外交渉→健常の高校生が
 するであろう事を考えて。(全面介助)
 家事(掃除、洗濯等)(全面介助)……………13件
 家事援助(全面介助)
 かゆい所をかく。(全面介助)……………6件
 顔・手・足・身体のかゆいところをかく。
 (全面介助)

顔をかく(全面介助)
 めがねを直す(全面介助)
 補聴器の付け外し(全面介助)……………2件
 窓・カーテン等の開閉。テレビ・エアコン・照明等
 のスイッチ ON/OFF。(全面介助)
 室温調整等環境整備(全面介助)……………8件
 衛生管理(全面介助)
 健康管理(全面介助)
 怪我の防止(全面介助)
 テレビ、CD、ラジオ等の操作(全面介助)……………22件
 スイッチなど(全面介助)
 新聞(全面介助)……………3件
 電化製品の操作(全面介助)……………2件
 電気の消灯。(全面介助)……………2件
 電話をかける。(全面介助)
 電話を聞く、代弁する(受話器を持つ)。
 (全面介助)

鼻の穴の掃除(全面介助)
 鼻をほじる、鼻かみ(全面介助)
 鼻水をとる。(全面介助)
 汗とり(全面介助)

●一部介助(中程度)

家事(掃除、洗濯等)(一部介助(中程度))……………3件

●一部介助(軽度)

テレビ(一部介助(軽度))
 電話(一部介助(軽度))……………2件
 メール、携帯(一部介助(軽度))

●見守り

生活介護(見守り)
 その他の日中時間(見守り)

<起床・ベッド上など>

●全面介助

寝起き(全面介助)……………2件
 就寝・起床(全面介助)……………9件
 睡眠時(全面介助)
 睡眠時呼吸停止があるため。(全面介助)
 ベッド、移動(全面介助)
 ベッドからの起き上がり(全面介助)……………4件
 寝返り(全面介助)……………18件
 ベッド上における体位交換(全面介助)
 ベッド上の身体態勢の向き変え(全面介助)
 ベッドで足の配置(全面介助)
 夜間、ふとんをはねのける。(全面介助)
 寝具の整頓、準備(全面介助)……………4件
 ベッドの高さ、角度調節(全面介助)など……………7件

●一部介助(中程度)

起居動作(一部介助(中程度))
 起床・就寝時の着替え行動(一部介助(中程度))
 就寝(一部介助(中程度))……………2件
 ベッドに寝るまで。(一部介助(中程度))
 寝返り(一部介助(中程度))

●一部介助(軽度)

起居(一部介助(軽度))
 睡眠(一部介助(軽度))

<リハビリ・マッサージなど>

●全面介助

訪問リハビリ(全面介助)
 リハビリ(全面介助)……………26件
 生活の中でのリハビリ(全面介助)……………3件
 身体リハビリ補助(全面介助)
 マッサージやストレッチ(全面介助)……………8件
 作業療法(全面介助)
 作業(全面介助)
 手を使う作業(全面介助)
 手足をお湯に入れる。(全面介助)
 手足を動かすこと(全面介助)……………8件
 手足の位置を直す(全面介助)
 体を動かす。(全面介助)
 手・肘・足・頭の調整。(全面介助)

関節可動域の維持。(全面介助)
上体を起こす(全面介助)
本人希望の整姿の設定(全面介助)
崩れた姿勢をなおす(全面介助)
各関節にビーズ枕、三角枕。(全面介助)

●一部介助(中程度)

リハビリ(一部介助(中程度))
首の保持(一部介助(中程度))

●一部介助(軽度)

リハビリ時の介助(一部介助(軽度))

<趣味・余暇など>

●全面介助

遊び、ゲームをするなど。(全面介助)……………3件
余暇活動の保証(全面介助)
レクリエーション(全面介助)……………2件
読書(ページめくり)(全面介助)
読書(ページめくり機セット、老眼鏡等)
(全面介助)

本読みをする。(全面介助)
絵を描く等の趣味(全面介助)
散歩(全面介助)……………4件

●一部介助(中程度)

読書(一部介助(中程度))
社会的交流(一部介助(中程度))
散歩、買い物(一部介助(中程度))

●一部介助(軽度)

読書(一部介助(軽度))
散歩(一部介助(軽度))……………2件

<デイサービスなど>

●全面介助

グループ活動(全面介助)
デイサービス(全面介助)……………4件

デイセンターでの活動(絵を描く、字を書く、調理
をする、楽器をならすなど)(全面介助)

訓練施設の利用(全面介助)

作業所での活動(全面介助)

●一部介助(中程度)

施設への通所で(一部介助(中程度))

<学校生活など>

●一部介助(中程度)

学生生活(一部介助(中程度))……………4件

<その他>

●全面介助

身体介護(全面介助)
身体介助(全面介助)
身体整容(全面介助)
整姿(全面介助)
体温調節、かけ物(全面介助)
端座位(全面介助)
低体温のため体温調節(全面介助)
不眠(全面介助)
訪問ヘルパー(全面介助)。
可視光線による体温め(全面介助)
手紙などを読ませる(全面介助)
通所用電動車椅子の充電(全面介助)
涙を拭く。(全面介助)
アリをたたく。(全面介助)
蚊やハエを追っ払う。(全面介助)
週2回(全面介助)

●一部介助(中程度)

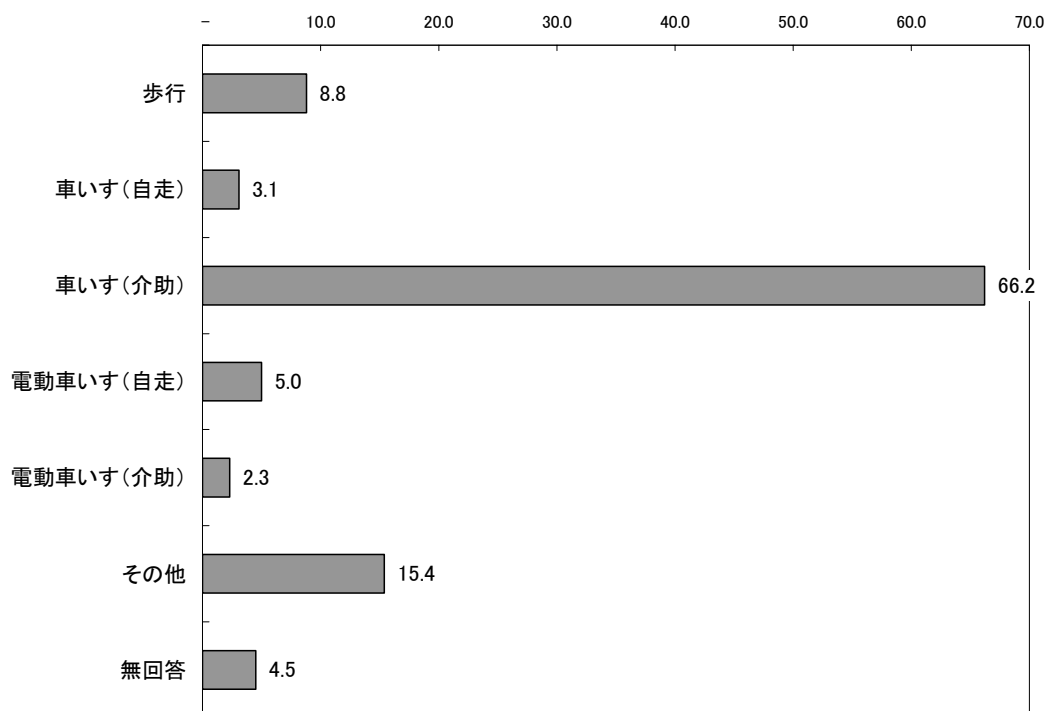
ヘルパー(一部介助(中程度))
書類等整理(一部介助(中程度))
記憶(一部介助(中程度))

●一部介助(軽度)

自宅以外温泉(見守り)

(3) 移動における手段について (問 15)

移動手段で最も多かったのは、「車いす(介助)」で66.2%となっている。次いで多かった「その他」には、ストレッチャーなどがあげられた。

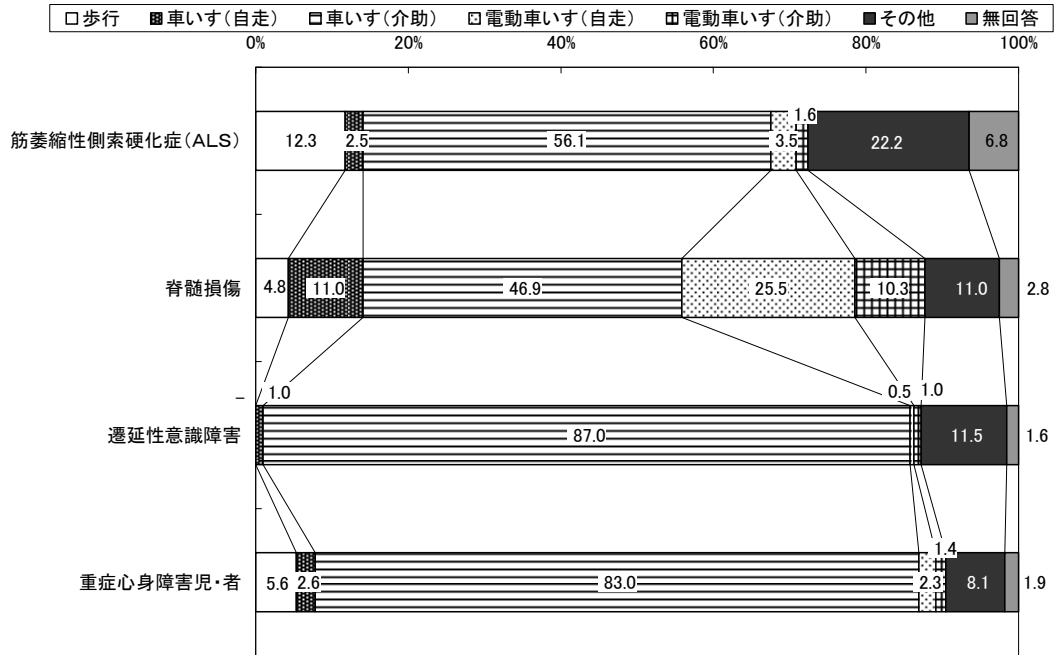


問15. 移動手段 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	歩行	130	8.8
2	車いす(自走)	46	3.1
3	車いす(介助)	981	66.2
4	電動車いす(自走)	74	5.0
5	電動車いす(介助)	34	2.3
6	その他	228	15.4
	無回答	67	4.5
	N (%ベース)	1482	100

上段:度数		問15. 移動手段							
下段:%		合計	歩行	車いす(自走)	車いす(介助)	電動車いす(自走)	電動車いす(介助)	その他	無回答
全体		1482	130	46	981	74	34	228	67
		100.0	8.8	3.1	66.2	5.0	2.3	15.4	4.5
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	422	28	15	304	26	9	51	14
		100.0	6.6	3.6	72.0	6.2	2.1	12.1	3.3
政令指定都市以外		980	96	28	626	45	23	170	43
		100.0	9.8	2.9	63.9	4.6	2.3	17.3	4.4
問4. 住まい	在宅	1228	125	35	842	67	31	171	28
		100.0	10.2	2.9	68.6	5.5	2.5	13.9	2.3
在宅以外		238	5	10	135	5	3	55	32
		100.0	2.1	4.2	56.7	2.1	1.3	23.1	13.4
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733	90	18	411	26	12	163	50
		100.0	12.3	2.5	56.1	3.5	1.6	22.2	6.8
	脊髄損傷	145	7	16	68	37	15	16	4
		100.0	4.8	11.0	46.9	25.5	10.3	11.0	2.8
	遷延性意識障害	192	-	2	167	1	2	22	3
		100.0	-	1.0	87.0	0.5	1.0	11.5	1.6
重症心身障害児・者	430	24	11	357	10	6	35	8	
	100.0	5.6	2.6	83.0	2.3	1.4	8.1	1.9	
その他	70	13	6	42	4	1	9	1	
	100.0	18.6	8.6	60.0	5.7	1.4	12.9	1.4	

問15. 移動手段 × 問6. 病名



<移動手段のその他回答>

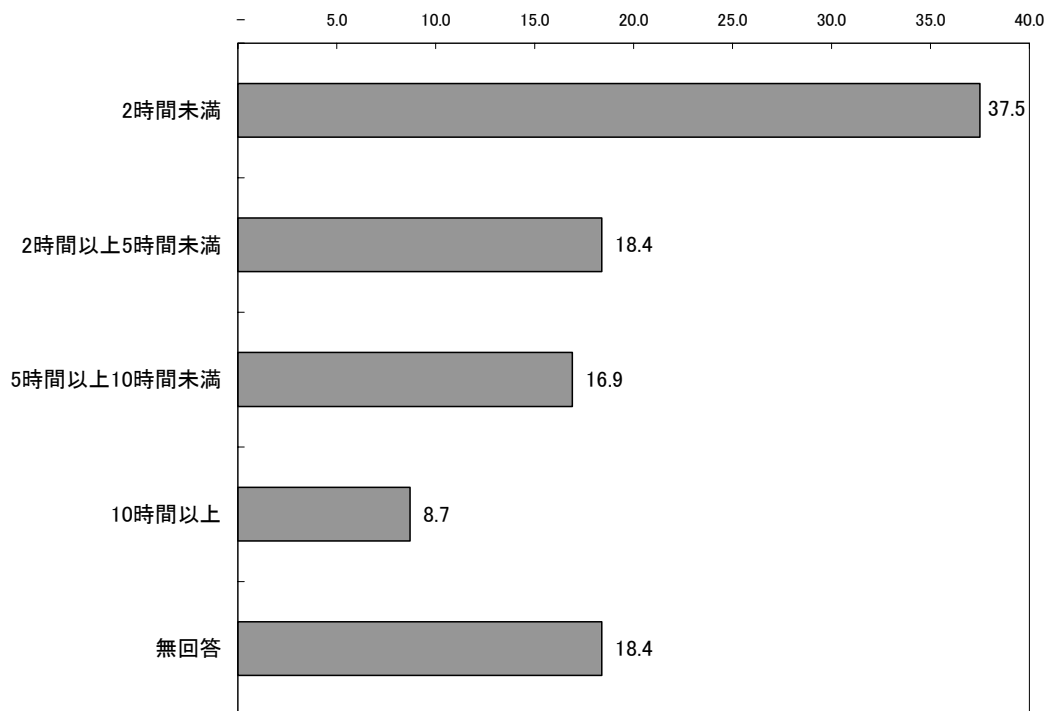
移動手段	件数	移動手段	件数
寝たきり等で、移動なし・移動不可能	33	リクライニングの車イス。	1
ベッド生活	2	ベッドでそのまま移動。	10
民間寝台車移送	1	ストレッチャー	58
民間救急車	2	ストレッチャーで介護タクシー利用	3
福祉タクシーの寝台車付きのもの	1	ストレッチャーベッド	1
病院へはストレッチャー付介護タクシーで。	1	ストレッチャー(吸入器付)	1
寝台付バス(病院の搬送車)	1	ストレッチャー式車いす	4
寝台車	3	車椅子が必要。	4
寝台タクシー	2	家では歩行でしたが屋外では車椅子。	1
リフト付福祉タクシー	1	自宅内は歩行。会社内は電動車椅子、外出は車椅子自走と介助。	1
介護タクシー	7	現在は不可能。9月頃は車椅子で散歩に行くくらい。	1
救急車タイプの民間車	1	外出時車椅子介助	1
リフト付き車を利用	1	介助と兼用の車椅子(状況に応じて使い分け)	1
移動する時(レスパイト入院)5名にて寝台タクシー迄移動する。	1	歩行は可能だが発作による転倒が頻発、至近距離での見守りが必要。	1
障害自動車(寝)	1	室内は歩行器、室外は車椅子介助	2
バス	2	歩行器、サドル付きで自走	1
電車	1	自走式使用で介助	1
タクシー	4	シーティングバギー	2
家族の運転による車での移動	1	バギー	1
運転できる。	1	シート	1
車イス対応自動車	2	自走外部介助	1
車(自家用車含む)	4	座椅子	1
歩行器	4	座位保持装置	1
入浴時に移動するのみ。3人で抱える。	1	座位保持車椅子	1
入浴・入院時のみ移動で、担架等人力。	1	座位保持いす	1
入退院時のみ車イスを使用している。	1	移動用リフト	1
入退院時のみ移動、介護士2名により車イス検査。	1	移乗、移動用介護リフト(電動)	1
入院ベッド	1	手すり	3
入院の際の車での移動のみで日常の移動はありません。	1	補装具	1
通院時のみ車いす(介助)	1	杖	3
リクライニングの車で介助	1	援助しての歩行	1

第三章 訪問系サービス利用者におけるサービス利用状況等に関する実態調査結果

数人で抱き上げて人が移動。	5	バスタオルでみんな移動	1
リフト移動→車椅子移乗、入浴介助	1	抱っこ	2
リフト	1	室内においては、はいはい(自力)	1
リフター	3	ひじばい	1
リクライニング	1	自力運転	1

(4)車いす上で過ごした1日の平均時間（問16）

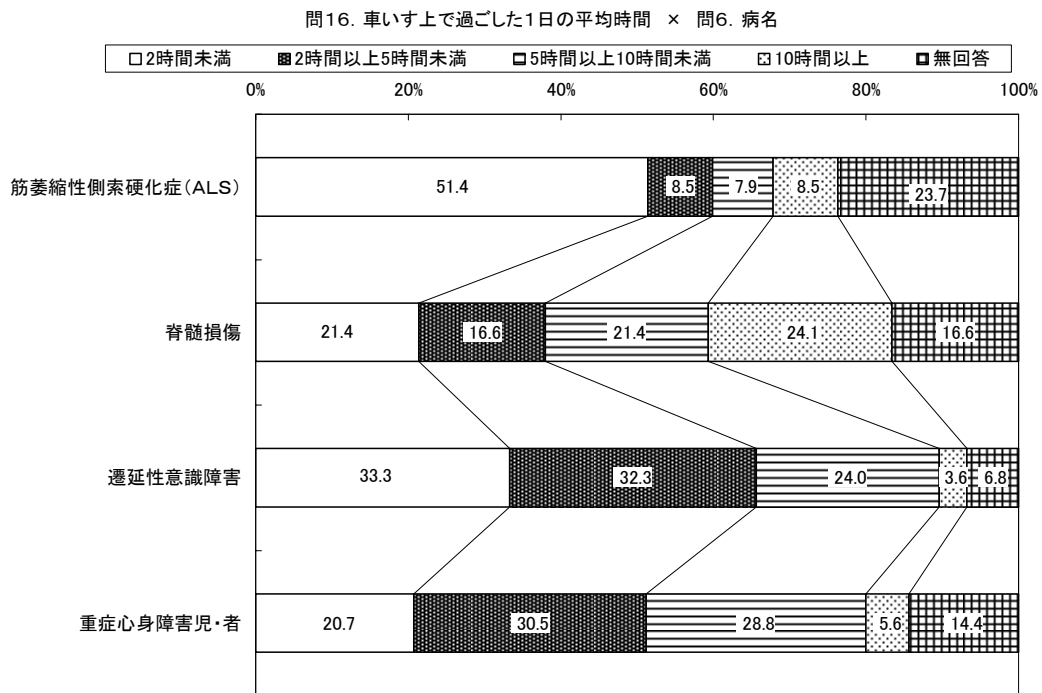
車いす上で過ごした1日の平均時間で最も多かったのは「2時間未満」の37.5%で、次いで「2時間以上5時間未満」が18.4%、「5時間以上10時間未満」が16.9%となっている。



問16. 車いす上の時間

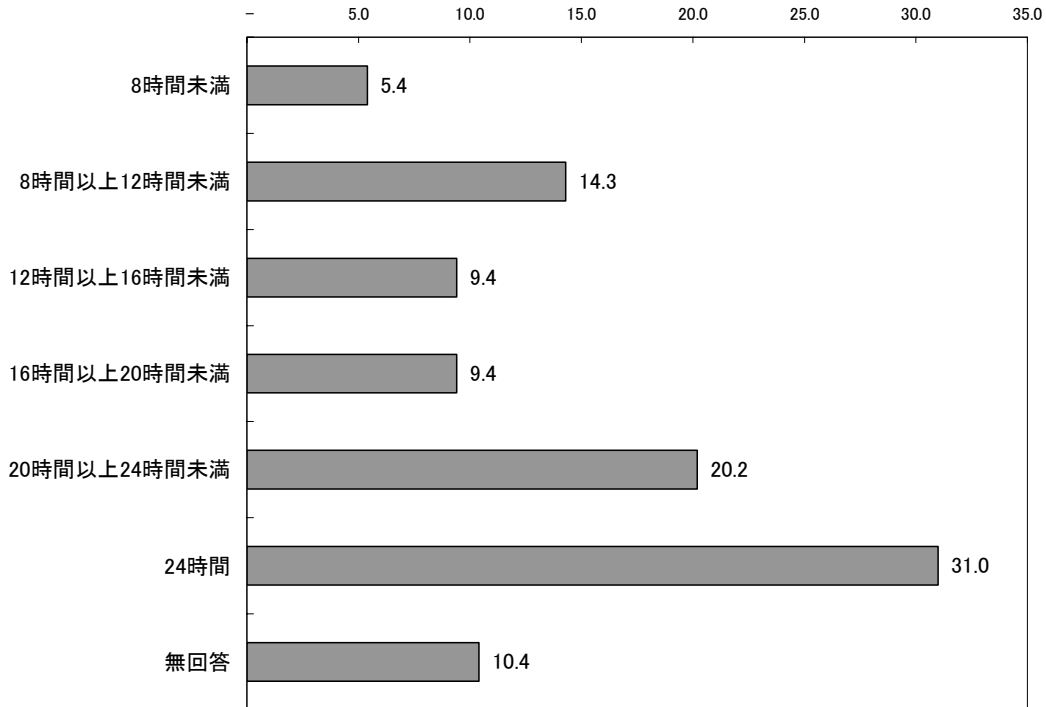
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	2時間未満	556	37.5
2	2時間以上5時間未満	273	18.4
3	5時間以上10時間未満	251	16.9
4	10時間以上	129	8.7
	無回答	273	18.4
	N (%へ-ス)	1482	100

上段:度数 下段:%		問16. 車いす上の時間					
		合計	2時間未満	2時間以上5時間未満	5時間以上10時間未満	10時間以上	無回答
全体		1482	556	273	251	129	273
		100.0	37.5	18.4	16.9	8.7	18.4
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	422	150	84	88	37	63
		100.0	35.5	19.9	20.9	8.8	14.9
政令指定都市以外		980	382	181	143	88	186
		100.0	39.0	18.5	14.6	9.0	19.0
問4. 住まい	在宅	1228	442	231	238	113	204
		100.0	36.0	18.8	19.4	9.2	16.6
在宅以外		238	111	42	13	14	58
		100.0	46.6	17.6	5.5	5.9	24.4
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733	377	62	58	62	174
		100.0	51.4	8.5	7.9	8.5	23.7
	脊髄損傷	145	31	24	31	35	24
		100.0	21.4	16.6	21.4	24.1	16.6
	遷延性意識障害	192	64	62	46	7	13
		100.0	33.3	32.3	24.0	3.6	6.8
重症心身障害児・者		430	89	131	124	24	62
		100.0	20.7	30.5	28.8	5.6	14.4
その他		70	21	12	12	9	16
		100.0	30.0	17.1	17.1	12.9	22.9



(5) ベッド上で過ごした1日の平均時間（問17）

ベッド上で過ごした1日の平均時間で最も多かったのは「24時間」で31.0%。次いで「20時間以上24時間未満」が20.2%、「8時間以上12時間未満」が14.3%となっている。

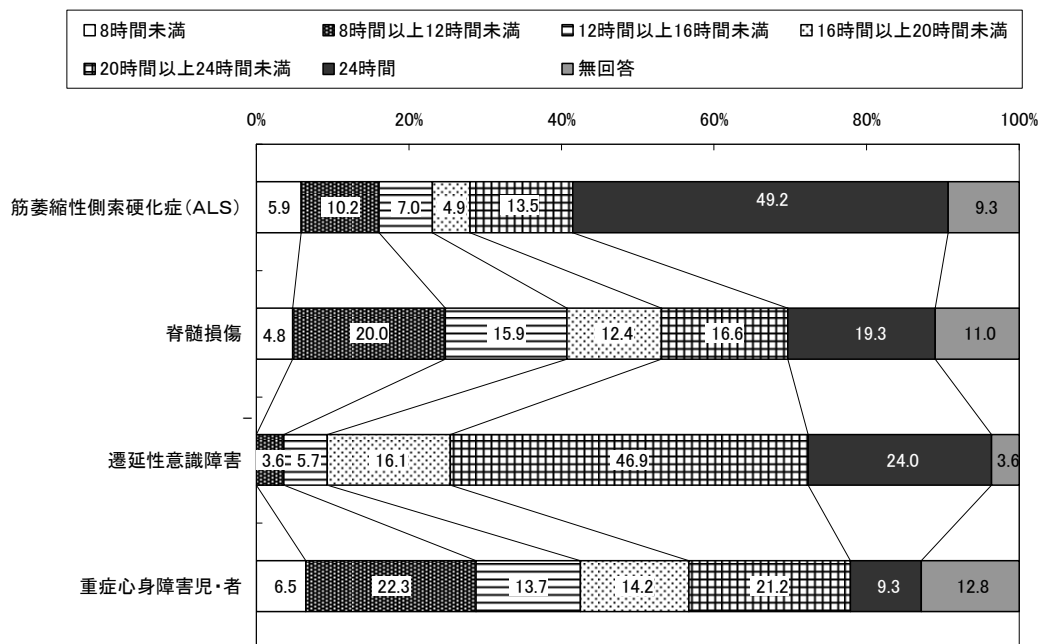


問17. ベッド上の時間

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	8時間未満	80	5.4
2	8時間以上12時間未満	212	14.3
3	12時間以上16時間未満	139	9.4
4	16時間以上20時間未満	139	9.4
5	20時間以上24時間未満	299	20.2
6	24時間	459	31.0
	無回答	154	10.4
	N (%へ入)	1482	100

上段:度数		問17. ベッド上の時間							
下段:%		合計	8時間未満	8時間以上12時間未満	12時間以上16時間未満	16時間以上20時間未満	20時間以上24時間未満	24時間	無回答
全体		1482	80	212	139	139	299	459	154
		100.0	5.4	14.3	9.4	9.4	20.2	31.0	10.4
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	422	22	73	43	43	85	118	38
	政令指定都市以外	100.0	5.2	17.3	10.2	10.2	20.1	28.0	9.0
問4. 住まい	在宅	1228	76	193	133	131	243	330	122
	在宅以外	100.0	6.2	15.7	10.8	10.7	19.8	26.9	9.9
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733	43	75	51	36	99	361	68
	脊髄損傷	145	7	29	23	18	24	28	16
	遷延性意識障害	192	-	7	11	31	90	46	7
	重症心身障害児・者	430	28	96	59	61	91	40	55
	その他	70	5	20	5	6	15	10	9
		100.0	7.1	28.6	7.1	8.6	21.4	14.3	12.9
		100.0	5.9	10.2	7.0	4.9	13.5	49.2	9.3

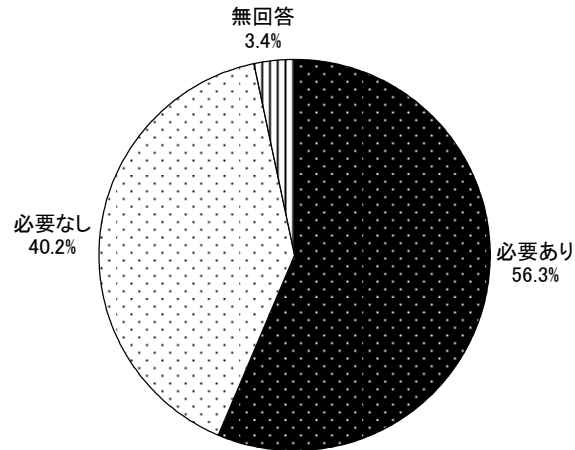
問17. ベッド上で過ごした1日の平均時間 × 問6. 病名



(6) 医療的ケアにおけるたんの吸引について（問 18）

① たんの吸引の必要性

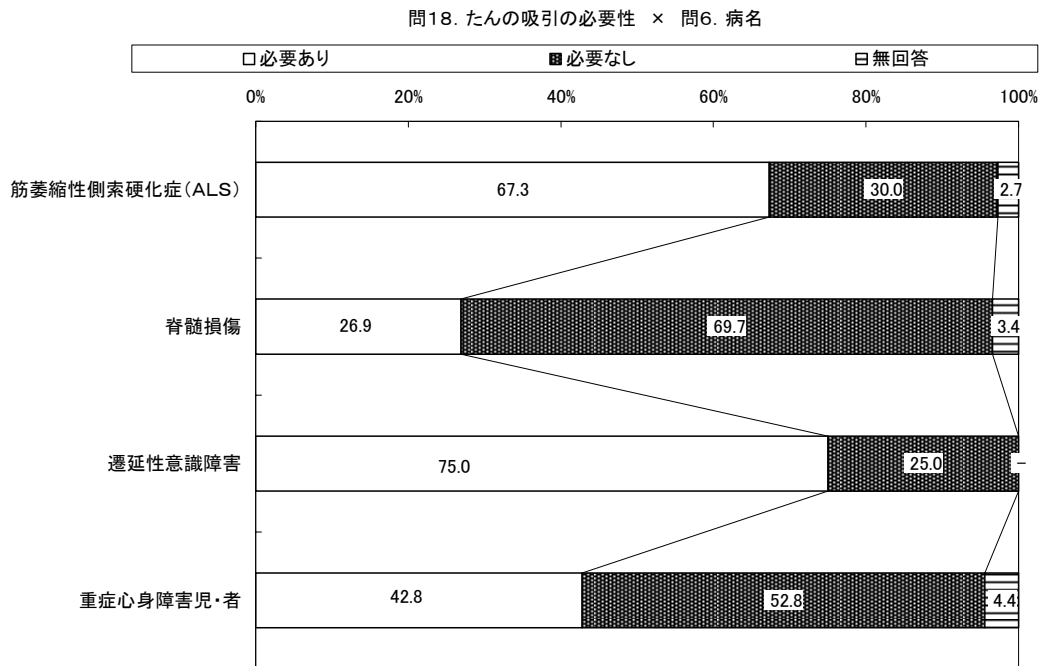
たんの吸引が必要だと回答した割合は、56.3%と約半数を占め、40.2%は必要ない結果となった。



問18. たんの吸引 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	必要あり	835	56.3
2	必要なし	596	40.2
	無回答	51	3.4
	N (%ベース)	1482	100

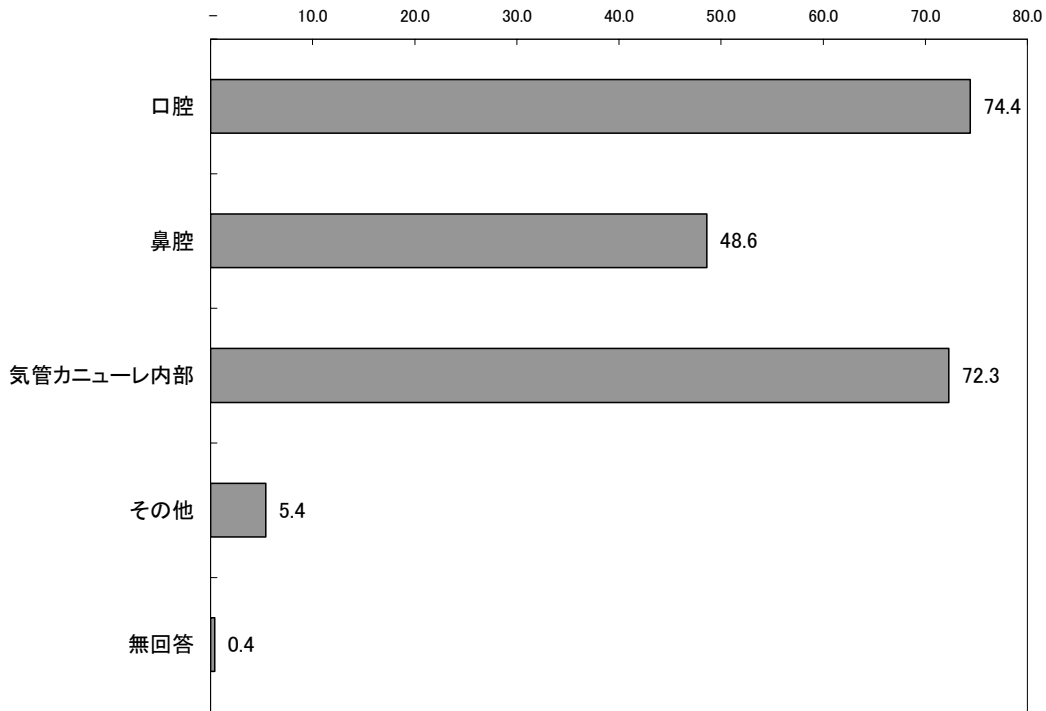
上段:度数 下段:%		問18. たんの吸引			
		合計	必要あり	必要なし	無回答
全体		1482	835	596	51
		100.0	56.3	40.2	3.4
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	422	235	173	14
		100.0	55.7	41.0	3.3
	政令指定都市以外	980	558	392	30
		100.0	56.9	40.0	3.1
問4. 住まい	在宅	1228	648	542	38
		100.0	52.8	44.1	3.1
	在宅以外	238	182	50	6
		100.0	76.5	21.0	2.5
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733	493	220	20
		100.0	67.3	30.0	2.7
	脊髄損傷	145	39	101	5
		100.0	26.9	69.7	3.4
	遷延性意識障害	192	144	48	-
		100.0	75.0	25.0	-
	重症心身障害児・者	430	184	227	19
	100.0	42.8	52.8	4.4	
その他	70	32	33	5	
	100.0	45.7	47.1	7.1	



②吸引の種類（問18）

「口腔」が74.4%、「鼻腔」が48.6%、「気管カニューレ内部」が72.3%、「その他」が5.4%の結果となった。

その他には、サイドチューブなどがあげられた。



問18-1. 吸引の種類 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	口腔	621	74.4
2	鼻腔	406	48.6
3	気管カニューレ内部	604	72.3
4	その他	45	5.4
	無回答	3	0.4
	N (%ヘ-ス)	835	100

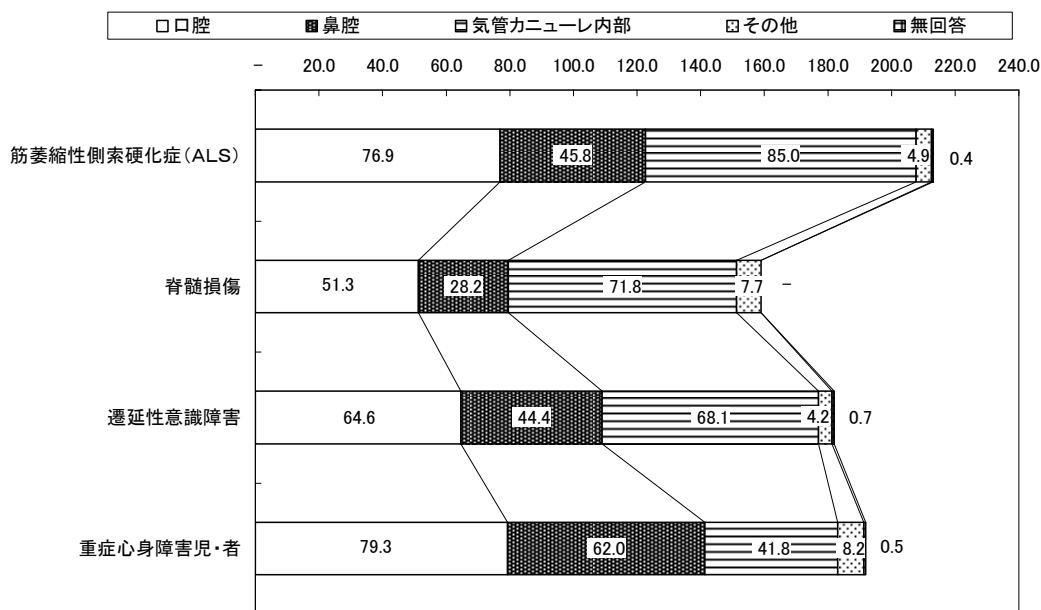
<吸引の種類その他回答>

吸引の種類	件数	吸引の種類	件数
サイドチューブ	5	永久気管腔(食堂、気管分離術後)	2
サイド(カニューレ)	2	レティナ	1
人工呼吸器ホース	1	日中はカニューレを付けていないので、のどの付近。	1
持続吸引	1	こうとう分離手術を受けており、カニューレなしで気管より100%	1
喉頭気管分離をしているがカニューレは使用していない。	1	グリーンライン	1
喉頭	1	カフ横くだ、ガーゼ下のカニューレ外側	1
気孔部カニューレなし	1	カフマシーン	1
気切孔。あながふさがらない。	4	カニューレ周囲	1
気切カニューレ側管部	1	カニューレの側管	1
気管、気管内	4	カニューレのサイドチューブ、及び気管切開部。	1
気管用ガーゼ廻り。	1	カニューレなしの気切口	1
気管抜去での内部	1	カニューレサイドチューブ	1
気管切開	1	ガーゼ(Y)下からとっています。	1
気管を切開しているが、カニューレなし。	1	必要になると言われたが、現在使用していない。	1
気管カニューレより奥	1	自力で出す時もあり。	1

気管カニューレのサイドチューブ	1	時々が必要になってきています。	1
気管カテーテル	1		

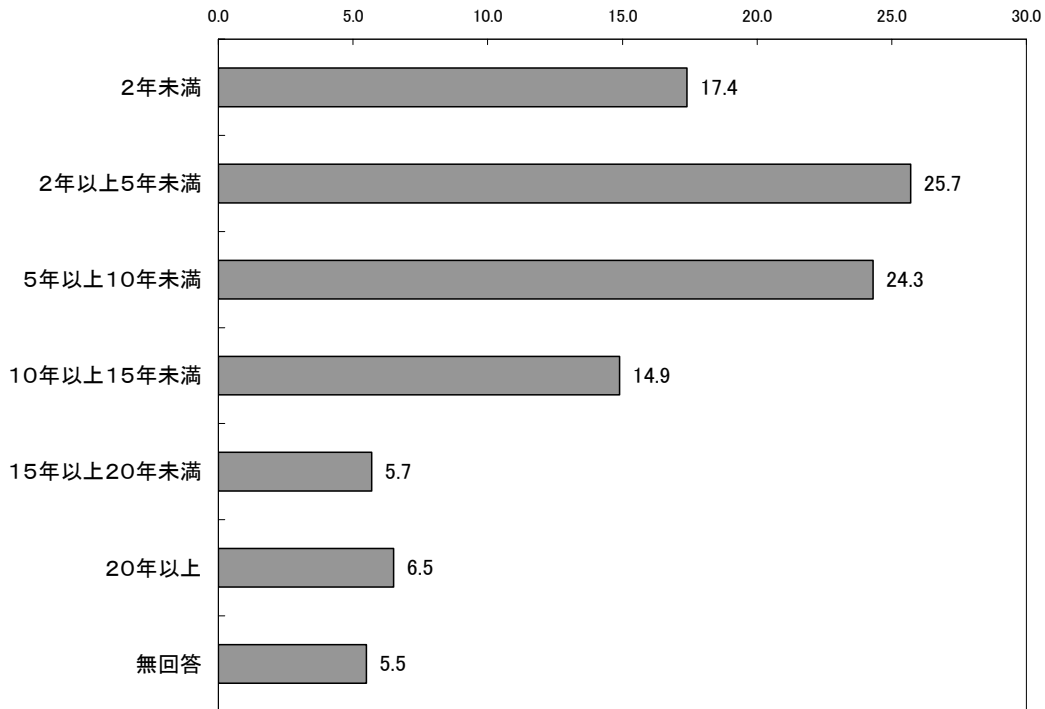
上段:度数 下段:%		問18-1. 吸引の種類					
		合計	口腔	鼻腔	気管カニューレ内部	その他	無回答
全体		835 100.0	621 74.4	406 48.6	604 72.3	45 5.4	3 0.4
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	235 100.0	181 77.0	126 53.6	160 68.1	17 7.2	1 0.4
	政令指定都市以外	558 100.0	409 73.3	261 46.8	412 73.8	28 5.0	2 0.4
問4. 住まい	在宅	648 100.0	495 76.4	316 48.8	454 70.1	38 5.9	2 0.3
	在宅以外	182 100.0	123 67.6	87 47.8	146 80.2	6 3.3	1 0.5
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	493 100.0	379 76.9	226 45.8	419 85.0	24 4.9	2 0.4
	脊髄損傷	39 100.0	20 51.3	11 28.2	28 71.8	3 7.7	-
	遷延性意識障害	144 100.0	93 64.6	64 44.4	98 68.1	6 4.2	1 0.7
	重症心身障害児・者	184 100.0	146 79.3	114 62.0	77 41.8	15 8.2	1 0.5
	その他	32 100.0	26 81.3	21 65.6	19 59.4	4 12.5	-

問18. 吸引の種類 × 問6. 病名



③吸引の期間（問18）

吸引が必要となった時期と現在の年齢から、吸引の期間を算出した。「2年以上5年未満」が最も多く25.7%で、次いで、「5年以上10年未満」が24.3%となっている。

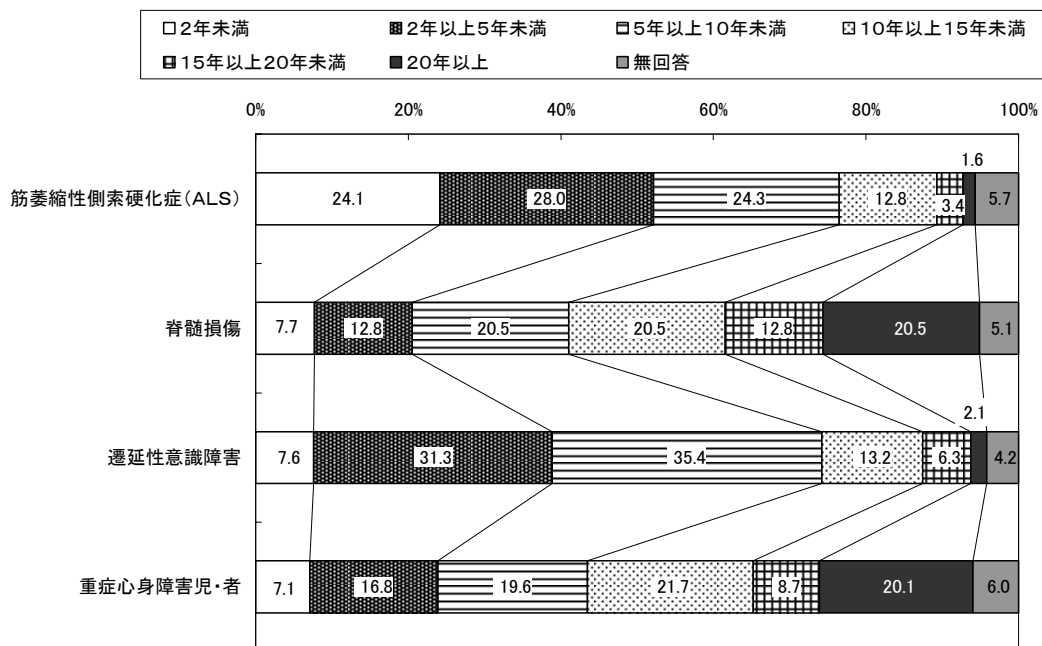


問18-2. 吸引経過年数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	2年未満	145	17.4
2	2年以上5年未満	215	25.7
3	5年以上10年未満	203	24.3
4	10年以上15年未満	124	14.9
5	15年以上20年未満	48	5.7
6	20年以上	54	6.5
	無回答	46	5.5
	N (% [^] -入)	835	100

上段:度数		問18-2. 吸引経過年数							
下段:%		合計	2年未満	2年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上	無回答
全体		835	145	215	203	124	48	54	46
		100.0	17.4	25.7	24.3	14.9	5.7	6.5	5.5
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	235	34	66	47	38	17	18	15
		100.0	14.5	28.1	20.0	16.2	7.2	7.7	6.4
	政令指定都市以外	558	107	142	144	75	30	31	29
		100.0	19.2	25.4	25.8	13.4	5.4	5.6	5.2
問4. 住まい	在宅	648	106	150	169	108	41	46	28
		100.0	16.4	23.1	26.1	16.7	6.3	7.1	4.3
	在宅以外	182	39	62	34	16	7	8	16
		100.0	21.4	34.1	18.7	8.8	3.8	4.4	8.8
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	493	119	138	120	63	17	8	28
		100.0	24.1	28.0	24.3	12.8	3.4	1.6	5.7
	脊髄損傷	39	3	5	8	8	5	8	2
		100.0	7.7	12.8	20.5	20.5	12.8	20.5	5.1
	遷延性意識障害	144	11	45	51	19	9	3	6
		100.0	7.6	31.3	35.4	13.2	6.3	2.1	4.2
	重症心身障害児・者	184	13	31	36	40	16	37	11
		100.0	7.1	16.8	19.6	21.7	8.7	20.1	6.0
	その他	32	3	9	9	3	3	5	-
		100.0	9.4	28.1	28.1	9.4	9.4	15.6	-

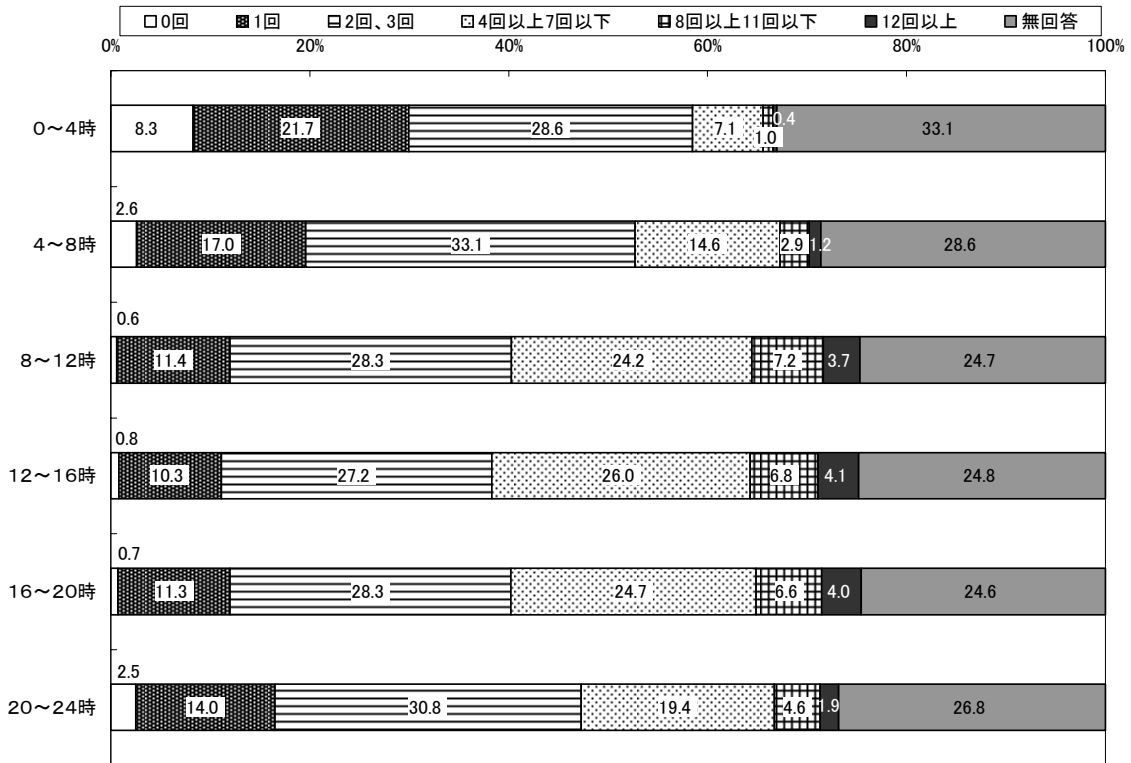
問18. 吸引の期間 × 問6. 病名



④吸引の状況（問18）

a. 時間帯別

1日の中で吸引が必要な状況を見ると、「2回、3回」が多い傾向がみられる。
 0～4時台では、「2回、3回（28.6%）」が最も多く、次いで「1回（21.7%）」。
 4～8時台では、「2回、3回（33.1%）」が最も多く、次いで「1回（17.0%）」。
 8～12時台では、「2回、3回（28.3%）」が最も多く、次いで「4～7回以下（24.2%）」。
 12～16時台では、「2回、3回（27.2%）」が最も多く、次いで「4～7回以下（26.0%）」。
 16～20時台では、「2回、3回（28.3%）」が最も多く、次いで「4～7回以下（24.7%）」。
 20～24時台では、「2回、3回（30.8%）」が最も多く、次いで「4～7回以下（19.4%）」。
 最も多かった「2、3回」をみると、「4～8時」・「20～24時」が多くなっており、早朝・夜間が若干多い傾向がみられた。



問18-3-2. 吸引の状況<4時-8時>-吸引回数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	0回	22	2.6
2	1回	142	17.0
3	2回、3回	276	33.1
4	4回以上7回以下	122	14.6
5	8回以上11回以下	24	2.9
6	12回以上	10	1.2
	無回答	239	28.6
	N (%へ-入)	835	100

問18-3-3. 吸引の状況<8時-12時>-吸引回数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	0回	5	0.6
2	1回	95	11.4
3	2回、3回	236	28.3
4	4回以上7回以下	202	24.2
5	8回以上11回以下	60	7.2
6	12回以上	31	3.7
	無回答	206	24.7
	N (%へ-入)	835	100

問18-3-4. 吸引の状況<12時-16時>-吸引回数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	0回	7	0.8
2	1回	86	10.3
3	2回、3回	227	27.2
4	4回以上7回以下	217	26.0
5	8回以上11回以下	57	6.8
6	12回以上	34	4.1
	無回答	207	24.8
	N (%へ-入)	835	100

問18-3-5. 吸引の状況<16時-20時>-吸引回数

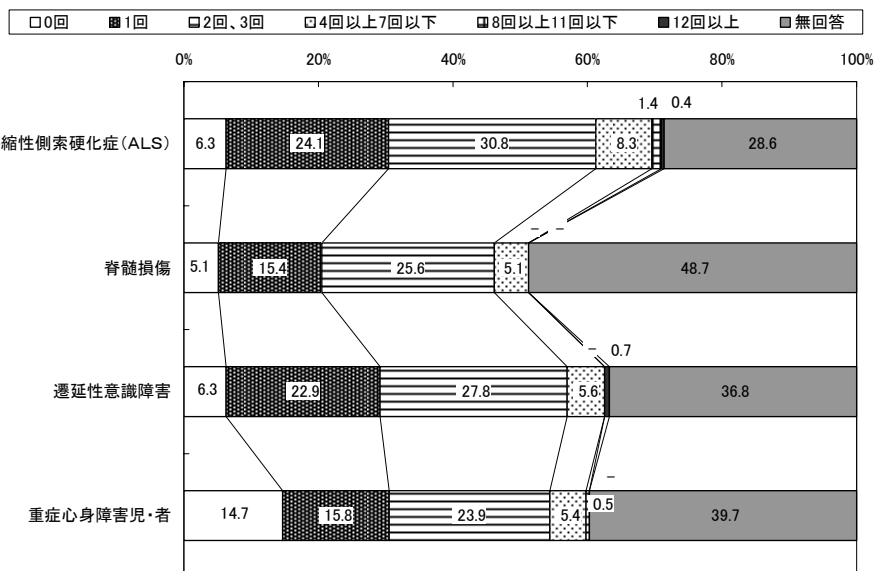
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	0回	6	0.7
2	1回	94	11.3
3	2回、3回	236	28.3
4	4回以上7回以下	206	24.7
5	8回以上11回以下	55	6.6
6	12回以上	33	4.0
	無回答	205	24.6
	N (%へ-入)	835	100

問18-3-6. 吸引の状況<20時-24時>-吸引回数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	0回	21	2.5
2	1回	117	14.0
3	2回、3回	257	30.8
4	4回以上7回以下	162	19.4
5	8回以上11回以下	38	4.6
6	12回以上	16	1.9
	無回答	224	26.8
	N (%へ-入)	835	100

上段:度数 下段:%		問18-3-1. 吸引の状況<0時-4時>-吸引回数							
		合計	0回	1回	2回、3回	4回以上7回以下	8回以上11回以下	12回以上	無回答
全体		835 100.0	69 8.3	181 21.7	239 28.6	59 7.1	8 1.0	3 0.4	276 33.1
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	235 100.0	17 7.2	47 20.0	66 28.1	23 9.8	3 1.3	1 0.4	78 33.2
	政令指定都市以外	558 100.0	49 8.8	126 22.6	162 29.0	32 5.7	5 0.9	2 0.4	182 32.6
問4. 住まい	在宅	648 100.0	60 9.3	152 23.5	201 31.0	52 8.0	7 1.1	2 0.3	174 26.9
	在宅以外	182 100.0	9 4.9	29 15.9	35 19.2	7 3.8	1 0.5	1 0.5	100 54.9
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	493 100.0	31 6.3	119 24.1	152 30.8	41 8.3	7 1.4	2 0.4	141 28.6
	脊髄損傷	39 100.0	2 5.1	6 15.4	10 25.6	2 5.1	-	-	19 48.7
	遷延性意識障害	144 100.0	9 6.3	33 22.9	40 27.8	8 5.6	-	1 0.7	53 36.8
	重症心身障害児・者	184 100.0	27 14.7	29 15.8	44 23.9	10 5.4	1 0.5	-	73 39.7
	その他	32 100.0	3 9.4	5 15.6	12 37.5	4 12.5	-	-	8 25.0

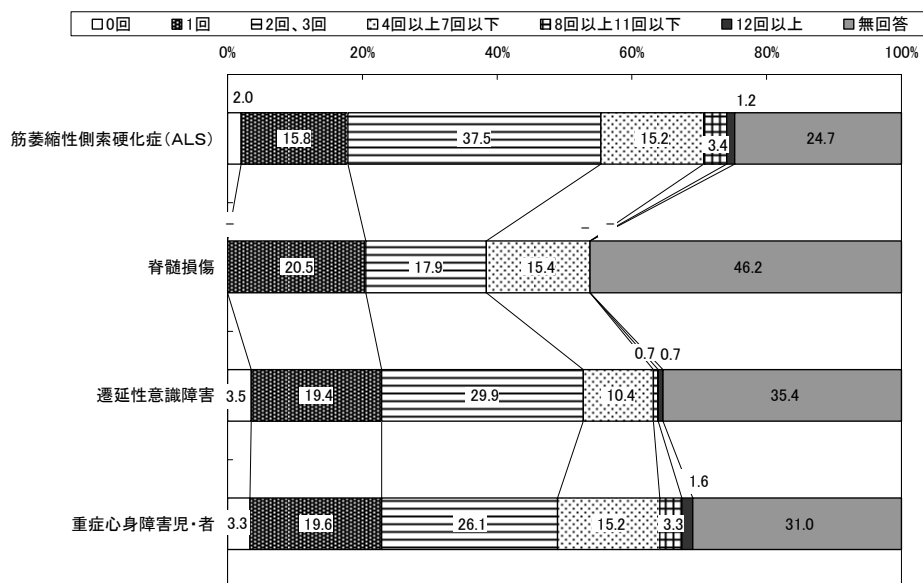
問18. 0~4時の吸引回数 × 問6. 病名



上段:度数 下段:%		問18-3-2. 吸引の状況<4時-8時>-吸引回数							
		合計	0回	1回	2回、3回	4回以上7回以下	8回以上11回以下	12回以上	無回答
全体		835 100.0	22 2.6	142 17.0	276 33.1	122 14.6	24 2.9	10 1.2	239 28.6
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	235 100.0	6 2.6	43 18.3	68 28.9	42 17.9	6 2.6	3 1.3	67 28.5
	政令指定都市以外	558 100.0	16 2.9	92 16.5	194 34.8	72 12.9	17 3.0	7 1.3	160 28.7
問4. 住まい	在宅	648 100.0	19 2.9	112 17.3	231 35.6	109 16.8	24 3.7	8 1.2	145 22.4
	在宅以外	182 100.0	3 1.6	30 16.5	42 23.1	13 7.1	-	2 1.1	92 50.5
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	493 100.0	10 2.0	78 15.8	185 37.5	75 15.2	17 3.4	6 1.2	122 24.7
	脊髄損傷	39 100.0	-	8 20.5	7 17.9	6 15.4	-	-	18 46.2
	遷延性意識障害	144 100.0	5 3.5	28 19.4	43 29.9	15 10.4	1 0.7	1 0.7	51 35.4
	重症心身障害児・者	184 100.0	6 3.3	36 19.6	48 26.1	28 15.2	6 3.3	3 1.6	57 31.0
	その他	32 100.0	1 3.1	2 6.3	10 31.3	9 28.1	2 6.3	1 3.1	7 21.9

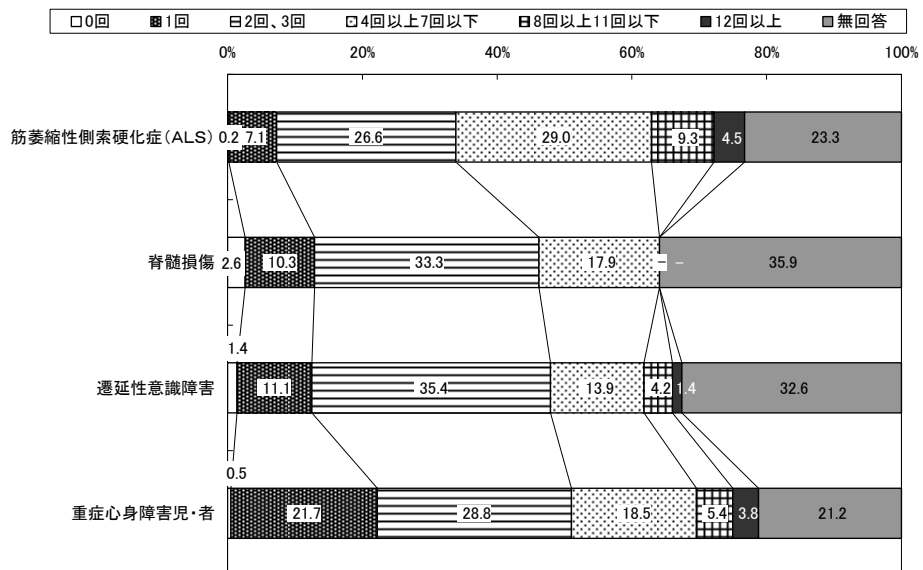
第三章 訪問系サービス利用者におけるサービス利用状況等に関する実態調査結果

問18. 4～8時の吸引回数 × 問6. 病名



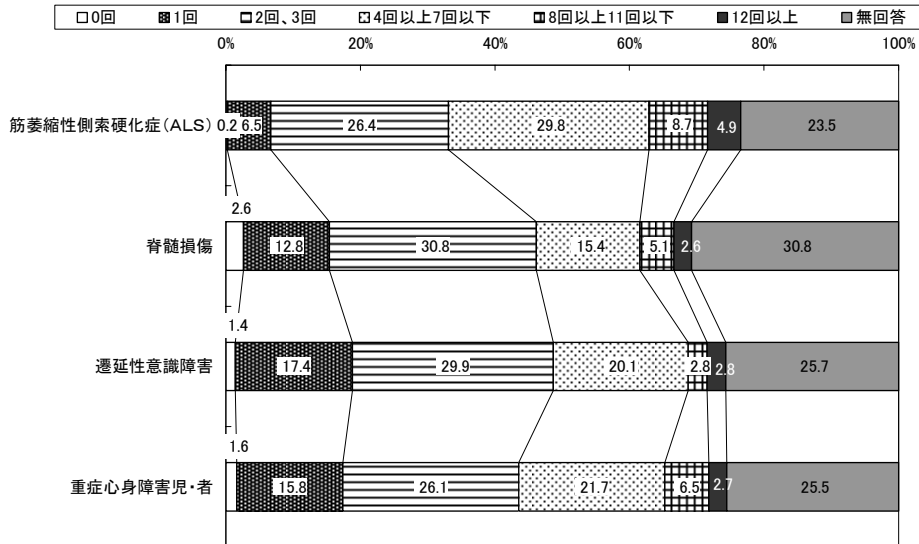
上段:度数		問18-3-3. 吸引の状況<8時-12時>-吸引回数							
下段:%		合計	0回	1回	2回、3回	4回以上7回以下	8回以上11回以下	12回以上	無回答
全体		835	5	95	236	202	60	31	206
		100.0	0.6	11.4	28.3	24.2	7.2	3.7	24.7
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	235	1	30	72	50	16	9	57
		100.0	0.4	12.8	30.6	21.3	6.8	3.8	24.3
	政令指定都市以外	558	3	61	154	141	40	21	138
		100.0	0.5	10.9	27.6	25.3	7.2	3.8	24.7
問4. 住まい	在宅	648	4	77	185	185	53	30	114
		100.0	0.6	11.9	28.5	28.5	8.2	4.6	17.6
	在宅以外	182	1	17	49	17	7	1	90
		100.0	0.5	9.3	26.9	9.3	3.8	0.5	49.5
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症 (ALS)	493	1	35	131	143	46	22	115
		100.0	0.2	7.1	26.6	29.0	9.3	4.5	23.3
	脊髄損傷	39	1	4	13	7	-	-	14
		100.0	2.6	10.3	33.3	17.9	-	-	35.9
	遷延性意識障害	144	2	16	51	20	6	2	47
		100.0	1.4	11.1	35.4	13.9	4.2	1.4	32.6
重症心身障害児・者	184	1	40	53	34	10	7	39	
	100.0	0.5	21.7	28.8	18.5	5.4	3.8	21.2	
その他	32	-	6	5	12	1	2	6	
	100.0	-	18.8	15.6	37.5	3.1	6.3	18.8	

問18. 8～12時の吸引回数 × 問6. 病名



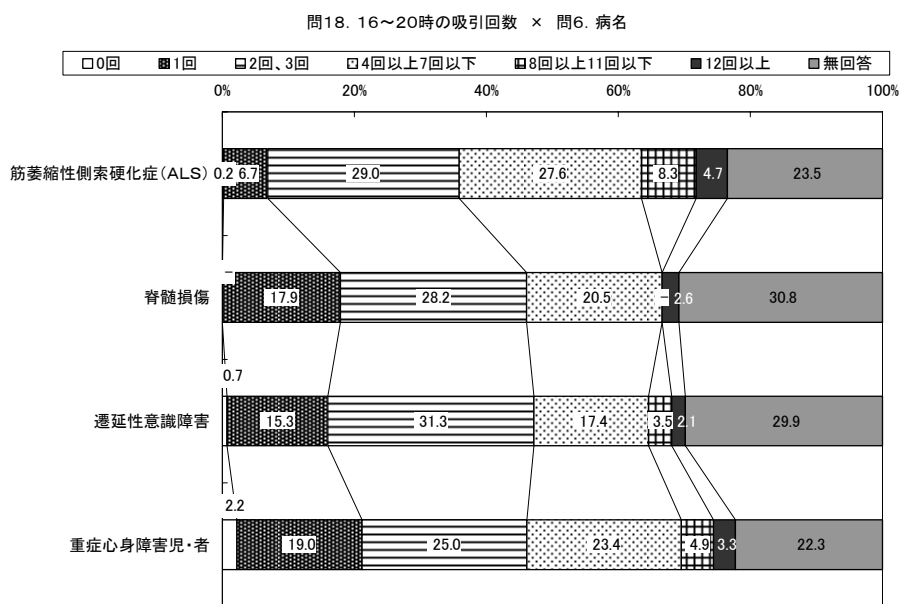
上段:度数		問18-3-4. 吸引の状況<12時-16時>-吸引回数							
下段:%		合計	0回	1回	2回、3回	4回以上7回以下	8回以上11回以下	12回以上	無回答
全体		835	7	86	227	217	57	34	207
		100.0	0.8	10.3	27.2	26.0	6.8	4.1	24.8
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	235	2	27	67	57	16	10	56
		100.0	0.9	11.5	28.5	24.3	6.8	4.3	23.8
都市分類	政令指定都市以外	558	4	55	150	149	38	21	141
		100.0	0.7	9.9	26.9	26.7	6.8	3.8	25.3
問4. 住まい	在宅	648	6	63	180	193	51	32	123
		100.0	0.9	9.7	27.8	29.8	7.9	4.9	19.0
問4. 住まい	在宅以外	182	1	23	45	23	6	2	82
		100.0	0.5	12.6	24.7	12.6	3.3	1.1	45.1
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	493	1	32	130	147	43	24	116
		100.0	0.2	6.5	26.4	29.8	8.7	4.9	23.5
	脊髄損傷	39	1	5	12	6	2	1	12
		100.0	2.6	12.8	30.8	15.4	5.1	2.6	30.8
	遷延性意識障害	144	2	25	43	29	4	4	37
		100.0	1.4	17.4	29.9	20.1	2.8	2.8	25.7
	重症心身障害児・者	184	3	29	48	40	12	5	47
	100.0	1.6	15.8	26.1	21.7	6.5	2.7	25.5	
	その他	32	-	5	6	11	3	1	6
		100.0	-	15.6	18.8	34.4	9.4	3.1	18.8

問18. 12~16時の吸引回数 × 問6. 病名



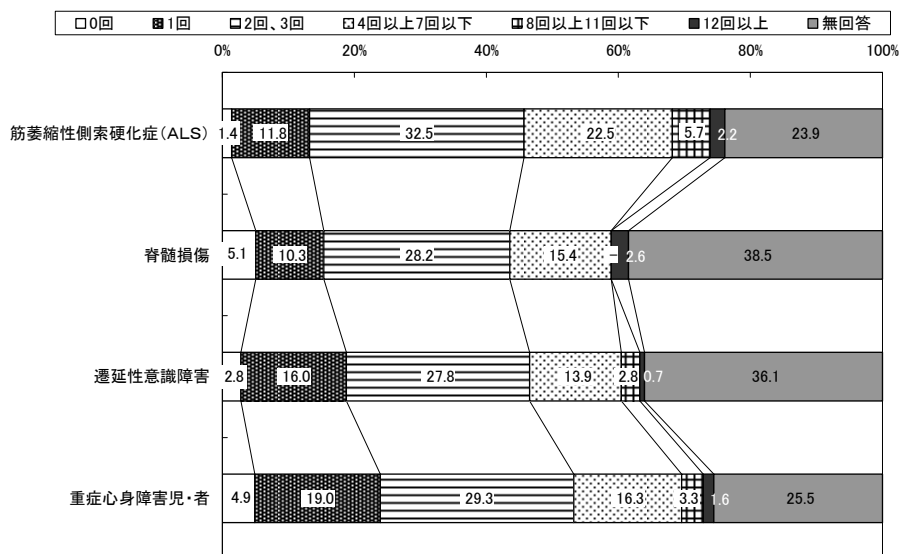
上段:度数		問18-3-5. 吸引の状況<16時-20時>-吸引回数							
下段:%		合計	0回	1回	2回、3回	4回以上7回以下	8回以上11回以下	12回以上	無回答
全体		835	6	94	236	206	55	33	205
		100.0	0.7	11.3	28.3	24.7	6.6	4.0	24.6
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	235	1	33	60	60	15	9	57
		100.0	0.4	14.0	25.5	25.5	6.4	3.8	24.3
都市分類	政令指定都市以外	558	5	55	167	135	37	22	137
		100.0	0.9	9.9	29.9	24.2	6.6	3.9	24.6
問4. 住まい	在宅	648	5	73	187	186	48	31	118
		100.0	0.8	11.3	28.9	28.7	7.4	4.8	18.2
問4. 住まい	在宅以外	182	1	21	47	19	7	2	85
		100.0	0.5	11.5	25.8	10.4	3.8	1.1	46.7
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	493	1	33	143	136	41	23	116
		100.0	0.2	6.7	29.0	27.6	8.3	4.7	23.5
	脊髄損傷	39	-	7	11	8	-	1	12
		100.0	-	17.9	28.2	20.5	-	2.6	30.8
	遷延性意識障害	144	1	22	45	25	5	3	43
		100.0	0.7	15.3	31.3	17.4	3.5	2.1	29.9
重症心身障害児・者	184	4	35	46	43	9	6	41	
	100.0	2.2	19.0	25.0	23.4	4.9	3.3	22.3	
	その他	32	-	4	7	9	4	1	7
		100.0	-	12.5	21.9	28.1	12.5	3.1	21.9

第三章 訪問系サービス利用者におけるサービス利用状況等に関する実態調査結果



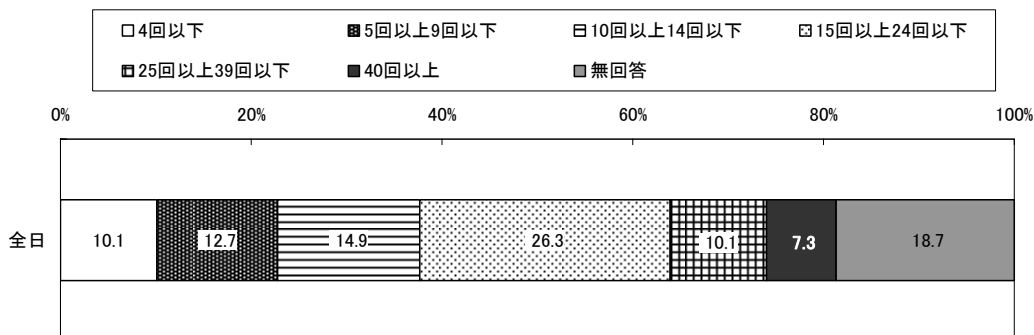
上段:度数		問18-3-6. 吸引の状況<20時-24時>-吸引回数							
下段:%		合計	0回	1回	2回、3回	4回以上7回以下	8回以上11回以下	12回以上	無回答
全体		835	21	117	257	162	38	16	224
		100.0	2.5	14.0	30.8	19.4	4.6	1.9	26.8
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を	235	6	32	70	46	14	5	62
	政令指定都市以外	558	13	80	176	106	22	10	151
		100.0	2.3	14.3	31.5	19.0	3.9	1.8	27.1
問4. 住まい	在宅	648	17	86	216	147	35	15	132
	在宅以外	182	4	31	39	14	3	1	90
		100.0	2.2	17.0	21.4	7.7	1.6	0.5	49.5
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症 (ALS)	493	7	58	160	111	28	11	118
		100.0	1.4	11.8	32.5	22.5	5.7	2.2	23.9
	脊髄損傷	39	2	4	11	6	-	1	15
		100.0	5.1	10.3	28.2	15.4	-	2.6	38.5
	遷延性意識障害	144	4	23	40	20	4	1	52
		100.0	2.8	16.0	27.8	13.9	2.8	0.7	36.1
重症心身障害児・者	184	9	35	54	30	6	3	47	
	100.0	4.9	19.0	29.3	16.3	3.3	1.6	25.5	
その他	32	-	5	11	7	2	1	6	
	100.0	-	15.6	34.4	21.9	6.3	3.1	18.8	

問18. 20~24時の吸引回数 × 問6. 病名



b. 1日回数計

1日に必要な吸引の回数では「15回以上24回以下」が最も多く26.3%、次いで「5回以上9回以下」が14.9%となった。

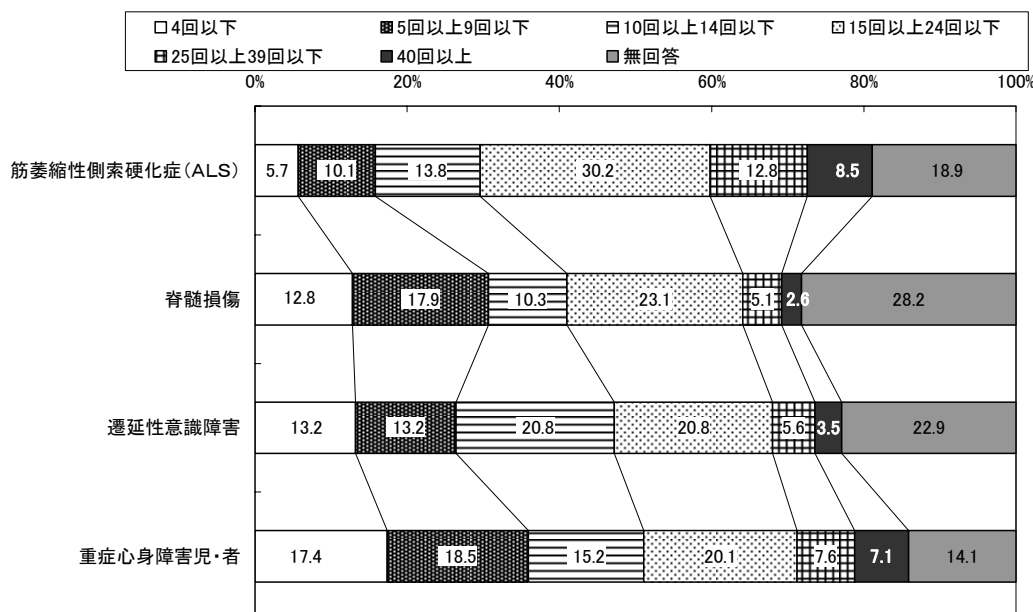


Q18全日合計 (数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	4回以下	84	10.1
2	5回以上9回以下	106	12.7
3	10回以上14回以下	124	14.9
4	15回以上24回以下	220	26.3
5	25回以上39回以下	84	10.1
6	40回以上	61	7.3
	無回答	156	18.7
	N (%ベース)	835	100

上段:度数	下段:%	Q18全日合計							
		合計	4回以下	5回以上9回以下	10回以上14回以下	15回以上24回以下	25回以上39回以下	40回以上	無回答
全体		835	84	106	124	220	84	61	156
		100.0	10.1	12.7	14.9	26.3	10.1	7.3	18.7
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	493	28	50	68	149	63	42	93
		100.0	5.7	10.1	13.8	30.2	12.8	8.5	18.9
	脊髄損傷	39	5	7	4	9	2	1	11
		100.0	12.8	17.9	10.3	23.1	5.1	2.6	28.2
	遷延性意識障害	144	19	19	30	30	8	5	33
		100.0	13.2	13.2	20.8	20.8	5.6	3.5	22.9
重症心身障害児・者	184	32	34	28	37	14	13	26	
	100.0	17.4	18.5	15.2	20.1	7.6	7.1	14.1	
その他	32	3	6	1	9	5	4	4	
	100.0	9.4	18.8	3.1	28.1	15.6	12.5	12.5	

問18. 1日の吸引回数 × 問6. 病名

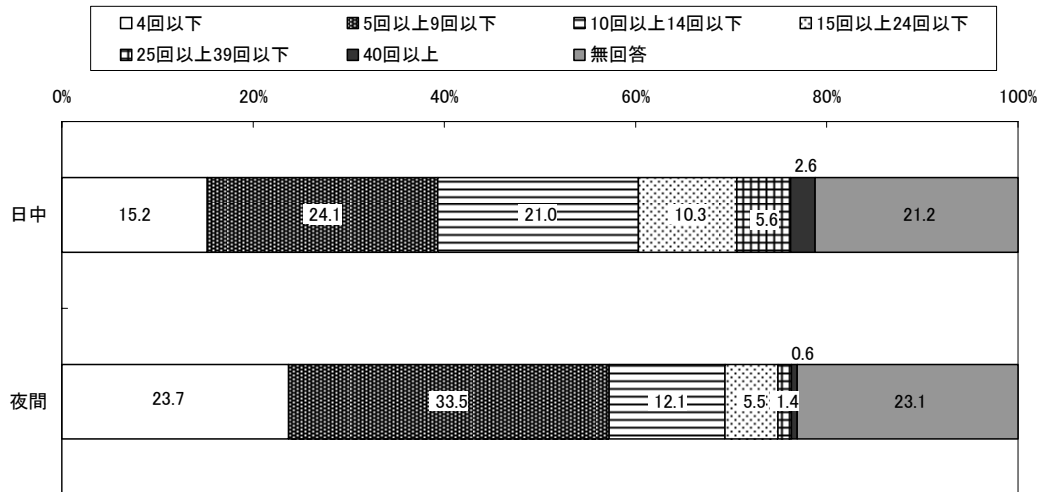


c. 日中・夜間別の吸引回数

吸引の回数を、日中＝8～12時、12～16時、16～20時とし、夜間＝4～8時、20～24時、0～4時とした。

それぞれ、日中・夜間別の吸引回数をみると、日中・夜間とも「5～9回以下」が最も多い結果となった。

問18 吸引回数<日中・夜間別>



Q18日中合計

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	4回以下	127	15.2
2	5回以上9回以下	201	24.1
3	10回以上14回以下	175	21.0
4	15回以上24回以下	86	10.3
5	25回以上39回以下	47	5.6
6	40回以上	22	2.6
	無回答	177	21.2
	N (%へ-ス)	835	100

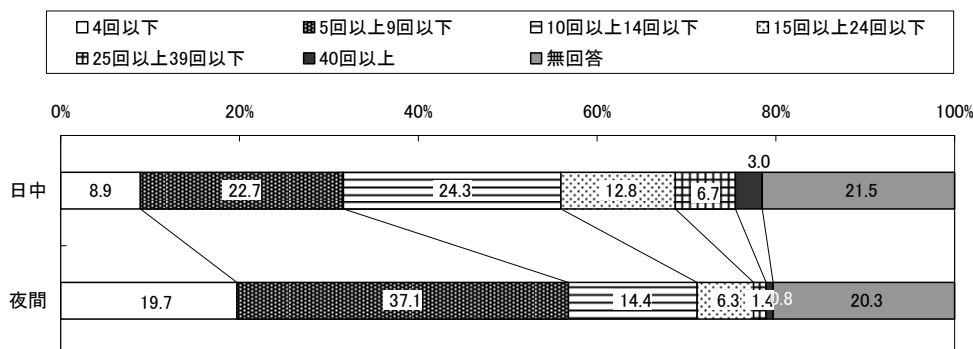
Q18夜間合計

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	4回以下	198	23.7
2	5回以上9回以下	280	33.5
3	10回以上14回以下	101	12.1
4	15回以上24回以下	46	5.5
5	25回以上39回以下	12	1.4
6	40回以上	5	0.6
	無回答	193	23.1
	N (%へ-ス)	835	100

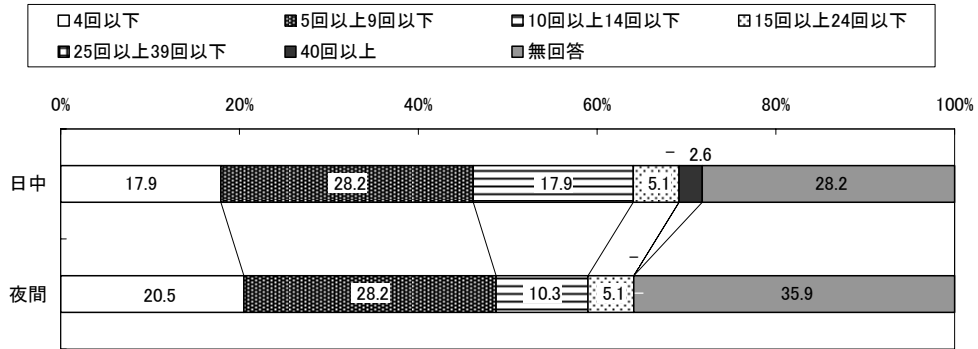
上段:度数 下段:%		Q18日中合計							
		合計	4回以下	5回以上9回以下	10回以上14回以下	15回以上24回以下	25回以上39回以下	40回以上	無回答
全体		835 100.0	127 15.2	201 24.1	175 21.0	86 10.3	47 5.6	22 2.6	177 21.2
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を	235 100.0	40 17.0	61 26.0	44 18.7	24 10.2	11 4.7	7 3.0	48 20.4
	政令指定都市以外	558 100.0	80 14.3	132 23.7	122 21.9	56 10.0	33 5.9	14 2.5	121 21.7
問4. 住まい	在宅	648 100.0	17 2.6	86 13.3	216 33.3	147 22.7	35 5.4	15 2.3	132 20.4
	在宅以外	182 100.0	4 2.2	31 17.0	39 21.4	14 7.7	3 1.6	1 0.5	90 49.5
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	493 100.0	44 8.9	112 22.7	120 24.3	63 12.8	33 6.7	15 3.0	106 21.5
	脊髄損傷	39 100.0	7 17.9	11 28.2	7 17.9	2 5.1	-	1 2.6	11 28.2
	遷延性意識障害	144 100.0	29 20.1	44 30.6	23 16.0	7 4.9	5 3.5	1 0.7	35 24.3
	重症心身障害児・者	184 100.0	50 27.2	43 23.4	32 17.4	13 7.1	10 5.4	5 2.7	31 16.8
	その他	32 100.0	7 21.9	4 12.5	5 15.6	7 21.9	3 9.4	1 3.1	5 15.6

上段:度数 下段:%		Q18夜間合計							
		合計	4回以下	5回以上9回以下	10回以上14回以下	15回以上24回以下	25回以上39回以下	40回以上	無回答
全体		835 100.0	198 23.7	280 33.5	101 12.1	46 5.5	12 1.4	5 0.6	193 23.1
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を	235 100.0	55 23.4	73 31.1	34 14.5	14 6.0	4 1.7	1 0.4	54 23.0
	政令指定都市以外	558 100.0	133 23.8	192 34.4	62 11.1	28 5.0	8 1.4	4 0.7	131 23.5
問4. 住まい	在宅	648 100.0	159 24.5	234 36.1	90 13.9	45 6.9	11 1.7	4 0.6	105 16.2
	在宅以外	182 100.0	39 21.4	43 23.6	11 6.0	1 0.5	1 0.5	1 0.5	86 47.3
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	493 100.0	97 19.7	183 37.1	71 14.4	31 6.3	7 1.4	4 0.8	100 20.3
	脊髄損傷	39 100.0	8 20.5	11 28.2	4 10.3	2 5.1	-	-	14 35.9
	遷延性意識障害	144 100.0	38 26.4	42 29.2	13 9.0	2 1.4	3 2.1	-	46 31.9
	重症心身障害児・者	184 100.0	61 33.2	53 28.8	14 7.6	12 6.5	2 1.1	1 0.5	41 22.3
	その他	32 100.0	8 25.0	11 34.4	4 12.5	3 9.4	2 6.3	-	4 12.5

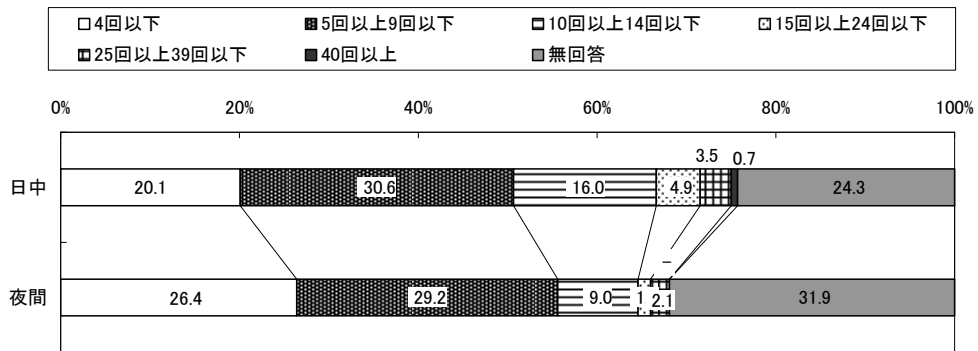
問18. 吸引回数<日中・夜間> × 問6. 筋萎縮性側索硬化症(ALS)



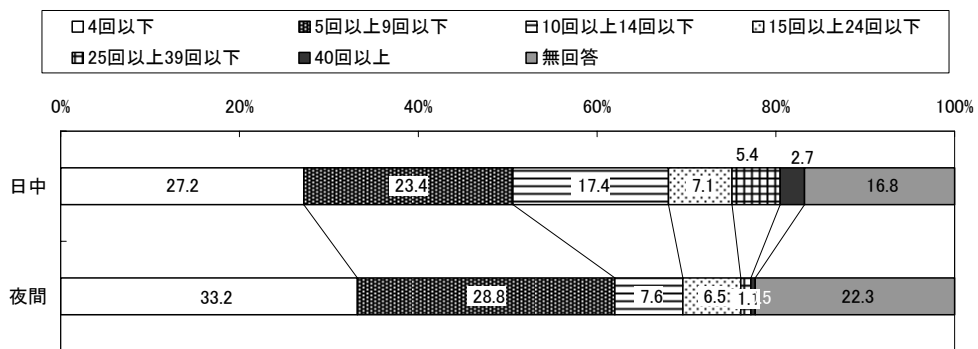
問18. 吸引回数<日中・夜間> × 問6. 脊髄損傷



問18. 吸引回数<日中・夜間> × 問6. 遷延性意識障害

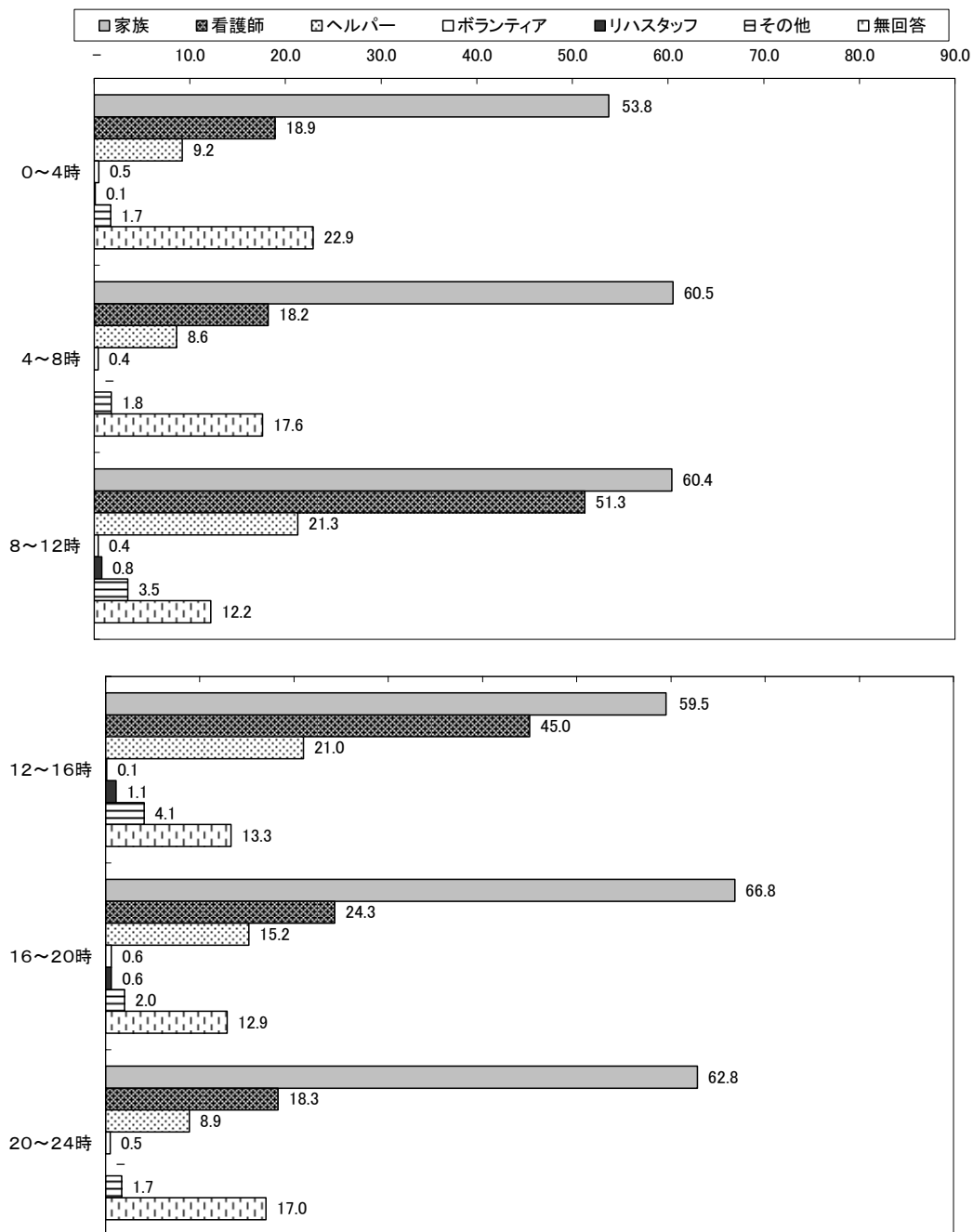


問18. 吸引回数<日中・夜間> × 問6. 重症心身障害児・者



⑤吸引を行っている者（問18）

吸引を行っているのは、「家族」が最も多く、次いで「看護師」、「ヘルパー」が多い傾向がみられる。



問18-3-1-2. 吸引の状況<0時-4時>-吸引者 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	449	53.8
2	看護師	158	18.9
3	ヘルパー	77	9.2
4	ボランティア	4	0.5
5	リハスタッフ	1	0.1
6	その他	14	1.7
	無回答	191	22.9
	N (%ベース)	835	100

問18-3-2-2. 吸引の状況<4時-8時>-吸引者 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	505	60.5
2	看護師	152	18.2
3	ヘルパー	72	8.6
4	ボランティア	3	0.4
5	リハスタッフ	0	0.0
6	その他	15	1.8
	無回答	147	17.6
	N (%ベース)	835	100

問18-3-3-2. 吸引の状況<8時-12時>-吸引者 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	504	60.4
2	看護師	428	51.3
3	ヘルパー	178	21.3
4	ボランティア	3	0.4
5	リハスタッフ	7	0.8
6	その他	29	3.5
	無回答	102	12.2
	N (%ベース)	835	100

問18-3-4-2. 吸引の状況<12時-16時>-吸引者 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	497	59.5
2	看護師	376	45.0
3	ヘルパー	175	21.0
4	ボランティア	1	0.1
5	リハスタッフ	9	1.1
6	その他	34	4.1
	無回答	111	13.3
	N (%ベース)	835	100

問18-3-5-2. 吸引の状況<16時-20時>-吸引者 (MA)

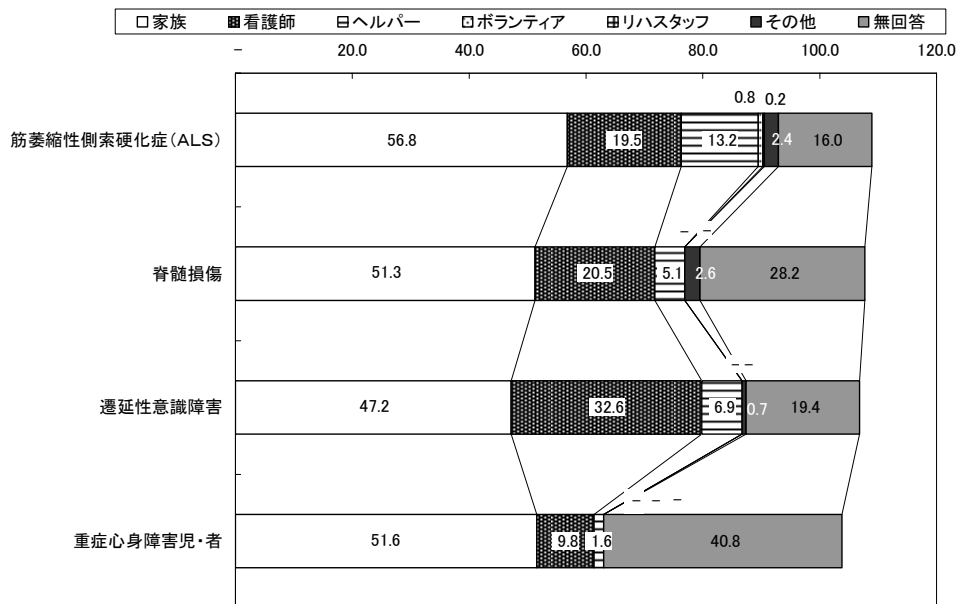
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	558	66.8
2	看護師	203	24.3
3	ヘルパー	127	15.2
4	ボランティア	5	0.6
5	リハスタッフ	5	0.6
6	その他	17	2.0
	無回答	108	12.9
	N (%ベース)	835	100

問18-3-6-2. 吸引の状況<20時-24時>-吸引者 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	524	62.8
2	看護師	153	18.3
3	ヘルパー	74	8.9
4	ボランティア	4	0.5
5	リハスタッフ	0	0.0
6	その他	14	1.7
	無回答	142	17.0
	N (%ベース)	835	100

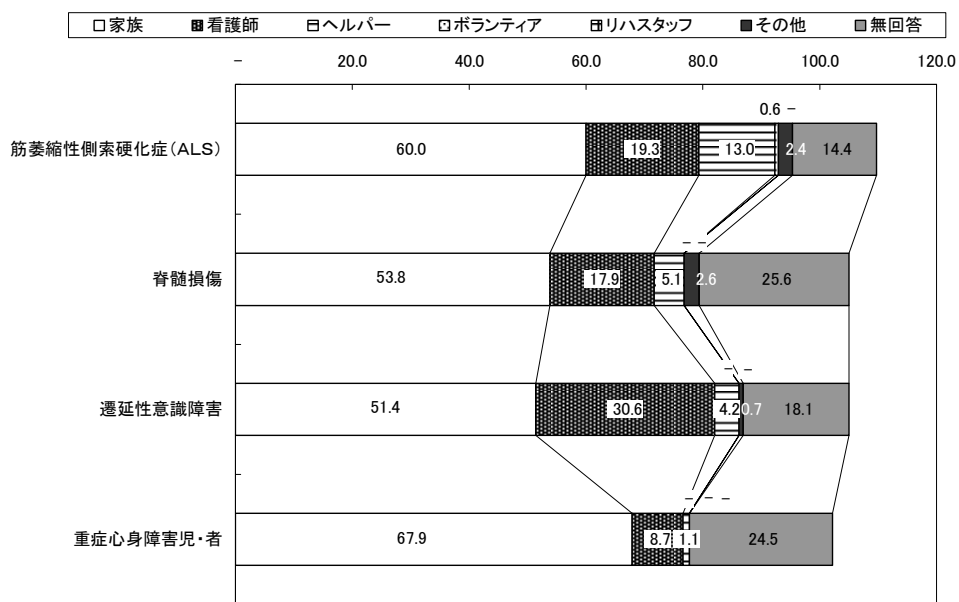
上段:度数 下段:%		問18-3-1-2. 吸引の状況<0時-4時>-吸引者							
		合計	家族	看護師	ヘルパー	ボランティア	リハスタッフ	その他	無回答
全体		835	449	158	77	4	1	14	191
		100.0	53.8	18.9	9.2	0.5	0.1	1.7	22.9
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を	235	126	40	32	3	-	2	53
	政令指定都市以外	558	300	111	39	-	1	11	129
		100.0	53.8	19.9	7.0	-	0.2	2.0	23.1
問4. 住まい	在宅	648	431	35	68	3	1	10	150
	在宅以外	182	16	121	9	1	-	4	40
		100.0	66.5	5.4	10.5	0.5	0.2	1.5	23.1
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	493	280	96	65	4	1	12	79
	脊髄損傷	39	20	8	2	-	-	1	11
	遷延性意識障害	144	68	47	10	-	-	1	28
	重症心身障害児・者	184	95	18	3	-	-	-	75
	その他	32	21	4	1	-	-	-	6
		100.0	65.6	12.5	3.1	-	-	-	18.8
問18-2. 吸引 経過年数	2年未満	145	57	33	13	-	-	5	50
	2年以上5年未 満	215	110	56	19	1	-	3	39
	5年以上10年未 満	203	127	28	25	-	1	3	32
	10年以上15年 未満	124	79	16	8	1	-	1	24
	15年以上20年 未満	48	32	5	3	-	-	1	10
	20年以上	54	29	7	2	1	-	1	20
		100.0	53.7	13.0	3.7	1.9	-	1.9	37.0

問18. 0~4時の吸引者 × 問6. 病名



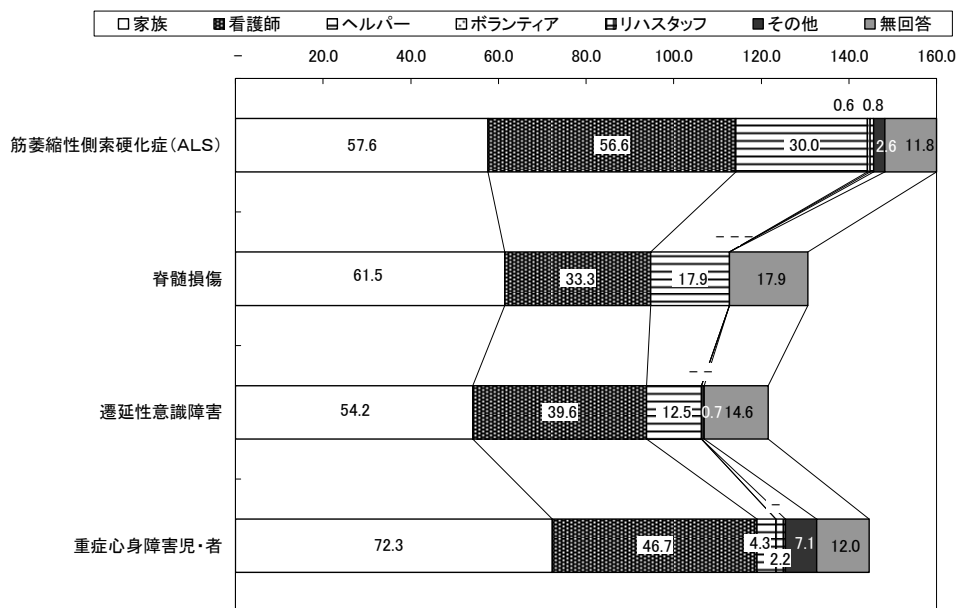
上段:度数 下段:%		問18-3-2-2. 吸引の状況<4時-8時>-吸引者							
		合計	家族	看護師	ヘルパー	ボランティア	リハスタッフ	その他	無回答
全体		835 100.0	505 60.5	152 18.2	72 8.6	3 0.4	-	15 1.8	147 17.6
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を	235 100.0	142 60.4	38 16.2	30 12.8	2 0.9	-	2 0.9	43 18.3
	政令指定都市以 外	558 100.0	337 60.4	106 19.0	36 6.5	-	-	12 2.2	99 17.7
問4. 住まい	在宅	648 100.0	488 75.3	28 4.3	64 9.9	2 0.3	-	12 1.9	106 16.4
	在宅以外	182 100.0	15 8.2	122 67.0	8 4.4	1 0.5	-	3 1.6	40 22.0
問6. 病名	筋萎縮性側索硬 化症(ALS)	493 100.0	296 60.0	95 19.3	64 13.0	3 0.6	-	12 2.4	71 14.4
	脊髄損傷	39 100.0	21 53.8	7 17.9	2 5.1	-	-	1 2.6	10 25.6
	遷延性意識障害	144 100.0	74 51.4	44 30.6	6 4.2	-	-	1 0.7	26 18.1
	重症心身障害 児・者	184 100.0	125 67.9	16 8.7	2 1.1	-	-	-	45 24.5
	その他	32 100.0	24 75.0	4 12.5	1 3.1	-	-	1 3.1	3 9.4
	問18-2. 吸引 経過年数	2年未満	145 100.0	62 42.8	32 22.1	14 9.7	-	-	4 2.8
	2年以上5年未 満	215 100.0	119 55.3	57 26.5	20 9.3	1 0.5	-	3 1.4	33 15.3
	5年以上10年未 満	203 100.0	146 71.9	28 13.8	23 11.3	-	-	4 2.0	19 9.4
	10年以上15年 未満	124 100.0	91 73.4	16 12.9	8 6.5	1 0.8	-	1 0.8	13 10.5
	15年以上20年 未満	48 100.0	36 75.0	4 8.3	1 2.1	-	-	2 4.2	6 12.5
	20年以上	54 100.0	33 61.1	4 7.4	1 1.9	1 1.9	-	1 1.9	16 29.6

問18. 4~8時の吸引者 × 問6. 病名



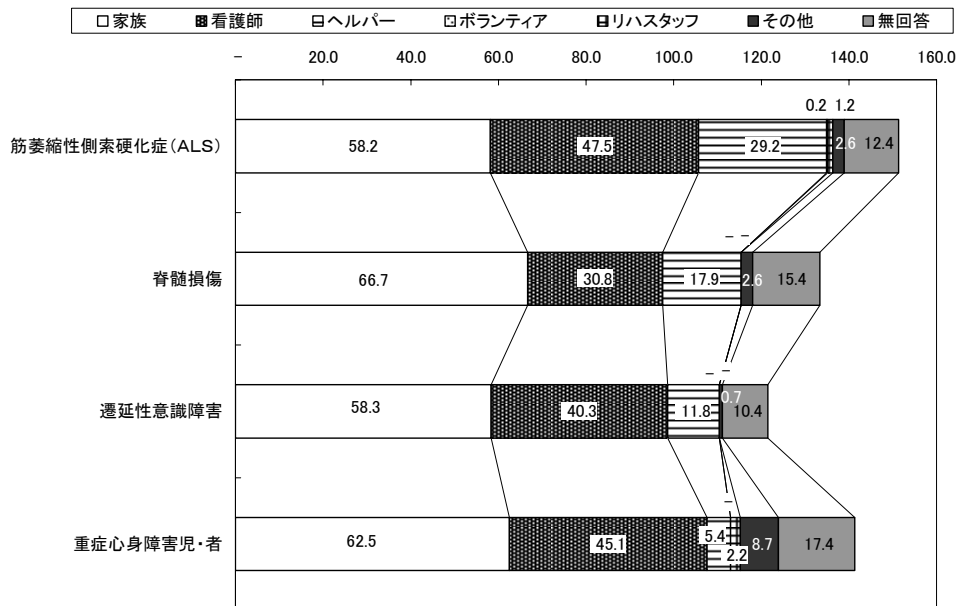
上段:度数 下段:%		問18-3-3-2. 吸引の状況<8時-12時>-吸引者							
		合計	家族	看護師	ヘルパー	ボランティア	リハスタッフ	その他	無回答
全体		835 100.0	504 60.4	428 51.3	178 21.3	3 0.4	7 0.8	29 3.5	102 12.2
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を	235 100.0	146 62.1	110 46.8	59 25.1	2 0.9	1 0.4	11 4.7	29 12.3
	政令指定都市以 外	558 100.0	335 60.0	297 53.2	108 19.4	1 0.2	6 1.1	16 2.9	67 12.0
問4. 住まい	在宅	648 100.0	476 73.5	292 45.1	166 25.6	3 0.5	6 0.9	27 4.2	62 9.6
	在宅以外	182 100.0	27 14.8	132 72.5	11 6.0	-	1 0.5	2 1.1	39 21.4
問6. 病名	筋萎縮性側索硬 化症(ALS)	493 100.0	284 57.6	279 56.6	148 30.0	3 0.6	4 0.8	13 2.6	58 11.8
	脊髄損傷	39 100.0	24 61.5	13 33.3	7 17.9	-	-	-	7 17.9
	遷延性意識障害	144 100.0	78 54.2	57 39.6	18 12.5	-	-	1 0.7	21 14.6
	重症心身障害 児・者	184 100.0	133 72.3	86 46.7	8 4.3	-	4 2.2	13 7.1	22 12.0
	その他	32 100.0	21 65.6	19 59.4	4 12.5	-	-	-	3 9.4
	その他	32 100.0	21 65.6	19 59.4	4 12.5	-	-	-	3 9.4
問18-2. 吸引 経過年数	2年未満	145 100.0	63 43.4	68 46.9	25 17.2	1 0.7	2 1.4	6 4.1	33 22.8
	2年以上5年未 満	215 100.0	117 54.4	131 60.9	53 24.7	-	1 0.5	6 2.8	22 10.2
	5年以上10年未 満	203 100.0	140 69.0	102 50.2	54 26.6	-	1 0.5	7 3.4	16 7.9
	10年以上15年 未満	124 100.0	90 72.6	64 51.6	26 21.0	2 1.6	-	6 4.8	7 5.6
	15年以上20年 未満	48 100.0	38 79.2	19 39.6	9 18.8	-	-	1 2.1	3 6.3
	20年以上	54 100.0	35 64.8	25 46.3	4 7.4	-	-	3 5.6	8 14.8

問18. 8~12時の吸引者 × 問6. 病名



上段:度数 下段:%		問18-3-4-2. 吸引の状況<12時-16時>-吸引者							
		合計	家族	看護師	ヘルパー	ボランティア	リハスタッフ	その他	無回答
全体		835 100.0	497 59.5	376 45.0	175 21.0	1 0.1	9 1.1	34 4.1	111 13.3
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を	235 100.0	142 60.4	95 40.4	58 24.7	1 0.4	1 0.4	11 4.7	30 12.8
	政令指定都市以外	558 100.0	330 59.1	260 46.6	105 18.8	-	8 1.4	21 3.8	76 13.6
問4. 住まい	在宅	648 100.0	458 70.7	241 37.2	164 25.3	1 0.2	8 1.2	31 4.8	78 12.0
	在宅以外	182 100.0	36 19.8	132 72.5	10 5.5	-	1 0.5	3 1.6	32 17.6
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	493 100.0	287 58.2	234 47.5	144 29.2	1 0.2	6 1.2	13 2.6	61 12.4
	脊髄損傷	39 100.0	26 66.7	12 30.8	7 17.9	-	-	-	1 2.6
	遷延性意識障害	144 100.0	84 58.3	58 40.3	17 11.8	-	-	-	1 0.7
	重症心身障害児・者	184 100.0	115 62.5	83 45.1	10 5.4	-	4 2.2	16 8.7	32 17.4
	その他	32 100.0	24 75.0	15 46.9	5 15.6	-	-	-	4 12.5
	その他	2 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0
問18-2. 吸引 経過年数	2年未満	145 100.0	61 42.1	62 42.8	22 15.2	1 0.7	1 0.7	6 4.1	37 25.5
	2年以上5年未満	215 100.0	117 54.4	113 52.6	48 22.3	-	2 0.9	6 2.8	23 10.7
	5年以上10年未満	203 100.0	143 70.4	89 43.8	57 28.1	-	3 1.5	8 3.9	13 6.4
	10年以上15年未満	124 100.0	89 71.8	55 44.4	25 20.2	-	-	7 5.6	9 7.3
	15年以上20年未満	48 100.0	35 72.9	19 39.6	11 22.9	-	-	2 4.2	4 8.3
	20年以上	54 100.0	34 63.0	20 37.0	5 9.3	-	3 5.6	2 3.7	11 20.4

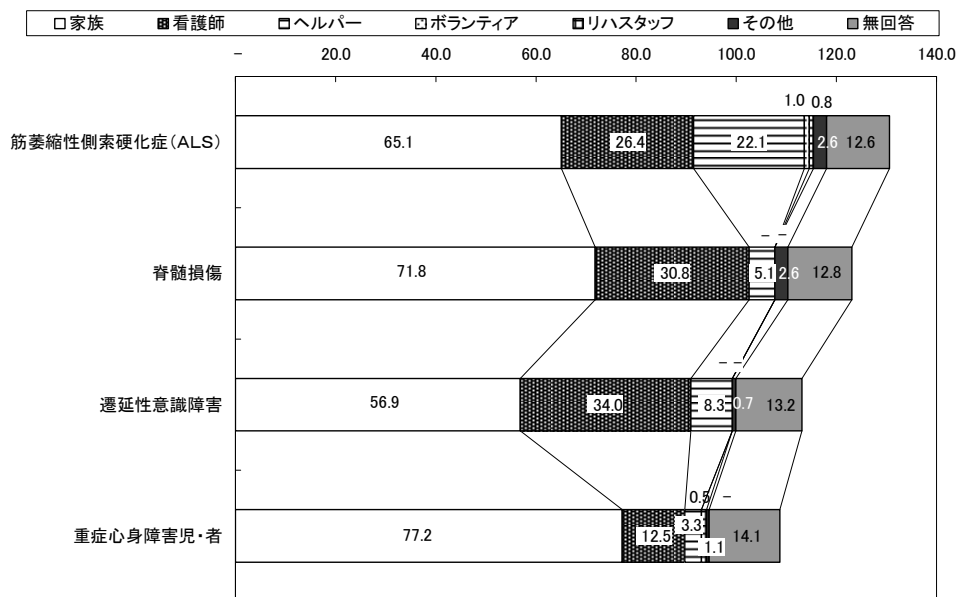
問18. 12~16時の吸引者 × 問6. 病名



第三章 訪問系サービス利用者におけるサービス利用状況等に関する実態調査結果

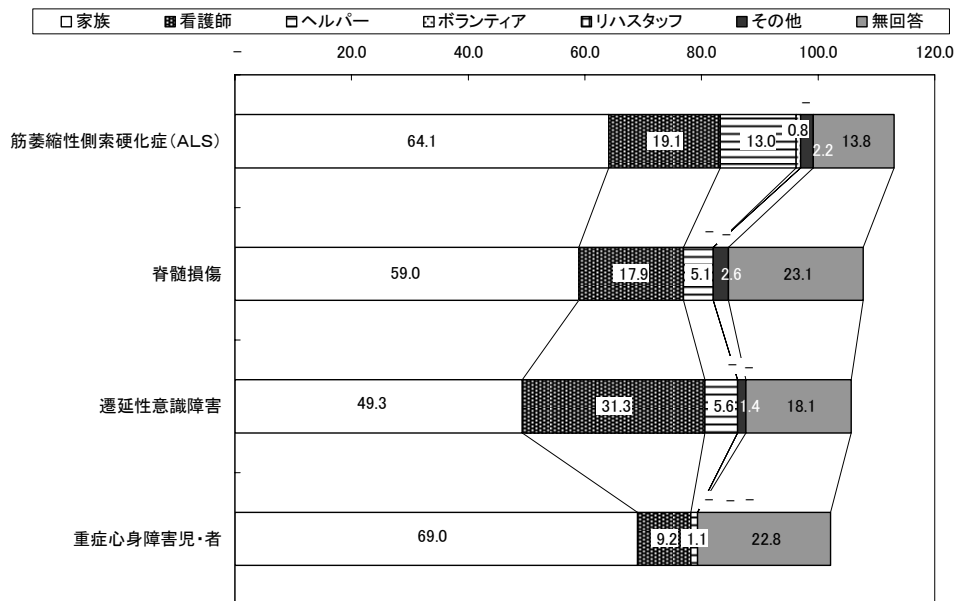
上段:度数 下段:%		問18-3-5-2. 吸引の状況<16時-20時>-吸引者							
		合計	家族	看護師	ヘルパー	ボランティア	リハスタッフ	その他	無回答
全体		835 100.0	558 66.8	203 24.3	127 15.2	5 0.6	5 0.6	17 2.0	108 12.9
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を	235 100.0	158 67.2	50 21.3	39 16.6	3 1.3	1 0.4	2 0.9	29 12.3
	政令指定都市以外	558 100.0	372 66.7	145 26.0	79 14.2	1 0.2	4 0.7	14 2.5	74 13.3
問4. 住まい	在宅	648 100.0	528 81.5	71 11.0	117 18.1	4 0.6	4 0.6	14 2.2	72 11.1
	在宅以外	182 100.0	28 15.4	130 71.4	10 5.5	1 0.5	1 0.5	3 1.6	35 19.2
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	493 100.0	321 65.1	130 26.4	109 22.1	5 1.0	4 0.8	13 2.6	62 12.6
	脊髄損傷	39 100.0	28 71.8	12 30.8	2 5.1	-	-	1 2.6	5 12.8
	遷延性意識障害	144 100.0	82 56.9	49 34.0	12 8.3	-	-	1 0.7	19 13.2
	重症心身障害児・者	184 100.0	142 77.2	23 12.5	6 3.3	-	2 1.1	1 0.5	26 14.1
	その他	32 100.0	26 81.3	6 18.8	1 3.1	-	-	-	2 6.3
	問18-2. 吸引 経過年数	2年未満	145 100.0	68 46.9	42 29.0	18 12.4	1 0.7	1 0.7	5 3.4
	2年以上5年未 満	215 100.0	137 63.7	72 33.5	41 19.1	2 0.9	1 0.5	4 1.9	20 9.3
	5年以上10年未 満	203 100.0	155 76.4	36 17.7	41 20.2	-	1 0.5	4 2.0	14 6.9
	10年以上15年 未満	124 100.0	98 79.0	24 19.4	15 12.1	1 0.8	1 0.8	2 1.6	9 7.3
	15年以上20年 未満	48 100.0	39 81.3	8 16.7	5 10.4	-	-	1 2.1	5 10.4
	20年以上	54 100.0	40 74.1	9 16.7	3 5.6	1 1.9	1 1.9	-	8 14.8

問18. 16~20時の吸引者 × 問6. 病名



上段:度数 下段:%		問18-3-6-2. 吸引の状況<20時-24時>-吸引者							
		合計	家族	看護師	ヘルパー	ボランティア	リハスタッフ	その他	無回答
全体		835 100.0	524 62.8	153 18.3	74 8.9	4 0.5	-	14 1.7	142 17.0
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を	235 100.0	152 64.7	38 16.2	30 12.8	3 1.3	-	3 1.3	37 15.7
	政令指定都市以 外	558 100.0	347 62.2	107 19.2	39 7.0	-	-	10 1.8	98 17.6
問4. 住まい	在宅	648 100.0	505 77.9	27 4.2	65 10.0	3 0.5	-	10 1.5	104 16.0
	在宅以外	182 100.0	17 9.3	124 68.1	9 4.9	1 0.5	-	4 2.2	37 20.3
問6. 病名	筋萎縮性側索硬 化症(ALS)	493 100.0	316 64.1	94 19.1	64 13.0	4 0.8	-	11 2.2	68 13.8
	脊髄損傷	39 100.0	23 59.0	7 17.9	2 5.1	-	-	1 2.6	9 23.1
	遷延性意識障害	144 100.0	71 49.3	45 31.3	8 5.6	-	-	2 1.4	26 18.1
	重症心身障害 児・者	184 100.0	127 69.0	17 9.2	2 1.1	-	-	-	42 22.8
	その他	32 100.0	23 71.9	4 12.5	1 3.1	-	-	-	5 15.6
	問18-2. 吸引 経過年数	2年未満	145 100.0	70 48.3	35 24.1	14 9.7	-	-	4 2.8
	2年以上5年未 満	215 100.0	120 55.8	56 26.0	20 9.3	1 0.5	-	2 0.9	31 14.4
	5年以上10年未 満	203 100.0	153 75.4	27 13.3	26 12.8	-	-	4 2.0	18 8.9
	10年以上15年 未満	124 100.0	92 74.2	16 12.9	8 6.5	1 0.8	-	1 0.8	15 12.1
	15年以上20年 未満	48 100.0	38 79.2	4 8.3	2 4.2	-	-	2 4.2	5 10.4
	20年以上	54 100.0	34 63.0	5 9.3	1 1.9	1 1.9	-	1 1.9	14 25.9

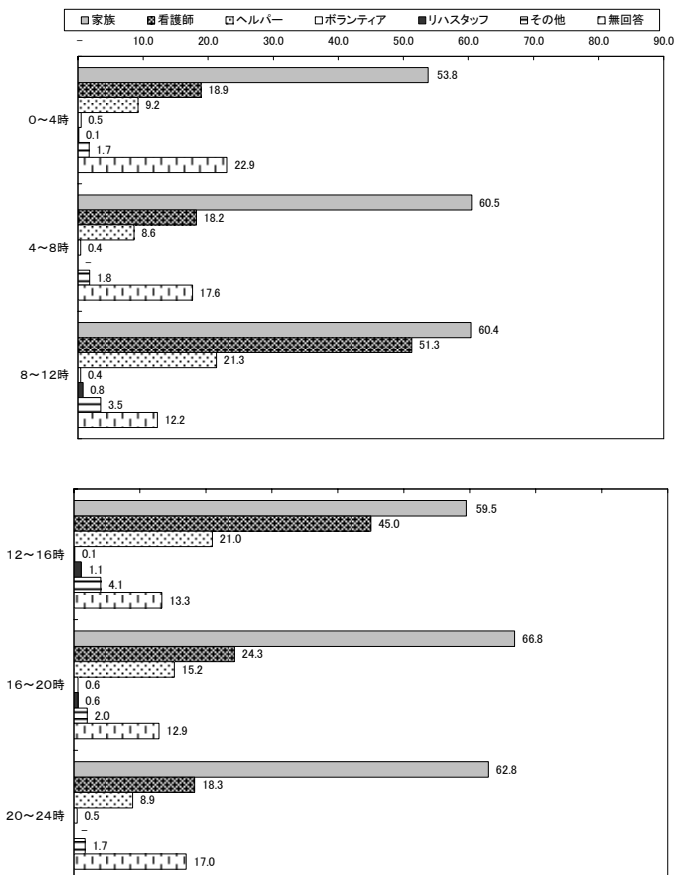
問18. 20~24時の吸引者 × 問6. 病名



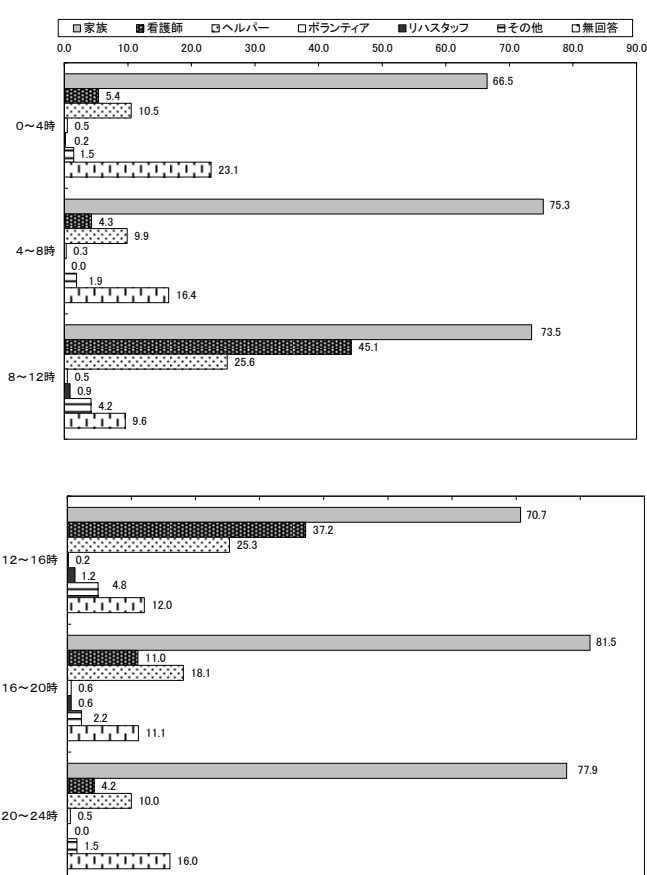
a. 在宅の場合の吸引者

全体と問4で自宅・ケアホームと回答した在宅者を比較すると、0～4時・4～8時・16～20時・20時～24時台が全体に比べて、看護師の割合が減っていることがわかる。全体には、入院者も含まれていることから、在宅の場合は、家族が圧倒的に多い結果となった。

<全体（再掲）>



<在宅者のみ>



<全体（再掲）>

問18-3-1-2. 吸引の状況<0時-4時>-吸引者 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	449	53.8
2	看護師	158	18.9
3	ヘルパー	77	9.2
4	ボランティア	4	0.5
5	リハスタッフ	1	0.1
6	その他	14	1.7
	無回答	191	22.9
	N (%ベース)	835	100

<在宅者のみ>

問18-3-1-2. 吸引の状況<0時-4時>-吸引者 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	431	66.5
2	看護師	35	5.4
3	ヘルパー	68	10.5
4	ボランティア	3	0.5
5	リハスタッフ	1	0.2
6	その他	10	1.5
	無回答	150	23.1
	N (%ベース)	648	

問18-3-2-2. 吸引の状況<4時-8時>-吸引者 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	505	60.5
2	看護師	152	18.2
3	ヘルパー	72	8.6
4	ボランティア	3	0.4
5	リハスタッフ	0	0.0
6	その他	15	1.8
	無回答	147	17.6
	N (%ベース)	835	100

問18-3-2-2. 吸引の状況<4時-8時>-吸引者 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	488	75.3
2	看護師	28	4.3
3	ヘルパー	64	9.9
4	ボランティア	2	0.3
5	リハスタッフ	0	0.0
6	その他	12	1.9
	無回答	106	16.4
	N (%ベース)	648	

<全体>

問18-3-3-2. 吸引の状況<8時-12時>-吸引者 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	504	60.4
2	看護師	428	51.3
3	ヘルパー	178	21.3
4	ボランティア	3	0.4
5	リハスタッフ	7	0.8
6	その他	29	3.5
	無回答	102	12.2
	N (%ベース)	835	100

<在宅者のみ>

問18-3-3-2. 吸引の状況<8時-12時>-吸引者 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	476	73.5
2	看護師	292	45.1
3	ヘルパー	166	25.6
4	ボランティア	3	0.5
5	リハスタッフ	6	0.9
6	その他	27	4.2
	無回答	62	9.6
	N (%ベース)	648	

問18-3-4-2. 吸引の状況<12時-16時>-吸引者 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	497	59.5
2	看護師	376	45.0
3	ヘルパー	175	21.0
4	ボランティア	1	0.1
5	リハスタッフ	9	1.1
6	その他	34	4.1
	無回答	111	13.3
	N (%ベース)	835	100

問18-3-4-2. 吸引の状況<12時-16時>-吸引者 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	458	70.7
2	看護師	241	37.2
3	ヘルパー	164	25.3
4	ボランティア	1	0.2
5	リハスタッフ	8	1.2
6	その他	31	4.8
	無回答	78	12.0
	N (%ベース)	648	

問18-3-5-2. 吸引の状況<16時-20時>-吸引者 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	558	66.8
2	看護師	203	24.3
3	ヘルパー	127	15.2
4	ボランティア	5	0.6
5	リハスタッフ	5	0.6
6	その他	17	2.0
	無回答	108	12.9
	N (%ベース)	835	100

問18-3-5-2. 吸引の状況<16時-20時>-吸引者 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	528	81.5
2	看護師	71	11.0
3	ヘルパー	117	18.1
4	ボランティア	4	0.6
5	リハスタッフ	4	0.6
6	その他	14	2.2
	無回答	72	11.1
	N (%ベース)	648	

問18-3-6-2. 吸引の状況<20時-24時>-吸引者 (MA)

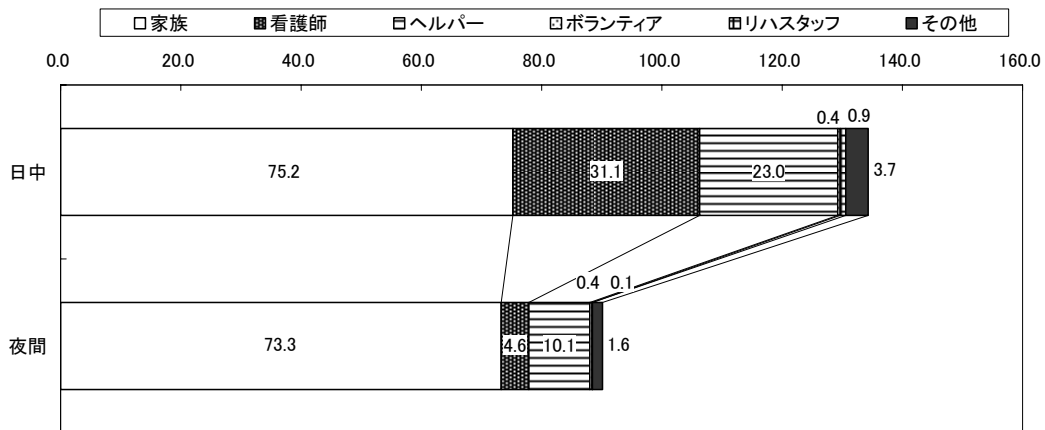
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	524	62.8
2	看護師	153	18.3
3	ヘルパー	74	8.9
4	ボランティア	4	0.5
5	リハスタッフ	0	0.0
6	その他	14	1.7
	無回答	142	17.0
	N (%ベース)	835	100

問18-3-6-2. 吸引の状況<20時-24時>-吸引者 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	505	77.9
2	看護師	27	4.2
3	ヘルパー	65	10.0
4	ボランティア	3	0.5
5	リハスタッフ	0	0.0
6	その他	10	1.5
	無回答	104	16.0
	N (%ベース)	648	

b. 日中・夜間別吸引者

日中・夜間を比較すると、家族は日中・夜間ともほぼ同程度だが、看護師・ヘルパーの割合が夜間が低くなっている。



上段:度数 下段:%	問18. 吸引の状況-吸引者							無回答
	合計	家族	看護師	ヘルパー	ボランティア	リハスタッフ	その他	
日中	1944	1462	604	447	8	18	72	212
	100.0	75.2	31.1	23.0	0.4	0.9	3.7	10.9
夜間	1944	1424	90	197	8	1	32	360
	100.0	73.3	4.6	10.1	0.4	0.1	1.6	18.5

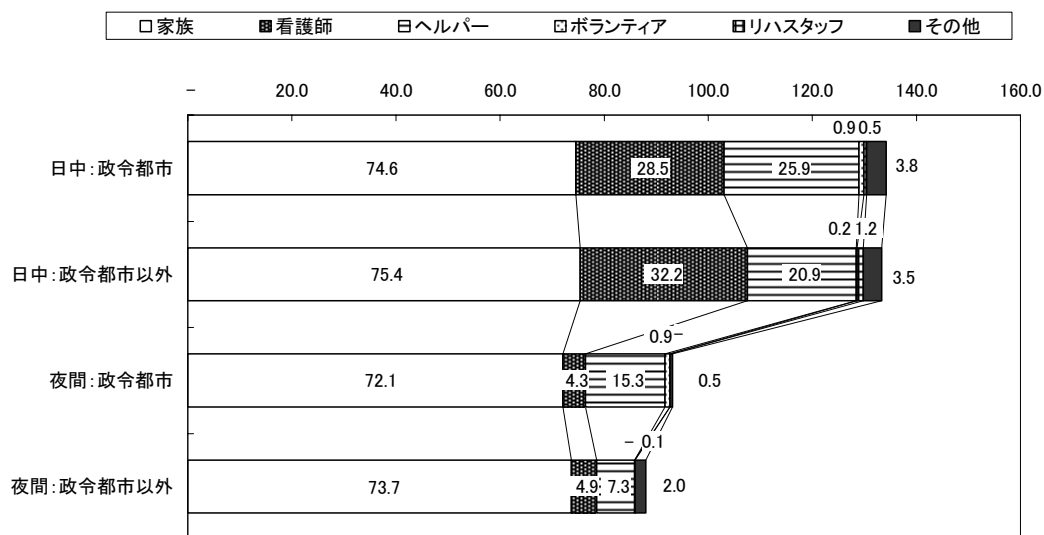
c. 日中・夜間別吸引者（都市種別）

政令都市・政令都市以外のクロス集計を行った結果が以下のとおりである。

家族の割合は政令市・政令市以外の日中・夜間とも同程度である。

日中をみると、政令都市と政令都市以外を比較すると看護師・ヘルパーが占める割合が逆転している。夜間でも、同じような傾向がみられる。

問18. 吸引者 × 都市種別



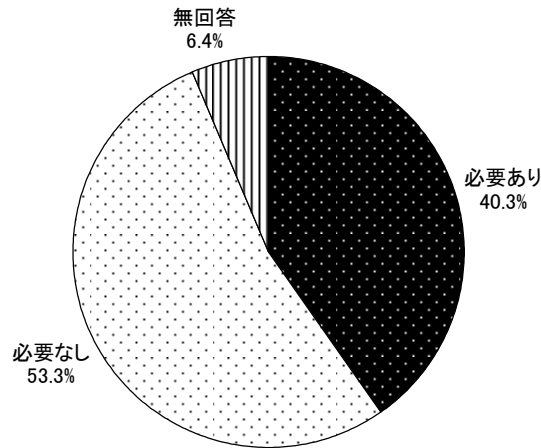
上段:度数 下段:%		問18. 吸引の状況<日中>-吸引者							
		合計	家族	看護師	ヘルパー	ボランティア	リハスタッフ	その他	無回答
全体		1944	1462	604	447	8	18	72	212
		100.0	75.2	31.1	23.0	0.4	0.9	3.7	10.9
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	555	414	158	144	5	3	21	55
		100.0	74.6	28.5	25.9	0.9	0.5	3.8	9.9
都市分類	政令指定都市以外	1296	977	417	271	2	15	46	150
		100.0	75.4	32.2	20.9	0.2	1.2	3.5	11.6

上段:度数 下段:%		問18. 吸引の状況<夜間>-吸引者							
		合計	家族	看護師	ヘルパー	ボランティア	リハスタッフ	その他	無回答
全体		1944	1424	90	197	8	1	32	360
		100.0	73.3	4.6	10.1	0.4	0.1	1.6	18.5
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	555	400	24	85	5	0	3	98
		100.0	72.1	4.3	15.3	0.9	0.0	0.5	17.7
都市分類	政令指定都市以外	1296	955	63	95	0	1	26	249
		100.0	73.7	4.9	7.3	0.0	0.1	2.0	19.2

(7) 医療的ケアにおける呼吸器等の使用について（問 19）

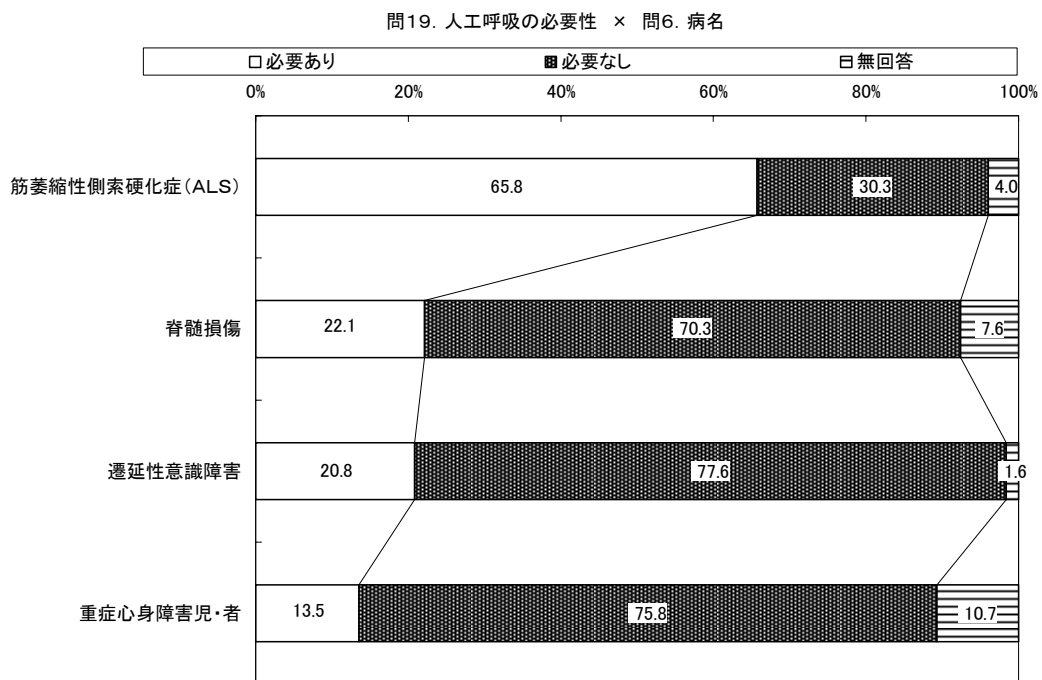
①呼吸器等の必要性

呼吸器等が必要だと回答した割合は 40.3%で、53.3%は必要ない結果となった。



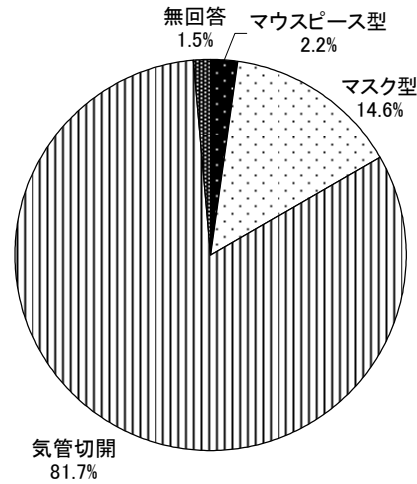
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	必要あり	597	40.3
2	必要なし	790	53.3
	無回答	95	6.4
	N (%へース)	1482	100

		問19. 呼吸器等			
上段:度数 下段:%		合計	必要あり	必要なし	無回答
全体		1482	597	790	95
		100.0	40.3	53.3	6.4
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を 除外)	422	148	249	25
		100.0	35.1	59.0	5.9
	政令指定都市以 外	980	416	503	61
		100.0	42.4	51.3	6.2
問4. 住まい	在宅	1228	464	689	75
		100.0	37.8	56.1	6.1
	在宅以外	238	129	96	13
		100.0	54.2	40.3	5.5
問6. 病名	筋萎縮性側索硬 化症(ALS)	733	482	222	29
		100.0	65.8	30.3	4.0
	脊髄損傷	145	32	102	11
		100.0	22.1	70.3	7.6
	遷延性意識障害	192	40	149	3
		100.0	20.8	77.6	1.6
	重症心身障害 児・者	430	58	326	46
	100.0	13.5	75.8	10.7	
	その他	70	20	42	8
		100.0	28.6	60.0	11.4



②呼吸器等の使用（問19）

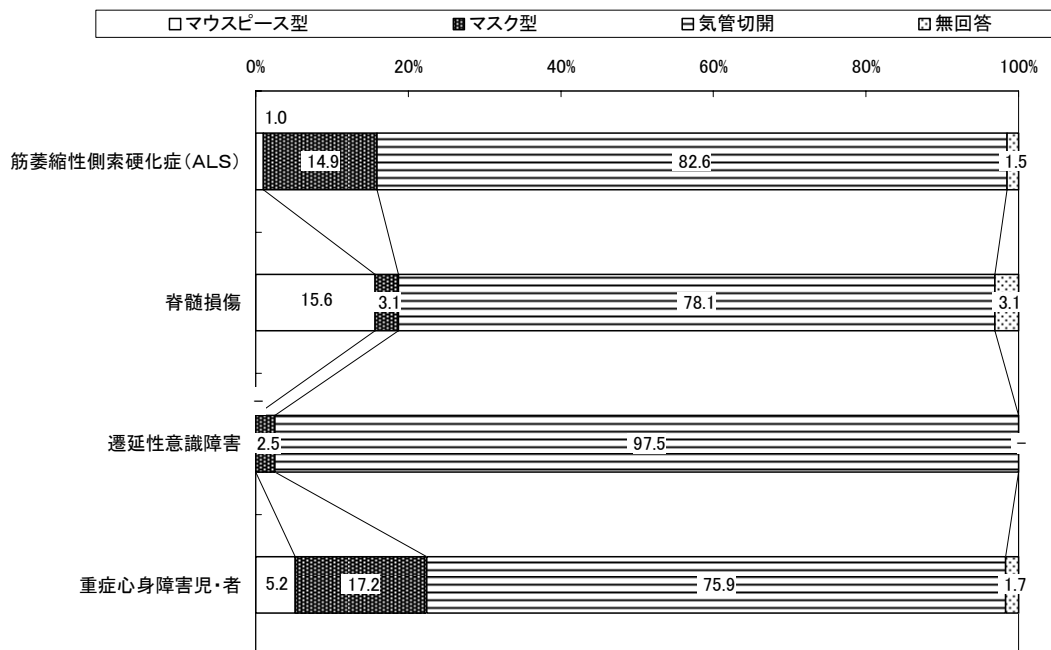
「マウスピース型」が2.2%、「マスク型」が14.6%、「気管切開」が81.7%の結果となった。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	マウスピース型	13	2.2
2	マスク型	87	14.6
3	気管切開	488	81.7
	無回答	9	1.5
	N (%へ入)	597	100

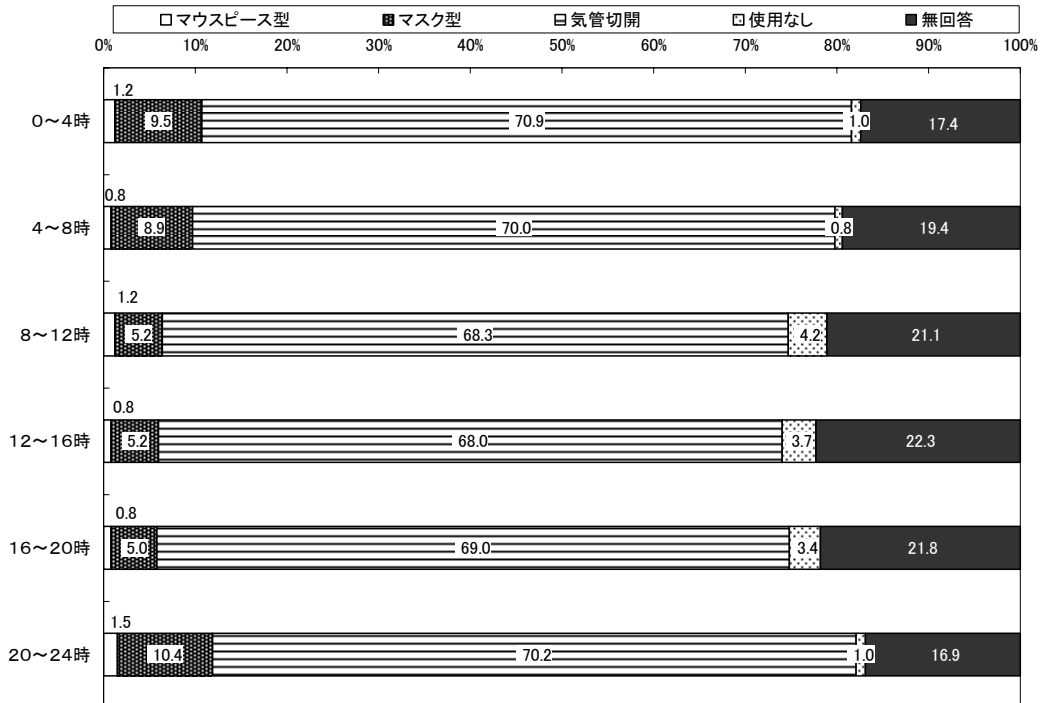
上段:度数 下段:%		問19-1. 呼吸器等の種類				
		合計	マウスピース型	マスク型	気管切開	無回答
全体		597	13	87	488	9
		100.0	2.2	14.6	81.7	1.5
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を	148	3	21	122	2
		100.0	2.0	14.2	82.4	1.4
	政令指定都市以外	416	10	63	337	6
		100.0	2.4	15.1	81.0	1.4
問4. 住まい	在宅	464	13	81	366	4
		100.0	2.8	17.5	78.9	0.9
	在宅以外	129	-	6	118	5
		100.0	-	4.7	91.5	3.9
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	482	5	72	398	7
		100.0	1.0	14.9	82.6	1.5
	脊髄損傷	32	5	1	25	1
		100.0	15.6	3.1	78.1	3.1
	遷延性意識障害	40	-	1	39	-
		100.0	-	2.5	97.5	-
	重症心身障害児・者	58	3	10	44	1
	100.0	5.2	17.2	75.9	1.7	
その他	20	-	6	14	-	
	100.0	-	30.0	70.0	-	

問19. 呼吸器の種類 × 問6. 病名



③呼吸器等の使用状況（問19）

時間帯別の呼吸器等の使用状況をみると、全ての時間帯で「気管切開」が多い。
20～8時台（夜間～深夜～早朝）は、マスク型の使用が多くなる傾向がみられた。



問19-2-1. 呼吸器等使用状況等<0時-4時> (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	マウスピース型	7	1.2
2	マスク型	57	9.5
3	気管切開	423	70.9
4	使用なし	6	1.0
	無回答	104	17.4
	N (% [^] -入)	597	100

問19-2-2. 呼吸器等使用状況等<4-8>使用状況等 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	マウスピース型	5	0.8
2	マスク型	53	8.9
3	気管切開	418	70.0
4	使用なし	5	0.8
	無回答	116	19.4
	N (% [^] -入)	597	100

問19-2-3. 呼吸器等使用状況等<8-12>使用状況等 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	マウスピース型	7	1.2
2	マスク型	31	5.2
3	気管切開	408	68.3
4	使用なし	25	4.2
	無回答	126	21.1
	N (% [^] -入)	597	100

問19-2-4. 呼吸器等使用状況等<12-16>使用状況等 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	マウスピース型	5	0.8
2	マスク型	31	5.2
3	気管切開	406	68.0
4	使用なし	22	3.7
	無回答	133	22.3
	N (% [^] -入)	597	100

問19-2-5. 呼吸器等使用状況等<16-20>使用状況等(SA)

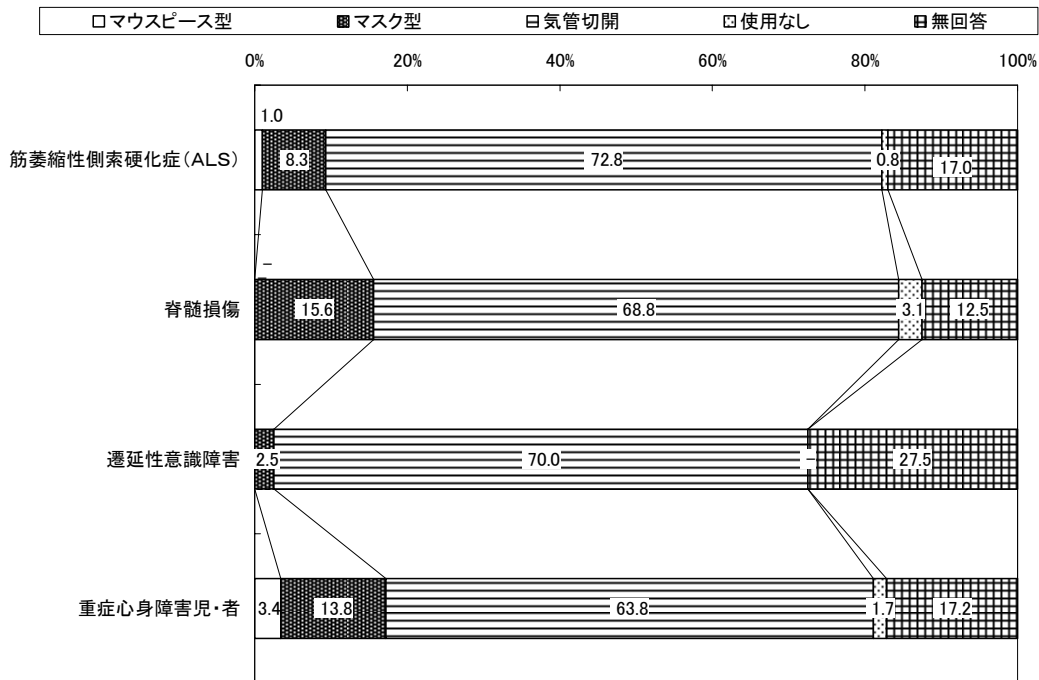
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	マウスピース型	5	0.8
2	マスク型	30	5.0
3	気管切開	412	69.0
4	使用なし	20	3.4
	無回答	130	21.8
	N (% [^] -入)	597	100

問19-2-6. 呼吸器等使用状況等<20-24>使用状況等(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	マウスピース型	9	1.5
2	マスク型	62	10.4
3	気管切開	419	70.2
4	使用なし	6	1.0
	無回答	101	16.9
	N (% [^] -入)	597	100

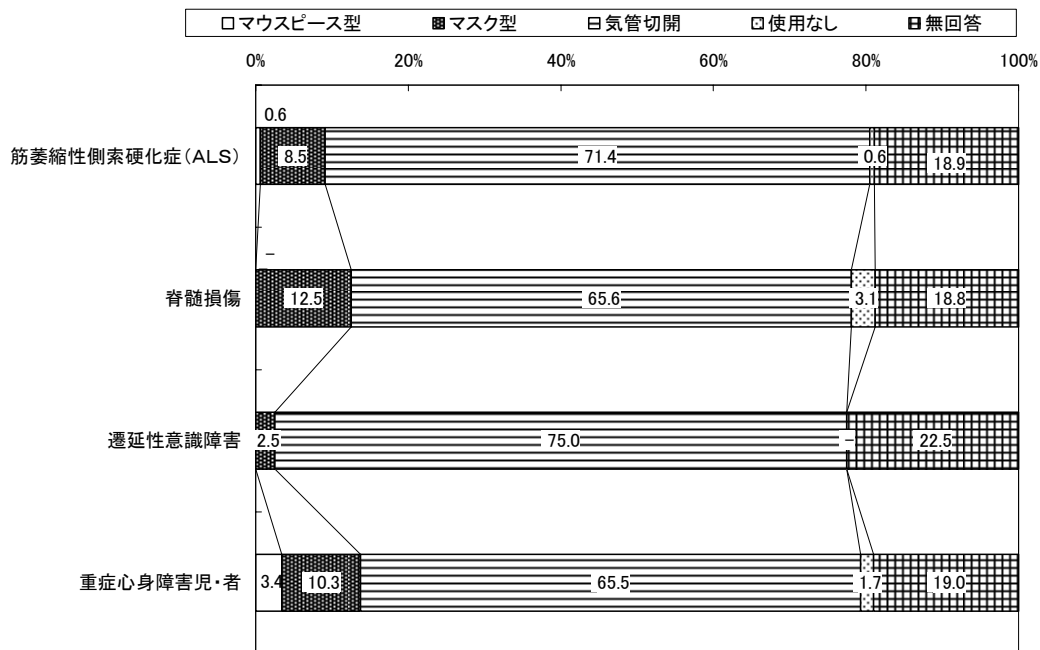
上段:度数 下段:%		問19-2-1. 呼吸器等使用状況等<0時-4時>					
		合計	マウスピース型	マスク型	気管切開	使用なし	無回答
全体		597	7	57	423	6	104
		100.0	1.2	9.5	70.9	1.0	17.4
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を	148	2	12	108	2	24
	政令指定都市以外	100.0	1.4	8.1	73.0	1.4	16.2
問4. 住まい	在宅	416	5	44	291	4	72
	在宅以外	100.0	1.2	10.6	70.0	1.0	17.3
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	464	7	53	326	6	72
	脊髄損傷	100.0	1.5	11.4	70.3	1.3	15.5
	遷延性意識障害	129	-	4	94	-	31
	重症心身障害児・者	100.0	-	3.1	72.9	-	24.0
	その他	482	5	40	351	4	82
		100.0	1.0	8.3	72.8	0.8	17.0
問19-3. 呼吸器経過年数	2年未満	32	-	5	22	1	4
	2年以上5年未満	100.0	-	15.6	68.8	3.1	12.5
	5年以上10年未満	40	-	1	28	-	11
	10年以上15年未満	100.0	-	2.5	70.0	-	27.5
	15年以上20年未満	58	2	8	37	1	10
	20年以上	100.0	3.4	13.8	63.8	1.7	17.2
		20	-	5	11	-	4
	100.0	-	25.0	55.0	-	20.0	

問19. 0～4時の呼吸器の使用状況 × 問6. 病名



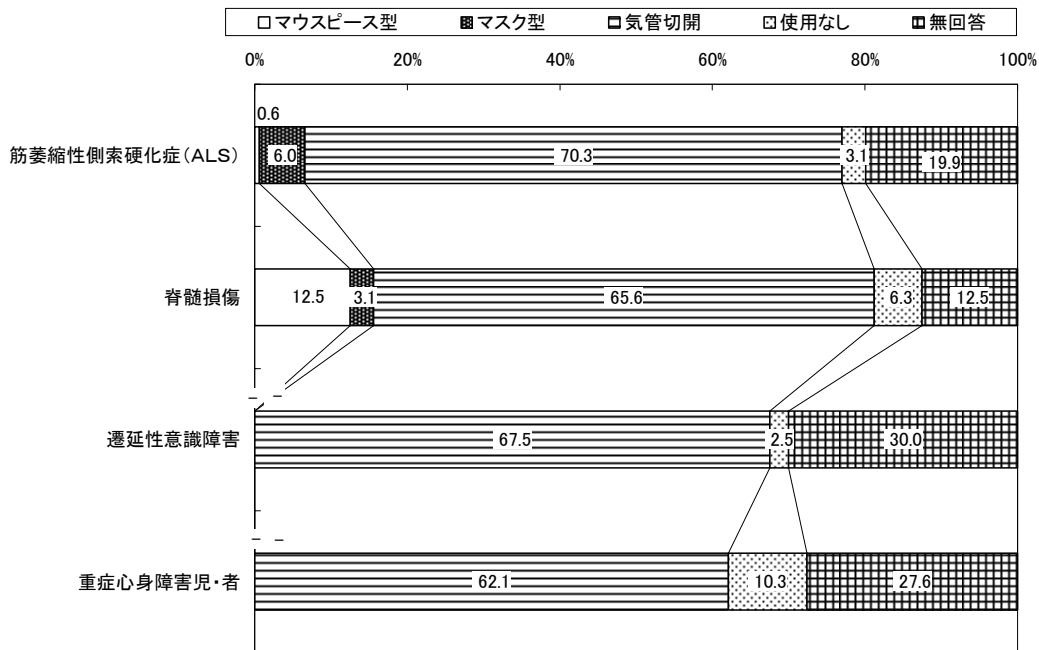
上段:度数 下段:%		問19-2-2. 呼吸器等使用状況等<4-8>使用状況等					
		合計	マウスピース型	マスク型	気管切開	使用なし	無回答
全体		597 100.0	5 0.8	53 8.9	418 70.0	5 0.8	116 19.4
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を)	148 100.0	1 0.7	12 8.1	108 73.0	2 1.4	25 16.9
	政令指定都市以外	416 100.0	4 1.0	40 9.6	286 68.8	3 0.7	83 20.0
問4. 住まい	在宅	464 100.0	5 1.1	48 10.3	322 69.4	5 1.1	84 18.1
	在宅以外	129 100.0	- -	5 3.9	93 72.1	- -	31 24.0
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	482 100.0	3 0.6	41 8.5	344 71.4	3 0.6	91 18.9
	脊髄損傷	32 100.0	- -	4 12.5	21 65.6	1 3.1	6 18.8
	遷延性意識障害	40 100.0	- -	1 2.5	30 75.0	- -	9 22.5
	重症心身障害児・者	58 100.0	2 3.4	6 10.3	38 65.5	1 1.7	11 19.0
	その他	20 100.0	- -	3 15.0	11 55.0	- -	6 30.0
	問19-3. 呼吸器経過年数	2年未満	140 100.0	4 2.9	26 18.6	75 53.6	3 2.1
	2年以上5年未満	161 100.0	1 0.6	18 11.2	108 67.1	1 0.6	33 20.5
	5年以上10年未満	144 100.0	- -	5 3.5	120 83.3	- -	19 13.2
	10年以上15年未満	68 100.0	- -	1 1.5	59 86.8	- -	8 11.8
	15年以上20年未満	18 100.0	- -	- -	17 94.4	- -	1 5.6
	20年以上	8 100.0	- -	- -	6 75.0	- -	2 25.0

問19. 4~8時の使用呼吸器 × 問6. 病名



上段:度数 下段:%		問19-2-3.呼吸器等使用状況等<8-12>使用状況等					
		合計	マウスピース型	マスク型	気管切開	使用なし	無回答
全体		597 100.0	7 1.2	31 5.2	408 68.3	25 4.2	126 21.1
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を)	148 100.0	1 0.7	7 4.7	109 73.6	5 3.4	26 17.6
	政令指定都市以外	416 100.0	6 1.4	22 5.3	276 66.3	19 4.6	93 22.4
問4. 住まい	在宅	464 100.0	7 1.5	28 6.0	313 67.5	24 5.2	92 19.8
	在宅以外	129 100.0	- -	3 2.3	92 71.3	1 0.8	33 25.6
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	482 100.0	3 0.6	29 6.0	339 70.3	15 3.1	96 19.9
	脊髄損傷	32 100.0	4 12.5	1 3.1	21 65.6	2 6.3	4 12.5
	遷延性意識障害	40 100.0	- -	- -	27 67.5	1 2.5	12 30.0
	重症心身障害児・者	58 100.0	- -	- -	36 62.1	6 10.3	16 27.6
	その他	20 100.0	- -	3 15.0	10 50.0	2 10.0	5 25.0
	問19-3.呼吸器経過年数	2年未満	140 100.0	2 1.4	14 10.0	71 50.7	14 10.0
	2年以上5年未満	161 100.0	4 2.5	12 7.5	106 65.8	5 3.1	34 21.1
	5年以上10年未満	144 100.0	1 0.7	4 2.8	117 81.3	1 0.7	21 14.6
	10年以上15年未満	68 100.0	- -	- -	58 85.3	1 1.5	9 13.2
	15年以上20年未満	18 100.0	- -	- -	17 94.4	- -	1 5.6
	20年以上	8 100.0	- -	- -	7 87.5	- -	1 12.5

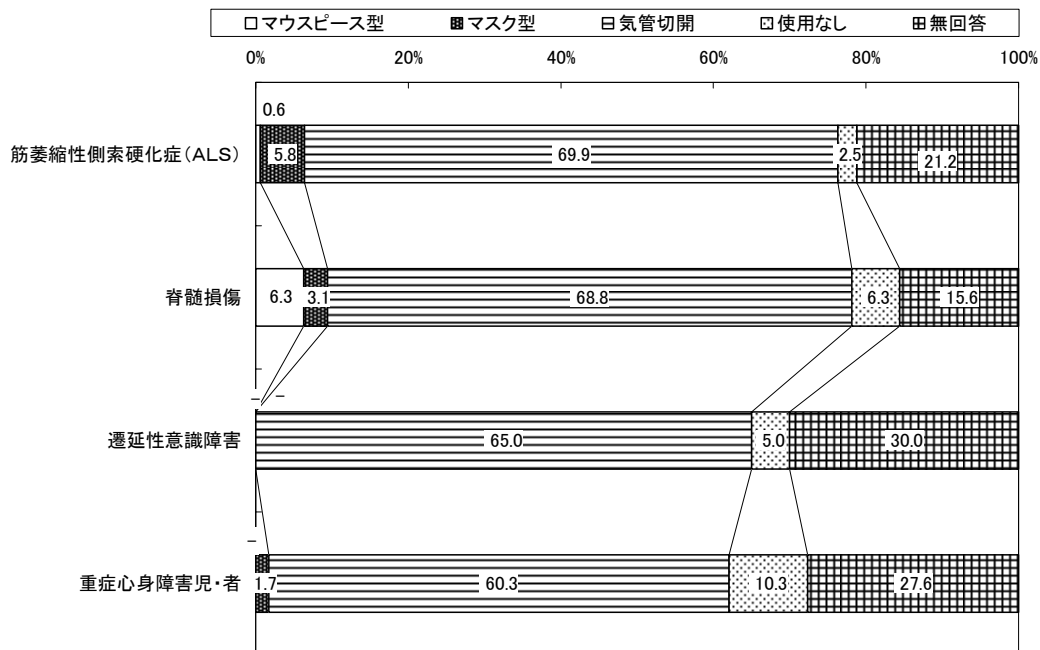
問19. 8~12時の使用呼吸器 × 問6. 病名



第三章 訪問系サービス利用者におけるサービス利用状況等に関する実態調査結果

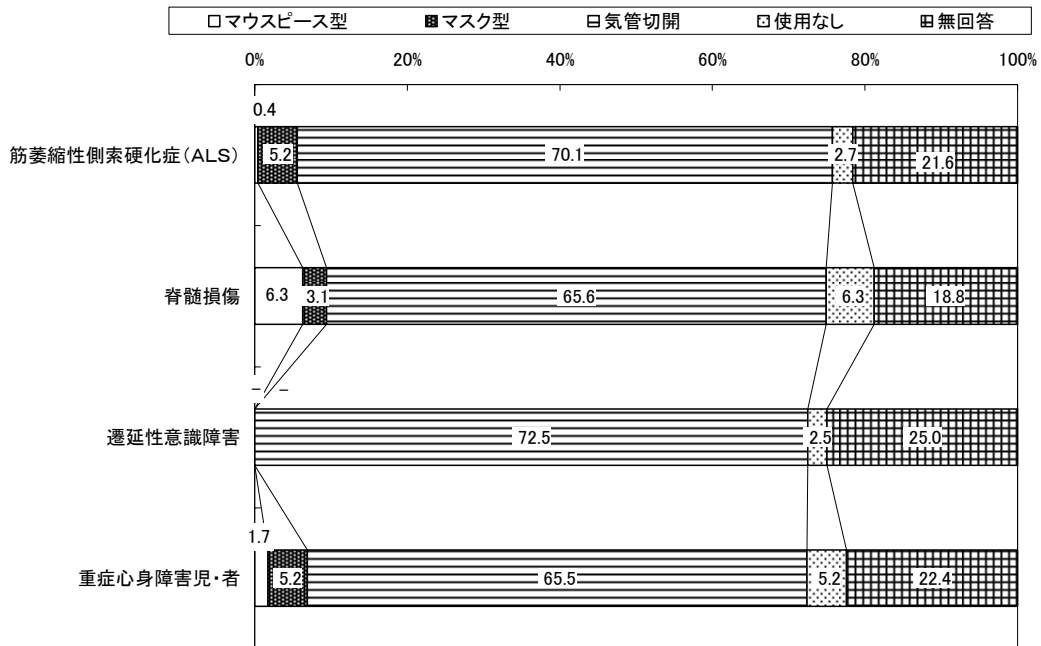
上段:度数 下段:%		問19-2-4. 呼吸器等使用状況等<12-16>使用状況等					
		合計	マウスピース型	マスク型	気管切開	使用なし	無回答
全体		597 100.0	5 0.8	31 5.2	406 68.0	22 3.7	133 22.3
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を 除外)	148 100.0	1 0.7	8 5.4	108 73.0	4 2.7	27 18.2
	政令指定都市以外	416 100.0	4 1.0	22 5.3	275 66.1	17 4.1	98 23.6
問4. 住まい	在宅	464 100.0	5 1.1	28 6.0	311 67.0	22 4.7	98 21.1
	在宅以外	129 100.0	- -	3 2.3	92 71.3	- -	34 26.4
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	482 100.0	3 0.6	28 5.8	337 69.9	12 2.5	102 21.2
	脊髄損傷	32 100.0	2 6.3	1 3.1	22 68.8	2 6.3	5 15.6
	遷延性意識障害	40 100.0	- -	- -	26 65.0	2 5.0	12 30.0
	重症心身障害児・者	58 100.0	- -	1 1.7	35 60.3	6 10.3	16 27.6
	その他	20 100.0	- -	3 15.0	10 50.0	2 10.0	5 25.0
	問19-3. 呼吸器経過年数	2年未満	140 100.0	2 1.4	14 10.0	71 50.7	12 8.6
	2年以上5年未満	161 100.0	2 1.2	12 7.5	104 64.6	6 3.7	37 23.0
	5年以上10年未満	144 100.0	1 0.7	4 2.8	117 81.3	- -	22 15.3
	10年以上15年未満	68 100.0	- -	- -	59 86.8	- -	9 13.2
	15年以上20年未満	18 100.0	- -	- -	17 94.4	- -	1 5.6
	20年以上	8 100.0	- -	- -	7 87.5	- -	1 12.5

問19. 12~16時の使用呼吸器 × 問6. 病名



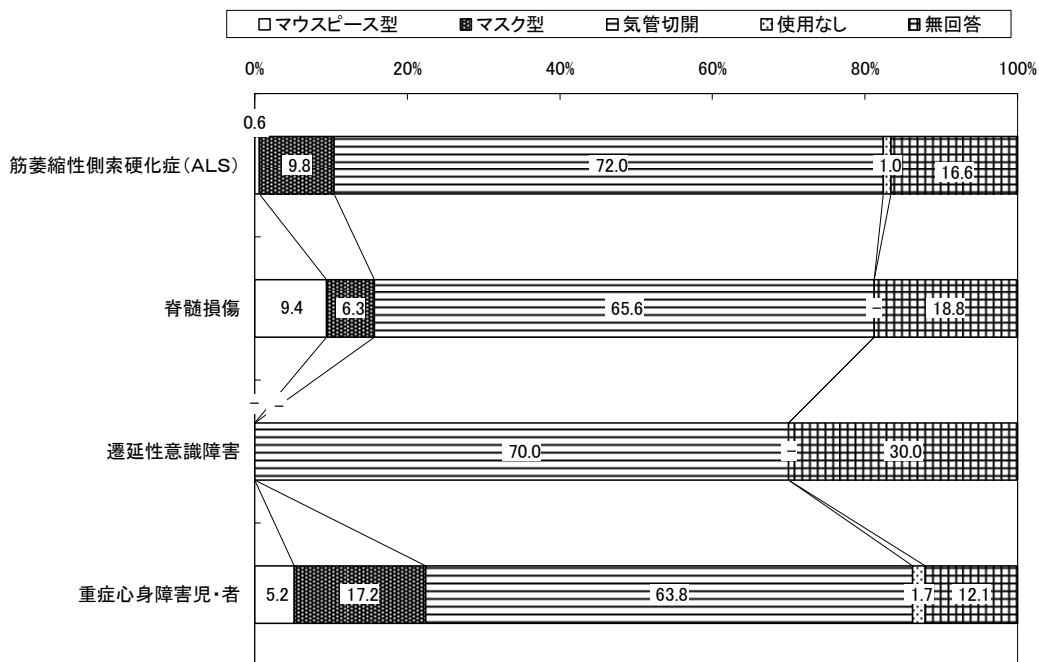
上段:度数 下段:%		問19-2-5.呼吸器等使用状況等<16-20>使用状況等					
		合計	マウスピース型	マスク型	気管切開	使用なし	無回答
全体		597 100.0	5 0.8	30 5.0	412 69.0	20 3.4	130 21.8
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を 政令指定都市以 外)	148 100.0	1 0.7	9 6.1	108 73.0	5 3.4	25 16.9
	在宅	464 100.0	5 1.1	25 5.4	316 68.1	20 4.3	98 21.1
問4. 住まい	在宅以外	129 100.0	- -	5 3.9	93 72.1	- -	31 24.0
	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	482 100.0	2 0.4	25 5.2	338 70.1	13 2.7	104 21.6
問6. 病名	脊髄損傷	32 100.0	2 6.3	1 3.1	21 65.6	2 6.3	6 18.8
	遷延性意識障害	40 100.0	- -	- -	29 72.5	1 2.5	10 25.0
	重症心身障害児・者	58 100.0	1 1.7	3 5.2	38 65.5	3 5.2	13 22.4
	その他	20 100.0	- -	4 20.0	10 50.0	2 10.0	4 20.0
	2年未満	140 100.0	3 2.1	15 10.7	72 51.4	10 7.1	40 28.6
	2年以上5年未満	161 100.0	1 0.6	10 6.2	106 65.8	6 3.7	38 23.6
問19-3. 呼吸器経過年数	5年以上10年未満	144 100.0	1 0.7	4 2.8	118 81.9	1 0.7	20 13.9
	10年以上15年未満	68 100.0	- -	- -	60 88.2	- -	8 11.8
	15年以上20年未満	18 100.0	- -	- -	17 94.4	- -	1 5.6
	20年以上	8 100.0	- -	- -	7 87.5	- -	1 12.5

問19. 16~20時の使用呼吸器 × 問6. 病名



上段:度数 下段:%		問19-2-6. 呼吸器等使用状況等<20-24>使用状況等					
		合計	マウスピース型	マスク型	気管切開	使用なし	無回答
全体		597 100.0	9 1.5	62 10.4	419 70.2	6 1.0	101 16.9
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を)	148 100.0	3 2.0	14 9.5	108 73.0	2 1.4	21 14.2
	政令指定都市以外	416 100.0	6 1.4	47 11.3	288 69.2	3 0.7	72 17.3
問4. 住まい	在宅	464 100.0	9 1.9	57 12.3	321 69.2	6 1.3	71 15.3
	在宅以外	129 100.0	- -	5 3.9	95 73.6	- -	29 22.5
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	482 100.0	3 0.6	47 9.8	347 72.0	5 1.0	80 16.6
	脊髄損傷	32 100.0	3 9.4	2 6.3	21 65.6	- -	6 18.8
	遷延性意識障害	40 100.0	- -	- -	28 70.0	- -	12 30.0
	重症心身障害児・者	58 100.0	3 5.2	10 17.2	37 63.8	1 1.7	7 12.1
	その他	20 100.0	- -	6 30.0	11 55.0	- -	3 15.0
	問19-3. 呼吸器経過年数	2年未満	140 100.0	5 3.6	30 21.4	76 54.3	4 2.9
	2年以上5年未満	161 100.0	2 1.2	19 11.8	110 68.3	1 0.6	29 18.0
	5年以上10年未満	144 100.0	1 0.7	8 5.6	115 79.9	- -	20 13.9
	10年以上15年未満	68 100.0	- -	1 1.5	60 88.2	- -	7 10.3
	15年以上20年未満	18 100.0	- -	- -	18 100.0	- -	- -
	20年以上	8 100.0	- -	- -	6 75.0	- -	2 25.0

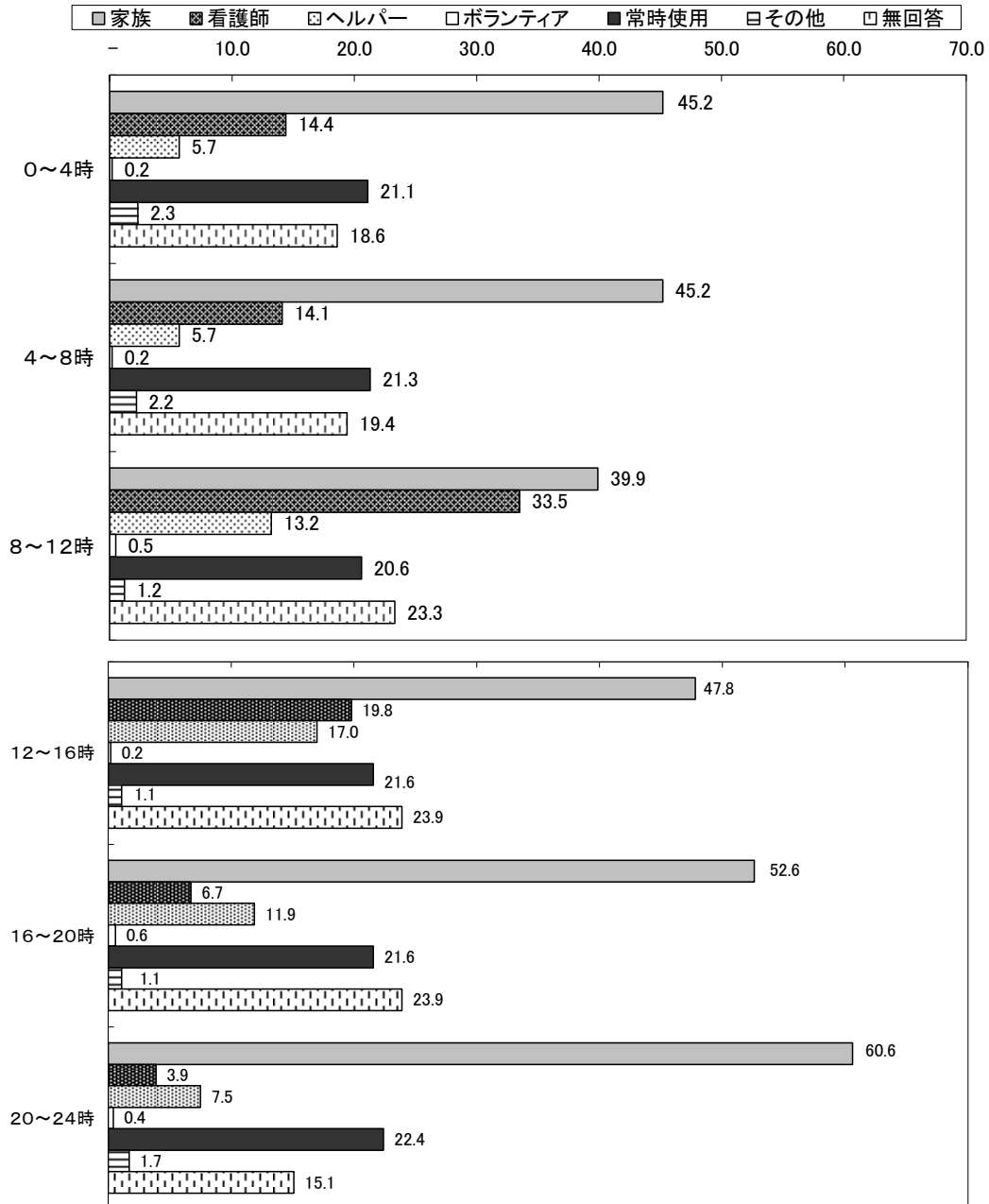
問19. 20~24時の使用呼吸器 × 問6. 病名



④呼吸器等の装着を行っている者（問 19）

呼吸器等の装着は、「家族」が最も多く、次いで「看護師」が多い傾向がみられる。

時間帯では、8～12時（午前）・12～16時台（午後）では、看護師の割合が高くなるが、16～8時台（夕方～夜間～深夜～早朝）はその割合が減っている。



問19-2-1-1. 呼吸器等使用状況等<0-4>装着者(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	270	45.2
2	看護師	86	14.4
3	ヘルパー	34	5.7
4	ボランティア	1	0.2
5	常時使用	126	21.1
6	その他	14	2.3
	無回答	111	18.6
	N (%ベース)	597	100

問19-2-2-1. 呼吸器等使用状況等<4-8>装着者 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	270	45.2
2	看護師	84	14.1
3	ヘルパー	34	5.7
4	ボランティア	1	0.2
5	常時使用	127	21.3
6	その他	13	2.2
	無回答	116	19.4
	N (%ベース)	597	100

問19-2-3-1. 呼吸器等使用状況等<8-12>装着者 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	238	39.9
2	看護師	200	33.5
3	ヘルパー	79	13.2
4	ボランティア	3	0.5
5	常時使用	123	20.6
6	その他	7	1.2
	無回答	139	23.3
	N (%ベース)	597	100

問19-2-4-1. 呼吸器等使用状況等<12-16>装着者(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	237	39.7
2	看護師	160	26.8
3	ヘルパー	83	13.9
4	ボランティア	1	0.2
5	常時使用	122	20.4
6	その他	8	1.3
	無回答	145	24.3
	N (%ベース)	597	100

問19-2-5-1. 呼吸器等使用状況等<16-20>装着者(MA)

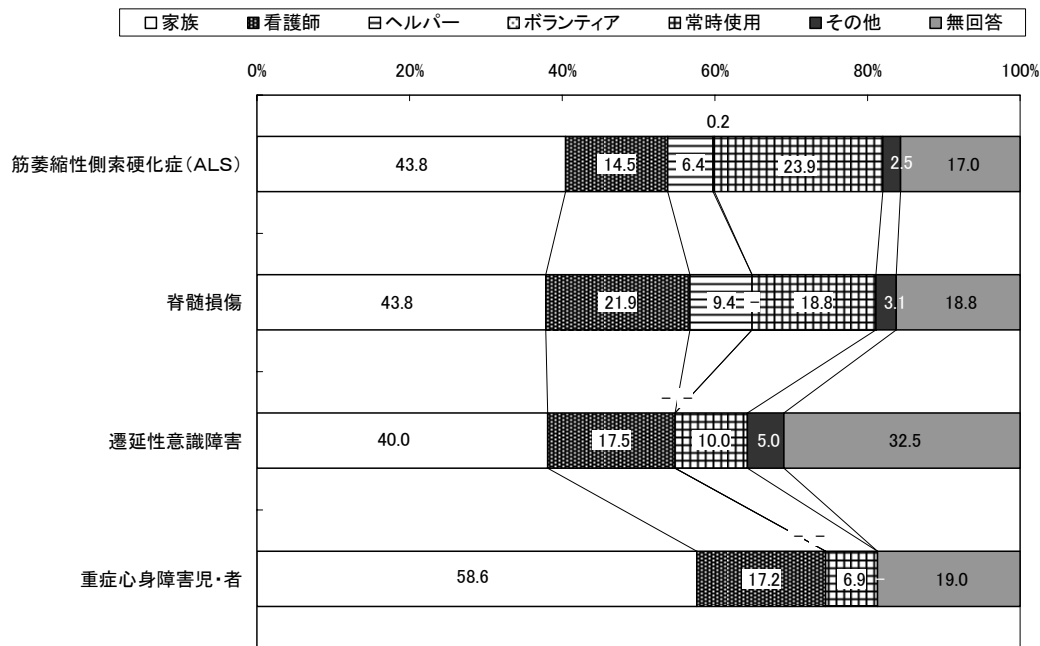
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	259	43.4
2	看護師	100	16.8
3	ヘルパー	58	9.7
4	ボランティア	3	0.5
5	常時使用	122	20.4
6	その他	8	1.3
	無回答	143	24.0
	N (%ベース)	597	100

問19-2-6-1. 呼吸器等使用状況等<20-24>装着者(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	291	48.7
2	看護師	90	15.1
3	ヘルパー	38	6.4
4	ボランティア	2	0.3
5	常時使用	126	21.1
6	その他	11	1.8
	無回答	100	16.8
	N (%ベース)	597	100

上段:度数 下段:%		問19-2-1-1. 呼吸器等使用状況等<0-4>-装着者							
		合計	家族	看護師	ヘルパー	ボランティア	常時使用	その他	無回答
全体		597	270	86	34	1	126	14	111
		100.0	45.2	14.4	5.7	0.2	21.1	2.3	18.6
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を	148	67	16	12	1	36	2	26
	政令指定都市以 外	416	189	66	18	-	86	12	75
		100.0	45.4	15.9	4.3	-	20.7	2.9	18.0
問4. 住まい	在宅	464	262	17	31	1	103	10	79
	在宅以外	129	6	68	3	-	22	4	31
		100.0	56.5	3.7	6.7	0.2	22.2	2.2	17.0
問6. 病名	筋萎縮性側索硬 化症(ALS)	482	211	70	31	1	115	12	82
	脊髄損傷	32	14	7	3	-	6	1	6
	遷延性意識障害	40	16	7	-	-	4	2	13
	重症心身障害 児・者	58	34	10	-	-	4	-	11
	その他	20	13	2	-	-	3	-	4
		100.0	65.0	10.0	-	-	15.0	-	20.0
問19-3. 呼吸 器経過年数	2年未満	140	53	20	5	-	24	6	38
	2年以上5年未 満	161	70	21	9	-	45	4	26
	5年以上10年未 満	144	76	19	7	-	34	2	15
	10年以上15年 未満	68	39	14	6	-	11	2	5
	15年以上20年 未満	18	11	1	1	-	5	-	1
	20年以上	8	2	2	1	-	1	-	4
		100.0	25.0	25.0	12.5	-	12.5	-	50.0

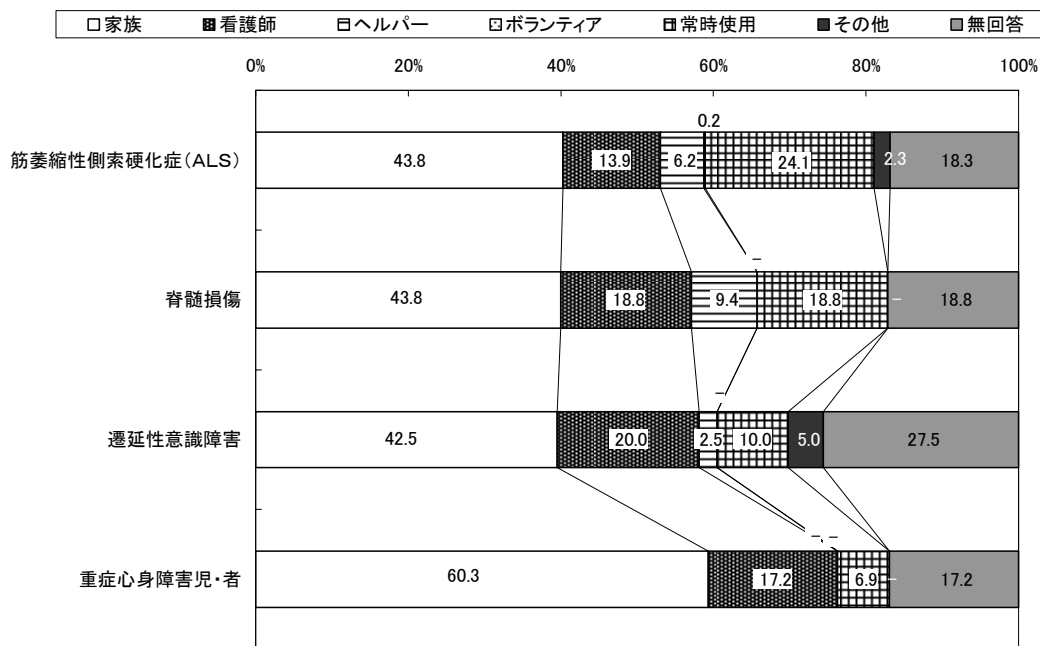
問19. 0~4時の呼吸器装着者 × 問6. 病名



第三章 訪問系サービス利用者におけるサービス利用状況等に関する実態調査結果

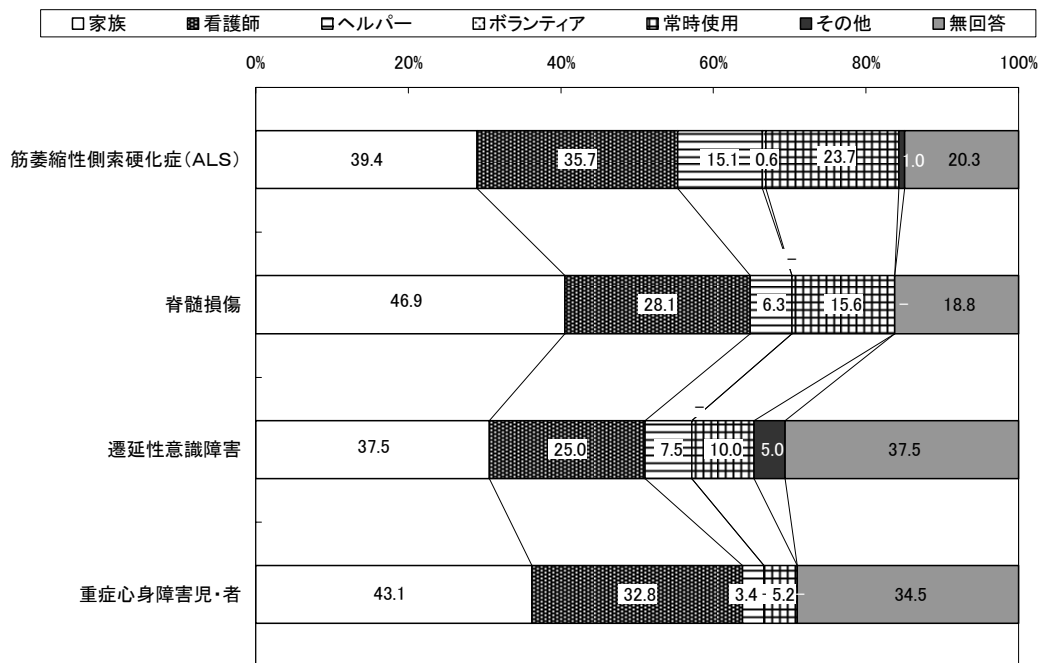
上段:度数 下段:%		問19-2-2-1. 呼吸器等使用状況等<4-8>装着者							
		合計	家族	看護師	ヘルパー	ボランティア	常時使用	その他	無回答
全体		597 100.0	270 45.2	84 14.1	34 5.7	1 0.2	127 21.3	13 2.2	116 19.4
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を	148 100.0	67 45.3	17 11.5	12 8.1	1 0.7	38 25.7	2 1.4	26 17.6
	政令指定都市以 外	416 100.0	189 45.4	63 15.1	18 4.3	-	85 20.4	11 2.6	80 19.2
問4. 住まい	在宅	464 100.0	260 56.0	16 3.4	31 6.7	1 0.2	104 22.4	10 2.2	84 18.1
	在宅以外	129 100.0	8 6.2	67 51.9	3 2.3	-	22 17.1	3 2.3	31 24.0
問6. 病名	筋萎縮性側索硬 化症(ALS)	482 100.0	211 43.8	67 13.9	30 6.2	1 0.2	116 24.1	11 2.3	88 18.3
	脊髄損傷	32 100.0	14 43.8	6 18.8	3 9.4	-	6 18.8	-	6 18.8
	遷延性意識障害	40 100.0	17 42.5	8 20.0	1 2.5	-	4 10.0	2 5.0	11 27.5
	重症心身障害 児・者	58 100.0	35 60.3	10 17.2	-	-	4 6.9	-	10 17.2
	その他	20 100.0	12 60.0	2 10.0	-	-	3 15.0	-	5 25.0
	問19-3. 呼吸 器経過年数	2年未満	140 100.0	53 37.9	21 15.0	5 3.6	-	26 18.6	6 4.3
	2年以上5年未 満	161 100.0	69 42.9	22 13.7	9 5.6	-	44 27.3	3 1.9	28 17.4
	5年以上10年未 満	144 100.0	76 52.8	17 11.8	8 5.6	-	34 23.6	2 1.4	18 12.5
	10年以上15年 未満	68 100.0	38 55.9	13 19.1	6 8.8	-	11 16.2	2 2.9	6 8.8
	15年以上20年 未満	18 100.0	11 61.1	1 5.6	1 5.6	-	5 27.8	-	1 5.6
	20年以上	8 100.0	3 37.5	2 25.0	1 12.5	-	1 12.5	-	3 37.5

問19. 4~8時の呼吸器装着者 × 問6. 病名



上段:度数 下段:%		問19-2-3-1. 呼吸器等使用状況等<8-12>装着者							
		合計	家族	看護師	ヘルパー	ボランティア	常時使用	その他	無回答
全体		597 100.0	238 39.9	200 33.5	79 13.2	3 0.5	123 20.6	7 1.2	139 23.3
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を	148 100.0	61 41.2	46 31.1	29 19.6	2 1.4	36 24.3	-	29 19.6
	政令指定都市以 外	416 100.0	164 39.4	140 33.7	42 10.1	1 0.2	83 20.0	7 1.7	101 24.3
問4. 住まい	在宅	464 100.0	226 48.7	128 27.6	74 15.9	3 0.6	100 21.6	4 0.9	105 22.6
	在宅以外	129 100.0	11 8.5	70 54.3	4 3.1	-	22 17.1	3 2.3	33 25.6
問6. 病名	筋萎縮性側索硬 化症(ALS)	482 100.0	190 39.4	172 35.7	73 15.1	3 0.6	114 23.7	5 1.0	98 20.3
	脊髄損傷	32 100.0	15 46.9	9 28.1	2 6.3	-	5 15.6	-	6 18.8
	遷延性意識障害	40 100.0	15 37.5	10 25.0	3 7.5	-	4 10.0	2 5.0	15 37.5
	重症心身障害 児・者	58 100.0	25 43.1	19 32.8	2 3.4	-	3 5.2	-	20 34.5
	その他	20 100.0	11 55.0	7 35.0	2 10.0	-	3 15.0	-	5 25.0
	問19-3. 呼吸 器経過年数	2年未満	140 100.0	41 29.3	38 27.1	15 10.7	1 0.7	23 16.4	2 1.4
	2年以上5年未 満	161 100.0	59 36.6	52 32.3	17 10.6	-	44 27.3	2 1.2	33 20.5
	5年以上10年未 満	144 100.0	70 48.6	53 36.8	19 13.2	1 0.7	34 23.6	1 0.7	19 13.2
	10年以上15年 未満	68 100.0	34 50.0	33 48.5	16 23.5	-	10 14.7	2 2.9	7 10.3
	15年以上20年 未満	18 100.0	12 66.7	5 27.8	3 16.7	-	5 27.8	-	1 5.6
	20年以上	8 100.0	3 37.5	4 50.0	1 12.5	-	1 12.5	-	3 37.5

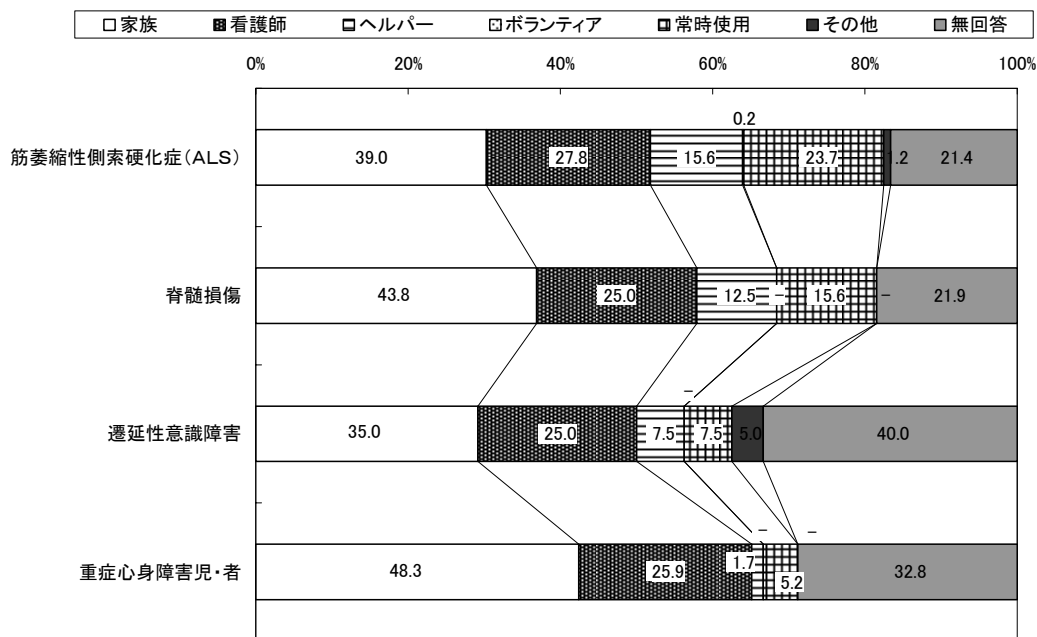
問19. 8~12時の呼吸器装着者 × 問6. 病名



第三章 訪問系サービス利用者におけるサービス利用状況等に関する実態調査結果

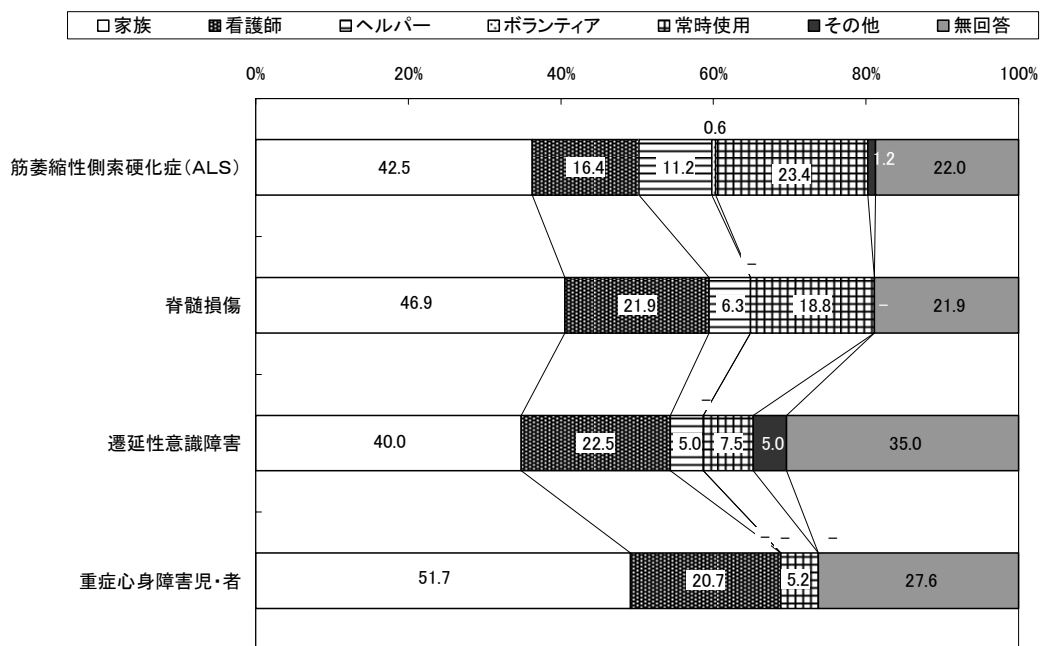
上段:度数 下段:%		問19-2-4-1. 呼吸器等使用状況等<12-16>装着者							
		合計	家族	看護師	ヘルパー	ボランティア	常時使用	その他	無回答
全体		597 100.0	237 39.7	160 26.8	83 13.9	1 0.2	122 20.4	8 1.3	145 24.3
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を	148 100.0	64 43.2	38 25.7	28 18.9	1 0.7	36 24.3	-	29 19.6
	政令指定都市以外	416 100.0	162 38.9	110 26.4	48 11.5	-	82 19.7	8 1.9	105 25.2
問4. 住まい	在宅	464 100.0	222 47.8	92 19.8	79 17.0	1 0.2	100 21.6	5 1.1	111 23.9
	在宅以外	129 100.0	14 10.9	66 51.2	3 2.3	-	21 16.3	3 2.3	33 25.6
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	482 100.0	188 39.0	134 27.8	75 15.6	1 0.2	114 23.7	6 1.2	103 21.4
	脊髄損傷	32 100.0	14 43.8	8 25.0	4 12.5	-	5 15.6	-	7 21.9
	遷延性意識障害	40 100.0	14 35.0	10 25.0	3 7.5	-	3 7.5	2 5.0	16 40.0
	重症心身障害児・者	58 100.0	28 48.3	15 25.9	1 1.7	-	3 5.2	-	19 32.8
	その他	20 100.0	10 50.0	6 30.0	3 15.0	-	3 15.0	-	6 30.0
	問19-3. 呼吸器経過年数	2年未満	140 100.0	41 29.3	34 24.3	15 10.7	1 0.7	23 16.4	1 0.7
	2年以上5年未満	161 100.0	58 36.0	36 22.4	15 9.3	-	43 26.7	3 1.9	38 23.6
	5年以上10年未満	144 100.0	71 49.3	45 31.3	25 17.4	-	34 23.6	2 1.4	20 13.9
	10年以上15年未満	68 100.0	33 48.5	24 35.3	16 23.5	-	10 14.7	2 2.9	6 8.8
	15年以上20年未満	18 100.0	12 66.7	4 22.2	3 16.7	-	5 27.8	-	1 5.6
	20年以上	8 100.0	3 37.5	2 25.0	1 12.5	-	1 12.5	-	3 37.5

問19. 12~16時の呼吸器装着者 × 問6. 病名



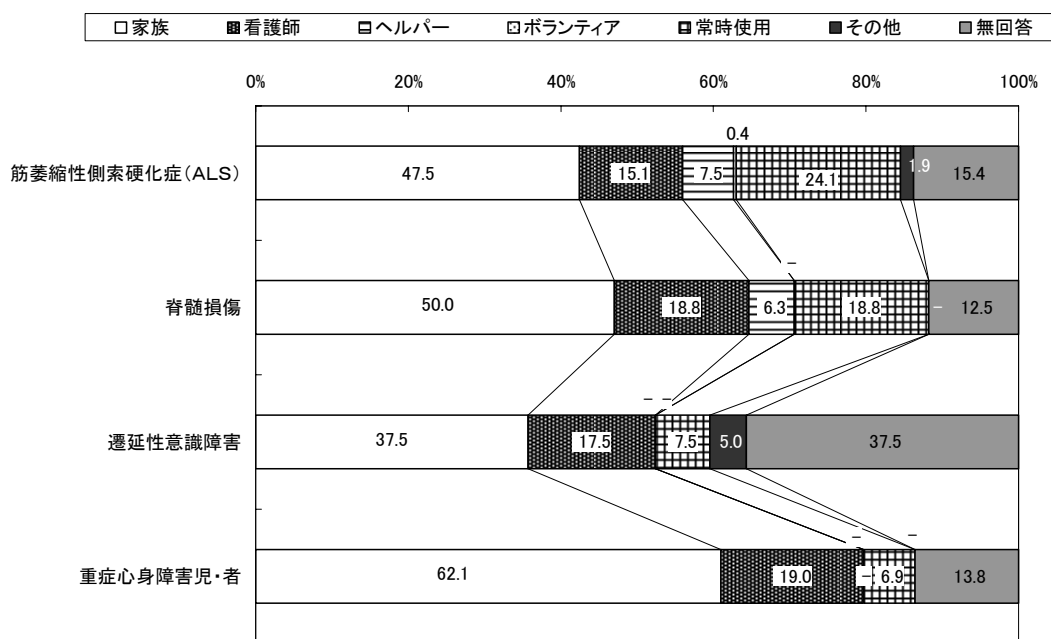
上段:度数 下段:%		問19-2-5-1. 呼吸器等使用状況等<16-20>装着者							
		合計	家族	看護師	ヘルパー	ボランティア	常時使用	その他	無回答
全体		597 100.0	259 43.4	100 16.8	58 9.7	3 0.5	122 20.4	8 1.3	143 24.0
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を	148 100.0	69 46.6	22 14.9	17 11.5	2 1.4	36 24.3	1 0.7	28 18.9
	政令指定都市以 外	416 100.0	177 42.5	74 17.8	35 8.4	1 0.2	82 19.7	7 1.7	105 25.2
問4. 住まい	在宅	464 100.0	244 52.6	31 6.7	55 11.9	3 0.6	100 21.6	5 1.1	111 23.9
	在宅以外	129 100.0	13 10.1	68 52.7	3 2.3	-	21 16.3	3 2.3	31 24.0
問6. 病名	筋萎縮性側索硬 化症(ALS)	482 100.0	205 42.5	79 16.4	54 11.2	3 0.6	113 23.4	6 1.2	106 22.0
	脊髄損傷	32 100.0	15 46.9	7 21.9	2 6.3	-	6 18.8	-	7 21.9
	遷延性意識障害	40 100.0	16 40.0	9 22.5	2 5.0	-	3 7.5	2 5.0	14 35.0
	重症心身障害 児・者	58 100.0	30 51.7	12 20.7	-	-	3 5.2	-	16 27.6
	その他	20 100.0	11 55.0	4 20.0	-	-	3 15.0	-	5 25.0
	問19-3. 呼吸 器経過年数	2年未満	140 100.0	47 33.6	24 17.1	13 9.3	1 0.7	23 16.4	2 1.4
	2年以上5年未 満	161 100.0	62 38.5	23 14.3	8 5.0	1 0.6	42 26.1	2 1.2	38 23.6
	5年以上10年未 満	144 100.0	76 52.8	24 16.7	17 11.8	-	34 23.6	1 0.7	18 12.5
	10年以上15年 未満	68 100.0	40 58.8	14 20.6	12 17.6	-	11 16.2	2 2.9	5 7.4
	15年以上20年 未満	18 100.0	12 66.7	3 16.7	2 11.1	-	5 27.8	-	1 5.6
	20年以上	8 100.0	3 37.5	2 25.0	1 12.5	-	1 12.5	-	3 37.5

問19. 16～20時の呼吸器装着者 × 問6. 病名



上段:度数 下段:%		問19-2-6-1. 呼吸器等使用状況等<20-24>装着者							
		合計	家族	看護師	ヘルパー	ボランティア	常時使用	その他	無回答
全体		597 100.0	291 48.7	90 15.1	38 6.4	2 0.3	126 21.1	11 1.8	100 16.8
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を	148 100.0	76 51.4	18 12.2	13 8.8	2 1.4	36 24.3	-	20 13.5
	政令指定都市以外	416 100.0	201 48.3	68 16.3	21 5.0	-	86 20.7	11 2.6	70 16.8
問4. 住まい	在宅	464 100.0	281 60.6	18 3.9	35 7.5	2 0.4	104 22.4	8 1.7	70 15.1
	在宅以外	129 100.0	8 6.2	71 55.0	3 2.3	-	21 16.3	3 2.3	29 22.5
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	482 100.0	229 47.5	73 15.1	36 7.5	2 0.4	116 24.1	9 1.9	74 15.4
	脊髄損傷	32 100.0	16 50.0	6 18.8	2 6.3	-	6 18.8	-	4 12.5
	遷延性意識障害	40 100.0	15 37.5	7 17.5	-	-	3 7.5	2 5.0	15 37.5
	重症心身障害児・者	58 100.0	36 62.1	11 19.0	-	-	4 6.9	-	8 13.8
	その他	20 100.0	13 65.0	3 15.0	-	-	3 15.0	-	3 15.0
	問19-3. 呼吸器経過年数	2年未満	140 100.0	62 44.3	26 18.6	7 5.0	1 0.7	24 17.1	4 2.9
	2年以上5年未満	161 100.0	72 44.7	21 13.0	10 6.2	-	43 26.7	3 1.9	24 14.9
	5年以上10年未満	144 100.0	78 54.2	18 12.5	7 4.9	-	34 23.6	2 1.4	16 11.1
	10年以上15年未満	68 100.0	41 60.3	13 19.1	6 8.8	-	11 16.2	2 2.9	5 7.4
	15年以上20年未満	18 100.0	12 66.7	1 5.6	1 5.6	-	6 33.3	-	-
	20年以上	8 100.0	2 25.0	2 25.0	1 12.5	-	1 12.5	-	4 50.0

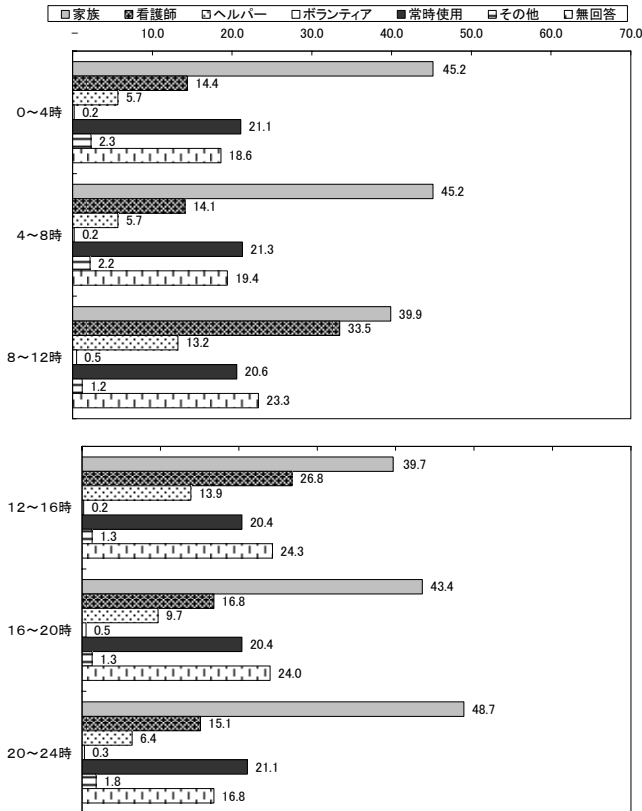
問19. 20～24時の呼吸器装着者 × 問6. 病名



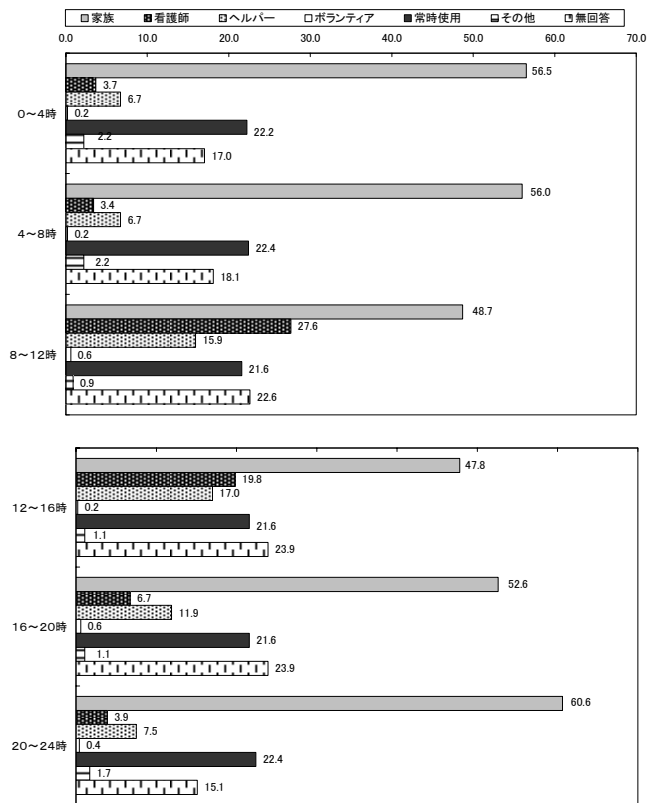
a. 在宅のみ

全体と問4で自宅・ケアホームと回答した在宅者を比較すると看護師の割合が減っていることがわかる。全体には、入院者も含まれていると考えられ、在宅者の場合は家族が圧倒的に多い結果となった。

<全体（再掲）>



<在宅者のみ>



<全体>

問19-2-1-1. 呼吸器等使用状況等<0-4>-装着者(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	270	45.2
2	看護師	86	14.4
3	ヘルパー	34	5.7
4	ボランティア	1	0.2
5	常時使用	126	21.1
6	その他	14	2.3
	無回答	111	18.6
	N (%ベース)	597	100

<在宅者のみ>

問19-2-1-1. 呼吸器等使用状況等<0-4>-装着者(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	256	56.4
2	看護師	16	3.5
3	ヘルパー	31	6.8
4	ボランティア	2	0.4
5	常時使用	99	21.8
6	その他	9	2.0
	無回答	78	17.2
	N (%ベース)	454	100

問19-2-2-1. 呼吸器等使用状況等<4-8>装着者 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	270	45.2
2	看護師	84	14.1
3	ヘルパー	34	5.7
4	ボランティア	1	0.2
5	常時使用	127	21.3
6	その他	13	2.2
	無回答	116	19.4
	N (%ベース)	597	100

問19-2-2-1. 呼吸器等使用状況等<4-8>装着者 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	255	56.2
2	看護師	15	3.3
3	ヘルパー	31	6.8
4	ボランティア	1	0.2
5	常時使用	100	22.0
6	その他	8	1.8
	無回答	83	18.3
	N (%ベース)	454	100

問19-2-3-1. 呼吸器等使用状況等<8-12>装着者 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	238	39.9
2	看護師	200	33.5
3	ヘルパー	79	13.2
4	ボランティア	3	0.5
5	常時使用	123	20.6
6	その他	7	1.2
	無回答	139	23.3
	N (%ベース)	597	100

問19-2-3-1. 呼吸器等使用状況等<8-12>装着者 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	221	48.7
2	看護師	126	27.8
3	ヘルパー	74	16.3
4	ボランティア	3	0.7
5	常時使用	96	21.1
6	その他	3	0.7
	無回答	103	22.7
	N (%ベース)	454	100

問19-2-4-1. 呼吸器等使用状況等<12-16>装着者 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	237	39.7
2	看護師	160	26.8
3	ヘルパー	83	13.9
4	ボランティア	1	0.2
5	常時使用	122	20.4
6	その他	8	1.3
	無回答	145	24.3
	N (%ベース)	597	100

問19-2-4-1. 呼吸器等使用状況等<12-16>装着者 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	217	47.8
2	看護師	90	19.8
3	ヘルパー	79	17.4
4	ボランティア	1	0.2
5	常時使用	96	21.1
6	その他	4	0.9
	無回答	109	24.0
	N (%ベース)	454	100

問19-2-5-1. 呼吸器等使用状況等<16-20>装着者 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	259	43.4
2	看護師	100	16.8
3	ヘルパー	58	9.7
4	ボランティア	3	0.5
5	常時使用	122	20.4
6	その他	8	1.3
	無回答	143	24.0
	N (%ベース)	597	100

問19-2-5-1. 呼吸器等使用状況等<16-20>装着者 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	239	52.6
2	看護師	30	6.6
3	ヘルパー	55	12.1
4	ボランティア	3	0.7
5	常時使用	96	21.1
6	その他	4	0.9
	無回答	109	24.0
	N (%ベース)	454	100

問19-2-6-1. 呼吸器等使用状況等<20-24>装着者 (MA)

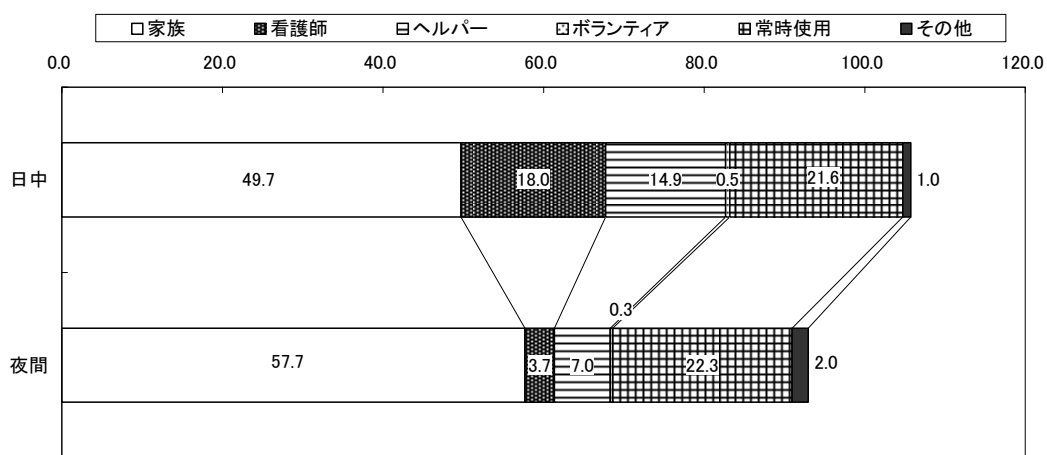
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	291	48.7
2	看護師	90	15.1
3	ヘルパー	38	6.4
4	ボランティア	2	0.3
5	常時使用	126	21.1
6	その他	11	1.8
	無回答	100	16.8
	N (%ベース)	597	100

問19-2-6-1. 呼吸器等使用状況等<20-24>装着者 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	275	60.6
2	看護師	17	3.7
3	ヘルパー	35	7.7
4	ボランティア	2	0.4
5	常時使用	100	22.0
6	その他	6	1.3
	無回答	70	15.4
	N (%ベース)	454	100

b. 日中・夜間別人工呼吸器等の装着者

日中・夜間を比較すると、日中より夜間のほうが家族の割合が増えているが、看護師・ヘルパーの割合は大きく減っている。



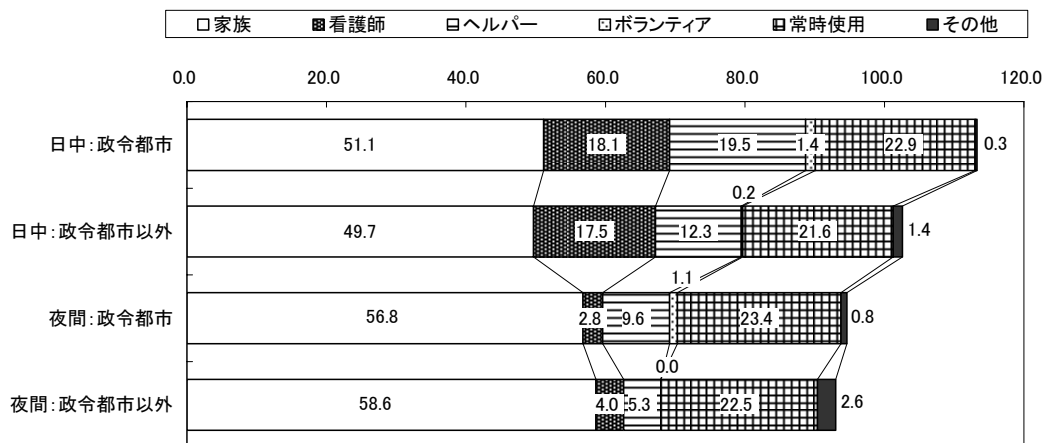
上段:度数 下段:%	問19. 呼吸器等使用状況等 装着者							
	合計	家族	看護師	ヘルパー	ボランティア	リハスタッフ	その他	無回答
日中	1392	692	251	208	7	300	14	327
	100.0	49.7	18.0	14.9	0.5	21.6	1.0	23.5
夜間	1392	803	51	97	4	311	28	233
	100.0	57.7	3.7	7.0	0.3	22.3	2.0	16.7

c. 日中・夜間別人工呼吸器等の装着者（都市種別）

政令都市・政令都市以外のクロス集計を行った結果が以下のとおりである。

日中をみると、家族、看護師の割合は同程度だが、政令都市より政令都市以外のほうがヘルパーの割合が低くなっている。夜間をみると、家族の割合が政令都市以外のほうが若干低くなっており、看護師の割合は政令都市のほうが低くなっている反面、ヘルパーの割合は政令都市のほうが高くなっている。

問19. 呼吸器等装着者 × 都市種別



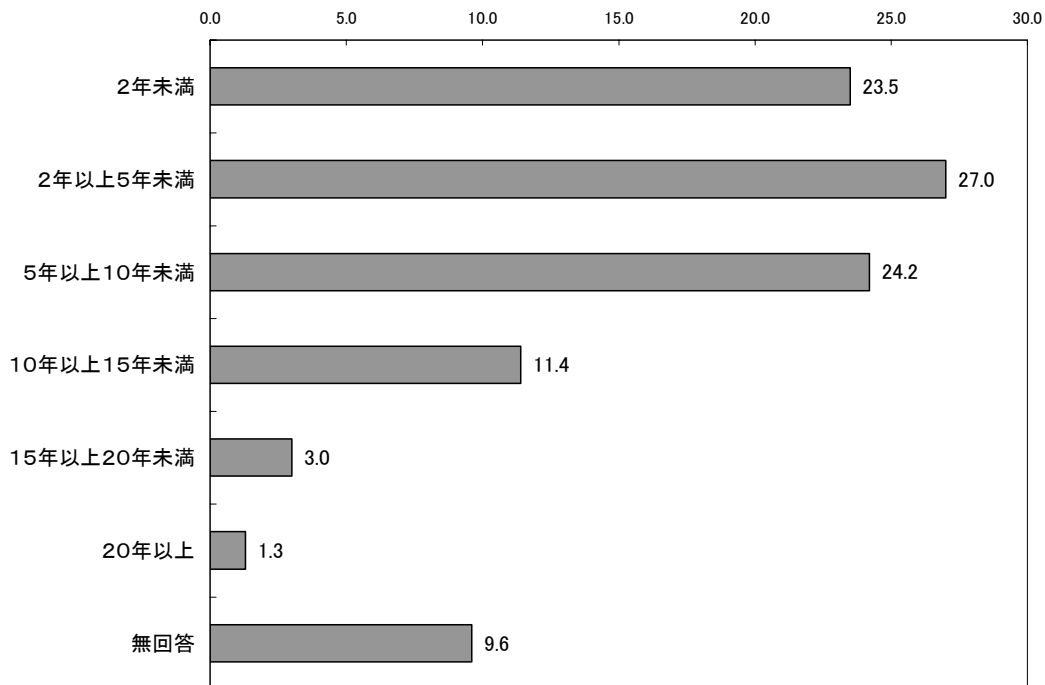
上段:度数 下段:%		問19. 呼吸器等使用状況等<日中>装着者							無回答
		合計	家族	看護師	ヘルパー	ボランティア	リハスタッフ	その他	
全体		1392	692	251	208	7	300	14	327
		100.0	49.7	18.0	14.9	0.5	21.6	1.0	23.5
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	354	181	64	69	5	81	1	68
		100.0	51.1	18.1	19.5	1.4	22.9	0.3	19.2
都市分類	政令指定都市以外	960	477	168	118	2	207	13	238
		100.0	49.7	17.5	12.3	0.2	21.6	1.4	24.8

上段:度数 下段:%		問19. 呼吸器等使用状況等<夜間>装着者							無回答
		合計	家族	看護師	ヘルパー	ボランティア	リハスタッフ	その他	
全体		1392	803	51	97	4	311	28	233
		100.0	57.7	3.7	7.0	0.3	22.3	2.0	16.7
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	354	201	10	34	4	83	3	53
		100.0	56.8	2.8	9.6	1.1	23.4	0.8	15.0
都市分類	政令指定都市以外	960	563	38	51	0	216	25	159
		100.0	58.6	4.0	5.3	0.0	22.5	2.6	16.6

⑤呼吸器等の使用期間（問19）

呼吸器等の使用開始時期と現在の年齢から呼吸器等の使用期間を算出した。

「2年以上5年未満」が最も多く27.0%で、次いで、「5年以上10年未満」が24.2%となっている。

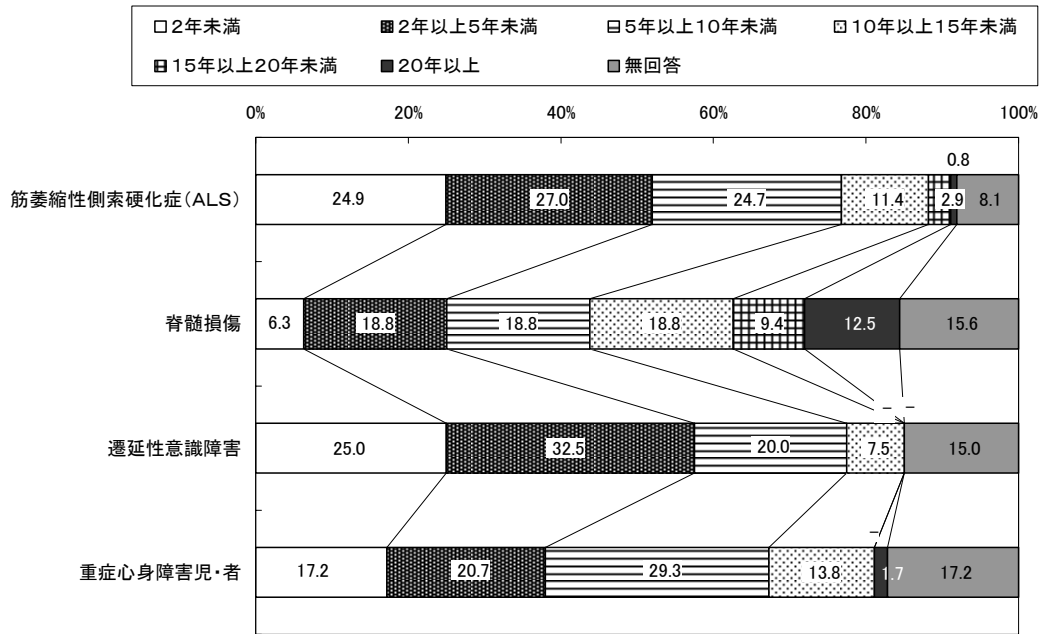


問19-3. 呼吸器経過年数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	2年未満	140	23.5
2	2年以上5年未満	161	27.0
3	5年以上10年未満	144	24.2
4	10年以上15年未満	68	11.4
5	15年以上20年未満	18	3.0
6	20年以上	8	1.3
	無回答	57	9.6
	N (% [^] -入)	596	100

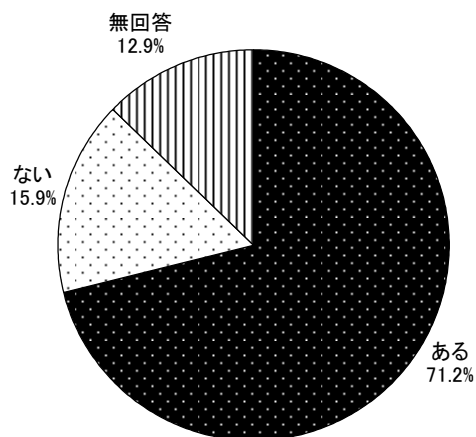
上段:度数 下段:%		問19-3. 呼吸器経過年数							
		合計	2年未満	2年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上	無回答
全体		596 100.0	140 23.5	161 27.0	144 24.2	68 11.4	18 3.0	8 1.3	57 9.6
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を	147 100.0	36 24.5	37 25.2	31 21.1	18 12.2	5 3.4	3 2.0	17 11.6
	政令指定都市以外	416 100.0	100 24.0	117 28.1	104 25.0	43 10.3	12 2.9	3 0.7	37 8.9
問4. 住まい	在宅	463 100.0	109 23.5	119 25.7	118 25.5	54 11.7	16 3.5	6 1.3	41 8.9
	在宅以外	129 100.0	31 24.0	39 30.2	26 20.2	14 10.9	2 1.6	2 1.6	15 11.6
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	481 100.0	120 24.9	130 27.0	119 24.7	55 11.4	14 2.9	4 0.8	39 8.1
	脊髄損傷	32 100.0	2 6.3	6 18.8	6 18.8	6 18.8	3 9.4	4 12.5	5 15.6
	遷延性意識障害	40 100.0	10 25.0	13 32.5	8 20.0	3 7.5	-	-	6 15.0
	重症心身障害児・者	58 100.0	10 17.2	12 20.7	17 29.3	8 13.8	-	1 1.7	10 17.2
	その他	20 100.0	2 10.0	9 45.0	6 30.0	1 5.0	1 5.0	-	1 5.0

問19. 呼吸器等の使用期間 × 問6. 病名



⑥人工呼吸器等の不具合時のマニュアル・対応策等の有無（問19）

人工呼吸器等の不具合時のマニュアル・対応策が「ある」は71.2%で、「ない」は15.9%の結果となった。

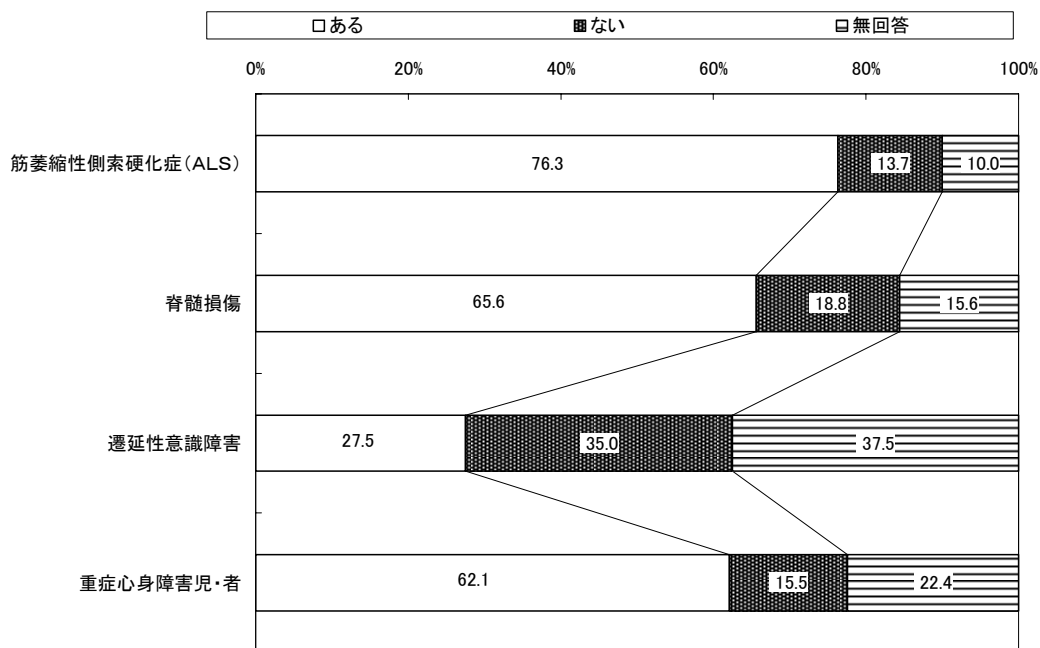


問19-4. 不具合時対応 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ある	425	71.2
2	ない	95	15.9
	無回答	77	12.9
	N (%へース)	597	100

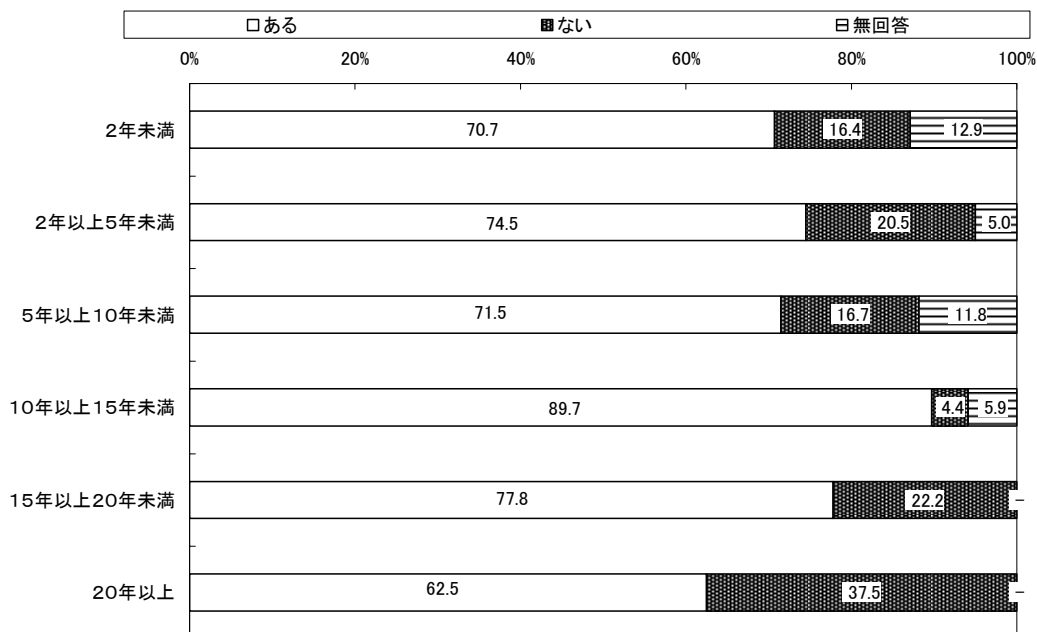
		上段:度数 下段:%	問19-4. 不具合時対応			
			合計	ある	ない	無回答
全体			597	425	95	77
			100.0	71.2	15.9	12.9
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を	148	101	28	19	
		100.0	68.2	18.9	12.8	
問4. 住まい	政令指定都市以 外	416	301	63	52	
		100.0	72.4	15.1	12.5	
問4. 住まい	在宅	464	351	69	44	
		100.0	75.6	14.9	9.5	
問6. 病名	在宅以外	129	72	25	32	
		100.0	55.8	19.4	24.8	
問6. 病名	筋萎縮性側索硬 化症(ALS)	482	368	66	48	
		100.0	76.3	13.7	10.0	
	脊髄損傷	32	21	6	5	
		100.0	65.6	18.8	15.6	
	遷延性意識障害	40	11	14	15	
		100.0	27.5	35.0	37.5	
問19-3. 呼吸 器経過年数	重症心身障害 児・者	58	36	9	13	
		100.0	62.1	15.5	22.4	
	その他	20	11	6	3	
		100.0	55.0	30.0	15.0	
	2年未満	140	99	23	18	
		100.0	70.7	16.4	12.9	
	2年以上5年未 満	161	120	33	8	
		100.0	74.5	20.5	5.0	
5年以上10年未 満	144	103	24	17		
	100.0	71.5	16.7	11.8		
10年以上15年 未満	68	61	3	4		
	100.0	89.7	4.4	5.9		
15年以上20年 未満	18	14	4	-		
	100.0	77.8	22.2	-		
20年以上	8	5	3	-		
	100.0	62.5	37.5	-		

問19. 不具合時の対応策有無 × 問6. 病名



呼吸器の使用期間をみると、「10年以上15年未満」の、マニュアル・対応策等のない割合が極端に低くなっている。

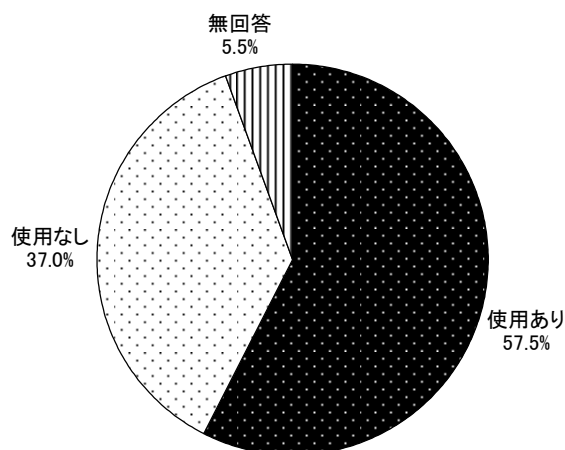
問19. 呼吸器等の不具合時のマニュアルの有無 × 問19. 呼吸器等使用期間



(8) 医療的ケアにおける経管栄養について（問 20）

① 経管栄養の使用

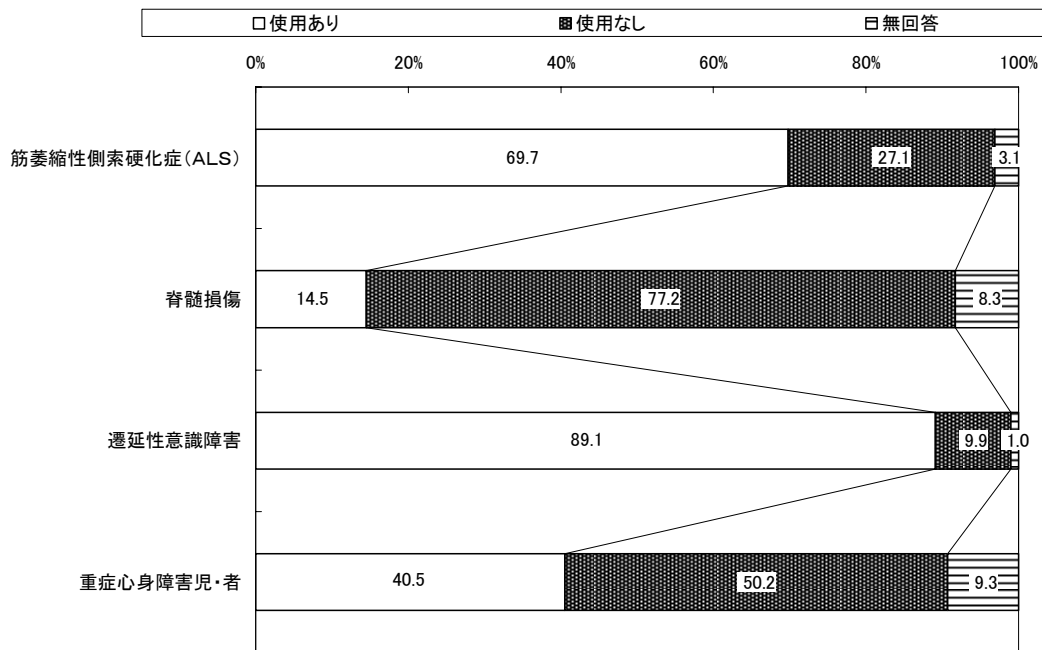
経管栄養を使用している割合は、57.5%と約半数を占め、37.0%は使用なしの結果となった。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	使用あり	852	57.5
2	使用なし	549	37.0
	無回答	81	5.5
	N (%ベース)	1482	100

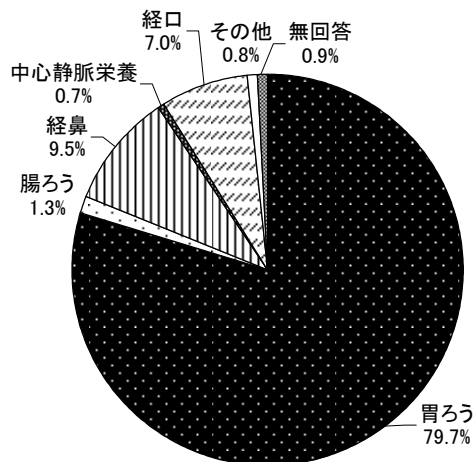
		上段:度数 下段:%	問20. 経管栄養			
			合計	使用あり	使用なし	無回答
全体			1482	852	549	81
			100.0	57.5	37.0	5.5
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を	422	231	171	20	
		100.0	54.7	40.5	4.7	
	政令指定都市以 外	980	575	352	53	
		100.0	58.7	35.9	5.4	
問4. 住まい	在宅	1228	661	501	66	
		100.0	53.8	40.8	5.4	
	在宅以外	238	186	44	8	
		100.0	78.2	18.5	3.4	
問6. 病名	筋萎縮性側索硬 化症(ALS)	733	511	199	23	
		100.0	69.7	27.1	3.1	
	脊髄損傷	145	21	112	12	
		100.0	14.5	77.2	8.3	
	遷延性意識障害	192	171	19	2	
		100.0	89.1	9.9	1.0	
	重症心身障害	430	174	216	40	
		100.0	40.5	50.2	9.3	
	その他	70	33	31	6	
	100.0	47.1	44.3	8.6		

問20. 経管栄養使用の有無 × 問6. 病名



②栄養方法

「胃ろう」が79.7%、「腸ろう」が1.3%、「経鼻」が9.5%、「中心静脈栄養」が0.7%、「経口」が7.0%の結果となった。



問20-1. 栄養方法 (SA)

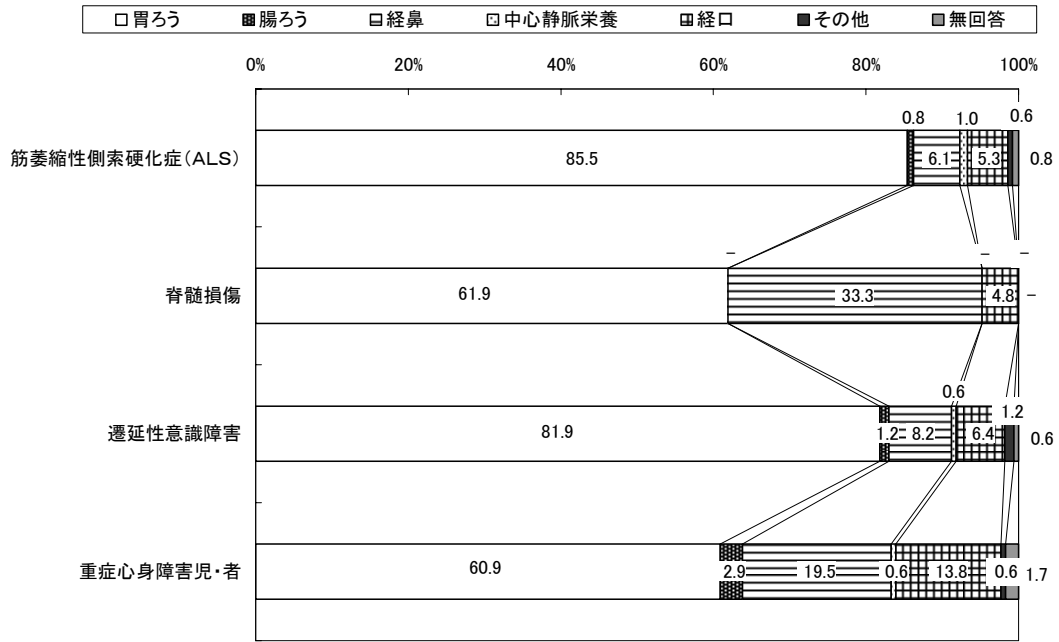
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	胃ろう	679	79.7
2	腸ろう	11	1.3
3	経鼻	81	9.5
4	中心静脈栄養	6	0.7
5	経口	60	7.0
6	その他	7	0.8
	無回答	8	0.9
	N (%へ-入)	852	100

問20-1-2. 栄養方法《経口と併用》 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	胃ろう	32	53.3
2	腸ろう	0	0.0
3	経鼻	17	28.3
4	中心静脈栄養	0	0.0
	無回答	11	18.3
	N (%へ-入)	60	100

上段:度数 下段:%		問20-1. 栄養方法							
		合計	胃ろう	腸ろう	経鼻	中心静脈栄養	経口	その他	無回答
全体		852	679	11	81	6	60	7	8
		100.0	79.7	1.3	9.5	0.7	7.0	0.8	0.9
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を 含む)	231	179	6	25	4	14	2	1
	政令指定都市以外	100.0	77.5	2.6	10.8	1.7	6.1	0.9	0.4
問4. 住まい	在宅	575	464	5	52	2	40	5	7
	在宅以外	100.0	80.7	0.9	9.0	0.3	7.0	0.9	1.2
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	661	525	10	56	4	54	6	6
	脊髄損傷	100.0	79.4	1.5	8.5	0.6	8.2	0.9	0.9
	遷延性意識障害	186	149	1	25	2	6	1	2
	重症心身障害児・者	100.0	80.1	0.5	13.4	1.1	3.2	0.5	1.1
	その他	511	437	4	31	5	27	3	4
		100.0	85.5	0.8	6.1	1.0	5.3	0.6	0.8
	21	13	-	7	-	1	-	-	
	100.0	61.9	-	33.3	-	4.8	-	-	
	171	140	2	14	1	11	2	1	
	100.0	81.9	1.2	8.2	0.6	6.4	1.2	0.6	
	174	106	5	34	1	24	1	3	
	100.0	60.9	2.9	19.5	0.6	13.8	0.6	1.7	
	33	25	1	3	-	3	1	-	
	100.0	75.8	3.0	9.1	-	9.1	3.0	-	

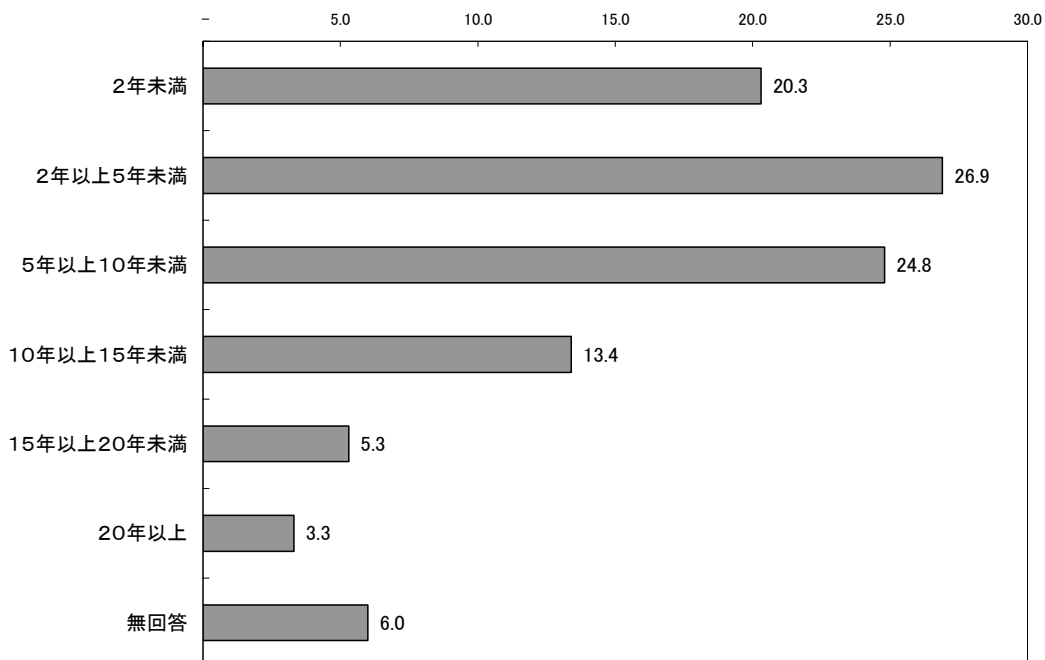
問20. 栄養方法 × 問6. 病名



③経管栄養の期間

経管栄養が必要となった時期と現在の年齢から、経管栄養の期間を算出した。

「2年以上5年未満」が最も多く26.9%で、次いで、「5年以上10年未満」が24.8%となっている。

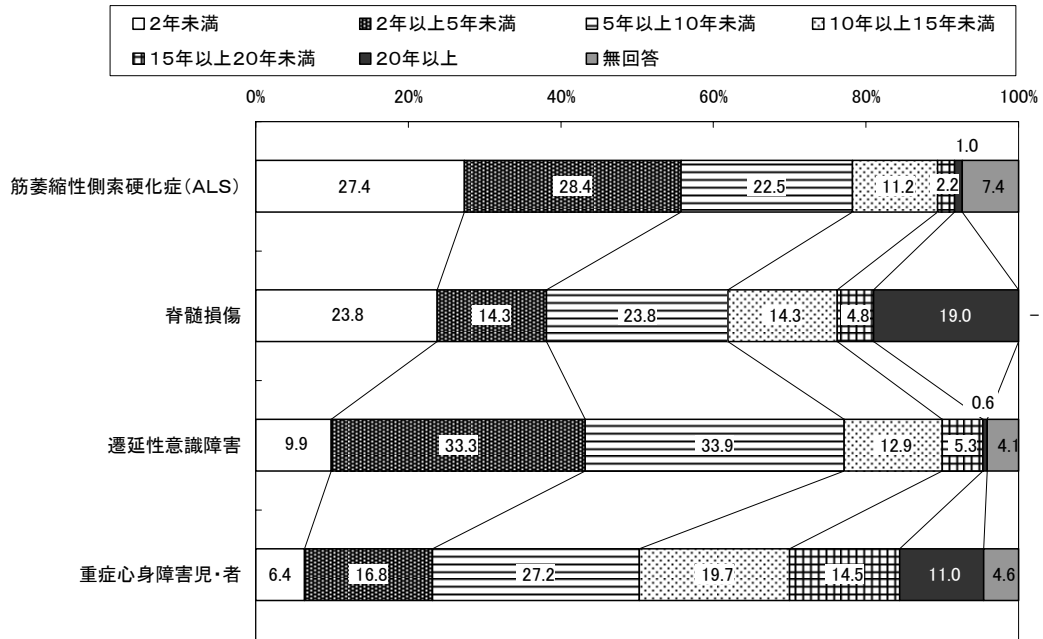


問20-2. 経管経過年数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	2年未満	173	20.3
2	2年以上5年未満	229	26.9
3	5年以上10年未満	211	24.8
4	10年以上15年未満	114	13.4
5	15年以上20年未満	45	5.3
6	20年以上	28	3.3
	無回答	51	6.0
	N (% [^] -入)	851	100

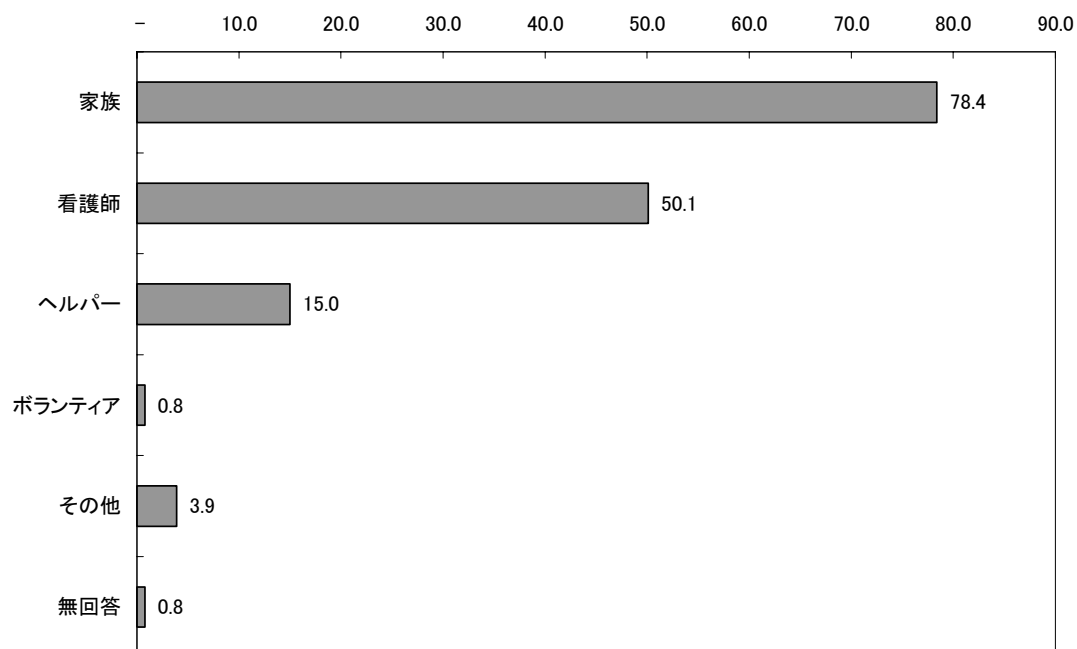
上段:度数 下段:%		問20-2. 経管経過年数							
		合計	2年未満	2年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上	無回答
全体		851	173	229	211	114	45	28	51
		100.0	20.3	26.9	24.8	13.4	5.3	3.3	6.0
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を	230	40	66	48	35	19	7	15
	政令指定都市以外	100.0	17.4	28.7	20.9	15.2	8.3	3.0	6.5
		575	127	154	150	69	25	18	32
		100.0	22.1	26.8	26.1	12.0	4.3	3.1	5.6
問4. 住まい	在宅	660	132	156	175	97	37	26	37
	在宅以外	100.0	20.0	23.6	26.5	14.7	5.6	3.9	5.6
		186	41	69	36	17	8	2	13
		100.0	22.0	37.1	19.4	9.1	4.3	1.1	7.0
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	511	140	145	115	57	11	5	38
	脊髄損傷	21	5	3	5	3	1	4	-
	遷延性意識障害	171	17	57	58	22	9	1	7
	重症心身障害児・者	173	11	29	47	34	25	19	8
	その他	33	4	13	3	5	5	3	-
		100.0	12.1	39.4	9.1	15.2	15.2	9.1	-

問20. 経管栄養の期間 × 問6. 病名



④経管栄養注入を行っている者

経管栄養注入を行っている者で最も多かったのは「家族」で78.4%、次いで「看護師」が50.1%となっている。

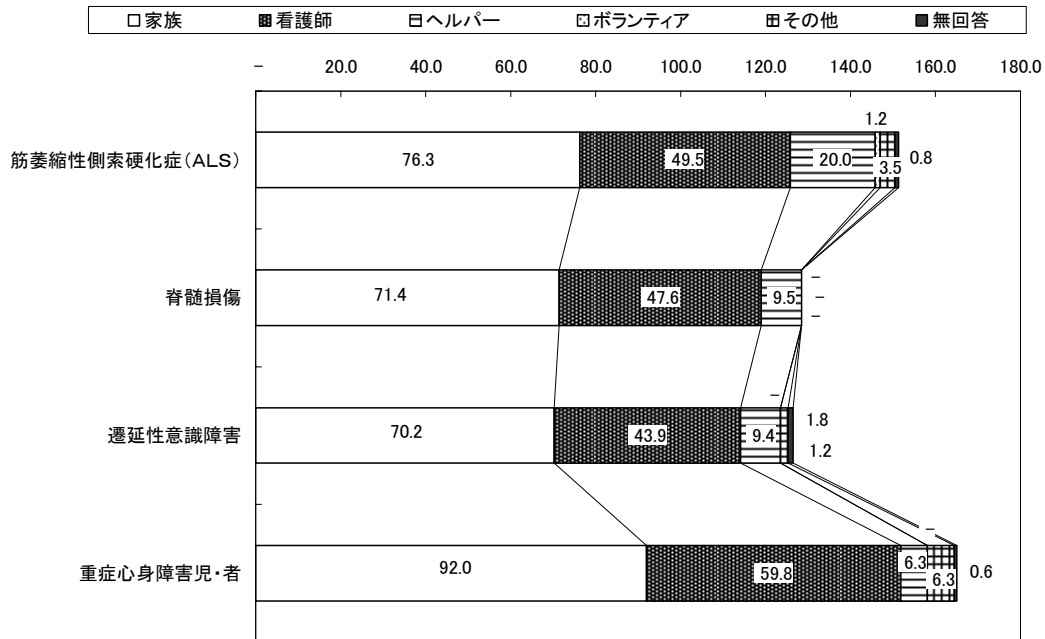


問20-3. 栄養者 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族	668	78.4
2	看護師	427	50.1
3	ヘルパー	128	15.0
4	ボランティア	7	0.8
5	その他	33	3.9
	無回答	7	0.8
	N (%ベース)	852	

上段:度数 下段:%		問20-3. 栄養者						無回答
		合計	家族	看護師	ヘルパー	ボランティア	その他	
全体		852	668	427	128	7	33	7
		100.0	78.4	50.1	15.0	0.8	3.9	0.8
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を	231	180	118	50	4	9	2
	政令指定都市以 外	100.0	77.9	51.1	21.6	1.7	3.9	0.9
問4. 住まい	在宅	575	458	291	69	2	21	4
	在宅以外	100.0	79.7	50.6	12.0	0.3	3.7	0.7
問6. 病名	在宅	661	612	263	112	7	28	6
	在宅以外	100.0	92.6	39.8	16.9	1.1	4.2	0.9
	筋萎縮性側索硬 化症(ALS)	186	53	162	16	-	5	-
	脊髄損傷	100.0	28.5	87.1	8.6	-	2.7	-
	遷延性意識障害	171	120	75	16	-	3	2
	重症心身障害 児・者	100.0	70.2	43.9	9.4	-	1.8	1.2
	その他	174	160	104	11	-	11	1
問20-2. 経営 経過年数	2年未満	100.0	92.0	59.8	6.3	-	6.3	0.6
	2年以上5年未 満	33	30	16	3	1	3	-
	5年以上10年未 満	100.0	90.9	48.5	9.1	3.0	9.1	-
	10年以上15年 未満	173	124	91	17	1	11	2
	15年以上20年 未満	100.0	71.7	52.6	9.8	0.6	6.4	1.2
	20年以上	229	169	117	34	1	6	-
	20年以上	100.0	73.8	51.1	14.8	0.4	2.6	-

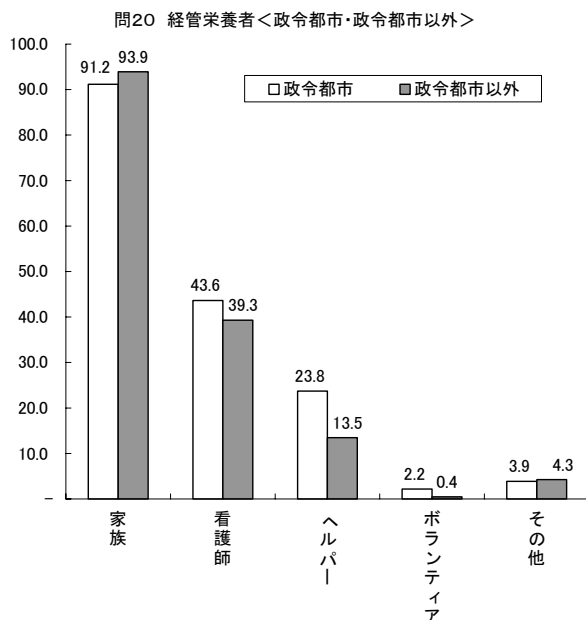
問20. 経営栄養者 × 問6. 病名



a. 在宅のみ・都市種別

在宅のみで、政令都市・政令都市以外のクロス集計を行った結果が以下のとおりである。

家族は政令都市以外のほうが、若干高い。看護師・ヘルパーは政令都市のほうが高く、ヘルパーでは、政令都市と政令都市以外の差が大きく開く結果となった。

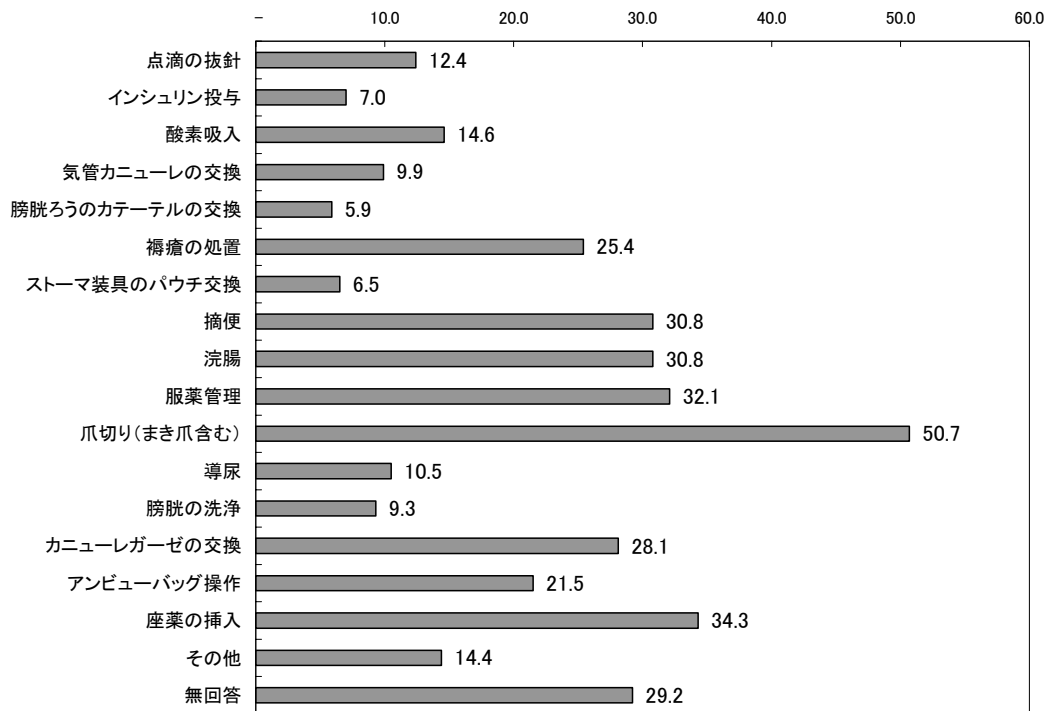


上段:度数 下段:%		問20-3. 栄養者						
		合計	家族	看護師	ヘルパー	ボランティア	その他	無回答
全体		661	612 92.6	263 39.8	112 16.9	7 1.1	28 4.2	6 0.9
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	181	165 91.2	79 43.6	43 23.8	4 2.2	7 3.9	1 0.6
	政令指定都市以外	445	418 93.9	175 39.3	60 13.5	2 0.4	19 4.3	4 0.9
	無回答	35	28 80.0	9 25.7	9 25.7	1 2.9	2 5.7	1 2.9

(9) 希望するヘルパーの医療的ケアについて（問 21）

最も多かったのは「爪切り（まき爪含む）」で、次いで「座薬の挿入」、「服薬管理」、「排便」、「洗腸」となっている。

その他では、痰の吸引や経管栄養について多くあげられた。



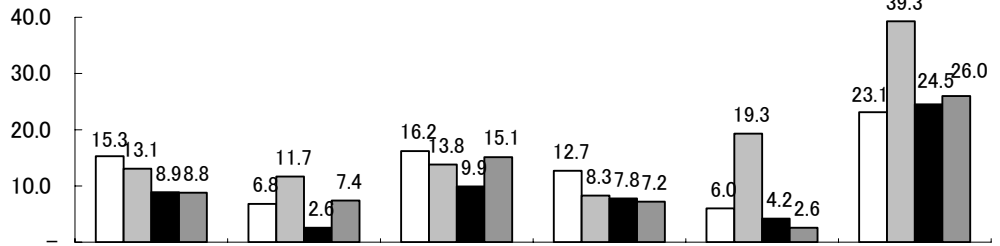
問21. ヘルパーに望む医療的ケア行為 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	点滴の抜針	184	12.4
2	インシュリン投与	103	7.0
3	酸素吸入	216	14.6
4	気管カニューレの交換	146	9.9
5	膀胱ろうのカテーテルの交換	88	5.9
6	褥瘡の処置	376	25.4
7	ストーマ装具のパウチ交換	96	6.5
8	排便	457	30.8
9	洗腸	456	30.8
10	服薬管理	476	32.1
11	爪切り(まき爪含む)	751	50.7
12	導尿	155	10.5
13	膀胱の洗浄	138	9.3
14	カニューレガーゼの交換	417	28.1
15	アンビューバッグ操作	318	21.5
16	座薬の挿入	509	34.3
17	その他	214	14.4
	無回答	433	29.2
	N (%ベース)	1482	

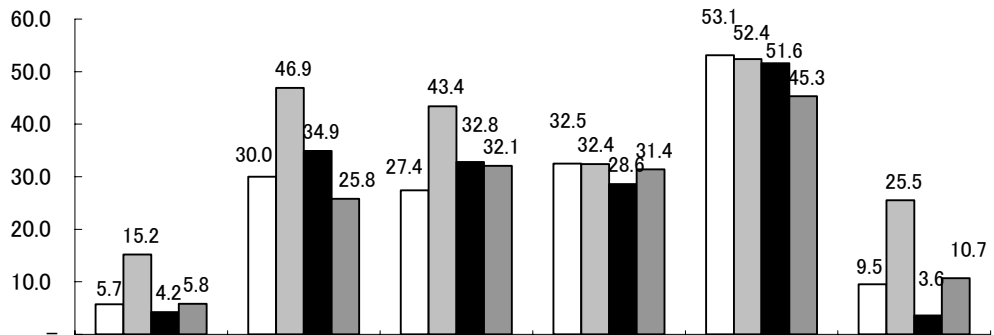
第三章 訪問系サービス利用者におけるサービス利用状況等に関する実態調査結果

上段:度数		問21. ヘルパーに望む医療的ケア行為									
下段:%		合計	点滴の抜針	インシュリン投与	酸素吸入	気管カニューレの交換	膀胱ろうのカテーテルの交換	褥瘡の処置	ストーマ器具のパウチ交換	摘便	洗腸
全体		1482 100.0	184 12.4	103 7.0	216 14.6	146 9.9	88 5.9	376 25.4	96 6.5	457 30.8	456 30.8
都市分類	政令指定都市(東京特別区を)	422 100.0	52 12.3	36 8.5	58 13.7	39 9.2	24 5.7	118 28.0	26 6.2	132 31.3	143 33.9
	政令指定都市以外	980 100.0	125 12.8	62 6.3	149 15.2	101 10.3	59 6.0	237 24.2	65 6.6	300 30.6	289 29.5
問4. 住まい	在宅	1228 100.0	159 12.9	89 7.2	182 14.8	117 9.5	73 5.9	319 26.0	85 6.9	384 31.3	390 31.8
	在宅以外	238 100.0	24 10.1	13 5.5	34 14.3	28 11.8	14 5.9	55 23.1	11 4.6	72 30.3	63 26.5
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733 100.0	112 15.3	50 6.8	119 16.2	93 12.7	44 6.0	169 23.1	42 5.7	220 30.0	201 27.4
	脊髄損傷	145 100.0	19 13.1	17 11.7	20 13.8	12 8.3	28 19.3	57 39.3	22 15.2	68 46.9	63 43.4
	遷延性意識障害	192 100.0	17 8.9	5 2.6	19 9.9	15 7.8	8 4.2	47 24.5	8 4.2	67 34.9	63 32.8
	重症心身障害児・者	430 100.0	38 8.8	32 7.4	65 15.1	31 7.2	11 2.6	112 26.0	25 5.8	111 25.8	138 32.1
	その他	70 100.0	8 11.4	4 5.7	10 14.3	4 5.7	2 2.9	17 24.3	4 5.7	22 31.4	26 37.1
	全体		476 32.1	751 50.7	155 10.5	138 9.3	417 28.1	318 21.5	509 34.3	214 14.4	433 29.2
都市分類	政令指定都市(東京特別区を)	145 34.4	225 53.3	50 11.8	30 7.1	133 31.5	97 23.0	145 34.4	55 13.0	113 26.8	
	政令指定都市以外	307 31.3	492 50.2	97 9.9	103 10.5	264 26.9	207 21.1	336 34.3	148 15.1	296 30.2	
問4. 住まい	在宅	420 34.2	638 52.0	132 10.7	115 9.4	353 28.7	287 23.4	437 35.6	187 15.2	343 27.9	
	在宅以外	54 22.7	108 45.4	21 8.8	21 8.8	61 25.6	30 12.6	67 28.2	26 10.9	81 34.0	
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	238 32.5	389 53.1	70 9.5	62 8.5	249 34.0	254 34.7	234 31.9	116 15.8	193 26.3	
	脊髄損傷	47 32.4	76 52.4	37 25.5	34 23.4	32 22.1	23 15.9	54 37.2	15 10.3	39 26.9	
	遷延性意識障害	55 28.6	99 51.6	7 3.6	13 6.8	71 37.0	10 5.2	64 33.3	30 15.6	40 20.8	
	重症心身障害児・者	135 31.4	195 45.3	46 10.7	34 7.9	77 17.9	35 8.1	163 37.9	54 12.6	156 36.3	
	その他	23 32.9	38 54.3	5 7.1	3 4.3	17 24.3	12 17.1	31 44.3	11 15.7	23 32.9	
	全体		476 32.1	751 50.7	155 10.5	138 9.3	417 28.1	318 21.5	509 34.3	214 14.4	433 29.2

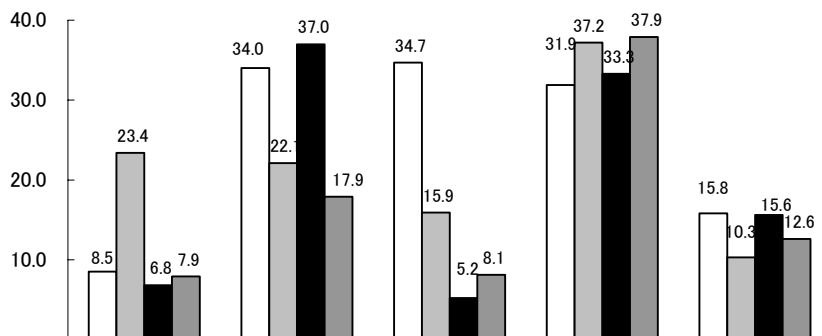
□筋萎縮性側索硬化症(ALS) □ 脊髄損傷 ■ 遷延性意識障害 ■ 重症心身障害児・者



	点滴の抜針	インシュリン投与	酸素吸入	気管カニューレの交換	膀胱ろうのカテーテルの交換	褥瘡の処置
筋萎縮性側索硬化症(ALS)	15.3	6.8	16.2	12.7	6.0	23.1
脊髄損傷	13.1	11.7	13.8	8.3	19.3	39.3
遷延性意識障害	8.9	2.6	9.9	7.8	4.2	24.5
重症心身障害児・者	8.8	7.4	15.1	7.2	2.6	26.0



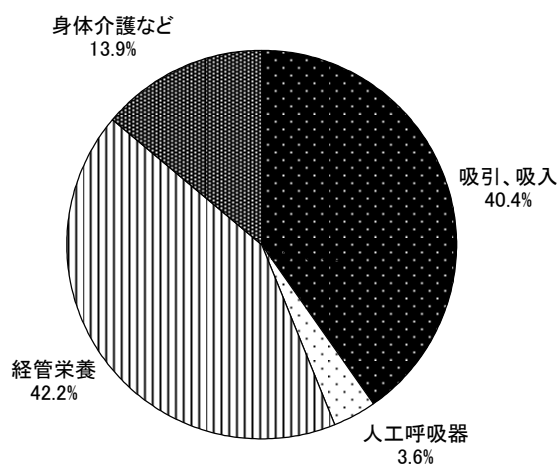
	ストーマ装具のパウチ交換	排便	洗腸	服薬管理	爪切り(まき爪含む)	導尿
筋萎縮性側索硬化症(ALS)	5.7	30.0	27.4	32.5	53.1	9.5
脊髄損傷	15.2	46.9	43.4	32.4	52.4	25.5
遷延性意識障害	4.2	34.9	32.8	28.6	51.6	3.6
重症心身障害児・者	5.8	25.8	32.1	31.4	45.3	10.7



	膀胱の洗浄	カニューレガーゼの交換	アンビューバッグ操作	座薬の挿入	その他
筋萎縮性側索硬化症(ALS)	8.5	34.0	34.7	31.9	15.8
脊髄損傷	23.4	22.1	15.9	37.2	10.3
遷延性意識障害	6.8	37.0	5.2	33.3	15.6
重症心身障害児・者	7.9	17.9	8.1	37.9	12.6

<希望する医療的ケア：その他回答>

その他に回答された中で、経管栄養についてが 42.2%、吸引、吸入についてが 40.4%、人工呼吸器についてが 3.6%となった。



問21. ヘルパーに望む医療的ケア行為のその他

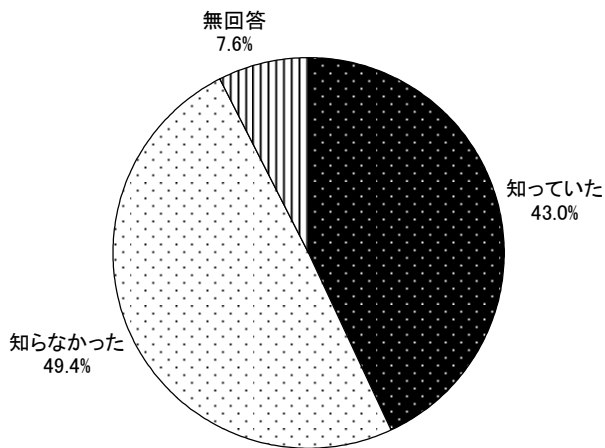
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	吸引、吸入	90	40.4
2	人工呼吸器	8	3.6
3	経管栄養	94	42.2
4	身体介護など	31	13.9
	N (%ベース)	223	100

3. 障害者ご本人の福祉サービスの利用状況

(1) 介護保険と障害者自立支援法によるサービスの併用（問 22）

① 介護保険と障害者自立支援法によるサービスの併用の認知

サービスの併用は「知っていた」が 43.0%、「知らなかった」が 49.4%の結果となった。



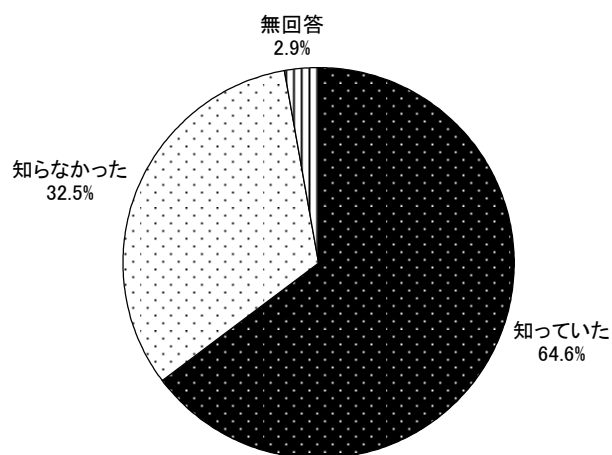
問22. 介護保険と障害者自立支援サービスの併用の認知 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	知っていた	638	43.0
2	知らなかった	732	49.4
	無回答	112	7.6
	N (%ベース)	1482	100

	上段:度数 下段:%	問22. 介護保険と障害者自立支援サービスの併用			
		合計	知っていた	知らなかった	無回答
全体		1482	638	732	112
		100.0	43.0	49.4	7.6
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を)	422	186	205	31
		100.0	44.1	48.6	7.3
	政令指定都市以外	980	419	493	68
		100.0	42.8	50.3	6.9
問4. 住まい	在宅	1228	553	602	73
		100.0	45.0	49.0	5.9
	在宅以外	238	82	125	31
		100.0	34.5	52.5	13.0
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症 (ALS)	733	421	267	45
		100.0	57.4	36.4	6.1
	脊髄損傷	145	64	66	15
		100.0	44.1	45.5	10.3
	遷延性意識障害	192	45	132	15
		100.0	23.4	68.8	7.8
	重症心身障害児・者	430	120	280	30
		100.0	27.9	65.1	7.0
その他	70	26	40	4	
	100.0	37.1	57.1	5.7	
無回答	11	-	3	8	
	100.0	-	27.3	72.7	

回答者の内、65歳以上、病名が筋萎縮性側索硬化症の場合は40歳以上を対象に、なおかつ在宅者であり、身体障害者手帳保持者で集計した結果が以下のとおりである。

「知っていた」が「知らなかった」をうわまわり、64.6%の結果となった。

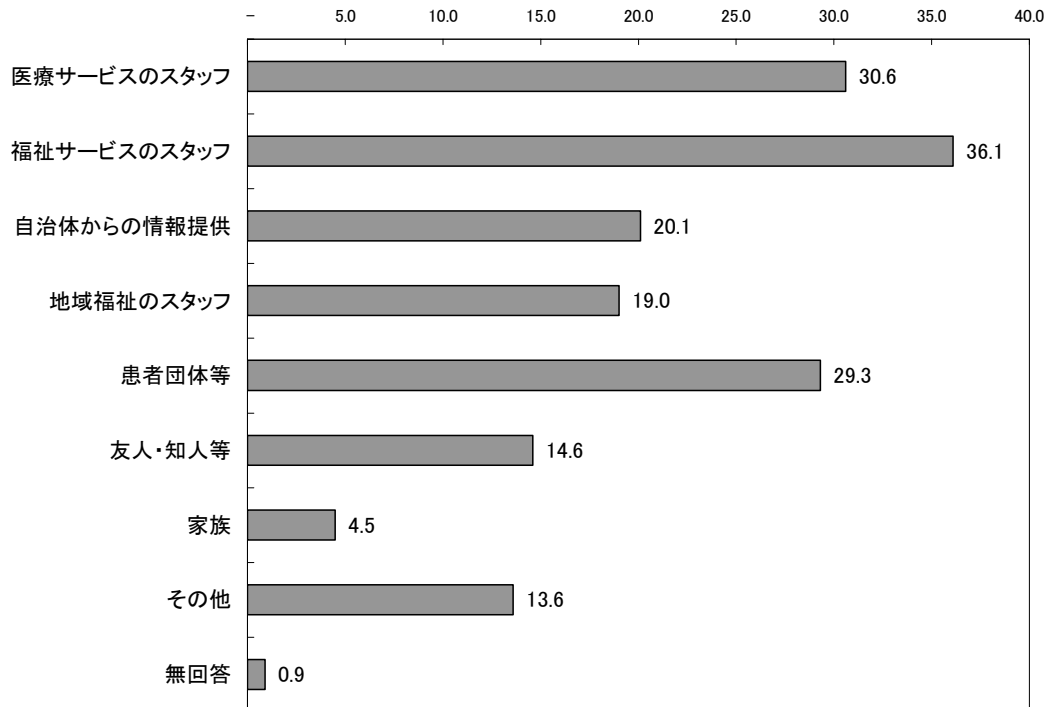


問22. 介護保険と障害者自立支援サービスの併用の認知(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	知っていた	290	64.6
2	知らなかった	146	32.5
	無回答	13	2.9
	N (%ベース)	449	100

②併用を認知した情報源

最も多かったのは「福祉サービスのスタッフ」、次いで「医療サービスのスタッフ」、「患者団体等」となっている。「その他」では、インターネットが多くあげられている。



問22-1. 情報源 (MA)

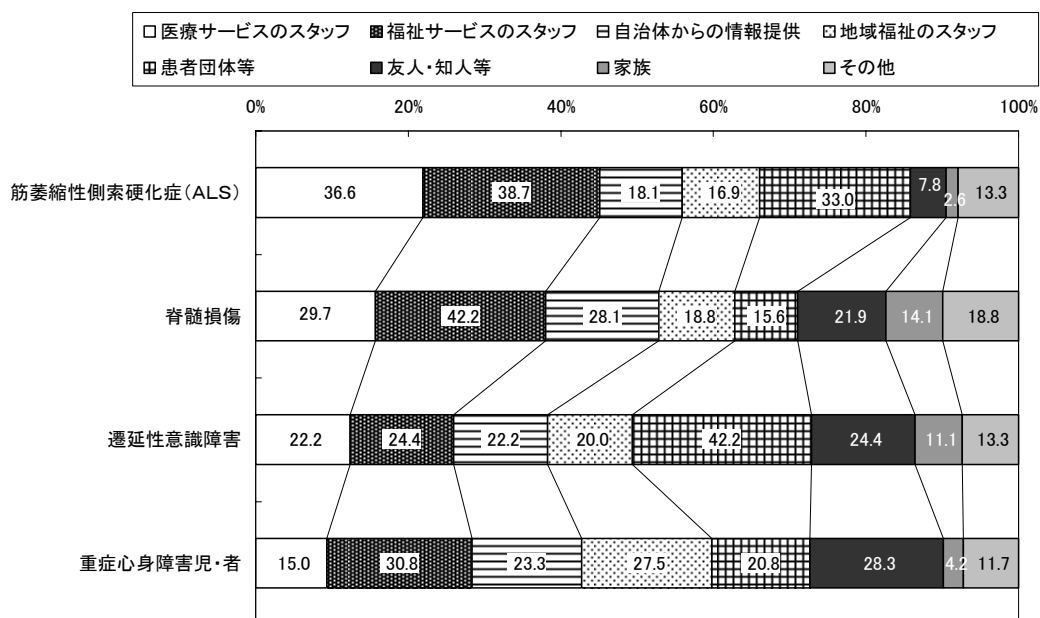
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	医療サービスのスタッフ	195	30.6
2	福祉サービスのスタッフ	230	36.1
7	自治体からの情報提供	128	20.1
3	地域福祉のスタッフ	121	19.0
4	患者団体等	187	29.3
5	友人・知人等	93	14.6
6	家族	29	4.5
8	その他	87	13.6
	無回答	6	0.9
	N (%ベース)	638	100

併用を認知した情報源(その他)	件数	併用を認知した情報源(その他)	件数
インターネット(同病者や家族のブログ含む)	18	施設側よりの説明。	1
ケアマネジャー	16	相談支援事業者	1
新聞・テレビ・本や雑誌などで	10	CIL札幌	1
患者仲間・支援者、家族の会の活動	7	市役所職員	1
家族にケアマネジャーや介護職がいる、いた。	6	訪問看護師	1
日本ALS協会の方や刊行物	6	障害者支援から介護保険に移ったから。	1
自分自身で調べた、交渉した。	5	名前は知っているが内容はわからない。	1
ヘルパー事業所のヘルパーやケアマネ等に教えてもらった。	4	全身性障害者制度を使用しているため、廃止になる時に説明。	1
資格を取りに行った時に授業で習った。	2	入院中なのでわからない。	1
高野町においては職員やケアマネ全てが無知、勉強していない。			1
介護保険と自立支援法の併用について聞いてもはっきり答えられる人がいなかった。ケアマネジャーさんは介護保険を使い切らないと使えないと言った。			1
知人の医師より。現在障害者自立支援法を利用しての介護サービス等は受けておりません。			1

第三章 訪問系サービス利用者におけるサービス利用状況等に関する実態調査結果

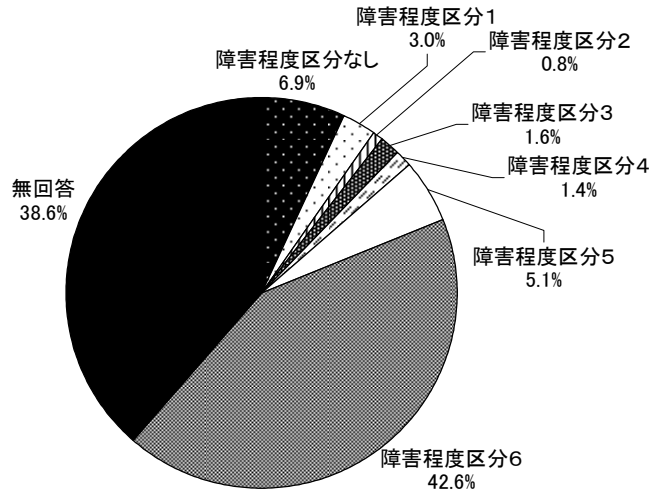
上段:度数 下段:%		問22-1. 情報源									
		合計	医療サービスのスタッフ	福祉サービスのスタッフ	自治体からの情報提供	地域福祉のスタッフ	患者団体等	友人・知人等	家族	その他	無回答
全体		638 100.0	195 30.6	230 36.1	128 20.1	121 19.0	187 29.3	93 14.6	29 4.5	87 13.6	6 0.9
都市分類	政令指定都市(東京特別区を)	186 100.0	48 25.8	71 38.2	44 23.7	29 15.6	46 24.7	29 15.6	8 4.3	30 16.1	-
	政令指定都市以外	419 100.0	137 32.7	149 35.6	73 17.4	81 19.3	130 31.0	59 14.1	20 4.8	52 12.4	6 1.4
	問4. 住まい	553 100.0	157 28.4	198 35.8	113 20.4	107 19.3	159 28.8	83 15.0	25 4.5	74 13.4	4 0.7
問6. 病名	在宅以外	82 100.0	37 45.1	32 39.0	14 17.1	14 17.1	26 31.7	10 12.2	4 4.9	13 15.9	2 2.4
	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	421 100.0	154 36.6	163 38.7	76 18.1	71 16.9	139 33.0	33 7.8	11 2.6	56 13.3	6 1.4
	脊髄損傷	64 100.0	19 29.7	27 42.2	18 28.1	12 18.8	10 15.6	14 21.9	9 14.1	12 18.8	-
	遷延性意識障害	45 100.0	10 22.2	11 24.4	10 22.2	9 20.0	19 42.2	11 24.4	5 11.1	6 13.3	-
	重症心身障害児・者	120 100.0	18 15.0	37 30.8	28 23.3	23 27.5	25 20.8	34 28.3	5 4.2	14 11.7	-
	その他	26 100.0	6 23.1	6 23.1	5 19.2	5 19.2	3 11.5	7 26.9	1 3.8	6 23.1	-

問22. 情報源 × 問6. 病名



(2) 障害者自立支援法における障害程度区分（問23）

回答者で最も多かったのは、「障害程度区分6」の42.6%となっている。

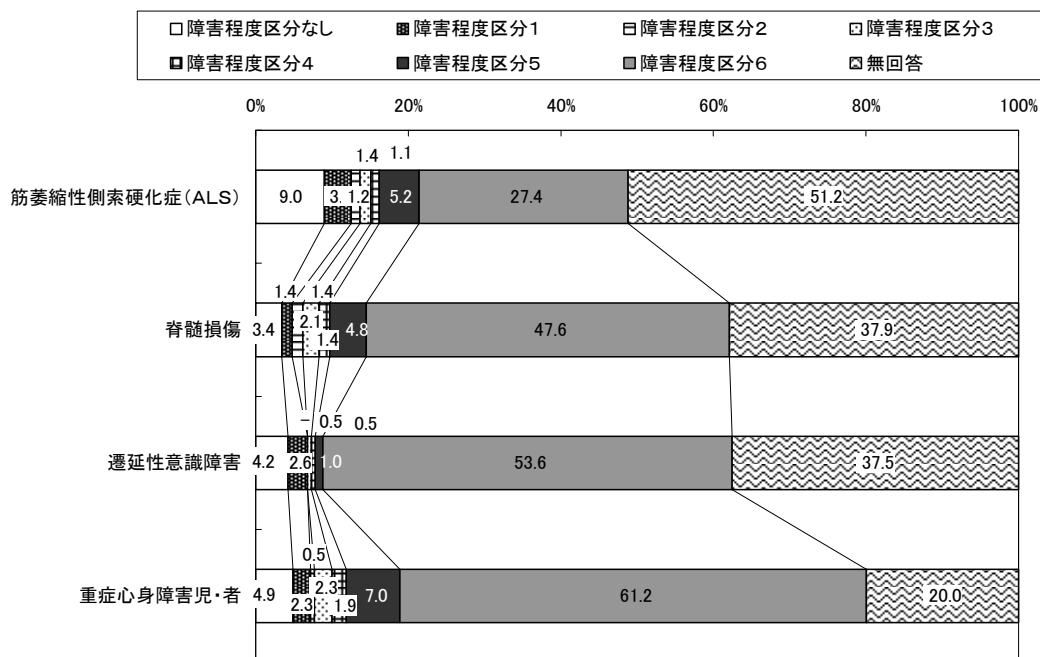


問23. 障害程度区分 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	障害程度区分なし	102	6.9
2	障害程度区分1	44	3.0
3	障害程度区分2	12	0.8
4	障害程度区分3	24	1.6
5	障害程度区分4	21	1.4
6	障害程度区分5	76	5.1
7	障害程度区分6	631	42.6
	無回答	572	38.6
	N (%^入)	1482	100

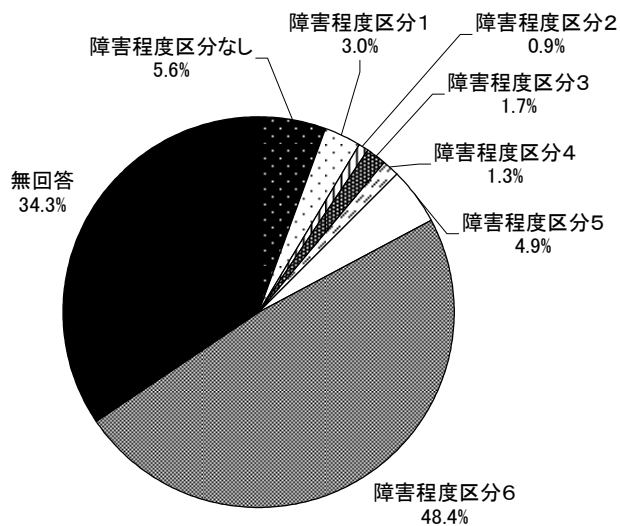
上段:度数 下段:%		問23. 障害程度区分								
		合計	障害程度区分なし	障害程度区分1	障害程度区分2	障害程度区分3	障害程度区分4	障害程度区分5	障害程度区分6	無回答
全体		1482	102	44	12	24	21	76	631	572
		100.0	6.9	3.0	0.8	1.6	1.4	5.1	42.6	38.6
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を 以外)	422	29	8	2	9	6	24	209	135
		100.0	6.9	1.9	0.5	2.1	1.4	5.7	49.5	32.0
問4. 住まい	在宅	1228	90	38	12	20	18	62	574	414
		100.0	7.3	3.1	1.0	1.6	1.5	5.0	46.7	33.7
	在宅以外	238	12	6	-	4	1	14	53	148
		100.0	5.0	2.5	-	1.7	0.4	5.9	22.3	62.2
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733	66	26	9	10	8	38	201	375
		100.0	9.0	3.5	1.2	1.4	1.1	5.2	27.4	51.2
	脊髄損傷	145	5	2	2	3	2	7	69	55
		100.0	3.4	1.4	1.4	2.1	1.4	4.8	47.6	37.9
	遷延性意識障害	192	8	5	-	1	1	2	103	72
		100.0	4.2	2.6	-	0.5	0.5	1.0	53.6	37.5
	重症心身障害児・者	430	21	10	2	10	8	30	263	86
	100.0	4.9	2.3	0.5	2.3	1.9	7.0	61.2	20.0	
その他	70	8	1	-	2	4	4	41	10	
	100.0	11.4	1.4	-	2.9	5.7	5.7	58.6	14.3	

問23. 障害程度区分 × 問6. 病名



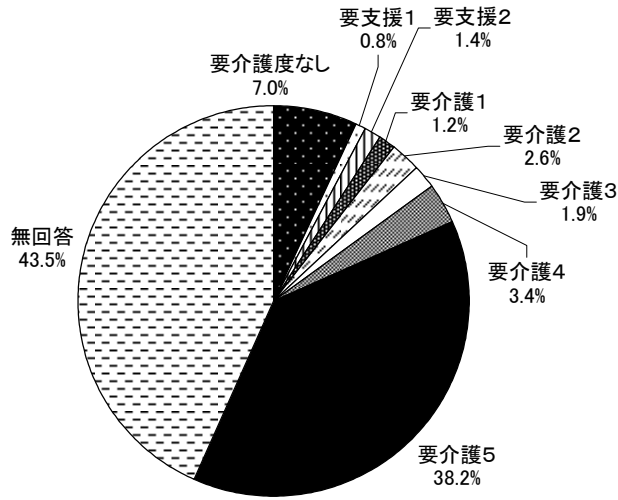
回答者の内、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の保持者で集計した結果が以下のとおりである。

「障害程度区分6」が若干増え、48.4%の結果となった。



(3) 介護保険制度における要介護度（問24）

回答者で最も多かったのは、「要介護度5」の38.2%となっている。

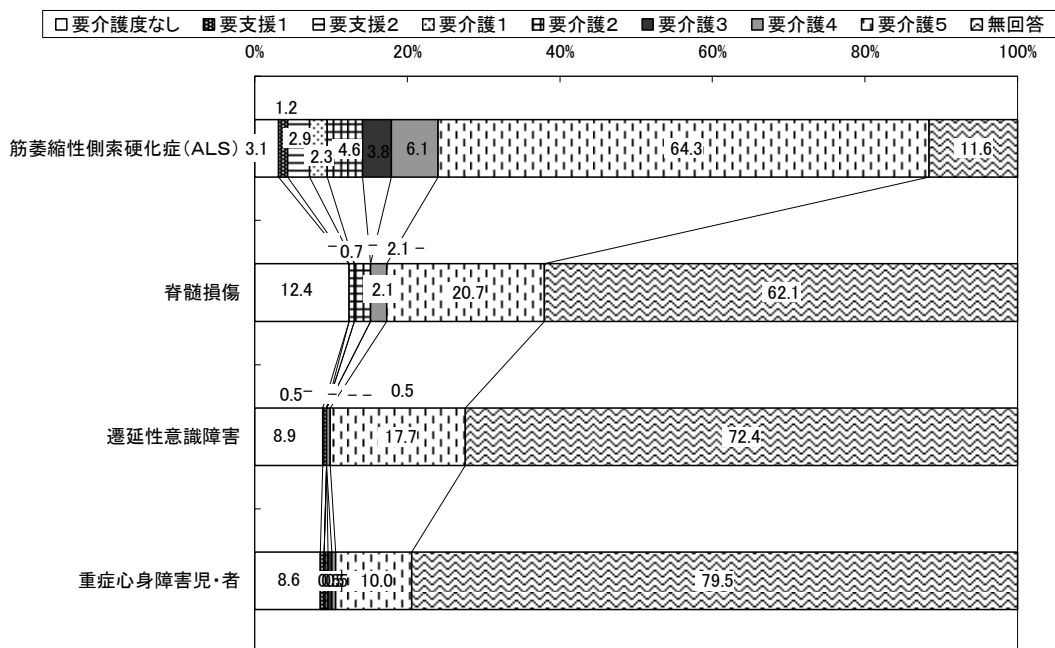


問24. 要介護度 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	要介護なし	104	7.0
2	要支援1	12	0.8
3	要支援2	21	1.4
4	要介護1	18	1.2
5	要介護2	38	2.6
6	要介護3	28	1.9
7	要介護4	51	3.4
8	要介護5	566	38.2
	無回答	644	43.5
	N (%へ入)	1482	100

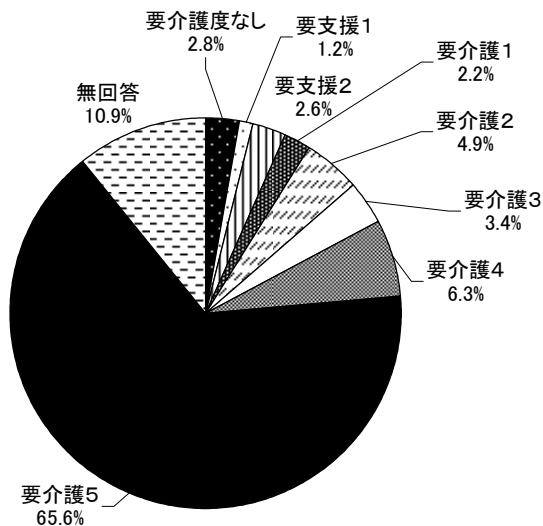
上段:度数		問24. 要介護度									
下段:%		合計	要介護なし	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
全体		1482	104	12	21	18	38	28	51	566	644
		100.0	7.0	0.8	1.4	1.2	2.6	1.9	3.4	38.2	43.5
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を	422	27	3	2	2	12	5	16	149	206
	政令指定都市以 外	100.0	6.4	0.7	0.5	0.5	2.8	1.2	3.8	35.3	48.8
問4. 住まい	在宅	1228	91	12	20	17	35	25	45	449	534
	在宅以外	100.0	7.4	1.0	1.6	1.4	2.9	2.0	3.7	36.6	43.5
問6. 病名	筋萎縮性側索硬 化症(ALS)	733	23	9	21	17	34	28	45	471	85
	脊髄損傷	145	18	-	1	-	3	-	3	30	90
	遷延性意識障害	192	17	1	-	-	-	-	1	34	139
	重症心身障害 児・者	430	37	2	-	-	2	2	2	43	342
	その他	70	12	-	-	1	-	-	-	14	43
		100.0	17.1	-	-	1.4	-	-	-	20.0	61.4
		100.0	3.1	1.2	2.9	2.3	4.6	3.8	6.1	64.3	11.6

問24. 要介護度 × 問6. 病名



年齢 65 歳以上、病名が筋萎縮性側索硬化症 (ALS) の場合は 40 歳以上のみで集計した結果が以下のとおりである。

「要介護 5」が最も多いのは同様だが、65.6%と 6 割以上を占める結果となった。



問24. 要介護度

(SA)

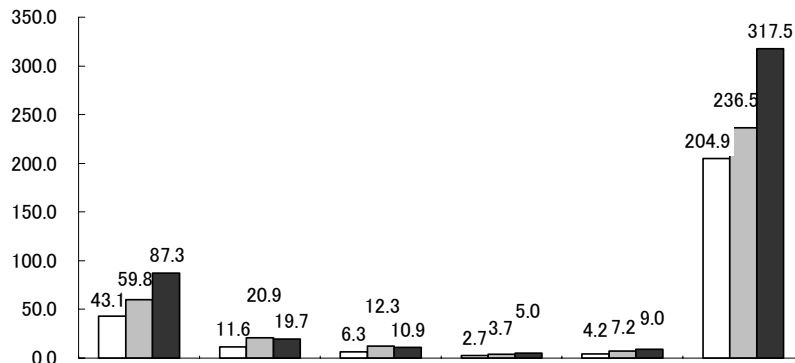
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	要介護度なし	21	2.8
2	要支援1	9	1.2
3	要支援2	20	2.6
4	要介護1	17	2.2
5	要介護2	37	4.9
6	要介護3	26	3.4
7	要介護4	48	6.3
8	要介護5	497	65.6
	無回答	83	10.9
	N (% [^] -λ)	758	100

(4) 利用しているサービスの利用量、支給決定量、給付を希望する量（問 25）

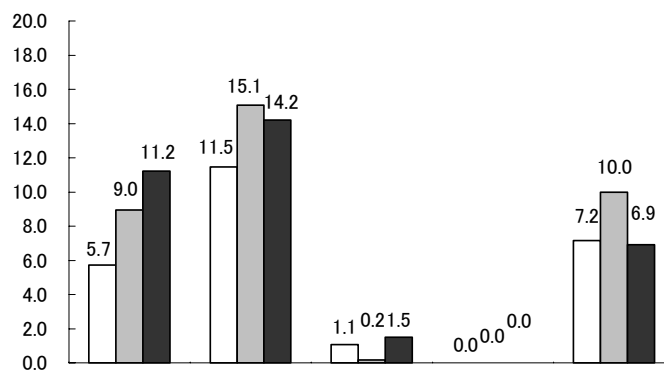
① 障害者自立支援法の個別給付によるサービス

障害者自立支援法による個別給付のサービスの利用量・支給決定量・希望する量、それぞれの平均値が下表である。

自立訓練サービス以外は、いずれも利用量が支給決定量を下回っており、居宅介護(身体介護)、居宅介護(通院等乗降介助)、行動援護、重度訪問介護、重度障害者包括支援サービスは支給決定量も希望量を下回っている。



	居宅介護 (身体介護) 時間	居宅介護 (家事援助) 時間	居宅介護 (通院等介助) 時間	居宅介護 (通院等乗降介助) 回	行動援護 時間	重度訪問介護 時間
サービスの平均値	43.1	11.6	6.3	2.7	4.2	204.9
支給決定量を100%とした場合のサービスの割合	(72.1%)	(55.5%)	(51.2%)	(71.7%)	(57.6%)	(86.6%)
支給決定量の平均値	59.8	20.9	12.3	3.7	7.2	236.5
希望する量の平均値	87.3	19.7	10.9	5.0	9.0	317.5
支給決定量を100%とした場合の希望量の割合	(146%)	(94.3%)	(88.4%)	(135.9%)	(125.1%)	(134.2%)
利用者数(人)	354	98	90	52	50	202



	重度障害者等 包括支援 時間	生活介護 時間	自立訓練 時間	就労移行支援 時間	旧法施設支援 時間
サービスの平均値	5.7	11.5	1.1	0.0	7.2
支給決定量を100%とした場合のサービスの割合	(63.9%)	(76%)	(675.5%)	-	(71.5%)
支給決定量の平均値	9.0	15.1	0.2	0.0	10.0
希望する量の平均値	11.2	14.2	1.5	0.0	6.9
支給決定量を100%とした場合の希望量の割合	(125.4%)	(94.1%)	(950%)	-	(69.1%)
利用者数(人)	134	188	31	27	53

問25-1-①.【障害・個別】■居宅介護(身体介護)

No.	カテゴリ	利用量		支給決定量		希望量	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	1時間未満	45	3.0	15	1.0	9	0.6
2	1時間以上5時間未満	33	2.2	9	0.6	13	0.9
3	5時間以上10時間未満	28	1.9	19	1.3	11	0.7
4	10時間以上30時間未満	106	7.2	96	6.5	53	3.6
5	30時間以上50時間未満	52	3.5	66	4.5	35	2.4
6	50時間以上	99	6.7	147	9.9	106	7.2
	無回答	1119	75.5	1130	76.2	1255	84.7
	N (% [^] -入)	1482	100	1482	100	1482	100

問25.【障害・個別】■居宅介護(家事援助)

No.	カテゴリ	利用量		支給決定量		希望量	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	1時間未満	41	2.8	19	1.3	12	0.8
2	1時間以上5時間未満	16	1.1	9	0.6	15	1.0
3	5時間以上10時間未満	8	0.5	10	0.7	6	0.4
4	10時間以上30時間未満	18	1.2	20	1.3	11	0.7
5	30時間以上50時間未満	12	0.8	18	1.2	16	1.1
6	50時間以上	5	0.3	8	0.5	6	0.4
	無回答	1382	93.3	1398	94.3	1416	95.5
	N (% [^] -入)	1482	100	1482	100	1482	100

問25.【障害・個別】■居宅介護(通院等介助)

No.	カテゴリ	利用量		支給決定量		希望量	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	1時間未満	41	2.8	22	1.5	14	0.9
2	1時間以上5時間未満	12	0.8	4	0.3	8	0.5
3	5時間以上10時間未満	11	0.7	8	0.5	11	0.7
4	10時間以上20時間未満	18	1.2	26	1.8	20	1.3
5	20時間以上	10	0.7	25	1.7	15	1.0
	無回答	1390	93.8	1397	94.3	1414	95.4
	N (% [^] -入)	1482	100	1482	100	1482	100

問25.【障害・個別】■居宅介護(通院等乗降介助)

No.	カテゴリ	利用量		支給決定量		希望量	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	0回	37	2.5	24	1.6	16	1.1
2	1回以上5回未満	10	0.7	7	0.5	12	0.8
3	5回以上10回未満	3	0.2	0	0.0	3	0.2
4	10回以上15回未満	4	0.3	6	0.4	8	0.5
5	15回以上20回未満	1	0.1	1	0.1	1	0.1
6	20回以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	無回答	1427	96.3	1444	97.4	1442	97.3
	N (% [^] -入)	1482	100	1482	100	1482	100

問25.【障害・個別】■行動援護

No.	カテゴリ	利用量		支給決定量		希望量	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	1時間未満	36	2.4	20	1.3	12	0.8
2	1時間以上5時間未満	5	0.3	0	0.0	3	0.2
3	5時間以上10時間未満	2	0.1	4	0.3	3	0.2
4	10時間以上30時間未満	7	0.5	5	0.3	7	0.5
5	30時間以上50時間未満	1	0.1	3	0.2	3	0.2
6	50時間以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	無回答	1431	96.6	1450	97.8	1454	98.1
	N (% [^] -入)	1482	100	1482	100	1482	100

問25.【障害・個別】■重度訪問介護

No.	カテゴリ	利用量		支給決定量		希望量	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	10時間未満	47	3.2	27	1.8	23	1.6
2	10時間以上50時間未満	29	2.0	21	1.4	12	0.8
3	50時間以上100時間未満	23	1.6	26	1.8	14	0.9
4	100時間以上300時間未満	46	3.1	69	4.7	44	3.0
5	300時間以上500時間未満	37	2.5	37	2.5	23	1.6
6	500時間以上	25	1.7	29	2.0	49	3.3
	無回答	1275	86.0	1273	85.9	1317	88.9
	N (%^-入)	1482	100	1482	100	1482	100

問25.【障害・個別】■生活介護

No.	カテゴリ	利用量		支給決定量		希望量	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	0日	30	2.0	20	1.3	14	0.9
2	1日以上4日以下	19	1.3	3	0.2	6	0.4
3	5日以上9日以下	42	2.8	30	2.0	20	1.3
4	10日以上14日以下	25	1.7	25	1.7	18	1.2
5	15日以上	74	5.0	102	6.9	53	3.6
	無回答	1292	87.2	1302	87.9	1371	92.5
	N (%^-入)	1482	100	1482	100	1482	100

問25.【障害・個別】■自立訓練

No.	カテゴリ	利用量		支給決定量		希望量	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	0日	29	2.0	18	1.2	16	1.1
2	1日以上4日以下	1	0.1	1	0.1	5	0.3
3	5日以上9日以下	0	0.0	0	0.0	3	0.2
4	10日以上14日以下	0	0.0	0	0.0	1	0.1
5	15日以上	1	0.1	0	0.0	0	0.0
	無回答	1451	97.9	1463	98.7	1457	98.3
	N (%^-入)	1482	100	1482	100	1482	100

問25.【障害・個別】■就労移行支援

No.	カテゴリ	利用量		支給決定量		希望量	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	0日	27	1.8	18	1.2	17	1.1
2	1日以上4日以下	0	0.0	0	0.0	2	0.1
3	5日以上9日以下	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	10日以上14日以下	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	15日以上	0	0.0	0	0.0	1	0.1
	無回答	1455	98.2	1464	98.8	1462	98.7
	N (%^-入)	1482	100	1482	100	1482	100

問25.【障害・個別】■旧法施設支援(通所)

No.	カテゴリ	利用量		支給決定量		希望量	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	0日	21	1.4	13	0.9	14	0.9
2	1日以上4日以下	10	0.7	4	0.3	5	0.3
3	5日以上9日以下	8	0.5	8	0.5	8	0.5
4	10日以上14日以下	2	0.1	1	0.1	1	0.1
5	15日以上	13	0.9	15	1.0	7	0.5
	無回答	1428	96.4	1441	97.2	1447	97.6
	N (%^-入)	1482	100	1482	100	1482	100

就労継続支援をみると、Aは0件、Bは4件の結果となった。

問25-12-①.【障害・個別】■就労継続支援

No.	カテゴリ	0	0(除不)%
1	A	-	56.0
2	B	4	16.0
	無回答	1419	99.7
	N (%^-入)	1423	25

障害者自立支援法個別給付のその他 回答（143件）

	個別給付その他サービス	利用量	支給決定量	希望する量
1	15%加算対象者	385時間/月	-	-
2	B型通園事業	-	-	週1回
3	うち移動介護加算	130時間/月	-	-
4	ショートステイ	0	0	8日
5	ショートステイ	4日	21日	-
6	ショートステイ	7日	7日	31日
7	ショートステイ	5日	5日	5日
8	ショートステイ	-	-	2日
9	ショートステイ	7日	7日	7日
10	スーパーナース	8	-	-
11	デイケアサービス	4	32	4×22
12	デイサービス	-	-	8時間
13	デイサービス	-	-	5時間/1日(月20回位希望)
14	マッサージ	20分×3	20分×3	20分×3
15	リハビリ	2	2	2
16	リハビリテーション	しゅう3	3時間	-
17	リフト付タクシー	-	-	-
18	レスパイト	0	0	4日
19	移動介護	-	50時間	-
20	移動介護加算	-	25/月	60/月
21	移動入浴	4~5	6	-
22	医療保険で訪問看護	毎日1.5時間/日	-	-
23	往診	0.5	-	0.5
24	介護保険	2	2	-
25	介護保険で訪問介護、訪問入浴	毎日	-	-
26	株式会社ユーユーワールドゆうゆうステーション	月8回	-	-
27	機能訓練基本	月の日数/8日/月	月の日数/8日/月	-
28	居宅でリハビリ	1週間/40分、1日	-	-
29	居宅介護	-	-	6
30	居宅介護(看護師)	3時間	-	-
31	共同生活介護	6日	-	-
32	施設サービス	-	-	-
33	施設入所訓練等給付金	31日/月	31日/月	-
34	施設入所支援	17時間	17時間	17時間
35	児童デイ	7日	15日	15日
36	児童デイサービス	13日	23日	-
37	自立支援医療(精神通院)診療・リハビリ	2回	-	-
38	車椅子申請中	1回	0回	1回
39	週に1回入浴介助	1	-	-
40	重度障害者用意思伝達装置	2回	2回	2回
41	生活介護事業	18日	23日	-
42	送迎(移動支援事業)	0.4	-	-
43	短期入所	-	10時間/日	-
44	短期入所	0	10日/月	10日/月
45	短期入所	2日	14日	14日
46	短期入所	4日	7日	7日
47	短期入所	4日/年	7日/月	-
48	短期入所	月3日	月7日	月7日
49	短期入所	2日	10日	4日
50	短期入所	-	-	-
51	短期入所	-	7日	-
52	短期入所	2日	7日	7日
53	短期入所	0日	20日	20日
54	短期入所	12.5日	31日	-
55	短期入所	8日	15日/月	15日
56	短期入所	14日	14日	-
57	短期入所	不定期 年4日くらい	月10日	-

58	短期入所	3日	10日	-
59	短期入所	0日	14日	-
60	短期入所	月4回8日	月15日	月15日
61	短期入所	5日	20日	10日
62	短期入所	-	7日	7日
63	短期入所	-	7日	-
64	短期入所	7日	-	-
65	短期入所	-	25日	-
66	短期入所	7日	20日	-
67	短期入所	3日	14日	14日
68	短期入所	14日	14日	14日
69	短期入所	8.5日	28日	28日
70	短期入所	7日	14日	16日
71	短期入所	0日	7日	10
72	短期入所	25日	25日	25日
73	短期入所	0	10日	10日
74	短期入所	0日	7日	-
75	短期入所	7日	-	-
76	短期入所	5日	7日	7日
77	短期入所	10日	10日	10日
78	短期入所	利用したことがない。	7日	14日
79	短期入所	11日	14日	現状
80	短期入所	年10日	月10日	月10日
81	短期入所	10日	14日	15日
82	短期入所	-	4日	-
83	短期入所	7日	-	-
84	短期入所	5日	5日	10日
85	短期入所	0	7日	7日
86	短期入所	4.5日	10日	-
87	短期入所	-	7日/月	-
88	短期入所	-	14日	-
89	短期入所	5~6日/月	15日/月	-
90	短期入所	4日	12日	8日
91	短期入所	6日/月	-	-
92	短期入所	8日/月	-	-
93	短期入所	2日	7日/月	-
94	短期入所	0日	10日	7日
95	短期入所	-	10日	-
96	短期入所	-	10日	10日
97	短期入所	0日	7日	7日
98	短期入所	-	3日/月	-
99	短期入所	2日	7日	10日
100	短期入所	月4日	月4日	-
101	短期入所	N	12日	12日
102	短期入所	15日	15日	15日
103	短期入所	2日	月7日	7日
104	短期入所	-	7日	-
105	短期入所	-	7日	-
106	短期入所	4日	7日	-
107	短期入所	月0日	月7日	月7日
108	短期入所	3日/月	10日/月(医療型)	-
109	短期入所	3日	31日	31日
110	短期入所	-	10日/月	-
111	短期入所	0日	15日	8日
112	短期入所	2日	7日	-
113	短期入所	2日	7日	-
114	短期入所(H23.5月まで)	-	15日	-
115	短期入所(H23.6月から)	-	10日	-
116	短期入所(下記日中一時支援を含む)	8日	10日/月	その時に必要なだけ。
117	短期入所(月)	0	5日	0
118	短期入所(障害者医療型、療養介護)	N	14日/月	-

第三章 訪問系サービス利用者におけるサービス利用状況等に関する実態調査結果

119	短期入所(通所サービスと併用)	6~8回/月	10日	10日
120	短期入所(療養介護)	0	10日	10日
121	短期入所、医療型	10日	10	10
122	短期入所A施設	12時間(夜)/年2回	月7日	2日(24時間)/月
123	短期入所B施設	12時間(昼)/月1回	月7日	2日(24時間)/月
124	短期入所体験	17.5時間	8日	-
125	短期入所療養介護	-	14日/月	年間不定期に利用
126	地域社会福祉協議会	2日	週2日	-
127	通園	6	-	-
128	通所授産	6時間5日4回	-	-
129	日帰りショート	月7日	-	-
130	日中一時支援	月3日	月5日	月5日
131	日中一時支援	4日	-	8日
132	日中一時預かり	6	-	-
133	入浴サービス	1時間・2日・1回	-	-
134	入浴サービス	月4回	月4回	-
135	飛騨うりす苑	24	-	-
136	補装具支給(費用の助成)	N	-	-
137	訪問リハビリ週3回	3	-	-
138	訪問看護	1	-	1
139	訪問看護	2日	2日	5日
140	訪問看護	1回/週	1回/週	-
141	訪問看護師	4	-	-
142	訪問入浴	30分3回/月・4回/7月 ~9月	30分3回/月・4回/7月 ~9月	1回/週、2回/週7月 ~9月
143	訪問入浴	週2回	-	-
144	訪問入浴	1	10回/月	-
145	訪問入浴	1回40分、月3回	1回40分、月3回	月8回
146	訪問入浴	7回	8回	8回
147	訪問入浴	1回/週	1回/週	3回/週
148	訪問入浴	1回/週	-	-
149	訪問入浴サービス	1	-	-
150	訪問入浴サービス	週1回	週1回	週2回
151	訪問入浴サービス	4回	4回	8回
152	訪問入浴介護	週3日	週3日	週3日
153	北海道療育園、通園サービス	4時間/2回	-	-
154	療養介護	14日	-	-
155	療養介護	-	-	-
156	療養介護31/月	-	-	-
157	療養介護31/月	-	-	-

<居宅介護（身体介護）>

上段度数		問25(障害者自立支援法・個別給付) ■居宅介護(身体介護)利用量							
下段-%	合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 30時間未満	30時間以上 50時間未満	50時間以上	無回答	
全体(Q23障害程度区分回答者-Q24要介護認定者)	1070 100.0	32 3.0	31 2.9	24 2.2	97 9.1	45 4.2	85 7.9	756 70.7	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305 100.0	5 1.6	9 3.0	3 1.0	24 7.9	12 3.9	28 9.2	224 73.4
	政令指定都市以外	717 100.0	26 3.6	20 2.8	21 2.9	70 9.8	32 4.5	53 7.4	495 69.0
	必要あり	581 100.0	21 3.6	19 3.3	12 2.1	59 10.2	29 5.0	54 9.3	387 66.6
問18. たんの吸引	必要なし	469 100.0	10 2.1	11 2.3	12 2.6	37 7.9	15 3.2	31 6.6	353 75.3
	必要あり	432 100.0	10 2.3	13 3.0	8 1.9	33 7.6	14 3.2	38 8.8	316 73.1
問19. 呼吸器等	必要あり	589 100.0	22 3.7	22 3.7	14 2.4	61 10.4	32 5.4	56 9.5	382 64.9
	必要なし	441 100.0	9 2.0	8 1.8	8 1.8	31 7.0	12 2.7	29 6.6	344 78.0
問20. 経管栄養	使用あり	90 100.0	3 3.3	2 2.2	-	7 7.7	0	4 4.4	74 82.2
	使用なし	441 100.0	9 2.0	8 1.8	8 1.8	31 7.0	12 2.7	29 6.6	344 78.0
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	38 100.0	0 0.0	1 2.6	2 5.3	6 15.8	0	2 5.3	27 71.1
	障害程度区分1	12 100.0	1 8.3	2 16.7	0	0	0	0	9 75.0
	障害程度区分2	20 100.0	2 10.0	2 10.0	0	3 15.0	1 5.0	0	12 60.0
	障害程度区分3	18 100.0	0 0.0	2 11.1	0	3 16.7	0	0	13 72.2
	障害程度区分4	82 100.0	0 0.0	3 3.7	2 2.4	6 7.3	4 4.8	4 4.5	43 49.4
	障害程度区分5	574 100.0	16 2.8	11 1.9	19 3.3	69 12.0	37 6.4	70 12.2	352 61.3
	障害程度区分6	256 100.0	10 3.9	8 3.1	1 0.4	3 1.2	3 1.2	5 2.0	226 88.3
	無回答-Q24要介護認定者	256 100.0	10 3.9	8 3.1	1 0.4	3 1.2	3 1.2	5 2.0	226 88.3

上段度数		問25(障害者自立支援法・個別給付) ■居宅介護(身体介護)支給決定量							
下段-%	合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 30時間未満	30時間以上 50時間未満	50時間以上	無回答	
全体(Q23障害程度区分回答者-Q24要介護認定者)	1070 100.0	9 0.8	10 0.9	15 1.4	88 8.2	57 5.3	128 12.0	763 71.3	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305 100.0	2 0.7	4 1.3	3 1.0	18 5.9	14 4.6	40 13.1	224 73.4
	政令指定都市以外	717 100.0	7 1.0	6 0.8	11 1.5	69 9.6	42 5.9	83 11.6	499 69.6
	必要あり	581 100.0	8 1.4	5 0.9	8 1.4	46 7.9	37 6.4	78 13.4	399 68.7
問18. たんの吸引	必要なし	469 100.0	1 0.2	4 0.9	7 1.5	41 8.7	20 4.3	49 10.4	347 74.0
	必要あり	432 100.0	6 1.4	3 0.7	4 0.9	22 5.1	20 4.6	47 10.9	330 76.4
問19. 呼吸器等	必要あり	589 100.0	8 1.4	6 1.0	8 1.4	50 8.5	38 6.5	86 14.6	393 66.7
	必要なし	441 100.0	1 0.2	3 0.7	5 1.1	36 8.2	17 3.9	40 9.1	339 76.9
問20. 経管栄養	使用あり	90 100.0	1 1.1	0	0	6 6.7	1	5 5.6	77 85.6
	使用なし	441 100.0	1 0.2	3 0.7	5 1.1	36 8.2	17 3.9	40 9.1	339 76.9
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	38 100.0	0 0.0	1 2.6	1 2.6	6 15.8	2 5.3	1 2.7	27 71.1
	障害程度区分1	12 100.0	0 0.0	1 8.3	0	0	0	0	11 91.7
	障害程度区分2	20 100.0	0 0.0	1 5.0	1 5.0	3 15.0	2 10.0	0	13 65.0
	障害程度区分3	18 100.0	0 0.0	1 5.6	0	2 11.1	0	1	14 77.8
	障害程度区分4	82 100.0	0 0.0	1 1.2	3 3.7	2 2.4	5 6.1	6 7.3	45 49.4
	障害程度区分5	574 100.0	6 1.0	5 0.9	8 1.4	68 11.8	48 8.4	111 19.3	328 57.1
	障害程度区分6	256 100.0	2 0.8	0	1 0.4	1 0.4	1 0.4	3 1.2	248 96.9
	無回答-Q24要介護認定者	256 100.0	2 0.8	0	1 0.4	1 0.4	1 0.4	3 1.2	248 96.9

上段度数		問25(障害者自立支援法・個別給付) ■居宅介護(身体介護)希望量							
下段-%	合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 30時間未満	30時間以上 50時間未満	50時間以上	無回答	
全体(Q23障害程度区分回答者-Q24要介護認定者)	1070 100.0	4 0.4	10 0.9	7 0.7	47 4.4	33 3.1	96 9.0	873 81.6	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305 100.0	1 0.3	2 0.7	2 0.7	7 2.3	11 3.6	29 9.5	253 83.0
	政令指定都市以外	717 100.0	3 0.4	8 1.1	4 0.6	39 5.4	21 2.9	63 8.8	579 80.8
	必要あり	581 100.0	2 0.3	7 1.2	4 0.7	30 5.2	22 3.8	65 11.2	451 77.6
問18. たんの吸引	必要なし	469 100.0	2 0.4	3 0.6	3 0.6	17 3.6	10 2.1	31 6.6	403 85.9
	必要あり	432 100.0	2 0.5	4 0.9	3 0.7	15 3.5	13 3.0	42 9.7	353 81.7
問19. 呼吸器等	必要あり	589 100.0	2 0.3	6 1.0	4 0.7	31 5.3	20 3.4	51 8.7	475 80.6
	必要なし	441 100.0	1 0.2	3 0.7	3 0.7	15 3.4	8 1.8	29 6.6	362 86.6
問20. 経管栄養	使用あり	90 100.0	2 2.2	1 1.1	1 1.1	3 3.3	0	4 4.4	79 87.8
	使用なし	441 100.0	1 0.2	3 0.7	3 0.7	15 3.4	8 1.8	29 6.6	362 86.6
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	38 100.0	0 0.0	1 2.6	0	3 7.9	1 2.6	4 10.5	29 76.3
	障害程度区分1	12 100.0	0 0.0	1 8.3	0	0	0	0	11 91.7
	障害程度区分2	20 100.0	0 0.0	0	0	1 5.0	2 10.0	0	17 85.0
	障害程度区分3	18 100.0	0 0.0	0	0	1 5.6	1 5.6	0	16 88.9
	障害程度区分4	82 100.0	0 0.0	0	2 2.4	1 1.2	3 3.7	5 6.1	51 59.4
	障害程度区分5	574 100.0	2 0.3	4 0.7	3 0.5	36 6.3	25 4.4	75 13.1	429 74.7
	障害程度区分6	256 100.0	0 0.0	3 1.2	1 0.4	2 0.8	1 0.4	8 3.1	241 94.1
	無回答-Q24要介護認定者	256 100.0	0 0.0	3 1.2	1 0.4	2 0.8	1 0.4	8 3.1	241 94.1

<居宅介護（家事援助）>

上段度数		問25(障害者自立支援法・個別給付) ■居宅介護(家事援助)利用量							
下段-%	合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 30時間未満	30時間以上 50時間未満	50時間以上	無回答	
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070 100.0	35 3.3	13 1.2	6 0.6	17 1.6	9 0.8	4 0.4	986 92.1	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305 100.0	4 1.3	6 2.0	2 0.7	4 1.3	7 2.3	2 0.7	280 91.8
	政令指定都市以外	717 100.0	31 4.3	7 1.0	3 0.4	11 1.5	2 0.3	2 0.3	661 92.2
		581 100.0	23 4.0	9 1.5	3 0.5	9 1.5	5 0.9	0 -	532 91.6
問18. たんの吸引	必要あり	469 100.0	11 2.3	4 0.9	3 0.6	7 1.5	4 0.9	4 0.8	436 93.0
	必要なし	589 100.0	20 3.4	6 1.0	3 0.5	13 2.2	6 1.0	4 0.7	537 91.2
問19. 呼吸器等	必要あり	432 100.0	12 2.8	6 1.4	3 0.7	4 0.9	3 0.7	0 -	404 93.5
	必要なし	589 100.0	20 3.4	6 1.0	3 0.5	13 2.2	6 1.0	4 0.7	537 91.2
問20. 経管栄養	使用あり	589 100.0	27 4.6	9 1.5	3 0.5	8 1.4	5 0.8	0 -	537 91.2
	使用なし	441 100.0	6 1.4	4 0.9	3 0.7	9 2.0	4 0.9	4 0.9	411 93.2
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90 100.0	2 2.2	0 -	0 -	0 -	1 1.1	0 -	87 96.7
	障害程度区分1	38 100.0	0 -	3 7.9	0 -	0 -	0 -	0 -	35 92.1
	障害程度区分2	12 100.0	1 8.3	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	11 91.7
	障害程度区分3	20 100.0	0 -	1 5.0	1 5.0	0 -	0 -	0 -	18 90.0
	障害程度区分4	18 100.0	1 5.6	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	17 94.4
	障害程度区分5	62 100.0	0 -	1 1.6	1 1.6	2 3.2	0 -	1 1.6	57 91.9
	障害程度区分6	574 100.0	20 3.5	4 0.7	4 0.7	14 2.4	7 1.2	3 0.5	522 90.9
	無回答・Q24要介護認定者	256 100.0	11 4.3	4 1.6	0 -	1 0.4	1 0.4	0 -	239 93.4

上段度数		問25(障害者自立支援法・個別給付) ■居宅介護(家事援助)支給決定量							
下段-%	合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 30時間未満	30時間以上 50時間未満	50時間以上	無回答	
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070 100.0	16 1.5	8 0.7	8 0.7	19 1.8	14 1.3	7 0.7	998 93.3	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305 100.0	3 1.0	1 0.3	3 1.0	6 2.0	7 2.3	4 1.3	281 92.1
	政令指定都市以外	717 100.0	13 1.8	7 1.0	5 0.7	11 1.5	7 1.0	3 0.4	671 93.6
		581 100.0	13 2.2	6 1.0	4 0.7	10 1.7	8 1.4	1 0.2	539 92.8
問18. たんの吸引	必要あり	469 100.0	3 0.6	2 0.4	4 0.9	8 1.7	6 1.3	6 1.3	440 93.8
	必要なし	589 100.0	9 1.5	3 0.5	5 0.8	14 2.4	9 1.5	6 1.0	543 92.2
問19. 呼吸器等	必要あり	432 100.0	7 1.6	4 0.9	2 0.5	5 1.2	5 1.2	1 0.2	408 94.4
	必要なし	589 100.0	14 2.4	6 1.0	5 0.8	11 1.9	8 1.4	1 0.2	544 92.4
問20. 経管栄養	使用あり	589 100.0	14 2.4	6 1.0	5 0.8	11 1.9	8 1.4	1 0.2	544 92.4
	使用なし	441 100.0	6 1.4	4 0.9	3 0.7	9 2.0	4 0.9	4 0.9	411 93.2
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90 100.0	0 -	0 -	0 -	1 1.1	1 1.1	0 -	88 97.8
	障害程度区分1	38 100.0	0 -	2 5.3	1 2.6	0 -	0 -	0 -	35 92.1
	障害程度区分2	12 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	12 100.0
	障害程度区分3	20 100.0	0 -	1 5.0	1 5.0	0 -	0 -	0 -	18 90.0
	障害程度区分4	18 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	1 5.6	0 -	17 94.4
	障害程度区分5	62 100.0	0 -	1 1.6	1 1.6	2 3.2	0 -	1 1.6	59 95.2
	障害程度区分6	574 100.0	13 2.3	4 0.7	4 0.7	15 2.6	12 2.1	6 1.0	517 90.1
	無回答・Q24要介護認定者	256 100.0	3 1.2	0 -	0 -	1 0.4	1 0.4	0 -	252 98.4

上段度数		問25(障害者自立支援法・個別給付) ■居宅介護(家事援助)希望量							
下段-%	合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 30時間未満	30時間以上 50時間未満	50時間以上	無回答	
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070 100.0	8 0.7	12 1.1	4 0.4	9 0.8	15 1.4	5 0.5	1017 95.0	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305 100.0	2 0.7	4 1.3	1 0.3	3 1.0	7 2.3	2 0.7	286 93.8
	政令指定都市以外	717 100.0	6 0.8	8 1.1	3 0.4	5 0.7	8 1.1	3 0.4	684 95.4
		581 100.0	7 1.2	7 1.2	2 0.3	5 0.9	10 1.7	3 0.5	547 94.1
問18. たんの吸引	必要あり	469 100.0	1 0.2	5 1.1	2 0.4	4 0.9	4 0.9	2 0.4	451 96.2
	必要なし	589 100.0	4 0.7	5 1.2	3 0.5	7 1.2	10 1.7	3 0.5	555 94.2
問19. 呼吸器等	必要あり	432 100.0	4 0.9	5 1.2	2 0.5	2 0.5	4 0.9	2 0.5	414 95.8
	必要なし	589 100.0	8 1.4	7 1.2	2 0.3	6 1.0	11 1.9	3 0.5	552 93.7
問20. 経管栄養	使用あり	589 100.0	8 1.4	7 1.2	2 0.3	6 1.0	11 1.9	3 0.5	552 93.7
	使用なし	441 100.0	0 -	5 1.1	2 0.5	3 0.7	4 0.9	2 0.5	425 96.4
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90 100.0	0 -	0 -	0 -	1 1.1	1 1.1	0 -	88 97.8
	障害程度区分1	38 100.0	0 -	3 7.9	1 2.6	0 -	0 -	0 -	34 89.5
	障害程度区分2	12 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	12 100.0
	障害程度区分3	20 100.0	0 -	1 5.0	1 5.0	0 -	0 -	0 -	19 95.0
	障害程度区分4	18 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	18 100.0
	障害程度区分5	62 100.0	0 -	1 1.6	1 1.6	2 3.2	0 -	0 -	60 96.8
	障害程度区分6	574 100.0	7 1.2	3 0.5	3 0.5	6 1.0	12 2.1	4 0.7	539 93.9
	無回答・Q24要介護認定者	256 100.0	1 0.4	4 1.6	0 -	1 0.4	1 0.4	3 1.2	247 96.5

< 居宅介護（通院等介助） >

上段:度数 下段:%	問25(障害者自立支援法・個別給付) ■居宅介護(通院等介助)利用量							無回答
	合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 20時間未満	20時間以上		
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070 100.0	36 3.4	9 0.8	8 0.8	17 1.6	6 0.6	993 92.8	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	307	6	1	2	6	2	290
	政令指定都市以外	719	30	8	6	15	2	658
		100.0	4.2	1.1	0.8	2.1	0.3	91.5
問18. たんの吸引	必要あり	579 100.0	24 4.1	3 0.5	3 0.5	11 1.9	3 0.5	535 92.4
	必要なし	469 100.0	11 2.3	6 1.3	5 1.1	5 1.1	3 0.6	439 93.6
問19. 呼吸器等	必要あり	430 100.0	11 2.6	1 0.2	2 0.5	5 1.2	0	411 95.6
	必要なし	589 100.0	23 3.9	8 1.4	6 1.0	11 1.9	4 0.7	537 91.2
問20. 経管栄養	使用あり	587 100.0	28 4.8	5 0.9	2 0.3	11 1.9	3 0.5	538 91.7
	使用なし	441 100.0	7 1.6	4 0.9	6 1.4	5 1.1	2 0.5	417 94.6
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	91 100.0	1 1.1	0	0	1 1.1	0	89 96.7
	障害程度区分1	38 100.0	0	0	0	0	0	38 100.0
	障害程度区分2	12 100.0	2	0	0	0	0	10 83.3
	障害程度区分3	21 100.0	1	0	0	3	1	16 76.2
	障害程度区分4	18 100.0	0	0	1	1	0	16 88.9
	障害程度区分5	62 100.0	1	1	1	2	0	57 91.9
	障害程度区分6	577 100.0	21 3.6	5 0.9	6 1.0	13 2.3	4 0.7	528 91.5
	無回答・Q24要介護認定者	256 100.0	10 3.9	3 1.2	1 0.4	2 0.8	0	240 93.8

上段:度数 下段:%	問25(障害者自立支援法・個別給付) ■居宅介護(通院等介助)支給決定量							無回答
	合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 20時間未満	20時間以上		
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070 100.0	19 1.8	3 0.3	6 0.6	24 2.2	20 1.9	998 93.3	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	307	6	1	1	7	3	289
	政令指定都市以外	729	13	2	5	31	17	661
		100.0	1.8	0.3	0.7	4.3	2.3	90.7
問18. たんの吸引	必要あり	581 100.0	11 1.9	0	3 0.5	14 2.4	11 1.9	542 93.3
	必要なし	469 100.0	8 1.7	3 0.6	3 0.6	9 1.9	9 1.9	437 93.2
問19. 呼吸器等	必要あり	432 100.0	7 1.6	0	0	6 1.4	5 1.2	414 95.8
	必要なし	589 100.0	12 2.0	3 0.5	5 0.8	17 2.9	14 2.4	538 91.3
問20. 経管栄養	使用あり	589 100.0	14 2.4	0	2 0.3	16 2.7	9 1.5	548 93.0
	使用なし	441 100.0	5 1.1	2 0.5	4 0.9	7 1.6	11 2.5	412 93.4
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	91 100.0	2 2.2	0	0	1 1.1	0	87 95.6
	障害程度区分1	39 100.0	0	0	0	2	1	36 92.3
	障害程度区分2	12 100.0	1	0	0	0	0	11 91.7
	障害程度区分3	22 100.0	0	0	0	2	3	17 77.3
	障害程度区分4	18 100.0	0	0	0	1	0	17 94.4
	障害程度区分5	62 100.0	0	1	0	1	0	60 96.8
	障害程度区分6	584 100.0	14 2.4	2 0.3	5 0.9	30 5.1	15 2.6	518 88.7
	無回答・Q24要介護認定者	256 100.0	2 0.8	0	1 0.4	1 0.4	0	252 98.4

上段:度数 下段:%	問25(障害者自立支援法・個別給付) ■居宅介護(通院等介助)希望量							無回答
	合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 20時間未満	20時間以上		
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070 100.0	8 0.7	6 0.6	10 0.9	16 1.5	14 1.3	1016 95.0	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	306	3	1	3	4	1	294
	政令指定都市以外	726	5	5	7	22	13	674
		100.0	0.7	0.7	1.0	3.0	1.8	92.8
問18. たんの吸引	必要あり	579 100.0	5 0.9	5 0.9	6 1.0	11 1.9	7 1.2	545 94.1
	必要なし	469 100.0	3 0.6	1 0.2	4 0.9	5 1.1	7 1.5	449 95.7
問19. 呼吸器等	必要あり	430 100.0	4 0.9	1 0.2	4 0.9	4 0.9	5 1.2	412 95.8
	必要なし	588 100.0	4 0.7	4 0.7	6 1.0	12 2.0	9 1.5	553 94.0
問20. 経管栄養	使用あり	586 100.0	6 1.0	5 0.9	6 1.0	11 1.9	8 1.4	550 93.9
	使用なし	441 100.0	2 0.5	1 0.2	4 0.9	5 1.1	6 1.4	423 95.9
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	91 100.0	0	0	1	1	1	88 96.7
	障害程度区分1	39 100.0	0	0	1	1	1	36 92.3
	障害程度区分2	12 100.0	1	0	0	0	0	11 91.7
	障害程度区分3	20 100.0	0	0	0	0	1	19 95.0
	障害程度区分4	18 100.0	0	0	0	1	1	17 88.9
	障害程度区分5	63 100.0	0	0	0	1	0	61 96.8
	障害程度区分6	579 100.0	7 1.2	3 0.5	7 1.2	19 3.3	8 1.4	535 92.4
	無回答・Q24要介護認定者	257 100.0	0	3 1.2	1 0.4	3 1.2	1 0.4	249 96.9

<居宅介護（通院等乗降介助）>

上段度数		問25(障害者自立支援法・個別給付)■居宅介護(通院等乗降介助)利用量							
下段-%	合計	0回	1回以上 5回未満	5回以上 10回未満	10回以上 15回未満	15回以上 20回未満	20回以上	無回答	
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070 100.0	30 2.8	8 0.7	3 0.3	2 0.2	0 0.0	2 0.2	1025 95.8	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305 100.0	5 1.6	2 0.7	0 -	0 -	0 -	298 97.7	
	政令指定都市以外	717 100.0	25 3.5	5 0.7	2 0.3	2 0.3	0 -	681 95.0	
		581 100.0	20 3.4	3 0.5	3 0.5	2 0.3	0 -	553 95.2	
問18. たんの吸引	必要あり	469 100.0	9 1.9	5 1.1	0 -	0 -	0 0.4	453 96.6	
	必要なし	432 100.0	10 2.3	3 0.7	2 0.5	1 0.2	0 -	416 96.3	
問19. 呼吸器等	必要あり	589 100.0	18 3.1	5 0.8	1 0.2	0 -	0 0.3	563 95.6	
	必要なし	441 100.0	5 1.1	4 0.9	1 0.2	0 -	0 0.5	429 97.3	
問20. 経管栄養	使用あり	90 100.0	2 2.2	0 -	0 -	1 1.1	0 1.1	88 95.6	
	使用なし	38 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	38 100.0	
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	12 100.0	1 8.3	0 -	0 -	0 -	0 -	11 91.7	
	障害程度区分1	20 100.0	0 -	1 5.0	0 -	0 -	0 5.0	18 90.0	
	障害程度区分2	18 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	18 100.0	
	障害程度区分3	62 100.0	0 -	1 1.6	0 -	0 -	0 -	61 98.4	
	障害程度区分4	574 100.0	17 3.0	3 0.5	2 0.3	1 0.2	0 -	551 96.0	
	障害程度区分5	256 100.0	10 3.9	3 1.2	1 0.4	0 -	0 -	242 94.5	
	障害程度区分6								
	無回答・Q24要介護認定者								

上段度数		問25(障害者自立支援法・個別給付)■居宅介護(通院等乗降介助)支給決定量							
下段-%	合計	0回	1回以上 5回未満	5回以上 10回未満	10回以上 15回未満	15回以上 20回未満	20回以上	無回答	
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070 100.0	20 1.9	6 0.6	0 0.0	3 0.3	0 0.0	4 0.4	1037 96.9	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305 100.0	7 2.3	0 -	0 0.3	1 -	0 -	297 97.4	
	政令指定都市以外	717 100.0	13 1.8	6 0.8	0 -	2 0.3	0 0.6	692 96.5	
		581 100.0	12 2.1	4 0.7	0 -	2 0.3	0 0.2	562 96.7	
問18. たんの吸引	必要あり	469 100.0	8 1.7	2 0.4	0 0.2	1 0.2	0 0.6	455 97.0	
	必要なし	432 100.0	7 1.6	1 0.2	0 0.2	1 0.2	0 -	423 97.9	
問19. 呼吸器等	必要あり	589 100.0	13 2.2	5 0.8	0 -	2 0.3	0 0.3	567 96.3	
	必要なし	441 100.0	5 1.1	2 0.5	0 0.2	0 -	0 0.5	431 97.7	
問20. 経管栄養	使用あり	90 100.0	1 1.1	0 -	0 -	0 -	0 2.2	87 96.7	
	使用なし	38 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	38 100.0	
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	12 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	12 100.0	
	障害程度区分1	20 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 5.0	19 95.0	
	障害程度区分2	18 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	18 100.0	
	障害程度区分3	62 100.0	0 -	1 1.6	0 -	0 -	0 -	61 98.4	
	障害程度区分4	574 100.0	16 2.8	4 0.7	0 -	3 0.5	0 0.2	550 95.8	
	障害程度区分5	256 100.0	10 3.9	3 1.2	1 0.4	0 -	0 -	252 98.4	
	障害程度区分6								
	無回答・Q24要介護認定者								

上段度数		問25(障害者自立支援法・個別給付)■居宅介護(通院等乗降介助)希望量							
下段-%	合計	0回	1回以上 5回未満	5回以上 10回未満	10回以上 15回未満	15回以上 20回未満	20回以上	無回答	
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070 100.0	10 0.9	10 0.9	2 0.2	5 0.5	0 0.0	2 0.2	1041 97.3	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305 100.0	4 1.3	2 0.7	0 -	0 -	0 -	299 98.0	
	政令指定都市以外	717 100.0	6 0.8	8 1.1	2 0.3	5 0.7	0 0.3	694 96.8	
		581 100.0	6 1.0	5 0.9	2 0.3	4 0.7	0 -	564 97.1	
問18. たんの吸引	必要あり	469 100.0	4 0.9	5 1.1	0 -	1 0.2	0 0.4	457 97.4	
	必要なし	432 100.0	4 0.9	2 0.5	0 0.2	3 0.7	0 -	423 97.9	
問19. 呼吸器等	必要あり	589 100.0	6 1.0	7 1.2	2 0.3	2 0.3	0 0.3	570 96.8	
	必要なし	441 100.0	8 1.8	6 1.4	2 0.5	3 0.7	0 -	431 97.7	
問20. 経管栄養	使用あり	90 100.0	1 1.1	0 -	0 -	0 -	0 1.1	88 97.8	
	使用なし	38 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	38 100.0	
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	12 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	12 100.0	
	障害程度区分1	20 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 5.0	19 95.0	
	障害程度区分2	18 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	18 100.0	
	障害程度区分3	62 100.0	0 -	1 1.6	0 -	0 -	0 -	62 100.0	
	障害程度区分4	574 100.0	8 1.4	5 0.9	2 0.3	4 0.7	0 -	555 96.7	
	障害程度区分5	256 100.0	10 3.9	3 1.2	1 0.4	0 -	0 -	249 97.3	
	障害程度区分6								
	無回答・Q24要介護認定者								

<行動援護>

上段度数		問25(障害者自立支援法・個別給付)■行動援護利用量							
下段-%		合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 30時間未満	30時間以上 50時間未満	50時間以上	無回答
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)		1070	31	4	2	4	0	-	1029
		100.0	2.9	0.4	0.2	0.4	0.0	-	96.2
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305	4	1	-	1	-	-	299
	政令指定都市以外	717	27	2	2	3	-	-	683
		100.0	3.8	0.3	0.3	0.4	-	-	95.3
問18. たんの吸引	必要あり	581	22	2	1	2	-	-	554
	必要なし	100.0	3.8	0.3	0.2	0.3	-	-	95.4
問19. 呼吸器等	必要あり	432	11	3	1	2	-	-	415
	必要なし	100.0	2.5	0.7	0.2	0.5	-	-	96.1
問20. 経管栄養	使用あり	589	26	2	1	1	-	-	559
	使用なし	100.0	4.4	0.3	0.2	0.2	-	-	94.9
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90	2	-	-	0	-	-	88
	障害程度区分1	100.0	2.2	-	-	-	-	-	97.8
	障害程度区分2	38	-	-	-	-	-	-	38
	障害程度区分2	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
	障害程度区分3	12	1	-	-	-	-	-	11
	障害程度区分3	100.0	8.3	-	-	-	-	-	91.7
	障害程度区分4	20	-	-	-	-	-	-	20
	障害程度区分4	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
	障害程度区分5	18	-	-	-	-	-	-	18
	障害程度区分5	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
無回答・Q24要介護認定者	256	11	-	1	2	-	-	-	242
	100.0	4.3	-	0.4	0.8	-	-	-	94.5

上段度数		問25(障害者自立支援法・個別給付)■行動援護支給決定量							
下段-%		合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 30時間未満	30時間以上 50時間未満	50時間以上	無回答
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)		1070	18	-	3	3	2	-	1044
		100.0	1.7	-	0.3	0.3	0.2	-	97.6
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305	4	-	1	1	1	-	298
	政令指定都市以外	717	14	-	2	2	1	-	698
		100.0	2.0	-	0.3	0.3	0.1	-	97.4
問18. たんの吸引	必要あり	581	11	-	1	2	-	-	567
	必要なし	100.0	1.9	-	0.2	0.3	-	-	97.6
問19. 呼吸器等	必要あり	432	6	-	1	1	-	-	424
	必要なし	100.0	1.4	-	0.2	0.2	-	-	98.1
問20. 経管栄養	使用あり	589	14	-	1	1	-	-	573
	使用なし	100.0	2.4	-	0.2	0.2	-	-	97.3
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90	1	-	0.5	0.5	0.2	-	88
	障害程度区分なし	100.0	1.1	-	-	-	-	-	98.9
	障害程度区分1	38	-	-	-	-	-	-	38
	障害程度区分1	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
	障害程度区分2	12	-	-	-	-	-	-	12
	障害程度区分2	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
	障害程度区分3	20	-	-	-	-	-	-	20
	障害程度区分3	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
	障害程度区分4	18	-	-	-	-	1	-	17
	障害程度区分4	100.0	-	-	-	-	5.6	-	94.4
無回答・Q24要介護認定者	62	-	-	1	-	-	-	-	61
	100.0	-	-	1.6	-	-	-	-	98.4
	574	14	-	2	1	1	-	-	556
100.0	2.4	-	0.3	0.2	0.2	-	-	96.9	
256	3	-	-	2	-	-	-	251	
100.0	1.2	-	-	0.8	-	-	-	98.0	

上段度数		問25(障害者自立支援法・個別給付)■行動援護希望量							
下段-%		合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 30時間未満	30時間以上 50時間未満	50時間以上	無回答
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)		1070	9	3	2	7	1	-	1048
		100.0	0.8	0.3	0.2	0.7	0.1	-	97.9
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305	3	-	-	2	-	-	300
	政令指定都市以外	717	6	3	2	5	1	-	700
		100.0	0.8	0.4	0.3	0.7	0.1	-	97.6
問18. たんの吸引	必要あり	581	6	2	0	4	1	-	568
	必要なし	100.0	1.0	0.3	-	0.7	0.2	-	97.8
問19. 呼吸器等	必要あり	432	3	1	2	2	-	-	461
	必要なし	100.0	0.6	0.2	0.4	0.4	-	-	98.3
問20. 経管栄養	必要あり	589	4	1	-	3	-	-	424
	必要なし	100.0	0.9	0.2	-	0.7	-	-	98.1
問20. 経管栄養	使用あり	589	8	2	-	5	1	-	573
	使用なし	100.0	1.4	0.3	-	0.8	0.2	-	97.3
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90	1	1	2	2	-	-	435
	障害程度区分なし	100.0	0.2	0.2	0.5	0.5	-	-	98.6
	障害程度区分1	38	-	-	-	-	-	-	38
	障害程度区分1	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
	障害程度区分2	12	-	-	-	-	-	-	12
	障害程度区分2	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
	障害程度区分3	20	-	-	-	-	-	-	20
	障害程度区分3	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
	障害程度区分4	18	-	-	-	-	-	-	18
	障害程度区分4	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
無回答・Q24要介護認定者	62	-	-	-	-	-	-	-	62
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	574	8	2	1	3	0	-	-	560
100.0	1.4	0.3	0.2	0.5	-	-	-	97.6	
256	-	1	1	4	1	-	-	249	
100.0	-	0.4	0.4	1.6	0.4	-	-	97.3	

<重度訪問介護>

上段:度数		問25(障害者自立支援法・個別給付)■重度訪問介護利用率							
下段:%	合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 30時間未満	30時間以上 50時間未満	50時間以上	無回答	
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070	24	7	7	13	8	124	887	
	100.0	2.2	0.7	0.7	1.2	0.7	11.6	82.9	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305	4	0	3	6	57	234	
		100.0	1.3	-	1.0	2.0	0.3	18.7	
	政令指定都市以外	717	20	7	4	6	6	57	
	100.0	2.8	1.0	0.6	0.8	0.8	7.9	86.1	
問18. たんの吸引	必要あり	581	18	5	5	6	3	89	
		100.0	3.1	0.9	0.9	1.0	0.5	15.3	
	469	6	2	2	7	5	35		
	100.0	1.3	0.4	0.4	1.5	1.1	7.5		
問19. 呼吸器等	必要あり	432	8	3	3	7	2	75	
		100.0	1.9	0.7	0.7	1.6	0.5	17.4	
	589	14	4	3	6	6	48		
	100.0	2.4	0.7	0.5	1.0	1.0	8.1		
問20. 経管栄養	使用あり	589	19	7	7	5	3	83	
		100.0	3.2	1.2	1.2	0.8	0.5	14.1	
	441	4	0	0	8	5	40		
	100.0	0.9	-	-	1.8	1.1	9.1		
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90	1	0	0	1	0	2	
		100.0	1.1	-	-	1.1	-	2.2	
	障害程度区分1	38	0	0	0	0	0	1	
		100.0	-	-	-	-	-	2.6	
	障害程度区分2	12	1	0	0	0	0	0	
		100.0	8.3	-	-	-	-	-	
	障害程度区分3	20	0	0	0	0	0	0	
		100.0	-	-	-	-	-	-	
障害程度区分4	18	0	0	0	0	1	0		
	100.0	-	-	-	-	5.6	-		
障害程度区分5	62	0	1	0	2	0	4		
	100.0	-	1.6	-	3.2	-	6.5		
障害程度区分6	574	15	3	7	10	7	117		
	100.0	2.6	0.5	1.2	1.7	1.2	20.4		
無回答・Q24要介護認定者	256	7	3	0	0	0	0		
	100.0	2.7	1.2	-	-	-	-		

上段:度数		問25(障害者自立支援法・個別給付)■重度訪問介護支給決定率							
下段:%	合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 30時間未満	30時間以上 50時間未満	50時間以上	無回答	
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070	16	3	2	10	9	150	880	
	100.0	1.5	0.3	0.2	0.9	0.8	14.0	82.2	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305	6	0	0	2	2	67	
		100.0	2.0	-	-	0.7	0.7	22.0	
	政令指定都市以外	717	10	3	2	8	7	72	
	100.0	1.4	0.4	0.3	1.1	1.0	10.0		
問18. たんの吸引	必要あり	581	10	3	2	4	1	99	
		100.0	1.7	0.5	0.3	0.7	0.2	17.0	
	469	6	0	0	6	8	51		
	100.0	1.3	-	-	1.3	1.7	10.9		
問19. 呼吸器等	必要あり	432	3	2	1	4	1	83	
		100.0	0.7	0.5	0.2	0.9	0.2	19.2	
	589	13	1	1	6	7	65		
	100.0	2.2	0.2	0.2	1.0	1.2	11.0		
問20. 経管栄養	使用あり	589	12	3	2	3	2	98	
		100.0	2.0	0.5	0.3	0.5	0.3	16.6	
	441	4	0	0	7	6	51		
	100.0	0.9	-	-	1.6	1.4	11.6		
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90	1	0	0	0	0	2	
		100.0	1.1	-	-	-	-	2.2	
	障害程度区分1	38	0	0	0	0	1	1	
		100.0	-	-	-	-	2.6	2.6	
	障害程度区分2	12	0	0	0	0	0	0	
		100.0	-	-	-	-	-	-	
	障害程度区分3	20	0	0	0	0	0	0	
		100.0	-	-	-	-	-	-	
障害程度区分4	18	0	0	0	1	1	0		
	100.0	-	-	-	5.6	5.6	-		
障害程度区分5	62	0	1	0	0	0	2		
	100.0	-	1.6	-	-	-	3.2		
障害程度区分6	574	13	1	2	9	7	145		
	100.0	2.3	0.2	0.3	1.6	1.2	25.3		
無回答・Q24要介護認定者	256	2	1	0	0	0	0		
	100.0	0.8	0.4	-	-	-	-		

上段:度数		問25(障害者自立支援法・個別給付)■重度訪問介護希望率							
下段:%	合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 30時間未満	30時間以上 50時間未満	50時間以上	無回答	
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070	5	4	6	4	5	120	926	
	100.0	0.5	0.4	0.6	0.4	0.5	11.2	86.5	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305	3	0	0	3	1	52	
		100.0	1.0	-	-	1.0	0.3	17.0	
	政令指定都市以外	717	2	4	6	1	4	58	
	100.0	0.3	0.6	0.8	0.1	0.6	8.1		
問18. たんの吸引	必要あり	581	3	3	5	2	3	84	
		100.0	0.5	0.5	0.9	0.3	0.5	14.5	
	469	2	1	1	2	2	36		
	100.0	0.4	0.2	0.2	0.4	0.4	7.7		
問19. 呼吸器等	必要あり	432	1	1	3	1	1	69	
		100.0	0.2	0.2	0.7	0.2	0.2	16.0	
	589	4	3	3	3	3	48		
	100.0	0.7	0.5	0.5	0.5	0.5	8.1		
問20. 経管栄養	使用あり	589	4	3	5	2	3	79	
		100.0	0.7	0.5	0.8	0.3	0.5	13.4	
	441	1	1	1	2	2	41		
	100.0	0.2	0.2	0.2	0.5	0.5	9.3		
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90	0	0	0	2	1	2	
		100.0	-	-	-	2.2	1.1	2.2	
	障害程度区分1	38	0	0	0	0	1	0	
		100.0	-	-	-	-	2.6	-	
	障害程度区分2	12	0	0	0	0	0	0	
		100.0	-	-	-	-	-	-	
	障害程度区分3	20	0	0	0	0	0	0	
		100.0	-	-	-	-	-	-	
障害程度区分4	18	0	0	0	0	0	1		
	100.0	-	-	-	-	-	5.6		
障害程度区分5	62	0	0	1	0	0	3		
	100.0	-	-	1.6	-	-	4.8		
障害程度区分6	574	5	3	5	2	3	112		
	100.0	0.9	0.5	0.9	0.3	0.5	19.5		
無回答・Q24要介護認定者	256	0	1	0	0	0	2		
	100.0	-	0.4	-	-	-	0.8		

< 重度障害者等包括支援 >

上段度数		問25(障害者自立支援法・個別給付) ■ 重度障害者等包括支援利用量							
下段-%	合計	0日	1日以上 5日未満	5日以上 10日未満	10日以上 15日未満	15日以上 20日未満	20日以上	無回答	
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070 100.0	34 3.2	29 2.7	32 3.0	12 1.1	3 0.3	7 0.7	953 89.1	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305 100.0	11 3.6	8 2.6	6 2.0	6 2.0	1 0.3	1 0.3	272 89.2
	政令指定都市以外	717 100.0	23 3.2	19 2.6	24 3.3	6 0.8	2 0.3	5 0.7	638 89.0
問18. たんの吸引	必要あり	581 100.0	28 4.8	13 2.2	11 1.9	7 1.2	1 0.2	1 0.2	520 89.5
	必要なし	469 100.0	6 1.3	16 3.4	20 4.3	4 0.9	2 0.4	6 1.3	415 88.5
問19. 呼吸器等	必要あり	432 100.0	10 2.3	5 1.2	3 0.7	2 0.5	0 -	2 0.5	410 94.9
	必要なし	589 100.0	22 3.7	24 4.1	27 4.6	8 1.4	3 0.5	4 0.7	501 85.1
問20. 経管栄養	使用あり	589 100.0	28 4.8	16 2.7	10 1.7	8 1.4	1 0.2	1 0.2	525 89.1
	使用なし	441 100.0	6 1.4	12 2.7	19 4.3	3 0.7	2 0.5	6 1.4	393 89.1
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	1 1.1	0 -	89 98.9
	障害程度区分1	38 100.0	1 2.6	0 -	1 2.6	0 -	0 -	0 -	36 94.7
	障害程度区分2	12 100.0	0 -	0 -	1 8.3	0 -	0 -	0 -	11 91.7
	障害程度区分3	20 100.0	0 -	0 -	1 5.0	1 5.0	0 -	0 -	18 90.0
	障害程度区分4	18 100.0	0 -	0 -	1 5.6	0 -	0 -	0 -	17 94.4
	障害程度区分5	62 100.0	0 -	2 3.2	3 4.8	1 1.6	0 -	1 1.6	55 88.7
	障害程度区分6	574 100.0	26 4.5	26 4.5	25 4.4	10 1.7	2 0.3	5 0.9	480 83.6
	無回答・Q24要介護認定者	256 100.0	7 2.7	1 0.4	0 -	0 -	0 -	1 0.4	247 96.5

上段度数		問25(障害者自立支援法・個別給付) ■ 重度障害者等包括支援支給決定量							
下段-%	合計	0日	1日以上 5日未満	5日以上 10日未満	10日以上 15日未満	15日以上 20日未満	20日以上	無回答	
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070 100.0	18 1.7	14 1.3	45 4.2	31 2.9	12 1.1	12 1.1	938 87.7	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305 100.0	6 2.0	3 1.0	13 4.3	11 3.6	3 1.0	4 1.3	265 86.9
	政令指定都市以外	717 100.0	12 1.7	10 1.4	31 4.3	18 2.5	8 1.1	8 1.1	630 87.9
問18. たんの吸引	必要あり	581 100.0	13 2.2	7 1.2	20 3.4	14 2.4	7 1.2	6 1.0	514 88.5
	必要なし	469 100.0	5 1.1	7 1.5	25 5.3	16 3.4	4 0.9	6 1.3	406 86.6
問19. 呼吸器等	必要あり	432 100.0	6 1.4	4 0.9	6 1.4	3 0.7	1 0.2	4 0.9	408 94.4
	必要なし	589 100.0	12 2.0	10 1.7	37 6.3	27 4.6	10 1.7	6 1.0	487 82.7
問20. 経管栄養	使用あり	589 100.0	15 2.5	8 1.4	24 4.1	13 2.2	7 1.2	6 1.0	516 87.6
	使用なし	441 100.0	3 0.7	6 1.4	19 4.3	15 3.4	4 0.9	6 1.4	388 88.0
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90 100.0	1 1.1	0 -	0 -	0 -	0 -	1 1.1	88 97.8
	障害程度区分1	38 100.0	0 -	1 2.6	1 2.6	0 -	0 -	0 -	36 94.7
	障害程度区分2	12 100.0	0 -	0 -	0 8.3	1 -	0 -	0 -	11 91.7
	障害程度区分3	20 100.0	0 -	0 -	2 10.0	2 10.0	0 -	0 -	16 80.0
	障害程度区分4	18 100.0	0 -	0 -	1 5.6	0 -	0 -	0 -	17 94.4
	障害程度区分5	62 100.0	0 -	2 3.2	3 4.8	0 -	2 3.2	2 3.2	56 90.3
	障害程度区分6	574 100.0	15 2.6	11 1.9	41 7.1	28 4.9	10 1.7	9 1.6	460 80.1
	無回答・Q24要介護認定者	256 100.0	2 0.8	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	254 99.2

上段度数		問25(障害者自立支援法・個別給付) ■ 重度障害者等包括支援希望量							
下段-%	合計	0日	1日以上 5日未満	5日以上 10日未満	10日以上 15日未満	15日以上 20日未満	20日以上	無回答	
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070 100.0	8 0.7	4 0.4	24 2.2	18 1.7	5 0.5	12 1.1	999 93.4	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305 100.0	4 1.3	1 0.3	4 1.3	4 1.3	1 0.3	1 0.3	290 95.1
	政令指定都市以外	717 100.0	4 0.6	3 0.4	20 2.8	14 2.0	3 0.4	10 1.4	663 92.5
問18. たんの吸引	必要あり	581 100.0	7 1.2	1 0.2	12 2.1	10 1.7	2 0.3	7 1.2	542 93.3
	必要なし	469 100.0	1 0.2	3 0.6	12 2.6	8 1.7	3 0.6	5 1.1	437 93.2
問19. 呼吸器等	必要あり	432 100.0	4 0.9	0 -	6 1.4	3 0.7	0 -	4 0.9	415 96.1
	必要なし	589 100.0	4 0.7	4 0.7	17 2.9	15 2.5	5 0.8	6 1.0	538 91.3
問20. 経管栄養	使用あり	589 100.0	7 1.2	2 0.3	13 2.2	10 1.7	2 0.3	7 1.2	548 93.0
	使用なし	441 100.0	1 0.2	2 0.5	11 2.5	8 1.8	3 0.7	4 0.9	412 93.4
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90 100.0	0 -	1 1.1	0 -	0 -	1 1.1	0 -	88 97.8
	障害程度区分1	38 100.0	0 -	0 -	1 2.6	1 2.6	0 -	0 -	36 94.7
	障害程度区分2	12 100.0	0 -	0 -	0 -	0 8.3	0 -	0 -	12 100.0
	障害程度区分3	20 100.0	0 -	0 -	0 -	1 5.0	0 -	0 -	19 95.0
	障害程度区分4	18 100.0	0 -	0 -	1 5.6	0 -	0 -	0 -	17 94.4
	障害程度区分5	62 100.0	0 -	0 -	2 3.2	0 -	1 1.6	3 4.8	56 90.3
	障害程度区分6	574 100.0	8 1.4	3 0.5	19 3.3	16 2.8	3 0.5	7 1.2	518 90.2
	無回答・Q24要介護認定者	256 100.0	0 -	0 -	1 0.4	0 -	0 -	2 0.8	253 98.8

<生活介護>

上段:度数		問25(障害者自立支援法・個別給付)■生活介護利用量							
下段:%		合計	0日	1日以上 5日未満	5日以上 10日未満	10日以上 15日未満	15日以上 20日未満	20日以上	無回答
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)		1070	24	18	35	22	21	48	902
		100.0	2.2	1.7	3.3	2.1	2.0	4.5	84.3
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305	7	3	13	6	5	11	260
	政令指定都市以外	717	17	14	20	16	16	36	598
		100.0	2.4	2.0	2.8	2.2	2.2	5.0	83.4
問18. たんの吸引	必要あり	581	17	8	17	6	10	10	513
	必要なし	469	7	9	18	14	10	39	372
		100.0	1.5	1.9	3.8	3.0	2.1	8.3	79.3
問19. 呼吸器等	必要あり	432	9	0	4	3	1	3	412
	必要なし	589	14	17	31	17	18	44	448
		100.0	2.4	2.9	5.3	2.9	3.1	7.5	76.1
問20. 経管栄養	使用あり	589	18	12	22	7	9	9	512
	使用なし	441	6	5	12	13	9	38	358
		100.0	3.1	2.0	3.7	1.2	1.5	1.5	86.9
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90	0	0	0	0	0	0	90
	障害程度区分1	38	0	1	1	0	0	0	36
	障害程度区分2	12	0	0	0	0	0	0	12
	障害程度区分3	20	0	1	0	0	0	0	19
	障害程度区分4	18	0	0	0	3	0	2	13
	障害程度区分5	62	0	2	3	1	1	6	46
	障害程度区分6	574	18	15	31	17	20	40	433
	無回答・Q24要介護認定者	256	6	0	0	0	0	0	250
		100.0	2.3	0	0	0	0	0	97.7

上段:度数		問25(障害者自立支援法・個別給付)■生活介護支給決定量							
下段:%		合計	0日	1日以上 5日未満	5日以上 10日未満	10日以上 15日未満	15日以上 20日未満	20日以上	無回答
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)		1070	15	3	24	22	13	82	911
		100.0	1.4	0.3	2.2	2.1	1.2	7.7	85.1
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305	4	1	11	5	3	18	263
	政令指定都市以外	717	11	2	11	17	10	64	602
		100.0	1.5	0.3	1.5	2.4	1.4	8.9	84.0
問18. たんの吸引	必要あり	581	12	2	11	9	6	23	518
	必要なし	469	3	1	13	13	6	58	375
		100.0	0.6	0.2	2.8	2.8	1.3	12.4	80.0
問19. 呼吸器等	必要あり	432	6	0	3	1	2	6	414
	必要なし	589	9	3	20	20	9	72	456
		100.0	1.5	0.5	3.4	3.4	1.5	12.2	77.4
問20. 経管栄養	使用あり	589	13	2	11	13	6	30	514
	使用なし	441	2	1	12	7	6	48	365
		100.0	0.5	0.2	2.7	1.6	1.4	10.9	82.8
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90	1	0	0	0	0	0	89
	障害程度区分1	38	0	0	1	1	1	0	35
	障害程度区分2	12	0	0	0	0	0	0	12
	障害程度区分3	20	0	0	0	0	0	0	20
	障害程度区分4	18	0	0	0	0	0	4	14
	障害程度区分5	62	0	0	2	2	0	3	55
	障害程度区分6	574	12	3	21	19	12	75	432
	無回答・Q24要介護認定者	256	2	0	0	0	0	0	254
		100.0	0.8	0	0	0	0	0	99.2

上段:度数		問25(障害者自立支援法・個別給付)■生活介護希望量							
下段:%		合計	0日	1日以上 5日未満	5日以上 10日未満	10日以上 15日未満	15日以上 20日未満	20日以上	無回答
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)		1070	8	5	16	14	5	46	976
		100.0	0.7	0.5	1.5	1.3	0.5	4.3	91.2
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305	1	1	3	4	1	9	286
	政令指定都市以外	717	7	4	11	10	4	37	644
		100.0	1.0	0.6	1.5	1.4	0.6	5.2	89.8
問18. たんの吸引	必要あり	581	8	2	7	8	3	16	537
	必要なし	469	0	2	9	6	2	29	421
		100.0	0	0.4	1.9	1.3	0.4	6.2	89.8
問19. 呼吸器等	必要あり	432	5	1	2	0	2	2	420
	必要なし	589	2	4	14	14	3	41	511
		100.0	0.3	0.7	2.4	2.4	0.5	7.0	86.8
問20. 経管栄養	使用あり	589	8	3	7	8	3	17	543
	使用なし	441	0	2	9	6	2	25	397
		100.0	0	0.5	2.0	1.4	0.5	5.7	90.0
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90	0	0	0	0	0	0	90
	障害程度区分1	38	0	0	1	0	2	1	34
	障害程度区分2	12	0	0	0	0	0	0	12
	障害程度区分3	20	0	0	0	0	0	0	20
	障害程度区分4	18	0	0	0	0	0	2	16
	障害程度区分5	62	0	1	2	1	0	2	56
	障害程度区分6	574	7	3	13	13	3	40	495
	無回答・Q24要介護認定者	256	1	1	0	0	0	1	253
		100.0	0.4	0.4	0	0	0	0.4	98.8

<自立訓練>

上段度数		問25【障害者自立支援法・個別給付】■自立訓練利用量								
下段-%	合計	0日	1日以上 5日未満	5日以上 10日未満	10日以上 15日未満	15日以上 20日未満	20日以上	無回答		
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070	23	1	0	0	0	1	1045	97.7	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305	7	0	0	0	0	298	97.7	
	政令指定都市以外	717	16	1	0	0	0	700	97.6	
		100.0	2.2	0.1	-	-	-	-	-	
問18. たんの吸引	必要あり	581	18	1	0	0	0	562	96.7	
	必要なし	469	5	0	0	0	1	463	98.7	
問19. 呼吸器等	必要あり	432	9	0	0	0	1	422	97.7	
	必要なし	589	13	1	0	0	0	575	97.6	
問20. 経管栄養	使用あり	589	21	0	0	0	0	568	96.4	
	使用なし	441	2	1	0	0	1	437	99.1	
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90	0	0	0	0	0	90	100.0	
	障害程度区分1	38	0	0	0	0	0	38	100.0	
	障害程度区分2	12	0	0	0	0	0	12	100.0	
	障害程度区分3	20	0	0	0	0	0	20	100.0	
	障害程度区分4	18	0	0	0	0	0	18	100.0	
	障害程度区分5	62	0	0	0	0	1	61	98.4	
	障害程度区分6	574	15	1	0	0	0	558	97.2	
	無回答・Q24要介護認定者	256	8	0	0	0	0	248	96.9	

上段度数		問25【障害者自立支援法・個別給付】■自立訓練支給決定量								
下段-%	合計	0日	1日以上 5日未満	5日以上 10日未満	10日以上 15日未満	15日以上 20日未満	20日以上	無回答		
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070	15	1	0	0	0	0	1054	98.5	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305	6	0	0	0	0	299	98.0	
	政令指定都市以外	717	9	1	0	0	0	707	98.6	
		100.0	1.3	0.1	-	-	-	-	-	
問18. たんの吸引	必要あり	581	12	1	0	0	0	568	97.8	
	必要なし	469	3	0	0	0	0	466	99.4	
問19. 呼吸器等	必要あり	432	7	1	0	0	0	424	98.1	
	必要なし	589	8	0	0	0	0	581	98.6	
問20. 経管栄養	使用あり	589	15	0	0	0	0	574	97.5	
	使用なし	441	0	1	0	0	0	440	99.8	
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90	1	0	0	0	0	89	98.9	
	障害程度区分1	38	0	0	0	0	0	38	100.0	
	障害程度区分2	12	0	0	0	0	0	12	100.0	
	障害程度区分3	20	0	0	0	0	0	20	100.0	
	障害程度区分4	18	0	0	0	0	0	18	100.0	
	障害程度区分5	62	0	0	0	0	0	62	100.0	
	障害程度区分6	574	12	0	0	0	0	562	97.9	
	無回答・Q24要介護認定者	256	2	1	0	0	0	253	98.8	

上段度数		問25【障害者自立支援法・個別給付】■自立訓練希望量								
下段-%	合計	0日	1日以上 5日未満	5日以上 10日未満	10日以上 15日未満	15日以上 20日未満	20日以上	無回答		
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070	11	4	2	1	0	0	1052	98.3	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305	2	0	1	0	0	302	99.0	
	政令指定都市以外	717	9	4	2	0	0	702	97.9	
		100.0	1.3	0.6	0.3	-	-	-	-	
問18. たんの吸引	必要あり	581	10	3	1	0	0	566	97.4	
	必要なし	469	1	1	1	0	0	466	99.4	
問19. 呼吸器等	必要あり	432	6	1	0	0	0	425	98.4	
	必要なし	589	4	3	2	1	0	579	98.3	
問20. 経管栄養	使用あり	589	11	1	1	0	0	575	97.6	
	使用なし	441	0	3	1	0	0	437	99.1	
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90	0	1	0	0	0	89	98.9	
	障害程度区分1	38	0	0	0	0	0	38	100.0	
	障害程度区分2	12	0	0	0	0	0	12	100.0	
	障害程度区分3	20	0	0	0	0	0	20	100.0	
	障害程度区分4	18	0	0	0	0	0	18	100.0	
	障害程度区分5	62	0	0	0	0	0	62	100.0	
	障害程度区分6	574	9	2	2	1	0	560	97.6	
	無回答・Q24要介護認定者	256	2	1	0	0	0	253	98.8	

＜就労移行支援＞

上段度数 下段-%	問25(障害者自立支援法・個別給付)■就労移行支援利用量								
	合計	0日	1日以上 5日未満	5日以上 10日未満	10日以上 15日未満	15日以上 20日未満	20日以上	無回答	
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070	22	0	0	0	0	0	1048	97.9
都市分類	政令指定都市(東京都特別区を含む)	305	7	0	0	0	0	298	97.7
	政令指定都市以外	717	15	0	0	0	0	702	97.9
		100.0	2.1	-	-	-	-	0	-
問18. たんの吸引	必要あり	581	17	0	0	0	0	564	97.1
	必要なし	469	5	0	0	0	0	464	98.9
問19. 呼吸器等	必要あり	432	9	0	0	0	0	423	97.9
	必要なし	589	12	0	0	0	0	577	98.0
問20. 経管栄養	使用あり	589	20	0	0	0	0	569	96.6
	使用なし	441	2	0	0	0	0	439	99.5
		100.0	0.5	-	-	-	-	0	-
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90	0	0	0	0	0	90	100.0
	障害程度区分1	38	0	0	0	0	0	38	100.0
	障害程度区分2	12	0	0	0	0	0	12	100.0
	障害程度区分3	20	0	0	0	0	0	20	100.0
	障害程度区分4	18	0	0	0	0	0	18	100.0
	障害程度区分5	62	0	0	0	0	0	62	100.0
	障害程度区分6	574	14	0	0	0	0	560	97.6
	無回答・Q24要介護認定者	256	8	0	0	0	0	248	96.9

上段度数 下段-%	問25(障害者自立支援法・個別給付)■就労移行支援支給決定量								
	合計	0日	1日以上 5日未満	5日以上 10日未満	10日以上 15日未満	15日以上 20日未満	20日以上	無回答	
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070	15	0	0	0	0	0	1055	98.6
都市分類	政令指定都市(東京都特別区を含む)	305	6	0	0	0	0	299	98.0
	政令指定都市以外	717	9	0	0	0	0	708	98.7
		100.0	1.3	-	-	-	-	0	-
問18. たんの吸引	必要あり	581	12	0	0	0	0	569	97.9
	必要なし	469	3	0	0	0	0	466	99.4
問19. 呼吸器等	必要あり	432	7	0	0	0	0	425	98.4
	必要なし	589	8	0	0	0	0	581	98.6
問20. 経管栄養	使用あり	589	15	0	0	0	0	574	97.5
	使用なし	441	0	0	0	0	0	441	100.0
		100.0	0	-	-	-	-	0	-
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90	1	0	0	0	0	89	98.9
	障害程度区分1	38	0	0	0	0	0	38	100.0
	障害程度区分2	12	0	0	0	0	0	12	100.0
	障害程度区分3	20	0	0	0	0	0	20	100.0
	障害程度区分4	18	0	0	0	0	0	18	100.0
	障害程度区分5	62	0	0	0	0	0	62	100.0
	障害程度区分6	574	12	0	0	0	0	562	97.9
	無回答・Q24要介護認定者	256	2	0	0	0	0	254	99.2

上段度数 下段-%	問25(障害者自立支援法・個別給付)■就労移行支援希望量								
	合計	0日	1日以上 5日未満	5日以上 10日未満	10日以上 15日未満	15日以上 20日未満	20日以上	無回答	
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070	12	2	0	0	0	1	1055	98.6
都市分類	政令指定都市(東京都特別区を含む)	305	3	0	0	0	0	302	99.0
	政令指定都市以外	717	9	2	0	0	1	705	98.3
		100.0	1.3	0.3	-	-	-	0.1	-
問18. たんの吸引	必要あり	581	10	1	0	0	0	570	98.1
	必要なし	469	2	1	0	0	1	465	99.1
問19. 呼吸器等	必要あり	432	6	1	0	0	1	424	98.1
	必要なし	589	5	1	0	0	0	583	99.0
問20. 経管栄養	使用あり	589	12	1	0	0	1	575	97.6
	使用なし	441	0	1	0	0	0	440	99.8
		100.0	0	0.2	-	-	-	0	-
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90	1	0	0	0	0	89	98.9
	障害程度区分1	38	0	0	0	0	0	38	100.0
	障害程度区分2	12	0	0	0	0	0	12	100.0
	障害程度区分3	20	0	0	0	0	0	20	100.0
	障害程度区分4	18	0	0	0	0	1	17	94.4
	障害程度区分5	62	0	0	0	0	5.6	56.4	91.1
	障害程度区分6	574	9	1	0	0	0	564	98.3
	無回答・Q24要介護認定者	256	2	1	0	0	0	253	98.8

<旧法施設支援（通所）>

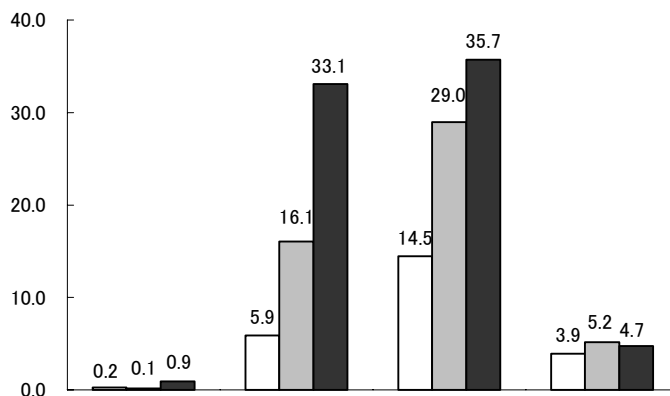
上段度数		問25(障害者自立支援法・個別給付)■旧法施設支援(通所)利用量							
下段-%	合計	0日	1日以上 5日未満	5日以上 10日未満	10日以上 15日未満	15日以上 20日未満	20日以上	無回答	
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070 100.0	17 1.6	9 0.8	7 0.7	2 0.2	2 0.2	11 1.0	1022 95.5	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305 100.0	6 2.0	1 0.3	4 1.3	0 -	1 0.3	6 2.0	287 94.1
	政令指定都市以外	717 100.0	10 1.4	6 0.8	0 -	2 0.3	1 0.1	5 0.7	693 96.7
問18. たんの吸引	必要あり	581 100.0	13 2.2	3 0.5	2 0.3	0 -	2 0.3	3 0.5	558 96.0
	必要なし	469 100.0	4 0.9	6 1.3	5 1.1	2 0.4	0 -	7 1.5	445 94.9
問19. 呼吸器等	必要あり	432 100.0	7 1.6	1 0.2	0 -	0 -	0 -	0 -	424 98.1
	必要なし	589 100.0	9 1.5	7 1.2	6 1.0	1 0.2	2 0.3	9 1.5	555 94.2
問20. 経管栄養	使用あり	589 100.0	15 2.5	4 0.7	1 0.2	0 -	0 -	1 0.2	568 96.4
	使用なし	441 100.0	2 0.5	3 0.7	5 1.1	1 0.2	2 0.5	8 1.8	420 95.2
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	90 100.0
	障害程度区分1	38 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	38 100.0
	障害程度区分2	12 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	12 100.0
	障害程度区分3	20 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	20 100.0
	障害程度区分4	18 100.0	0 -	0 -	1 5.6	0 -	0 -	0 -	17 94.4
	障害程度区分5	62 100.0	1 1.6	0 -	1 1.6	0 -	0 -	0 -	60 96.8
	障害程度区分6	574 100.0	11 1.9	8 1.4	5 0.9	2 0.3	2 0.3	11 1.9	535 93.2
	無回答・Q24要介護認定者	256 100.0	5 2.0	1 0.4	0 -	0 -	0 -	0 -	250 97.7

上段度数		問25(障害者自立支援法・個別給付)■旧法施設支援(通所)支給決定量							
下段-%	合計	0日	1日以上 5日未満	5日以上 10日未満	10日以上 15日未満	15日以上 20日未満	20日以上	無回答	
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070 100.0	11 1.0	4 0.4	7 0.7	1 0.1	2 0.2	13 1.2	1032 96.4	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305 100.0	4 1.3	1 0.3	2 0.7	0 -	2 0.7	7 2.3	289 94.8
	政令指定都市以外	717 100.0	7 1.0	3 0.4	3 0.4	0 -	0 -	6 0.8	698 97.4
問18. たんの吸引	必要あり	581 100.0	9 1.5	3 0.5	3 0.5	0 -	1 0.2	4 0.7	561 96.6
	必要なし	469 100.0	2 0.4	1 0.2	5 1.1	1 0.2	1 0.2	9 1.9	450 95.9
問19. 呼吸器等	必要あり	432 100.0	4 0.9	1 0.2	0 -	0 -	0 -	0 -	427 98.8
	必要なし	589 100.0	7 1.2	3 0.5	7 1.2	1 0.2	2 0.3	11 1.9	558 94.7
問20. 経管栄養	使用あり	589 100.0	11 1.9	2 0.3	3 0.5	1 0.2	1 0.2	1 0.2	570 96.8
	使用なし	441 100.0	0 -	1 0.2	4 0.9	0 -	1 0.2	10 2.3	425 96.4
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	1 1.1	0 -	89 98.9
	障害程度区分1	38 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	38 100.0
	障害程度区分2	12 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	12 100.0
	障害程度区分3	20 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	20 100.0
	障害程度区分4	18 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	18 100.0
	障害程度区分5	62 100.0	0 -	0 -	1 1.6	0 -	0 -	1 1.6	60 96.8
	障害程度区分6	574 100.0	9 1.6	4 0.7	6 1.0	1 0.2	1 0.2	12 2.1	541 94.3
	無回答・Q24要介護認定者	256 100.0	2 0.8	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	254 99.2

上段度数		問25(障害者自立支援法・個別給付)■旧法施設支援(通所)希望量							
下段-%	合計	0日	1日以上 5日未満	5日以上 10日未満	10日以上 15日未満	15日以上 20日未満	20日以上	無回答	
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070 100.0	9 0.8	5 0.5	7 0.7	1 0.1	2 0.2	5 0.5	1041 97.3	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305 100.0	1 0.3	1 0.3	3 1.0	0 -	2 0.7	3 1.0	295 96.7
	政令指定都市以外	717 100.0	8 1.1	4 0.6	1 0.1	1 0.1	0 -	2 0.3	701 97.8
問18. たんの吸引	必要あり	581 100.0	7 1.2	3 0.5	3 0.5	0 -	1 0.2	2 0.3	565 97.2
	必要なし	469 100.0	2 0.4	2 0.4	4 0.9	1 0.2	1 0.2	3 0.6	456 97.2
問19. 呼吸器等	必要あり	432 100.0	4 0.9	1 0.2	0 -	0 -	0 -	0 -	427 98.8
	必要なし	589 100.0	3 0.5	4 0.7	7 1.2	1 0.2	2 0.3	5 0.8	567 96.3
問20. 経管栄養	使用あり	589 100.0	8 1.4	2 0.3	3 0.5	0 -	1 0.2	1 0.2	574 97.5
	使用なし	441 100.0	0 -	2 0.5	4 0.9	1 0.2	1 0.2	4 0.9	429 97.3
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90 100.0	0 -	0 -	1 1.1	0 -	1 1.1	0 -	88 97.8
	障害程度区分1	38 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	38 100.0
	障害程度区分2	12 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	12 100.0
	障害程度区分3	20 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	20 100.0
	障害程度区分4	18 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	18 100.0
	障害程度区分5	62 100.0	0 -	0 -	1 1.6	0 -	0 -	1 1.6	60 96.8
	障害程度区分6	574 100.0	6 1.0	5 0.9	5 0.9	1 0.2	1 0.2	4 0.7	552 96.2
	無回答・Q24要介護認定者	256 100.0	3 1.2	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	253 98.8

②障害者自立支援法の地域生活支援事業によるサービス

障害者自立支援法による地域生活支援事業のサービスの利用状況をみると、コミュニケーション支援事業の利用量が支給決定量を下回っており、支給決定量の2倍の希望量となっている。また、移動支援事業も同様に利用量が支給決定量を下回っており、支給決定量も希望する量には達していない。



障害者自立支援法によるサービス (地域生活支援事業)	相談支援事業	コミュニケーション支援事業	移動支援事業	地域活動支援センター
	回	時間	時間	日
サービス量の平均	0.2	5.9	14.5	3.9
支給決定量を100%とした場合のサービス量の割合	(181%)	(36.8%)	(49.9%)	(75.6%)
支給決定量	0.1	16.1	29.0	5.2
希望する量	0.9	33.1	35.7	4.7
支給決定量を100%とした場合の希望量の割合	(700.6%)	(206.1%)	(123.3%)	(91.7%)
利用者数(人)	29	33	126	31

問25.【障害・地域】■相談支援事業

No.	カテゴリ	利用量		支給決定量		希望量	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	0回	28	1.9	15	1.0	9	0.6
2	1回	4	0.3	2		9	0.6
3	2回	0	0.0			3	0.2
4	3回以上	1	0.1	0	0.1	1	0.1
	無回答	1449	97.8	1465	98.9	1460	98.5
	N (%へース)	1482	100	1482	100	1482	100

問25.【障害・地域】■コミュニケーション支援事業

No.	カテゴリ	利用量		支給決定量		希望量	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	1時間未満	27	1.8	16	1.1	8	0.5
2	1時間以上5時間未満	2	0.1	1	0.1	8	0.5
3	5時間以上10時間未満	0	0.0	0	0.0	2	0.1
4	10時間以上30時間未満	2	0.1	0	0.0	0	0.0
5	30時間以上50時間未満	1	0.1	1	0.1	1	0.1
6	50時間以上	1	0.1	3	0.2	6	0.4
	無回答	1449	97.8	1461	98.6	1457	98.3
	N (%へース)	1482	100	1482	100	1482	100

問25.【障害・地域】■移動支援事業

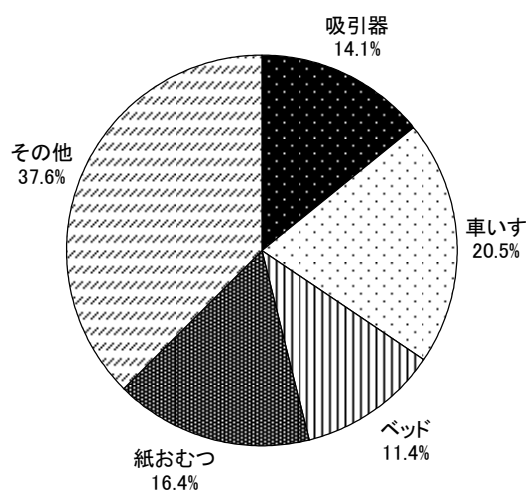
No.	カテゴリ	利用量		支給決定量		希望量	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	1時間未満	43	2.9	22	1.5	12	0.8
2	1時間以上5時間未満	13	0.9	2	0.1	2	0.1
3	5時間以上10時間未満	12	0.8	10	0.7	13	0.9
4	10時間以上30時間未満	44	3.0	55	3.7	27	1.8
5	30時間以上50時間未満	14	0.9	37	2.5	18	1.2
6	50時間以上	7	0.5	22	1.5	22	1.5
	無回答	1349	91.0	1334	90.0	1388	93.7
	N (%へース)	1482	100	1482	100	1482	100

問25.【障害・地域】■地域活動支援センター

No.	カテゴリ	利用量		支給決定量		希望量	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	0日	20	1.3	15	1.0	7	0.5
2	1日以上5日未満	3	0.2	2	0.1	7	0.5
3	5日以上10日未満	2	0.1	4	0.3	2	0.1
4	10日以上15日未満	4	0.3	2	0.1	2	0.1
5	15日以上	3	0.2	4	0.3	2	0.1
	無回答	1450	97.8	1455	98.2	1462	98.7
	N (%ベース)	1482	100	1482	100	1482	100

日常生活用具等給付事業の品目

日常生活用具等給付品目では、医療機器や車いす、紙おむつなどが多くあげられた。



問25. 日常生活用具等給付事業の品目

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	吸引器	42	14.1
2	車いす	61	20.5
3	ベッド	34	11.4
4	紙おむつ	49	16.4
5	その他	112	37.6

地域生活支援事業のその他 回答

	地域生活支援事業 その他サービス	利用量	支給決定量	希望する量
1	A型通園	6日	-	-
2	タイムステイ	-	-	8
3	デイサービス事業	週3日	週3日	週3日
4	リハビリ(言語・運動・呼吸)	週1回1時間	-	-
5	岐阜県羽鳥ボランティアセンター協会障害者生活支援センター	-	-	-
6	荒川区るすばん看護事業	-	2回/月、1回2時間	9
7	重度心身障害児・者デイサービスセンター	週2回6時間	-	-
8	重度訪問介護	-	-	-
9	障害者等日中一時支援事業	7日	10日/月	10日
10	障害者入浴サービス	4回	4回	-
11	身体障害者デイサービスセンター	-	5	7
12	短期入所	-	5日/月	-

第三章 訪問系サービス利用者におけるサービス利用状況等に関する実態調査結果

13	地域生活支援事業	15日	-	20日
14	通学支援	5回	5回	5回
15	通所授産	-	-	-
16	通所入浴	4	-	-
17	電動車椅子	-	-	-
18	登録者介助	5時間	-	-
19	日帰りショートステイ	3日	3日	4日
20	日常生活支援	300時間	300時間	350時間
21	日中一時	6日/1回	-	-
22	日中一時	-	10日	10日
23	日中一時支援	-	-	-
24	日中一時支援	1日1回3時間	180時間	-
25	日中一時支援	5日/月	5日/月	5日/月
26	日中一時支援	-	7日	-
27	日中一時支援	-	14時間	14時間
28	日中一時支援	-	14	-
29	日中一時支援	4日	8日	8日
30	日中一時支援	-	12日	-
31	日中一時支援	0	5日	5日
32	日中一時支援	5時間/月/回	-	-
33	日中一時支援	1日	3日	3日
34	日中一時支援	-	7日/月	-
35	日中一時支援	0	10	10
36	日中一時支援	-	-	14
37	日中一時支援	6日	24日	-
38	日中一時支援	-	12単位/月	-
39	日中一時支援	3日	10日	10日
40	日中一時支援	2日/月	-	4日/月
41	日中一時支援	7日	7日	-
42	日中一時支援	7	14	14
43	日中一時支援	0	20日	20日
44	日中一時支援	87.5時間	上限なし	上限なし
45	日中一時支援	3	30時間	-
46	日中一時支援(日帰りショート)	2日	2日	-
47	日中一時支援A型事業	0	36回	10回
48	日中一時支援I型	3日	15日/月	15日/日
49	日中一時支援事業	1日	13日	13日
50	日中一時支援事業	0日	22日	22日
51	日中一時支援事業	2.5回	5回	5回
52	日中一時支援事業	0	5日	5日
53	日中一時支援事業	8時間	10時間	15時間
54	日中一時支援事業、入浴サービス	1回/週	1回/週	-
55	日中一時支援等事業	5日	7日	7日
56	日中一時預かり	0日	10日	-
57	入院時なれたヘルパーの介護が必要	-	-	-
58	入浴	1時間7日1回	1時間7日1回	週2回~3回
59	入浴	週1回	-	-
60	飛騨うりす苑	-	-	-
61	福祉タクシー乗車券	2回	-	-
62	補助具・車椅子	-	-	-
63	訪問入浴	月10回	月10回	月14回
64	訪問入浴	2	1日/週	2

65	訪問入浴	9回	10回	-
66	訪問入浴	月3回1回1時間	月3回1回1時間	週1回1時間
67	訪問入浴	3回／週	3回／週	3回／週
68	訪問入浴	5回	5回	5回
69	訪問入浴	-	-	-
70	訪問入浴サービス	1回	-	-
71	訪問入浴サービス	4回	4回	4回
72	訪問入浴サービス	0	0	17日
73	訪問入浴サービス	10回	-	10回
74	訪問入浴サービス	週2回	週2回	週3回

<相談支援事業>

上段:度数 下段:%		問25(障害者自立支援法・地球生活支援事業)■相談支援事業利用量					
		合計	0回	1回	2回	3回以上	無回答
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)		1070 100.0	22 2.1	4 0.4	0 0.0	1 0.1	1043 97.5
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305 100.0	6 2.0	0 -	0 -	0 -	299 98.0
	政令指定都市以外	717 100.0	13 1.8	3 0.4	0 -	1 0.1	700 97.6
問18. たんの吸引	必要あり	581 100.0	18 3.1	3 0.5	0 -	1 0.2	559 96.2
	必要なし	469 100.0	4 0.9	1 0.2	0 -	0 -	464 98.9
問19. 呼吸器等	必要あり	432 100.0	9 2.1	2 0.5	0 -	0 -	421 97.5
	必要なし	589 100.0	12 2.0	2 0.3	0 -	1 0.2	574 97.5
問20. 経管栄養	使用あり	589 100.0	19 3.2	3 0.5	0 -	1 0.2	566 96.1
	使用なし	441 100.0	3 0.7	1 0.2	0 -	0 -	437 99.1
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90 100.0	1 1.1	0 -	0 -	0 -	89 98.9
	障害程度区分1	38 100.0	0 -	2 5.3	0 -	0 -	36 94.7
	障害程度区分2	12 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	12 100.0
	障害程度区分3	20 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	20 100.0
	障害程度区分4	18 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	18 100.0
	障害程度区分5	62 100.0	1 1.6	0 -	0 -	0 -	61 98.4
	障害程度区分6	574 100.0	16 2.8	2 0.3	0 -	1 0.2	555 96.7
	無回答・Q24要介護認定者	256 100.0	4 1.6	0 -	0 -	0 -	252 98.4

上段:度数 下段:%		問25(障害者自立支援法・地球生活支援事業)■相談支援事業支給決定量					
		合計	0回	1回	2回	3回以上	無回答
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)		1070 100.0	12 1.1	2 0.2	0 0.0	0 0.0	1056 98.7
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305 100.0	5 1.6	0 -	0 -	0 -	300 98.4
	政令指定都市以外	717 100.0	7 1.0	1 0.1	0 -	0 -	709 98.9
問18. たんの吸引	必要あり	581 100.0	9 1.5	1 0.2	0 -	0 -	571 98.3
	必要なし	469 100.0	3 0.6	1 0.2	0 -	0 -	465 99.1
問19. 呼吸器等	必要あり	432 100.0	3 0.7	0 -	0 -	0 -	429 99.3
	必要なし	589 100.0	9 1.5	2 0.3	0 -	0 -	578 98.1
問20. 経管栄養	使用あり	589 100.0	11 1.9	1 0.2	0 -	0 -	577 98.0
	使用なし	441 100.0	1 0.2	1 0.2	0 -	0 -	439 99.5
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90 100.0	1 1.1	0 -	0 -	0 -	89 98.9
	障害程度区分1	38 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	38 100.0
	障害程度区分2	12 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	12 100.0
	障害程度区分3	20 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	20 100.0
	障害程度区分4	18 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	18 100.0
	障害程度区分5	62 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	62 100.0
	障害程度区分6	574 100.0	10 1.7	2 0.3	0 -	0 -	562 97.9
	無回答・Q24要介護認定者	256 100.0	1 0.4	0 -	0 -	0 -	255 99.6

上段:度数 下段:%		問25(障害者自立支援法・地球生活支援事業)■相談支援事業希望量					
		合計	0回	1回	2回	3回以上	無回答
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)		1069 100.0	5 0.5	8 0.7	2 0.2	0 0.0	1054 98.6
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305 100.0	3 1.0	0 -	0 -	0 -	302 99.0
	政令指定都市以外	716 100.0	2 0.3	6 0.8	2 0.3	0 -	706 98.6
問18. たんの吸引	必要あり	580 100.0	5 0.9	5 0.9	2 0.3	0 -	568 97.9
	必要なし	469 100.0	0 -	3 0.6	0 -	0 -	466 99.4
問19. 呼吸器等	必要あり	432 100.0	3 0.7	1 0.2	1 0.2	0 -	427 98.8
	必要なし	588 100.0	2 0.3	7 1.2	0 -	0 -	579 98.5
問20. 経管栄養	使用あり	588 100.0	5 0.9	5 0.9	2 0.3	0 -	576 98.0
	使用なし	441 100.0	0 -	3 0.7	0 -	0 -	438 99.3
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	90 100.0
	障害程度区分1	38 100.0	0 -	1 2.6	0 -	0 -	37 97.4
	障害程度区分2	12 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	12 100.0
	障害程度区分3	20 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	20 100.0
	障害程度区分4	18 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	18 100.0
	障害程度区分5	62 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	62 100.0
	障害程度区分6	573 100.0	5 0.9	7 1.2	0 -	0 -	561 97.9
	無回答・Q24要介護認定者	256 100.0	0 -	0 -	2 0.8	0 -	254 99.2

<コミュニケーション支援事業>

上段度数 下段-%	問25【障害者自立支援法・地域生活支援事業】■コミュニケーション支援事業利用量								
	合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 30時間未満	30時間以上 50時間未満	50時間以上	無回答	
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070 100.0	25 2.3	1 0.1	0 0.0	2 0.2	1 0.1	1 0.1	1040 97.2	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305 100.0	7 2.3	0 -	0 -	2 0.7	1 0.3	0 -	295 96.7
	政令指定都市以外	717 100.0	16 2.2	1 0.1	0 -	0 -	0 -	699 97.5	
問18. たんの吸引	必要あり	581 100.0	20 3.4	1 0.2	0 -	2 0.3	0 -	1 0.2	557 95.9
	必要なし	469 100.0	5 1.1	0 -	0 -	0 -	1 0.2	0 -	463 98.7
問19. 呼吸器等	必要あり	432 100.0	10 2.3	1 0.2	0 -	2 0.5	0 -	1 0.2	418 96.8
	必要なし	589 100.0	14 2.4	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	575 97.6
問20. 経管栄養	使用あり	589 100.0	21 3.6	1 0.2	0 -	2 0.3	0 -	1 0.2	564 95.8
	使用なし	441 100.0	4 0.9	0 -	0 -	0 -	1 0.2	0 -	436 98.9
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90 100.0	1 1.1	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	89 98.9
	障害程度区分1	38 100.0	0 -	1 2.6	0 -	0 -	0 -	0 -	37 97.4
	障害程度区分2	12 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	12 100.0
	障害程度区分3	20 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	20 100.0
	障害程度区分4	18 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	18 100.0
	障害程度区分5	62 100.0	1 1.6	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	61 98.4
	障害程度区分6	574 100.0	19 3.3	0 -	0 -	2 0.3	1 0.2	1 0.2	551 96.0
	無回答・Q24要介護認定者	256 100.0	4 1.6	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	252 98.4

上段度数 下段-%	問25【障害者自立支援法・地域生活支援事業】■コミュニケーション支援事業支給決定量								
	合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 30時間未満	30時間以上 50時間未満	50時間以上	無回答	
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070 100.0	14 1.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.1	3 0.3	1052 98.3	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305 100.0	5 1.6	0 -	0 -	0 -	2 0.7	2 -	298 97.7
	政令指定都市以外	717 100.0	9 1.3	0 -	0 -	0 -	1 0.1	1 0.1	706 98.5
問18. たんの吸引	必要あり	581 100.0	10 1.7	0 -	0 -	0 -	1 0.2	3 0.5	567 97.6
	必要なし	469 100.0	4 0.9	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	465 99.1
問19. 呼吸器等	必要あり	432 100.0	4 0.9	0 -	0 -	0 -	1 0.2	2 0.5	425 98.4
	必要なし	589 100.0	10 1.7	0 -	0 -	0 -	0 -	1 0.2	578 98.1
問20. 経管栄養	使用あり	589 100.0	12 2.0	0 -	0 -	0 -	1 0.2	3 0.5	573 97.3
	使用なし	441 100.0	2 0.5	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	439 99.5
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90 100.0	1 1.1	0 -	0 -	0 -	1 1.1	0 -	88 97.8
	障害程度区分1	38 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	38 100.0
	障害程度区分2	12 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	12 100.0
	障害程度区分3	20 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	20 100.0
	障害程度区分4	18 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	18 100.0
	障害程度区分5	62 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	62 100.0
	障害程度区分6	574 100.0	12 2.1	0 -	0 -	0 -	0 -	3 0.5	559 97.4
	無回答・Q24要介護認定者	256 100.0	1 0.4	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	255 99.6

上段度数 下段-%	問25【障害者自立支援法・地域生活支援事業】■コミュニケーション支援事業希望量								
	合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 30時間未満	30時間以上 50時間未満	50時間以上	無回答	
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070 100.0	5 0.5	5 0.5	2 0.2	0 0.0	1 0.1	6 0.6	1051 98.2	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305 100.0	3 1.0	0 -	0 -	0 -	2 0.7	2 -	300 98.4
	政令指定都市以外	717 100.0	2 0.3	5 0.7	2 0.3	0 -	1 0.1	4 0.6	703 98.0
問18. たんの吸引	必要あり	581 100.0	5 0.9	4 0.7	1 0.2	0 -	1 0.2	4 0.7	566 97.4
	必要なし	469 100.0	0 -	1 0.2	1 0.2	0 -	0 -	2 0.4	465 99.1
問19. 呼吸器等	必要あり	432 100.0	3 0.7	2 0.5	1 0.2	0 -	0 -	3 0.7	423 97.9
	必要なし	589 100.0	2 0.3	2 0.3	1 0.2	0 -	1 0.2	2 0.3	581 98.6
問20. 経管栄養	使用あり	589 100.0	5 0.8	4 0.7	1 0.2	0 -	1 0.2	4 0.7	574 97.5
	使用なし	441 100.0	0 -	1 0.2	1 0.2	0 -	2 0.5	2 0.5	437 99.1
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90 100.0	0 -	0 -	1 1.1	0 -	0 -	0 -	89 98.9
	障害程度区分1	38 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	38 100.0
	障害程度区分2	12 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	12 100.0
	障害程度区分3	20 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	20 100.0
	障害程度区分4	18 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	18 100.0
	障害程度区分5	62 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	62 100.0
	障害程度区分6	574 100.0	5 0.9	3 0.5	1 0.2	0 -	1 0.2	6 1.0	558 97.2
	無回答・Q24要介護認定者	256 100.0	0 -	2 0.8	0 -	0 -	0 -	0 -	254 99.2

<地域活動支援センター>

上段:度数		問25【障害者自立支援法・地域生活支援事業】■地域活動支援センター利用率						
下段:%	合計	0日	1日以上 5日未満	5日以上 10日未満	10日以上 15日未満	15日以上	無回答	
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070 100.0	17 1.6	3 0.3	2 0.2	4 0.4	3 0.3	1041 97.3	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305 100.0	5 1.6	0 -	0 -	1 0.3	1 0.3	298 97.7
	政令指定都市以外	717 100.0	11 1.5	3 0.4	2 0.3	3 0.4	2 0.3	696 97.1
問18. たんの吸引	必要あり	581 100.0	15 2.6	1 0.2	1 0.2	0 -	1 0.2	563 96.9
	必要なし	469 100.0	2 0.4	2 0.4	1 0.2	4 0.9	2 0.4	458 97.7
問19. 呼吸器等	必要あり	432 100.0	6 1.4	0 -	1 0.2	0 -	0 -	425 98.4
	必要なし	589 100.0	10 1.7	2 0.3	1 0.2	3 0.5	3 0.5	570 96.8
問20. 経管栄養	使用あり	589 100.0	16 2.7	1 0.2	1 0.2	0 -	0 -	571 96.9
	使用なし	441 100.0	1 0.2	2 0.5	1 0.2	3 0.7	3 0.7	431 97.7
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	90 100.0
	障害程度区分1	38 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	38 100.0
	障害程度区分2	12 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	12 100.0
	障害程度区分3	20 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	20 100.0
	障害程度区分4	18 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	18 100.0
	障害程度区分5	62 100.0	0 -	0 -	0 -	1 1.6	0 -	61 98.4
	障害程度区分6	574 100.0	13 2.3	3 0.5	2 0.3	3 0.5	3 0.5	550 95.8
	無回答・Q24要介護認定者	256 100.0	4 1.6	0 -	0 -	0 -	0 -	252 98.4

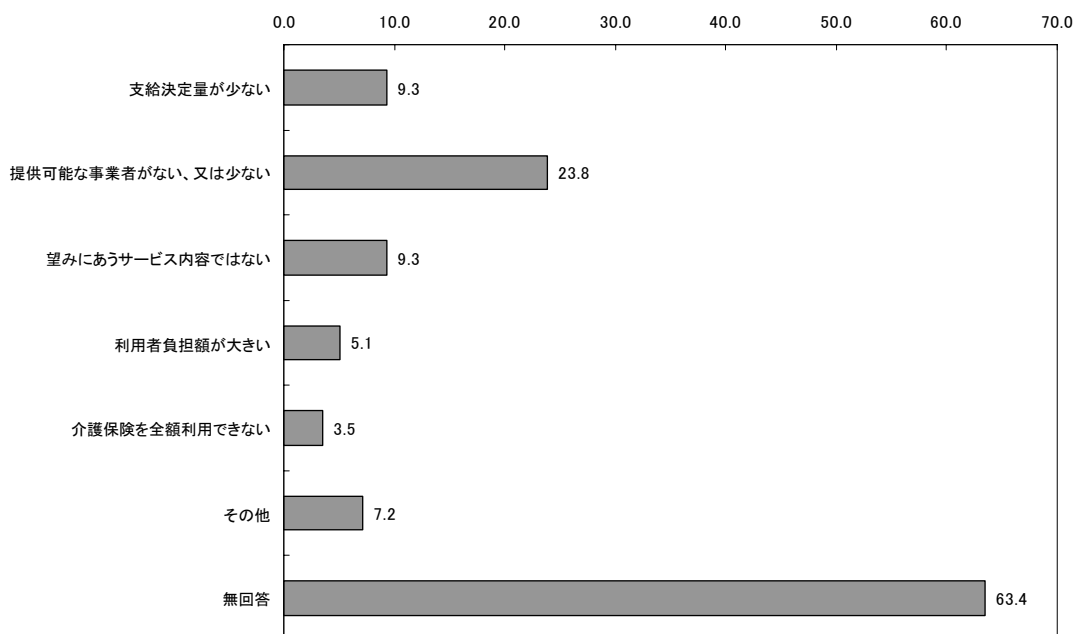
上段:度数		問25【障害者自立支援法・地域生活支援事業】■地域活動支援センター支給決定率						
下段:%	合計	0日	1日以上 5日未満	5日以上 10日未満	10日以上 15日未満	15日以上	無回答	
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070 100.0	12 1.1	2 0.2	4 0.4	2 0.2	3 0.3	1047 97.9	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305 100.0	5 1.6	0 -	3 1.0	1 0.3	0 -	296 97.0
	政令指定都市以外	717 100.0	7 1.0	2 0.3	1 0.1	1 0.1	3 0.4	703 98.0
問18. たんの吸引	必要あり	581 100.0	8 1.4	0 -	0 -	0 -	1 0.2	572 98.5
	必要なし	469 100.0	4 0.9	2 0.4	3 0.6	2 0.4	2 0.4	456 97.2
問19. 呼吸器等	必要あり	432 100.0	3 0.7	0 -	0 -	0 -	0 -	429 99.3
	必要なし	589 100.0	8 1.4	2 0.3	3 0.5	2 0.3	2 0.3	572 97.1
問20. 経管栄養	使用あり	589 100.0	10 1.7	0 -	0 -	0 -	1 0.2	578 98.1
	使用なし	441 100.0	1 0.2	2 0.5	3 0.7	2 0.5	2 0.5	431 97.7
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	89 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	89 100.0
	障害程度区分1	38 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	38 100.0
	障害程度区分2	12 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	12 100.0
	障害程度区分3	20 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	20 100.0
	障害程度区分4	18 100.0	0 -	0 -	1 5.6	0 -	0 -	17 94.4
	障害程度区分5	62 100.0	0 -	0 -	0 -	1 1.6	0 -	61 98.4
	障害程度区分6	574 100.0	10 1.7	2 0.3	3 0.5	1 0.2	3 0.5	555 96.7
	無回答・Q24要介護認定者	256 100.0	1 0.4	0 -	0 -	0 -	0 -	255 99.6

上段:度数		問25【障害者自立支援法・地域生活支援事業】■地域活動支援センター希望率						
下段:%	合計	0日	1日以上 5日未満	5日以上 10日未満	10日以上 15日未満	15日以上	無回答	
全体(Q23障害程度区分回答者・Q24要介護認定者)	1070 100.0	5 0.5	6 0.6	2 0.2	2 0.2	2 0.2	1053 98.4	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	305 100.0	3 1.0	0 -	0 -	1 0.3	0 -	301 98.7
	政令指定都市以外	717 100.0	2 0.3	6 0.8	2 0.3	1 0.1	2 0.3	704 98.2
問18. たんの吸引	必要あり	581 100.0	5 0.9	3 0.5	1 0.2	0 -	0 -	572 98.5
	必要なし	469 100.0	0 -	3 0.6	1 0.2	2 0.4	2 0.4	461 98.3
問19. 呼吸器等	必要あり	432 100.0	3 0.7	1 0.2	1 0.2	0 -	0 -	427 98.8
	必要なし	589 100.0	2 0.3	4 0.7	1 0.2	2 0.3	2 0.3	578 98.1
問20. 経管栄養	使用あり	589 100.0	5 0.8	3 0.5	1 0.2	0 -	0 -	580 98.5
	使用なし	441 100.0	0 -	3 0.7	1 0.2	2 0.5	2 0.5	433 98.2
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	90 100.0
	障害程度区分1	38 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	38 100.0
	障害程度区分2	12 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	12 100.0
	障害程度区分3	20 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	20 100.0
	障害程度区分4	18 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	18 100.0
	障害程度区分5	62 100.0	0 -	0 -	0 -	1 1.6	0 -	61 98.4
	障害程度区分6	574 100.0	5 0.9	4 0.7	2 0.3	1 0.2	2 0.3	560 97.6
	無回答・Q24要介護認定者	256 100.0	0 -	2 0.8	0 -	0 -	0 -	254 99.2

③障害者自立支援法によるサービスの阻害要因

a. 阻害要因

障害者自立支援法によるサービスの使いたいが使えない理由では、「提供可能な事業者がない又は少ない」が最も多く 23.8%となった。次いで、「支給決定量が少ない」が 9.3%となっている。



問25. 障害者自立支援法サービスの利用阻害要因 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	支給決定量が少ない	138	9.3
2	提供可能な事業者がない、又は少ない	352	23.8
3	望みにあうサービス内容ではない	138	9.3
4	利用者負担額が大きい	76	5.1
5	介護保険を全額利用できない	52	3.5
6	その他	107	7.2
	無回答	939	63.4
	N (%ベース)	1482	100

上段:度数		問25-20-1-1. 障害者自立支援法サービスの利用阻害要因							
下段:%		合計	支給決定量が少ない	提供可能な事業者がない、又は少ない	望みにあうサービス内容ではない	利用者負担額が大きい	介護保険を全額利用できない	その他	無回答
全体		1482	138	352	138	76	52	107	939
		100.0	9.3	23.8	9.3	5.1	3.5	7.2	63.4
問4. 住まい	在宅	1228	127	327	131	66	46	90	734
		100.0	10.3	26.6	10.7	5.4	3.7	7.3	59.8
	在宅以外	238	9	23	7	10	6	16	193
		100.0	3.8	9.7	2.9	4.2	2.5	6.7	81.1
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症 (ALS)	733	72	128	38	42	46	52	498
		100.0	9.8	17.5	5.2	5.7	6.3	7.1	67.9
	脊髄損傷	145	18	29	17	7	3	10	98
		100.0	12.4	20.0	11.7	4.8	2.1	6.9	67.6
	遷延性意識障害	192	20	63	27	7	1	13	110
		100.0	10.4	32.8	14.1	3.6	0.5	6.8	57.3
	重症心身障害児・者	430	27	137	56	19	3	35	246
		100.0	6.3	31.9	13.0	4.4	0.7	8.1	57.2
	その他	70	9	23	9	3	1	6	36
	100.0	12.9	32.9	12.9	4.3	1.4	8.6	51.4	

問25. 障害者自立支援法サービスの利用阻害要因その他

No.	カテゴリ	件数
1	制度、サービス内容がわからない	20
2	現状で十分である	8
3	現在検討中、申請中である	4
4	本人が希望しないため	3
5	入院中のため	9
6	その他	10

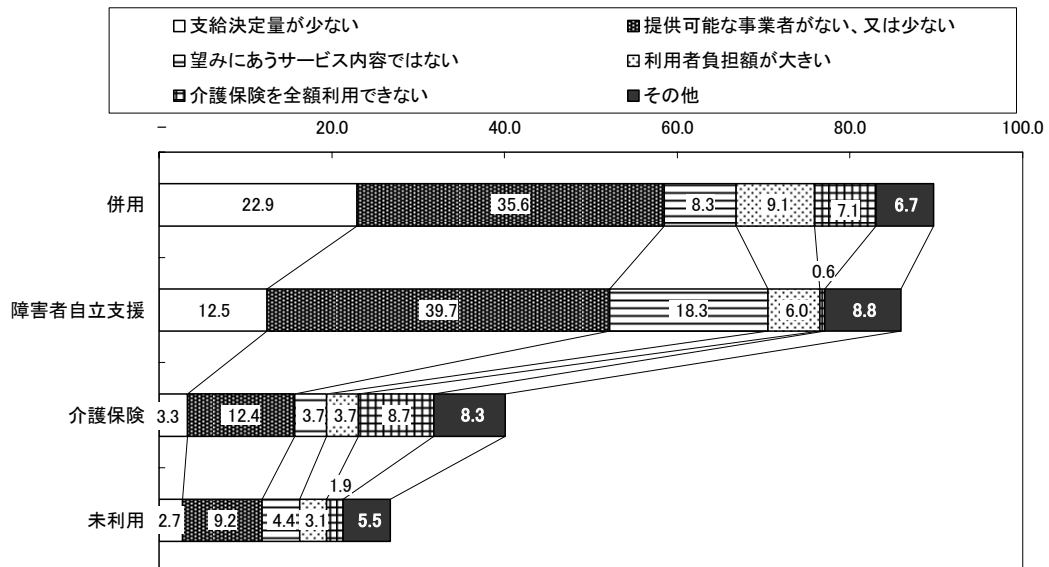
b. 阻害要因（利用種別、都市種別）

阻害要因を単独利用者・併用利用者において集計をした結果が以下のとおりである。

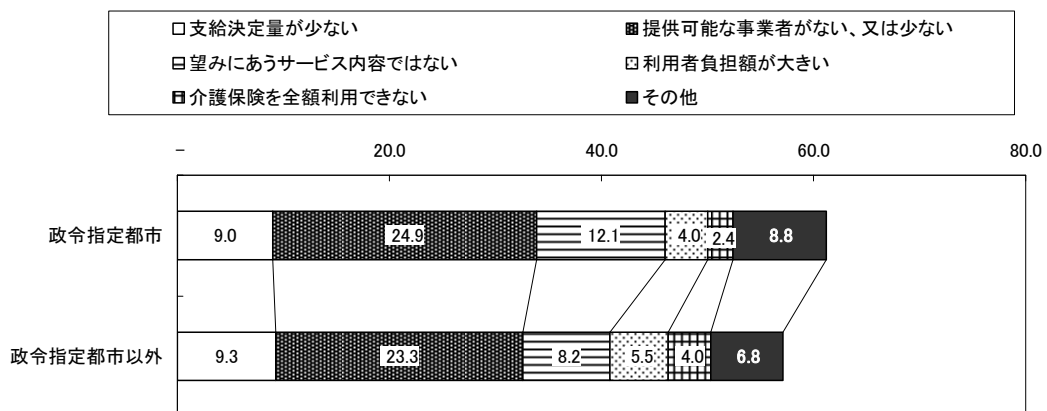
利用種別にみても、それぞれ最も多かったのは、「提供可能な事業者がない、又は少ない」という結果となった。

また、都市種別にみても、最も多かったのは「提供可能な事業者がない、又は少ない」という結果となった。政令指定都市での「望みにあうサービス内容ではない」の割合が高い。

問25. 障害者自立支援法サービスの阻害要因(利用種別)



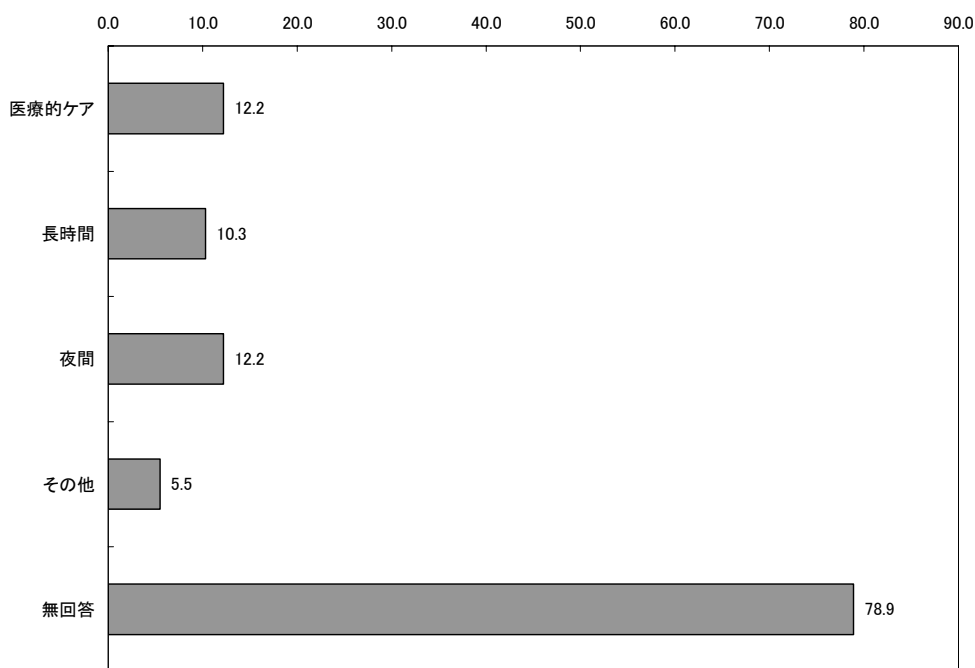
問25. 障害者自立支援法サービスの阻害要因(都市種別)



上段:度数		問25-20-1-1. 障害者自立支援法サービスの利用阻害要因							
下段:%		合計	支給決定量が少ない	提供可能な事業者がない、又は少ない	望みにあうサービス内容ではない	利用者負担額が大きい	介護保険を全額利用できない	その他	無回答
全体		1482	138	352	138	76	52	107	939
		100.0	9.3	23.8	9.3	5.1	3.5	7.2	63.4
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	422	38	105	51	17	10	37	253
	政令指定都市以外	100.0	9.0	24.9	12.1	4.0	2.4	8.8	60.0
問25. 利用している保険種	併用	253	58	90	21	23	18	17	121
		100.0	22.9	35.6	8.3	9.1	7.1	6.7	47.8
	障害者自立支援	464	58	184	85	28	3	41	212
		100.0	12.5	39.7	18.3	6.0	0.6	8.8	45.7
	介護保険	241	8	30	9	9	21	20	173
	100.0	3.3	12.4	3.7	3.7	8.7	8.3	71.8	
	未利用	524	14	48	23	16	10	29	433
		100.0	2.7	9.2	4.4	3.1	1.9	5.5	82.6

c. 提供可能な事業者がない又は少ないの詳細理由

最も多かった「提供可能な事業者がない又は少ない」をみると、医療的ケア・長時間・夜間とも同程度の傾向がみられた。その他の理由として、短期入所施設が不足していることや事業者の人手不足などが多くあげられた。



問25. 阻害要因<2.提供可能な事業者がない、又は少ない(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	医療的ケア	181	12.2
2	長時間	152	10.3
3	夜間	181	12.2
4	その他	82	5.5
	無回答	1170	78.9
	N (%ベース)	1482	100

上段:度数 下段:%		問25-20-2-1. 阻害要因<2.提供可能な事業者がない、又は少ない>					
		合計	医療的ケア	長時間	夜間	その他	無回答
全体		1482 100.0	181 12.2	152 10.3	181 12.2	82 5.5	1170 78.9
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症 (ALS)	63 8.6	67 9.1	86 11.7	23 3.1	618 84.3	733 100.0
	脊髄損傷	15 10.3	18 12.4	24 16.6	5 3.4	117 80.7	145 100.0
	遷延性意識障害	30 15.6	26 13.5	31 16.1	17 8.9	136 70.8	192 100.0
	重症心身障害児・者	75 17.4	47 10.9	50 11.6	37 8.6	311 72.3	430 100.0
	その他	14 20.0	3 4.3	1 1.4	7 10.0	51 72.9	70 100.0

d. 提供可能な事業者がない又は少ないの詳細理由（利用種別、都市種別）

単独利用者・併用利用者において集計をした結果が以下のとおりである。

「自立支援・介護保険併用」で最も多いのは、「夜間（23.3%）」。

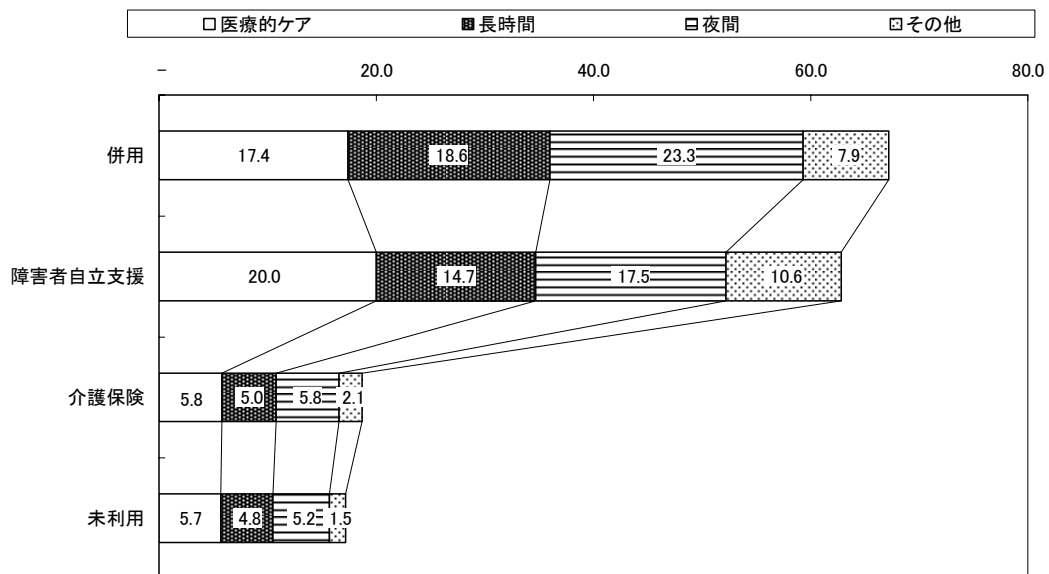
「自立支援単独」で最も多いのは「医療的ケア（20.0%）」。

「介護保険単独」で最も多いのは「医療的ケア（5.8%）」、「夜間（5.8%）」。

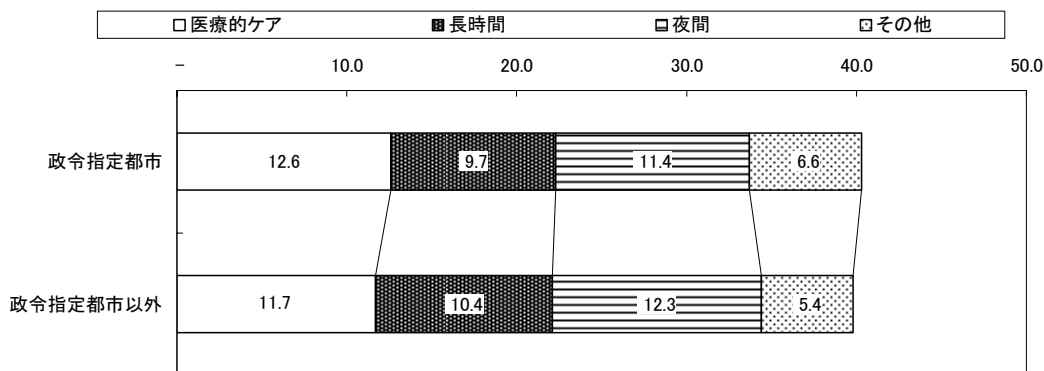
「未利用」では「医療的ケア（5.7%）」が最も多い結果となった。

都市種別では、大きな差は見られなかった。

問25. 障害者自立支援法サービスの阻害要因の事業者詳細理由



問25. 障害者自立支援法サービスの阻害要因の事業者詳細理由(都市種別)



e. 提供可能な事業者がない又は少ないの詳細理由(医療的ケア必要性別)

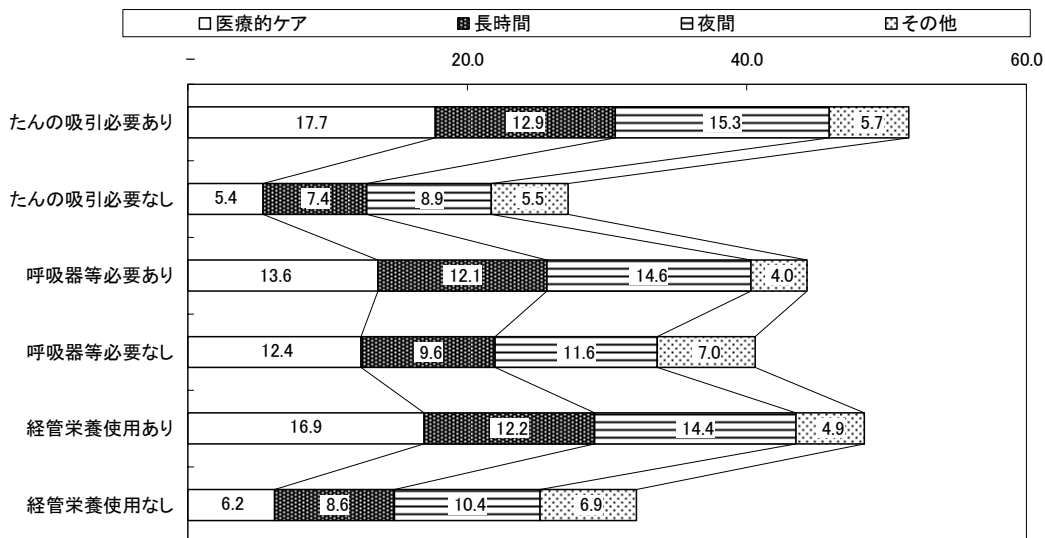
医療的ケアの必要性別に集計をした結果が以下のとおりである。

「たんの吸引必要あり」で最も多いのは、「医療的ケア (17.7%)」、次いで「夜間 (15.3%)」。

「呼吸器等必要あり」で最も多いのは「夜間 (14.6%)」、次いで「医療的ケア (13.6%)」。

「栄養経管必要あり」では「医療的ケア (16.9%)」、次いで「夜間 (14.4%)」が最も多い結果となった。

問25. 障害者自立支援法サービスの阻害要因の事業者詳細理由(医ケア)

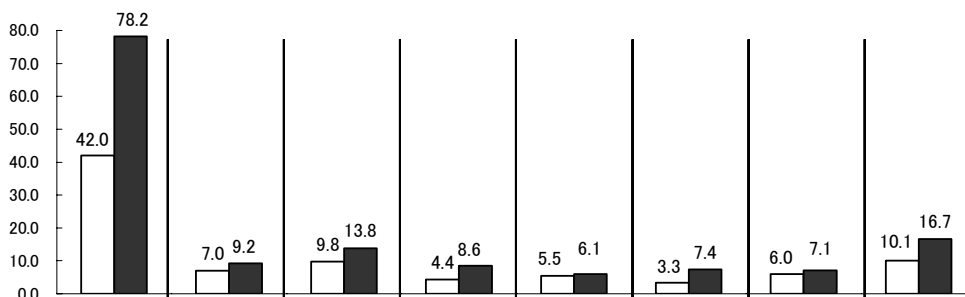


上段:度数 下段:%		問25-20-2-1. 阻害要因<2.提供可能な事業者がない、又は少ない>					
		合計	医療的ケア	長時間	夜間	その他	無回答
全体		1482 100.0	181 12.2	152 10.3	181 12.2	82 5.5	1170 78.9
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	422 100.0	53 12.6	41 9.7	48 11.4	28 6.6	329 78.0
	政令指定都市以外	980 100.0	115 11.7	102 10.4	121 12.3	53 5.4	778 79.4
問25. 受けている保険種	併用	253 100.0	44 17.4	47 18.6	59 23.3	20 7.9	173 68.4
	障害者自立支援	464 100.0	93 20.0	68 14.7	81 17.5	49 10.6	302 65.1
	介護保険	241 100.0	14 5.8	12 5.0	14 5.8	5 2.1	215 89.2
	未利用	524 100.0	30 5.7	25 4.8	27 5.2	8 1.5	480 91.6
問18. たんの吸引	必要あり	835 100.0	148 17.7	108 12.9	128 15.3	48 5.7	618 74.0
	必要なし	596 100.0	32 5.4	44 7.4	53 8.9	33 5.5	502 84.2
問19. 呼吸器等	必要あり	597 100.0	81 13.6	72 12.1	87 14.6	24 4.0	465 77.9
	必要なし	790 100.0	98 12.4	76 9.6	92 11.6	55 7.0	616 78.0
問20. 経管栄養	使用あり	852 100.0	144 16.9	104 12.2	123 14.4	42 4.9	640 75.1
	使用なし	549 100.0	34 6.2	47 8.6	57 10.4	38 6.9	453 82.5

④介護保険によるサービス

介護保険によるサービスの利用量・希望する量、それぞれの平均値が下表である。

いずれのサービスも利用量が希望する量を下回っており、訪問介護、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション、短期入所療養介護はその差が大きく開く結果となった。



	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハ	通所介護	通所リハ	短期入所生活介護	短期入所療養介護
	時間	時間	時間	時間	日	日	日	日
サービス量の平均	42.0	7.0	9.8	4.4	5.5	3.3	6.0	10.1
希望する量	78.2	9.2	13.8	8.6	6.1	7.4	7.1	16.7
利用量を100%とした場合の希望量の割合	(186%)	(131.1%)	(140.5%)	(196.9%)	(111.2%)	(223.1%)	(119%)	(165.8%)
利用者数(人)	94	150	59	77	17	15	17	19

問25.【介護】■訪問介護

No.	カテゴリ	利用量		希望量	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	1時間未満	25	1.7	9	0.6
2	1時間以上5時間未満	45	3.0	22	1.5
3	5時間以上10時間未満	25	1.7	11	0.7
4	10時間以上30時間未満	62	4.2	25	1.7
5	30時間以上50時間未満	62	4.2	27	1.8
6	50時間以上	121	8.2	76	5.1
	無回答	1142	77.1	1312	88.5
	N (%^-ス)	1482	100	1482	100

問25.【介護】■訪問入浴介護

No.	カテゴリ	利用量		希望量	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	1時間未満	45	3.0	18	1.2
2	1時間以上5時間未満	119	8.0	41	2.8
3	5時間以上10時間未満	130	8.8	55	3.7
4	10時間以上30時間未満	47	3.2	37	2.5
5	30時間以上50時間未満	5	0.3	4	0.3
6	50時間以上	0	0.0	1	0.1
	無回答	1136	76.7	1326	89.5
	N (%^-ス)	1482	100	1482	100

問25.【介護】■訪問看護

No.	カテゴリ	利用量		希望量	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	1時間未満	27	1.8	12	0.8
2	1時間以上5時間未満	41	2.8	20	1.3
3	5時間以上10時間未満	15	1.0	7	0.5
4	10時間以上30時間未満	24	1.6	12	0.8
5	30時間以上50時間未満	8	0.5	6	0.4
6	50時間以上	7	0.5	4	0.3
	無回答	1360	91.8	1421	95.9
	N (%^-ス)	1482	100	1482	100

問25.【介護】■訪問リハビリテーション

No.	カテゴリ	利用量		希望量	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	1時間未満	32	2.2	11	0.7
2	1時間以上5時間未満	77	5.2	30	2.0
3	5時間以上10時間未満	39	2.6	24	1.6
4	10時間以上20時間未満	14	0.9	18	1.2
5	20時間以上	1	0.1	6	0.4
	無回答	1319	89.0	1393	94.0
	N (%へ-ス)	1482	100	1482	100

問25.【介護】■通所介護

No.	カテゴリ	利用量		希望量	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	0日	43	2.9	9	0.6
2	1日以上5日未満	17	1.1	6	0.4
3	5日以上10日未満	12	0.8	9	0.6
4	10日以上15日未満	8	0.5	4	0.3
5	15日以上	3	0.2	1	0.1
	無回答	1399	94.4	1453	98.0
	N (%へ-ス)	1482	100	1482	100

問25.【介護】■通所リハビリテーション

No.	カテゴリ	利用量		希望量	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	0日	46	3.1	9	0.6
2	1日以上5日未満	16	1.1	7	0.5
3	5日以上10日未満	9	0.6	6	0.4
4	10日以上15日未満	8	0.5	4	0.3
5	15日以上	0	0.0	2	0.1
	無回答	1403	94.7	1454	98.1
	N (%へ-ス)	1482	100	1482	100

問25.【介護】■短期入所生活介護

No.	カテゴリ	利用量		希望量	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	0日	48	3.2	8	0.5
2	1日以上5日未満	7	0.5	5	0.3
3	5日以上10日未満	14	0.9	7	0.5
4	10日以上15日未満	5	0.3	3	0.2
5	15日以上	3	0.2	2	0.1
	無回答	1405	94.8	1457	98.3
	N (%へ-ス)	1482	100	1482	100

問25.【介護】■短期入所療養介護

No.	カテゴリ	利用量		希望量	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	0日	47	3.2	6	0.4
2	1日以上5日未満	4	0.3	3	0.2
3	5日以上10日未満	4	0.3	8	0.5
4	10日以上15日未満	3	0.2	5	0.3
5	15日以上	7	0.5	5	0.3
	無回答	1417	95.6	1455	98.2
	N (%へ-ス)	1482	100	1482	100

介護保険のその他 回答

介護保険その他サービス	利用量	希望する量
訪問医療	4時間	-
訪問マッサージ	0.75日	-
訪問リハビリ	1	-
訪問歯科	4回	-
訪問歯科	月1回、30分	-
訪問歯科衛生士	1	-
居宅療養管理	2回	-
居宅療養管理指導	2	2
居宅療養管理指導	1回	-
居宅療養管理指導(Dr)	月2回・1回0.4時間	月2回・1回0.4時間
居宅療養管理指導(歯科)	2ヶ月に1度・1回 0.5時間	2ヶ月に1度・1回0.5 時間

第三章 訪問系サービス利用者におけるサービス利用状況等に関する実態調査結果

特定施設入居者生活介護	24	-
療養型通所	6回	-
入所療養介護	-	-
デイケア(週1回)	6日	-
デイサービス	-	-
デイサービス	週2回6.5時間	-
デイサービス	週に6時間×3回	-
訪問入浴サービス	1時間/2日	-
通所入浴	4	-
入浴サービス	-	-
清拭(週1回)	1時間/週	1時間/週
介護タクシー	-	-
通院等乗降介助	12回	-
福祉用具	24	24
福祉用具	N	-
福祉用具(床ずれ防止用具)利用・一日中	-	-
福祉用具レンタル	24時間	24時間
福祉用具レンタル(ベッド)	-	-
福祉用具レンタル(ベッド及び付属品)	1/月	-
福祉用具貸与	-	-
福祉用具貸与	30日	30日
福祉用具貸与	30日	-
福祉用具貸与	31日	-
福祉用具貸与	8回	8回
福祉用具貸与	8種類	-
福祉用具貸与	単位/1600	-
福祉用具貸与(ベッド、マットレス、IVポール)	-	-
福祉用具貸与、6種類	N	-
福祉用具貸与サービス3点	-	-
エアーマット	-	-
エアーマットレンタル	1回	1回
ベッド、車椅子等レンタル	30日	30日
ベッド昇降機、サイドテーブル	30日	-
マットのレンタル	-	-
リフト	-	-
移動用リフト、浴室	1/月	-
介護ベッド	30日	-
介護用具レンタル	30日	-
介護用品貸与	30日	-
各種レンタル(ベッド、車椅子等)	-	-
車椅子、リフト、貸与	-	-
車椅子・特殊寝台	-	-
床ずれ防止貸与(マット)	-	-
床ずれ防止用具貸与	24	-
特殊寝台、付属品貸与	30日	-
褥瘡予防マット	30日	-
褥瘡用エアーマット、キャスター	-	-
住宅改修	1回	1回

<訪問介護>

上段:度数 下段:%		問25-21-①.【介護】■訪問介護-利用							
		合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 30時間未満	30時間以上 50時間未満	50時間以上	無回答
全体		1228	23	40	25	61	59	115	905
		100.0	1.9	3.3	2.0	5.0	4.8	9.4	73.7
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	351	9	6	4	16	18	34	264
		100.0	2.6	1.7	1.1	4.6	5.1	9.7	75.2
問18. たんの吸引	必要あり	464	6	28	15	51	47	97	220
		100.0	1.3	6.0	3.2	11.0	10.1	20.9	47.4
問19. 呼吸器等	使用あり	661	11	30	16	47	50	101	406
		100.0	1.7	4.5	2.4	7.1	7.6	15.3	61.4
問20. 経管栄養	使用あり	661	11	30	16	47	50	101	406
		100.0	1.7	4.5	2.4	7.1	7.6	15.3	61.4
問24. 要介護度	要介護度なし	91	1	-	-	-	-	1	89
		100.0	1.1	-	-	-	-	1.1	97.8
	要支援1	12	-	-	-	-	-	-	12
		100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
	要支援2	20	-	1	-	-	-	-	19
		100.0	-	5.0	-	-	-	-	95.0
	要介護1	17	-	5	1	-	-	-	11
		100.0	-	29.4	5.9	-	-	-	64.7
	要介護2	35	2	-	2	2	-	-	29
		100.0	5.7	-	5.7	5.7	-	-	82.9
要介護3	25	3	1	1	1	-	1	18	
	100.0	12.0	4.0	4.0	4.0	-	4.0	72.0	
要介護4	45	-	3	2	6	2	-	32	
	100.0	-	6.7	4.4	13.3	4.4	-	71.1	
要介護5	449	14	26	19	51	56	113	170	
	100.0	3.1	5.8	4.2	11.4	12.5	25.2	37.9	

上段:度数 下段:%		問25-21-②.【介護】■訪問介護-希望							
		合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 30時間未満	30時間以上 50時間未満	50時間以上	無回答
全体		1228	9	17	11	23	25	72	1071
		100.0	0.7	1.4	0.9	1.9	2.0	5.9	87.2
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	351	4	1	1	6	11	20	308
		100.0	1.1	0.3	0.3	1.7	3.1	5.7	87.7
問18. たんの吸引	必要あり	648	6	13	9	16	22	61	521
		100.0	0.9	2.0	1.4	2.5	3.4	9.4	80.4
問19. 呼吸器等	必要あり	689	4	5	2	8	4	14	652
		100.0	0.6	0.7	0.3	1.2	0.6	2.0	94.6
問20. 経管栄養	使用あり	661	7	11	8	14	18	64	539
		100.0	1.1	1.7	1.2	2.1	2.7	9.7	81.5
問24. 要介護度	要介護度なし	91	1	2	-	-	-	1	87
		100.0	1.1	2.2	-	-	-	1.1	95.6
要支援1	12	-	-	-	-	-	-	12	
	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	
要支援2	20	-	-	-	-	-	-	20	
	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	
要介護1	17	1	1	-	-	-	-	15	
	100.0	5.9	5.9	-	-	-	-	88.2	
要介護2	35	-	1	-	2	-	-	32	
	100.0	-	2.9	-	5.7	-	-	91.4	
要介護3	25	-	1	-	-	-	3	21	
	100.0	-	4.0	-	-	-	12.0	84.0	
要介護4	45	-	-	1	-	1	-	43	
	100.0	-	-	2.2	-	2.2	-	95.6	
要介護5	449	7	12	9	21	23	68	309	
	100.0	1.6	2.7	2.0	4.7	5.1	15.1	68.8	

<訪問入浴介護>

上段:度数 下段:%		問25-22-①.【介護】■訪問入浴介護-利用							
		合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 30時間未満	30時間以上 50時間未満	50時間以上	無回答
全体		1228 100.0	42 3.4	113 9.2	123 10.0	47 3.8	5 0.4	-	898 73.1
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	351 100.0	15 4.3	27 7.7	28 8.0	13 3.7	1 0.3	-	267 76.1
	政令指定都市以外	819 100.0	27 3.3	82 10.0	88 10.7	33 4.0	3 0.4	-	586 71.6
問18. たんの吸引	必要あり	648 100.0	33 5.1	97 15.0	107 16.5	34 5.2	3 0.5	-	374 57.7
	必要なし	542 100.0	8 1.5	15 2.8	15 2.8	13 2.4	2 0.4	-	489 90.2
問19. 呼吸器等	必要あり	464 100.0	24 5.2	94 20.3	107 23.1	33 7.1	3 0.6	-	203 43.8
	必要なし	689 100.0	16 2.3	18 2.6	15 2.2	12 1.7	2 0.3	-	626 90.9
問20. 経管栄養	使用あり	661 100.0	32 4.8	93 14.1	105 15.9	35 5.3	4 0.6	-	392 59.3
	使用なし	501 100.0	8 1.6	19 3.8	18 3.6	10 2.0	1 0.2	-	445 88.8
問24. 要介護度	要介護度なし	91 100.0	2 2.2	-	-	1 1.1	-	-	88 96.7
	要支援1	12 100.0	-	-	-	-	-	-	12 100.0
	要支援2	20 100.0	-	3 15.0	-	-	-	-	17 85.0
	要介護1	17 100.0	-	1 5.9	-	-	-	-	16 94.1
	要介護2	35 100.0	2 5.7	-	1 2.9	-	-	-	32 91.4
	要介護3	25 100.0	1 4.0	3 12.0	1 4.0	3 12.0	1 4.0	-	16 64.0
	要介護4	45 100.0	1 2.2	4 8.9	6 13.3	1 2.2	1 2.2	-	32 71.1
	要介護5	449 100.0	32 7.1	97 21.6	112 24.9	41 9.1	2 0.4	-	165 36.7

上段:度数 下段:%		問25-22-②.【介護】■訪問入浴介護-希望							
		合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 30時間未満	30時間以上 50時間未満	50時間以上	無回答
全体		1228 100.0	17 1.4	35 2.9	54 4.4	36 2.9	4 0.3	-	1082 88.1
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	351 100.0	1 0.3	6 1.7	15 4.3	16 4.6	-	-	313 89.2
	政令指定都市以外	819 100.0	16 2.0	28 3.4	38 4.6	18 2.2	3 0.4	-	716 87.4
問18. たんの吸引	必要あり	648 100.0	17 2.6	30 4.6	46 7.1	26 4.0	3 0.5	-	526 81.2
	必要なし	542 100.0	-	5 0.9	7 1.3	10 1.8	1 0.2	-	519 95.8
問19. 呼吸器等	必要あり	464 100.0	14 3.0	29 6.3	44 9.5	25 5.4	3 0.6	-	349 75.2
	必要なし	689 100.0	3 0.4	6 0.9	8 1.2	11 1.6	1 0.1	-	660 95.8
問20. 経管栄養	使用あり	661 100.0	16 2.4	24 3.6	44 6.7	29 4.4	3 0.5	-	545 82.5
	使用なし	501 100.0	1 0.2	11 2.2	9 1.8	7 1.4	1 0.2	-	472 94.2
問24. 要介護度	要介護度なし	91 100.0	2 2.2	-	-	-	1 1.1	-	88 96.7
	要支援1	12 100.0	-	-	-	-	-	-	12 100.0
	要支援2	20 100.0	-	1 5.0	1 5.0	-	-	-	18 90.0
	要介護1	17 100.0	-	-	-	-	-	-	17 100.0
	要介護2	35 100.0	-	1 2.9	-	-	-	-	34 97.1
	要介護3	25 100.0	-	1 4.0	2 8.0	2 8.0	1 4.0	-	19 76.0
	要介護4	45 100.0	-	-	-	1 2.2	-	-	44 97.8
	要介護5	449 100.0	15 3.3	29 6.5	51 11.4	31 6.9	2 0.4	-	321 71.5

<訪問看護>

上段:度数 下段:%		問25-23-①.【介護】■訪問看護-利用							
		合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 30時間未満	30時間以上 50時間未満	50時間以上	無回答
全体		1228	25	37	15	22	8	6	1115
		100.0	2.0	3.0	1.2	1.8	0.7	0.5	90.8
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	351	7	7	5	3	1	2	326
		100.0	2.0	2.0	1.4	0.9	0.3	0.6	92.9
	政令指定都市以外	819	18	25	10	18	6	4	738
		100.0	2.2	3.1	1.2	2.2	0.7	0.5	90.1
問18. たんの吸引	必要あり	648	19	24	11	17	7	5	565
		100.0	2.9	3.7	1.7	2.6	1.1	0.8	87.2
	必要なし	542	6	12	4	4	1	1	514
		100.0	1.1	2.2	0.7	0.7	0.2	0.2	94.8
問19. 呼吸器等	必要あり	464	15	24	7	17	7	5	389
		100.0	3.2	5.2	1.5	3.7	1.5	1.1	83.8
	必要なし	689	9	11	8	5	1	1	654
		100.0	1.3	1.6	1.2	0.7	0.1	0.1	94.9
問20. 経管栄養	使用あり	661	18	27	11	18	7	5	575
		100.0	2.7	4.1	1.7	2.7	1.1	0.8	87.0
	使用なし	501	5	10	4	4	1	1	476
		100.0	1.0	2.0	0.8	0.8	0.2	0.2	95.0
問24. 要介護度	要介護度なし	91	1	-	-	1	-	-	89
		100.0	1.1	-	-	1.1	-	-	97.8
	要支援1	12	-	-	-	-	-	-	12
		100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
	要支援2	20	-	-	-	-	-	-	20
		100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
	要介護1	17	-	3	1	-	-	-	13
		100.0	-	17.6	5.9	-	-	-	76.5
	要介護2	35	1	3	-	-	-	-	31
	100.0	2.9	8.6	-	-	-	-	88.6	
要介護3	25	1	3	-	1	1	-	19	
	100.0	4.0	12.0	-	4.0	4.0	-	76.0	
要介護4	45	1	1	1	2	-	-	40	
	100.0	2.2	2.2	2.2	4.4	-	-	88.9	
要介護5	449	19	23	13	16	7	5	366	
	100.0	4.2	5.1	2.9	3.6	1.6	1.1	81.5	

上段:度数 下段:%		問25-23-②.【介護】■訪問看護-希望							
		合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 30時間未満	30時間以上 50時間未満	50時間以上	無回答
全体		1228	12	17	5	11	6	4	1173
		100.0	1.0	1.4	0.4	0.9	0.5	0.3	95.5
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	351	1	4	-	3	1	1	341
		100.0	0.3	1.1	-	0.9	0.3	0.3	97.2
	政令指定都市以外	819	11	11	5	7	5	3	777
		100.0	1.3	1.3	0.6	0.9	0.6	0.4	94.9
問18. たんの吸引	必要あり	648	11	10	5	7	5	4	606
		100.0	1.7	1.5	0.8	1.1	0.8	0.6	93.5
	必要なし	542	1	7	-	3	1	-	530
		100.0	0.2	1.3	-	0.6	0.2	-	97.8
問19. 呼吸器等	必要あり	464	8	9	4	8	5	4	426
		100.0	1.7	1.9	0.9	1.7	1.1	0.9	91.8
	必要なし	689	4	8	1	3	1	-	672
		100.0	0.6	1.2	0.1	0.4	0.1	-	97.5
問20. 経管栄養	使用あり	661	11	11	5	9	3	3	619
		100.0	1.7	1.7	0.8	1.4	0.5	0.5	93.6
	使用なし	501	1	6	-	2	3	1	488
		100.0	0.2	1.2	-	0.4	0.6	0.2	97.4
問24. 要介護度	要介護度なし	91	1	-	-	-	1	-	89
		100.0	1.1	-	-	-	1.1	-	97.8
	要支援1	12	-	-	-	-	-	-	12
		100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
	要支援2	20	-	-	-	-	-	-	20
		100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
	要介護1	17	1	1	-	-	-	-	15
		100.0	5.9	5.9	-	-	-	-	88.2
	要介護2	35	-	2	-	-	-	-	33
	100.0	-	5.7	-	-	-	-	94.3	
要介護3	25	-	2	-	-	-	1	22	
	100.0	-	8.0	-	-	-	4.0	88.0	
要介護4	45	-	-	-	-	1	-	44	
	100.0	-	-	-	-	2.2	-	97.8	
要介護5	449	10	10	5	10	5	3	406	
	100.0	2.2	2.2	1.1	2.2	1.1	0.7	90.4	

<訪問リハビリテーション>

上段:度数 下段:%		問25-24-①.【介護】■訪問リハビリテーションー利用						
		合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 20時間未満	20時間以上	無回答
全体		1228 100.0	30 2.4	73 5.9	38 3.1	14 1.1	1 0.1	1072 87.3
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	351 100.0	11 3.1	20 5.7	9 2.6	4 1.1	-	307 87.5
	政令指定都市以外	819 100.0	19 2.3	48 5.9	29 3.5	9 1.1	-	714 87.2
問18. たんの吸引	必要あり	648 100.0	23 3.5	51 7.9	29 4.5	11 1.7	1 0.2	533 82.3
	必要なし	542 100.0	7 1.3	21 3.9	9 1.7	3 0.6	-	502 92.6
問19. 呼吸器等	必要あり	464 100.0	17 3.7	53 11.4	25 5.4	11 2.4	1 0.2	357 76.9
	必要なし	689 100.0	12 1.7	18 2.6	11 1.6	3 0.4	-	645 93.6
問20. 経管栄養	使用あり	661 100.0	22 3.3	52 7.9	29 4.4	9 1.4	1 0.2	548 82.9
	使用なし	501 100.0	6 1.2	20 4.0	9 1.8	5 1.0	-	461 92.0
問24. 要介護度	要介護度なし	91 100.0	1 1.1	1 1.1	-	-	-	89 97.8
	要支援1	12 100.0	-	-	-	-	-	12 100.0
	要支援2	20 100.0	-	1 5.0	1 5.0	-	-	18 90.0
	要介護1	17 100.0	-	6 35.3	-	-	-	11 64.7
	要介護2	35 100.0	1 2.9	1 2.9	2 5.7	-	-	31 88.6
	要介護3	25 100.0	1 4.0	4 16.0	1 4.0	1 4.0	-	18 72.0
	要介護4	45 100.0	1 2.2	3 6.7	2 4.4	2 4.4	-	37 82.2
	要介護5	449 100.0	23 5.1	53 11.8	30 6.7	11 2.4	1 0.2	331 73.7

上段:度数 下段:%		問25-24-②.【介護】■訪問リハビリテーションー希望						
		合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 20時間未満	20時間以上	無回答
全体		1228 100.0	11 0.9	25 2.0	24 2.0	18 1.5	6 0.5	1144 93.2
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	351 100.0	2 0.6	7 2.0	4 1.1	7 2.0	-	331 94.3
	政令指定都市以外	819 100.0	9 1.1	18 2.2	20 2.4	10 1.2	5 0.6	757 92.4
問18. たんの吸引	必要あり	648 100.0	10 1.5	18 2.8	19 2.9	11 1.7	6 0.9	584 90.1
	必要なし	542 100.0	1 0.2	7 1.3	4 0.7	7 1.3	-	523 96.5
問19. 呼吸器等	必要あり	464 100.0	8 1.7	18 3.9	19 4.1	8 1.7	5 1.1	406 87.5
	必要なし	689 100.0	3 0.4	7 1.0	5 0.7	10 1.5	-	644 96.4
問20. 経管栄養	使用あり	661 100.0	10 1.5	16 2.4	16 2.4	11 1.7	6 0.9	602 91.1
	使用なし	501 100.0	1 0.2	9 1.8	8 1.6	7 1.4	-	476 95.0
問24. 要介護度	要介護度なし	91 100.0	1 1.1	-	1 1.1	-	-	89 97.8
	要支援1	12 100.0	-	-	-	-	-	12 100.0
	要支援2	20 100.0	-	-	-	1 5.0	-	19 95.0
	要介護1	17 100.0	-	2 11.8	-	-	-	15 88.2
	要介護2	35 100.0	-	3 8.6	-	-	-	32 91.4
	要介護3	25 100.0	-	1 4.0	-	-	2 8.0	22 88.0
	要介護4	45 100.0	-	1 2.2	-	2 4.4	-	42 93.3
	要介護5	449 100.0	9 2.0	17 3.8	21 4.7	15 3.3	4 0.9	383 85.3

<通所介護>

上段:度数 下段:%		問25-25-①.【介護】■通所介護-利用						
		合計	0日	1日以上5日未満	5日以上10日未満	10日以上15日未満	15日以上	無回答
全体		1228 100.0	40 3.3	16 1.3	12 1.0	8 0.7	3 0.2	1149 93.6
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	351 100.0	11 3.1	6 1.7	3 0.9	2 0.6	-	329 93.7
	政令指定都市以外	819 100.0	28 3.4	10 1.2	8 1.0	5 0.6	3 0.4	765 93.4
問18. たんの吸引	必要あり	648 100.0	32 4.9	6 0.9	5 0.8	1 0.2	1 0.2	603 93.1
	必要なし	542 100.0	7 1.3	8 1.5	7 1.3	7 1.3	2 0.4	511 94.3
問19. 呼吸器等	必要あり	464 100.0	24 5.2	5 1.1	4 0.9	1 0.2	2 0.4	428 92.2
	必要なし	689 100.0	13 1.9	10 1.5	8 1.2	7 1.0	1 0.1	650 94.3
問20. 経管栄養	使用あり	661 100.0	32 4.8	8 1.2	6 0.9	1 0.2	2 0.3	612 92.6
	使用なし	501 100.0	5 1.0	7 1.4	6 1.2	6 1.2	1 0.2	476 95.0
問24. 要介護度	要介護度なし	91 100.0	1 1.1	-	-	-	-	90 98.9
	要支援1	12 100.0	-	-	-	-	-	12 100.0
	要支援2	20 100.0	-	1 5.0	-	-	-	19 95.0
	要介護1	17 100.0	-	-	-	2 11.8	-	15 88.2
	要介護2	35 100.0	1 2.9	-	1 2.9	-	-	33 94.3
	要介護3	25 100.0	3 12.0	1 4.0	1 4.0	1 4.0	-	19 76.0
	要介護4	45 100.0	-	2 4.4	1 2.2	4 8.9	-	38 84.4
	要介護5	449 100.0	32 7.1	7 1.6	5 1.1	1 0.2	2 0.4	402 89.5

上段:度数 下段:%		問25-25-②.【介護】■通所介護-希望						
		合計	0日	1日以上5日未満	5日以上10日未満	10日以上15日未満	15日以上	無回答
全体		1228 100.0	9 0.7	5 0.4	7 0.6	4 0.3	1 0.1	1202 97.9
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	351 100.0	2 0.6	1 0.3	1 0.3	1 0.3	1 0.3	345 98.3
	政令指定都市以外	819 100.0	7 0.9	4 0.5	5 0.6	2 0.2	-	801 97.8
問18. たんの吸引	必要あり	648 100.0	9 1.4	4 0.6	2 0.3	2 0.3	1 0.2	630 97.2
	必要なし	542 100.0	-	1 0.2	5 0.9	2 0.4	-	534 98.5
問19. 呼吸器等	必要あり	464 100.0	6 1.3	3 0.6	-	2 0.4	1 0.2	452 97.4
	必要なし	689 100.0	2 0.3	2 0.3	7 1.0	2 0.3	-	676 98.1
問20. 経管栄養	使用あり	661 100.0	8 1.2	4 0.6	3 0.5	1 0.2	1 0.2	644 97.4
	使用なし	501 100.0	1 0.2	1 0.2	4 0.8	3 0.6	-	492 98.2
問24. 要介護度	要介護度なし	91 100.0	1 1.1	-	-	-	-	90 98.9
	要支援1	12 100.0	-	-	-	-	-	12 100.0
	要支援2	20 100.0	-	-	-	-	-	20 100.0
	要介護1	17 100.0	-	-	1 5.9	1 5.9	-	15 88.2
	要介護2	35 100.0	-	-	-	-	-	35 100.0
	要介護3	25 100.0	-	-	-	2 8.0	-	23 92.0
	要介護4	45 100.0	-	-	-	-	-	45 100.0
	要介護5	449 100.0	8 1.8	5 1.1	3 0.7	1 0.2	1 0.2	431 96.0

<通所リハビリテーション>

上段:度数 下段:%		問25-26-①.【介護】■通所リハビリテーション-利用						
		合計	0日	1日以上5日未満	5日以上10日未満	10日以上15日未満	15日以上	無回答
全体		1228 100.0	43 3.5	16 1.3	9 0.7	8 0.7	-	1152 93.8
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	351 100.0	12 3.4	6 1.7	2 0.6	2 0.6	-	329 93.7
	政令指定都市以外	819 100.0	30 3.7	10 1.2	7 0.9	5 0.6	-	767 93.7
問18. たんの吸引	必要あり	648 100.0	34 5.2	5 0.8	3 0.5	4 0.6	-	602 92.9
	必要なし	542 100.0	8 1.5	11 2.0	6 1.1	4 0.7	-	513 94.6
問19. 呼吸器等	必要あり	464 100.0	26 5.6	4 0.9	2 0.4	2 0.4	-	430 92.7
	必要なし	689 100.0	14 2.0	11 1.6	7 1.0	6 0.9	-	651 94.5
問20. 経管栄養	使用あり	661 100.0	33 5.0	5 0.8	3 0.5	4 0.6	-	616 93.2
	使用なし	501 100.0	7 1.4	10 2.0	6 1.2	3 0.6	-	475 94.8
問24. 要介護度	要介護度なし	91 100.0	1 1.1	-	-	-	-	90 98.9
	要支援1	12 100.0	-	-	-	1 8.3	-	11 91.7
	要支援2	20 100.0	-	1 5.0	-	-	-	19 95.0
	要介護1	17 100.0	-	-	2 11.8	1 5.9	-	14 82.4
	要介護2	35 100.0	1 2.9	2 5.7	-	2 5.7	-	30 85.7
	要介護3	25 100.0	4 16.0	2 8.0	-	-	-	19 76.0
	要介護4	45 100.0	1 2.2	1 2.2	3 6.7	-	-	40 88.9
	要介護5	449 100.0	33 7.3	6 1.3	4 0.9	4 0.9	-	402 89.5

上段:度数 下段:%		問25-26-②.【介護】■通所リハビリテーション-希望						
		合計	0日	1日以上5日未満	5日以上10日未満	10日以上15日未満	15日以上	無回答
全体		1228 100.0	9 0.7	6 0.5	6 0.5	4 0.3	2 0.2	1201 97.8
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	351 100.0	2 0.6	1 0.3	1 0.3	-	1 0.3	346 98.6
	政令指定都市以外	819 100.0	7 0.9	5 0.6	5 0.6	3 0.4	1 0.1	798 97.4
問18. たんの吸引	必要あり	648 100.0	9 1.4	3 0.5	3 0.5	1 0.2	1 0.2	631 97.4
	必要なし	542 100.0	-	3 0.6	3 0.6	3 0.6	1 0.2	532 98.2
問19. 呼吸器等	必要あり	464 100.0	6 1.3	1 0.2	1 0.2	1 0.2	-	455 98.1
	必要なし	689 100.0	2 0.3	5 0.7	5 0.7	3 0.4	2 0.3	672 97.5
問20. 経管栄養	使用あり	661 100.0	8 1.2	3 0.5	3 0.5	2 0.3	1 0.2	644 97.4
	使用なし	501 100.0	1 0.2	3 0.6	3 0.6	2 0.4	1 0.2	491 98.0
問24. 要介護度	要介護度なし	91 100.0	1 1.1	-	-	-	-	90 98.9
	要支援1	12 100.0	-	-	-	-	-	12 100.0
	要支援2	20 100.0	-	1 5.0	-	-	-	19 95.0
	要介護1	17 100.0	-	-	2 11.8	-	-	15 88.2
	要介護2	35 100.0	-	-	-	-	1 2.9	34 97.1
	要介護3	25 100.0	-	1 4.0	-	1 4.0	-	23 92.0
	要介護4	45 100.0	-	-	-	1 2.2	-	44 97.8
	要介護5	449 100.0	8 1.8	4 0.9	2 0.4	2 0.4	1 0.2	432 96.2

<短期入所生活介護>

上段:度数 下段:%		問25-27-①.【介護】■短期入所生活介護-利用						
		合計	0日	1日以上5日未満	5日以上10日未満	10日以上15日未満	15日以上	無回答
全体		1228 100.0	45 3.7	7 0.6	13 1.1	5 0.4	3 0.2	1155 94.1
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	351 100.0	14 4.0	2 0.6	5 1.4	2 0.6	1 0.3	327 93.2
	政令指定都市以外	819 100.0	30 3.7	5 0.6	8 1.0	3 0.4	2 0.2	771 94.1
問18. たんの吸引	必要あり	648 100.0	33 5.1	1 0.2	4 0.6	1 0.2	1 0.2	608 93.8
	必要なし	542 100.0	11 2.0	6 1.1	8 1.5	4 0.7	1 0.2	512 94.5
問19. 呼吸器等	必要あり	464 100.0	26 5.6	2 0.4	4 0.9	-	1 0.2	431 92.9
	必要なし	689 100.0	17 2.5	5 0.7	5 0.7	5 0.7	1 0.1	656 95.2
問20. 経管栄養	使用あり	661 100.0	32 4.8	2 0.3	5 0.8	1 0.2	1 0.2	620 93.8
	使用なし	501 100.0	10 2.0	5 1.0	6 1.2	4 0.8	1 0.2	475 94.8
問24. 要介護度	要介護度なし	91 100.0	1 1.1	-	-	-	-	90 98.9
	要支援1	12 100.0	-	-	-	-	-	12 100.0
	要支援2	20 100.0	-	-	-	-	-	20 100.0
	要介護1	17 100.0	-	-	-	-	-	17 100.0
	要介護2	35 100.0	1 2.9	-	-	-	-	34 97.1
	要介護3	25 100.0	5 20.0	1 4.0	1 4.0	-	-	18 72.0
	要介護4	45 100.0	1 2.2	1 2.2	3 6.7	1 2.2	-	39 86.7
	要介護5	449 100.0	34 7.6	4 0.9	3 0.7	1 0.2	1 0.2	406 90.4

上段:度数 下段:%		問25-27-②.【介護】■短期入所生活介護-希望						
		合計	0日	1日以上5日未満	5日以上10日未満	10日以上15日未満	15日以上	無回答
全体		1228 100.0	8 0.7	5 0.4	7 0.6	2 0.2	1 0.1	1205 98.1
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	351 100.0	2 0.6	1 0.3	3 0.9	-	1 0.3	344 98.0
	政令指定都市以外	819 100.0	5 0.6	4 0.5	4 0.5	2 0.2	-	804 98.2
問18. たんの吸引	必要あり	648 100.0	8 1.2	2 0.3	2 0.3	1 0.2	-	635 98.0
	必要なし	542 100.0	-	3 0.6	5 0.9	1 0.2	1 0.2	532 98.2
問19. 呼吸器等	必要あり	464 100.0	6 1.3	1 0.2	2 0.4	-	-	455 98.1
	必要なし	689 100.0	2 0.3	4 0.6	5 0.7	1 0.1	1 0.1	676 98.1
問20. 経管栄養	使用あり	661 100.0	7 1.1	3 0.5	2 0.3	1 0.2	-	648 98.0
	使用なし	501 100.0	1 0.2	2 0.4	5 1.0	1 0.2	1 0.2	491 98.0
問24. 要介護度	要介護度なし	91 100.0	1 1.1	-	-	-	-	90 98.9
	要支援1	12 100.0	-	-	-	-	-	12 100.0
	要支援2	20 100.0	-	-	-	-	-	20 100.0
	要介護1	17 100.0	-	-	-	-	-	17 100.0
	要介護2	35 100.0	-	-	-	-	-	35 100.0
	要介護3	25 100.0	-	1 4.0	1 4.0	-	-	23 92.0
	要介護4	45 100.0	-	-	1 2.2	-	-	44 97.8
	要介護5	449 100.0	7 1.6	3 0.7	5 1.1	2 0.4	-	432 96.2

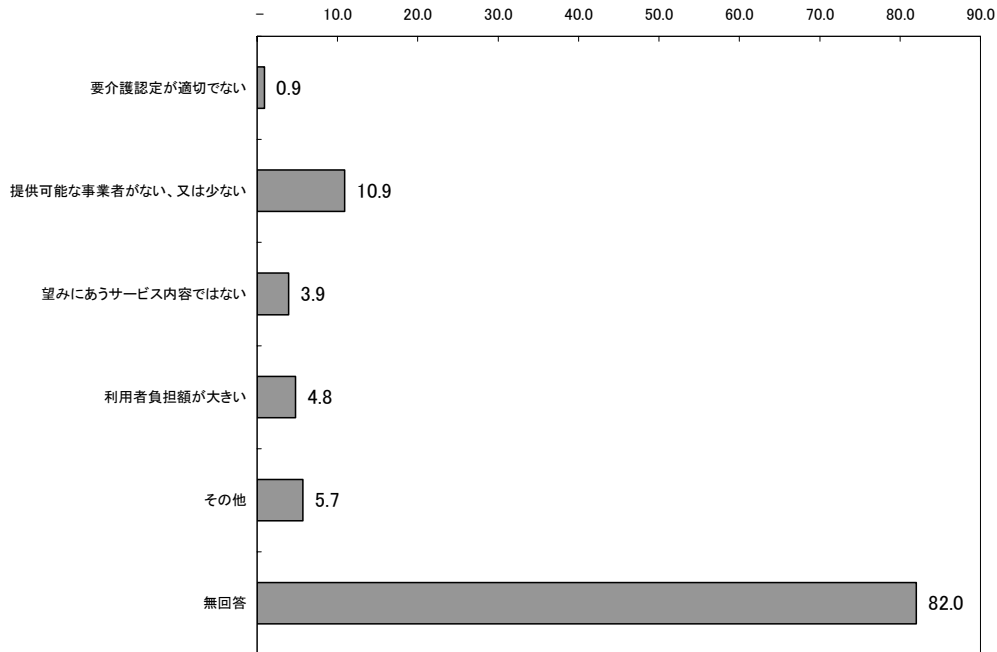
<短期入所療養介護>

上段:度数 下段:%		問25-28-①.【介護】■短期入所療養介護-利用						
		合計	0日	1日以上5日未満	5日以上10日未満	10日以上15日未満	15日以上	無回答
全体		1228 100.0	44 3.6	4 0.3	4 0.3	2 0.2	6 0.5	1168 95.1
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	351 100.0	13 3.7	1 0.3	3 0.9	1 0.3	1 0.3	332 94.6
	政令指定都市以外	819 100.0	30 3.7	2 0.2	1 0.1	1 0.1	5 0.6	780 95.2
問18. たんの吸引	必要あり	648 100.0	34 5.2	2 0.3	2 0.3	1 0.2	5 0.8	604 93.2
	必要なし	542 100.0	9 1.7	2 0.4	2 0.4	1 0.2	1 0.2	527 97.2
問19. 呼吸器等	必要あり	464 100.0	27 5.8	-	-	1 0.2	4 0.9	432 93.1
	必要なし	689 100.0	14 2.0	4 0.6	4 0.6	1 0.1	2 0.3	664 96.4
問20. 経管栄養	使用あり	661 100.0	33 5.0	2 0.3	2 0.3	1 0.2	5 0.8	618 93.5
	使用なし	501 100.0	8 1.6	2 0.4	2 0.4	1 0.2	1 0.2	487 97.2
問24. 要介護度	要介護度なし	91 100.0	1 1.1	-	1 1.1	-	-	89 97.8
	要支援1	12 100.0	-	-	-	-	-	12 100.0
	要支援2	20 100.0	-	-	-	-	-	20 100.0
	要介護1	17 100.0	-	-	-	-	-	17 100.0
	要介護2	35 100.0	1 2.9	-	1 2.9	-	-	33 94.3
	要介護3	25 100.0	4 16.0	-	-	-	-	21 84.0
	要介護4	45 100.0	1 2.2	-	-	-	-	44 97.8
	要介護5	449 100.0	33 7.3	2 0.4	1 0.2	1 0.2	4 0.9	408 90.9

上段:度数 下段:%		問25-28-②.【介護】■短期入所療養介護-希望						
		合計	0日	1日以上5日未満	5日以上10日未満	10日以上15日未満	15日以上	無回答
全体		1228 100.0	6 0.5	3 0.2	8 0.7	5 0.4	4 0.3	1202 97.9
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	351 100.0	2 0.6	-	4 1.1	1 0.3	1 0.3	343 97.7
	政令指定都市以外	819 100.0	4 0.5	3 0.4	4 0.5	3 0.4	3 0.4	802 97.9
問18. たんの吸引	必要あり	648 100.0	6 0.9	2 0.3	6 0.9	3 0.5	1 0.2	630 97.2
	必要なし	542 100.0	-	0.2	2 0.4	1 0.2	3 0.6	535 98.7
問19. 呼吸器等	必要あり	464 100.0	4 0.9	-	4 0.9	1 0.2	1 0.2	454 97.8
	必要なし	689 100.0	2 0.3	3 0.4	4 0.6	2 0.3	3 0.4	675 98.0
問20. 経管栄養	使用あり	661 100.0	5 0.8	2 0.3	6 0.9	3 0.5	2 0.3	643 97.3
	使用なし	501 100.0	1 0.2	1 0.2	2 0.4	1 0.2	2 0.4	494 98.6
問24. 要介護度	要介護度なし	91 100.0	1 1.1	-	-	-	-	90 98.9
	要支援1	12 100.0	-	-	-	-	-	12 100.0
	要支援2	20 100.0	-	-	-	-	-	20 100.0
	要介護1	17 100.0	-	-	-	-	-	17 100.0
	要介護2	35 100.0	-	-	-	1 2.9	-	34 97.1
	要介護3	25 100.0	-	-	-	-	-	25 100.0
	要介護4	45 100.0	-	-	-	-	-	45 100.0
	要介護5	449 100.0	5 1.1	2 0.4	7 1.6	3 0.7	2 0.4	430 95.8

⑤介護保険によるサービスの阻害要因

介護保険によるサービスのうち、使いたいが使えない理由では、「提供可能な事業者がない又は少ない」が最も多く10.9%となった。



問25-30-1-1. 介護保険サービスの利用阻害要因 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	要介護認定が適切でない	13	0.9
2	提供可能な事業者がない、又は少ない	162	10.9
3	望みにあうサービス内容ではない	58	3.9
4	利用者負担額が大きい	71	4.8
5	その他	84	5.7
	無回答	1215	82.0
	N (%ベース)	1482	100

上段:度数		問25-30-1-1. 介護保険サービスの利用阻害要因						
下段:%		合計	要介護認定が適切でない	提供可能な事業者がない、又は少ない	望みにあうサービス内容ではない	利用者負担額が大きい	その他	無回答
全体		1482	13	162	58	71	84	1215
		100.0	0.9	10.9	3.9	4.8	5.7	82.0
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733	13	131	40	61	63	520
		100.0	1.8	17.9	5.5	8.3	8.6	70.9
	脊髄損傷	145	-	8	8	3	6	129
		100.0	-	5.5	5.5	2.1	4.1	89.0
	遷延性意識障害	192	-	12	2	1	7	175
		100.0	-	6.3	1.0	0.5	3.6	91.1
	重症心身障害児・者	430	1	15	7	6	7	406
	100.0	0.2	3.5	1.6	1.4	1.6	94.4	
その他	70	-	3	2	2	6	62	
	100.0	-	4.3	2.9	2.9	8.6	88.6	

問25-30-1-1. 介護保険サービスの利用阻害要因その他

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	利用要件に達していない	8	12.7
2	わからないから	2	3.2
3	入院中のため	11	17.5
4	疾病に対する認知・理解がない	3	4.8
5	限度を超えてしまっているため	6	9.5
6	利用できる量が少ない	4	6.3
7	連続した時間で利用できない	4	6.3
8	入所・通所施設が少ない	7	11.1
9	訪問入浴事業者がない	1	1.6
10	訪問看護事業者がない	1	1.6
11	ヘルパーの質に問題があるため	2	3.2
12	その他	14	22.2

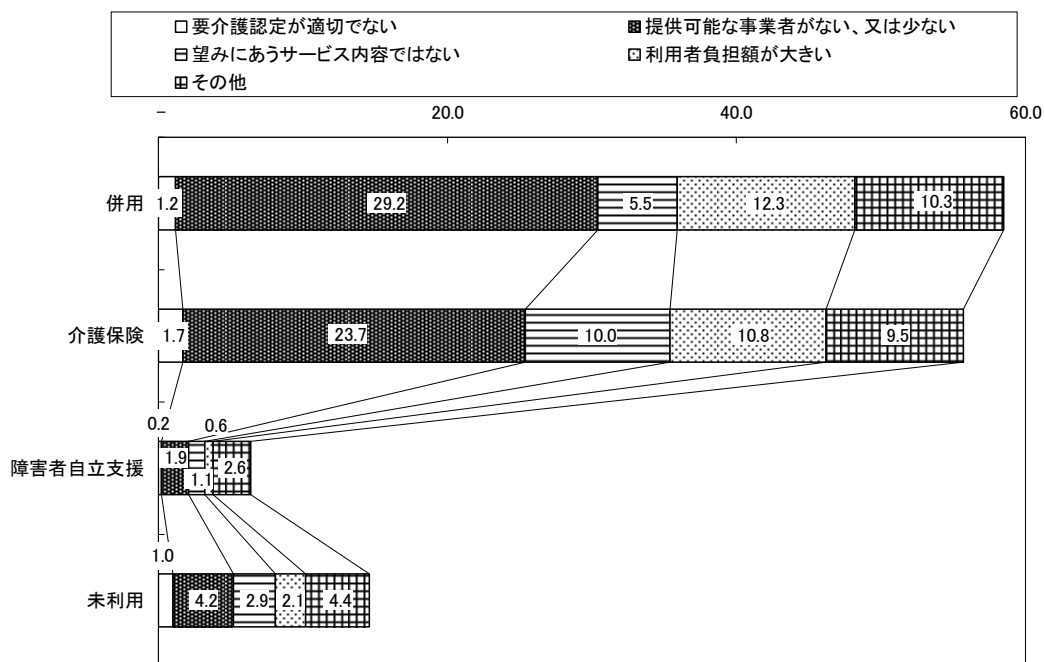
a. 介護保険によるサービスの阻害要因（利用種別、都市種別）

回答を併用・単独利用で集計した結果が以下のとおりである。

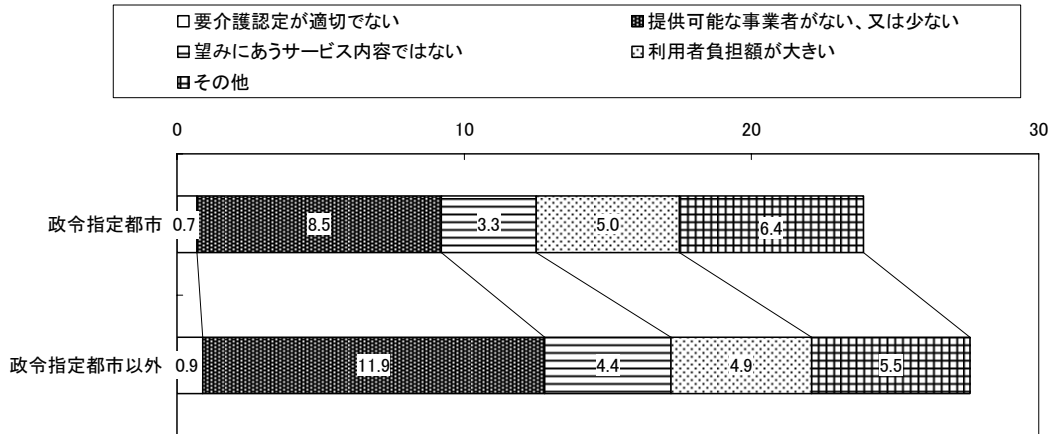
介護保険・障害者自立支援法の併用・介護保険単独では、「提供可能な事業者がない、又は少ない」が最も高い結果となった。介護保険・障害者自立支援法の併用と介護保険単独では、「望みにあうサービス内容ではない」が2倍程度の差がある。

都市種別でみると、「提供可能な事業者がない、又は少ない」が最も多く、政令都市以外のほうが、その割合は高くなっている。

問25. 介護保険サービス阻害要因(サービス利用種別)



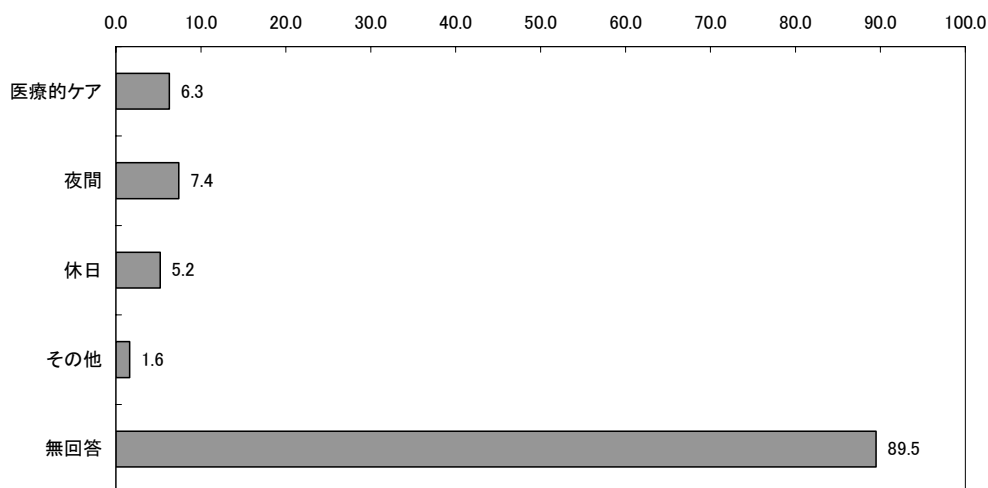
問25. 介護保険サービス阻害要因(都市種別)



上段:度数 下段:%		問25-30-1-1. 介護保険サービスの利用阻害要因						
		合計	要介護認定が適切でない	提供可能な事業者がない、又は少ない	望みにあうサービス内容ではない	利用者負担額が大きい	その他	無回答
全体		1482 100.0	13 0.9	162 10.9	58 3.9	71 4.8	84 5.7	1215 82.0
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	422 100.0	3 0.7	36 8.5	14 3.3	21 5.0	27 6.4	353 83.6
	政令指定都市以外	980 100.0	9 0.9	117 11.9	43 4.4	48 4.9	54 5.5	795 81.1
問4. 住まい(在宅)	在宅	1228 100.0	11 0.9	143 11.6	51 4.2	62 5.0	69 5.6	994 80.9
	在宅以外	238 100.0	2 0.8	19 8.0	6 2.5	9 3.8	15 6.3	206 86.6
問18. たんの吸引	必要あり	835 100.0	5 0.6	132 15.8	39 4.7	54 6.5	63 7.5	631 75.6
	必要なし	596 100.0	8 1.3	30 5.0	19 3.2	16 2.7	19 3.2	536 89.9
問19. 呼吸器等	必要あり	597 100.0	6 1.0	113 18.9	34 5.7	49 8.2	49 8.2	422 70.7
	必要なし	790 100.0	6 0.8	46 5.8	22 2.8	19 2.4	32 4.1	703 89.0
問20. 経管栄養	使用あり	852 100.0	6 0.7	131 15.4	39 4.6	54 6.3	69 8.1	648 76.1
	使用なし	549 100.0	6 1.1	29 5.3	18 3.3	16 2.9	13 2.4	490 89.3
問25. 利用種別	併用	253 100.0	3 1.2	74 29.2	14 5.5	31 12.3	26 10.3	148 58.5
	障害者自立支援	464 100.0	1 0.2	9 1.9	5 1.1	3 0.6	12 2.6	442 95.3
	介護保険	241 100.0	4 1.7	57 23.7	24 10.0	26 10.8	23 9.5	152 63.1
	未利用	524 100.0	5 1.0	22 4.2	15 2.9	11 2.1	23 4.4	473 90.3

b. 提供可能な事業者がない又は少ない詳細理由

最も多かった「提供可能な事業者がない又は少ない」をみると、医療的ケア・夜間・休日とも同程度の傾向がみられた。



問25-30-2-1. 阻害要因<2.提供可能な事業者がない、又は少な (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	医療的ケア	93	6.3
2	夜間	109	7.4
3	休日	77	5.2
4	その他	23	1.6
	無回答	1327	89.5
	N (%ベース)	1482	100

上段:度数 下段:%		問25-30-2-1. 阻害要因<2.提供可能な事業者がない、又は少ない>					
		合計	医療的ケア	夜間	休日	その他	無回答
全体		1482	93	109	77	23	1327
		100.0	6.3	7.4	5.2	1.6	89.5
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733	71	92	68	19	607
		100.0	9.7	12.6	9.3	2.6	82.8
	脊髄損傷	145	5	4	3	1	138
		100.0	3.4	2.8	2.1	0.7	95.2
	遷延性意識障害	192	8	10	2	1	181
		100.0	4.2	5.2	1.0	0.5	94.3
重症心身障害児・者	430	11	9	8	4	415	
	100.0	2.6	2.1	1.9	0.9	96.5	
その他	70	2	-	1	-	67	
	100.0	2.9	-	1.4	-	95.7	

問25-30-2-1. 阻害要因<2.提供可能な事業者がない、又は少ない>その他

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	吸引ができない	5	25.0
2	人工呼吸器に対応できない	2	10.0
3	早朝、朝に利用できない	2	10.0
4	緊急時に利用できない	5	25.0
5	特定疾病に対応できていない	1	5.0
6	小児に対応できない	1	5.0
7	短期入所施設がない	1	5.0
8	年末年始に利用できない	1	5.0
9	その他	2	10.0

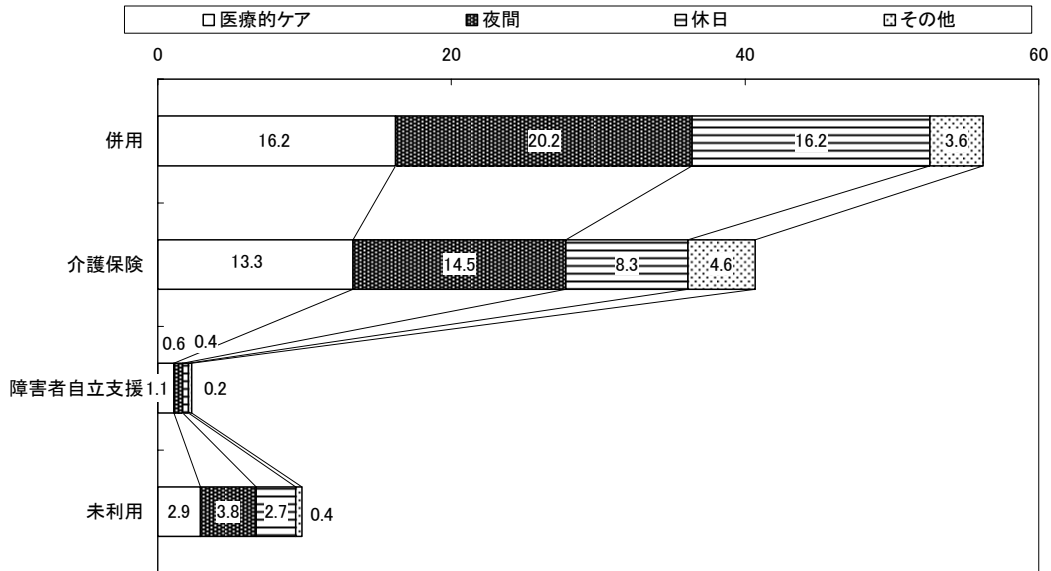
b. 提供可能な事業者がない又は少ない詳細理由（利用種別）

回答を併用・単独利用で集計した結果が以下のとおりである。

障害者自立支援法・介護保険の併用で最も多かったのは「夜間」、次いで「医療的ケア」・「休日」となっている。

介護保険単独で最も多かったのは「夜間」、次いで「医療的ケア」となっている。

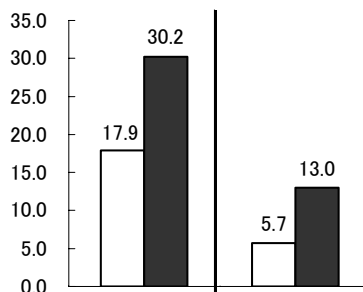
問25. 介護保険サービスの阻害要因：事業者の詳細理由



上段:度数 下段:%		問25-30-2-1. 阻害要因<2.提供可能な事業者がない、又は少ない>					
		合計	医療的ケア	夜間	休日	その他	無回答
全体		1482	93	109	77	23	1327
		100.0	6.3	7.4	5.2	1.6	89.5
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	422	22	24	16	7	386
		100.0	5.2	5.7	3.8	1.7	91.5
	政令指定都市以外	980	65	80	56	15	870
		100.0	6.6	8.2	5.7	1.5	88.8
問4. 住まい(在宅)	在宅	1228	83	92	65	20	1091
		100.0	6.8	7.5	5.3	1.6	88.8
	在宅以外	238	10	17	12	3	220
		100.0	4.2	7.1	5.0	1.3	92.4
問18. たんの吸引	必要あり	835	79	86	59	17	708
		100.0	9.5	10.3	7.1	2.0	84.8
	必要なし	596	14	23	18	6	568
		100.0	2.3	3.9	3.0	1.0	95.3
問19. 呼吸器等	必要あり	597	68	74	51	14	488
		100.0	11.4	12.4	8.5	2.3	81.7
	必要なし	790	25	32	24	8	747
		100.0	3.2	4.1	3.0	1.0	94.6
問20. 経管栄養	使用あり	852	79	85	61	18	725
		100.0	9.3	10.0	7.2	2.1	85.1
	使用なし	549	13	23	15	4	523
		100.0	2.4	4.2	2.7	0.7	95.3
問25. 利用種別	併用	253	41	51	41	9	182
		100.0	16.2	20.2	16.2	3.6	71.9
	介護保険	241	32	35	20	11	187
		100.0	13.3	14.5	8.3	4.6	77.6
	障害者自立支援	464	5	3	2	1	456
	100.0	1.1	0.6	0.4	0.2	98.3	
	未利用	524	15	20	14	2	502
		100.0	2.9	3.8	2.7	0.4	95.8

⑥医療保険によるサービス

医療保険によるサービスの利用量・希望する量、それぞれの平均値が下表である。「訪問看護」「訪問リハ」とともに実際の利用量と希望する量の差が大きい傾向がみられた。



	訪問看護	訪問リハ
サービス量の平均	17.9	5.7
希望する量	30.2	13.0
利用量を100%とした場合の希望量の割合	(168.4%)	(228.3%)
利用者数(人)	547	361

問25.【医療】■訪問看護

No.	カテゴリ	利用量		希望量	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	1時間未満	36	2.4	12	0.8
2	1時間以上5時間未満	159	10.7	59	4.0
3	5時間以上10時間未満	89	6.0	41	2.8
4	10時間以上30時間未満	166	11.2	94	6.3
5	30時間以上50時間未満	62	4.2	44	3.0
6	50時間以上	51	3.4	54	3.6
	無回答	919	62.0	1178	79.5
	N (%ベース)	1482	100	1482	100

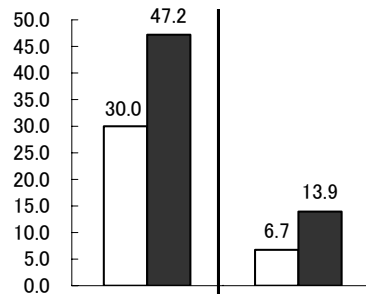
問25.【医療】■訪問リハビリテーション

No.	カテゴリ	利用量		希望量	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	1時間未満	55	3.7	10	0.7
2	1時間以上5時間未満	183	12.3	63	4.3
3	5時間以上10時間未満	93	6.3	64	4.3
4	10時間以上20時間未満	34	2.3	42	2.8
5	20時間以上	11	0.7	37	2.5
	無回答	1106	74.6	1266	85.4
	N (%ベース)	1482	100	1482	100

問25.【医療】■その他の医療保険サービス

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	訪問診療	48	32.2
2	訪問歯科(口腔ケア)	16	10.7
3	訪問リハビリマッサージ、鍼灸	63	42.3
4	通院リハビリ	9	6.0
5	デイサービス	2	1.3
6	レスパイト入院	6	4.0
7	居宅療養管理	2	1.3
8	その他	3	2.0

自立支援法、介護保険法及び医療保険による訪問系サービスを組み合わせて利用している者は180名、全体の12.1%と約1割であった。それら対象の医療保険によるサービスの利用量・希望する量の平均値が下表である。



	訪問看護	訪問リハ
サービス量の平均	30.0	6.7
希望する量	47.2	13.9
利用量を100%とした場合の希望量の割合	(157.3%)	(207.4%)
利用者数(人)	160	91

問25.【医療】■訪問看護

No.	カテゴリ	利用量		希望量	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	1時間未満	6	3.3	2	1.1
2	1時間以上5時間未満	21	11.7	2	1.1
3	5時間以上10時間未満	26	14.4	6	3.3
4	10時間以上30時間未満	50	27.8	37	20.6
5	30時間以上50時間未満	36	20.0	16	8.9
6	50時間以上	35	19.4	37	20.6
	無回答	6	3.3	80	44.4
	N (%ベース)	180	100	180	100

問25.【医療】■訪問リハビリテーション

No.	カテゴリ	利用量		希望量	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	1時間未満	11	6.1	2	1.1
2	1時間以上5時間未満	47	26.1	14	7.8
3	5時間以上10時間未満	31	17.2	18	10.0
4	10時間以上20時間未満	14	7.8	12	6.7
5	20時間以上	5	2.8	14	7.8
	無回答	72	40.0	120	66.7
	N (%ベース)	180	100	180	100

第三章 訪問系サービス利用者におけるサービス利用状況等に関する実態調査結果

<訪問看護>

上段:度数 下段:%	問25-31-① (医療) 訪問看護 - 利用								
	合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 30時間未満	30時間以上 50時間未満	50時間以上	無回答	
全体	1228	34	150	88	158	60	49	889	
	100.0	2.8	12.2	7.2	12.9	4.9	4.0	56.1	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	351	9	37	28	46	16	10	205
	政令指定都市以外	100.0	2.6	10.5	8.0	13.1	4.6	2.8	58.4
	819	25	104	55	108	42	34	451	
	100.0	3.1	12.7	6.7	13.2	5.1	4.2	55.1	
問18. たんの吸引	必要あり	648	20	79	68	124	59	45	253
	必要なし	100.0	3.1	12.2	10.5	19.1	9.1	6.9	39.0
	542	14	67	20	33	1	4	403	
	100.0	2.6	12.4	3.7	6.1	0.2	0.7	74.4	
問19. 呼吸器等	必要あり	464	11	53	51	102	57	44	146
	必要なし	100.0	2.4	11.4	11.0	22.0	12.3	9.5	31.5
	689	23	89	34	55	2	5	481	
	100.0	3.3	12.9	4.9	8.0	0.3	0.7	69.8	
問20. 経管栄養	使用あり	661	19	93	68	120	59	45	257
	使用なし	100.0	2.9	14.1	10.3	18.2	8.9	6.8	38.9
	501	14	51	19	38	1	4	374	
	100.0	2.8	10.2	3.8	7.6	0.2	0.8	74.7	
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90	2	19	3	14	3	4	45
	障害程度区分1	100.0	2.2	21.1	3.3	15.6	3.3	4.4	50.0
	障害程度区分2	38	1	5	2	5	4	1	20
	100.0	2.6	13.2	5.3	13.2	10.5	2.6	52.6	
	障害程度区分3	12	-	1	-	-	-	-	11
	100.0	-	8.3	-	-	-	-	-	91.7
	障害程度区分4	20	1	1	-	1	-	-	17
	100.0	5.0	5.0	-	5.0	-	-	-	85.0
問24. 要介護度	障害程度区分5	18	-	1	1	-	-	-	16
	100.0	-	5.6	5.6	-	-	-	-	88.9
	障害程度区分6	62	2	4	4	4	5	1	42
	100.0	3.2	6.5	6.5	6.5	8.1	1.6	67.7	
	574	18	62	56	83	28	35	292	
	100.0	3.1	10.8	9.8	14.5	4.9	6.1	50.9	
	91	5	5	6	9	-	-	66	
	100.0	5.5	5.5	6.6	9.9	-	-	72.5	
問24. 要介護度	要介護なし	12	-	-	-	-	-	-	12
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	要支援1	20	-	3	-	-	-	-	17
	100.0	-	15.0	-	-	-	-	-	85.0
	要支援2	17	1	7	-	-	-	-	9
	100.0	5.9	41.2	-	-	-	-	-	52.9
	要介護1	35	1	9	2	1	-	-	22
	100.0	2.9	25.7	5.7	2.9	-	-	-	62.9
	要介護2	25	2	3	1	3	2	-	14
	100.0	8.0	12.0	4.0	12.0	8.0	-	-	56.0
	要介護3	45	-	8	2	8	-	-	27
	100.0	-	17.8	4.4	17.8	-	-	-	60.0
要介護4	449	12	51	48	94	54	47	143	
100.0	2.7	11.4	10.7	20.9	12.0	10.5	31.8		

上段:度数 下段:%	問25-31-② (医療) 訪問看護 - 希望								
	合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 30時間未満	30時間以上 50時間未満	50時間以上	無回答	
全体	1228	12	53	38	88	42	53	942	
	100.0	1.0	4.3	3.1	7.2	3.4	4.3	76.7	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	351	3	13	11	34	11	12	267
	政令指定都市以外	100.0	0.9	3.7	3.1	9.7	3.1	3.4	76.1
	819	9	38	24	51	30	37	630	
	100.0	1.1	4.6	2.9	6.2	3.7	4.5	76.9	
問18. たんの吸引	必要あり	648	10	27	26	69	31	49	436
	必要なし	100.0	1.5	4.2	4.0	10.6	4.8	7.6	67.3
	542	2	25	11	19	11	4	470	
	100.0	0.4	4.6	2.0	3.5	2.0	0.7	86.7	
問19. 呼吸器等	必要あり	464	6	17	15	51	28	48	299
	必要なし	100.0	1.3	3.7	3.2	11.0	6.0	10.3	64.4
	689	6	35	22	32	14	4	576	
	100.0	0.9	5.1	3.2	4.6	2.0	0.6	83.6	
問20. 経管栄養	使用あり	661	11	31	25	66	31	50	447
	使用なし	100.0	1.7	4.7	3.8	10.0	4.7	7.6	67.6
	501	1	21	12	20	11	3	433	
	100.0	0.2	4.2	2.4	4.0	2.2	0.6	86.4	
問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90	-	8	4	5	2	6	65
	100.0	-	8.9	4.4	5.6	2.2	6.7	72.2	
	障害程度区分1	38	2	5	-	2	-	1	28
	100.0	5.3	13.2	-	5.3	-	2.6	73.7	
	障害程度区分2	12	-	-	-	-	-	-	12
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	障害程度区分3	20	-	-	-	1	-	-	19
	100.0	-	-	-	5.0	-	-	-	95.0
問24. 要介護度	障害程度区分4	18	-	1	-	-	-	-	17
	100.0	-	5.6	-	-	-	-	-	94.4
	障害程度区分5	62	-	1	1	3	1	3	53
	100.0	-	1.6	1.6	4.8	1.6	4.8	85.5	
	障害程度区分6	574	7	26	22	55	28	33	403
	100.0	1.2	4.5	3.8	9.6	4.9	5.7	70.2	
	91	3	4	4	5	3	-	72	
	100.0	3.3	4.4	4.4	5.5	3.3	-	79.1	
問24. 要介護度	要介護なし	12	-	-	-	-	-	-	12
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	要支援1	20	-	-	-	-	-	-	20
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	要支援2	17	1	1	-	1	-	-	14
	100.0	5.9	5.9	-	5.9	-	-	-	82.4
	要介護1	35	-	1	2	2	-	-	30
	100.0	-	2.9	5.7	5.7	-	-	-	85.7
	要介護2	25	1	-	-	1	1	2	20
	100.0	4.0	-	-	4.0	4.0	8.0	-	80.0
	要介護3	45	-	2	2	2	1	-	38
	100.0	-	4.4	4.4	4.4	2.2	-	-	84.4
要介護4	449	5	19	14	49	28	48	286	
100.0	1.1	4.2	3.1	10.9	6.2	10.7	63.7		

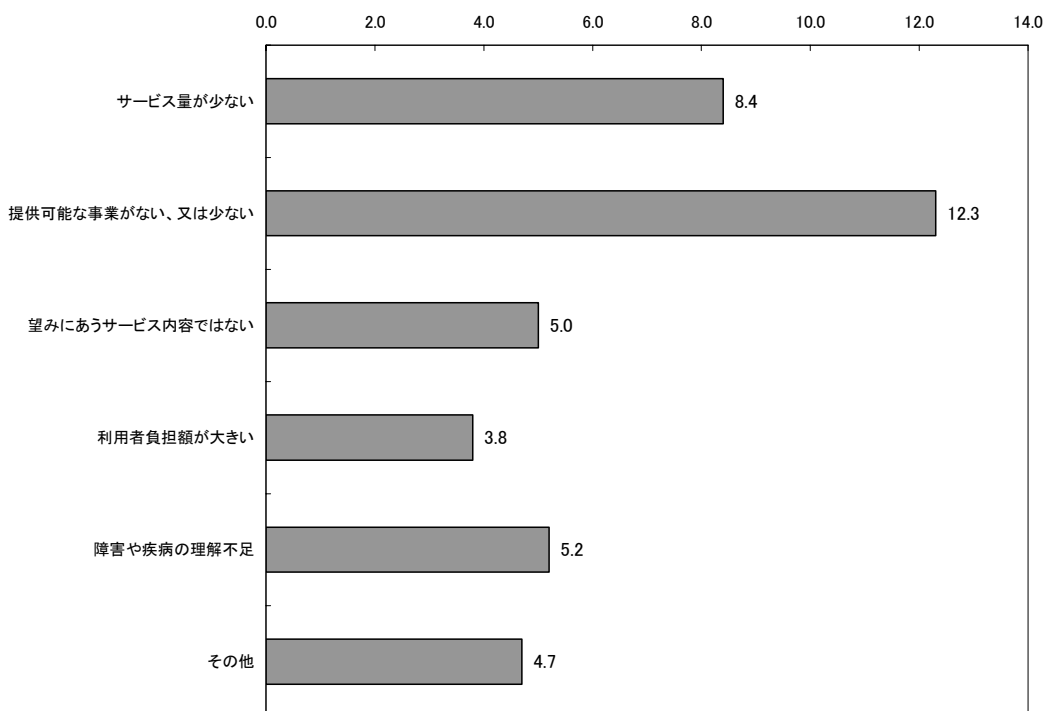
<訪問リハビリテーション>

上段:度数		問25-32-①【医療】■訪問リハビリテーションー利用						
下段:%	合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 20時間未満	20時間以上	無回答	
全体	1228 100.0	52 4.2	172 14.0	91 7.4	34 2.8	11 0.9	868 70.7	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	351 100.0	17 4.8	47 13.4	31 8.8	5 1.4	3 0.9	248 70.7
	政令指定都市以外	819 100.0	34 4.2	119 14.5	56 6.8	28 3.4	7 0.9	575 70.2
	問18. たんの吸引	必要あり 100.0	648 100.0	36 5.6	110 17.0	66 10.2	29 4.5	10 1.5
問19. 呼吸器等	必要なし	542 100.0	16 3.0	60 11.1	25 4.6	4 0.7	1 0.2	436 80.4
	必要あり	464 100.0	25 5.4	80 17.2	54 11.6	27 5.8	8 1.7	270 58.2
問20. 経管栄養	必要なし	689 100.0	27 3.9	87 12.6	35 5.1	7 1.0	2 0.3	531 77.1
	使用あり	661 100.0	33 5.0	113 17.1	72 10.9	28 4.2	11 1.7	404 61.1
問20. 経管栄養	使用なし	501 100.0	18 3.6	55 11.0	18 3.6	5 1.0	-	405 80.8
	問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90 100.0	5 5.6	13 14.4	7 7.8	3 3.3	-
問23. 障害程度区分	障害程度区分1	38 100.0	2 5.3	2 5.3	5 13.2	1 2.6	-	28 73.7
	障害程度区分2	12 100.0	1 8.3	2 16.7	-	1 8.3	-	8 66.7
	障害程度区分3	20 100.0	-	-	4 20.0	-	-	16 80.0
	障害程度区分4	18 100.0	1 5.6	-	-	-	-	17 94.4
	障害程度区分5	62 100.0	2 3.2	7 11.3	4 6.5	-	-	49 79.0
	障害程度区分6	574 100.0	30 5.2	83 14.5	48 8.4	19 3.3	4 0.7	390 67.9
	問24. 要介護度	要介護なし	91 100.0	5 5.5	9 9.9	5 5.5	-	-
問24. 要介護度	要支援1	12 100.0	-	-	-	-	-	12 100.0
	要支援2	20 100.0	-	1 5.0	-	1 5.0	-	18 90.0
	要介護1	17 100.0	1 5.9	2 11.8	-	1 5.9	-	13 76.5
	要介護2	35 100.0	2 5.7	2 5.7	-	1 2.9	-	30 85.7
	要介護3	25 100.0	-	3 12.0	4 16.0	1 4.0	-	17 68.0
	要介護4	45 100.0	1 2.2	12 26.7	6 13.3	-	-	26 57.8
	要介護5	449 100.0	29 6.5	80 17.8	48 10.7	22 4.9	10 2.2	260 57.9

上段:度数		問25-32-②【医療】■訪問リハビリテーションー希望						
下段:%	合計	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 20時間未満	20時間以上	無回答	
全体	1228 100.0	10 0.8	56 4.6	62 5.0	41 3.3	36 2.9	1023 83.3	
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	351 100.0	3 0.9	18 5.1	17 4.8	15 4.3	11 3.1	287 81.8
	政令指定都市以外	819 100.0	7 0.9	36 4.4	43 5.3	23 2.8	24 2.9	686 83.8
	問18. たんの吸引	必要あり	648 100.0	10 1.5	40 6.2	38 5.9	33 5.1	30 4.6
問19. 呼吸器等	必要なし	542 100.0	-	16 3.0	23 4.2	8 1.5	6 1.1	489 90.2
	必要あり	464 100.0	6 1.3	24 5.2	29 6.3	25 5.4	20 4.3	360 77.6
問20. 経管栄養	必要なし	689 100.0	4 0.6	32 4.6	30 4.4	16 2.3	14 2.0	593 86.1
	使用あり	661 100.0	9 1.4	37 5.6	40 6.1	34 5.1	32 4.8	509 77.0
問20. 経管栄養	使用なし	501 100.0	1 0.2	19 3.8	19 3.8	7 1.4	4 0.8	451 90.0
	問23. 障害程度区分	障害程度区分なし	90 100.0	1 1.1	7 7.8	6 6.7	2 2.2	-
問23. 障害程度区分	障害程度区分1	38 100.0	1 2.6	1 2.6	2 5.3	2 5.3	-	32 84.2
	障害程度区分2	12 100.0	-	-	-	-	-	12 100.0
	障害程度区分3	20 100.0	-	-	2 10.0	1 5.0	-	17 85.0
	障害程度区分4	18 100.0	-	-	-	1 5.6	-	17 94.4
	障害程度区分5	62 100.0	1 1.6	1 1.6	4 6.5	1 1.6	-	55 88.7
	障害程度区分6	574 100.0	4 0.7	32 5.6	26 4.5	33 5.7	27 4.7	452 78.7
	問24. 要介護度	要介護なし	91 100.0	1 1.1	3 3.3	5 5.5	2 2.2	3 3.3
問24. 要介護度	要支援1	12 100.0	-	-	-	-	-	12 100.0
	要支援2	20 100.0	-	-	-	-	-	20 100.0
	要介護1	17 100.0	-	2 11.8	-	-	-	15 88.2
	要介護2	35 100.0	-	-	2 5.7	-	-	33 94.3
	要介護3	25 100.0	-	-	2 8.0	-	-	23 92.0
	要介護4	45 100.0	-	3 6.7	2 4.4	-	-	40 88.9
	要介護5	449 100.0	5 1.1	31 6.9	23 5.1	23 5.1	20 4.5	347 77.3

⑦医療保険によるサービスの阻害要因

医療保険によるサービスの使いたいが使えない理由では、「提供可能な事業者がない又は少ない」が最も多く12.3%となった。

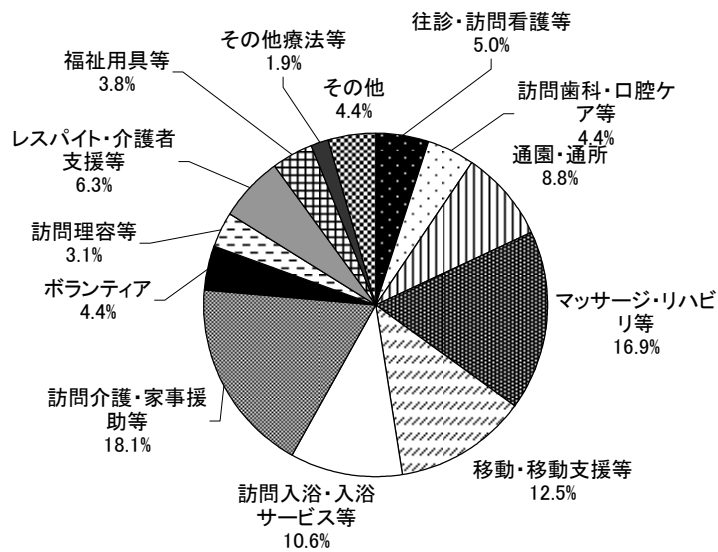


問25.【医療】■医療保険サービスの利用阻害要因 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	サービス量が少ない	124	8.4
2	提供可能な事業者がない、又は少ない	182	12.3
3	望みにあうサービス内容ではない	74	5.0
4	利用者負担額が大きい	57	3.8
5	障害や疾病の理解不足	77	5.2
6	その他	69	4.7
	無回答	1159	78.2
	N (%ベース)	1482	100

上段:度数		問25-34.【医療】■医療保険サービスの利用阻害要因							
下段:%		合計	サービス量が少ない	提供可能な事業者がない、又は少ない	望みにあうサービス内容ではない	利用者負担額が大きい	障害や疾病の理解不足	その他	無回答
全体		1482	124	182	74	57	77	69	1159
		100.0	8.4	12.3	5.0	3.8	5.2	4.7	78.2
都市分類	政令指定都市(東京特別区を含む)	422	37	57	26	12	23	24	328
		100.0	8.8	13.5	6.2	2.8	5.5	5.7	77.7
問4. 住まい	政令指定都市以外	980	78	115	43	40	47	41	771
		100.0	8.0	11.7	4.4	4.1	4.8	4.2	78.7
問6. 病名	在宅	1228	120	173	68	53	67	54	937
		100.0	9.8	14.1	5.5	4.3	5.5	4.4	76.3
問6. 病名	在宅以外	238	4	8	5	4	9	15	208
		100.0	1.7	3.4	2.1	1.7	3.8	6.3	87.4
	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733	63	91	30	28	32	45	560
		100.0	8.6	12.4	4.1	3.8	4.4	6.1	76.4
	脊髄損傷	145	15	18	15	8	12	5	116
		100.0	10.3	12.4	10.3	5.5	8.3	3.4	80.0
	遷延性意識障害	192	22	31	17	12	17	7	137
		100.0	11.5	16.1	8.9	6.3	8.9	3.6	71.4
重症心身障害児・者	430	26	48	16	15	21	13	354	
	100.0	6.0	11.2	3.7	3.5	4.9	3.0	82.3	
その他	70	4	8	2	1	3	1	58	
	100.0	5.7	11.4	2.9	1.4	4.3	1.4	82.9	

⑧その他のサービス（公的なサービスも含む）



問25. その他のサービス(公的なサービスも含む)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	往診・訪問看護等	8	5.0
2	訪問歯科・口腔ケア等	7	4.4
3	通園・通所	14	8.8
4	マッサージ・リハビリ等	27	16.9
5	移動・移動支援等	20	12.5
6	訪問入浴・入浴サービス等	17	10.6
7	訪問介護・家事援助等	29	18.1
8	ボランティア	7	4.4
9	訪問理容等	5	3.1
10	レスパイト・介護者支援等	10	6.3
11	福祉用具等	6	3.8
12	その他療法等	3	1.9
13	その他	7	4.4
	N (%ベース)	160	100

⑨制度の組み合わせ利用状況

各制度の組み合わせ利用による利用量平均値が以下のとおりである。これは、各回答者の訪問系サービスの利用量の合計の平均値である。

障害者自立支援法、介護保険及び医療保険による訪問系サービスの組み合わせ利用者は約10%となった。

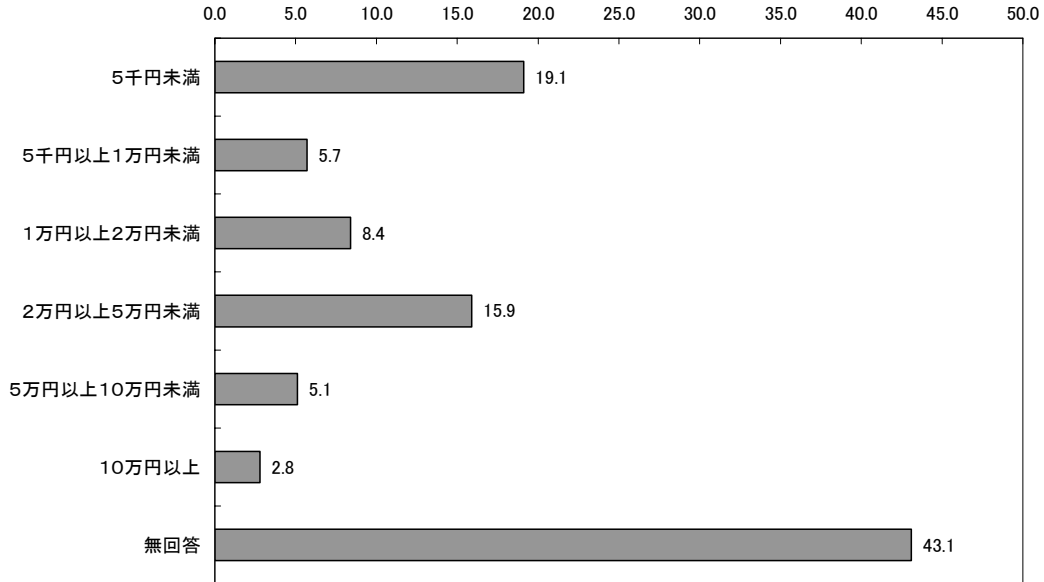
	対象 人数	利用量合計 平均値	自立支援法 利用量 合計 平均値	介護保険 利用量 合計 平均値	医療保険 利用量 合計 平均値
1:自立支援法サービス単独利用	269	57.0	57.0	0.0	0.0
2:介護保険サービス単独利用	58	25.6	0.0	25.6	0.0
3:医療保険単独利用	83	9.1	0.0	0.0	9.1
4:自立支援・介護保険併用	35	125.0	72.7	52.3	0.0
5:自立支援・医療保険併用	157	123.6	111.0	0.0	12.6
6:介護保険・医療保険併用	167	49.8	0.0	28.9	21.0
7:自立支援・介護保険・医療保険併用	149	258.3	158.6	64.8	35.0
8:すべて未利用	310	0.0	0.0	0.0	0.0

(5) サービス種別ごとの利用者負担額（問 26）

① 1か月の利用者負担額

1か月の利用者負担額の合計で最も多かったのは「5千円未満」19.1%、次いで「2万円～5万円未満」が15.9%となっている。

問26. 1か月の利用者負担額合計

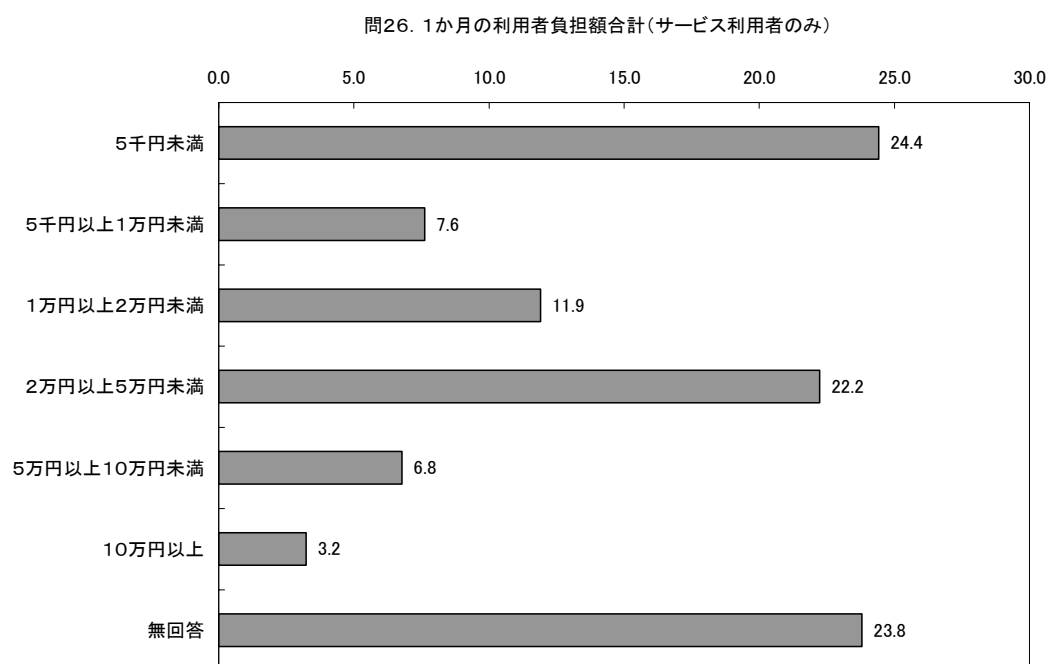


問26. 1ヵ月負担額合算

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	5千円未満	283	19.1
2	5千円以上1万円未満	84	5.7
3	1万円以上2万円未満	125	8.4
4	2万円以上5万円未満	235	15.9
5	5万円以上10万円未満	75	5.1
6	10万円以上	41	2.8
	無回答	639	43.1
	N (%へ入)	1482	100

上段:度数 下段:%	問26. 1ヵ月負担額合算								
	合計	5千円未満	5千円以上 1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 5万円未満	5万円以上 10万円未 満	10万円以 上	無回答	
全体	1482 100.0	283 19.1	84 5.7	125 8.4	235 15.9	75 5.1	41 2.8	639 43.1	
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を)	422 100.0	77 18.2	19 4.5	35 8.3	73 17.3	27 6.4	16 3.8	175 41.5
	政令指定都市以 外	980 100.0	194 19.8	63 6.4	87 8.9	152 15.5	45 4.6	23 2.3	416 42.4
問4. 住まい	居宅	1228 100.0	268 21.8	79 6.4	120 9.8	217 17.7	67 5.5	29 2.4	448 36.5
	居宅以外	238 100.0	14 5.9	4 1.7	5 2.1	18 7.6	7 2.9	9 3.8	181 76.1
問6. 病名	筋萎縮性側索硬 化症(ALS)	733 100.0	69 9.4	35 4.8	67 9.1	182 24.8	55 7.5	27 3.7	298 40.7
	脊髄損傷	145 100.0	32 22.1	9 6.2	7 4.8	12 8.3	8 5.5	3 2.1	74 51.0
	遷延性意識障害	192 100.0	44 22.9	4 2.1	10 5.2	18 9.4	8 4.2	10 5.2	98 51.0
	重症心身障害 児・者	430 100.0	135 31.4	39 9.1	44 10.2	25 5.8	2 0.5	2 0.5	183 42.6
	その他	70 100.0	21 30.0	4 5.7	3 4.3	7 10.0	4 5.7	2 2.9	29 41.4

その内、問 25 で何れかのサービス利用量に回答があった 958 件を対象に絞り込んだ結果が以下である。

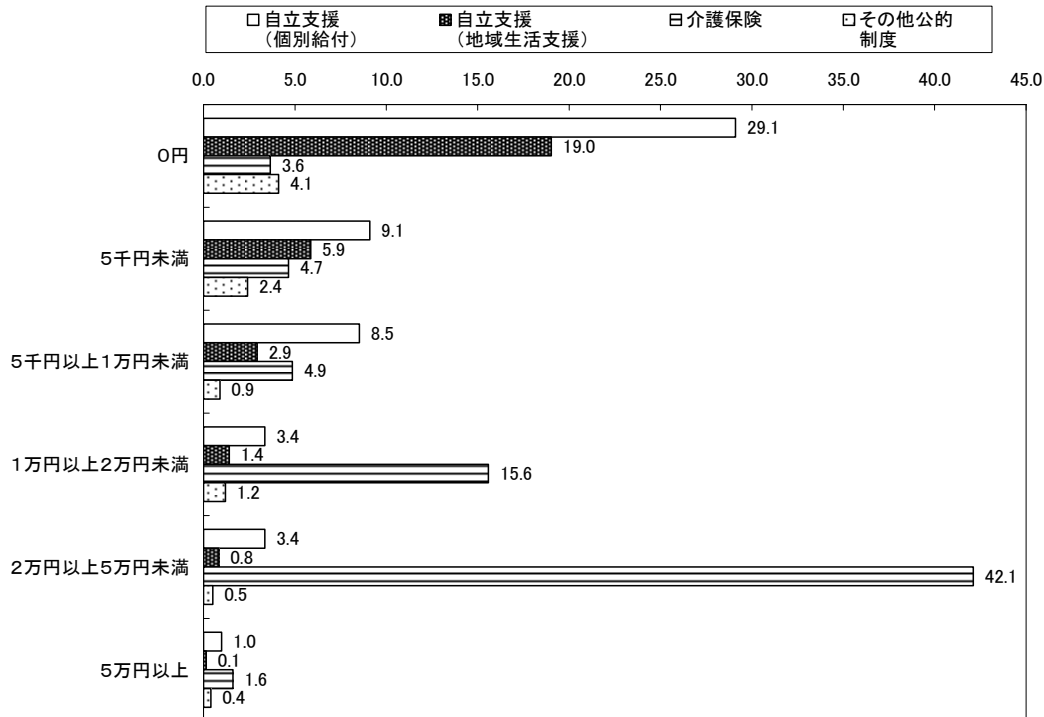


問26. 1ヵ月負担額合算(サービス利用者のみ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	5千円未満	234	24.4
2	5千円以上1万円未満	73	7.6
3	1万円以上2万円未満	114	11.9
4	2万円以上5万円未満	213	22.2
5	5万円以上10万円未満	65	6.8
6	10万円以上	31	3.2
	無回答	228	23.8
	N (%へ入)	1482	100

②サービス種別ごとの1か月の利用者負担額

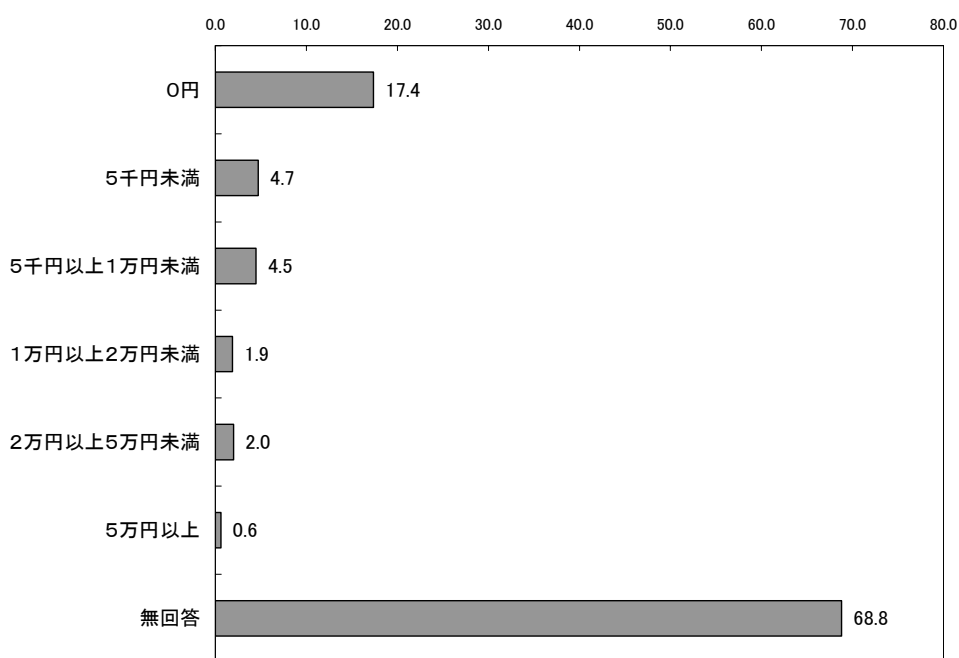
サービス種別ごとにみると、障害者自立支援法サービスよりも介護保険法サービスのほうが自己負担額が高額になっている。



No.	カテゴリ	自立支援法 (個別給付)		自立支援法 (地域生活支援事業)		介護保険法		その他公的 制度	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	0円	208	29.1	136	19.0	18	3.6	61	4.1
2	5千円未満	65	9.1	42	5.9	23	4.7	35	2.4
3	5千円以上1万円未満	61	8.5	21	2.9	24	4.9	14	0.9
4	1万円以上2万円未満	24	3.4	10	1.4	77	15.6	18	1.2
5	2万円以上5万円未満	24	3.4	6	0.8	208	42.1	8	0.5
6	5万円以上	7	1.0	1	0.1	8	1.6	6	0.4
	無回答	326	45.6	499	69.8	135	27.3	1340	90.4
	N (%ベース)	715	100	715	100	493	100	1482	100

②障害者自立支援法個別給付サービスによる1か月の利用者負担額

サービス種別ごとにみると、「障害者自立支援法によるサービス(個別給付)」の利用者負担額で最も多かったのは「0円」17.4%、次いで「5千円未満」が4.7%となっている。



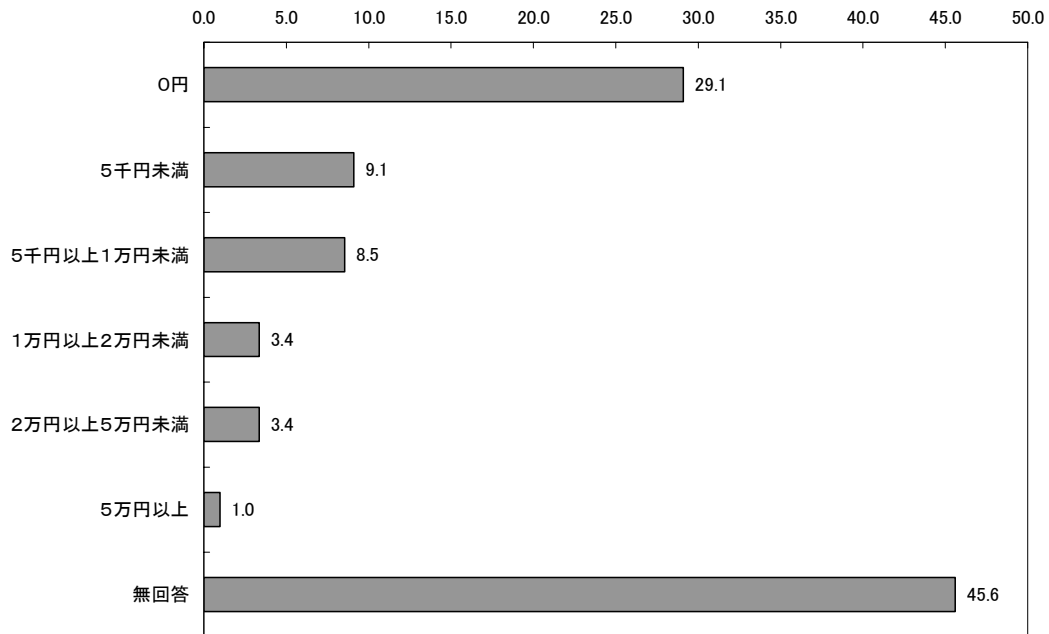
問26-1. ■障害者自立支援法によるサービス(個別給付)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	0円	258	17.4
2	5千円未満	70	4.7
3	5千円以上1万円未満	67	4.5
4	1万円以上2万円未満	28	1.9
5	2万円以上5万円未満	30	2.0
6	5万円以上	9	0.6
	無回答	1020	68.8
	N (%へ入)	1482	100

上段:度数 下段:%		問26-1. ■障害者自立支援法によるサービス(個別給付)							
		合計	0円	5千円未満	5千円以上 1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 5万円未満	5万円以上	無回答
全体		1482	258	70	67	28	30	9	1020
		100.0	17.4	4.7	4.5	1.9	2.0	0.6	68.8
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を	422	77	24	17	9	13	4	278
	政令指定都市以 外	100.0	18.2	5.7	4.0	2.1	3.1	0.9	65.9
		980	169	44	45	17	17	5	683
		100.0	17.2	4.5	4.6	1.7	1.7	0.5	69.7
問4. 住まい	在宅	1228	241	68	64	27	28	5	795
	在宅以外	100.0	19.6	5.5	5.2	2.2	2.3	0.4	64.7
		238	16	2	1	1	2	3	213
		100.0	6.7	0.8	0.4	0.4	0.8	1.3	89.5
問6. 病名	筋萎縮性側索硬 化症(ALS)	733	83	14	36	10	19	4	567
		100.0	11.3	1.9	4.9	1.4	2.6	0.5	77.4
	脊髄損傷	145	28	4	11	1	3	1	97
		100.0	19.3	2.8	7.6	0.7	2.1	0.7	66.9
	遷延性意識障害	192	44	10	3	3	3	2	127
		100.0	22.9	5.2	1.6	1.6	1.6	1.0	66.1
	重症心身障害 児・者	430	99	39	17	16	5	2	252
	100.0	23.0	9.1	4.0	3.7	1.2	0.5	58.6	
その他		70	18	6	3	2	2	1	38
		100.0	25.7	8.6	4.3	2.9	2.9	1.4	54.3

その内、問 25 で障害者自立支援法のサービス利用量に回答があった 717 名の内、他サービスとの合計額が記入のあった 2 件を除外し、715 件を対象に絞り込んだ結果が以下である。

問26. 1か月の利用者負担額合計(自立支援サービス利用者のみ)

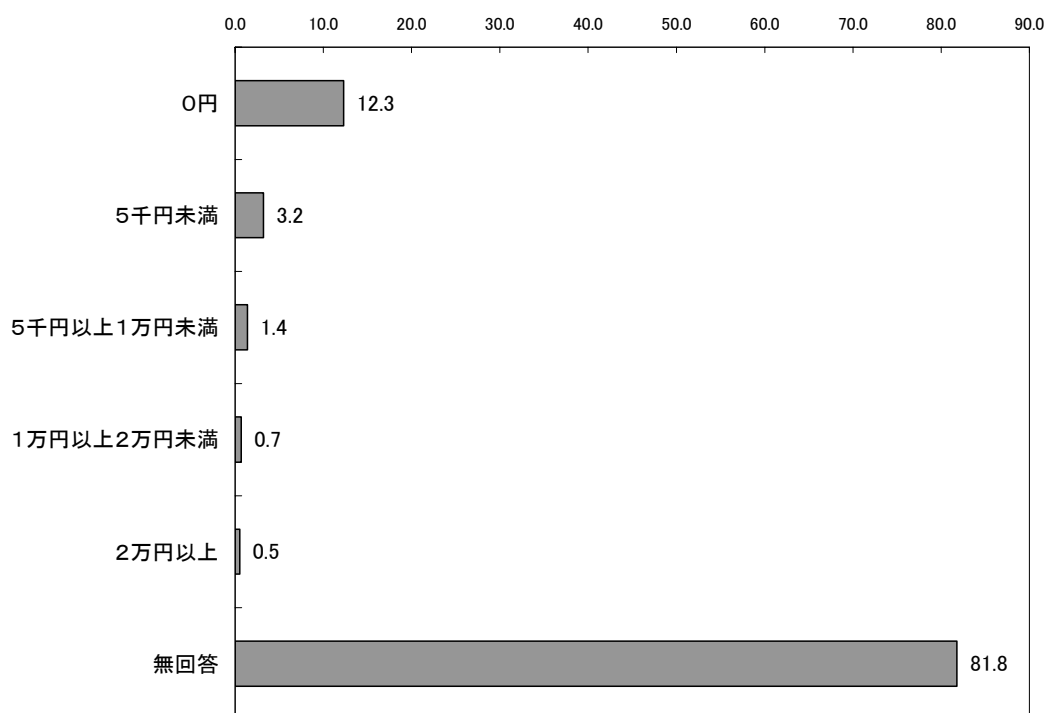


問26-1. ■障害者自立支援法によるサービス(障害者自立支援法サービス利用者)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	0円	208	29.1
2	5千円未満	65	9.1
3	5千円以上1万円未満	61	8.5
4	1万円以上2万円未満	24	3.4
5	2万円以上5万円未満	24	3.4
6	5万円以上	7	1.0
	無回答	326	45.6
	N (%ベース)	715	100

③障害者自立支援法地域生活支援事業によるサービス利用者負担額

「障害者自立支援法によるサービス（地域生活支援事業）」の利用者負担額で最も多かったのは「0円」12.3%、次いで「5千円未満」が3.2%となっている。

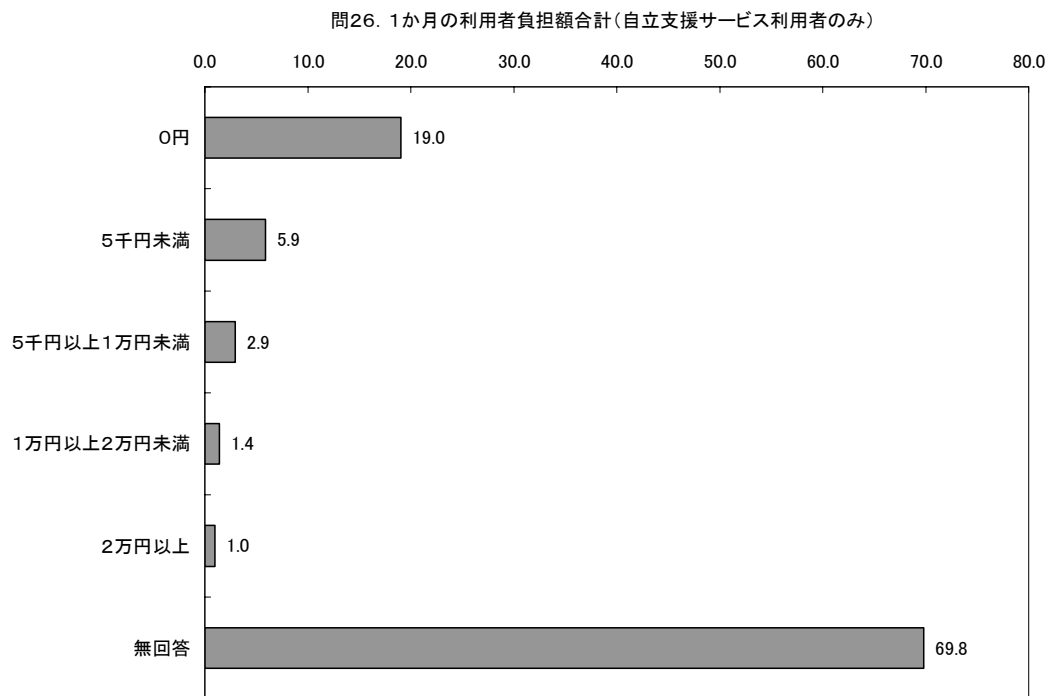


問26-2. ■障害者自立支援法によるサービス(地域生活支援事業)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	0円	182	12.3
2	5千円未満	47	3.2
3	5千円以上1万円未満	21	1.4
4	1万円以上2万円未満	11	0.7
5	2万円以上	8	0.5
	無回答	1213	81.8
	N (%ベース)	1482	100

上段:度数 下段:%		問26-2. ■障害者自立支援法によるサービス(地域生活支援事業)						
		合計	0円	5千円未満	5千円以上1万円未満	1万円以上2万円未満	2万円以上	無回答
全体		1482	182	47	21	11	8	1213
		100.0	12.3	3.2	1.4	0.7	0.5	81.8
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を	422	58	7	8	-	3	346
	政令指定都市以外	980	115	40	13	11	5	796
		100.0	11.7	4.1	1.3	1.1	0.5	81.2
問4. 住まい	在宅	1228	171	45	19	11	8	974
	在宅以外	238	11	2	2	-	-	223
		100.0	4.6	0.8	0.8	-	-	93.7
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733	66	7	4	3	5	648
	脊髄損傷	145	18	1	3	1	1	121
	遷延性意識障害	192	28	5	-	-	2	157
	重症心身障害児・者	430	67	34	16	7	-	306
	その他	70	15	1	1	1	-	52
		100.0	21.4	1.4	1.4	1.4	-	74.3

その内、問 25 で障害者自立支援法のサービス利用量に回答があった 717 名の内、他サービスとの合計額が記入のあった 2 件を除外し、715 件を対象に絞り込んだ結果が以下である。

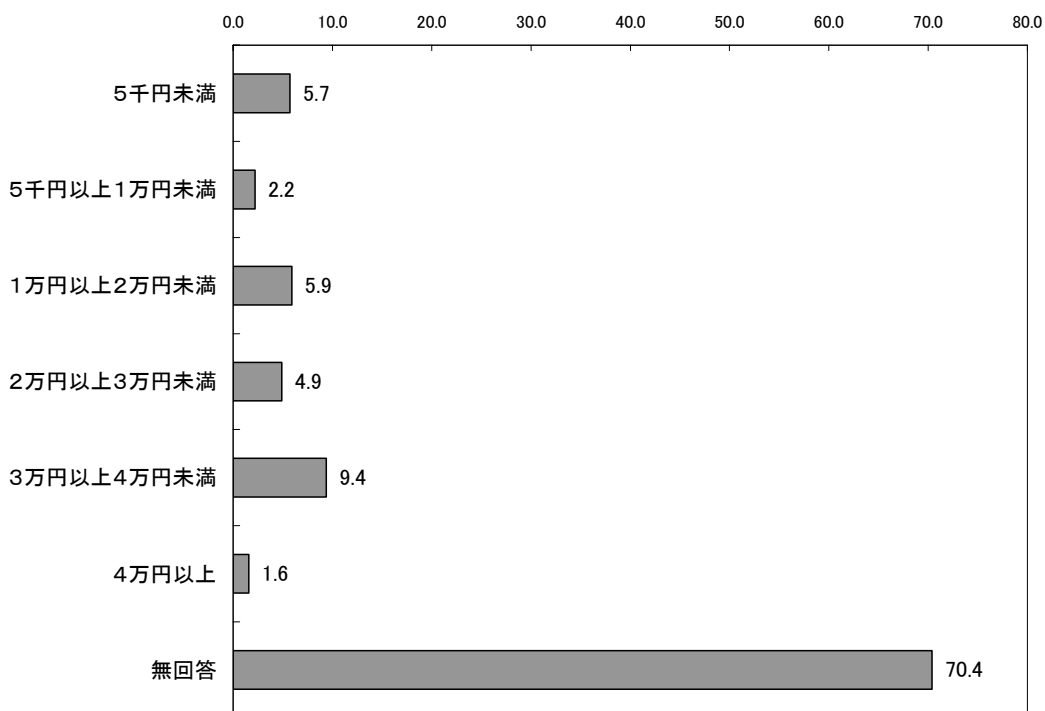


問26-2. ■障害者自立支援法によるサービス(障害者自立支援法サービス利用者)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	0円	136	19.0
2	5千円未満	42	5.9
3	5千円以上1万円未満	21	2.9
4	1万円以上2万円未満	10	1.4
5	2万円以上	7	1.0
	無回答	499	69.8
	N (%ベース)	715	100

④介護保険サービスによる利用者負担額

「介護保険」の利用者負担額で最も多かったのは「3万円以上4万円未満」9.4%、次いで「1万円以上2万円未満」が5.9%となっている。



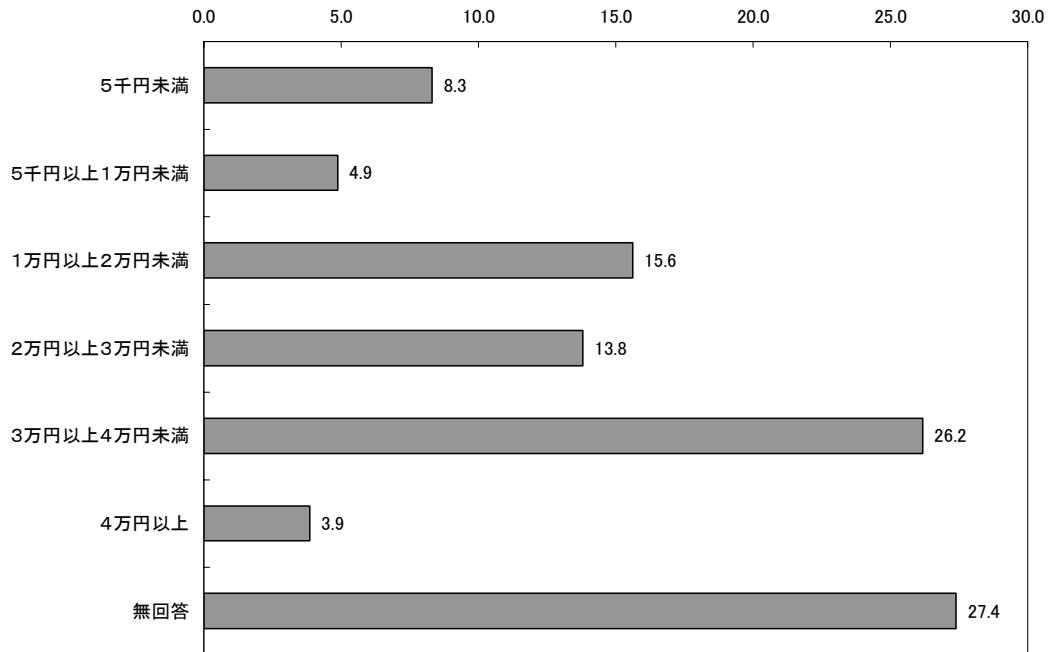
問26-3. ■介護保険

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	5千円未満	85	5.7
2	5千円以上1万円未満	32	2.2
3	1万円以上2万円未満	87	5.9
4	2万円以上3万円未満	72	4.9
5	3万円以上4万円未満	139	9.4
6	4万円以上	23	1.6
	無回答	1044	70.4
	N (%へ入)	1482	100

上段:度数 下段:%		問26-3. ■介護保険							
		合計	5千円未満	5千円以上 1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上	無回答
全体		1482 100.0	85 5.7	32 2.2	87 5.9	72 4.9	139 9.4	23 1.6	1044 70.4
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を	422 100.0	22 5.2	7 1.7	18 4.3	27 6.4	38 9.0	14 3.3	296 70.1
	政令指定都市以 外	980 100.0	60 6.1	25 2.6	67 6.8	42 4.3	94 9.6	6 0.6	686 70.0
問4. 住まい	在宅	1228 100.0	76 6.2	30 2.4	86 7.0	69 5.6	132 10.7	21 1.7	814 66.3
	在宅以外	238 100.0	9 3.8	2 0.8	1 0.4	3 1.3	6 2.5	2 0.8	215 90.3
問6. 病名	筋萎縮性側索硬 化症(ALS)	733 100.0	59 8.0	30 4.1	80 10.9	66 9.0	128 17.5	18 2.5	352 48.0
	脊髄損傷	145 100.0	5 3.4	1 0.7	2 1.4	3 2.1	5 3.4	2 1.4	127 87.6
	遷延性意識障害	192 100.0	6 3.1	-	2 1.0	1 0.5	6 3.1	2 1.0	175 91.1
	重症心身障害 児・者	430 100.0	16 3.7	1 0.2	3 0.7	2 0.5	4 0.9	-	404 94.0
	その他	70 100.0	1 1.4	1 1.4	1 1.4	3 4.3	2 2.9	1 1.4	61 87.1

その内、問 25 で介護保険サービス利用量に回答があった 494 名の内、他サービスとの合計額が記入のあった 1 件を除外し、493 件を対象に絞り込んだ結果が以下である。

問26. 1か月の利用者負担額合計(介護保険サービス利用者のみ)



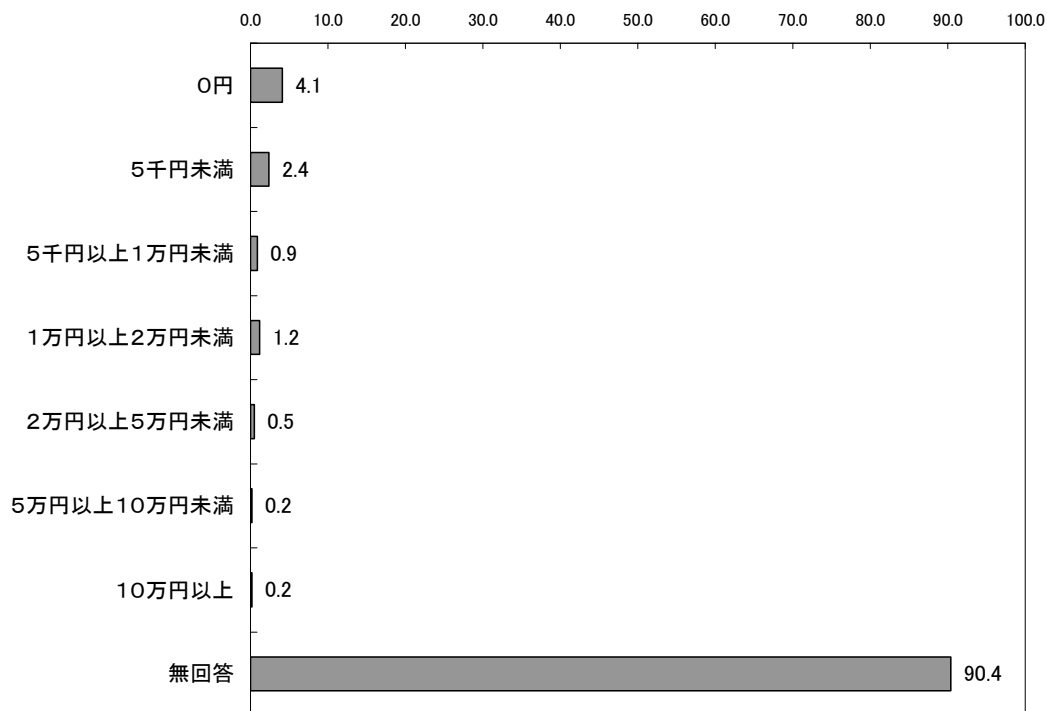
問26-3. ■介護保険(利用者のみ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	5千円未満	41	8.3
2	5千円以上1万円未満	24	4.9
3	1万円以上2万円未満	77	15.6
4	2万円以上3万円未満	68	13.8
5	3万円以上4万円未満	129	26.2
6	4万円以上	19	3.9
	無回答	135	27.4
	N (%ベース)	493	100.0

⑤その他の公的制度による利用者負担額

「その他の公的制度」の利用者負担額で最も多かったのは「0円」4.1%、次いで「5千円未満」が2.4%となっている。

その他の公的制度とは、医療保険による訪問看護や介護タクシーなどがあげられた。



問26-4. ■その他の公的制度

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	0円	61	4.1
2	5千円未満	35	2.4
3	5千円以上1万円未満	14	0.9
4	1万円以上2万円未満	18	1.2
5	2万円以上5万円未満	8	0.5
6	5万円以上10万円未満	3	0.2
7	10万円以上	3	0.2
	無回答	1340	90.4
	N (%ベース)	1482	100

<その他公的サービス>

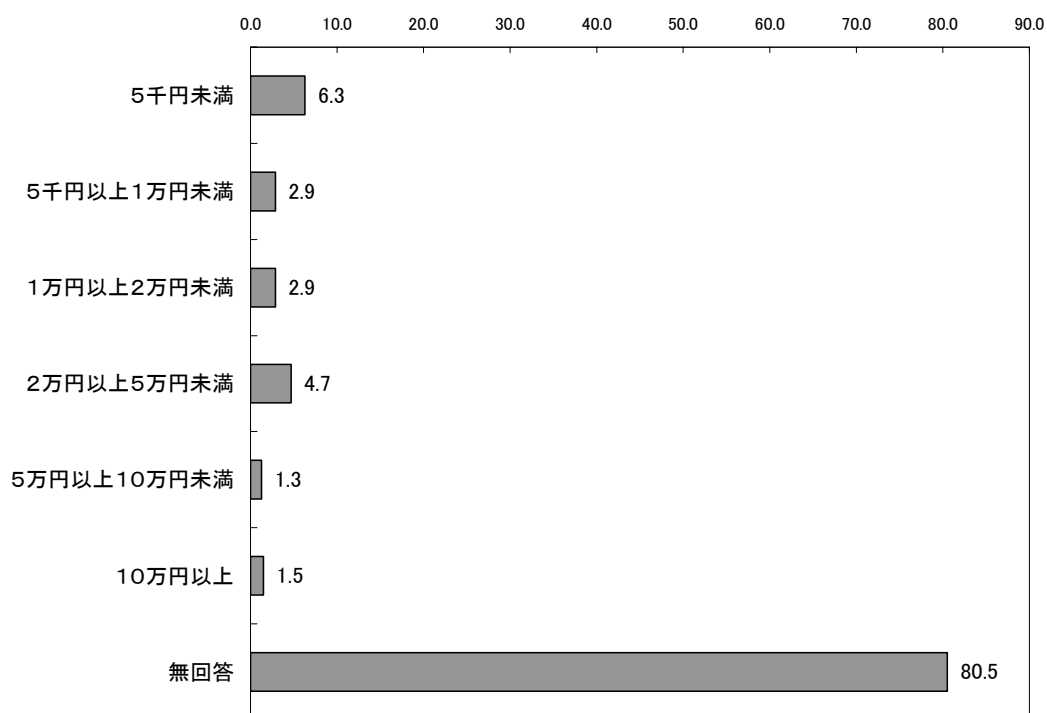
その他の公的サービス	件数	その他の公的サービス	件数
主治医往診料	4	入院経費・移送費用	1
訪問看護	8	介護タクシー	2
訪問看護(交通費やガソリン代)	4	移送サービス	1
労災処理になる訪看	1	日中一時支援事業	2
医療保険による訪問看護	3	特定疾患医療費受給	4
医療保険、訪問看護交通費	1	特疾保険	1
訪問介護	1	障害福祉サービス	2
訪問マッサージ	2	医療保険制度	3
訪問リハビリ	2	医療保険の自費分	1
入浴サービス(週1回)	1	医療保険、重度障害者医療助成利用	1
訪問歯科	2	医療費	2
口腔ケア	1	健康保険	2
福祉園に通園	1	療養介護	1
B型通園事業	3	障害者医療費受給者	1
重症心身障害通園事業	2	国民健康保険による入院費自己負担分。	1

短期入所	3	東京都医療券	1
個別給付、地域生活支援、介護保険を合わせて50000円くらい	1	全身性指名制介助人制度	1
現在、短期入所が利用しづらい状況ですが、もしステイをしたとすると実費負担は+1万円以上となります。実際の実費で利用を控えることも理由にあります。また、上記には通学のガソリン代は入れていません。還付されても100%ではなく、+1万円は毎月通学費に必ずかかっています。医療ケア見だと消毒などの消耗品も月々かかり負担です。			1

上段:度数 下段:%		問26-4. ■その他の公的制度								
		合計	0円	5千円未満	5千円以上 1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上	無回答
全体		1482	61	35	14	18	8	3	3	1340
		100.0	4.1	2.4	0.9	1.2	0.5	0.2	0.2	90.4
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を	422	16	13	6	5	3	2	1	376
	政令指定都市以 外	980	43	21	8	13	5	1	2	887
		100.0	4.4	2.1	0.8	1.3	0.5	0.1	0.2	90.5
問4. 住まい	在宅	1228	55	34	13	17	8	3	-	1098
	在宅以外	238	6	1	1	1	-	-	3	226
		100.0	2.5	0.4	0.4	0.4	-	-	1.3	95.0
問6. 病名	筋萎縮性側索硬 化症(ALS)	733	30	22	7	12	2	2	1	657
	脊髄損傷	145	5	1	1	2	3	-	-	133
	遷延性意識障害	192	11	1	1	4	1	-	2	172
	重症心身障害 児・者	430	15	11	5	-	2	1	-	396
	その他	70	2	1	1	-	-	1	-	65
		100.0	2.9	1.4	1.4	-	-	1.4	-	92.9

⑥公的制度でカバーされない支援に関する利用者負担額

「公的制度でカバーされない支援」の利用者負担額で最も多かったのは「5千円未満」6.3%、次いで「2万円以上5万円未満」が4.7%となっている。



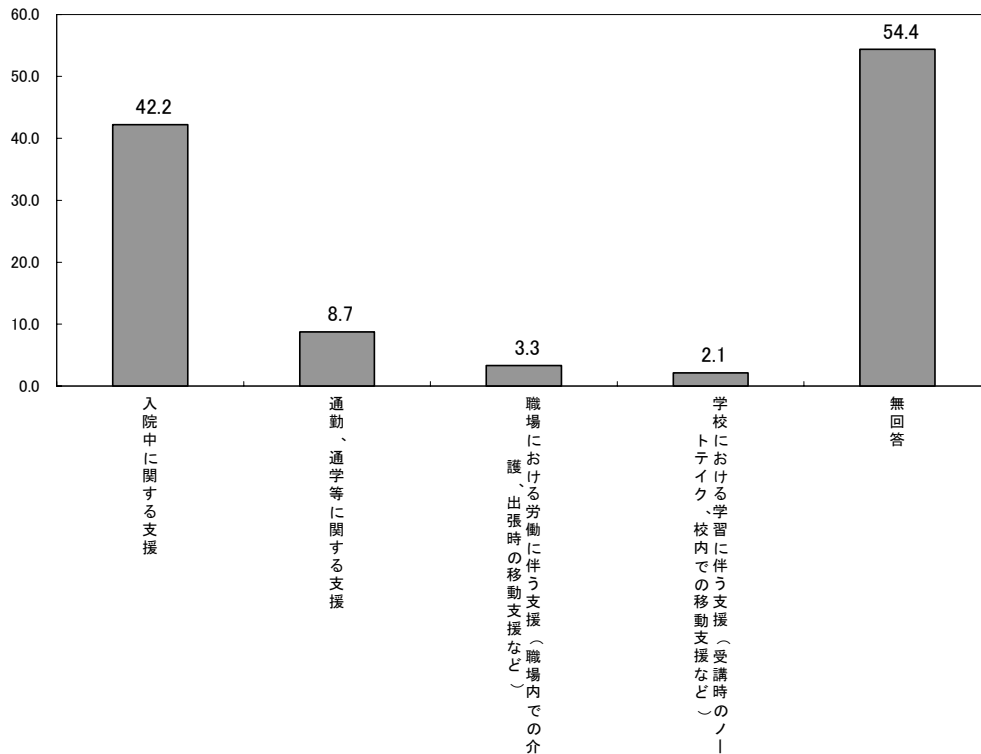
問26-5. 公的制度でカバーされない支援に関する自己負担

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	5千円未満	93	6.3
2	5千円以上1万円未満	43	2.9
3	1万円以上2万円未満	43	2.9
4	2万円以上5万円未満	69	4.7
5	5万円以上10万円未満	19	1.3
6	10万円以上	22	1.5
	無回答	1193	80.5
	N (%へ入)	1482	100

上段:度数		問26-5. 公的制度でカバーされない支援に関する自己負担							
下段:%		合計	5千円未満	5千円以上1万円未満	1万円以上2万円未満	2万円以上5万円未満	5万円以上10万円未満	10万円以上	無回答
全体		1482	93	43	43	69	19	22	1193
		100.0	6.3	2.9	2.9	4.7	1.3	1.5	80.5
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を	422	20	9	13	29	5	9	337
		100.0	4.7	2.1	3.1	6.9	1.2	2.1	79.9
	政令指定都市以外	980	68	32	28	40	13	11	788
		100.0	6.9	3.3	2.9	4.1	1.3	1.1	80.4
問4. 住まい	在宅	1228	85	40	40	59	17	14	973
		100.0	6.9	3.3	3.3	4.8	1.4	1.1	79.2
		238	8	3	3	10	2	5	207
		100.0	3.4	1.3	1.3	4.2	0.8	2.1	87.0
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733	50	19	19	43	8	15	579
		100.0	6.8	2.6	2.6	5.9	1.1	2.0	79.0
	脊髄損傷	145	6	2	2	4	4	2	125
		100.0	4.1	1.4	1.4	2.8	2.8	1.4	86.2
	遷延性意識障害	192	10	3	8	10	6	5	150
		100.0	5.2	1.6	4.2	5.2	3.1	2.6	78.1
	重症心身障害児・者	430	28	21	14	11	-	1	355
	100.0	6.5	4.9	3.3	2.6	-	0.2	82.6	
その他		70	4	4	2	3	1	2	54
		100.0	5.7	5.7	2.9	4.3	1.4	2.9	77.1

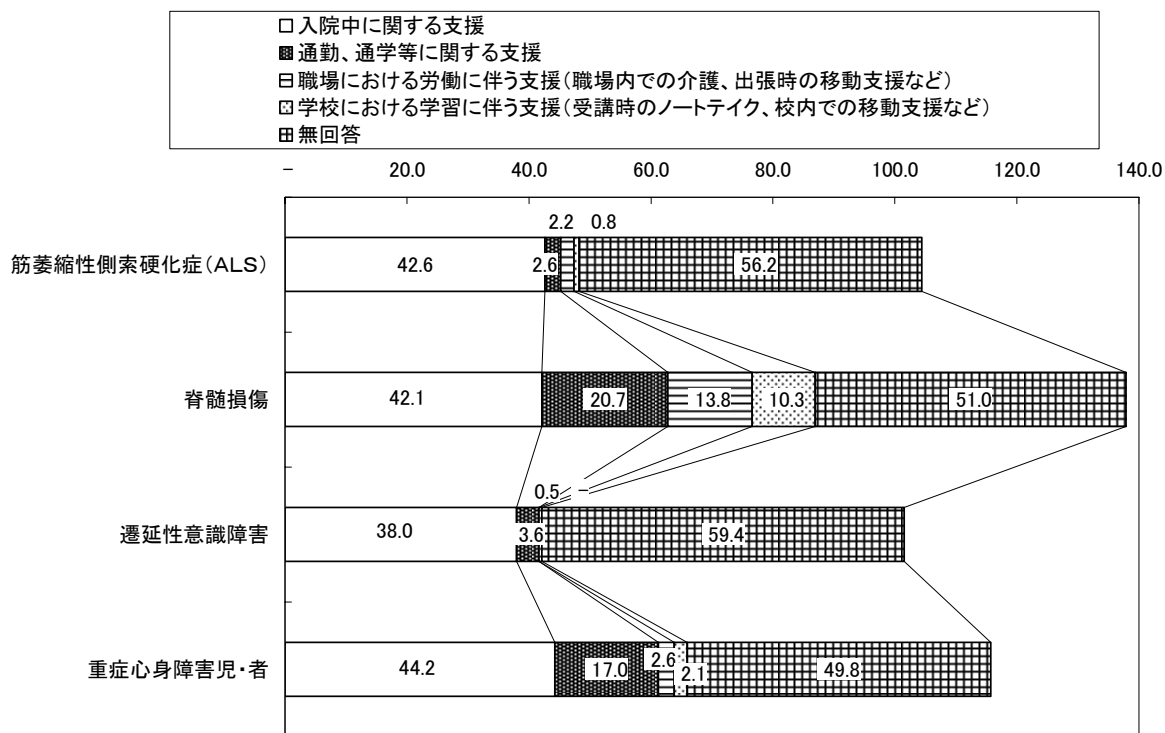
(6) 介護保険法や障害者自立支援法の制度外サービスで希望するサービス（問 27）

希望するサービスで最も多かったのは、「入院中に関する支援」42.2%、次いで「通勤、通学に関する支援」が8.7%となった。「無回答」の中には、自由記述のみ回答者145件を含むほか、現状に満足している回答者も含まれると推察される。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	入院中に関する支援	626	42.2
2	通勤、通学等に関する支援	129	8.7
3	職場における労働に伴う支援（職場内での介護、出張時の移動支援など）	49	3.3
4	学校における学習に伴う支援（受講時のノートテイク、校内での移動支援など）	31	2.1
	無回答	806	54.4
	N (%ベース)	1482	100

上段:度数		問27. 希望するサービス					無回答
下段:%		合計	入院中に関する支援	通勤、通学等に関する支援	職場における労働に伴う支援(職場内での介護、出張時の移動支援など)	学校における学習に伴う支援(受講時のノートテイク、校内での移動支援など)	
全体		1482	626	129	49	31	806
		100.0	42.2	8.7	3.3	2.1	54.4
都市分類	政令指定都市(東京特別区を)	422	189	51	15	10	219
		100.0	44.8	12.1	3.6	2.4	51.9
	政令指定都市以外	980	402	69	30	17	546
		100.0	41.0	7.0	3.1	1.7	55.7
問4. 住まい	在宅	1228	531	122	46	30	649
		100.0	43.2	9.9	3.7	2.4	52.9
	在宅以外	238	87	7	3	1	149
		100.0	36.6	2.9	1.3	0.4	62.6
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733	312	19	16	6	412
		100.0	42.6	2.6	2.2	0.8	56.2
	脊髄損傷	145	61	30	20	15	74
		100.0	42.1	20.7	13.8	10.3	51.0
	遷延性意識障害	192	73	7	-	1	114
		100.0	38.0	3.6	-	0.5	59.4
	重症心身障害児・者	430	190	73	11	9	214
	100.0	44.2	17.0	2.6	2.1	49.8	
その他		70	26	11	2	1	36
		100.0	37.1	15.7	2.9	1.4	51.4



上記以外の支援、希望するサービス、その他意見等

その他には、ストレッチャー使用時の介護タクシー費用が高額になることや遠方までの通院等にかかるガソリン代の補助などの通院・通所時の支援、また、入院中も在宅と同様のヘルパー利用が必要、入院中の日用生活用具の給付など、入院中・入所中支援などが多くあげられている。

入所・入院施設、サービス事業所やヘルパー・介護職等の資源不足や、緊急時・夜間などのサービス利用、またレスパイト入院に対する希望などがあげられた。

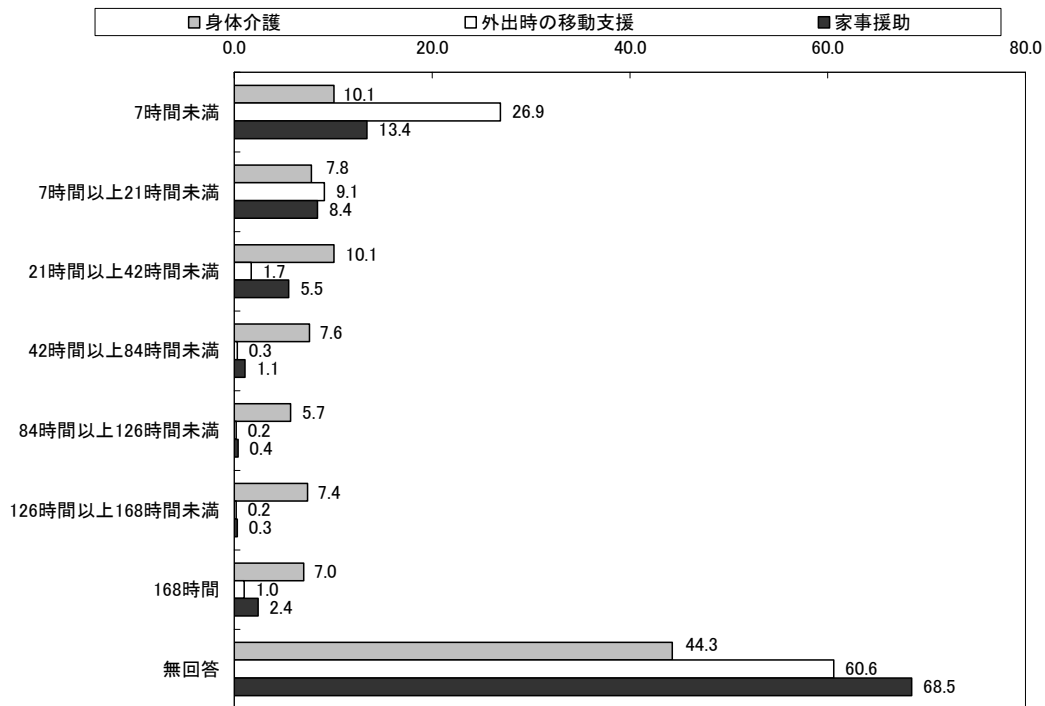
4. 障害者ご本人の家族介護の実態

(1) 家族介護の時間（問 28）

身体介護（居宅内）での家族介護の時間で多かったのは、「7時間未満」「21時間以上42時間未満」が10.1%となっている。

外出時の移動支援は、「7時間未満」が26.9%と最も多い結果となった。

家事援助は、「7時間未満」が13.4%と最も多く、次いで「7時間以上21時間未満」が8.4%となっている。



問28. 家族介護時間

No.	カテゴリ	身体介護		外出時の移動支援		家事援助	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	7時間未満	149	10.1	398	26.9	198	13.4
2	7時間以上21時間未満	116	7.8	135	9.1	125	8.4
3	21時間以上42時間未満	150	10.1	25	1.7	82	5.5
4	42時間以上84時間未満	113	7.6	5	0.3	16	1.1
5	84時間以上126時間未満	84	5.7	3	0.2	6	0.4
6	126時間以上168時間未満	109	7.4	3	0.2	5	0.3
7	168時間	104	7.0	15	1.0	35	2.4
	無回答	657	44.3	898	60.6	1015	68.5
	N (%ベース)	1482	100	1482	100	1482	100

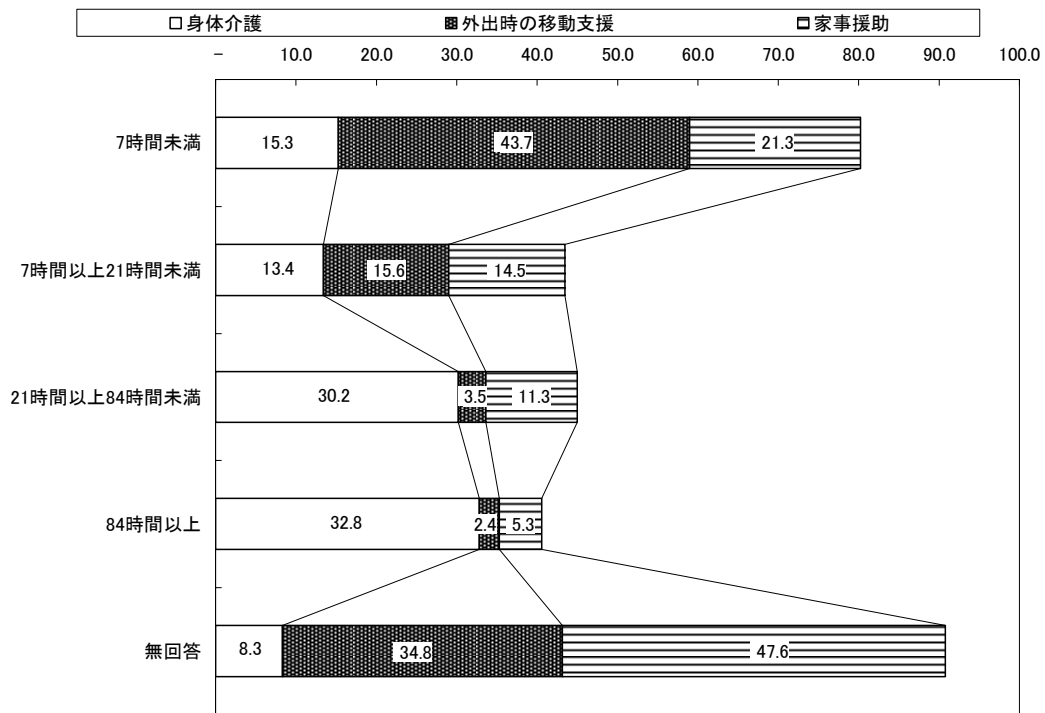
第三章 訪問系サービス利用者におけるサービス利用状況等に関する実態調査結果

上段:度数		問28-1. 家族介護時間-身体介護								
下段:%		合計	7時間未満	7時間以上 21時間未満	21時間以上 42時間未満	42時間以上 84時間未満	84時間以上 126時間未満	126時間以上 168時間未満	168時間	無回答
全体		1482 100.0	149 10.1	116 7.8	150 10.1	113 7.6	84 5.7	109 7.4	104 7.0	657 44.3
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を含 む)	422 100.0	39 9.2	33 7.8	41 9.7	45 10.7	32 7.6	25 5.9	31 7.3	176 41.7
	政令指定都市以 外	980 100.0	102 10.4	80 8.2	103 10.5	64 6.5	50 5.1	79 8.1	72 7.3	430 43.9
問4. 住まい	在宅	1228 100.0	130 10.6	105 8.6	139 11.3	108 8.8	84 6.8	106 8.6	100 8.1	456 37.1
	在宅以外	238 100.0	17 7.1	11 4.6	11 4.6	4 1.7	-	2 0.8	4 1.7	189 79.4
問6. 病名	筋萎縮性側索硬 化症(ALS)	733 100.0	74 10.1	67 9.1	76 10.4	51 7.0	46 6.3	62 8.5	51 7.0	306 41.7
	脊髄損傷	145 100.0	24 16.6	8 5.5	20 13.8	16 11.0	7 4.8	2 1.4	9 6.2	59 40.7
	遷延性意識障害	192 100.0	15 7.8	8 4.2	9 4.7	13 6.8	12 6.3	15 7.8	21 10.9	99 51.6
	重症心身障害 児・者	430 100.0	39 9.1	30 7.0	45 10.5	30 7.0	23 5.3	32 7.4	29 6.7	202 47.0
	その他	70 100.0	10 14.3	6 8.6	7 10.0	7 10.0	1 1.4	1 8.6	1 1.4	32 45.7

上段:度数		問28-2. 家族介護時間-外出時の移動支援								
下段:%		合計	7時間未満	7時間以上 21時間未満	21時間以上 42時間未満	42時間以上 84時間未満	84時間以上 126時間未満	126時間以上 168時間未満	168時間	無回答
全体		1482 100.0	398 26.9	135 9.1	25 1.7	5 0.3	3 0.2	3 0.2	15 1.0	898 60.6
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を含 む)	422 100.0	126 29.9	44 10.4	11 2.6	1 0.2	-	1 0.2	2 0.5	237 56.2
	政令指定都市以 外	980 100.0	267 27.2	88 9.0	14 1.4	3 0.3	3 0.3	2 0.2	13 1.3	600 61.2
問4. 住まい	在宅	1228 100.0	371 30.2	128 10.4	23 1.9	5 0.4	3 0.2	3 0.2	14 1.1	681 55.5
	在宅以外	238 100.0	25 10.5	7 2.9	2 0.8	-	-	-	1 0.4	203 85.3
問6. 病名	筋萎縮性側索硬 化症(ALS)	733 100.0	207 28.2	40 5.5	9 1.2	-	1 0.1	3 0.4	7 1.0	466 63.6
	脊髄損傷	145 100.0	36 24.8	18 12.4	4 2.8	2 1.4	1 0.7	-	-	84 57.9
	遷延性意識障害	192 100.0	48 25.0	21 10.9	3 1.6	-	-	-	2 1.0	118 61.5
	重症心身障害 児・者	430 100.0	108 25.1	57 13.3	10 2.3	3 0.7	1 0.2	-	6 1.4	245 57.0
	その他	70 100.0	21 30.0	11 15.7	-	-	-	1 1.4	-	37 52.9

上段:度数		問28-3. 家族介護時間-家事援助								
下段:%		合計	7時間未満	7時間以上 21時間未満	21時間以上 42時間未満	42時間以上 84時間未満	84時間以上 126時間未満	126時間以上 168時間未満	168時間	無回答
全体		1482 100.0	198 13.4	125 8.4	82 5.5	16 1.1	6 0.4	5 0.3	35 2.4	1015 68.5
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を含 む)	422 100.0	65 15.4	37 8.8	35 8.3	8 1.9	2 0.5	-	8 1.9	267 63.3
	政令指定都市以 外	980 100.0	128 13.1	83 8.5	45 4.6	8 0.8	4 0.4	5 0.5	27 2.8	680 69.4
問4. 住まい	在宅	1228 100.0	172 14.0	120 9.8	81 6.6	15 1.2	6 0.5	5 0.4	33 2.7	796 64.8
	在宅以外	238 100.0	24 10.1	5 2.1	1 0.4	1 0.4	-	-	2 0.8	205 86.1
問6. 病名	筋萎縮性側索硬 化症(ALS)	733 100.0	106 14.5	64 8.7	38 5.2	9 1.2	3 0.4	3 0.4	19 2.6	491 67.0
	脊髄損傷	145 100.0	20 13.8	18 12.4	11 7.6	4 2.8	2 1.4	-	2 1.4	88 60.7
	遷延性意識障害	192 100.0	24 12.5	8 4.2	13 6.8	-	-	1 0.5	4 2.1	142 74.0
	重症心身障害 児・者	430 100.0	52 12.1	29 6.7	19 4.4	3 0.7	1 0.2	1 0.2	11 2.6	314 73.0
	その他	70 100.0	13 18.6	8 11.4	4 5.7	-	1 1.4	-	-	44 62.9

その回答の内、身体介護、外出時の移動支援、家事援助の全て未記入の回答を除外した結果が以下のとおりである。



問28-1. 家族介護時間—全て未記入を除外 (数量)

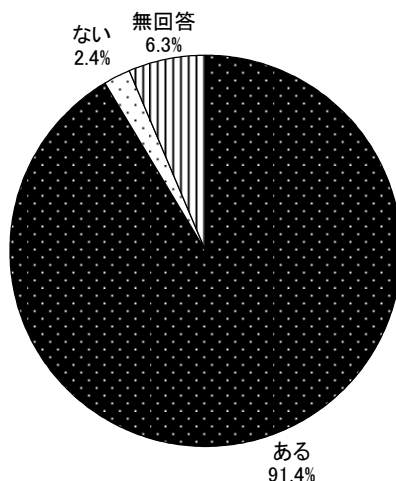
No.	カテゴリ	身体介護		外出時の移動支援		家事援助	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	7時間未満	132	15.3	378	43.7	184	21.3
2	7時間以上21時間未満	116	13.4	135	15.6	125	14.5
3	21時間以上84時間未満	261	30.2	30	3.5	98	11.3
4	84時間以上	284	32.8	21	2.4	46	5.3
	無回答	72	8.3	301	34.8	412	47.6
	N (%へース)	865	100.0	865	100.0	865	100.0

5. 障害者ご本人の医療費

(1) かかりつけ病院・診療所について (問 29)

① かかりつけ病院・診療所の有無

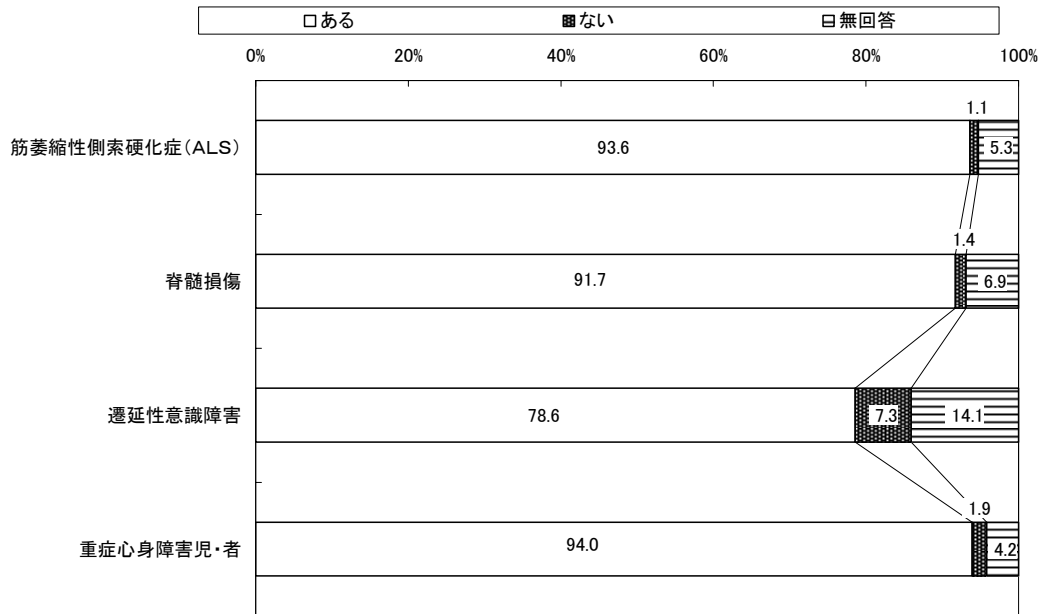
約9割の方がかかりつけ病院・診療所があると回答した。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ある	1354	91.4
2	ない	35	2.4
	無回答	93	6.3
	N (%ベース)	1482	100

		上段:度数 下段:%	問29. かかりつけ病院の有無			
			合計	ある	ない	無回答
全体			1482 100.0	1354 91.4	35 2.4	93 6.3
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を		422 100.0	384 91.0	8 1.9	30 7.1
	政令指定都市以 外		980 100.0	902 92.0	23 2.3	55 5.6
問4. 住まい	在宅		1228 100.0	1177 95.8	17 1.4	34 2.8
	在宅以外		238 100.0	170 71.4	17 7.1	51 21.4
問6. 病名	筋萎縮性側索硬 化症(ALS)		733 100.0	686 93.6	8 1.1	39 5.3
	脊髄損傷		145 100.0	133 91.7	2 1.4	10 6.9
	遷延性意識障害		192 100.0	151 78.6	14 7.3	27 14.1
	重症心身障害 児・者		430 100.0	404 94.0	8 1.9	18 4.2
	その他		70 100.0	63 90.0	3 4.3	4 5.7

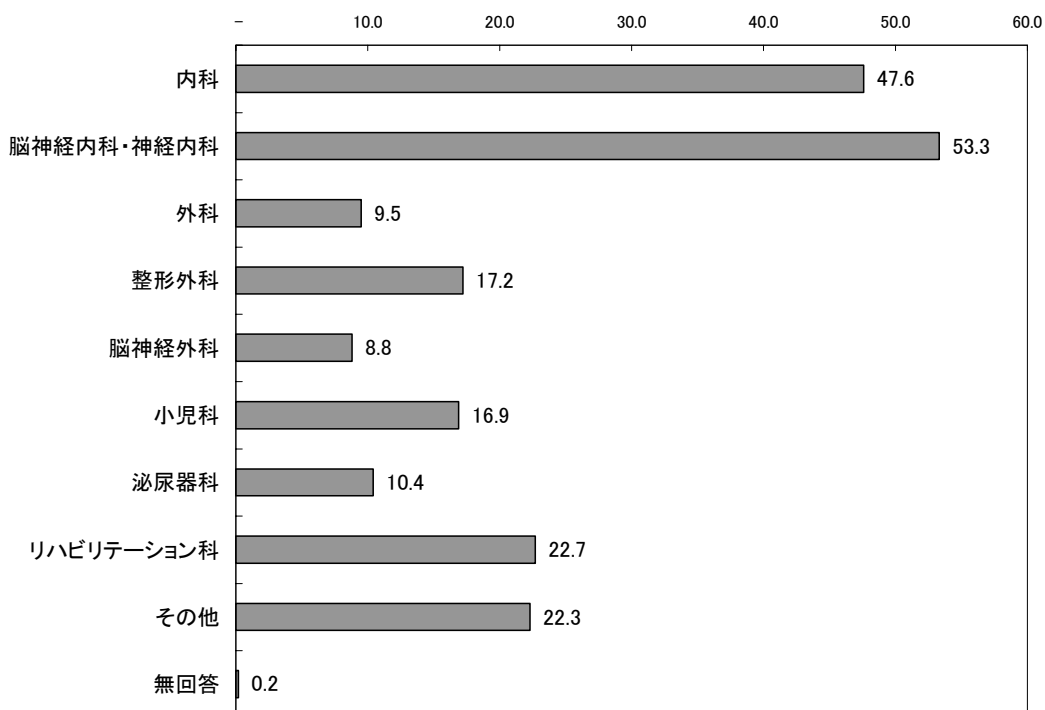
問29. かかりつけ医の有無 × 問6. 病名



②担当科

担当科で最も多かったのは、「脳神経内科・神経内科」の53.3%、次いで「内科」の47.6%となっている。

その他では、歯科や皮膚科、眼科などがあげられている。

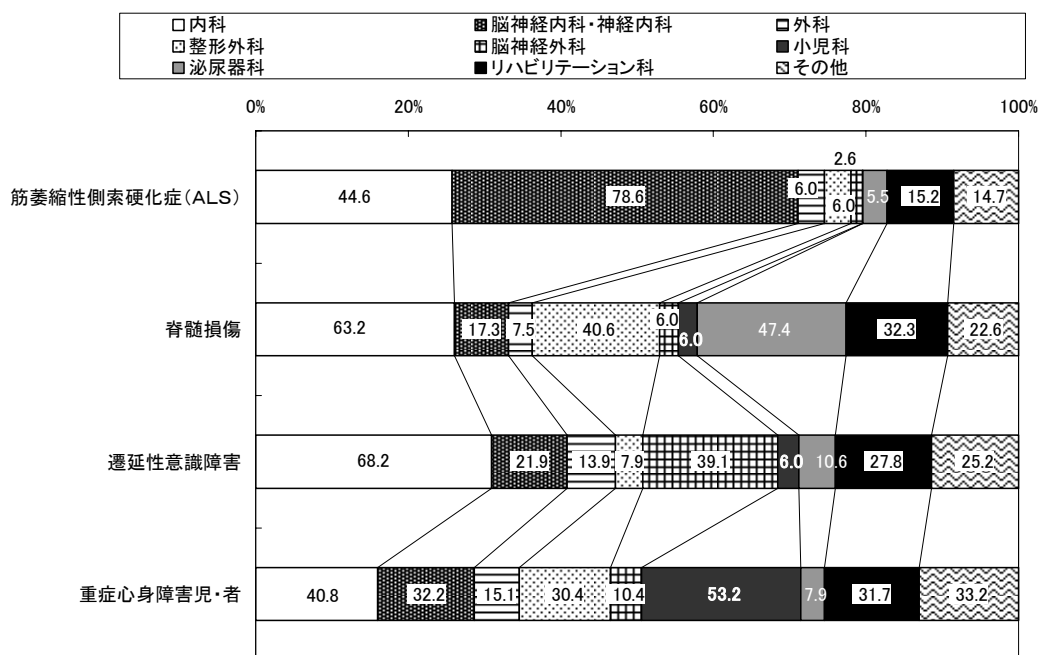


問29-1. 担当科 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	内科	644	47.6
2	脳神経内科・神経内科	722	53.3
3	外科	128	9.5
4	整形外科	233	17.2
5	脳神経外科	119	8.8
6	小児科	229	16.9
7	泌尿器科	141	10.4
8	リハビリテーション科	308	22.7
9	その他	302	22.3
	無回答	3	0.2
	N (%ベース)	1354	100

上段:度数		問29-1. 担当科										
下段:%		合計	内科	脳神経内科・神経内科	外科	整形外科	脳神経外科	小児科	泌尿器科	リハビリテーション科	その他	無回答
全体		1354	644	722	128	233	119	229	141	308	302	3
		100.0	47.6	53.3	9.5	17.2	8.8	16.9	10.4	22.7	22.3	0.2
都市分類	政令指定都市(東京特別区を)	384	186	206	39	72	26	68	40	83	108	1
	政令指定都市以外	902	426	485	84	147	83	152	93	207	178	2
		100.0	47.2	53.8	9.3	16.3	9.2	16.9	10.3	22.9	19.7	0.2
問4. 住まい	在宅	1177	574	623	114	211	99	218	125	260	274	-
	在宅以外	170	68	96	13	20	19	10	13	42	27	3
		100.0	48.8	52.9	9.7	17.9	8.4	18.5	10.6	22.1	23.3	-
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	686	306	539	41	41	18	1	38	104	101	1
	脊髄損傷	133	84	23	10	54	8	8	63	43	30	1
	遷延性意識障害	151	103	33	21	12	59	9	16	42	38	1
	重症心身障害児・者	404	165	130	61	123	42	215	32	128	134	1
	その他	63	27	34	10	20	5	18	9	20	18	-
		100.0	42.9	54.0	15.9	31.7	7.9	28.6	14.3	31.7	28.6	-
			100.0	42.9	54.0	15.9	31.7	7.9	28.6	14.3	31.7	28.6

問29. 担当科 × 問6. 病名

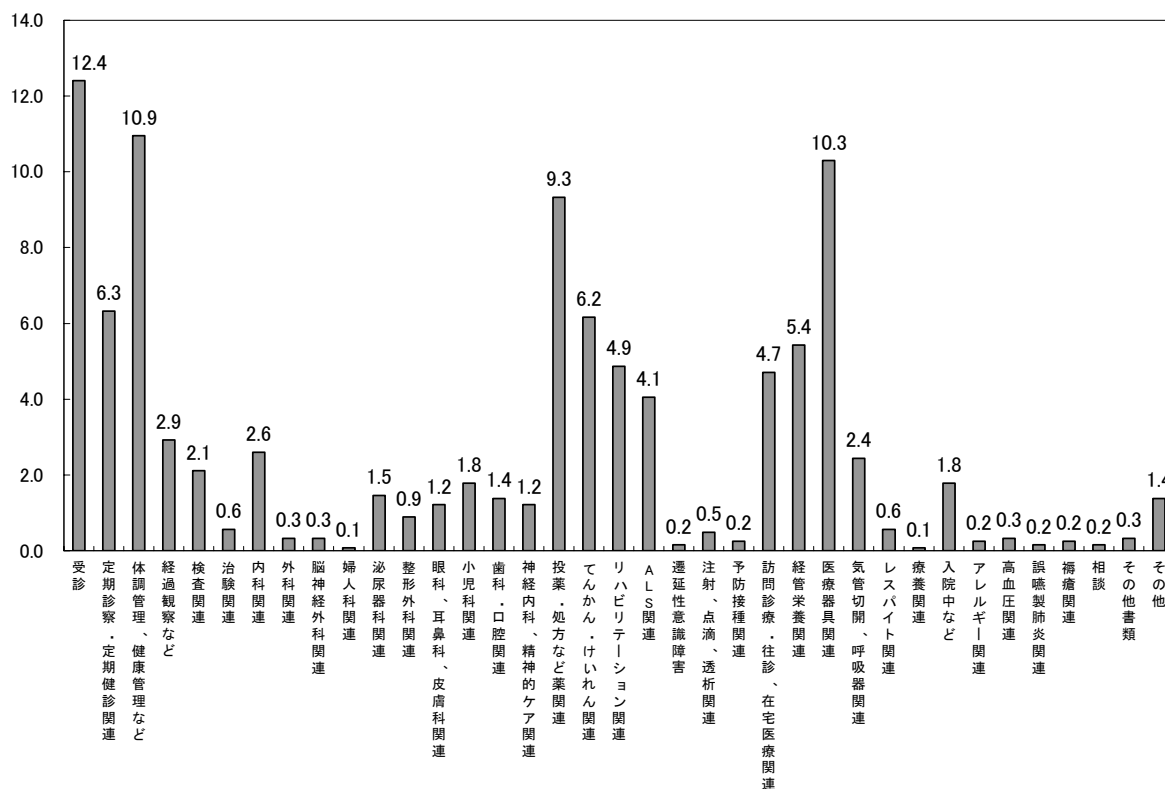


担当科：その他

担当科	件数	担当科	件数
訪問診療	1	産婦人科	3
訪問医	1	婦人科	4
往診医	1	脳神経小児科	1
在宅医	1	小児神経科	7
在宅	1	児童精神科	1
在宅療養支援診療所	2	小児外科	4
放射線科	1	小児科	2
腎臓内科	1	新生児フォローアップ	1
腎臓科	1	歯科における訪問口腔ケア。	1
神経内科	4	歯科	132
神経耳鼻科	1	歯科医往診(嚥下訓練)	1
心臓血管外科	1	口腔外科	7
心臓内科	1	口腔リハ(摂食指導)	1
心臓外科	1	口腔ケア	1
呼吸器内科	2	耳鼻科	44
呼吸器外科	2	耳鼻咽喉科	14
呼吸器科	10	入院中の病院。	1
形成外科	4	内分泌代謝科	2
皮膚科	59	心療内科	3
泌尿器科	2	接骨院	2
肛門病院	1	整骨院に訪問リハビリ	1
外科胃腸科医院	1	整骨院	1
消化器科	5	鍼灸	1
循環器内科	1	訪問クリーニング	1
循環器科	5		

③主な受診目的（問30）

主な受診目的では、さまざまな受診 12.4%と最も多く、次いで体調管理等の 10.9%、気管カニューレ交換などの医療器具関連が 10.3%などが多くあげられた。

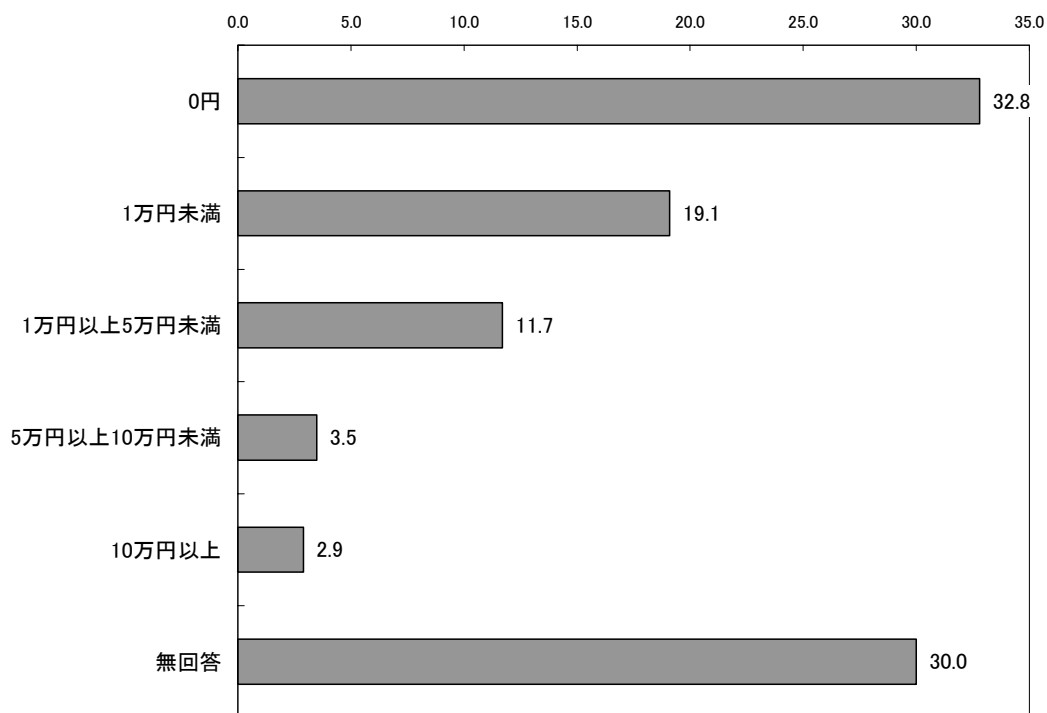


カテゴリー	件数	%
受診	153	12.4
定期診察・定期健診関連	78	6.3
体調管理、健康管理など	135	10.9
経過観察など	36	2.9
検査関連	26	2.1
治験関連	7	0.6
内科関連	32	2.6
外科関連	4	0.3
脳神経外科関連	4	0.3
婦人科関連	1	0.1
泌尿器科関連	18	1.5
整形外科関連	11	0.9
眼科、耳鼻科、皮膚科関連	15	1.2
小児科関連	22	1.8
歯科・口腔関連	17	1.4
神経内科、精神的ケア関連	15	1.2
投薬・処方など薬関連	115	9.3
てんかん・けいれん関連	76	6.2
リハビリテーション関連	60	4.9
ALS関連	50	4.1
遷延性意識障害	2	0.2
注射、点滴、透析関連	6	0.5
予防接種関連	3	0.2

訪問診療・往診、在宅医療関連	58	4.7
経管栄養関連	67	5.4
医療器具関連	127	10.3
気管切開、呼吸器関連	30	2.4
レスパイト関連	7	0.6
療養関連	1	0.1
入院中など	22	1.8
アレルギー関連	3	0.2
高血圧関連	4	0.3
誤嚥製肺炎関連	2	0.2
褥瘡関連	3	0.2
相談	2	0.2
その他書類	4	0.3
その他	17	1.4
	1233	100

④ 1か月の医療費負担額（問31）

医療費負担額で最も多かったのは、「0円」の32.8%、次いで「1万円未満」の19.1%となっている。

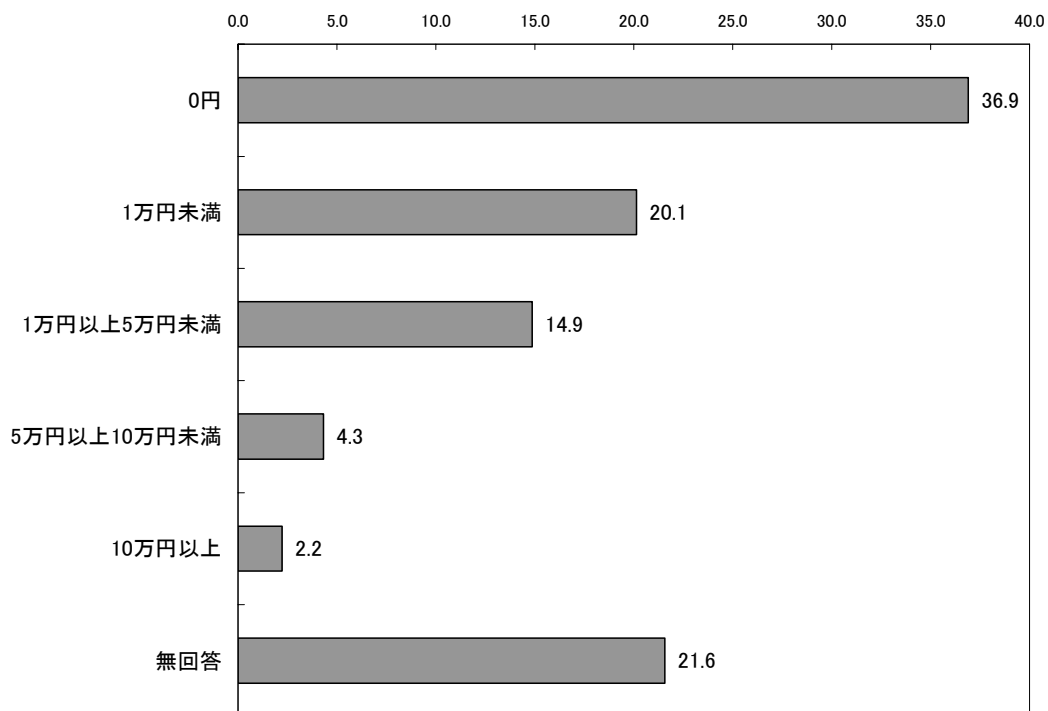


問31. 医療費負担額

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	0円	486	32.8
2	1万円未満	283	19.1
3	1万円以上5万円未満	174	11.7
4	5万円以上10万円未満	52	3.5
5	10万円以上	43	2.9
	無回答	444	30.0
	N (%への入)	1482	100

上段:度数		問31. 医療費負担額						
下段:%		合計	0円	1万円未満	1万円以上5万円未満	5万円以上10万円未満	10万円以上	無回答
全体		1482	524	275	153	46	39	445
		100.0	35.4	18.6	10.3	3.1	2.6	30.0
都市分類	政令指定都市 (東京特別区を	422	173	72	40	8	10	119
		100.0	41.0	17.1	9.5	1.9	2.4	28.2
	政令指定都市以外	980	332	196	107	34	27	284
		100.0	33.9	20.0	10.9	3.5	2.8	29.0
問4. 住まい	在宅	1228	465	248	126	34	20	335
		100.0	37.9	20.2	10.3	2.8	1.6	27.3
	在宅以外	238	57	26	25	12	17	101
		100.0	23.9	10.9	10.5	5.0	7.1	42.4
問6. 病名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)	733	240	125	89	25	24	230
		100.0	32.7	17.1	12.1	3.4	3.3	31.4
	脊髄損傷	145	47	36	11	3	4	44
		100.0	32.4	24.8	7.6	2.1	2.8	30.3
	遷延性意識障害	192	58	28	24	11	13	58
		100.0	30.2	14.6	12.5	5.7	6.8	30.2
	重症心身障害児・者	430	183	89	30	6	2	120
	100.0	42.6	20.7	7.0	1.4	0.5	27.9	
その他		70	24	14	10	4	1	17
		100.0	34.3	20.0	14.3	5.7	1.4	24.3

回答のうち、医療保険サービス利用者のみで集計した結果が以下のとおりである。



問31. 医療費負担額(サービス利用者のみ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	0円	231	36.9
2	1万円未満	126	20.1
3	1万円以上5万円未満	93	14.9
4	5万円以上10万円未満	27	4.3
5	10万円以上	14	2.2
	無回答	131	21.6
	N (%ベース)	622	100

第四章 患者数推計

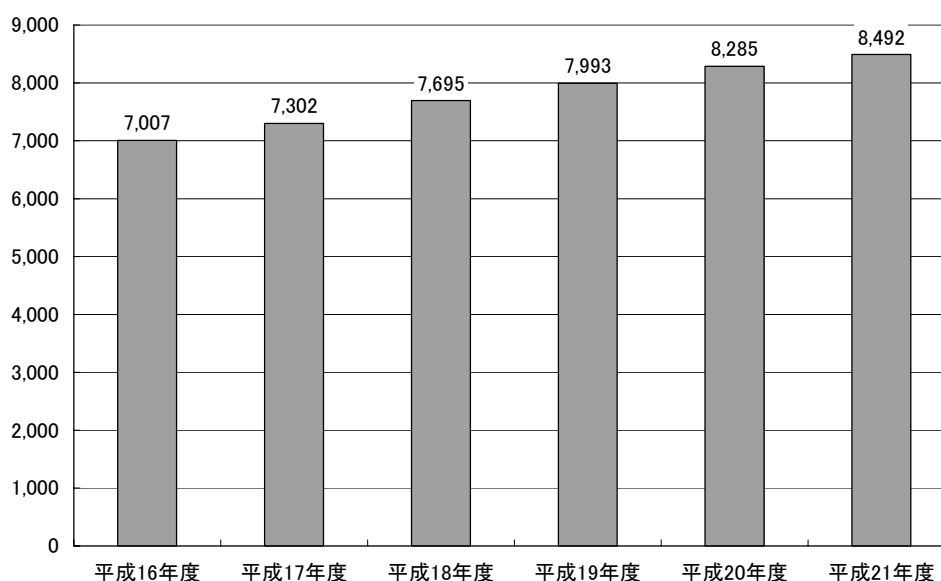
第一節 患者数推計

1. 筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者数

平成21年度末現在の特定疾患医療受給者証所持者数のうち、筋萎縮性側索硬化症は8,492人で、「男」4,839人、「女」3,653人となっている。

年度別にみると、年間200～300人の増加となっている。

また、在宅者で医療的ケアが必要な者を推計すると、2009年2月東アジアALS患者在宅療養研究シンポジウムにおける日本におけるALS患者の在宅療養の現状と課題より、約70%（2005年）が在宅療養者とされており、8,492人のうち5,944人となり、さらにたんの吸引が必要な者は本調査回答67.3%で、4,001人、経管栄養が必要な者は本調査回答69.7%で4,143人と推計される。



平成16年度		平成17年度		平成18年度	
増加数	件数	増加数	件数	増加数	件数
233	7,007	295	7,302	393	7,695
平成19年度		平成20年度		平成21年度	
増加数	件数	増加数	件数	増加数	件数
298	7,993	292	8,285	207	8,492

（難病情報センター：特定疾患医療受給者証交付件数）

2. 脊髄損傷患者数

日本では、外傷性脊髄損傷者は、推定 10 万人以上おり、毎年およそ 5,000 人（人口 100 万人あたり 40.7 人）が新規に発生しているとされている。（新宮彦助：脊髄損傷の予防. 日本パラプレジア医学会雑誌 13（1）：48-49, 2000.）

1990～1992 年における新宮らの全国調査では、3 年間に 9,752 例が脊髄損傷を受傷しており、発生率は 1 年間に 100 万人あたり 40.2 人とされている。（新宮彦助、木村功、那須吉郎、他：脊髄損傷の疫学と予防. 日本災害医学会会誌 46：404-409, 1998.）

2008 年の吉永らによる千葉県における脊髄損傷疫学調査では、回収率および千葉県人口 615 万人を考慮して計算した推計発生率は、人口百万に対し、FrankelA～D で 39.1 人で、この値は前回調査における全国（39.8）および千葉県（38.5）の発生率とほぼ同じとなったとされている。（吉永勝訓、田中康之、千葉県千葉リハビリテーションセンター：千葉県における脊髄損傷疫学調査（2008）. 日本脊髄障害医学会誌 23(1). 2010）

2002 年 1 月～12 月の日本脊髄障害医学学会による全国脊髄損傷登録統計では、発生件数が 1706 例であり、年代別の発生件数では 1990～1992 調査時と同様に 50 歳以降及び 20～29 歳代に多くの症例が集まる二相性のパターンがみられた。同年の年代別人口を求めて発生頻度を検討すると、むしろ 70 歳代を頂点とする発生頻度パターンが明らかとなったとされている。（日本脊髄障害医学学会脊損予防委員会 委員長柴崎啓：全国脊髄損傷登録統計（2002 年 1 月～12 月）、日本脊髄障害医学学会雑誌 vol18. 2005）

上記、日本脊髄障害医学学会統計内の年齢人口別発生頻度を推計した結果は以下のとおりとなり、H21 年度人口比で約 16.2 万人となった。

また、その内障害レベルが「C4」以上の者の割合 24.2%（「脊髄損傷の治療から社会復帰まで」独立行政法人労働者健康福祉機構 全国脊髄損傷者データベース研究会編より）で 38,882 人、「C4」以上の在宅者の割合 24.6%（「在宅高位脊髄損傷者の介護システム」2003 年 3 月－在宅脊髄損傷者の介護に関する調査（特定非営利活動法人日本せきずい基金）より）となり、9,565 人と推計される。さらにたんの吸引が必要な者は本調査回答 26.9%で、2,573 人、経管栄養が必要な者は本調査回答 14.5%で 1,387 人と推計される。

	H21年年齢別人口	全国脊髄損傷登録統計 発生頻度より	患者数推計値
0～9歳	11,060,000	0.0001	1106
10～19歳	12,028,000	0.0006	7217
20～29歳	14,417,000	0.0011	15859
30～39歳	18,306,000	0.0008	14645
40～49歳	16,407,000	0.0012	19688
50～59歳	16,872,000	0.0019	32057
60～69歳	17,798,000	0.0022	39156
70～79歳	12,722,000	0.0024	30533
80～89歳	845,000	0.0016	1352
90歳以上	1,331,000	0.0003	399
			162,011

※H21 年年齢別人口は、総務省統計局人口推計年報より

3. 遷延性意識障害者患者数

茨城県衛生部保健予防課において行われた、平成 10 年度の遷延性意識障害者調査において把握できた遷延性意識障害者数は 656 人であった。男女比は男性 37.3%、女性 62.7%であった。

兵庫県において行われた平成 9 年度「遷延性意識障害者療養支援検討会」において行われた調査で把握された遷延性意識障害者数は、654 人であった。この際の調査対象が、市町、訪問看護ステーション、脳神経外科を有する病院、療養型病床群を有する病院、特別養護老人ホーム、身体障害者療養施設であり、市町以外の回答数は、対象施設 386 に対し 250 件の 65%であった。そのため、把握できなかった患者も相当数いるものと推測される。

河北新報社と広南病院の共同調査では、2010 年 10 月 1 日時点の遷延性意識障害者数は 968 人であった。宮城県における 2009 年度の遷延性意識障害者治療研究事業の対象は 110 人であったが、調査の結果は約 9 倍となっている。回収率は 63%であることから、遷延性意識障害 S の患者数は宮城県内で 1000 人近くに上るとされている。

以上の 3 つの調査結果を元に、それぞれの県における遷延性意識障害者の割合を算出し、平成 21 年度の人口に乗じて各県の推計を行った。ただし兵庫県においては、回答のなかった施設等に関して、回答のあった割合を基にして補正値を算出した。

以上の結果から平成 21 年現在では、兵庫県における調査を基にした場合 21,528 人、茨城県の調査を基にした場合 28,069 人、宮城県における調査を基にした場合 54,585 人と推計された。

また、在宅者で医療的ケアが必要な者を推計すると、上記宮城県の調査では 10.3%であり、5,895 人、さらにたんの吸引が必要な者は本調査回答 75.0%で、4,421 人、経管栄養が必要な者は本調査回答 89.1%で 5,253 人と推計される。

■兵庫県の補正

調査施設	対象施設	回答施設		回答のあった施設のうち遷延性意識障害者がいると回答のあった施設			補正	
		回答数	回答率	遷延性意識障害者数	1施設あたりの人数(人)	遷延性意識障害者がいる施設の補正 対象施設×(回答のあった施設÷回答施設数)	遷延性意識障害者数 補正施設数×1施設あたりの人数	
訪問看護ステーション	101	73	72.3%	38	129	3.4	53	178
脳神経外科を標榜する病院	90	51	56.7%	38	123	3.2	67	217
療養型病床群を有する病院	32	17	53.1%	16	59	3.7	30	111
特別養護老人ホーム	150	96	64.0%	41	127	3.1	64	198
身体障害者療養施設	13	13	100.0%	4	7	1.8	4	7
計	386	250	64.8%	137	445			712

以上の数字に 54 市町の把握している 209 人を加えた 921 人を補正値として採用した。

■平成 21 年現在推計値

都道府県	平成9年		平成10年		平成21年				
	男女計	兵庫調査	男女計	茨城調査	男女計	宮城調査	兵庫調査	茨城調査	宮城調査
全 国	126,157,000	21,300	126,472,000	27,841	127,510,000		21,528	28,069	54,585
01 北海道	5,699,000	962	5,695,000	1,254	5,507,000		930	1,212	2,357
02 青森県	1,481,000	250	1,479,000	326	1,379,000		233	304	590
03 岩手県	1,419,000	240	1,419,000	312	1,340,000		226	295	574
04 宮城県	2,348,000	396	2,355,000	518	2,336,000	0.043%	394	514	1,000
05 秋田県	1,205,000	203	1,200,000	264	1,096,000		185	241	469
06 山形県	1,253,000	212	1,251,000	275	1,179,000		199	260	505
07 福島県	2,134,000	360	2,132,000	469	2,040,000		344	449	873
08 茨城県	2,973,000	502	2,980,000	656	2,960,000	0.022%	500	652	1,267
09 栃木県	1,996,000	337	2,001,000	440	2,006,000		339	442	859
10 群馬県	2,013,000	340	2,017,000	444	2,007,000		339	442	859
11 埼玉県	6,841,000	1,155	6,877,000	1,514	7,130,000		1,204	1,570	3,052
12 千葉県	5,839,000	986	5,867,000	1,292	6,139,000		1,036	1,351	2,628
13 東京都	11,881,000	2,006	11,939,000	2,628	12,868,000		2,173	2,833	5,509
14 神奈川県	8,319,000	1,405	8,383,000	1,845	8,943,000		1,510	1,969	3,828
15 新潟県	2,490,000	420	2,488,000	548	2,378,000		401	523	1,018
16 富山県	1,124,000	190	1,124,000	247	1,095,000		185	241	469
17 石川県	1,181,000	199	1,181,000	260	1,165,000		197	256	499
18 福井県	828,000	140	828,000	182	808,000		136	178	346
19 山梨県	886,000	150	888,000	195	867,000		146	191	371
20 長野県	2,207,000	373	2,210,000	486	2,159,000		365	475	924
21 岐阜県	2,106,000	356	2,108,000	464	2,092,000		353	461	896
22 静岡県	3,752,000	633	3,758,000	827	3,792,000		640	835	1,623
23 愛知県	6,931,000	1,170	6,973,000	1,535	7,418,000		1,252	1,633	3,176
24 三重県	1,851,000	313	1,855,000	408	1,870,000		316	412	801
25 滋賀県	1,310,000	221	1,323,000	291	1,405,000		237	309	601
26 京都府	2,638,000	445	2,643,000	582	2,622,000		443	577	1,122
27 大阪府	8,808,000	1,487	8,813,000	1,940	8,801,000		1,486	1,937	3,768
28 兵庫県	5,455,000	921	5,494,000	1,209	5,583,000		943	1,229	2,390
29 奈良県	1,442,000	243	1,443,000	318	1,399,000		236	308	599
30 和歌山県	1,078,000	182	1,076,000	237	1,004,000		170	221	430
31 鳥取県	614,000	104	615,000	135	591,000		100	130	253
32 島根県	768,000	130	765,000	168	718,000		121	158	307
33 岡山県	1,952,000	330	1,953,000	430	1,942,000		328	428	831
34 広島県	2,882,000	487	2,882,000	634	2,863,000		483	630	1,226
35 山口県	1,545,000	261	1,540,000	339	1,455,000		246	320	623
36 徳島県	830,000	140	829,000	182	789,000		133	174	338
37 香川県	1,026,000	173	1,025,000	226	999,000		169	220	428
38 愛媛県	1,503,000	254	1,501,000	330	1,436,000		242	316	615
39 高知県	816,000	138	816,000	180	766,000		129	169	328
40 福岡県	4,971,000	839	4,990,000	1,098	5,053,000		853	1,112	2,163
41 佐賀県	882,000	149	881,000	194	852,000		144	188	365
42 長崎県	1,533,000	259	1,526,000	336	1,430,000		241	315	612
43 熊本県	1,861,000	314	1,862,000	410	1,814,000		306	399	777
44 大分県	1,228,000	207	1,226,000	270	1,195,000		202	263	512
45 宮崎県	1,175,000	198	1,173,000	258	1,132,000		191	249	485
46 鹿児島県	1,792,000	303	1,790,000	394	1,708,000		288	376	731
47 沖縄県	1,289,000	218	1,298,000	286	1,382,000		233	304	592

4. 重症心身障害児・者患者数

重症心身障害児者について、愛知県の児童相談所の把握している対人口比から全国の推計値が算出されている。この推計によれば、平成10年現在では、全国の重症心身障害児者は約36,550人とされ、そのうち施設の入所者は11,350人程度(31.1%)、在宅は25,200人(68.9%)となる。

(岡田喜篤：重症心身障害児の歴史，重症心身障害児へのアプローチとトータルケア，小児看護2001;24(9):1082-1089.)
(重症心身障害療育マニュアル第2版、p284)

この比率を平成21年現在の対人口比に当てはめると、全国の重症心身障害児者は約36,850人とされ、そのうち施設の入所者は11,460人程度(31.1%)、在宅は25,390人(68.9%)となる。

在宅者で医療的ケアが必要な者を推計すると、たんの吸引が必要な者は本調査回答42.8%で、10,867人、経管栄養が必要な者は本調査回答40.5%で10,283人と推計される。

■愛知県の重症心身障害児者—政令都市名古屋を除く、各年度末(3月1日)における集計

年度	措置児・者	在宅児・者	合計	管内人口	対人口比(%)
昭和58年度	279	715	994	4,226,692	0.0235%
昭和59年度	281	817	1,098	4,263,558	0.0258%
昭和60年度	284	826	1,110	4,302,250	0.0258%
昭和61年度	296	801	1,097	4,351,209	0.0252%
昭和62年度	296	816	1,112	4,390,347	0.0253%
昭和63年度	309	858	1,167	4,467,621	0.0261%
平成元年	310	931	1,241	4,508,851	0.0275%
平成2年	294	969	1,263	4,508,851	0.0280%
平成3年	302	1,024	1,326	4,606,570	0.0288%
平成4年	317	1,033	1,350	4,679,551	0.0288%
平成5年	317	1,033	1,350	4,679,551	0.0288%
平成6年	307	1,096	1,403	4,715,304	0.0298%
平成8年	319	1,117	1,436	4,762,704	0.0302%
平成10年	314	1,080	1,394	4,830,664	0.0289%

■全国の重症心身障害児者—全国の重症心身障害児者推計

- a.平成10年10月1日の国勢調査人口(総務庁統計局).....126,486,000人
- b.全国重症心身障害児・者推計(a×0.000289).....36,554(100.0%)
- c.施設(170ヵ所)のベッド総数(8,000+9,072).....17,072床
- d.重症施設児施設入所者推計(利用率95%と仮定).....16,218人
- e.内定義どおりの重障児・者数(70%と仮定).....11,353人(31.1%)
- f.在宅重障児・者推計数(36,554-11,353).....25,201人(68.9%)

■平成 21 年現在推計値

都道府県	平成21年			
	人口	重障心身障害児者推計	施設入所	在宅
全 国	127,510,000	36,850	11,460	25,390
01 北海道	5,507,000	1,592	495	1,097
02 青森県	1,379,000	399	124	275
03 岩手県	1,340,000	387	120	267
04 宮城県	2,336,000	675	210	465
05 秋田県	1,096,000	317	99	218
06 山形県	1,179,000	341	106	235
07 福島県	2,040,000	590	183	406
08 茨城県	2,960,000	855	266	589
09 栃木県	2,006,000	580	180	399
10 群馬県	2,007,000	580	180	400
11 埼玉県	7,130,000	2,061	641	1,420
12 千葉県	6,139,000	1,774	552	1,222
13 東京都	12,868,000	3,719	1,157	2,562
14 神奈川県	8,943,000	2,585	804	1,781
15 新潟県	2,378,000	687	214	474
16 富山県	1,095,000	316	98	218
17 石川県	1,165,000	337	105	232
18 福井県	808,000	234	73	161
19 山梨県	867,000	251	78	173
20 長野県	2,159,000	624	194	430
21 岐阜県	2,092,000	605	188	417
22 静岡県	3,792,000	1,096	341	755
23 愛知県	7,418,000	2,144	667	1,477
24 三重県	1,870,000	540	168	372
25 滋賀県	1,405,000	406	126	280
26 京都府	2,622,000	758	236	522
27 大阪府	8,801,000	2,543	791	1,752
28 兵庫県	5,583,000	1,613	502	1,112
29 奈良県	1,399,000	404	126	279
30 和歌山県	1,004,000	290	90	200
31 鳥取県	591,000	171	53	118
32 島根県	718,000	208	65	143
33 岡山県	1,942,000	561	175	387
34 広島県	2,863,000	827	257	570
35 山口県	1,455,000	420	131	290
36 徳島県	789,000	228	71	157
37 香川県	999,000	289	90	199
38 愛媛県	1,436,000	415	129	286
39 高知県	766,000	221	69	153
40 福岡県	5,053,000	1,460	454	1,006
41 佐賀県	852,000	246	77	170
42 長崎県	1,430,000	413	129	285
43 熊本県	1,814,000	524	163	361
44 大分県	1,195,000	345	107	238
45 宮崎県	1,132,000	327	102	225
46 鹿児島県	1,708,000	494	154	340
47 沖縄県	1,382,000	399	124	275

第五章 実態調査結果まとめ

第一節 調査結果まとめ

1. 回答者属性

(1) 基本属性

①性別（問1）

本調査の回答者は、男性 907 名（61.2%）、女性 569 名（38.4%）となった。

②年齢（問2）

最も多かった年齢層は、「60 歳以上 70 歳未満」が最も多く、次いで「20 歳以上 30 歳未満」がとなっている。

③居住地（問3）

居住地では、最も多かったのは「東京都」、次いで「神奈川県」となっており、件数の差はあるものの沖縄県以外の都道府県から回答を得られた。

また、居住地を東京 23 区を含む政令指定都市とそれ以外に集計した結果、「政令指定都市」が 422 名（28.5%）、「政令指定都市以外」が 980 名（66.1%）となった。

④住まいの場所（問4）

現在住んでいる場所では、「自宅」が約 8 割を占めている。

⑤同居している家族構成と人数（問5）

同居している家族構成では、最も多かったのは「配偶者」が、次いで「母」となった。

⑥病名（問6）

病名では、「筋萎縮性側索硬化症（ALS）」は 733 名（49.5%）、「脊髄損傷」は 145 名（9.8%）、「遷延性意識障害」は 192 名（13.0%）、「重症心身障害児・者」は 430 名（29.0%）となった。

⑦障害者手帳（問7）

身体障害者手帳で最も多かったのは「1 種 1 級」が全体の 7 割を占め、療育手帳では、A のみで全体の 2 割程度、精神障害者保健福祉手帳の保持者は極めて少ない結果となっている。

⑧公的年金、公的年金以外の受給（問8・9）

公的年金の 1 年間の受給額で最も多かったのは、「90 万円以上 100 万円未満」、次いで「100 万円以上 200 万円未満」となっており、病名別にみると、筋萎縮性側索硬化症（ALS）は 100 万円以上 200 万円未満や 200 万円以上 300 万円未満が多く、脊髄損傷、遷延性意識障害、重症心身障害児・者は 90 万円未満 100 万円未満が多い割合となっている。

公的年金と公的年金以外をあわせた年間の受給額を算出したところ、最も多かったのは「100 万円以上 200 万円未満」、次いで「90 万円以上 100 万円未満」となっており、病名別にみると、筋萎縮性側索硬化症（ALS）は公的年金受給額と同様となっている。脊髄損傷、遷延性意識障害、重症心身障害児・者は公的年金のみの受給額から増えている傾向がみられた。

⑨利用している医療保険（問10）

利用している医療保険種では、「国民健康保険」が最も多く、次いで「健康保険」、「後期高齢者医療制度」となった。

⑩主たる介護者（問11）

主たる介護者では、「配偶者」が最も多く、次いで「母」、「ヘルパー」となっている。病名別にみると、筋萎縮性側索硬化症（ALS）で最も多かったのは配偶者が多く、脊髄損傷、遷延性意識障害、重症心身障害児・者は母が多い。

2. 障害者ご本人の現在の状態について

(1) 介助程度（問 13）

① 食事・排泄・入浴・洗面・更衣・移乗・移動の介助程度（問 13）

食事・排泄・入浴・洗面・更衣・移乗・移動とも、介助程度は「全面介助」が約 8 割を占め、病名別でも同様の傾向がみられた。

コミュニケーションについての介助程度では、「介助」が半数を占め、病名別にみると、筋萎縮性側索硬化症（ALS）、脊髄損傷の自立の割合が多く、遷延性意識障害、重症心身障害児・者は介助の割合が多くなっている。

② その他日常的に受けている介助項目・程度（問 14）

日常的に介助を受けている項目として、全面介助によるたんの吸引を始めとする医療的ケアが多くあげられたほか、健康管理のための手足のマッサージ、食事という摂食行為前後の食事の準備・後片付けや食事中的の見守り、コミュニケーション機器の取り外し及び調節、パソコンの設定や電化製品等の操作等、掃除や洗濯などの家事全般等、日常生活全てなどがあげられた。

(2) 移動における手段（問 15）

移動における手段では、車いす（介助）が最も多く、病名別にみると、遷延性意識障害、重症心身障害児・者が車いす（介助）の割合が高くなっている。その他には、ストレッチャーが多くあげられた。

(3) 車いすで過ごした時間（問 16）

全体では、車いす上で過ごした 1 日の平均時間で最も多かったのは「2 時間未満」となった。

病名別にみると、筋萎縮性側索硬化症（ALS）は 2 時間未満が半数を占め、脊髄損傷は 10 時間以上が最も多く長時間車いすを使用している傾向がみられた。

(4) ベッド上で過ごした時間（問 17）

ベッド上で過ごした一日の平均時間では、「24 時間」が約 3 割を占めている。病名別にみると、筋萎縮性側索硬化症（ALS）と遷延性意識障害はベッドでの時間が長い傾向がみられた。

3. 医療的ケアについて

(1) 医療的ケアにおけるたんの吸引について（問 18）

全体をみると、たんの吸引が必要だと回答した割合は約半数を占めた。

病名別にみると、筋萎縮性側索硬化症（ALS）は必要ありが約 7 割を占めている。脊髄損傷は必要ありが約 3 割程度で最も低い割合となり、遷延性意識障害は必要ありが 7 割を超え、最も高い割合となっている。重症心身障害児・者は必要ありが約 4 割となっている。

吸引の種類では、口腔と気管カニューレ内部が 7 割を超える割合となっている。その他には、サイドチューブなどがあげられた。

たんの吸引期間をみると、「2 年以上 5 年未満」が最も多い結果となった。脊髄損傷と重症心身障害児・者では 20 年以上が多く、他と比べると長期間にわたっている傾向がみられた。

1 日の吸引必要回数では、「15 回以上 24 回以下」が最も多く、吸引の回数を、日中＝8～12 時、12～16 時、16～20 時とし、夜間＝4～8 時、20～24 時、0～4 時とした日中・夜間別の吸引回数をみると、日中・夜間とも「5～9 回以下」が最も多い結果となり、都市種別でもかわらない傾向であった。

吸引者について日中・夜間の比較をすると、家族は日中・夜間ともほぼ同程度だが、看護師・ヘルパーともに夜間の割合が低くなっている。また、都市種別にみると、家族の割合は政令市・政令市以外の日中・夜間とも同程度であるが、日中での政令都市のほうが、看護師の占める割合

が低く、ヘルパーの占める割合が高い。夜間では、看護師は同程度だが、ヘルパーの占める割合が政令都市以外が低くなっている。

(3) 医療的ケアにおける呼吸器等の使用について（問 19）

全体では呼吸器等が必要だと回答した割合は4割を占め、筋萎縮性側策硬化症（ALS）は必要ありの割合が最も高い。

必要だと回答した内、「気管切開」が最も多く、脊髄損傷は他と比べてマウスピース型は最も多い割合となっている。筋萎縮性側策硬化症（ALS）と重症心身障害児・者はマスク型を使用している割合が多くっている。

時間帯別の呼吸器等の使用状況をみると、全ての時間帯で「気管切開」が多い、20～8時台（夜間～深夜～早朝）は、マスク型の使用が多い。

呼吸器等の装着者は、「家族」が最も多く、日中・夜間を比較すると、日中より夜間のほうが家族の割合が増え、看護師・ヘルパーの割合は大きく減っている。

都市種別でみると、日中では家族、看護師の割合は同程度だが、政令都市より政令都市以外のほうがヘルパーの割合が低くなっている。夜間をみると、家族の割合が政令都市以外のほうが若干低くなっており、看護師の割合は政令都市のほうが低くなっている反面、ヘルパーの割合は政令都市のほうが高くなっている。

呼吸器の使用期間では、筋萎縮性側策硬化症（ALS）は2年未満の割合が高く、脊髄損傷、重症心身障害児・者は長期間にわたっている傾向がみられる。

人工呼吸器等の不具合時のマニュアル・対応策が「ある」割合は、筋萎縮性側策硬化症（ALS）は約8割、脊髄損傷、重症心身障害児・者は6割を超える割合を結果となっているが、遷延性意識障害は27.5%と低い割合を示している。

(4) 医療的ケアにおける経管栄養について（問 20）

経管栄養を使用している割合は、約半数を占める結果となった。

筋萎縮性側策硬化症（ALS）と遷延性意識障害が経管栄養を使用している割合が高い傾向となっており、経管栄養の方法は、いずれの病名でも胃ろうが最も多い割合を占めている。

経管栄養の使用期間では、「2年以上5年未満」が最も多く、重症心身障害児・者は長期間にわたっている傾向がみられる。

経管栄養注入を行っている者で最も多かったのは「家族」で、次いで「看護師」となっており、病名別にみても同様の傾向がみられた。

経管栄養注入を行っている者を都市種別にみると、家族は政令都市以外のほうが、若干高い。看護師・ヘルパーは政令都市のほうが高く、ヘルパーでは、政令都市と政令都市以外の差が大きく開く結果となった。

(6) 希望するヘルパーの医療的ケアについて（問 21）

回答者がヘルパーに希望する医療的ケアで最も多かったのは、「爪切り（まき爪含む）」が最も多く、次いで「座薬の挿入」、「服薬管理」、「排便」、「浣腸」と続く。その他では、痰の吸引や経管栄養について多くあげられた。

3. 障害者ご本人の福祉サービスの利用状況

(1) 介護保険と障害者自立支援法によるサービスの併用（問 22）

サービス利用の対象者となる 65 歳以上（病名が筋萎縮性側索硬化症の場合は 40 歳以上を含む）で、なおかつ在宅者であり、身体障害者手帳保持者でみると、「知っていた」が「知らなかった」をうわまわり 64.6%の結果となった。

併用可能の情報源で最も多かったのは「福祉サービスのスタッフ」、次いで「医療サービスのスタッフ」となった。「その他」をみると、家族や本人自らインターネット等を活用し、情報収集得ていることが多くみられた。

(2) 障害者自立支援法における障害程度区分（問 23）

回答者の内、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の保持者でみると、「障害程度区分 6」が約半数を占める割合となった。

(3) 介護保険制度における要介護度（問 24）

サービス利用対象者となる年齢 65 歳以上（病名が筋萎縮性側索硬化症（ALS）の場合は 40 歳以上を含む）のみの場合は、「要介護 5」が約 6 割以上を占める結果となった。

(4) 利用しているサービスの利用量、支給決定量、給付を希望する量（問 25）

① 障害者自立支援法の個別給付によるサービス

自立訓練サービス以外は、いずれも利用量が支給決定量を下回っており、居宅介護（身体介護）、居宅介護（通院等乗降介助）、行動援護、重度訪問介護、重度障害者包括支援サービスは支給決定量も希望量を下回っている。

② 障害者自立支援法の地域生活支援事業によるサービス

障害者自立支援法による地域生活支援事業のサービスの利用状況をみると、コミュニケーション支援事業の利用量が支給決定量を下回っており、支給決定量の 2 倍の希望量となっている。また、移動支援事業も同様に利用量が支給決定量を下回っており、支給決定量も希望する量には達していない。

③ 障害者自立支援法によるサービスの阻害要因

a. 阻害要因

障害者自立支援法によるサービスの使いたいが使えない理由では、「提供可能な事業者がない又は少ない」が最も多く、次いで「支給決定量が少ない」となっている。

最も多かった「提供可能な事業者がない又は少ない」をみると、医療的ケア・長時間・夜間とも同程度の傾向がみられた。その他の理由として、短期入所施設が不足していることや事業者の人手不足などが多くあげられた。

④ 介護保険によるサービス

いずれのサービスも利用量が希望する量を下回っており、訪問介護、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション、短期入所療養介護はその差が大きく開く結果となった。

⑤ 介護保険によるサービス利用の阻害要因

介護保険によるサービスのうち、使いたいが使えない理由では、「提供可能な事業者がない又は少ない」が最も多い結果となった。その他の理由として、年齢や特定疾病などの利用要件に達していないことや入院中のための他、利用限度を超えてしまっているためなどがあげられた。都市種別でみると、「提供可能な事業者がない、又は少ない」が最も多く、政令都市以外の

ほうが、その割合は高くなっている。

最も多かった「提供可能な事業者がない又は少ない」をみると、医療的ケア・夜間・休日とも同程度の傾向がみられた。その他の理由として、医療的ケア以外には、緊急時に利用できない、早朝や朝に利用できないなどがあげられた。

利用種別でみると、介護保険サービスで医療的ケアや夜間サービスが提供可能な事業者が少ない結果となっている。

⑥医療保険によるサービス

「訪問看護」「訪問リハ」とともに実際の利用量と希望する量の差が大きい傾向がみられた。その他には、訪問リハビリマッサージが多くあげられた。

⑦医療保険によるサービスの阻害要因

医療保険によるサービスの使いたいが使えない理由では、「提供可能な事業者がない又は少ない」が最も多く 12.3%となった。

⑧その他に利用しているサービス（公的なサービスも含む）

その他の利用しているサービスでは、医師の往診・訪問看護サービスや嚥下訓練を含む訪問歯科・口腔ケアサービス、通園・通所サービス、訪問マッサージ・訪問リハや整体など、移動支援等サービスなど、様々なサービスを利用していることがあげられた。

(5) サービス種別ごとの利用者負担額（問 26）

問 25 で何れかのサービス利用量に回答があった回答者を対象にすると、「5 千円未満」が最も多く、次いで「2 万円以上 5 万円未満」となった。

サービス種別ごとの利用者負担額をみると、障害者自立支援法サービスよりも介護保険法サービスのほうが自己負担額が高額になっている。

(6) 介護保険法や障害者自立支援法の制度外サービスで希望するサービス（問 27）

希望するサービスで最も多かったのは、「入院中に関する支援」であった。

具体的にあげられた内容は、入所・入院施設、サービス事業所やヘルパー・介護職等の資源不足や、緊急時・夜間などのサービス利用、またレスパイト入院に対する希望などがあげられた。

(4) かかりつけ病院・診療所について（問 29）

かかりつけ病院・診療所があると回答した者は約 9 割占めた。

担当科では、「脳神経内科・神経内科」が最も多く、次いで「内科」となっており、その他では、歯科や皮膚科、眼科などがあげられている。

主な受診目的は、治療等での受診が最も多く、次いで体調管理等との結果となった。

医療費負担額で最も多かったのは、「0 円」が最も多く、次いで「1 万円未満」となった。

(5) 家族介護の時間（問 28）

外出時の移動支援や家事援助は短時間が多い傾向がみられ、身体介護は長時間が多い傾向がみられる。

第二節 検討結果

1. 回答者の状態像について

全国組織を有する障害者団体のうち、在宅で比較的長時間の介護を必要とする者が多いと思われる以下の4団体にアンケート回答のご協力をいただいた。各障害別に状態像をまとめると以下のとおりである。(筋ジストロフィー症については、別途調査を実施中である。)

○ 筋萎縮性側索硬化症 (ALS)

回答者のうち約50%を占める。

男女比は概ね6：4となっている。

年齢は、70%超が60歳以上、40歳未満はわずかであり、ほとんどが介護保険対象者である。

主たる介護者は、配偶者が70%超である。

介助程度は、全体的には80%程度が全面介助であるが、一方で10%超が歩行可能である。

○ 脊髄損傷

回答者のうち約10%を占める

男女比は概ね3：1となっている。

年齢構成は、若年から高齢まで各層に分布している。

主たる介護者は、母親が50%弱と最も多いが、ヘルパーも30%超となっている。

介助程度は、全体的には80%程度が全面介助であるが、一方で10%超が車いす自走可能である。

頸髄損傷者による四肢麻痺が80%である。

○ 遷延性意識障害

回答者のうち13%を占める。

男女比は概ね7：3となっている。

年齢構成は、若年から高齢まで各層に分布している。

主たる介護者は、母親が63%と最も多い。

介助程度は、全体的にはほぼ全員が全面介助である。

○ 重症心身障害児・者

回答者のうち約30%を占める。

男女比は概ね1：1となっている。

年齢構成は、40歳未満が約80%（20歳未満が約20%）である。

主たる介護者は、母親が90%を超え最も多い。

介助程度は、全体的には約90%が全面介助である。

厳密に言うと、「重症心身障害児・者」の定義に当てはまらない回答者も少数認められるようである。

2. 「医療的ケア」について

本調査では、「たんの吸引や経管栄養等の、医行為であると整理されているが、必要とする者にとっては日常生活の上でも必須で、特に在宅においては、医師・看護職員以外、多くは家族が行

うしかなない行為」を総称して、いわゆる「医療的ケア」と表現することとする。

○ たんの吸引

たんの吸引を必要とする者は全体の約半数となっている。

吸引の部位については、口腔内及び気管カニューレ内部が70%超、鼻腔内が約50%である。

1日に15回以上必要な者は約40%であり、1日に40回以上必要な者は7.3%である。

日中と夜間では日中の方が多い傾向である。

吸引を主に行っている者は、70%超が家族。日中は看護師が30%、ヘルパーが20%いるが、夜間は看護師が4.5%、ヘルパー10%が程度の割合に下がる。

○ 経管栄養

経管栄養を必要とする者は全体の約60%となっている。

内訳は、胃ろうが約80%、経鼻経管栄養が約10%である。

経管栄養を主に行っている者は、約80%が家族。看護師が約50%、ヘルパーが15%となっている。

※ 在宅におけるヘルパーによる経管栄養については、実質的に違法性が阻却されうるとされた通知には触れられていないが、実際にはヘルパーに依頼せざるを得ない実情があり、個別にやむを得ず行われてきたものと思われる（違法性を問えるかどうかは司法による個別の判断となる）。

○ その他の「医療的ケア」（ヘルパーに実施を希望するもの）

回答が多かったものとしては、

・ 爪切り（巻き爪含む）	・ ・ ・ ・ ・	50.7%
・ 座薬の挿入	・ ・ ・ ・ ・	34.3%
・ 服薬管理	・ ・ ・ ・ ・	32.1%
・ 摘便	・ ・ ・ ・ ・	30.8%
・ 浣腸	・ ・ ・ ・ ・	30.8%
・ カニューレガーゼの交換	・ ・ ・ ・ ・	28.1%
・ 褥瘡の処置	・ ・ ・ ・ ・	25.4%
・ アンビューバッグの操作	・ ・ ・ ・ ・	21.5%
・ 酸素吸入	・ ・ ・ ・ ・	14.6%
・ 点滴の抜針	・ ・ ・ ・ ・	12.4%
・ 導尿	・ ・ ・ ・ ・	10.5%
・ 気管カニューレの交換	・ ・ ・ ・ ・	9.9%

などであり、回答上位は日常的なケアが多いが、下位は緊急避難的な行為も含まれている印象がある。

○ 政令指定都市とその他の市町村との比較

政令指定都市とその他の市町村で、「医療的ケア」の実施者を比較すると、いずれのケアにおいても政令指定都市のほうが「ヘルパーが行っている」割合が高かった。

3. サービス利用状況について

- 介護保険と障害者自立支援法によるサービスの併用
併用可能と知っていた者は65%である。
併用可能を認知した情報源としては、福祉サービスのスタッフ、医療サービスのスタッフ、患者団体等から情報を得た者が多かった。

- 自立支援法のサービス利用量、支給決定量、希望する量
実際に利用したのは、支給決定量の70%程度であり、使い切っていない状態である。
しかし、希望する量は支給決定量を上回るものもあった。
在宅重度障害者にとって、最もニーズが高いと思われる「重度訪問介護」については、支給決定量の平均 236.5 時間/月に対し、実際に利用したのは平均で 204.9 時間/月（支給決定量の86.6%）、希望する量は平均で 317.5 時間/月（支給決定量の134.2%）であった。
※ 317.5 時間/月を一日換算すると、約 10.6 時間/日。

- 自立支援法のサービスを使いたいが使えない理由
 - ・提供可能な事業者がない又は少ない・・・23.8%
(医療的ケアに対応不可、長時間ケア対応不可、夜間対応不可)
 - ・支給決定量が少ない・・・9.3%
 - ・望みに合うサービス内容ではない・・・9.3%

- 介護保険のサービス利用量、希望する量
実際に利用したサービス量に比べ、いずれも希望する量は上回った
(特に訪問介護は倍近く希望 : 利用時間は 42 時間/月→希望時間は 78.2 時間/月)

- 介護保険のサービスを使いたいが使えない理由
 - ・提供可能な事業者がない又は少ない・・・10.9%
(医療的ケアに対応不可、夜間対応不可、休日対応不可)
 - ・利用者負担が大きい・・・4.8%
 - ・望みに合うサービス内容ではない・・・3.9%

- 医療保険のサービス（訪問看護、訪問リハ）利用量、希望する量
実際に利用したサービス量に比べ、いずれも希望する量は上回った

- 医療保険のサービスを使いたいが使えない理由
 - ・提供可能な事業者がない又は少ない・・・12.3%
 - ・サービス量が少ない・・・8.4%
 - ・望みに合うサービス内容ではない・・・5.0%

- 各制度の組み合わせ利用について
自立支援法、介護保険及び医療保険による訪問系サービスの組み合わせ利用者は約 10%。
※利用時間の合計は、平均で 258.3 時間/月（8.6 時間/日）である。

自立支援法と介護保険による訪問系サービスの組み合わせ利用者は約2%。

※利用時間の合計は、平均で125.0時間/月(4.2時間/日)である。

自立支援法と医療保険による訪問系サービスの組み合わせ利用者は約10%。

※利用時間の合計は、平均で123.6時間/月(4.1時間/日)である。

介護保険と医療保険による訪問系サービスの組み合わせ利用者は約10%。

※利用時間の合計は、平均で49.8時間/月(1.7時間/日)である。

様々な制度の組み合わせで、在宅生活が支えられている実態がわかる。

○ 利用者負担

自立支援法及び医療保険における利用者負担は少なく、
介護保険における利用者負担が多い傾向にある。

○ 制度外希望サービスが多かったもの

- ・入院中に関する支援 42.2%
- ・通勤通学支援 8.7%
- ・職場内支援 3.3%
- ・学校内支援 2.1%

※ 現在、障がい者制度改革推進会議等で議論されている課題であり、当事者としてはシームレスな介護の提供を希望しているが、財源や人材の不足にどう対応していくかを含め制度設計される必要がある。

○ 家族介護の実態

1日1時間未満の群が多い。一方で、1日12時間以上の群もその半数おり、身体介助の割合が多い者ほど長時間介護となっている傾向がある。

4. 課題

医療の発達により、以前であれば医療機関から退院させられない状態であっても、在宅療養が可能となってきた。これらの在宅療養者は、いわゆる「医療的ケア」なしには在宅生活を送ることはできないが、「医療的ケア」は医行為であるが故に、ヘルパーが行うことができず（一部の行為は運用により許容されている）、家族に大きな負担が課せられてきた。

今回の調査では「医療的ケア」の提供体制をはじめとする在宅療養環境が、必ずしも十分ではない状況が明らかになった。

●家族介護の軽減のために

(1)ヘルパーの業務範囲の拡大

現在、厚生労働省では、介護職員等にたんの吸引及び経管栄養の実施を解禁する方向で検討を行っているが、今回の調査の結果からもその動きは肯定されるべきであり、さらに要望の多かった爪切り（巻き爪含む）や摘便等にも業務の範囲を拡大する方向で検討すべきであろう。ただし、「医療的ケア」については安全に行う必要があることから、医師、看護師等との連携の下、必要な研修等を受けた上で行っていく体制を整えていく必要がある。

(2)医療的ケアが提供可能な事業者の増加

調査では、実際に利用しているサービス量が支給決定量以下であった。その理由としては、「提供可能な事業者がない又は少ない」が最も多く、各地域で重度障害者に対応できる訪問系サービス提供事業所が不十分であることが示唆された。このような状況において、障害当事者自らが立ち上げた事業所による「医療的ケア」の提供が、在宅における療養体制を支えてきた現状も見受けられる。これらの事業所は、重度障害者の在宅療養の際には「医療的ケア」が必要不可欠であること、また「医療的ケア」を提供できる事業所が不足している現状を痛感しており、相互に支えなければならないという思いから開設されたものと推察されるが、それだけでは到底現在のニーズを満たすことはできない。当事者が立ち上げる事業所以外にも、重度障害者を熟知した専門職を配置するなど、「医療的ケア」にも精通した訪問系サービス提供事業所の数を増やしていく必要がある。

さらに、今後は高齢障害者も増加していく傾向にあることから、介護保険の訪問介護事業所の介護職員にも、障害に応じた介護技術や「医療的ケア」等を習得していただくことにより、障害者も介護保険の社会基盤を活用しやすくなり、障害者が地域で生活することが一層容易になると考えられる。すでに開設している介護保険の訪問介護事業所数からみても、特に地方部においては、これらの事業所の活用が問題解決を図る上で現実的な方策となるであろう。

しかし、事業所が安定的な経営を維持しながら「医療的ケア」という重い責任を新たに負うことは経済的にも厳しく、事業所が「医療的ケア」を提供するに当たっては、何らかのインセンティブが検討される必要がある。

また、「医療的ケア」の提供可能な事業所を増やすには、医療機関側の在宅療養支援へのインセンティブも検討する必要がある。それには在宅療養支援診療所の活用、あるいは、訪問看護の回数制限の撤廃や、介護職員と連携した際の報酬上の評価等、訪問看護機能の強化などが考えられよう。

今後、在宅支援の体制として適切な人材とシステムを準備しておくことは焦眉の課題である。

福祉職への医行為解禁をスムーズに進めるには、それを医療職がしっかりと支えられる連携・協力体制を構築しなければならない。

(3) レスパイト機能の充実

① 医療型短期入所施設の充実・拡大

「医療的ケア」が必要な重度障害者であるが故に、長時間の介護や、夜間の介護、休日の介護等が必要になるが、それに対応できる事業所が少なく（都市部ではやや多い傾向あり）、家族介護に頼るしかない状況にある。

このような状況を鑑みると、家族支援の観点から、夜間や休日であっても長時間の介護が可能な事業所の増加を図るとともに、レスパイト目的の医療型短期入所施設の充実・拡大等を促進する必要がある。

② 短期入所・入院中の重度障害者に対する介護職員の派遣

例えば、(旧)療護施設への短期入所について、これまで「ALS」に限定されていたものが、「ALS等」とされた。もちろん、ALSのみの限定から、他の障害に対象が拡大されたこと自体は評価できるが、これにより施設は「医療的ケア」の少ない障害者を選びやすくなったために、「医療的ケア」の多い（多様な）重度障害者が利用できない現実があるという。

重度障害者においては、各個人の介護や「医療的ケア」等に熟練した介護職員による継続ケアが求められており、それが短期入所施設利用中に中断されることは、介護の特殊性を考慮すると大きなストレスである。その対策として、短期入所中にも訪問介護職員の派遣を可能にすることができれば、重度障害者の「安心」「安全」を保障することに繋がる有効な手段になるだけでなく、「医療的ケア」の提供可能な施設が不足している現状も改善できるであろう。

重複給付の問題等、整理すべき課題はあるが、施設職員ではケアしきれないような特殊な重度障害者の場合等に対し、短期入所施設（特に福祉型）利用中の訪問介護職員の継続派遣を検討することも、望まれている重要な課題である。

今回の調査の中で、希望するサービスについて「入院中に関する支援」が多くあげられた。入院中の看護は、「当該保険医療機関の看護要員のみによって行われるもの」として訪問介護職員等の利用ができず、診療報酬において「特殊疾患入院施設管理加算」等の措置が講じられているものの、重度障害者が入院する際には家族による付き添いを余儀なくされる場合もあるためである。家族による付き添い介護の負担軽減のためにも、重度障害者の入院中の訪問介護職員利用についても検討されることが望まれている。

(4) 重度訪問介護等、訪問系サービスの充実

今回の調査では、訪問系サービスの中でも重度訪問介護は他と比較して圧倒的な利用量であり、ニーズが高いことが明らかとなった。最重度の障害者は見守りも含めた長時間の介護や「医療的ケア」の対応が必要となる場合が多いため、これらのニーズに応えられる「重度訪問介護事業所」の数を増やすこととともに、質的な充実も重要となるであろう。

また、ケアマネジメントが必要と考えられる障害者については、相談支援事業の積極的な活用が重要である。

なお、今回、最重度の障害者にターゲットを絞り調査を行った結果、たんの吸引や経管栄養を必要とする者は50～60%であった。過去に行われた疫学的な調査から全国推計すると約2.1万人程度（筋ジストロフィー症については別途調査中）と思われる。これらの者が利用可能な体制の構築が望まれる。

●利用者負担に係る重度障害者への一定の配慮

障害福祉施策にかかる利用者負担については、これまで軽減策が講じられてきており、また、医療費についても自治体が行っている重度障害者医療費助成により、低く抑えられている。

一方で、介護保険については、利用者負担が原則通りであり、重度障害者であっても一般の要介護高齢者と同額の負担を求められている。

当事者からみれば、同様のサービスを受けていても年齢によって自己負担が上がる、あるいは「介護保険優先適用」の原則の下、まずは介護保険サービスの上限まで利用することが求められるなど、障害当事者にとっては理不尽とも感じられる制度間の調整が行われている。介護保険の優先適用については、一般論として保険優先の原則があり、取り扱いを変更することは困難と思われるが、障害福祉サービスから介護保険サービスに移行した際に利用者負担が大幅に上がることをないように、現行の介護保険制度において行われている軽減措置以上の特例を設けるなど、重度障害者への一定の配慮があってもよいのではないかと思われる。

資料

厚生労働省平成 22 年度障害者総合福祉推進事業
「訪問系サービス利用者のサービス利用状況等の実態把握に関する調査」
調査票

昨今、障害者福祉施策において医療機関や入所施設から地域生活への移行の推進が図られています。そのような流れに伴い、痰の吸引等の医療的ケアを必要とする方や社会参加を求めている方の利用割合も増加し、障害者自立支援法による居宅介護、重度訪問介護等の訪問系サービスの利用が増加傾向にあり、今後の訪問系サービスが利用者のニーズに添ったかたちで提供される必要性は高く、そのための実態の把握は欠かせません。

このような中、特に長時間の介護が必要となる障害の重い方を中心に、訪問系サービスの利用者のサービスの利用実態等を把握するため、このたび「訪問系サービス利用者のサービス利用状況等の実態把握に関する調査」を実施する運びとなりました。

つきましては、ご多忙の折、誠に恐縮に存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、積極的なご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(なお、訪問系サービスを利用する可能性が高い障害と疾病の方を対象にしていますので、現在入院中の方にもご協力をお願いいたします。)

ご記入上のお願い

1. この調査は、**障害者ご本人、もしくはその代理の方**が、ご回答下さいますようお願いいたします。
2. ご回答は選択肢の中から選んで、**黒のボールペン**ではっきりと記入してください。
3. アンケート票は、同封の返信用封筒(切手不要)を使用して、**平成 22 年 12 月 17 日 (金)**までにご投函下さい。
4. ご回答いただいた内容は、次のように取り扱うことをお約束いたします。
 - ①調査研究目的以外には使用いたしません。
 - ②ご回答は無記名です。
 - ③ご回答いただいた内容は統計的に処理し、ご回答者が特定できないようにいたします。
 - ④自由記載の内容も、個々のご回答者が特定されないよう配慮し、データ化いたします。
 - ⑤調査への拒否、一部の調査項目への回答拒否があってもご回答者に不利益が生じることは一切ございません。
4. 調査内容にご不明な点がございましたら、以下に記載している問い合わせ先までお問い合わせ下さい。

アンケートについてのお問い合わせ先
 株式会社 ピュアスピリッツ
 東京都千代田区内神田 1-4-15 新誠ビル 3 階
 TEL 03-5283-5567 FAX 03-5383-5589 担当：堀・田中

1. 障害者ご本人の基本属性

☆障害者ご本人について、以下の設問にお答えください。

1. 性別をお答えください。(どちらかに○)

1. 男	2. 女
------	------

2. 平成22年9月1日時点の満年齢をお答えください。(記入式)

歳

3. 居住地をお答えください。(記入式)

都・道・府・県	市・区・町・村
---------	---------

4. 現在、お住まいの場所をお答えください。(ひとつに○)

1. ご自宅	2. ケアホーム	3. その他 ()
--------	----------	------------

5. 現在同居されているご家族の構成と、その人数をお答えください。

●ご家族の構成 (あてはまるものすべてに○)			
1. 独居	2. 配偶者	3. 子ども	4. 孫
5. 父	6. 母	7. 兄弟姉妹	8. 祖父
9. 祖母	10. 親類		
11. その他 ()			

●ご家族の人数 (記入式)	
計	人

2. 障害者ご本人の現在の状態について

1 2. 主たる障害疾患の発症した年齢をお答えください。(記入式)

() 歳 () カ月

1 3. 介助程度について、お答えください。(それぞれの項目でひとつに○)

	1. 自立	2. 見守り	3. 一部介助 (軽度)	4. 一部介助 (中程度)	5. 全面介助
①食事	1	2	3	4	5
②排泄	1	2	3	4	5
③入浴	1	2	3	4	5
④洗面	1	2	3	4	5
⑤更衣	1	2	3	4	5
⑥移乗	1	2	3	4	5
⑦移動 (状態)	1	2	3	4	5
⑧コミュニケーション手段			1. 自立	2. 道具を使用して、自立	3. 介助

1 4. 1 3の項目の他に、日常的に介助を受けている項目についてお答えください。

(それぞれの項目でひとつに○)

日常的に介助を受けている項目	1. 見守り	2. 一部介助 (軽度)	3. 一部介助 (中程度)	4. 全面介助
()	1	2	3	4
()	1	2	3	4
()	1	2	3	4
()	1	2	3	4
()	1	2	3	4
()	1	2	3	4

1 5. 移動における手段についてお答えください。(ひとつに○)

1. 歩行	2. 車いす(自走)	3. 車いす(介助)
4. 電動車いす(自走)	5. 電動車いす(介助)	
6. その他 ()		

1 6. 平成 22 年 9 月に車椅子上で過ごした 1 日の平均時間をお答えください。(記入式)

約	時間
---	----

17. 平成22年9月にベッド上で過ごした1日の平均時間をお答えください。(記入式)

約	時間
---	----

18. 医療的ケアにおけるたんの吸引についてお答えください。

●たんの吸引の必要性 (どちらかに○)

1. 必要あり	2. 必要なし
---------	---------

「●たんの吸引の必要性」で「1. 必要あり」と回答された方は以下の設問にお答えください。

●吸引の種類 (あてはまるものすべてに○)

1. 口腔	2. 鼻腔	3. 気管カニューレ内部
4. その他 ()		

●吸引が必要となった時期 (記入式)

昭和・平成 年 月

●吸引の状況 (平均的な利用状況についてお答えください)

時間帯	吸引の回数	吸引を行っている者
0時～4時	回	1. 家族 2. 看護師 3. ヘルパー 4. ボランティア 5. リハスタッフ 6. その他 ()
4時～8時	回	1. 家族 2. 看護師 3. ヘルパー 4. ボランティア 5. リハスタッフ 6. その他 ()
8時～12時	回	1. 家族 2. 看護師 3. ヘルパー 4. ボランティア 5. リハスタッフ 6. その他 ()
12時～16時	回	1. 家族 2. 看護師 3. ヘルパー 4. ボランティア 5. リハスタッフ 6. その他 ()
16時～20時	回	1. 家族 2. 看護師 3. ヘルパー 4. ボランティア 5. リハスタッフ 6. その他 ()
20時～24時	回	1. 家族 2. 看護師 3. ヘルパー 4. ボランティア 5. リハスタッフ 6. その他 ()

3. 障害者ご本人の福祉サービスの利用状況

☆平成 22 年 9 月 1 日～9 月 30 日の福祉サービス利用状況について伺います。サービスの利用状況について分からない点がありましたら、病院、地域福祉のケースワーカーやケアマネジャー、相談支援専門員等にご相談ください。

- 2 2. 介護保険対象者であっても、介護保険サービスではカバーできない部分について障害者自立支援法によるサービスを利用することができることを知っていましたか？
(どちらかに○)

●介護保険と障害者自立支援法によるサービスの併用についての認知（どちらかに○）	
1. 知っていた	2. 知らなかった

「●介護保険と障害者自立支援の併用についての認知」で
「1. 知っていた」と回答された方は以下の設問にお答えください。

●介護保険と障害者自立支援法によるサービスの併用を認知した情報源 (あてはまるものすべてに○)	
1. 医療サービスのスタッフ	2. 福祉サービスのスタッフ
3. 地域福祉のスタッフ	4. 患者団体等
5. 友人・知人等	6. 家族
7. 自治体からの情報提供	
8. その他 ()	

- 2 3. 障害者自立支援法における障害程度区分をお答えください。(ひとつに○)

1. 障害程度区分なし	2. 障害程度区分 1	3. 障害程度区分 2
4. 障害程度区分 3	5. 障害程度区分 4	6. 障害程度区分 5
7. 障害程度区分 6		

- 2 4. 介護保険制度における要介護度をお答えください。(ひとつに○)

1. 要介護度なし	2. 要支援 1	3. 要支援 2	4. 要介護 1
5. 要介護 2	6. 要介護 3	7. 要介護 4	8. 要介護 5

25. あなたの利用しているサービス種別ごとに、おおよその利用量、支給決定量、給付を希望する量をお答えください。(同一事業名のサービスについては、どの制度に基づいた支援であるかを確認してお答えください。わからない場合はいずれかに記入し、「わからない」旨をお書き添えください。)

＜障害者自立支援法（手帳）によるサービス（個別給付）＞			
サービス種別	利用量	支給決定量	希望する量
■居宅介護（身体介護）	時間	時間	時間
■居宅介護（家事援助）	時間	時間	時間
■居宅介護（通院等介助）	時間	時間	時間
■居宅介護（通院等乗降介助）	回	回	回
■行動援護	時間	時間	時間
■重度訪問介護	時間	時間	時間
■重度障害者等包括支援 (例、居宅介護、重度訪問介護、行動援護、生活介護、児童デイサービス、短期入所、共同生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、旧法施設支援（通所）)	時間・日	時間・日	時間・日
■生活介護	日	日	日
■自立訓練	日	日	日
■就労移行支援	日	日	日
■就労継続支援 ※どちらかに○	(A ・ B)		
■旧法施設支援（通所）	日	日	日
■その他のサービス（利用サービス名・時間等を記入して下さい）			
()	時間・日・回	時間・日・回	時間・日・回
()	時間・日・回	時間・日・回	時間・日・回
＜障害者自立支援法（手帳）によるサービス（地域生活支援事業）＞			
サービス種別	利用量	支給決定量	希望する量
■相談支援事業	回	回	回
■コミュニケーション支援事業	時間	時間	時間
■日常生活用具等給付事業	品目名 ()		
■移動支援事業	時間	時間	時間
■地域活動支援センター	日	日	日
■その他の事業の利用（利用サービス名・時間等を記入して下さい）			
()	時間・日・回	時間・日・回	時間・日・回
＜障害者自立支援法（手帳）によるサービスの、使いたいけれど使うことができない理由＞ (あてはまるものすべてに○)			
1. 支給決定量が少ない			
2. 提供可能な事業者がない、又は少ない (以下の a. ～d. のあてはまるものすべてに○) (a. 医療的ケア b. 長時間 c. 夜間 d. その他 () ができない)			
3. 望みにあうサービス内容ではない		4. 利用者負担額が大きい	
5. 介護保険を全額利用できない		6. その他 ()	

＜介護保険＞			
サービス種別	利用量	支給決定量	希望する量
■訪問介護	時間		時間
■訪問入浴介護	時間		時間
■訪問看護	時間		時間
■訪問リハビリテーション	時間		時間
■通所介護	日		日
■通所リハビリテーション	日		日
■短期入所生活介護	日		日
■短期入所療養介護	日		日
■その他のサービス（利用サービス名・時間等を記入して下さい）			
（ ）	時間・日・回		時間・日・回
（ ）	時間・日・回		時間・日・回
＜介護保険によるサービスの、使いたいけれど使うことができない理由＞ （あてはまるものすべてに○）			
1. 要介護認定が適切でない 2. 提供可能な事業者がない、又は少ない（以下の a.～d. のあてはまるものすべてに○） （a. 医療的ケア b. 夜間 c. 休日 d. その他（ ）ができない） 3. 望みにあうサービス内容ではない 4. 利用者負担額が大きい 5. その他（ ）			

＜医療保険制度＞			
サービス種別	利用量	支給決定量	希望する量
■訪問看護	時間		時間
■訪問リハビリテーション	時間		時間
■その他のサービス（利用サービス名・時間等を記入して下さい）			
（ ）	時間・日・回		時間・日・回
（ ）	時間・日・回		時間・日・回
＜医療保険によるサービスの、使いたいけれど使うことができない理由＞ （あてはまるものすべてに○）			
1. サービス量が少ない 2. 提供可能な事業者がない、又は少ない 3. 望みにあうサービス内容ではない 4. 利用者負担額が大きい 5. 障害や疾病の理解不足 6. その他（ ）			

＜その他のサービス（公的なサービス以外も含む）＞			
サービス種別	利用量	支給決定量	希望する量
■利用サービス名・時間等を記入して下さい			
（ ）	時間・日・回		時間・日・回
（ ）	時間・日・回		時間・日・回
（ ）	時間・日・回		時間・日・回

26. 利用しているサービス種別ごとの、平成22年9月1日から30日までのおおよその利用者負担額をお答えください。(記入式)

サービス種別	利用者負担額
■障害者自立支援法によるサービス(個別給付)	円
■障害者自立支援法によるサービス(地域生活支援事業)	円
■介護保険	円
■その他の公的制度()	円
■公的制度でカバーされない支援に関する自己負担	円

27. 現在、介護保険法や障害者自立支援法の制度で認められていないサービスについて、障害者ご本人、またはそのご家族等が利用を希望するサービスをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 入院中に関する支援
2. 通勤、通学等に関する支援
3. 職場における労働に伴う支援(職場内での介護、出張時の移動支援など)
4. 学校における学習に伴う支援(受講時のノートテイク、校内での移動支援など)

●上記以外の支援等、その他具体的な意見があれば、お書き込みください。(自由記述)

4. 障害者ご本人の家族介護の実態

28. あなたが受けている家族介護の時間についてお答えください。(記入式)

介護の種類	時間
■身体介護(居宅内)	時間程度/週
■外出時の移動支援	時間程度/週
■家事援助	時間程度/週

5. 障害者ご本人の医療費

29. かかりつけの病院・診療所はありますか？

●かかりつけ病院・診療所の有無（どちらかに○）

1. ある	2. ない
-------	-------

「●かかりつけ病院・診療所の有無」で「1. ある」と回答された方は以下の設問にお答えください。

●担当科（あてはまるものすべてに○）

1. 内科	2. 脳神経内科・神経内科	3. 外科
4. 整形外科	5. 脳神経外科	6. 小児科
7. 泌尿器科	8. リハビリテーション科	
9. その他（		）

30. あなたの主な受診目的をお答えください。（自由記述）

31. 平成22年9月1日から9月30日までの医療費における負担額についてお答えください。（還付を受けた場合は除く）（記入式）

円

ご協力ありがとうございました。

「訪問系サービス利用者のサービス利用状況等の実態把握に関する調査」報告書

平成 23（2011）年 3 月発行

発行 株式会社ピュアスピリッツ

東京都千代田区内神田 1 - 4 - 1 5 新誠ビル 3 階

電話 03-5283-5567

FAX 03-5283-5589

※ この事業は厚生労働省の平成 2 2 年度障害者総合福祉推進事業により行われたものです。